



O7CAD 操作マニュアル

2025年改定版 第1版 (2025.5.1)

07CADご使用の注意点

【重要】

以下の点をご理解の上07CADをご利用ください。

1 製品の組み合わせについて

07CADでは各メーカー製品の色やオプションの組み合わせを自由に変更する事ができます。各メーカーの最新カタログで**組み合わせが可能か、発注可能であるか**を必ずご自身でご確認お願いいたします。

2 製品の価格について

建材情報ストリームや自動拾い出し時に入力されている商品の価格は、e-tokoカタログに掲載されているメーカーカタログの定価価格です。こちらはリアルタイムでの価格、内容更新をしておりませんのであくまで目安としてご利用ください。見積ご提出前に**必ずご自身で金額確認**をお願いいたします。

3 製品の付帯金具について

07CADでは金物商品の付帯金具の項目、個数等の情報を含んでおりません。**実際の必要金具項目、及び個数はご自身でご確認**をお願いいたします。

4 面積や長さについて

07CAD上で表記される面積や長さは作図データから出されたものです。**現況数値とは異なります**のでその点を考慮した上で数量をご利用ください。

目次

07サポートガイド

◇ 07サポートガイド	1
◇ デスクトップのアイコンについて	2
◇ ネット認証	3
◇ CADが起動しない時は・・・【オンラインネット認証】	4
◇ 旧バージョンをお使いの方へ	6
◇ オーセブンCADのバージョン間互換について	7
◇ ユーザー登録データの移行方法	8
◇ 07Portal	11
◇ 07ユーザー専用サイト	12
◇ 操作が分からないときは・・・	13
◇ サリバン先生/WEB研修 接続方法	16
◇ その他のサポートサービス	18
◇ 07コミュニティサイト	21

基本操作

◇ 基本操作	23
◇ CAD起動/用紙サイズ・縮尺設定	24
◇ 画面構成・名称	24
◇ CAD画面概要	25
◇ 画面調整	27
◇ 図形選択	28
◇ 選択解除	29
◇ 図形移動	30

◇ カーソルの種類	31
◇ 図形削除	32
◇ 取り消し	32
◇ 補助線の種類	33
◇ 補助線の動かし方	36
◇ 補助線の結合	37
◇ 補助線の分解	37
◇ 補助線のスナップ	38
◇ 補助線の伸縮方法	39
◇ O7CAD2025 メニュー&ショートカット一覧	40

作図練習（エクステリアプラン）

◇ 作図練習（エクステリアプラン）	43
◇ 作図練習 サンプル図面	44
◇ 敷地を描く	45
◆ 【入力する数値を間違えたときは…】	46
◆ 【敷地形状の調整】	47
◇ 敷地の注釈とレベルを入れる	48
◆ 【敷地の注釈を印刷するには…】	48
◆ 【道路の「BM±0」を基準にしたいときは…】	49
◇ 保存する	50
◇ 建物基礎を描く	51
◆ 【入力する数値を間違えたときは…】	52
◆ 【グリッドの表示】	52
◆ 方法2 補助線→基礎	53

◆	【辺の寸法や角度を間違えたときは…】	54
◆	【袖壁、独立基礎があるときは…】	54
◆	【作成された基礎の内側が白くなったときは…】	54
◆	【基礎の初期設定】	55
◆	【深基礎にしたいときは…】	55
◇	敷地に基礎を配置する	56
◆	【数値が表示されないときは…】	56
◇	玄関ポーチを配置する	57
◇	塀を配置する	59
◆	【塀の厚み】	60
◆	【移動とオフセットの違い】	64
◆	【塀が途中で止まってしまうときは…】	64
◆	【L字やコの字の塀をつくるには…】	69
◆	【塀の角が敷地からはみ出したときは…】	69
◇	床を配置する	70
◇	製品を配置する	73
◆	方法1 「製品」から配置	74
◆	方法2 建材情報ストリームから配置	75
◆	【製品の検索方法】	77
◆	【製品の配置高さについて】	78
◆	【製品の配置高さ変更方法】	79
◇	3Dを確認する	80
◇	視点を移動する	81
◇	休憩	83
◇	レベルの設定をする	84

◆	【図形の選択】	85
◆	【レベルを入力した点の変更・削除】	87
◆	【シンボルの変形詳細】	88
◆	【床やレンガラインを平らにしたいときは…】	89
◇	階段の設定をする	90
◆	【ダブルクリックしても設定画面が表示されないときは…】	90
◆	【リアルタイムパースの表示】	93
◆	【リアルタイムパースでのテクスチャ移動】	95
◆	【階段自動生成】	95
◇	塀の設定をする	96
◆	【ダブルクリックしても設定画面が表示されないときは…】	96
◆	【塀の設定詳細】	97
◆	【塀の高さ変更】	98
◆	【リアルタイムパースの表示】	99
◆	【フェンスの追加】	103
◆	【属性コピーできる項目】	104
◆	【塀の形状変更】	106
◆	【リアルタイムパースの表示】	108
◆	【照明が塀の上に乗っていないときは…】	117
◆	【ポストが塀の内側に入っているときは…】	117
◆	【操作が分からないときは…】	126
◇	床の設定をする	127
◆	【ダブルクリックしても設定画面が表示されないときは…】	127
◆	【リアルタイムパースの表示】	129
◆	【リアルタイムパースでのテクスチャ移動】	129

◆	【床の設定画面（床デザイナー）レベル設定方法】	130
◇	製品の設定をする	132
◆	【ダブルクリックしても設定画面が表示されないときは…】	132
◆	【オプションのあり・なしを変更する方法】	134
◇	3Dを確認・編集する	135
◇	道路を作成する	137
◆	【道路のアスファルト部分が自動で作成されていないときは…】	138
◆	【道路を印刷したいときは…】	140
◆	【道路を詳細に編集したいときは…】	140
◇	植栽を配置する	141
◆	【樹木を探したいときは…】	141
◆	【リアルタイムパースで配置】	142
◆	【樹木のサイズを変更したいときは…】	144
◆	【低木を配置したいときは…】	146
◆	【低木や生垣が埋まっている、浮いているときは…】	147
◇	平面図を詳細に仕上げる	148
◇	注釈を配置する	151
◆	【敷地寸法だけが表示されたときは…】	152
◆	【植栽注釈：引き出し線と表】	153
◆	【製品注釈】	154
◆	【文字のフォントやサイズ・色を変えたいときは…】	157
◆	【寸法線の数値が合わないときは…】	158
◆	【寸法線を連続で書く方法】	159
◆	【注釈が用紙枠から出してしまうときは…】	161
◇	リアルタイムパースでイメージパースを作成する	162

◆	【レイヤをカメラにしても、カメラが表示されないときは…】	162
◇	カメラを追加する	164
◆	【追加したカメラを削除する方法】	164
◇	リアルタイムパースで視点を動かす	165
◆	【カメラ(視点)調整方法の設定】	167
◆	【カメラ(視点)移動の速度設定】	167
◆	【カメラの種類について】	168
◆	【リアルタイムパースカメラで設定した視点をパースカメラに追加】	169
◆	【簡単拡大表示】	169
◇	テクスチャを貼る	170
◆	【テクスチャの検索方法】	174
◆	【背景を設定するには…】	175
◇	テクスチャを調整する	177
◆	【側面だけテクスチャを動かした場合は…】	179
◆	【階段・塀・床の設定画面でテクスチャ貼り付け方向と位置を設定する方法】	180
◇	効果設定を変える	183
◆	【夕景カメラにしたときは…】	185
◆	【効果設定の初期設定一覧】	186
◇	画像をCADに貼る	187
◆	【画像のサイズを変更するには】	189
◆	【e-tokoから製品の画像を取り込みたいときは…】	190
◆	【現場写真や樹木の画像を取り込みたいときは…】	193
◆	【文字が隠れてしまうときは…】	194
◇	平面図仕上げ	195
◇	立面用カメラの作成	198

◇ 立面図作成	199
◆ 【画像のトリミング】	201
◇ レイアウト	202
◆ 【パースの大きさ調整2】	205
◆ 【レイヤの前後関係】	207
◆ 【平面図の色を変えるには…】	208
◇ 印刷	211
◇ 数量拾い出し・リアルタイム概算	213
◇ プレゼンKIT	216

作図練習（エクステリア修正プラン）

◇ 作図練習（エクステリア修正プラン）	217
◇ 作図練習 サンプル図面	218
◇ データの複製	219
◇ ユニット削除	220
◇ 塀を配置する	221
◇ 床を配置する	223
◇ 製品を配置する	226
◇ 3Dを確認する	228
◇ 休憩	229
◇ レベルの設定をする	230
◆ 【レベルを入力した点の変更・削除】	232
◇ 塀の設定をする	233
◆ 【ダブルクリックしても設定画面が表示されないときは…】	233
◆ 【塀の設定詳細】	234

◆ 【属性コピーできる項目】	247
◇ 床の設定をする	248
◇ 注釈を変更する	249
◆ 【文字のフォントやサイズ・色を変えたいときは…】	250
◆ 【注釈が用紙枠から出てしまうときは…】	251
◇ リアルタイムパースを表示する	252
◇ 効果設定を変える	253
◇ 画像をCADに貼る	255
◆ 【置き換えしたいパース画像をトリミングしている場合】	257
◇ 平面図仕上げ	258
◇ レイアウト	261
◆ 【パースの大きさ調整2】	263
◇ 印刷	264

作図練習（造園プラン）

◇ 作図練習（造園プラン）	267
◇ 作図練習 サンプル図面	268
◇ CAD起動	269
◇ 庭スペース作成	270
◇ 保存	271
◇ 補助線入力	272
◇ ユニット入力	274
◇ 製品入力	275
◇ 築山作成-1	277
◇ 築山作成-2	278

◆ 【アンジュレーターと切土・盛土変換の違いは…】	279
◇ 塀の設定	280
◆ 【フェンスの高さ変更】	282
◆ 【属性コピーできる項目】	283
◇ 3Dを確認する	284
◇ 添景物配置	285
◇ 植栽の配置	286
◆ 【リアルタイムパースで配置】	288
◇ 延べ石と補助線入力	289
◇ 飛び石と沓脱石入力	290
◇ 注釈入力	291
◆ 【寸法線の数値が合わないときは…】	291
◇ 植栽注釈更新	292
◇ 図枠入力	294
◇ リアルタイムパース表示～カメラ配置	295
◇ 視点設定	296
◇ テクスチャ設定	298
◇ 効果設定	299
◇ レイアウト	301
◆ 【画像のサイズを変更するには】	303
◇ 平面図仕上げ	304
◇ 印刷	306

新機能&おすすめ機能

◇ 新機能&おすすめ機能	309
--------------	-----

◇	ダイジェスト	310
New	◇ サーバー情報自動取得	312
New	◇ フォト添景作成機能	315
New	◇ 造園レイヤのユーザー登録	318
New	◇ 補助線に沿って飛び石や植栽を並べる	321
New	◇ 光源レイヤについて	323
New	◇ 光源発光半径設定	328
New	◇ 手すりツール種類追加	330
New	◇ 床の頂点レベル維持	332
New	◇ カメラレイヤの機能追加	333
New	◇ 平面範囲カメラ	335
New	◇ 複数用紙印刷設定の機能追加	337
New	◇ 植栽表作成設定の機能追加	338
	◇ その他おすすめ機能	339



07サポートガイド

デスクトップのアイコンについて

デスクトップ上にできたアイコン（ショートカット）の説明をします。



O7CAD2025(オーセブンキャド2025)の起動アイコンです。

エクステリア・造園図面作成CADソフト 平面からパース作成、数量拾い出し、見積(O7Cargo)までオールインワン作図が可能です。図面を作成する際は、このアイコンから始めます。

※O7CargoはO7CAD2025から標準搭載の見積機能・工程表を搭載したクラウドサーバーです。どこからでもアクセス可能なクラウド環境で、図面、パース、VR、見積、契約書、実行予算書、発注書、請求書、そして工程表までデータの一元管理が行えます。

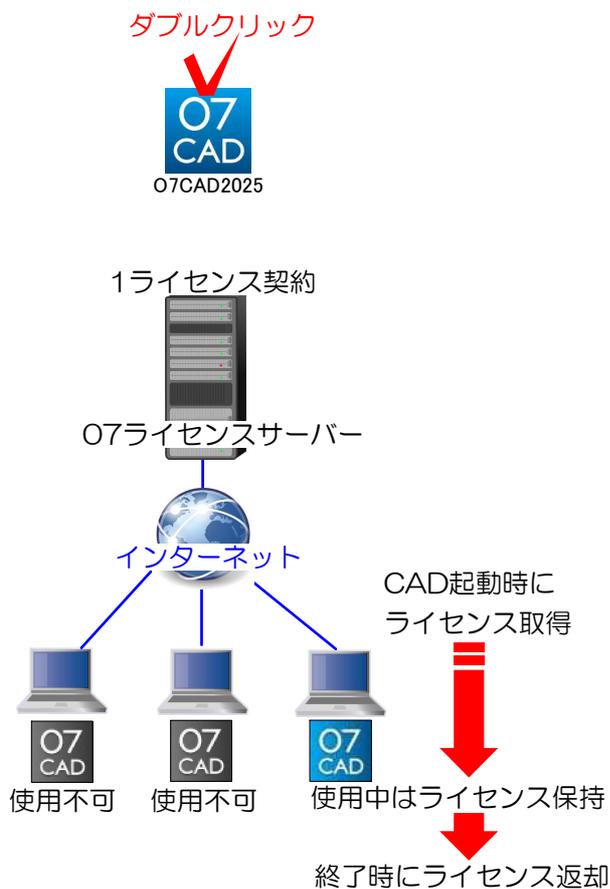


O7Portal (O7ポータル) の起動アイコンです。

部材などのダウンロードとプログラムのアップデート、操作サポートを行います。アップデートや操作を調べる、お問合せは、このアイコンから始めます。CADを起動することもできます。

ネット認証

オーセブンCADを起動するための種類です。



インターネット認証版

CAD起動時にライセンスを取得し、終了時にライセンスを返却します。

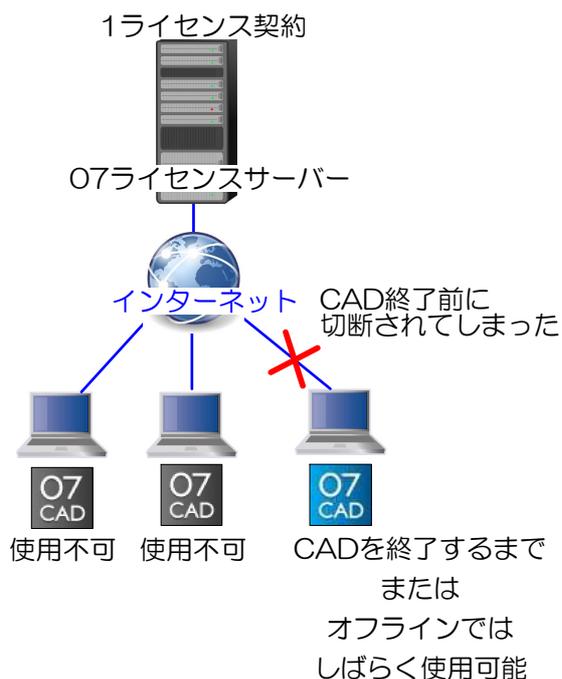
インターネット環境が必ず必要になります。

インターネットに繋がった状態でCADを終了させないと他のPCでCADが起動出来ません。

ご契約頂いているライセンスの数だけ同時に起動できます。

また、ネット認証のライセンスを借りたままに設定することができます。

 [【おすすめ新機能】→](#)
 [【持ち出しネット認証のご紹介とご注意】](#)



【使用中にインターネットを切断してしまった場合】

CAD終了前にインターネットから切断されてしまった場合

CAD起動中のPCでは継続して使用可能

ただし、CADを終了した場合はネットに接続しないと再起動できません。

その間、他のPCではCADを使用できません。

CADが起動しない時は・・・【オンラインネット認証】

直前のご使用時にライセンスの返却に失敗している可能性があります。



デスクトップPCやノートPCなど、複数のPCでCADをご使用いただいている場合、使用後にライセンス返却が正しく行われず、次回別PCでCADが起動できないことがあります。

このような状況で表示されるメッセージとその対処法につきましてご案内いたします。



起動しない原因と解決方法

『認証タイプ：オンライン』→『認証する』ボタンクリックで起動しましたらそのままお使いいただいて問題ありません。

『**認証が通りませんでした**』とメッセージが出た際は『OK』で進んでいただきその後のメッセージをご確認下さい。



『**このライセンスは既にほかで使われています**』

【原因1】

直前の終了時に**ネット環境の不調・強制終了**等でライセンスが正しく返却出来なかった。
(※CAD自体は閉じていても直前の利用が続いていると認識されてしまっている状態。)

【解決方法1】

直前に使用されたPCでCADを再度立ち上げ、『**×ボタン**』もしくは『**ファイルメニュー→終了**』でCADを閉じます。

その後使用するPCで再度CADを起動します。



『**gate.o-seven.jpへの～ブロックされました**』

【原因2】

起動時の**ネット環境の不調**などが原因もしくは、**ウイルス対策ソフト**などが認証を妨げている。

【解決方法2】

ネット環境の確認をお願いします。

- ・Wi-Fiが正常につながっているか
- ・LANケーブルは問題ないか

ウイルス対策ソフトの個別設定に関しましてはオーセブンではお答えいたしかねます。

gate.o-seven.jpの通信許可をお願いいたします。

上記でも解決しない場合はお手数ですがオーセブンへお問い合わせください。

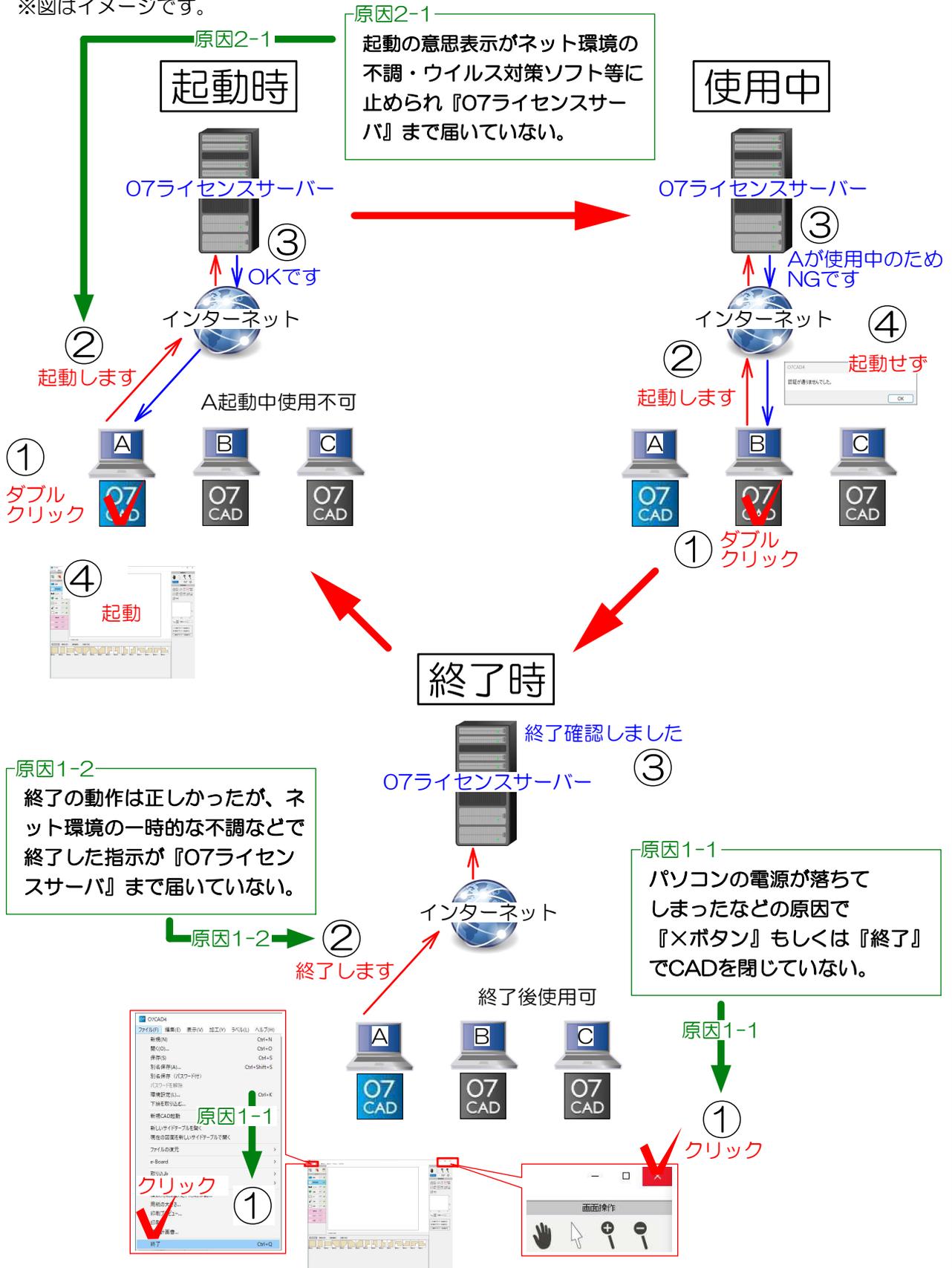
【ライセンスの認証と返却】

正常な認証が行われた際、起動時・使用中・終了時は以下の流れで認証を行っています。

原因1、2が起きる可能性があるタイミングもご確認下さい。

※例：1ライセンスご契約で3台のPCにインストールされている場合

※図はイメージです。



旧バージョンをお使いの方へ

O7CAD2025にした時の注意点、旧バージョンの使用期間についてのご案内です。

旧バージョンとO7CAD2025のファイル互換性について

- ・旧バージョン(O7CAD1~4)のファイルはO7CAD2025で開くことが可能です。
詳しくは「[オーセブンCADのバージョン間互換について](#)」をご確認ください。
- ・O7CAD2025で保存したデータを旧バージョン(O7CAD1~4)で開くことは可能ですが
(アップデートをして最新状態になっているのが条件)いくつか条件がございます。
詳しくは「[オーセブンCADのバージョン間互換について](#)」をご確認ください。
- ・旧バージョンで作成したデータの塀、床は編集できますが、塀は設定が一部変わってしまう場合があります。
- ・レンダリング結果が多少変わることがあります。また保存した以前のレタッチ情報が正しく再現できない場合があります。
- ・リアルタイムパースでテクスチャの目地位置がずれている場合があります。
お手数ですが、リアルタイムパース画面で再調整をお願いいたします。

旧バージョンの使用期限について

O7CAD2025をインストールしてから [100日間] 使用可能です。使用期限内O7CAD2025と旧バージョンの両ソフトを使用できます。

使用期限が切れた後の旧バージョンのCADについて

恐れ入りますが、アンインストール(ソフトの削除)をお願いします。

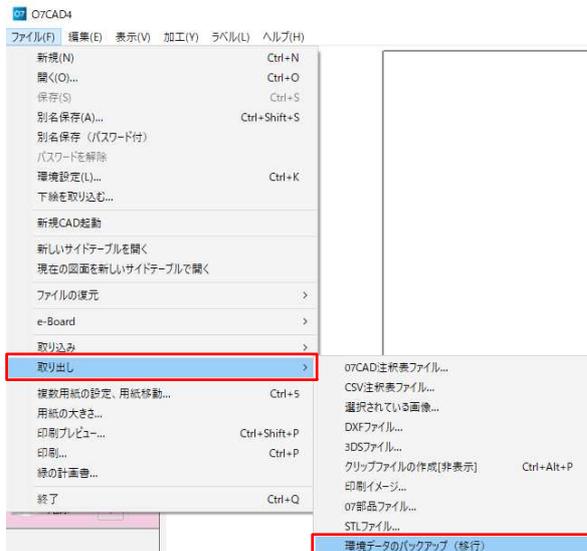
お問合せ先：

オーセブン株式会社 048-741-8177

(月曜～土曜・祝日 9:00～18:00)

ユーザー登録データの移行方法

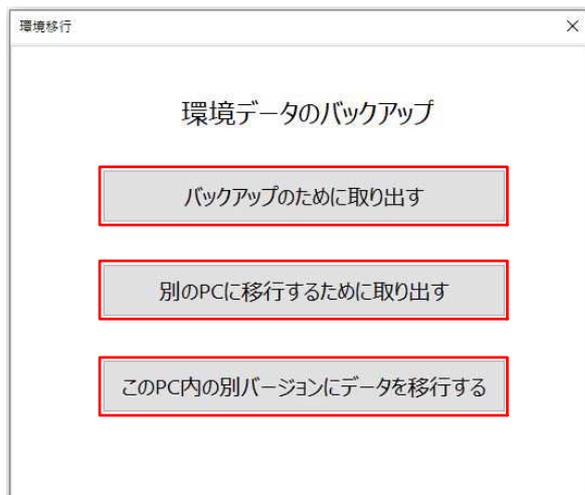
旧バージョンでユーザー登録を使用していた方は、ユーザー登録データの移行作業が必要です。



1 移行データの取り出し

1-1 ファイルメニューの取り出しより環境データのバックアップ（移行）を選択します。

1-2 取り出しの種類を選択します。



【バックアップのために～】

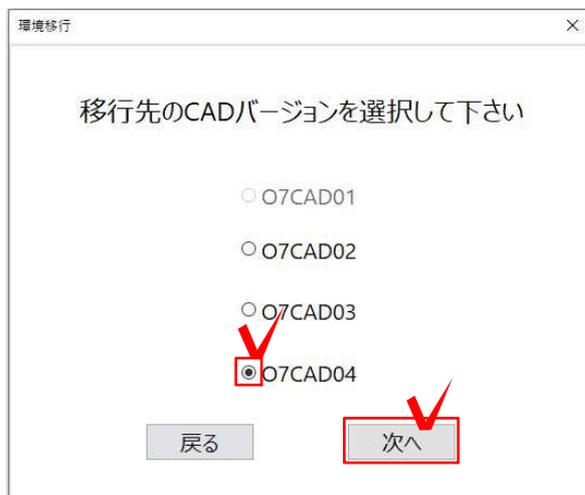
すぐの移行ではないが、万が一に備えて取り出しておく場合。

【別のPCに移行するために～】

社内でのユーザー登録の共有、PC買い替えに伴うセットアップなど、他のPCへも同じ環境を再現したい場合。

【このPC内の別バージョンに～】

バージョンアップご契約時など、同じPC内でCADバージョンに変更があった場合。



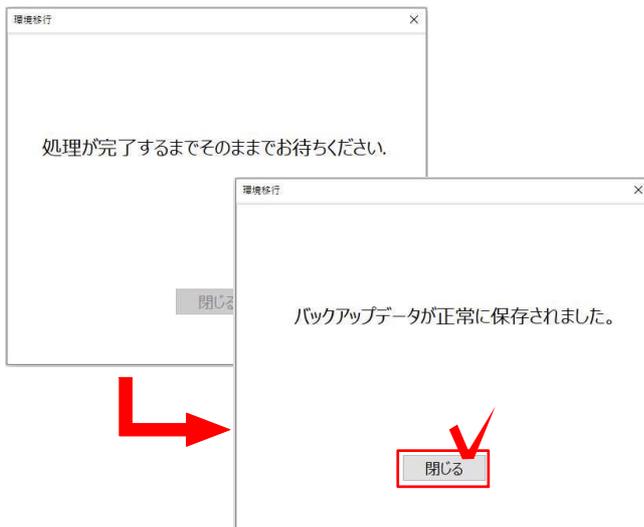
1-3 【このPC内の別バージョンに～】を選択された場合のみ移行先のバージョンを聞いてきます。

移行されたいバージョンにチェックを入れ次へを選択します。

- ・ 移行元の現在開いているバージョン
 - ・ ご導入されていないバージョン
- 上記は選択が出来ません。



1-4 移行するデータを選択し、取り出しをクリックします。



1-5 画面のメッセージが「処理が完了するまでそのままお待ちください」から正常に保存されました・移行が完了しましたに変わりましたら閉じるをクリックします。

※【このPC内の別バージョンに～】を選択された方は以上で作業完了です。移行先のバージョンに、データが移っているか確認をしましょう。



1-6 【バックアップのために～】

【別のPCに移行するために～】を選択された方は、名前を付けて保存していただき移行用ファイルが作成されます。

(デスクトップなどわかりやすい場所へ保存しましょう。)

移行先のPCへ作成された移行用ファイルを移し、以後の作業はファイルを移した**移行先のPC**で行います。



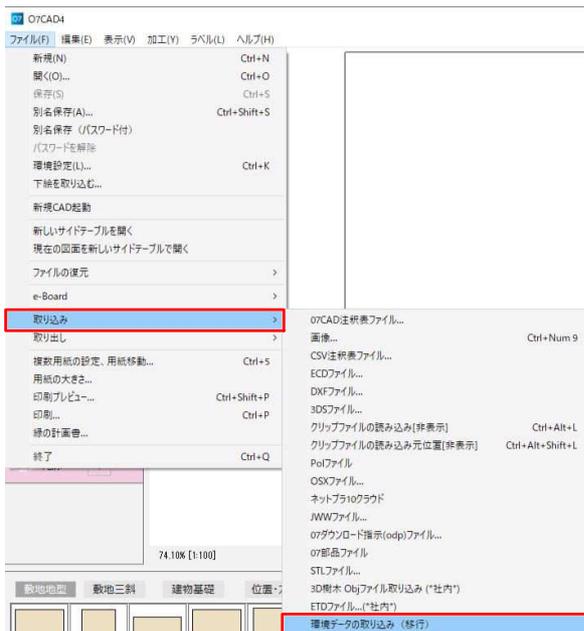
【移行可能なデータについて】

移行できるデータは以下になります。

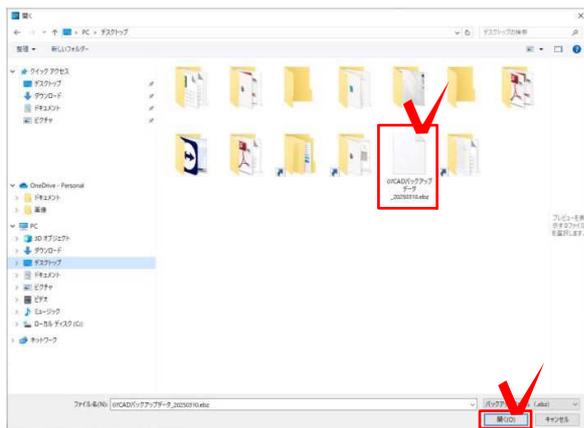
- ・リアルタイムパス設定
- ・SPパレット効果設定
- ・植栽のよく使う200本履歴
- ・環境設定
- ・STL取り出し情報
- ・7日間バックアップ
- ・図枠登録データ
- ・ユーザー登録部品
- ・光源登録データ
- ・外部ファイル取込したテキスト
- ・お知らせ設定
- ・tips設定
- ・サイドテーブルの設定
- ・注釈登録データ
- ・ユニット登録データ
- ・登録したテキスト
- ・効果設定登録データ
- ・起動時に自動で開くサイドテーブルセット
- ・e-Board設定・07Cargoの設定
(07Cargoは07CAD2025以降標準搭載サーバーです)

2 移行データの取り込み

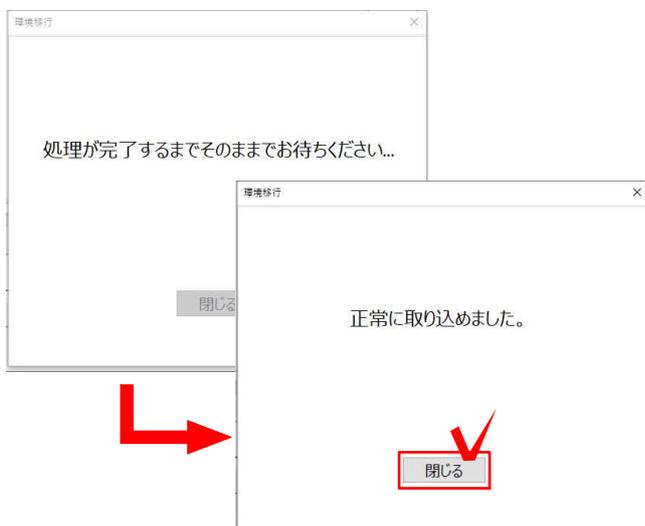
2-1 ファイルメニューの取り込みより環境データのバックアップ（移行）を選択します。



2-2 使用する移行データを選択し開きます。



2-3 画面のメッセージが「処理が完了するまでそのままお待ちください」から正常に取り込みましたに変わりましたら閉じるをクリックします。
 以上で作業完了です。
 作業をしている移行先のPCにデータが移っているか確認をしましょう。



O7Portal

【CAD保守サポート】をご契約されているユーザー様が対象となります。



O7Portal

O7Portalって？

O7Portalは、ご使用のCADコンテンツを常に最新の状態にしてくれるツールです。

新商品が発表されるエクステリア建材をはじめ、進化するCADプログラムをリアルタイムで御社にお届けします。

また、マニュアルの閲覧、お問い合わせ、研修予約、お得な情報を確認することができます。

アップデート方法

- 1 『アプリ』 をクリック
- 2 『最新情報を取得』 をクリック
- 3 『まとめてアップデート』 をクリック

※ 更新目安は1ヶ月に1回。

※ ダウンロード時間は、インターネットの回線スピードにより異なります。

※ 無線LANをご利用の場合は回線が途切れる場合がございます。有線LANをお勧めいたします。

アップデートができない時は...

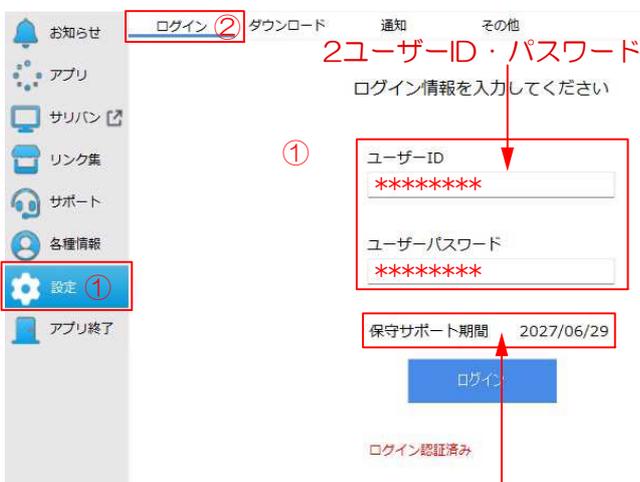
以下の点を確認してください。

- 保守サポート期限が切れていないか
- 各種設定がすべて設定されているか
- インターネットに接続しているか
- UACが解除されているか

上記を確認しても解消できない場合は下記へお問い合わせください。

お問い合わせ先：

オーセブン株式会社 048-741-8177
(月曜～土曜・祝日 9:00～18:00)



07ユーザー専用サイト

【CAD保守サポート】をご契約されているユーザー様が対象となります。

【07Portal画面】



07ユーザー専用サイトって？

マニュアル閲覧やイベント開催、コンテンツ追加などの様々な情報を配信しております。

インターネットに接続されていれば、24時間365日ご利用頂けます。

このサイトはユーザー様のみに公開しており、専用ID及びパスワードが必要になります。(納品時に書類でお渡ししております。)

<http://user07.o-seven.info/>



【サービス一覧】
色々なサービスのご案内です。

【トピックス】
全てのご案内から特にお知らせしたい新着情報です。コンテスト開催、講習会、コンテンツのご案内、お役立ちメールマガジンなど様々です。

【イベント】
講習会、展示会の開催イベント情報です。

【コンテンツ】
各メーカーの3Dデータ、テクスチャデータの更新情報です。どんな商品がいつ更新されたか？がわかります。

操作がわからないときは・・・

【CAD保守サポート】をご契約されているユーザー様が対象となります。



操作がわからない...

研修を受けてもいざ、図面を描いてみるとわからない点が出てきます。
O-Sevenでは様々なサポートをご用意しております。

- 1 WEBマニュアルを見る
- 2 メールで問い合わせをする
- 3 電話で問い合わせをする
- 4 遠隔サポート サリバン先生
- 5 研修を受ける
(WEB研修・マンツーマン研修)



1 WEBマニュアルを見る

閲覧するにはいくつかの方法があります。

- 1 WEBマニュアルのページを開きます。

【CAD画面右上の07ボタンから見る】

CAD画面右上の07ボタンからWEBマニュアルのアドレス(URL)をクリックします。



【O7Portalから見る】

デスクトップの「O7Portal」を開き、「WEBマニュアル」をクリックします。



操作がわからないときは・・・

【CAD保守サポート】をご契約されているユーザー様が対象となります。



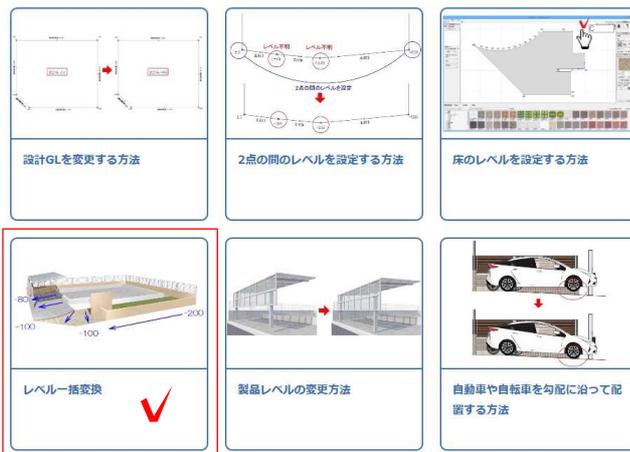
2 お使いのソフトを選択していただき、キーワードを50音で検索します。



[レベル設定]→[レベル一括変換]

上の場合、左図のように検索します。

キーワードに関する内容が表示されるので、クリックして閲覧してください。



動画やPDFで掲載されています。それぞれをクリックして閲覧することができます。

※検索された時に表示されるタイトルは表記しているタイトルと多少異なる場合があります。

操作がわからないときは・・・

【CAD保守サポート】をご契約されているユーザー様が対象となります。



The screenshot shows the O7Portal support interface. At the top is the O7Portal logo and a blue 'サポート' (Support) button. Below is a form titled 'お問い合わせ' (Inquiry). The form includes a '戻る' (Back) button, a subject line '07CAD の 操作方法の質問', a '件名' (Subject) input field, a '本文' (Body) text area, a '添付' (Attachment) button, an 'お名前' (Name) input field, and a 'メールアドレス' (Email address) input field. At the bottom is a green 'この内容で送信' (Send with this content) button.

2 メールで問い合わせをする

操作のご質問をメールでお受けしています。
O7Portalより送信ができます。

※お返事までに少々お時間をいただくことが
ございます。お急ぎの場合は、お電話にてご
連絡ください。

また、お客様のご意見・ご要望も随時お受けし
ております。

上記手順で送付ができない場合は、下記アド
レスへお願いいたします。

■お問合せ先：オーセブン株式会社 設計室
メール： media@o-seven.co.jp

3 電話で問い合わせをする

操作のご質問、お問い合わせをお受けしてい
ます。「御社名」「お問い合わせ内容」をお
申し付けください。

4 遠隔サポート サリバン先生

※有償サービス

御社のPCをインターネット回線を使って遠隔
操作を行うシステムです。

電話のみでは不明点の解決が難しい場合や、
ソフトの不具合・トラブルなどの場合にPCの
画面を直接見させていただきます。

※不具合・トラブルの遠隔サポートは無償で
す。

※研修としてご利用いただく場合は、別途研
修料金が発生いたします。オペレーターと接
続している時間が研修時間として換算されま
す。請求書は後日発送いたします。

サリバン先生ご利用料金：

550円(税込)/10分



■操作のご質問・サリバン先生

お問合せ先：

オーセブン株式会社 048-741-8177
(月曜～土曜・祝日 9:00～18:00)

操作がわからないときは・・・

【CAD保守サポート】をご契約されているユーザー様が対象となります。



■研修ご予約

お問い合わせ先：

オーセブン株式会社 048-741-8177

(月曜～土曜・祝日 9：00～18：00)

5 研修を受ける ※有償サービス (WEB研修・マンツーマン研修)

O7Portalの「研修予約」から研修のタイプをお選びください。

研修タイプによってご予約方法が異なります。

WEB研修は、予約サイトよりご予約頂けます。

「WEB研修予約について」→
こちらのページの

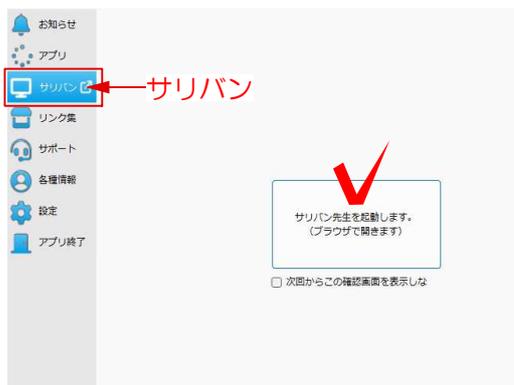
 WEB研修予約する

よりご予約頂けます。



お電話でのご予約は「御社名」「ご希望の研修種類」「ご希望日」をお申し付けください。

サリバン先生/WEB研修 接続方法



サリバン先生/WEB研修 接続方法

※別の接続システムを使用させて頂く場合
もございます。

1 O7Portal左の「サリバン」をクリック
します。

ダウンロードサイトが開き、自動的に接続
ツールがダウンロードされます。



【Google Chrome(グーグルクローム)を
お使いの場合】

2 右上にダウンロードされたファイルが表示
されますので、こちらをクリックします。

サリバン先生/WEB研修 接続方法



【Microsoft Edge（マイクロソフトエッジ）をお使いの場合】

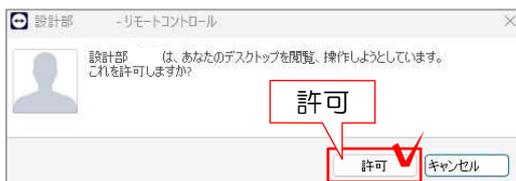
2 左図のような画面が表示されます。右上にダウンロードされたファイルが表示されますので、こちらをクリックします。

3 セキュリティ警告のメッセージが表示されますが、「実行」を選択してください。



Web接続ツールがダウンロードされると左図の画面が表示されます。

4 名前の入力欄に御社名またはご担当者様のお名前を入力して頂き、お電話かメールにてサリバン接続の旨をお伝えください。



5 左図の画面が表示されます。「許可」を選択してください。

2回目以降のつなぎ方



1 「TeamViewerQS.exe」のショートカットをダブルクリックします。1度接続をするとデスクトップにショートカットができます。

2 「サポートの要求」をクリックしてください



3 左図の画面が表示されます。「許可」を選択してください。

その他のサポートサービス

様々なサポートサービスがございます。必要な時にご利用ください。



作図代行サービス ※有償サービス

「図面や仕事が沢山あって手がまわらない」
「急ぎの図面があるけど自分で描くには間に合わなさそう」
そんな場合は代行図面サービスをご利用ください。

■ご依頼手順、制作事例

O7Portal左の「リンク集」→「サポートサービス一覧」→「イーエス：図面代行サービス」をクリックします。

図面ご依頼手順、料金案内、制作事例などがご覧いただけます。

最短3日～5日でご依頼図面をお渡します。

※3～5日は戸建て住宅の場合です。
※図面内容によっては日程をいただく場合がございます。



ホームページを 速攻DIY



HP系サービス ※有償サービス

エクステリア・造園・リフォーム業界に特化したオーセブンだからできるHP DIYアプリ「HOPWEB!」です。

専門知識は不要でHPの作成・運用をDIYすることができます。

<https://hopweb.net/>

その他のサポートサービス

様々なサポートサービスがございます。必要な時にご利用ください。



e-toko

※一部有償サービス

エクステリア造園業界を応援するオーセブンはお施主様と業者様との距離を近づけるためにエクステリアの総合サイト「e-toko(イートコ)」を運営しております。

「e-toko(イートコ)」に登録=無料のインターネット電話帳に御社のホームページまたは、御社の情報を掲載するような感覚です。

■会員登録のオススメ

1.登録無料！経費負担がかりません。
 ※一部有料のプレミアム会員様向けサービスがあります。

2.地域別検索機能付きなのでご近所の見込み客に御社の情報を見てもらえます。

3.「e-toko(イートコ)」はyahoo登録サイトなので、エクステリア関係の「調べ物」をしているお客様に見てもらえる確率が高いです。登録されている業者さんのホームページはヒット数が上がります。

4.無料で求人情報、ブログの掲載などができます。

求：求人・求職ページ

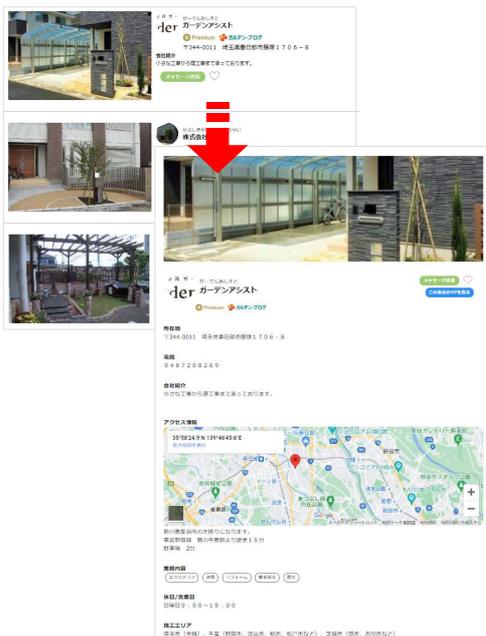


5.プレミアム会員(有料)になると施工例、イベント情報を無料で掲載できます。その他、お問い合わせを優先的にご紹介、地域業者検索結果で上位に表示されます。

匠：全国業者検索ページ



各会社紹介ページ



その他のサポートサービス

様々なサポートサービスがございます。必要な時にご利用ください。

e-toko会員登録手順



1.e-tokoを開きます。(O7Portal→サポートサービス一覧→e-toko、各種ブラウザで「e-toko」と検索でも可)

2.「新規会員登録」をクリックします。



3.「新規会員登録はこちら」をクリックします。



4.表示された画面にログインID・パスワード・会社名・氏名等を入力します。

5.利用規約をお読みの上「利用規約に同意する」にチェックを入れ、「新規登録」をクリックします。

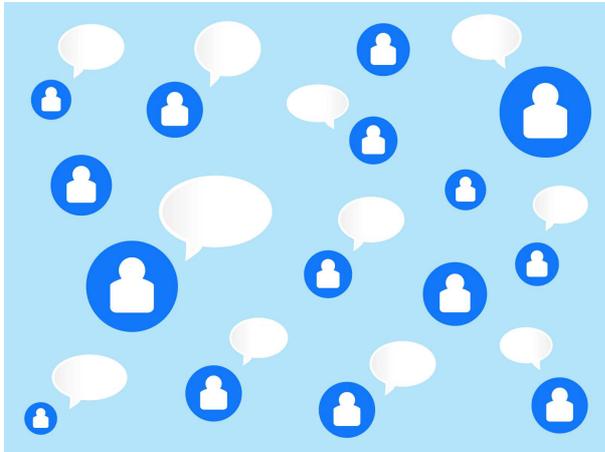
6.登録したメール宛に登録確認が届きますので、メールに記載されているURLをクリックして登録手続きを完了してください。



7.プレミアム会員は無料登録後のマイページでお申込いただけます。

07コミュニティサイト

様々なサポートサービスがございます。必要な時にご利用ください。



←詳しくはこちらの動画をご覧ください。

07コミュニティサイトとは

07CADユーザー様・07スタッフ・建材メーカー様と情報発信・交換できるサイト「07コミュニティサイト(ゼロななこみゆにていさいと)」を運営しております。

07コミュニティサイトの主な機能として

- ・07からCADユーザー様へ重要事項の連絡
- ・07からCADユーザー様へのカジュアルな情報の提供
- ・07スタッフ×CADユーザー様間のテーマ別コミュニティチャットの場の提供
- ・建材メーカー様からCADユーザー様への直接的な情報提供があります。



【07コミュ】

サポート・コミュニティ・07通信・業界情報の各項目を時系列順で確認できます。

【サポート】

07からユーザー様へ情報発信をしたり、ナナちゃんを使ってCAD質問をすることができます。

【コミュニティ】

ユーザー様が投稿し交流していただけるページです。

【07通信】

07社員がコラムを投稿しています。

【業界情報】

各建材メーカー様が記事を投稿をしています。

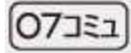
【アーカイブ】

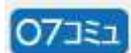
過去の無料オンラインセミナーの動画やワンポイント動画がご覧いただけます。

アクセス方法

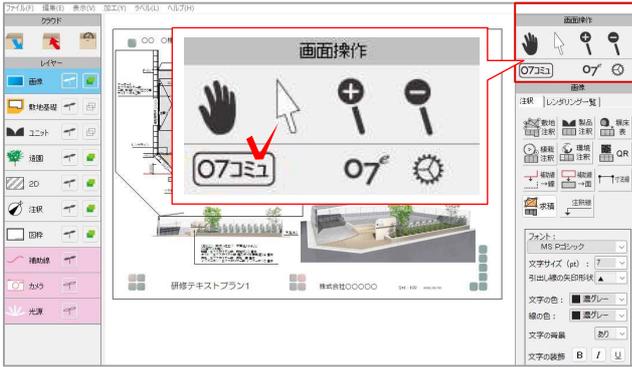
1.07CAD2025を起動し、右上の「07コミ」をクリックします。

 色によってお知らせの内容が変わります。

 お知らせ・更新がない状態

 07からお知らせ

 緊急のお知らせ



2 個人アカウントを作成するために、「個人アカウントを開く」をクリックします。



3 個人アカウントのEメールとパスワードを設定し、「保存する」をクリックします。



他のアカウントを作成する場合は「個人アカウント追加」をクリックします。



4 個人アカウントの登録が完了したら、「個人アカウント」をクリックし、ニックネーム、アイコン画像を登録し、通知設定をして保存します。

5 メニューボタンをクリックしていただき、07コミュニティサイトをご利用いただけます。



基本操作

テキスト内にある下図の表記は、参照マニュアルの案内です。必要に合わせて参照してください。



詳細説明 P30～



テキストのP30～に載っています。



[レベル]→[レベル一括変換]



WEBマニュアルでキーワードの[レベル]をクリックし、参照マニュアルが表示されます。

※O7CADではWEBマニュアル、CambridgeではDVDマニュアルに収録されています。

※実際の操作画面は予告なく変更になる場合がございます。

CAD起動

CADを起動し作図用紙の選択をしましょう。



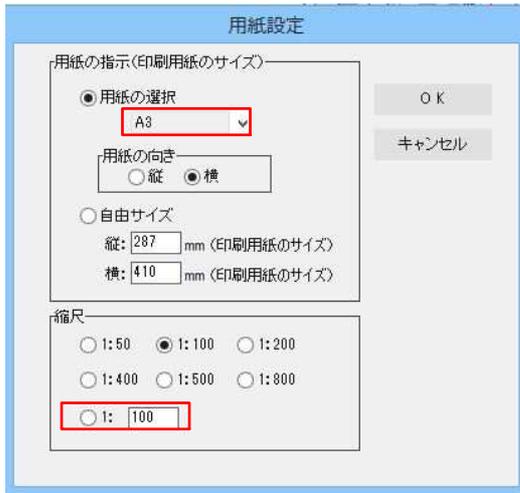
1 CADの起動

1-1 デスクトップ上のCADのアイコンをダブルクリックします。

2 用紙サイズ・縮尺設定

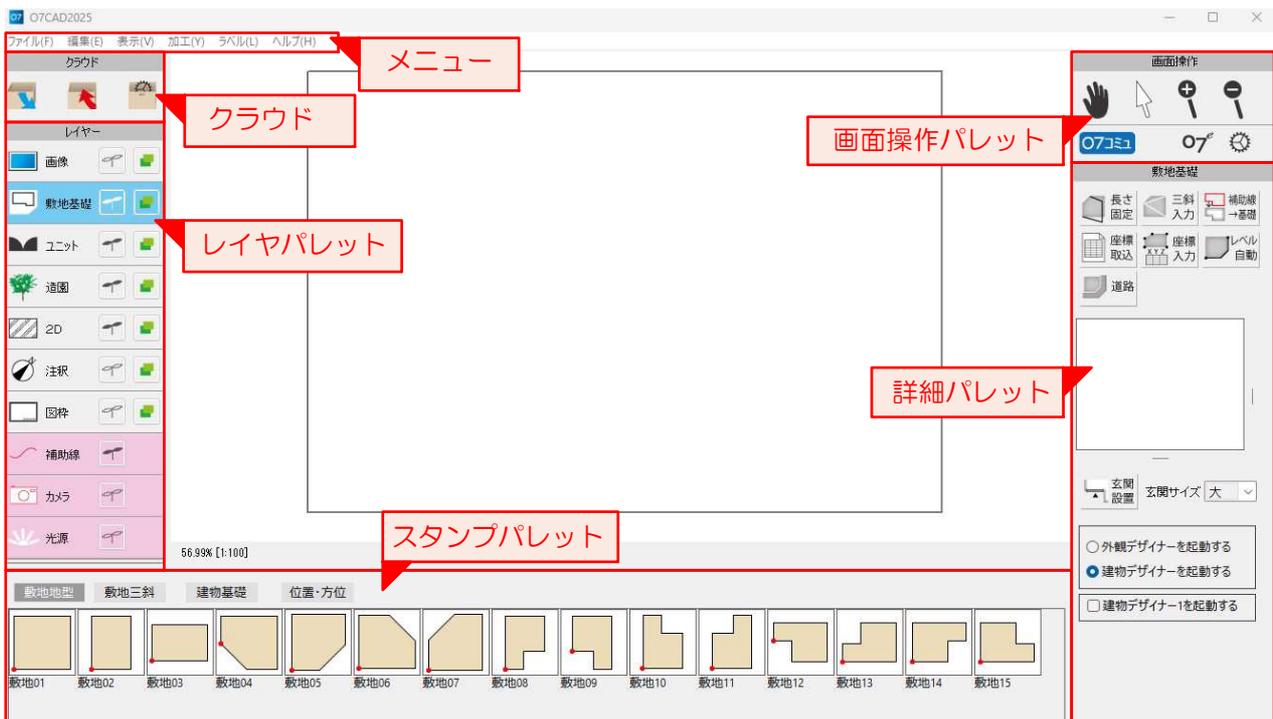
2-1 「ファイル」メニューの「用紙の大きさ」をクリックします。

2-2 用紙の大きさ、用紙の縮尺を選択し「OK」をクリックします。



画面構成・名称

各画面の名称を覚えてスムーズに作業が行えるようにしましょう。



CAD画面概要

CADの基本画面概要です。

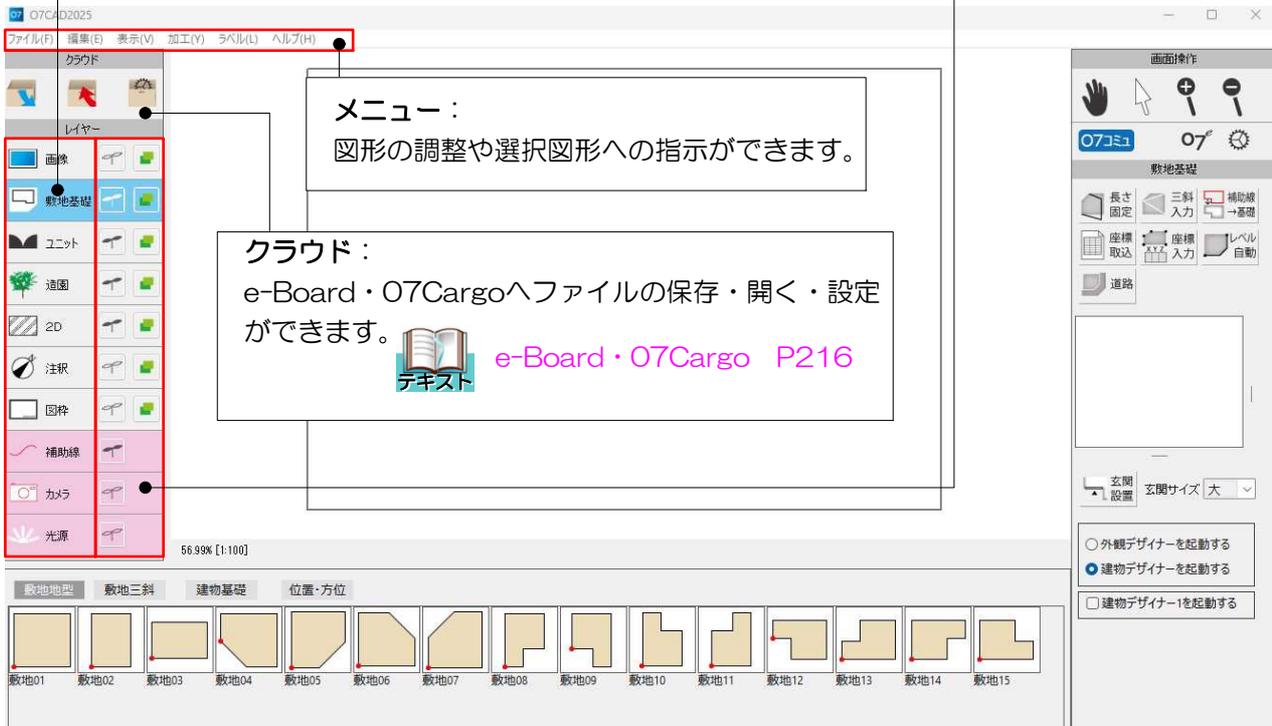


[基本操作]→[画面構成・名称]

レイヤー：作図する項目にあわせて選択します。
敷地基礎・ユニット・造園・2D・注釈・図枠の順に進みます。

	画像	平面図・パース・立面図の画像が配置されます。
	敷地基礎	敷地、建物基礎を配置、作成します。
	ユニット	塀や床、階段、製品を配置、作成します。
	造園	植栽、景石、コンテナ、車などを配置します。
	2D	線やハッチングなどを配置、作成します。
	注釈	注釈を配置します。
	図枠	図枠を配置します。
	補助線	補助線を配置、作成します。
	カメラ	カメラの調整をします。
	光源	光源の配置、設定をします。

クリックで各レイヤの表示方法を切り替えることができます。



CAD画面概要

CADの基本画面概要です。



[基本操作]→[画面構成・名称]

画面操作：
画面調整ツール、図形選択ツール、サポート、環境設定を選択できます。

画面調整：
画面サイズと閉じるボタン。

設定画面：
各レイヤで可能な設定や、ツール選択画面が表示されます。

ヘルプ：表示率、縮尺が表示されます。また、図形を選択している場合は、選択数、面積などの数量情報が表示されます。

スタンプ：
作図に必要なユニット（部品）が表示されます。ドラッグで画面上へ配置します。レイヤによって表示される内容が変わります。

07コミュニティ O7コミュニティサイトの新着情報

- O7 CADに関する情報
- CADの設定

66.99K [1:100] ● 選択数 1個 平面積 12.67 m² 表面積 12.67 m² 外周 26880 mm 厚み 0 mm 高低差 0 mm 最高レベル 0 mm 最低レベル 0 mm

敷地01 敷地02 敷地03 敷地04 敷地05 敷地06 敷地07 敷地08 敷地09 敷地10 敷地11 敷地12 敷地13 敷地14 敷地15

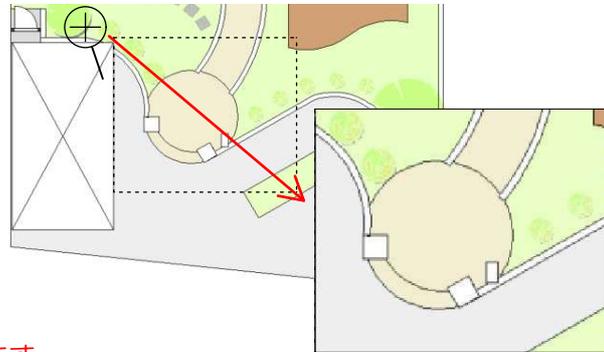
画面調整

拡大や縮小、表示位置の変更をマスターして快適に作業できるようにしましょう。

細かな作業をするときや確認の際に行います。



拡大ツール：
ツール選択後、拡大したい部分を囲うように
クリック→クリックで選択します。



※ツールボタンをダブルクリックしても拡大できます。
※マウスホイールを転がしても拡大縮小ができます。設定は環境設定  で変更可能です。

縮小： 広い範囲を見たり、全体の確認をするときに行います。

その1：画面操作パレットを使って
ダブル



縮小ツール：
ツールボタンをダブルクリックして使用します。

その2：メニューを使って

表示メニュー → 画面倍率 → 用紙全体

表示(V)	加工(Y)	ラベル(L)	ヘルプ(H)		
画面倍率				>	初期倍率 Ctrl+Num 0
平面仕上					画面拡大 Ctrl+Num 1
モノクロ仕上					画面縮小 Ctrl+Num 2
レイヤー単位モノクロ仕上				>	等倍表示 Ctrl+Num 3
選択されたものを非表示	Ctrl+¥				用紙全体 Ctrl+Num 4
選択されたものだけ表示	Ctrl+[
選択表示を解除	Ctrl+]				

※ツール選択後、縮小したい部分を囲うようにクリック→クリックでも縮小できます。
※マウスホイールを転がしても拡大縮小ができます。設定は環境設定  で変更可能です。

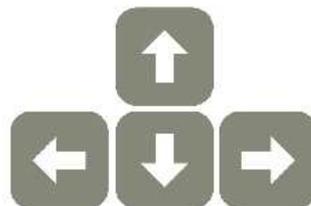
画面移動： 画面上に表示する範囲を移動させる時に行います。

その1：画面操作パレットを使って



パンカーソルツール：
作業画面内をドラックして使用します。

その2：キーボードを使って



画面を移動させたい方向の矢印キーを
押します。

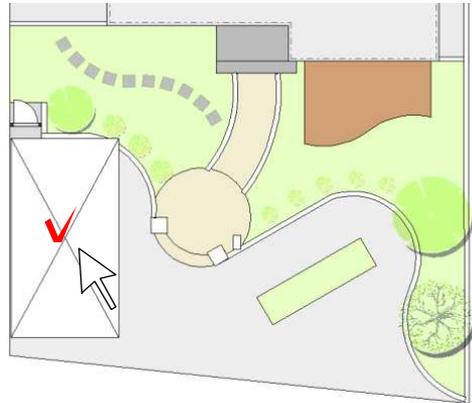
図形選択

まず何をするにも選択が最初の作業です。色々な選択方法をマスターしましょう。

ひとつだけ選択： 選択の基本です。



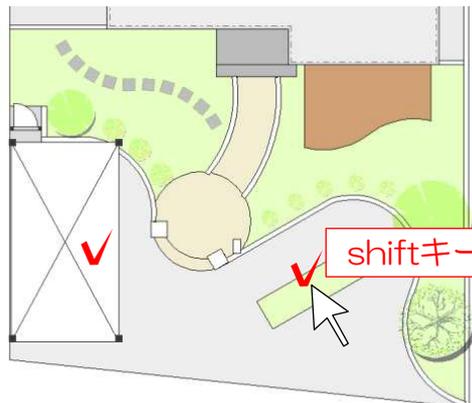
セレクションポインタツール：
選択したいユニットにマウスを合わせてクリックします。



追加選択： 複数のユニットを同時に選択する時に行います。



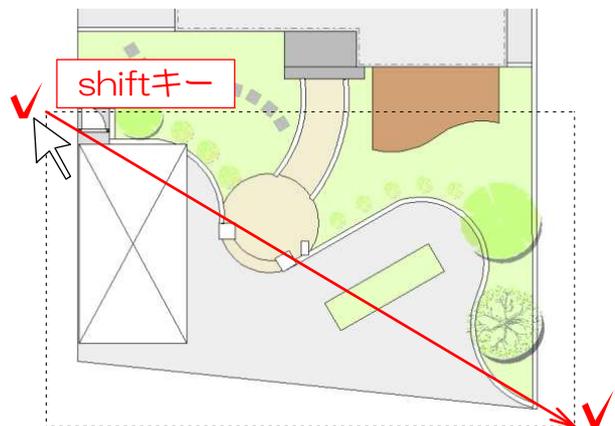
セレクションポインタツール：
「shift」キーを押しながら選択したいユニットにマウスを合わせてクリックします。



範囲選択： まとめて選択したいときに行います。



セレクションポインタツール：
「shift」キーを押しながら選択したいユニットを囲うようにドラックします。



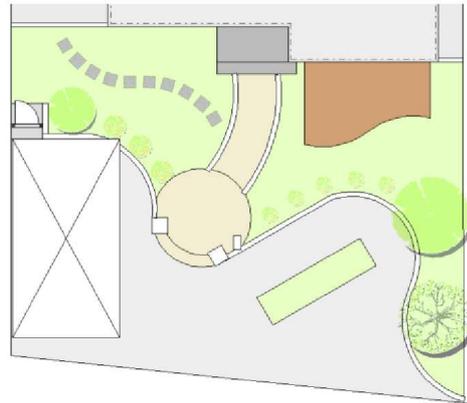
選択解除

選択のしなおしや余分なユニットを選択から外すときに行います。

全て解除： 選択のしなおしや作業終了時に行います。



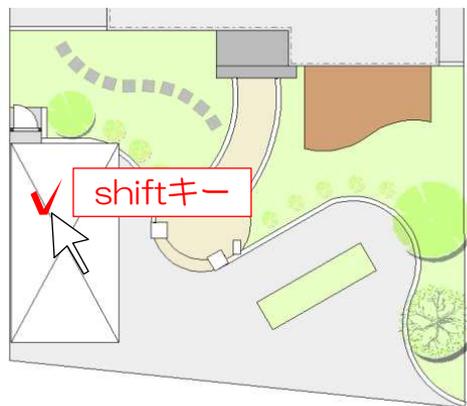
セクションポインタツール：
敷地の外側（何も無いところ）でクリック
します。



一つだけ解除： 余分に選択してしまったユニットを選択から外すときに行います。



セクションポインタツール：
「shift」キーを押しながら選択解除したい
ユニットにマウスを合わせてクリックしま
す。



図形移動

作成した図形の配置位置を動かす方法をマスターしましょう。

マウスで移動： 図形をつかんで移動します。角や端を合わせて配置できます。

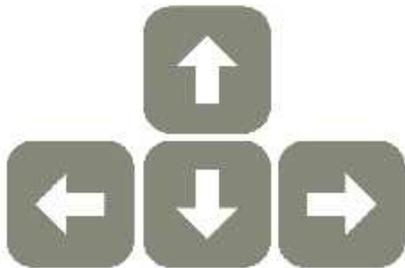


セレクションポインタツール

移動させたい図形を選択後、移動させたい位置にドラックして移動させます。

少しずつ移動： 選択図形が少しずつ動きます。

shiftキー



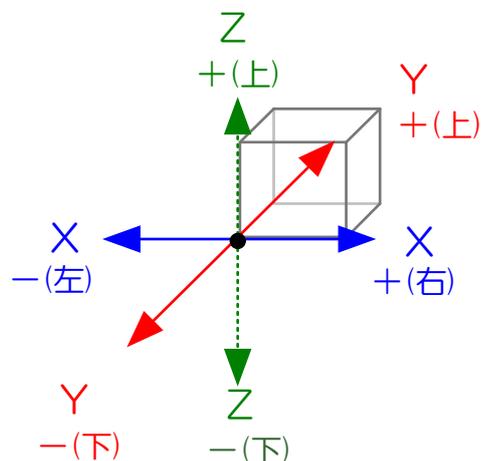
図形選択後、「shift」キーを押しながら移動させたい方向のキーを押します。

数値移動： メニューを使って配置位置を数値で決定したい時に行います。

加工メニュー → 移動



※Z(高さ)の移動は平面上では見えません。



カーソルの種類

カーソルの形によって、機能が異なります。作業する前にカーソルの形を確認しましょう。

【カーソルの種類】



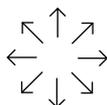
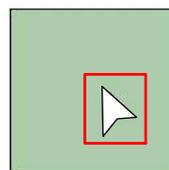
選択（図形を選択します）

通常はこの形です。



移動（図形を移動します）

図形上で表示されます。

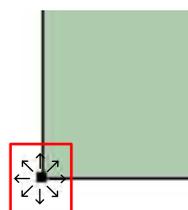


変形・伸縮（図形を伸縮、変形します）

図形の頂点上で表示されます。

※頂点（●・○・回）にカーソルを合わせてこの形になる図形は変形が可能です。

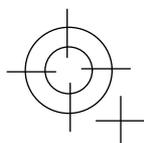
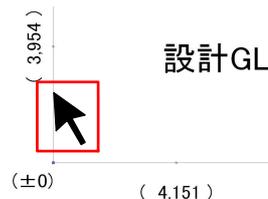
※「Shift」キーを押しながら伸縮すると垂直、水平、縦横比固定（画像のみ）で拡縮します。



辺の移動（1辺を移動する時に使います）

敷地・基礎の辺上で表示されます。

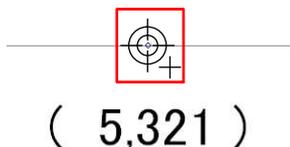
※敷地、基礎のとき表示されます。



頂点追加（頂点が追加できます）

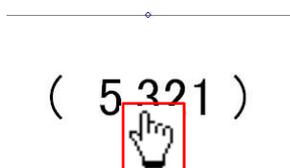
敷地・基礎の midpoint で表示されます。

※敷地、基礎のとき表示されます。



数値入力（数値が入力できます）

数字の上で表示されます。

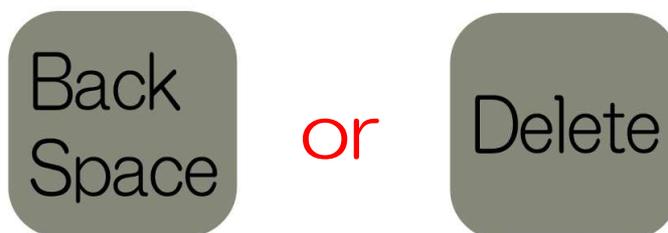


図形削除

必要なくなった図形を消す作業です。



セレクションポインタツール：削除したい図形を選択後、「BackSpace」キーまたは「Delete」キーを押します。

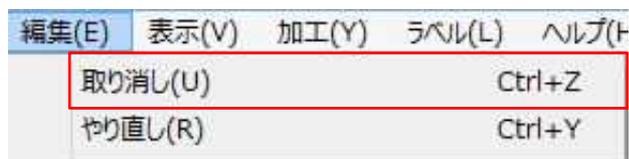


取り消し

作業を戻したい時に使います。

編集メニュー → 取り消し

各レイヤごとに取り消しは50回まで行えます。



 「やり直し」は「取り消し」を戻す機能です。「取り消し」をしすぎた時に使用します。

補助線の種類

各補助線の特徴と種類をマスターしましょう。

基本補助線： よく使用する基本的な補助線です



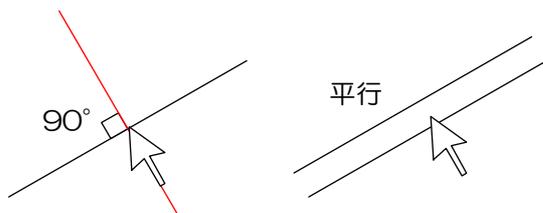
補助線レイヤボタンをクリックすると
スタンプ【補助線】が表示されます



直線垂直、直線水平はどこにおいても縦横
まっすぐなラインです



垂直角度、水平角度はマウスをあてた線に
対して直角 水平を出します



※斜めの敷地に対して、直角 水平を出し
たい時に使います

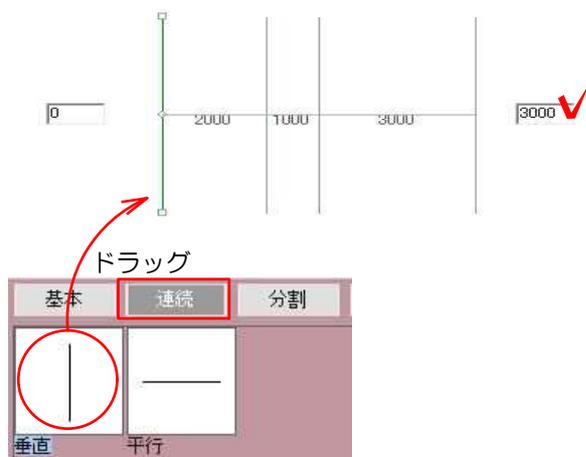


※配置した補助線をダブルクリックすると
寸法変更が出来ます。



※中央のOをカーソルが  の時に引っ張
ると円弧ラインになります。
また、Oをダブルクリックするとまっすぐ
に戻ります。

連続補助線：連続で寸法を設定できる補助線です



垂直、平行の2種類があります
寸法を入力し、Enterキーで次の寸法を続けて入力できます

(例) 車庫、門柱、門扉など順に寸法取りをする際便利です。

※連続補助線は1本のみを消すことは出来ません。

1本だけ消したい場合は、画面右下の基本補助線ボタンを押し基本補助線へ変更してから消します。

基本補助線へ変換

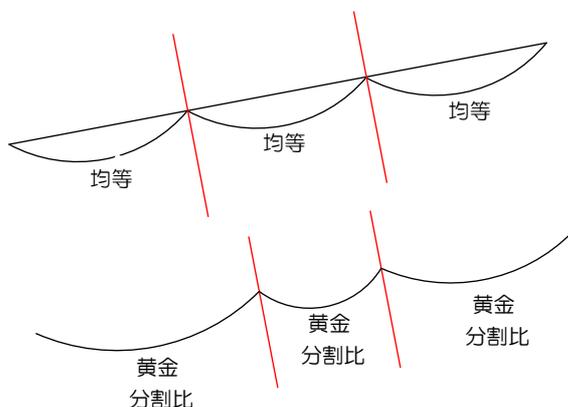
分割補助線：分割補助線を合わせたラインを分割する補助線です



分割補助線には、均等分割と黄金分割があります。

均等は均等な比率です。

黄金は黄金分割（キレイに見える比率）を自動計算します。



(例) 土間に均等な距離で見切りを入れたい際に便利です。

※基準になる図形にマウスを合わせてください。ただし、R図形は分割できません。

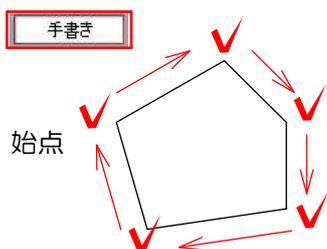
自由多角形補助線：主に四角形を描く為の補助線です



※配置した補助線をダブルクリックすると寸法変更が出来ます。

(例) 四角形を描きたいときに便利です。

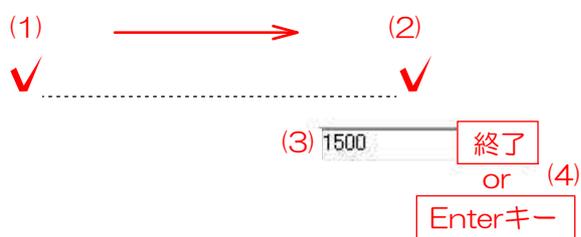
手書き補助線：自由に書ける補助線です



クリックをしながら一辺ずつ描いていきます。

（例）乱形石貼ラインや寄せ植え範囲を描く際便利です。

手書き(寸法)補助線：長さ指定しながら描ける補助線です



始点でクリックし、描きたい角度でクリックすると指定した寸法入力出来ます。

※「Enter」キーで次の辺が描けます。
終了キーで終了します。

マジックワンド：ドラッグした範囲と同じ形の多角形補助線を作成します。



作成したい形の範囲へドラッグすると、多角形補助線が作成されます。

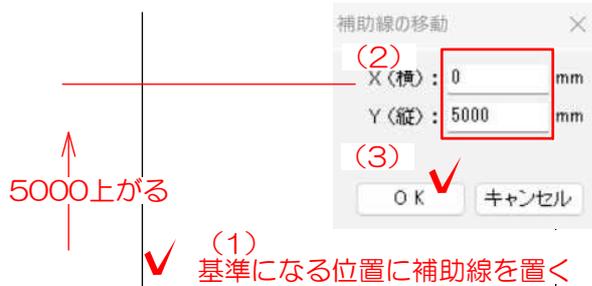
※補助線やユニットなど囲まれた範囲を拾います。図形の下に隠れている図形も対象となります。

（例）修正で同じ形の図形を作りたいときなどに便利です。

補助線の動かし方

寸法の取り方をマスターしましょう。

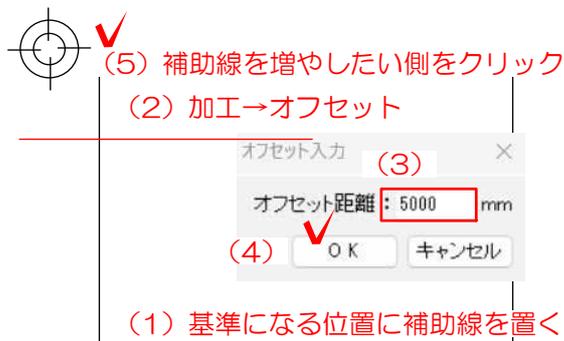
移動： 補助線を移動させて寸法を取る方法です。



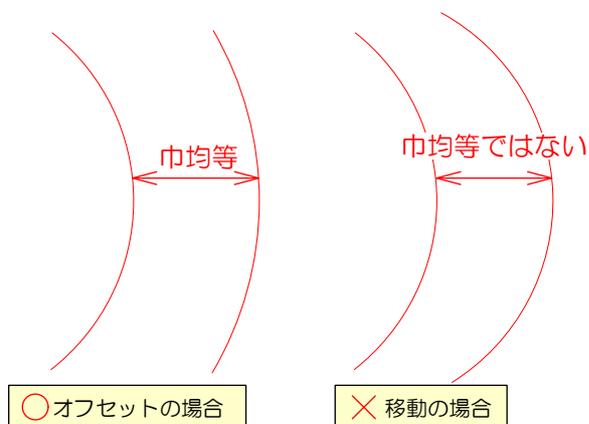
基準になる位置に補助線を置き、加工メニュー→移動で数値（座標入力）を入力します。

（例）道路境界から5000離れた所に塀を作るなどの寸法をとる際使用します。とてもよく使います。

オフセット： 基準の補助線を残してもう1本補助線を描く方法です。



基準になる位置に補助線を置き、「加工」メニュー→「オフセット」で数値（巾の距離）を入力します。カーソルが  の時に補助線を増やしたい側でクリックします。



（例）基準の補助線も残しておきたい時や、R補助線や斜め補助線の巾も数値入力できるので、巾を均一にラインを引きたい際使用すると便利です。

補助線の結合

補助線を結合し様々なラインの作成方法をマスターしましょう。



(1) Shiftキー + 2本の補助線選択



補助線を2本配置します。
2本の補助線を選択し、「編集」メニュー→「結合」をクリックすると、2本の補助線が一本の補助線になります。

(例) 基本補助線にない形状の補助線を作成する際に使用します。L字やS字のラインも結合して作れます。



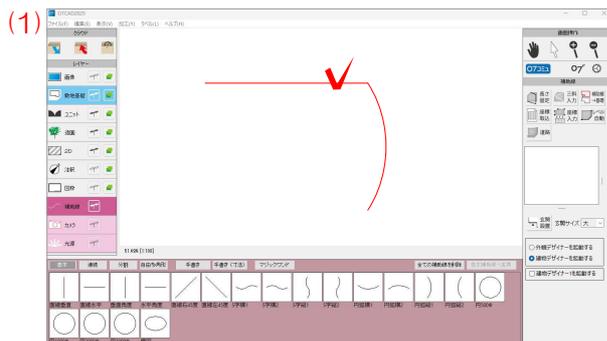
[補助線]→[補助線の結合&分解]



結合は2本ずつ選択して作業をします。
基本補助線同士を結合できます。

補助線の分解

結合した補助線を分解し、基本補助線に戻す方法です。



分解したい補助線を選択し、「編集」メニュー→「分解」をクリックします。

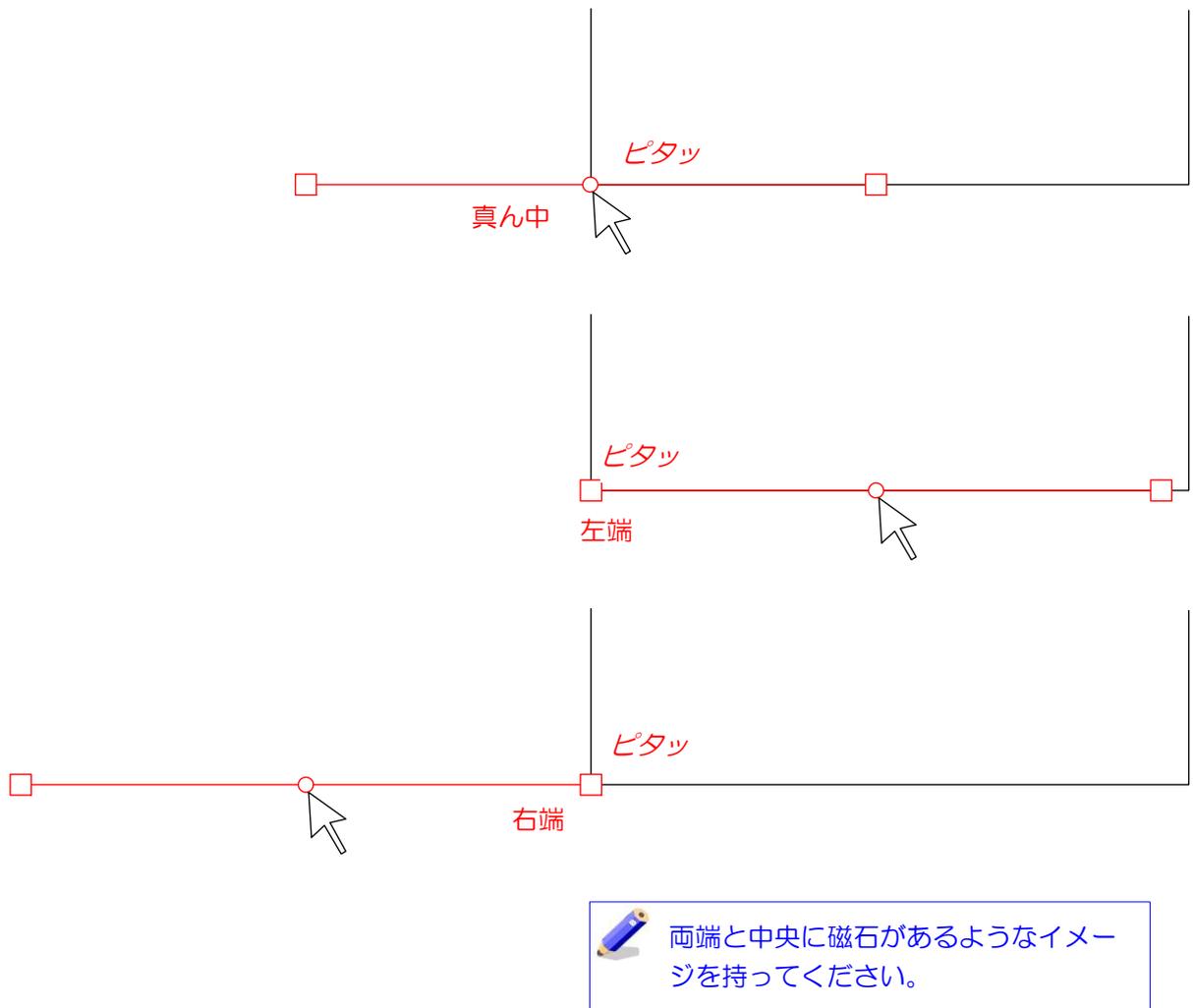


[補助線]→[補助線の結合&分解]

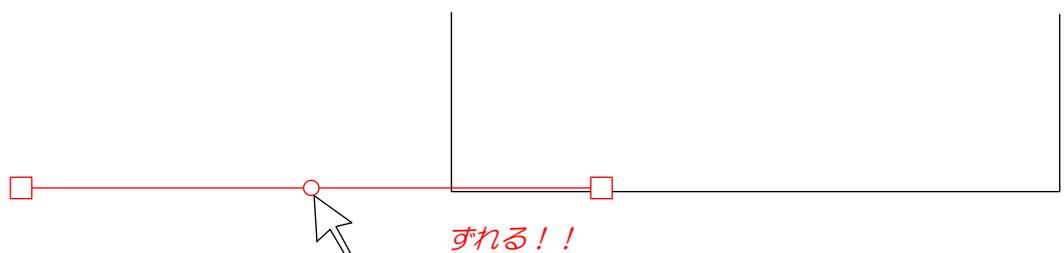
補助線のスナップ

補助線を図形にぴったり合わせるコツをマスターしましょう。吸着することを「スナップ」といいます。

カーソルの先（補助線の中央）または、補助線の端を合わせるように補助線を置きます。
図形の角や交点にカーソルを近づけた時、補助線が“ピタッ”とくっいたらマウスをはなします。



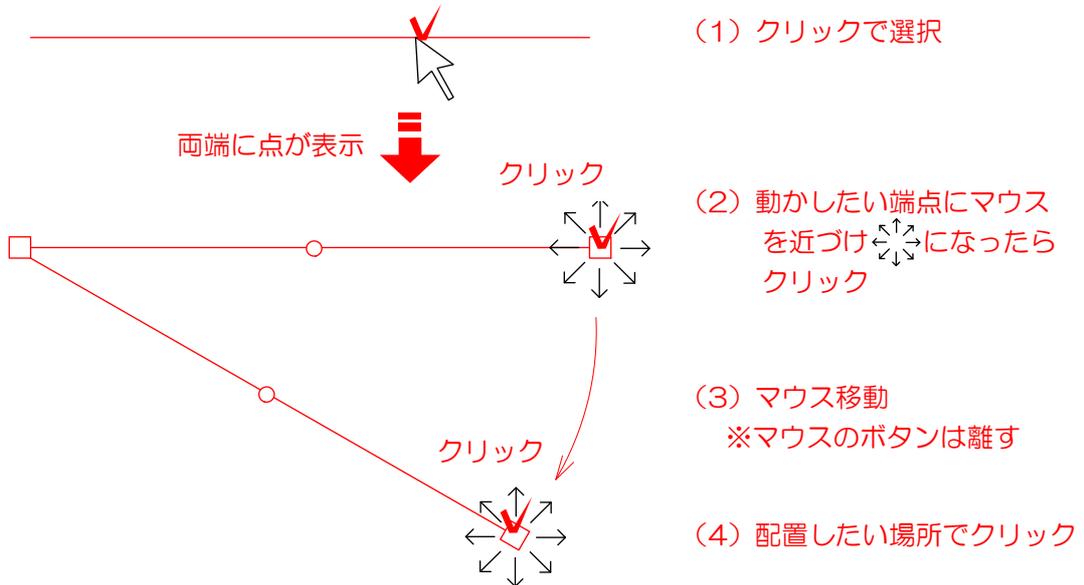
補助線の中央、両端 以外の所をあわせようとしても、スナップせずずれずれます。



補助線の伸縮方法

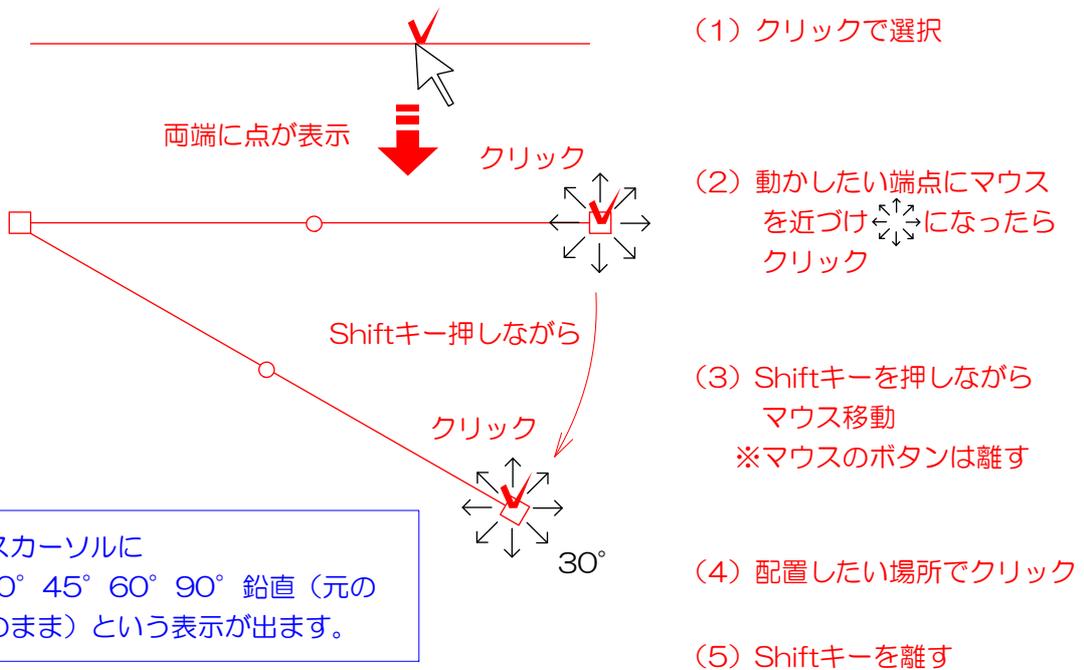
補助線を伸縮させるコツをマスターしましょう。

補助線を選択すると両端に点が表示されます。表示された端点をクリック→マウス移動→クリックで補助線の長さや角度の変更ができます。



Shiftキーを押しながら補助線の端点を動かすと角度指定ができます。

補助線を真っ直ぐ伸縮したい場合は必ずShiftキーを押して0° または90° と表示されてるのを確認しましょう。



 マウスカースルに
0° 30° 45° 60° 90° 鉛直 (元の
角度のまま) という表示が出ます。

Shiftキーを先に離してしまうと、線が歪んでしまいます。必ずクリックしてからShiftキーを離すようにしましょう。

O7CAD2025 メニュー&ショートカット一覧

ファイル	新規	Ctrl+N	CSV注釈表ファイル	
	開く	Ctrl+O	ECDファイル	
	保存	Ctrl+S	DXFファイル	
	別名保存	Shift+Ctrl+S	3DSファイル	
	別名保存(パスワード付)		Polファイル	
	パスワードを解除		OSXファイル	
	環境設定	Ctrl+K	ネットプラ10クラウド	
	下絵を取り込む		JWWファイル	
	新規CAD起動		O7ダウンロード指示(odp)ファイル	
	新しいサイドテーブルを開く		O7部品ファイル	
	現在の図面を新しいサイドテーブルで開く		STLファイル	
	ファイルの復元		環境データの取り込み(移行)	
	作業ファイルの復元		取り出し	
	強制終了ファイルの復元		O7CAD注釈表ファイル	
	7日間バックアップ		CSV注釈表ファイル	
	e-Board/O7Cargo		選択されている画像	
	e-Boardの設定	Ctrl+Alt+K	DXFファイル	
	e-Boardから開く	Ctrl+Alt+O	3DSファイル	
	e-Boardに保存	Ctrl+Alt+S	印刷イメージ	
	e-Boardに名前を付けて保存	Ctrl+Alt+Shift+S	O7部品ファイル	
	画像をe-Boardに保存	Ctrl+Alt+1	STLファイル	
	画像e-Boardから取込	Ctrl+Alt+9	環境データのバックアップ(移行)	
	ブラウザで開く	Ctrl+Alt+E	複数用紙の設定、用紙移動	Ctrl+5
e-Putの設定	Ctrl+Alt+H	用紙の大きさ		
e-Putを開く(ブラウザ)	Ctrl+Alt+E	印刷プレビュー	Shift+Ctrl+P	
取り込み		印刷	Ctrl+P	
O7CAD注釈表ファイル		緑の計画書		
画像	Ctrl+Num9	終了	Ctrl+Q	
編集	取り消し	Ctrl+Z	配列複製	Shift+Ctrl+D
	やり直し	Ctrl+Y	結合	Ctrl+J
	カット	Ctrl+X	切欠	Ctrl+I
	コピー	Ctrl+C	分解	Shift+Ctrl+J
	ペースト	Ctrl+V	全てを選択	Ctrl+A
	ペースト(同位置)	Shift+Ctrl+V	選択を反転	Shift+Ctrl+A
	削除	Del,Back	種類選択	
	複製	Ctrl+D	全レイヤーの選択を解除	

表示	画面倍率		選択表示を解除	Ctrl+]]
	初期倍率	Ctrl+Num0	注釈を常に表示	
	画面拡大	Ctrl+Num1	注釈のみ表示	
	画面縮小	Ctrl+Num2	線の太さを反映して表示する	
	等倍表示	Ctrl+Num3	拡大時に注釈線の太さを表示	
	用紙全体	Ctrl+Num4	注釈スタンプを拡大プレビュー	
	複数用紙全体	Ctrl+Shift+Num4	グリッド	F10
	平面仕上		下絵調整	F11
	モノクロ仕上		平面カラーパレット	F12
	レイヤー単位モノクロ仕上		ものさし	Ctrl+T
	画像		トレーシングペーパー	
	敷地基礎		e-tokoデザイン集	
	ユニット		e-toko建材カタログ	
	造園		シンボルデータ(ブラウザ)	
	2D		Webマニュアル(ブラウザ)	
	注釈		情報	
	図枠		公開動画一覧	
選択されたものを非表示	Ctrl+¥	リアルタイムパース	F5	
選択されたものだけ表示	Ctrl+[レベルマーカー表示・スナップ		
加工	移動	Ctrl+M	ユーザー登録する	
	回転 角度指定	Shift+Ctrl+R	ユーザー登録の編集	
	回転	Ctrl+R	最前へ	Ctrl+F
	90° 回転	Ctrl+L	最後へ	Ctrl+B
	オフセット	Ctrl+W	グループ化	Ctrl+G
	配列オフセット	Shift+Ctrl+W	グループ解除	Ctrl+U
	反転		グループに入る	Shift+Ctrl+[
	レベル一括変換	Ctrl+E	グループを出す	Shift+Ctrl+]]
	切土・盛土変換[2点]		eE-Former	Ctrl+ ;
	切土・盛土変換[1点]		シンボル変換	
	アンジュレーター		フォト添景を作成	
	整列	Ctrl+-	切断	Ctrl+ /
ラベル	ラベルの設定		ラベル表示非表示	
	ラベルを貼る／変更		ラベル選択	
	ラベル移動		全レイヤーの選択を解除	
ヘルプ	このアプリケーションについて	F1	O7ポタニカルガイド(ブラウザ)	
	お知らせ履歴		プレゼンKIT(ブラウザ)	
	お問い合わせ送信		ご存知ですか? Tips	
	認証情報の表示		スナップ状態表示	F2
			ウインドウの位置とサイズを初期化	

ツール	Z 	X 	C 	V 
-----	---	---	---	---

マウスホイール

平面(リアルタイムパース画面では別の動作になります)

上下移動：ホイール／拡大縮小：ホイール+Ctrl／左右移動：ホイール+Shift／パンカーソル：ホイール押下

※  で動作の設定変更が出来ます。

敷地レイヤー

敷地寸法の文字サイズの拡大：Ctrl+PageUp / 敷地寸法の文字サイズの縮小：Ctrl+PageDown

レイヤー移動

Ctrl+↑：一つ上のレイヤーに移動／Ctrl+↓：一つ下のレイヤーに移動／Ctrl+クリック：補助線レイヤに移動

リアルタイムパース	取り消し	Ctrl+Z	現在の視点のカメラを追加												
	やり直し	Ctrl+Y	緑視率の表示												
	削除	Delete	あおり補正												
	複製	Ctrl+D	ユーザーテキストチャイブラリ新規登録												
	配列複製	Shift+Ctrl+D	ユーザーテキストチャイブラリ内容編集												
	移動	Ctrl+M	背景画像を読み込む												
	回転		背景画像補正												
	左回転1	Shift+Ctrl+R	360° VR背景画像を読み込む												
	左回転15	Ctrl+R	3Dメモ												
	左回転90	Ctrl+L	設定												
	レベル一括変換	Ctrl+E	テキストファイル出力												
	eE-Former	Ctrl+;	07CADviewerへ出力												
	編集	Enter	印面処理出力												
	前面に表示		環境設定												
	マウスホイール	ホイール回転	<p>キーボードのテンキー</p> <table border="1"> <tr> <td>7 左斜後</td> <td>8 後</td> <td>9 右斜後</td> </tr> <tr> <td>4 左</td> <td> イメージ</td> <td>6 右</td> </tr> <tr> <td>1 左斜前</td> <td>2 前</td> <td>3 右斜前</td> </tr> <tr> <td colspan="3">0 選択中の図形 に近づく</td> </tr> </table>	7 左斜後	8 後	9 右斜後	4 左	 イメージ	6 右	1 左斜前	2 前	3 右斜前	0 選択中の図形 に近づく		
7 左斜後	8 後	9 右斜後													
4 左	 イメージ	6 右													
1 左斜前	2 前	3 右斜前													
0 選択中の図形 に近づく															
	拡大縮小	ホイール回転													
	パンカーソル	押下+ドラッグ													
	拡大	C													
	縮小	V													
	パンカーソル	Space													



作図練習

(エクステリアプラン)

テキスト内にある下図の表記は、参照マニュアルの案内です。必要に合わせて参照してください。



詳細説明 P30～



テキストのP30～に載っています。



[レベル]→[レベル一括変換]



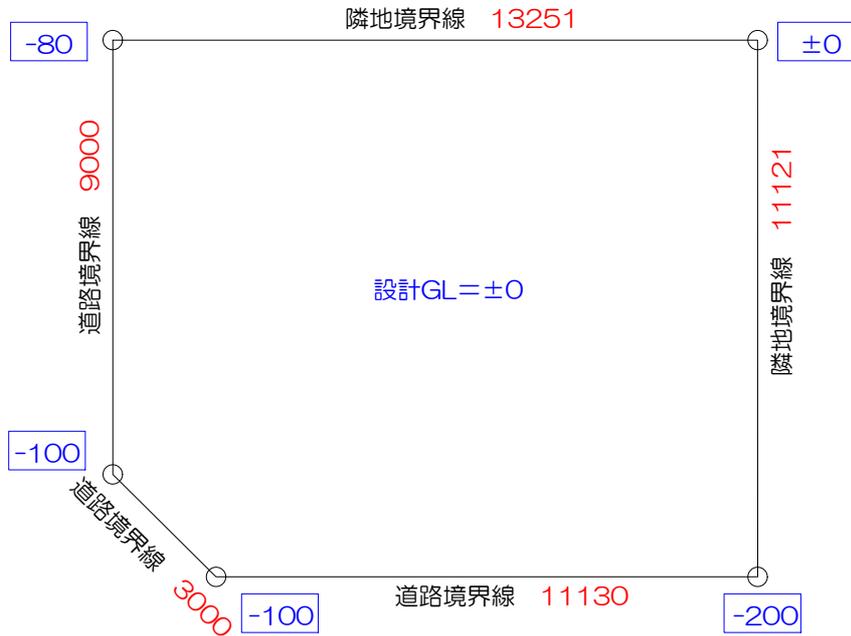
WEBマニュアルでキーワードの[レベル]をクリックし、参照マニュアルが表示されます。

※O7CADではWEBマニュアル、CambridgeではDVDマニュアルに収録されています。

※実際の操作画面は予告なく変更になる場合がございます。

敷地を描く

下の寸法を元に敷地を描いてみましょう。



敷地基礎

レイヤは「敷地基礎」

敷地形状を作成するには、右の3つの方法があります。ここでは方法1の「敷地地型」を使って作成します。

方法1 敷地地型

「敷地地型」から敷地形状に近いものを選んで、敷地を作成します。

配置した後に、寸法や辺の角度を調整します。



P47 敷地形状の調整

方法2 敷地三斜



[敷地]→[三斜]

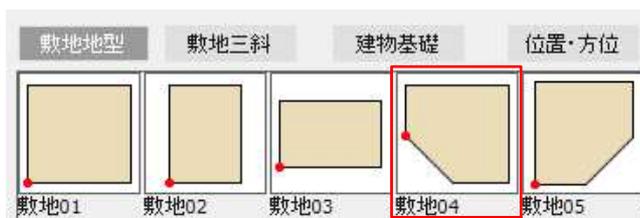
方法3 座標入力・座標取込



[敷地]→[座標入力]



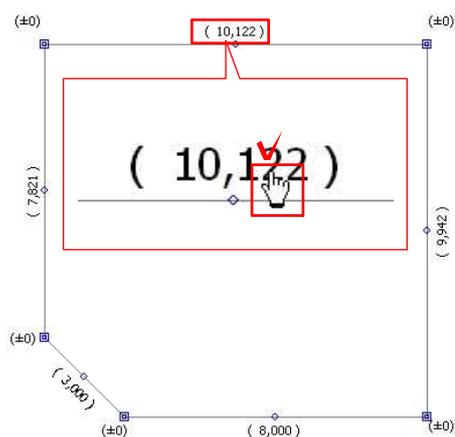
[敷地]→[座標取り込み]



1 地型入力

敷地の形を入力します。

1-1 敷地形状に一番近い地型を、作業画面にドラッグします。



2 境界長さ設定

敷地境界の寸法を入力します。



建物に平行な辺または、水平・垂直にしたい辺から数値を指定します。
今回は上の境界線から始めます。

2-1 数値を入力したい辺の数値にカーソルをあわせ になったらクリックします。

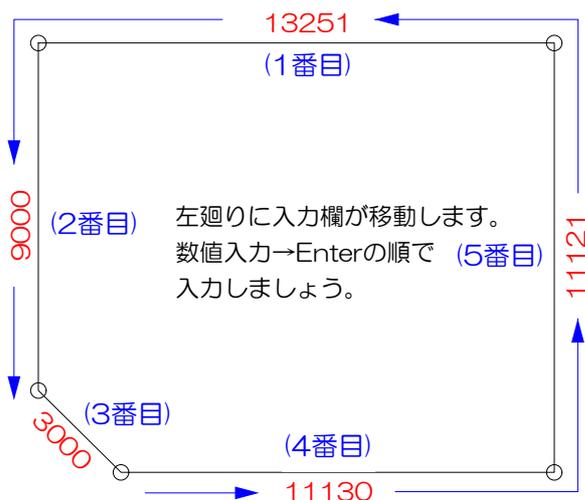
2-2 内に数値を入力し、Enterキーを押して決定します。

(10,122)

10122

入力 → Enterキー

2-3 左隣の辺に入力欄が移動するので、順に入力します。



途中で入力をやめてしまったり、右周りに入力しようとする、形が歪んでしまうことがあります。



【入力する数値を間違えたときは・・・】

間違えた場合は、敷地の外をクリックして作業を中断し、敷地を消してもう一度始めからやり直しましょう。



【敷地形状の調整】

敷地地型で入力した敷地の角度は大体です。数値を入力する順番、配置した敷地形状の角度によって形が思ったようにできないことがあります。

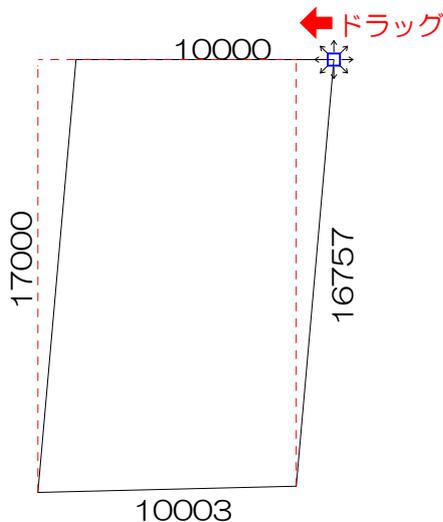
数値を入力して形が歪んでいる場合は、以下の方法で調整しましょう。

1-1



ボタンの色が黒っぽくなります。

1-2



1-3



ボタンの色が薄くなります。

方法1 長さ固定

入力した境界線の長さは変えずに、頂点を移動することで辺の角度を変えます。隣の点を押すようにして調整します。

1-1 敷地基礎レイヤを選択し、画面右側の「長さ固定」をクリックします。

1-2 変形したい敷地の頂점에カーソルを合わせ、 になったらドラッグして形を調整します。

頂点を押すような感じで動かしましょう。

Shiftキーを押しながらドラッグすると、移動する点を水平・垂直にする事ができます。

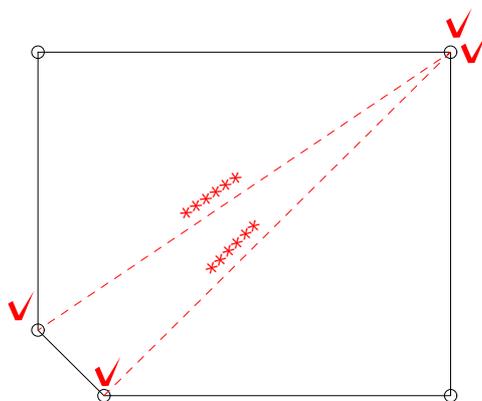
1-3 調整が終わったら、「長さ固定」をクリックして終了です。

方法2 三斜入力

対角線を引いて三斜数値を入力することで、形状を調整します。対角線部分の長さがわかる測量図が必要です。



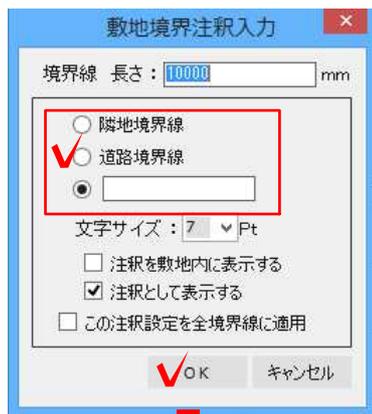
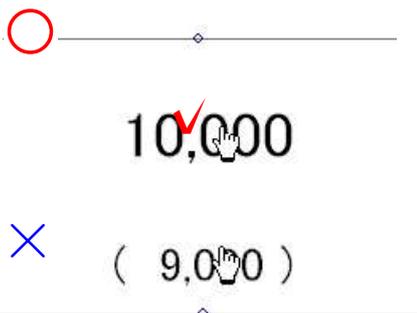
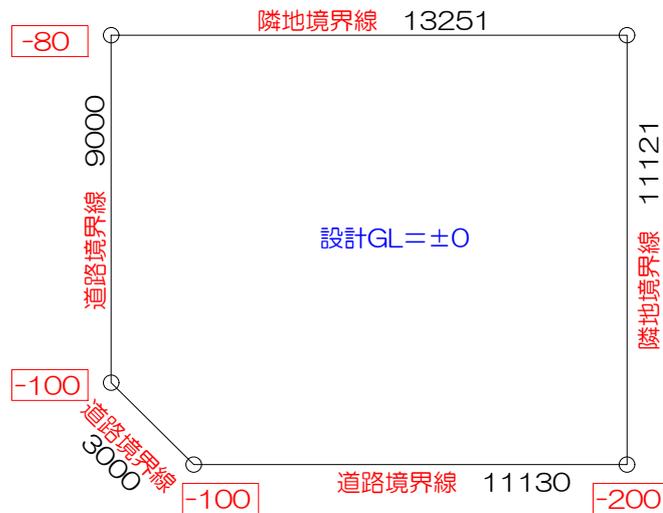
[敷地]→[三斜入力]



「三斜入力」をクリックし、対角をクリック。
数値を入力して形状を調整します。

敷地の注釈とレベルを入れる

下の図を元に敷地の注釈とレベルをいれてみましょう。



道路境界線 10,000

1 敷地注釈の入力

「道路境界線」「敷地境界線」などの注釈を入力します。

1-1 注釈を入力したい辺の数値にカーソルをあわせ  になったらクリックします。

 数値に () がついている時は注釈の設定ができません。長さを入力し、確定してから設定を行ってください。

1-2 入力したい注釈を選択し、OKをクリックして設定が完了します。

 「隣地境界」「道路境界」以外の注釈を入力したい場合は に入力してください。

 「この注釈設定を全境界に適用」で他の辺全てを同じ設定にすることができます。

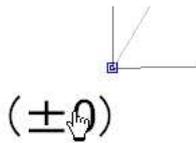


【敷地の注釈を印刷するには・・・】

敷地の注釈は、注釈レイヤで「敷地注釈」ボタンを押すことで印刷できるようになります。この時点では、まだ設定が終わっただけで印刷には出ません。



[注釈レイヤ]→[敷地寸法を印刷]



敷地レベル入力

隣地道路レベル： mm

文字サイズ： Pt

注釈として表示する

宅盤レベル：

OK

2 レベル(高低差)設定

敷地の高低差を入力します。

2-1 数値を入力したい頂点の数値にカーソルをあわせ になったらクリックします。

2-2 「隣地道路レベル」に数値を入力し、「OK」をクリックします。



O7CADのレベル基準は「建物を建てる高さ=GL±0」です。

2-3 各頂点にレベルを入力しましょう。(レベルが±0の場合は入力する必要はありません。)



【道路の「BM±0」を基準にしたいときは・・・】

敷地レベル入力

隣地道路レベル： mm

文字サイズ： Pt

注釈として表示する

宅盤レベル：

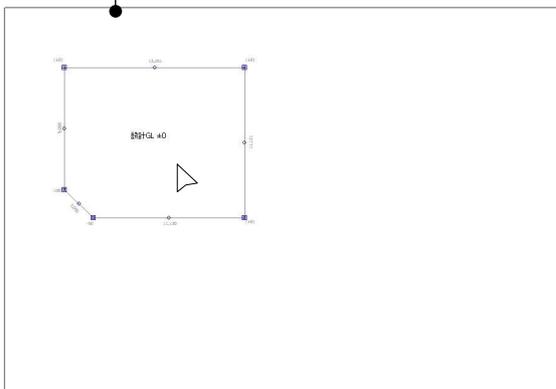
敷地の頂点レベルをクリックし、敷地レベル入力画面で「宅盤レベル」に「100」と入力すると、建物を建てる高さが「+100」となります。

道路を±0としたい場合はここで調整しましょう。



[敷地]→[設計GLを変更する]

グレーの枠が用紙サイズです。



3 敷地レイアウト

敷地を用紙内に配置します。

3-1 用紙枠内に敷地が収まるようにドラッグで位置を調整します。



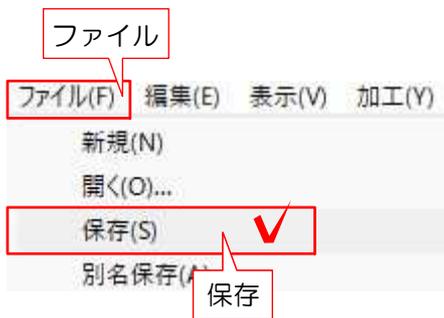
ドラッグする時は敷地の中心辺りを押さえましょう。



図面を描いた最後に用紙の位置を調節することができます。ここではだいたいの位置を決めておきましょう。

保存する

ある程度図形ができたなら保存しましょう。



1 保存

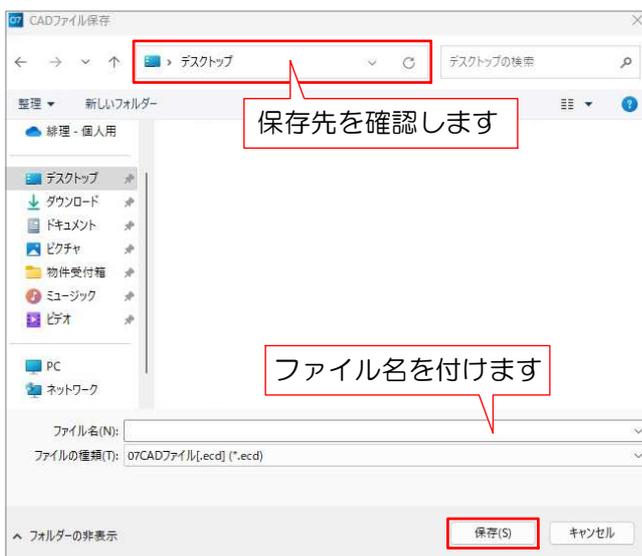
敷地が描いたらデータを保存します。

1-1 「ファイル」メニューから「保存」をクリックします。

1-2 保存先を確認して、ファイル名を入力します。

名前を「練習」と付けておきましょう。

1-3 「保存」をクリックして完了です。



【自動保存】

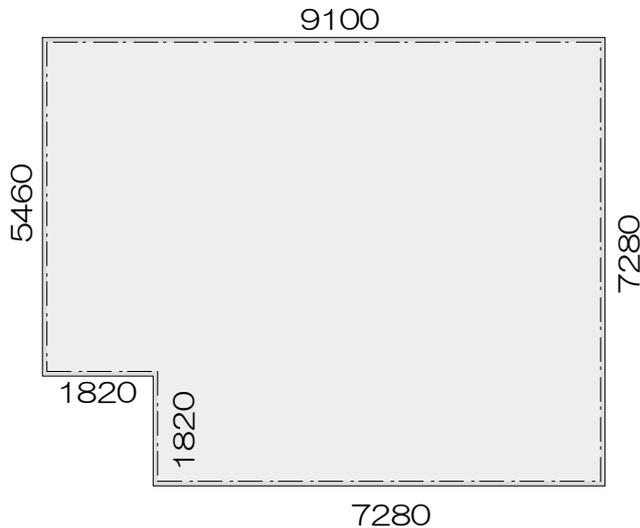
O7CADは10分おきに「保存しますか?」と表示されるように設定されています。初回はファイル名をつけて保存し、以後は上書きで保存されます。作図中は保存を忘れやすくなっていますので、気が付いた時に保存しましょう。



[環境設定]→[環境設定]

建物基礎を描く

下の寸法を元に建物基礎を描いてみましょう。ここでは「方法1」で作成します。



方法1 スタンプ

シンプルな形状の基礎を作成する時に使用します。スタンプ画面の建物基礎を使って寸法を入力します。

方法2 補助線→基礎

補助線を使って基礎の形を作り、建物基礎に変換します。袖壁や独立基礎などがある時、建物の形状が複雑な時に使用します。



P53 補助線→基礎

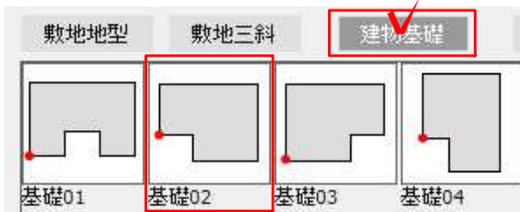
[建物基礎]→[建物基礎について概要]



敷地基礎

レイヤは「敷地基礎」

方法1 スタンプ



1 建物基礎入力

建物基礎の形を入力します。

1-1 建物基礎をクリックし、建物基礎の形状に一番近い型を、作業画面にドラッグします。



一番長い辺から入力します。
今回は上の辺から始めます。



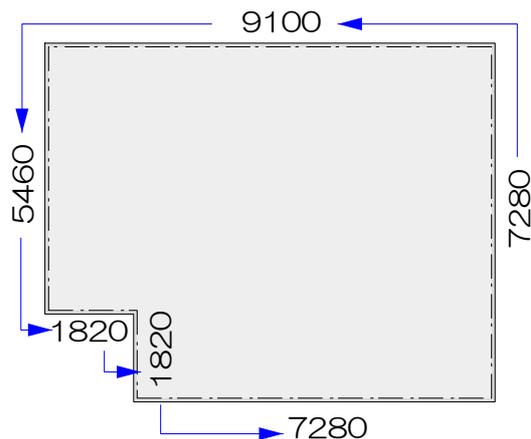
入力 → Enterキー

2 建物基礎設定

建物基礎の寸法を入力します。

2-1 数値を入力したい辺の数値にカーソルをあわせ、マウスをクリックします。

2-2 内に数値を入力し、Enterキーを押して決定します。



2-3 左隣の辺に入力欄が移動するので、順に入力していきます。

各辺に入力すると左図のようになります。

途中で入力をやめてしまったり、右周りに入力しようとする、形が歪んでしまうことがあります。

【入力する数値を間違えたときは・・・】

間違えた場合は、基礎の外をクリックして作業を中断し、基礎を消してもう一度始めからやり直しましょう。

【グリッドの表示】

建物基礎を描き終えたら、グリッド（用紙範囲内に表示されている格子状のマス目）を非表示にしましょう。外構を描くときはグリッドは非表示の方が描きやすくなります。



1 グリッドを非表示にする

1-1 「表示」メニューの「グリッド」をクリックします。

画面上に表示されていたグリッドが見えなくなります。もう一度同じ作業をすると、グリッドが表示されます。



レイヤは「敷地基礎」と「補助線」

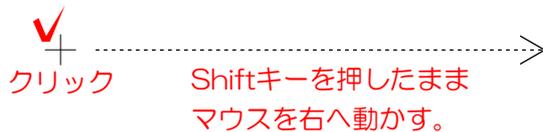
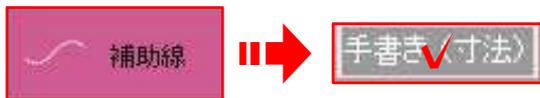
方法2 補助線→基礎

今回は作業しません。先に進みましょう。

補助線を使って基礎の形を作り、建物基礎に変換します。袖壁や独立基礎がある時、建物の形状が複雑な時に使用します。

1 補助線入力

建物基礎の形に補助線を描きます。



1-1 レイヤを補助線にし、手書き(寸法)をクリックします。

1-2 画面上でクリックし、Shiftキーを押したまま右へマウスを動かします。

この時、マウスのボタンは離れた状態で右へ動かしましょう。Shiftキーはしっかり押さえておきましょう。

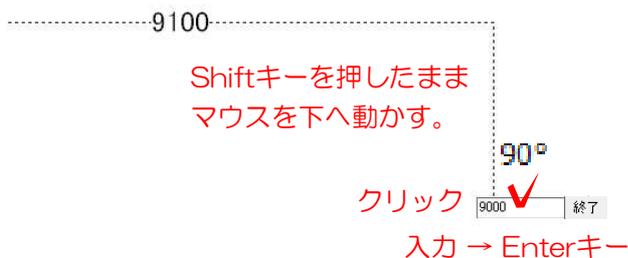


1-3 点線がある程度の長さになったら、「0°」と表示が出ている状態でクリックします。

Shiftキーはクリックしてから離します。



1-4 []が表示されたら、辺の長さを入力してEnterキーを押します。



1-5 マウスを動かすと次の辺の角度指定ができる状態になっているので、Shiftキーを押したまま下へマウスを動かします。

1-6 点線がある程度の長さになったら、「90°」と表示が出ている状態でクリックします。

1-7 []が表示されたら、辺の長さを入力してEnterキーを押します。

1-8 この繰り返しで建物の寸法を入力し、基礎の形の補助線を描きます。

【辺の寸法や角度を間違えたときは・・・】

数値を入力してEnterキーを押した後の状態（マウスを動かすと点線がついてくる）で「Ctrlキー+Z」を押します。
作業を1つ戻ることができるので、再度入力しなおしましょう。

【袖壁、独立基礎があるときは・・・】

袖壁、独立基礎は補助線を部分的に追加して描きます。



[建物基礎]→[独立基礎、柱、袖壁の作り方]

2 建物基礎に変換

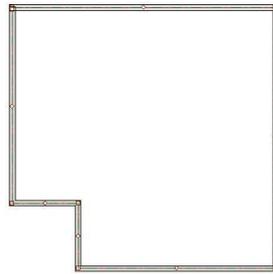
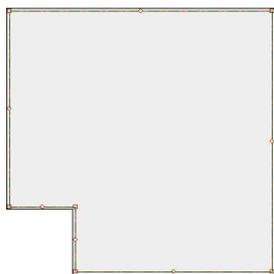


作成した補助線を基礎に変換します。

2-1 基礎の形に描いた補助線を選択し、画面右上の「補助線→基礎」をクリックします。

補助線と同じ場所にグレーの基礎ができます。

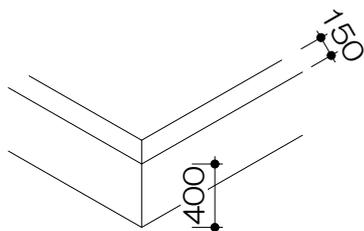
【作成された基礎の内側が白くなったときは・・・】



元の補助線の角に隙間ができていると内側が白い基礎ができます。補助線の隙間ができないように描き直して基礎に変換しましょう。



【基礎の初期設定】



基礎の初期設定は
 基礎の高さ：設計GLから+400
 基礎の厚み：150
 深基礎：なし
 となっています。必要があれば設定を変更しましょう。



【深基礎にしたいときは・・・】

プランによっては基礎を深く（設計GLよりも下から基礎ができています）したい場合があります。上記の初期設定を変更して深基礎にする事ができます。



基礎レベル入力 ✕

基礎の長さ： mm

宅盤からの天端高：

宅盤レベル：

総基礎高：

宅盤からの下端高：

この下端高を基礎内すべてに適用：

基礎厚：

OK キャンセル

1 深基礎設定

1-1 数値を入力したい辺の数値にマウスをあわせ になったらクリックします。

1-2 変更したい項目を設定し、OKをクリックして設定が完了します。

宅盤からの天端高：

GLからの基礎の高さ

宅盤レベル：

ここでは変更できません。

敷地のレベルで設定します。

総基礎高：

自動表示のため設定できません。

宅盤からの下端高：

GLから下の基礎高さ。「-」は不要。

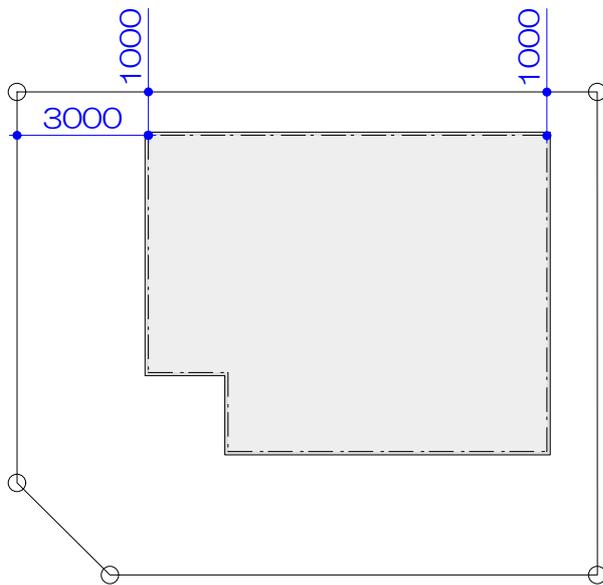
基礎厚：基礎の厚み

この基礎設定を全基礎に適用：

を入れると全ての辺に適用されます。

敷地に基礎を配置する

下の寸法を元に建物基礎を配置してみましょう。



敷地に基礎を配置する方法

基礎を敷地内に配置すると、基礎の各頂点から敷地境界までの距離が表示されます。この数値を調整して配置します。



作図をする時の基本として基礎は水平・垂直に配置します。基礎の角度に合わせて敷地を回転などで調整しましょう。

基礎が斜めになると、アプローチや玄関ポーチも斜めになり、設定などが必ず必要になります。作図の手間を減らすには基礎を水平・垂直に配置することがポイントです。



敷地基礎

レイヤは「敷地基礎」

1 配置寸法入力

建物基礎の配置寸法を入力します。

1-1 レイヤを「敷地基礎」にします。

1-2 数値を指定したい数字にカーソルを合わせ、 になったらクリックします。



【数値が表示されないときは・・・】

下記の場合は境界までの数値が表示されません。

- ・ 建物基礎が敷地からはみ出している → 敷地の中へ移動しましょう。
- ・ 建物基礎を選択していない → 建物基礎の内側（グレーの部分）をクリックしましょう。
- ・ 敷地と建物基礎が選択されている → 建物基礎だけを選択しましょう。

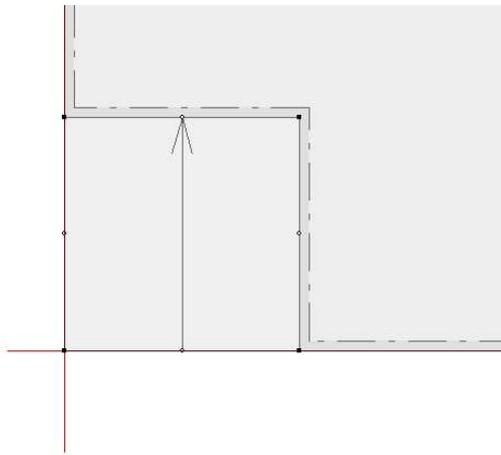


1-3 内に数値を入力し、Enterキーを押して決定します。

基礎が指定した数値の位置へ移動します。配置ができれば保存しましょう。

玄関ポーチを配置する

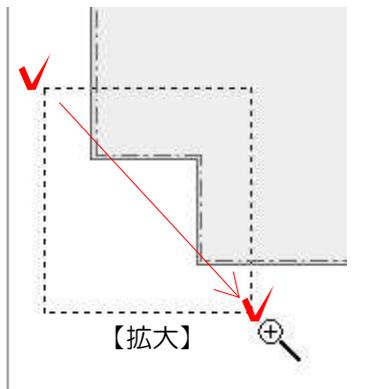
下の図を元に玄関ポーチを配置しましょう。



玄関ポーチはユニットの「階段」を使用します。



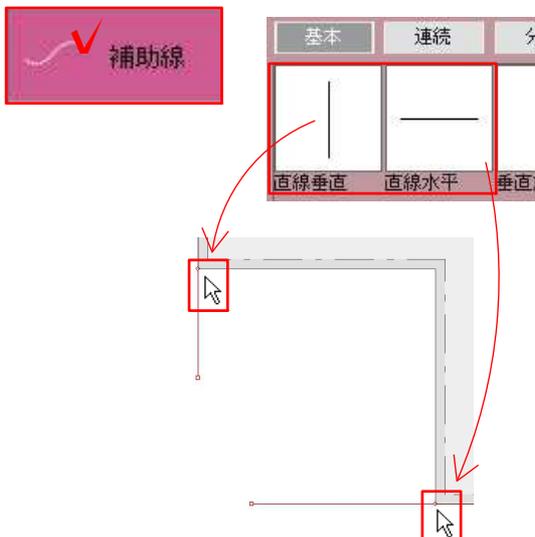
レイヤは
「ユニット」と「補助線」



1 補助線入力

玄関ポーチを配置する為の補助線を引きます。

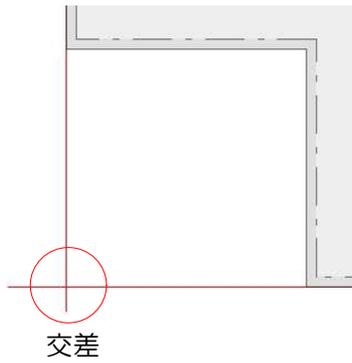
1-1 玄関ポーチが大きく見えるように拡大します。



1-2 レイヤを「補助線」にし、基本の「直線垂直」「直線水平」をそれぞれ建物基礎の角に配置します。



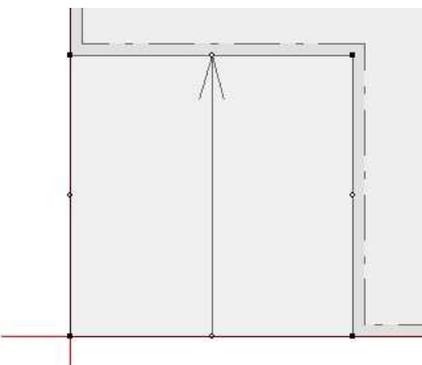
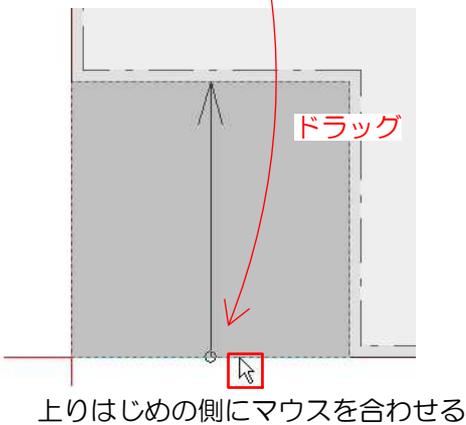
補助線を配置する際は、基礎の角にカーソルを合わせて配置しましょう。



左図の状態に補助線を調整します。

1-3 配置した補助線が短い場合は、マウスを使って伸ばしましょう。

端点は左図のようにピッタリのところで止めずに**交差**している状態にします。



2 階段配置

玄関ポーチは階段を使用します。

2-1 レイヤを「ユニット」にします。

2-2 画面下の階段ユニットから「タイル300角」を補助線の内側へドラッグします。この時矢印が階段を上る方向を向くようにしてマウスをはなします。



階段の1段目のラインにマウスを合わせると、上る方向へ矢印が伸びます。

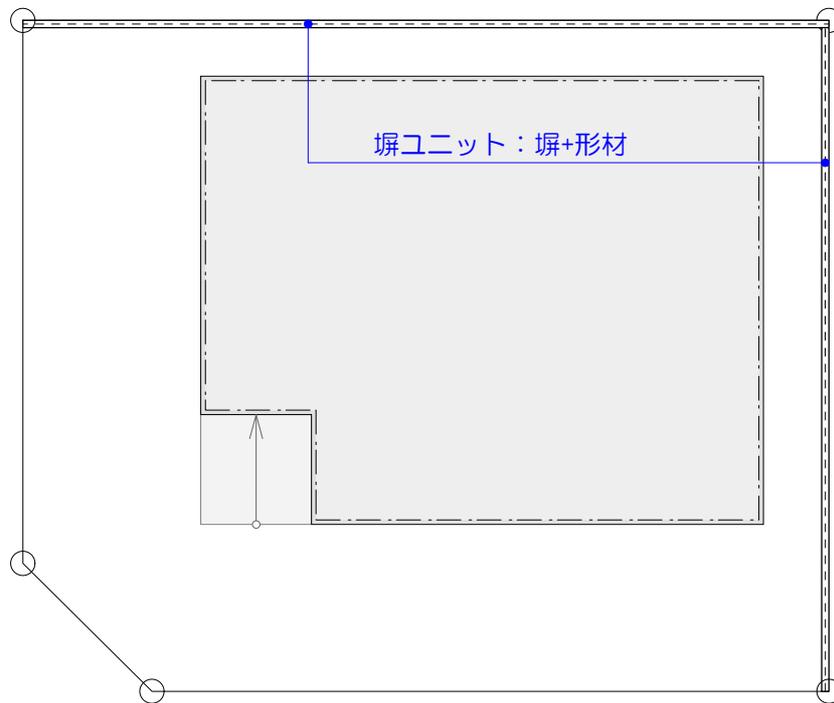
矢印の向きは「上がる」方向を指します。階段が高い方向に向かって矢印が伸びるようにしましょう。

階段の配置ができました。
他の図形を配置した後に設定をします。

保存しましょう。

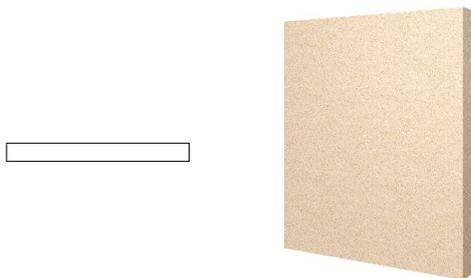
塀を配置する

下の図を元に塀を配置しましょう。

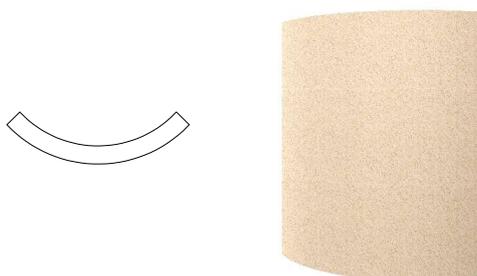


レイヤは「ユニット」と「補助線」

塀は「ユニットレイヤ」で配置します。塀は図形に吸着します。配置する前に吸着させる為の補助線を引いておきます。



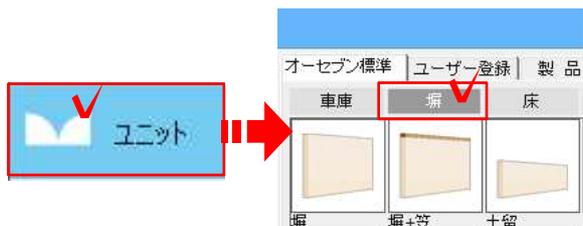
いろいろな形の補助線を作れば、塀をその形にすることができます。



1 ユニット配置

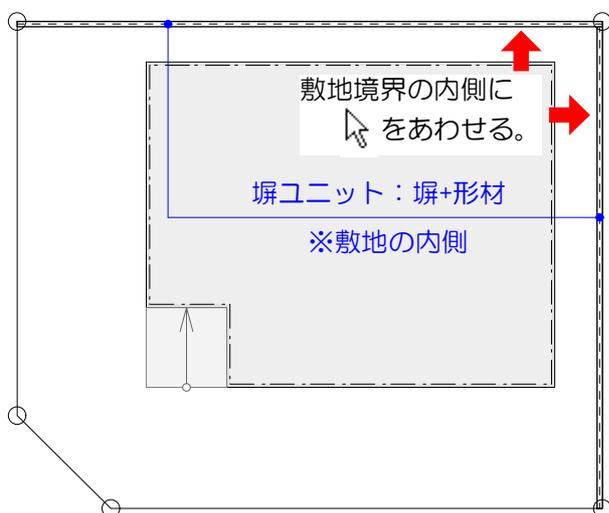
敷地境界塀を配置します。

 道路境界・隣地境界から配置していきましょう。



塀を配置します。

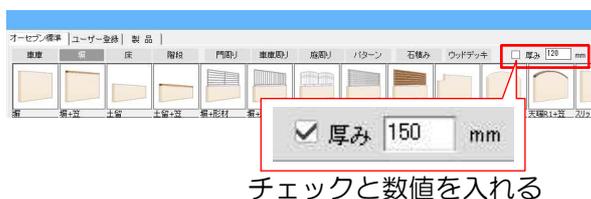
1-1 レイヤを「ユニット」、画面下のスタンプ画面で「塀」を選択し、「塀+形材」を上と右の敷地境界の内側へドラッグします。



 左図を参考に入力しましょう。この時、敷地境界の内側・外側・中心の位置を確認しましょう。マウスを線に合わせた位置で塀の配置が決まります。



【塀の厚み】



塀は通常、120の厚みで配置されるように設定しています。

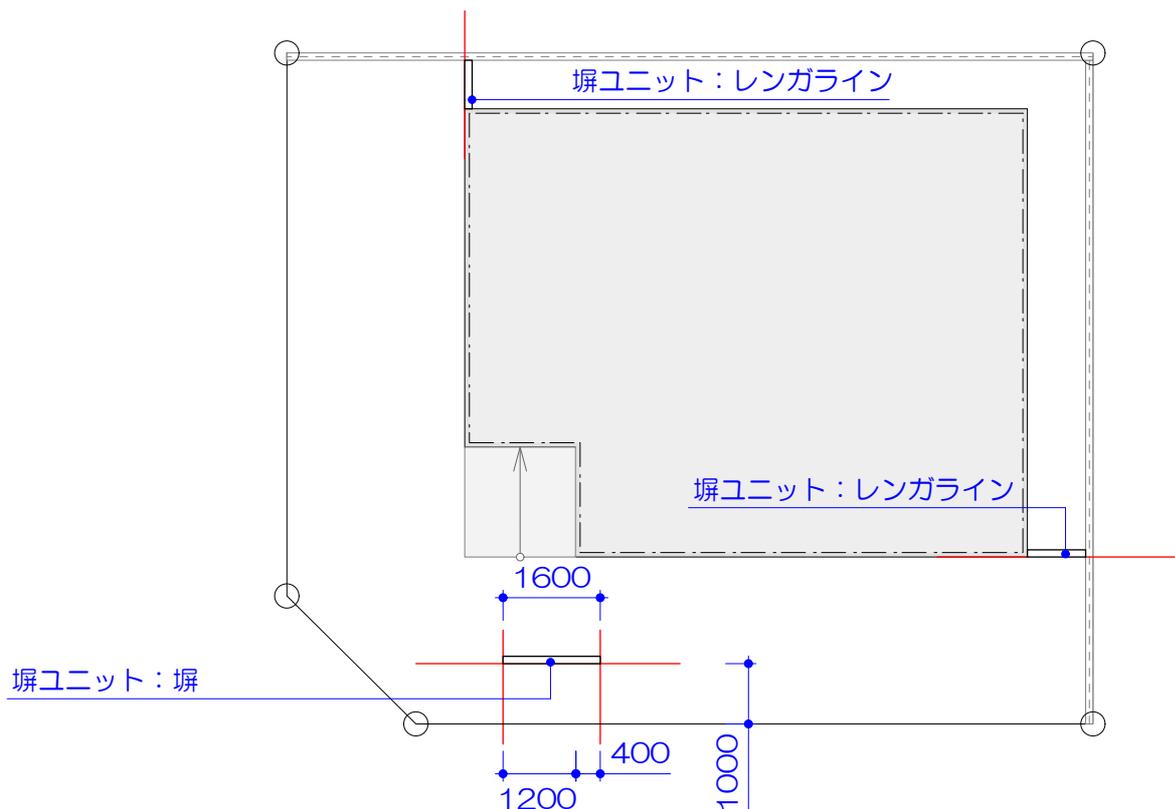
ブロック厚を100や150、200などに変更したい場合は、塀ユニットの上にある「厚み」にチェックと数値を入れてから配置します。



塀を配置後、画面右上のユニットで厚みや長さを変更することもできます。

配置後に数値を変更することもできます。

他の塀も配置しましょう。

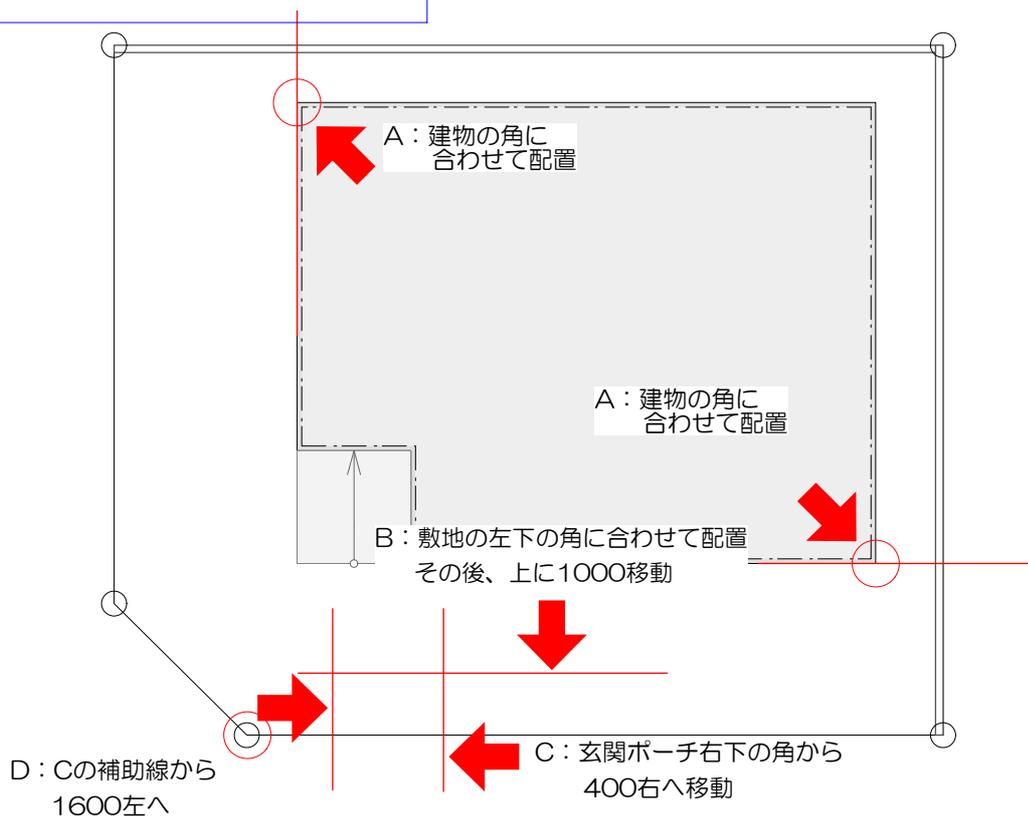


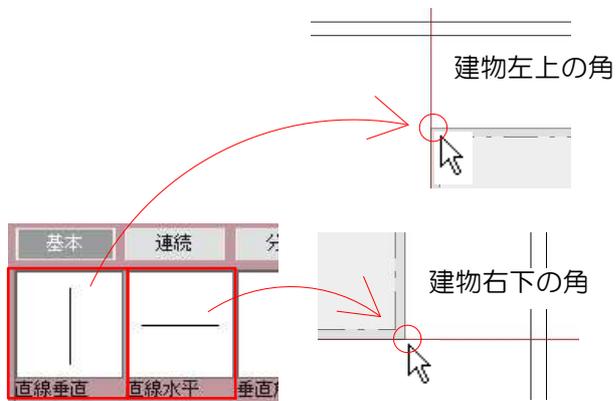
2 補助線配置

 画面の拡大、縮小をして敷地全体が見えるようにしましょう。

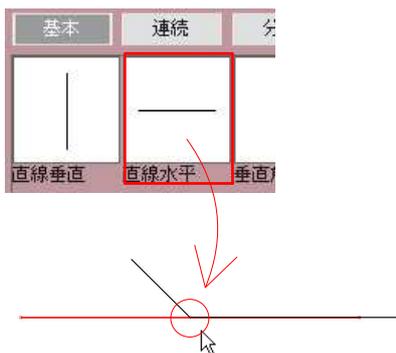
塀を配置する為の補助線を配置します。

レイヤを「補助線」にし、A~Dを配置します。



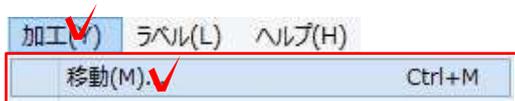


2-1 Aの線(2ヶ所)を配置します。レイヤを「補助線」にし、基本の「直線垂直」「直線水平」を建物基礎の角にマウスの先を合わせて配置します。



2-2 Bの線を配置します。2-1同様に基本の「直線水平」を敷地の左下の角にマウスの先を合わせて配置します。

 Bの補助線は道路境界から上に1000の位置にあります。だいたいの位置へ補助線を配置すると、どこが1000の位置かわかりません。まず、基準となる道路境界線に合わせて補助線を配置しましょう。



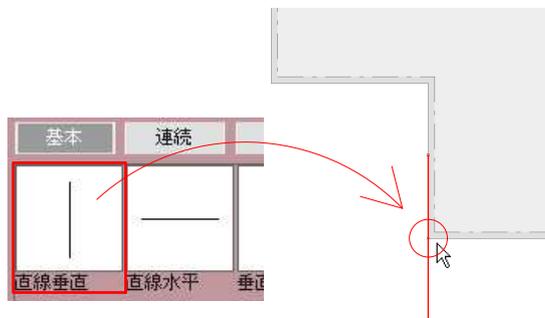
2-3 配置した補助線が選択された状態で「加工」メニューから「移動」をクリックし移動させたい数値を入力します。



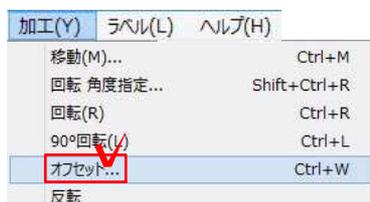
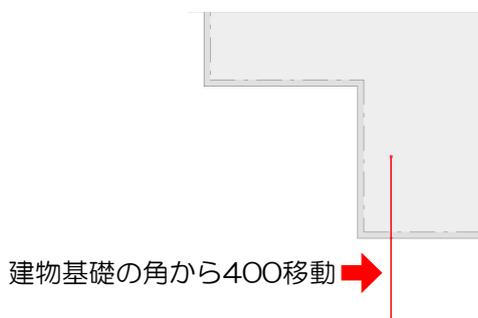
2-4 道路境界線から上に1000なので「Y=1000」と入力します。



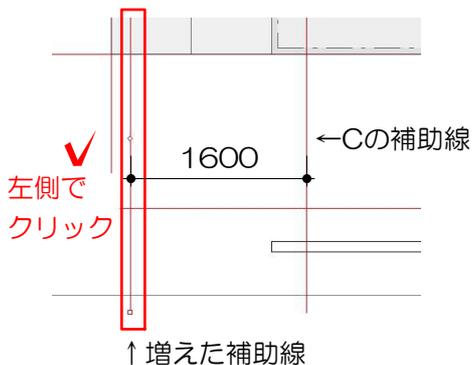
2-5 「OK」を押すと、補助線が道路境界線の1000上に移動します。



2-6 Cの線を配置します。基本の「直線垂直」を建物基礎の角に の先を合わせて配置をし、加工メニューの移動で右へ400移動します。



2-7 Dの線を配置します。Cの補助線を選択し、加工メニューのオフセットで [1600] と入力し、OKを押します。



2-8 Cの補助線の左側でクリックすると左へ1600の位置に補助線が増えます。

2-9 各補助線を前ページのサンプルのように長さを調整します。

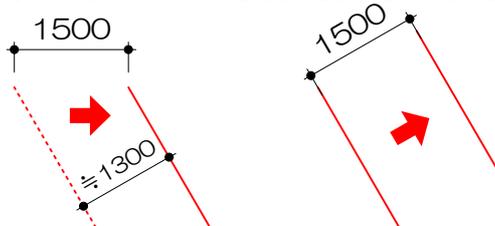
 【移動とオフセットの違い】

移動は選択した図形を動かす機能です。
 オフセットは選択した補助線を複製し、指定した距離の位置へ動かす機能です。
 この違いを覚えておきましょう。

以下は補助線を選択して移動した場合と、オフセットをした場合の中のとり方です。

・斜めの直線に1500巾をつけた場合

【移動】巾は≒1300 【オフセット】巾は1500

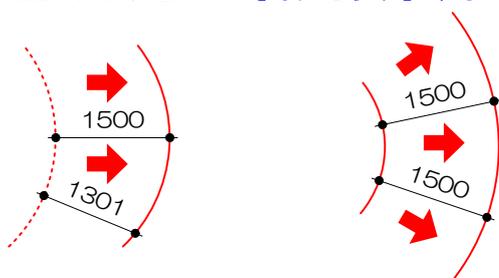


【移動】

水平・垂直方向に移動します。Rや斜めの場合、指定した数値よりも巾が狭かったり、場所によって巾が異なります。

・R補助線に1500巾をつけた場合

【移動】巾は不定 【オフセット】巾は1500



【オフセット】

補助線がどんな角度、形状であっても一定の巾をとります。元の補助線が残るので、アプローチを作る時などに使用します。

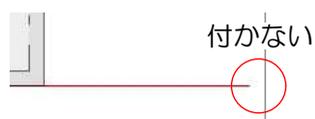
 【塀が途中で止まってしまうときは・・・】

(1) 配置した塀を端まで伸ばす。

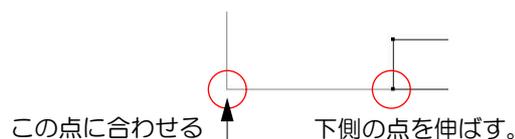


塀を配置した時に敷地境界の端まで塀が伸びない時は、塀が止まったところに補助線が交わっている時です。左記のどちらかの方法で調整しましょう。

(2) 補助線を短くして境界に付かないようにしてから塀を入れる。

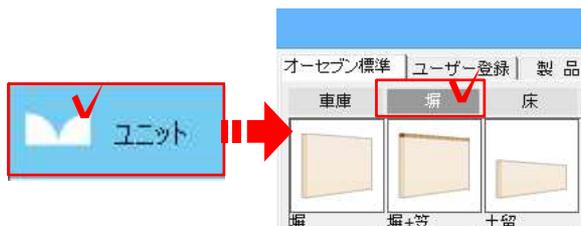


※ 伸ばす場合は、合わせたい点がある側の塀の角を動かしましょう。



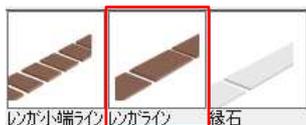
※(1)の方法は、塀が直線の場合に使用できます。

曲線や、結合した補助線、手描きで描いた補助線の場合は、切断されてしまう補助線や図形を避けて、(2)のような状態で塀を入れましょう。



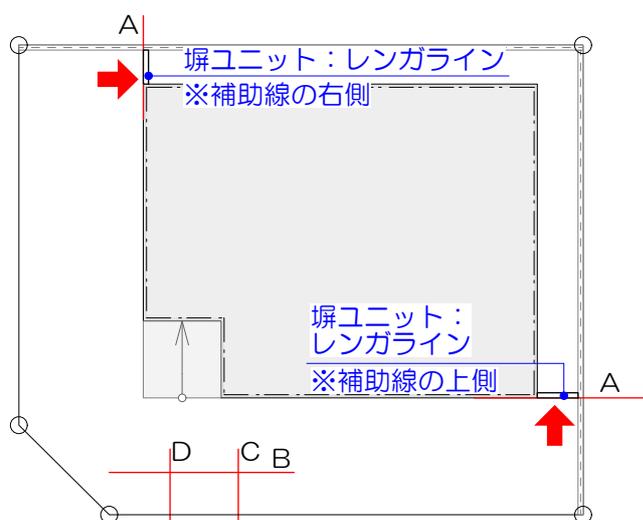
3 ユニット配置

A~Dの補助線に塀を配置します。



レンガラインと塀を配置します。

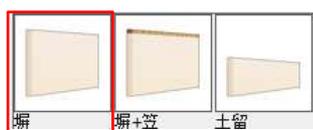
3-1 レイヤを「ユニット」、画面下のスタンプ画面で「塀」を選択し、「レンガライン」を左上と右下の補助線へドラッグします。



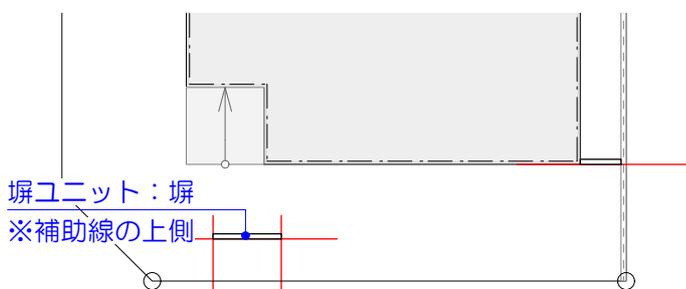
左図を参考に入力しましょう。この時、補助線のどちら側についているか？確認しましょう。マウスを離す時の位置に塀が配置されます。

レンガライン：
補助線の右側と上側にマウスを合わせる。

3-2 同様に「塀」を左図のように補助線の上側へドラッグします。



左図を参考に入力しましょう。この時、補助線のどちら側についているか？確認しましょう。マウスを離す時の位置に塀が配置されます。

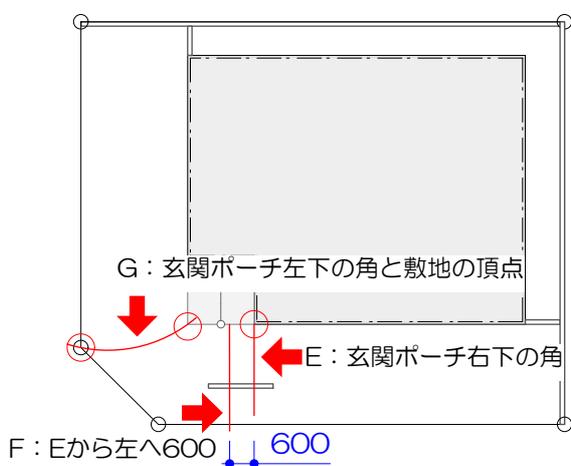
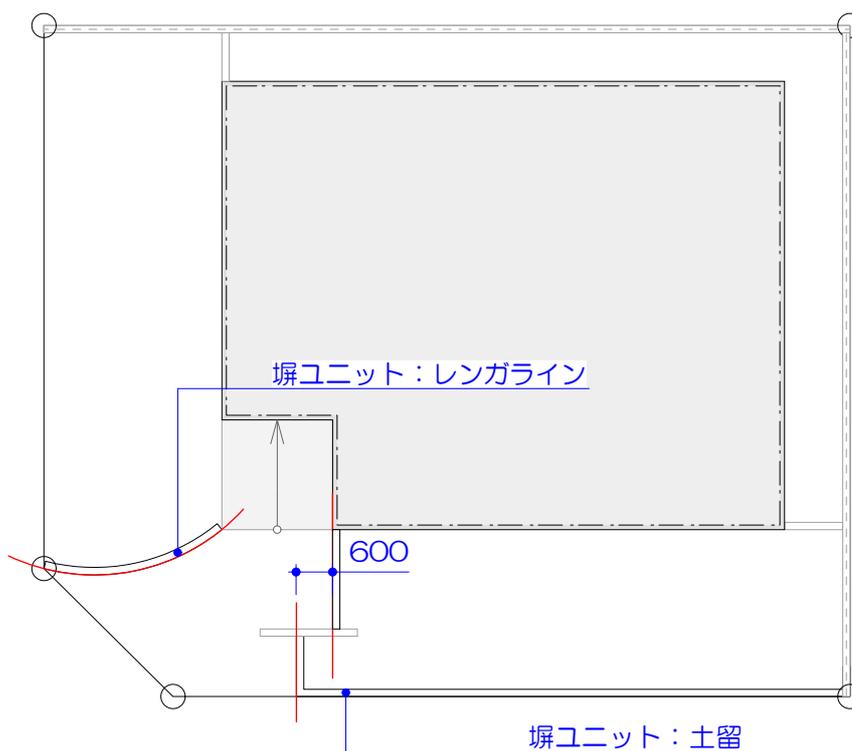


塀：補助線の上側にマウスを合わせる。
補助線が縦の補助線より短い場合は、横の補助線の右端をShiftキーを押しながら上図のように延ばしましょう。

補助線を延長させる場合は以下の手順で延ばします。
補助線を選択>端点をクリック>Shiftキーを押したままマウスを移動>延ばしたいところでクリック>Shiftキーを離す。
※Shiftキーを押している間、補助線は延長線上に固定されています。

B・C・Dの補助線を削除しておくこと次の作業がしやすくなります。

レンガラインと土留の塀を入れてみましょう。



4 補助線配置

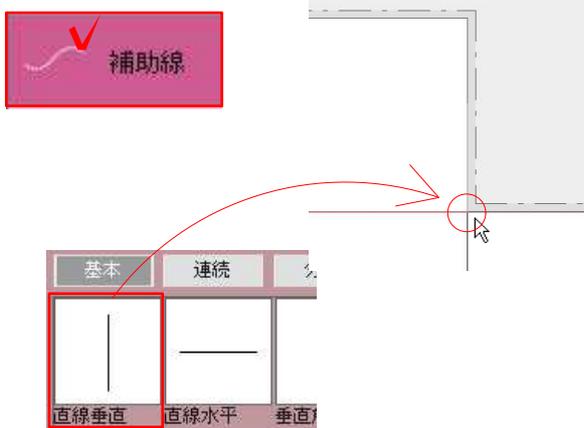
レンガラインと土留の塀を配置する為の補助線を配置します。

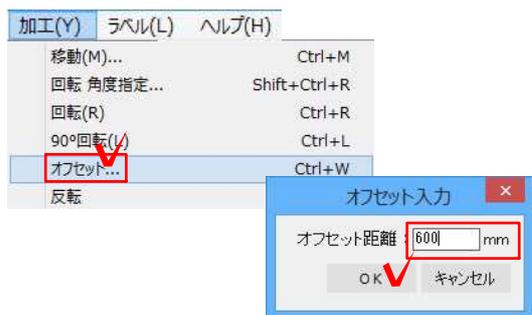
 画面の拡大、縮小をしてアプローチ周辺が見えやすいようにしましょう。

レイヤを「補助線」にし、E~Gを配置します。

すでに引いた補助線が残っている場合は4-1の作業は必要ありません。

4-1 EとFの線を配置します。レイヤを「補助線」にし、基本の「直線垂直」を玄関ポーチの右下の角に  の先を合わせて配置します。

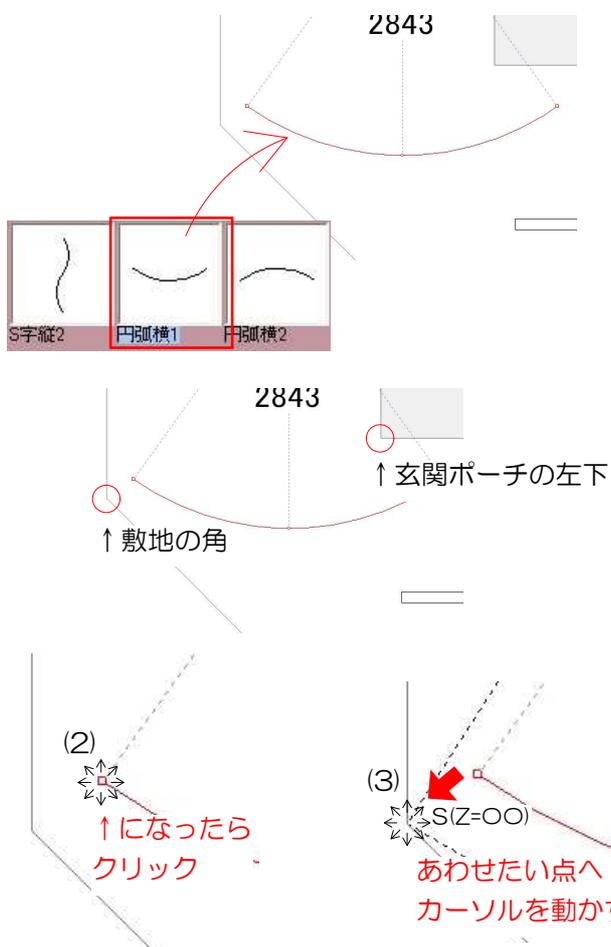
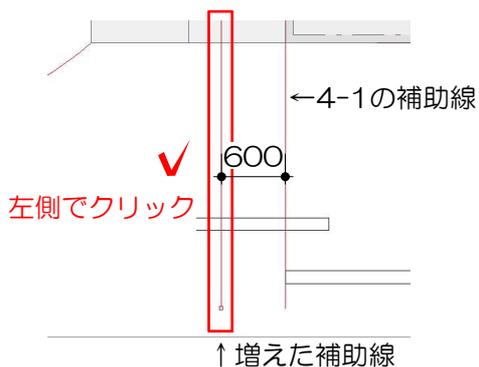




4-2 1で引いた補助線を選択した状態で、加工メニューのオフセットで、[600]と入力し、OKを押します。

4-3 選択している補助線の左側でクリックすると左へ600の位置に補助線が増えます。

4-4 補助線を下図のように長さを調整します。

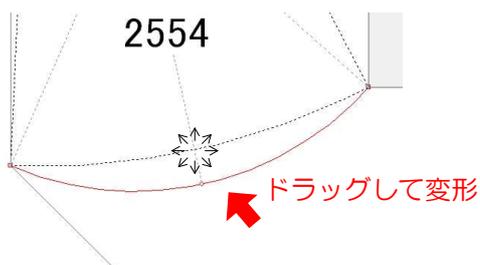


4-5 Gの線を配置します。「円弧横1」を玄関ポーチの左下辺りの適当な位置に配置します。

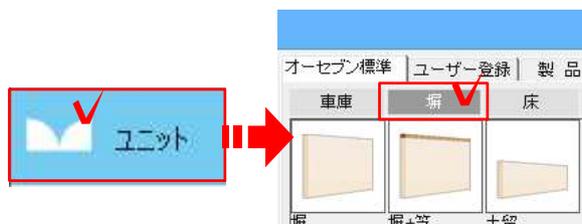
4-6 配置した補助線の左端を敷地の角に、補助線の右端を玄関ポーチの左下に合わせて変形します。

【変形の手順】

- (1) 補助線をクリックし、端点に口がついたのを確認。
- (2) カーソルを端点に近づけ、カーソルが  になったらクリック
- (3) あわせたい点へカーソルを動かし、カーソルにS(Z=00)が出たらクリック



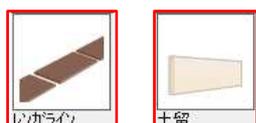
4-7 円弧の中央の○にカーソルを近づけ
 になったらドラッグして、丸みを調節します。



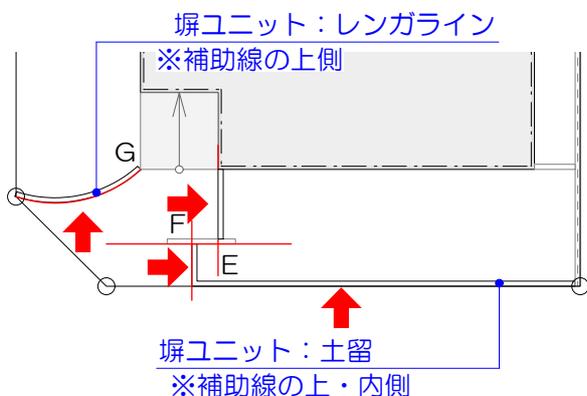
5 ユニット配置

E~Gの補助線に塀を配置します。

土留の塀とレンガラインを配置します。

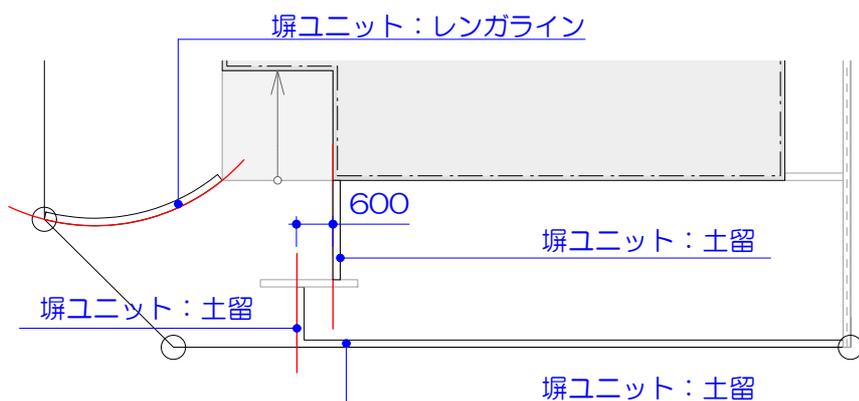


5-1 レイヤを「ユニット」、画面下のスタンプ画面で「塀」を選択し、「レンガライン」「土留」をE~Gの補助線へドラッグします。



 左図を参考に入力しましょう。この時、補助線のどちら側についているか？確認しましょう。マウスを離す時の位置に塀が配置されます。

 “レンガライン”は高さが10
 “レンガ見切”は高さが80あります。

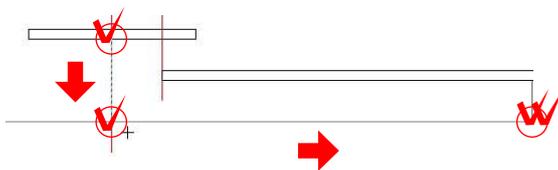


左図のように土留の塀とレンガラインが配置されました。

L字やコの字型に塀を作成するには次ページを参照してください。

【L字やコの字の塀をつくるには・・・】

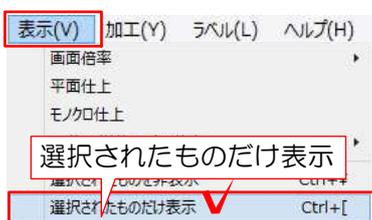
(1)カーソルが+になっています。
+の中心と角を合わせてクリック。



ダブルクリックで作業が終了します。



(2)



塀は図形の点から点までを認識し、そこで止まるようにできています。

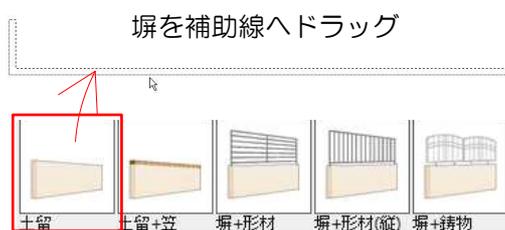
前ページの土留めの塀のように2方向にL字の塀を入れる時は、直線の塀を各辺に入れるのが基本ですが、補助線の「手書き」を使えば、L字やコの字型の1つの塀を作成する事ができます。

(1)補助線レイヤの「手書き」で作成したい塀の形を描きます。

(2)描いた補助線を選択した状態で、表示メニューの「選択されたものだけ表示」をクリックします。

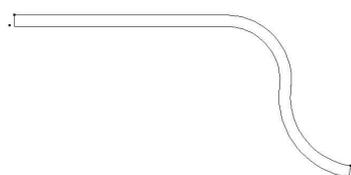
選択した補助線だけが表示されます。
他の塀や敷地が表示されている場合は、再度補助線を選択してやり直しましょう。

(3)

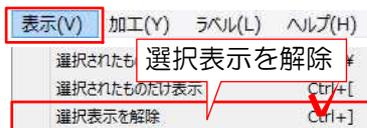


(3)手書きで作成した補助線に塀をドラッグすると、補助線と同じ形の塀が作成できます。

途中で止まってしまう場合は、頂点が途中にある場合です。作成したい形の補助線のみを表示しましょう。

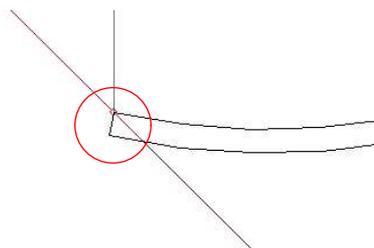


(4)塀を入れ終わったら、表示メニューの「選択表示を解除」をクリックします。



【塀の角が敷地からはみ出したときは・・・】

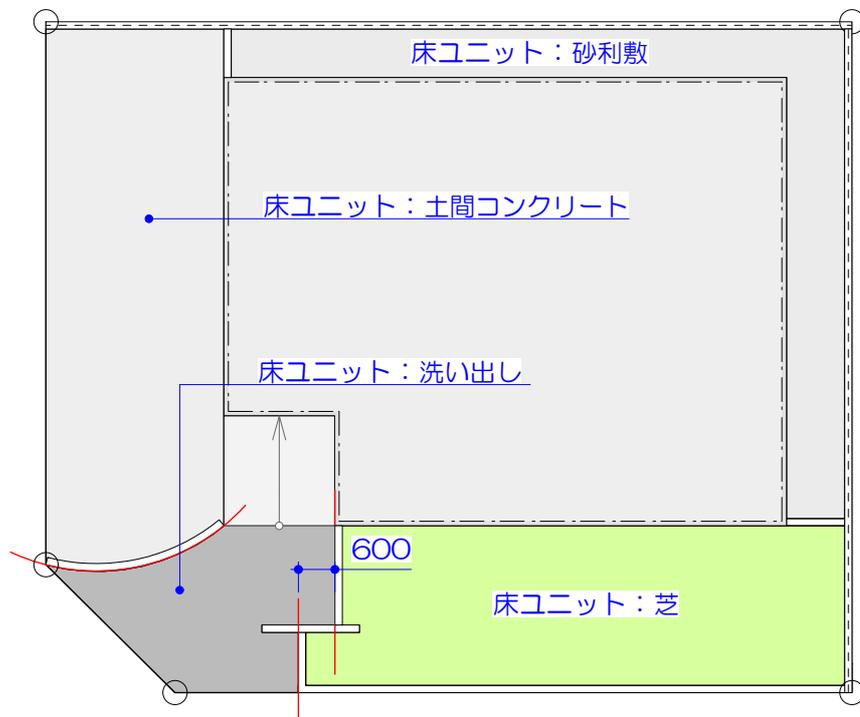
塀が敷地からはみ出す事があります。
このような場合は、塀を切断して形を整えます。



【レンガ】→【レンガラインを切断する方法】

床を配置する

下の図を参考に補助線を入力し、床ユニットを配置してみましょう。

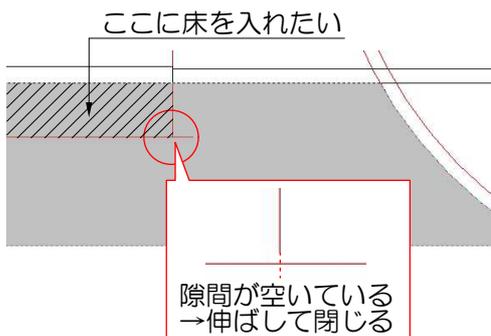


レイヤは「ユニット」と「補助線」

床はユニットで配置します。
床は補助線や塀、敷地などで囲まれた範囲を判断して形を作ります。

あらかじめ、作成したい床の形の枠を作成しておく必要があります。

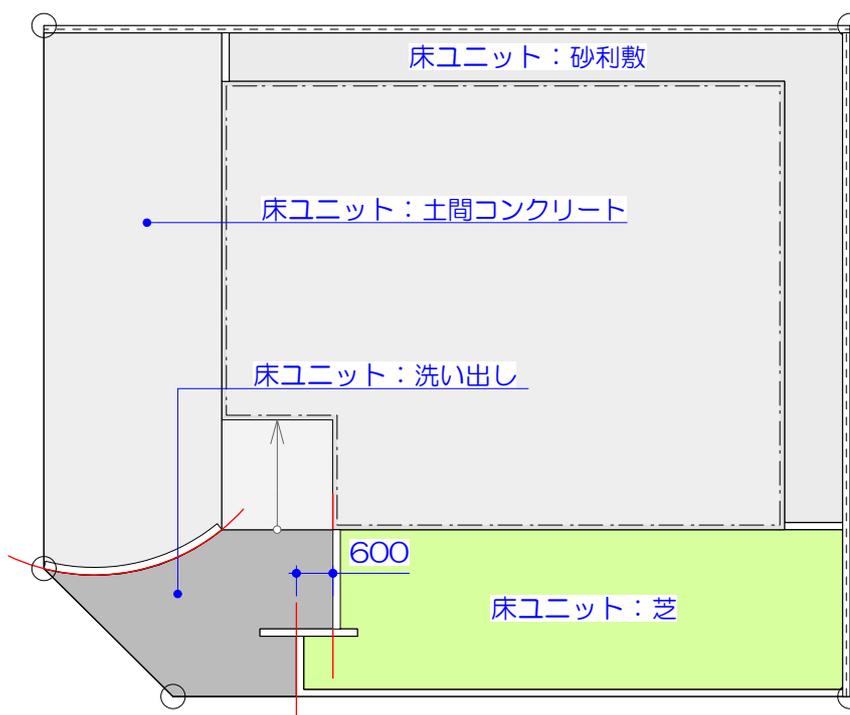
隙間があると、床がきちんと入りません。
枠の役目をする補助線は角に合わせて、少し長めに配置しましょう。



床が入りたい範囲よりも大きくなってしまふ場合は、補助線や塀、床の間に隙間ができています。
各頂点に隙間ができていないか確認しましょう。

角が閉じているのに、床が入らない場合は補助線を追加してみましょう。

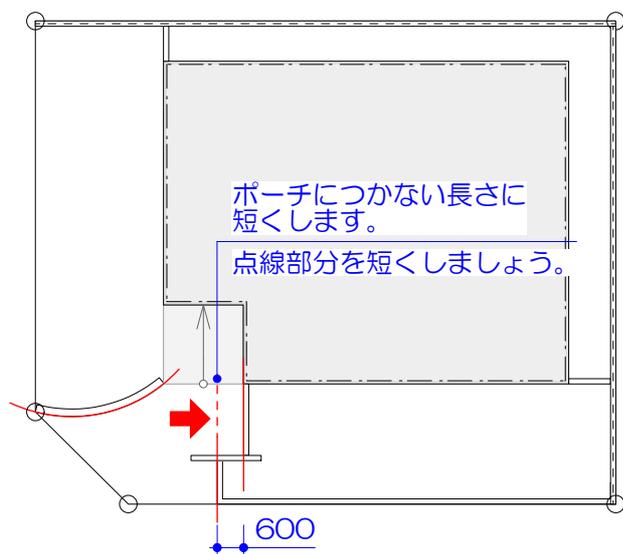
下図のように床を入れてみましょう。



1 補助線配置

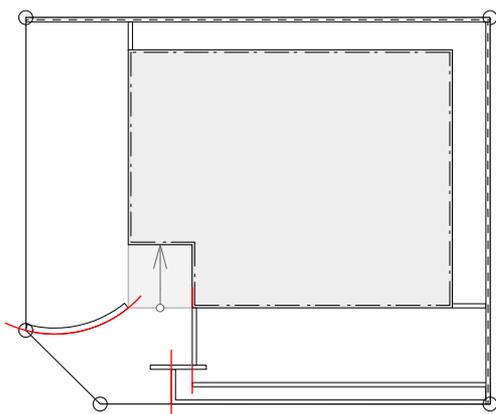
床を配置する為の補助線を配置します。

 画面の拡大、縮小をして玄関周辺が見えるようにしましょう。



1-1 レイヤを「補助線」にし、塀で配置した補助線の長さを調整します。

補助線を消してしまった場合は、左図のように配置しましょう。

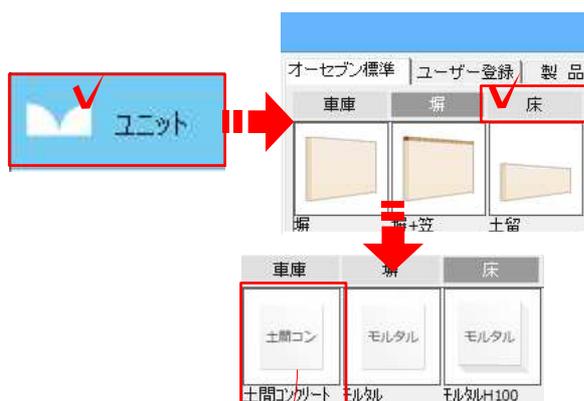


2 ユニット配置

床を配置します。

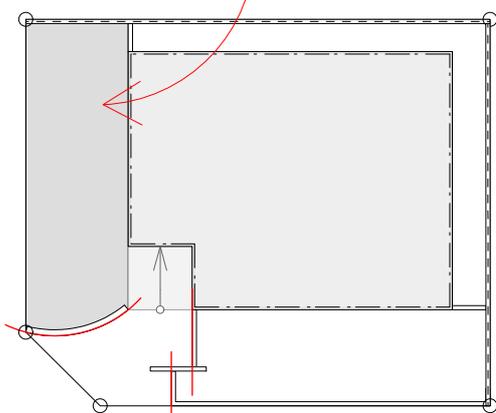


画面の拡大、縮小をして敷地全体が見えるようにしましょう。



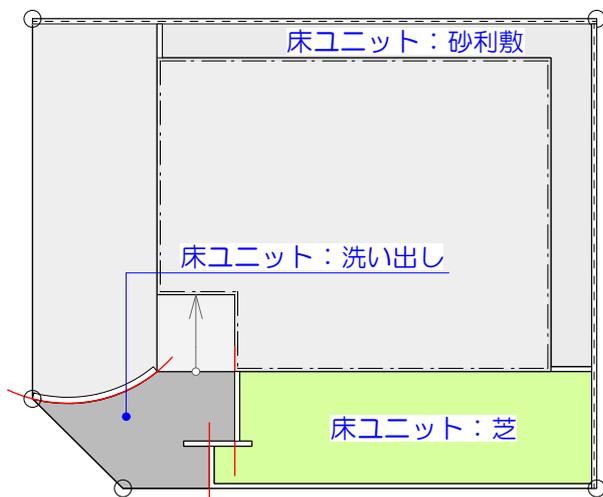
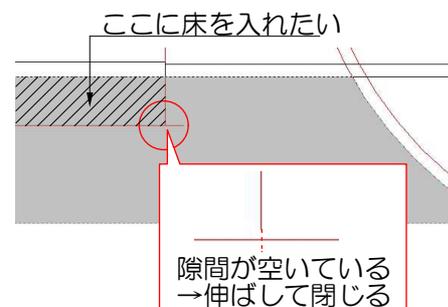
2-1 レイヤを「ユニット」、画面下のスタンプ画面で「床」を選択します。

2-2 「土間コンクリート」を左図の位置へドラッグします。



下図のように床が入りたい範囲よりも大きくなってしまふ場合は、補助線や塀、床の間に隙間ができています。各頂点に隙間ができていないか確認しましょう。

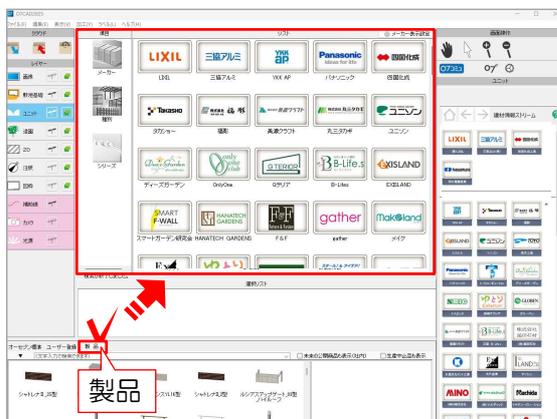
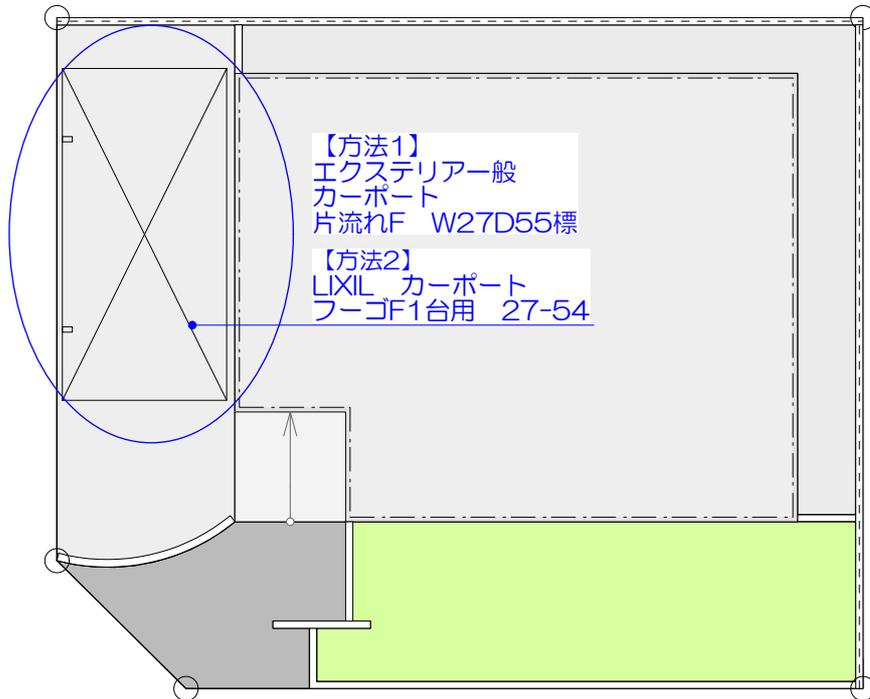
角が閉じているのに、床が入らない場合は補助線を追加してみましょう。



2-3 同じ要領で、左図のように床を配置しましょう。

製品を配置する

下の図を参考に製品を配置してみましょう。



製品を配置するには2つの方法があります。
どちらかの方法で製品を配置してみましょう。

方法1 「製品」から配置

画面下「製品」から配置します。
CADに登録されてる全メーカーから製品を選べます。またメーカー品ではない一般のものも選ぶことができます。

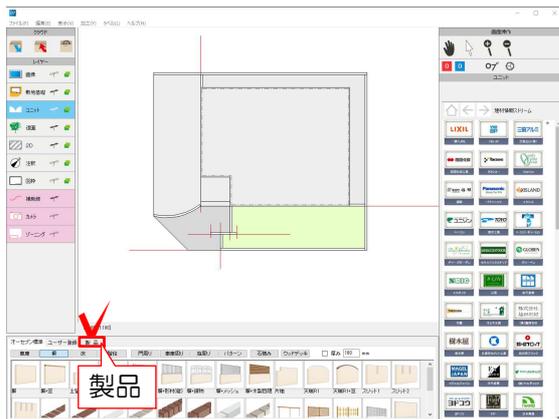
方法2 建材情報ストリームから配置

画面右「建材情報ストリーム」から配置します。
e-toko建材カタログにアクセスしてカタログ写真や詳細を確認しながら製品を選択できます。
その他メーカーおすすめセットプランを直接CADに配置することもできます。



【製品】→【建材情報ストリーム】

※建材情報ストリームに表示されている商品の価格は、e-tokoカタログに掲載されているメーカーカタログの定価価格です。こちらはリアルタイムでの価格、内容更新をしておきませんので、あくまで目安としてご利用ください。見積ご提出前に必ずご自身で金額確認をお願いいたします。



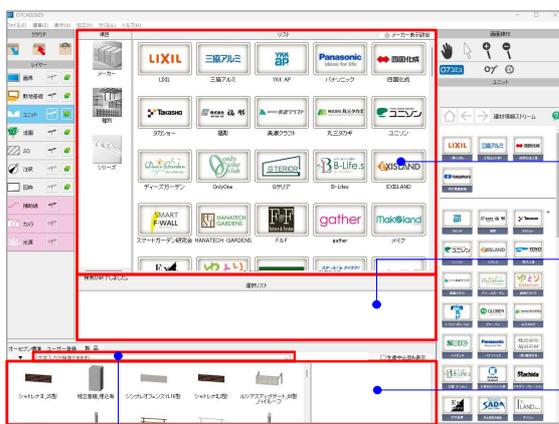
方法1 「製品」から配置

カーポート
 エクステリア一般 片流F
 サイズ：W27D55標

を選択し、ドラッグして配置します。

1-1 レイヤを「ユニット」にし、画面下の「製品」をクリックします。

左図のような画面に切り替わります。



【条件選択画面】
 メーカー：製品取り扱いメーカー
 種別：種類（門扉・カーポートなど）
 シリーズ：製品名称

【選択条件】
 現在指定している条件が表示されます。
 「クリア」を押すと条件が削除されます。

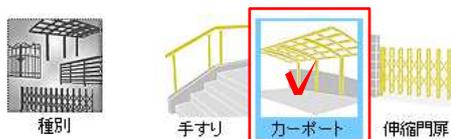
【製品一覧】
 条件を元に検索された製品が並びます。
 画面右には選択した製品のサイズが表示されます。

【キーワード検索欄】



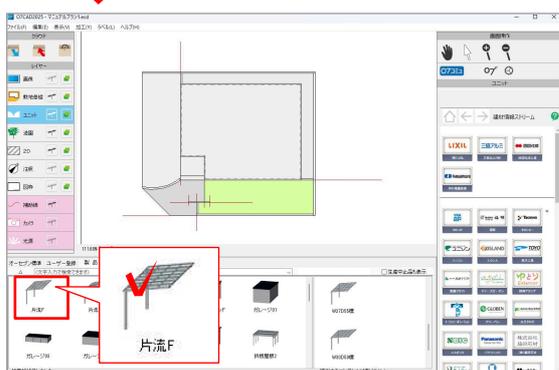
1-2 製品選択画面左上で

メーカー：エクステリア一般
 種別：カーポート
 をクリックします。

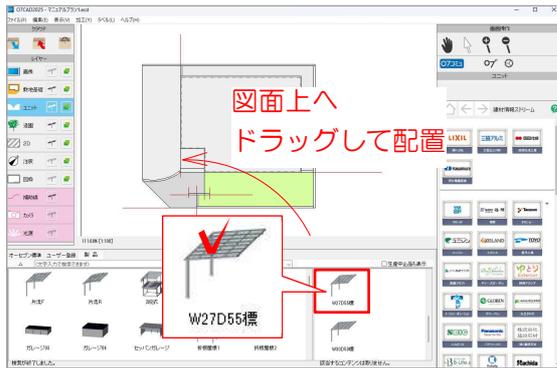


画面下に条件から選択された製品一覧が表示されます。

画面下

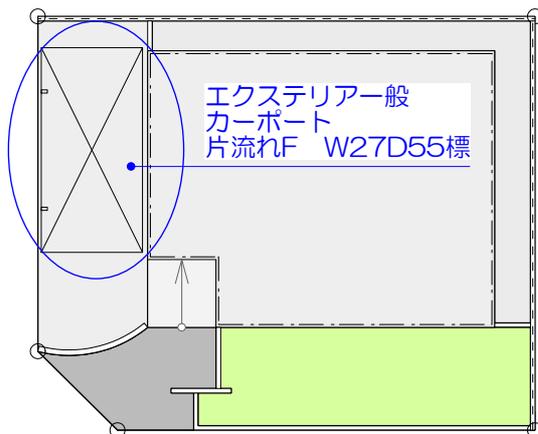


1-3 片流Fをクリックします。

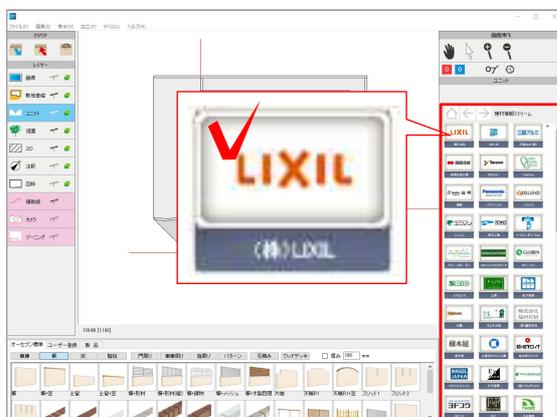


画面右下にサイズ一覧が表示されます。

1-4 サイズ一覧から「W27D55標」を選び、図面上へドラッグして配置します。



カーポートが配置できました。



方法2 建材情報ストリームから配置

カーポート
LIXIL フーゴF1台用
サイズ：27-54

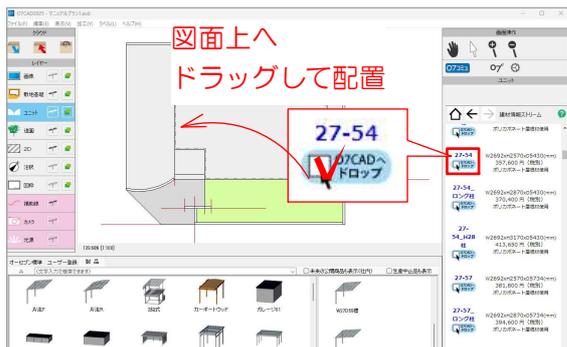
を選択し、ドラッグして配置します。



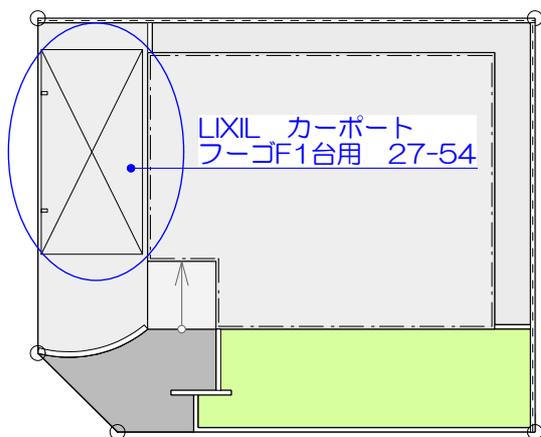
1-1 レイヤを「ユニット」にし、画面右側の建材情報ストリームで

メーカー：LIXIL
種別：カーポート
シリーズ：フーゴF1台用

をクリックしていきます。



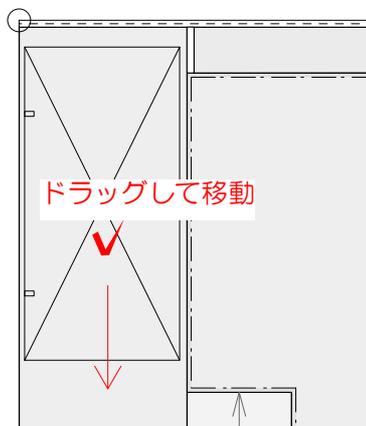
1-2 サイズ一覧から「27-54」を選び、
 を図面上へドラッグして配置します。



カーポートが配置できました。

2 製品の位置調整

その1



その1
 移動させたい製品をクリックして選択
 (図形の周りに黒い点が付いている状態)
 し、ドラッグして動かします。

その2



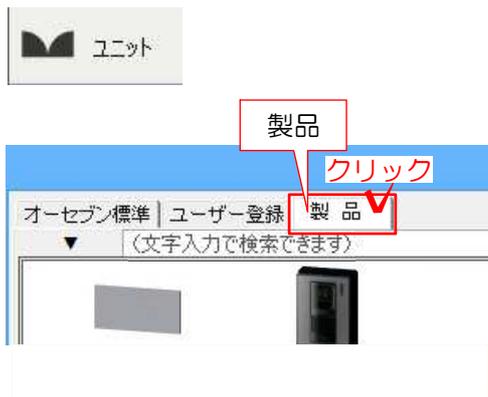
その2
 移動させたい製品をクリックして選択
 (図形の周りに黒い点が付いている状態)
 し、Shiftキー+↑↓←→のいずれかを押し
 て少しずつ移動します。



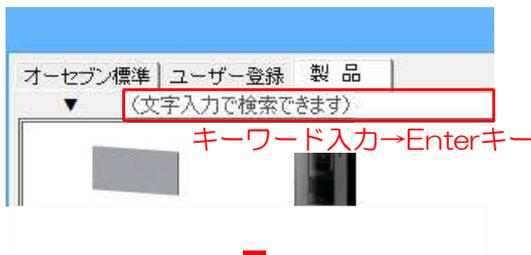
Ctrlキー+Shiftキー+↑↓←→でさらに大き
 く移動することができます。

 この作業を「ナッジ」といいます。

【製品の検索方法】



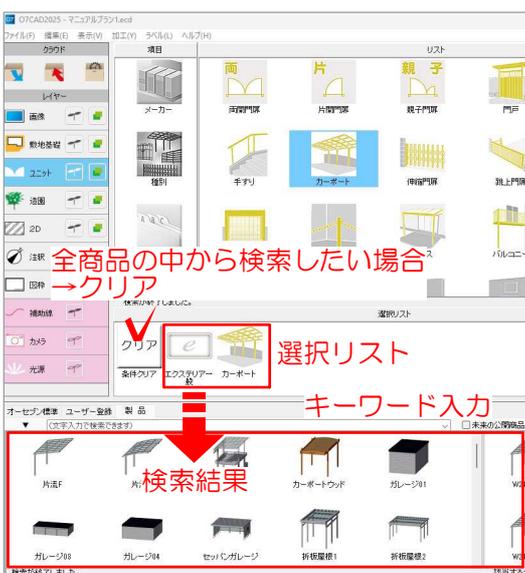
1-1：ユニットレイヤで画面左下の「製品」をクリックします。



1-2：検索欄にキーワードを入力し、Enterキーを押します。



検索結果が画面下に表示されます。

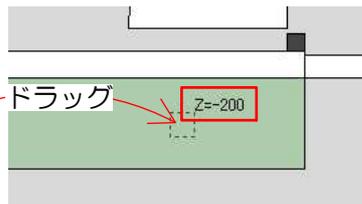


選択リストで条件を選択しているときは…

選択リストでメーカー・種別・シリーズを選択して検索をした場合は、選択リストの条件に当てはまる製品の中から検索されます。

全商品の中から検索したい場合は選択リストをクリアしてから検索しましょう。

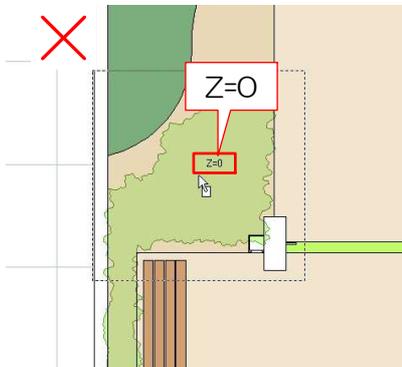
【製品の配置高さについて】



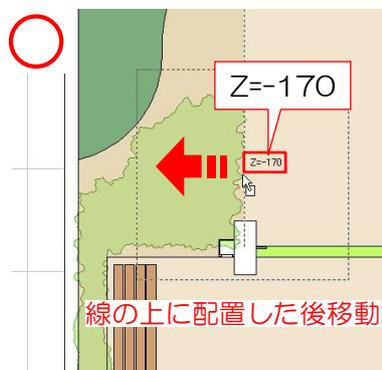
製品を画面上へドラッグして配置すると、左図のようにZ=〇〇と表示される場所があります。

これはZ=〇〇の高さに製品を配置するという意味です。

配置したい高さかどうかを確認してからマウスを離すようにすると、製品が浮いたり、埋まってしまう事を避けることができます。



製品や樹木を配置したい場所で離すと、高さが合いにくい



配置したい場所と同じくらいの線の上に置いてから、移動しましょう。

配置する高さは線や点に反応します。床の中央などではレベルは宅地の高さを基準にして配置されます。

アンジュレーターで作成した築山に置くと下図のように傾斜がついた位置へ配置することができます。



アンジュレーター作成の築山

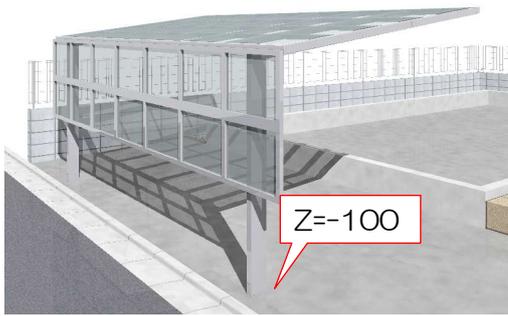


植栽が傾斜高さに合わせて配置できます。

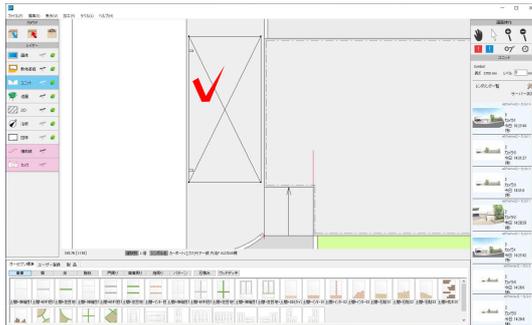


アンジュレーター P278

【製品の配置高さ変更方法】



配置した製品の配置レベルを数値入力に変更できます。



1 配置した製品をクリックで選択します。



2 画面右上のレベル入力欄に数値を入力し、Enterキーを押します。

3Dを確認する

配置したユニットがどんな状態になっているか確認してみましょう。



リアルタイムパースで確認します。
この画面では作成中の図面の3Dがリアルタイムで確認・編集できます。

表示(V) 加工(Y) ラベル(L) ヘルプ(H)



1 リアルタイムパース表示

1-1 「表示」メニューから「リアルタイムパース」をクリックします。



リアルタイムパースが表示されます。



[リアルタイムパース]→[リアルタイムパース
基本操作]

視点を移動する

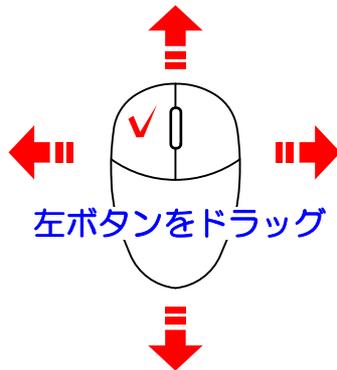
リアルタイムパースで視点を動かして、様々な角度から確認をしてみましょう。



画面右上の矢印ツール  を選択します。

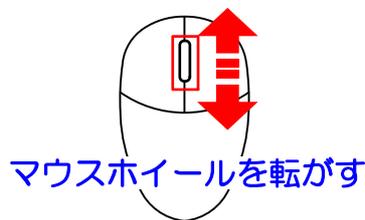
【上下左右に回転】

上へドラッグで「見上げる」、下へドラッグで「見下ろす」、左右へドラッグで回転します。



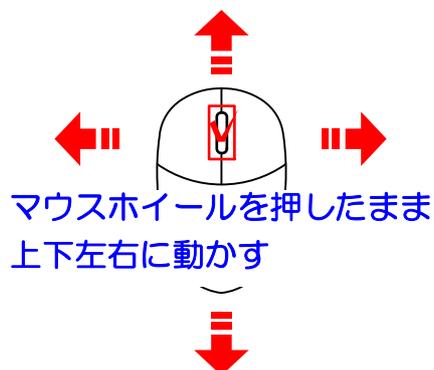
【前後に移動】

マウスホイールを上へ転がすと前へ、下へ転がすと後ろへ移動します。近づいたり遠のいたりします。



【上下左右に移動】

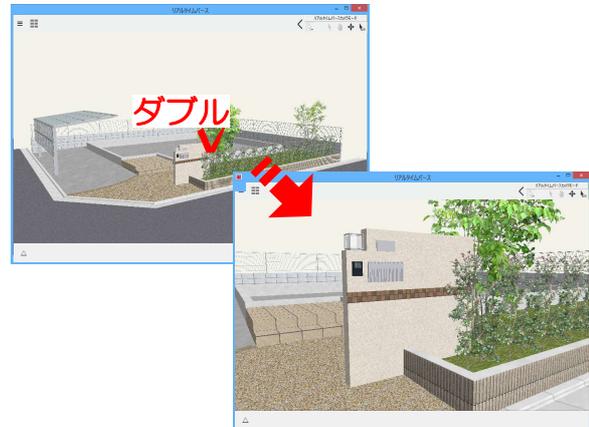
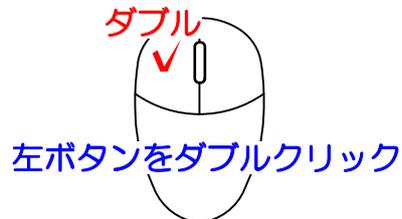
マウスホイールを押したまま上下左右に動かします。見たい部分が端に寄っている時に使用します。



【指定した図形に近づく】

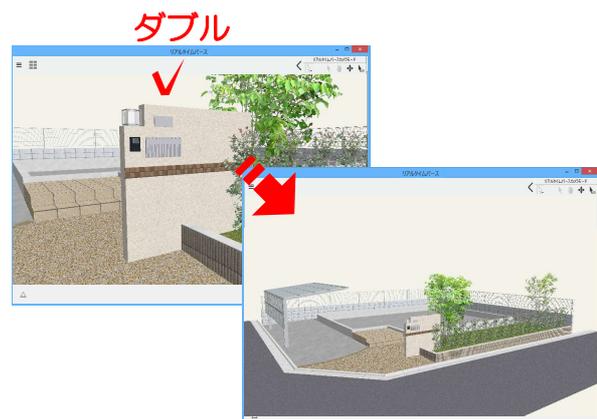
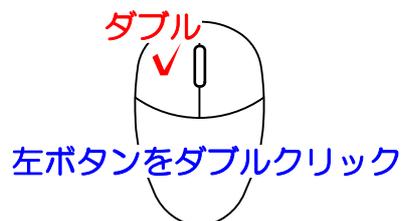
図形をダブルクリックするとその図形に近づきます。さらにダブルクリックすると、その図形を裏側から確認できます。

その後ドラックで回転すると、この図形を中心に回転します。



【全体を見る】

何も図形がない所をダブルクリックすると全体が表示されます。



【8方向から見る+選択した図形に近づく】

キーボードのテンキーを使用すると、ダブルクリックした図形を中心に8方向から確認できます。また、クリックで図形を選択しOキーを押すと選択した図形に近づきます。再度Oキーを押すと選択した図形から離れます。

キーボードのテンキー

7 左斜後	8 後	9 右斜後
4 左	5	6 右
1 左斜前	2 前	3 右斜前
0 選択した図形 に近づく		



休憩

作図がひと段落しました。休憩と保存はこまめに取りましょう。



1時間に10分休憩するのが理想です。
休憩時には体を少し動かしましょう。



45分以上



10~15分

1 休憩を取るタイミング

「これが終わったら休憩をしましょう」という決まりはありません。

45分程度作業をしたら、区切りの良い所で休憩を取りましょう。



タイマーなどをセットしておけば、「気が付いたら2時間！」なんてことも防げます。

2 運動

休憩の時はできるだけ体を動かしましょう。作図をしていると同じ姿勢で固まった状態になりやすく、目や肩が痛くなってしまいます。

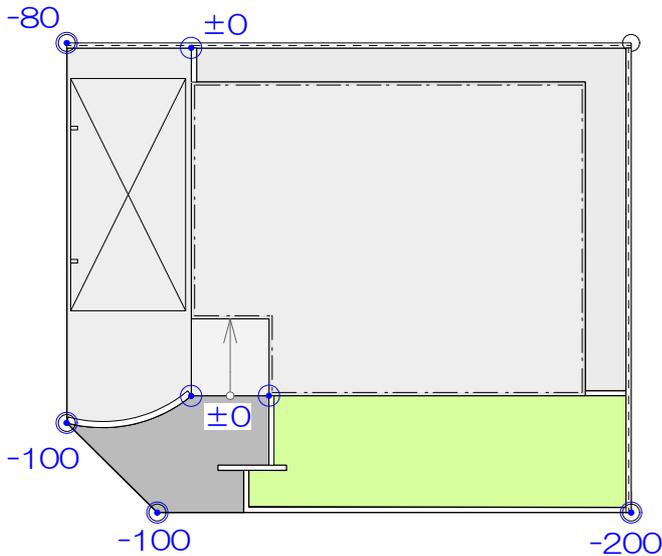
首や肩を回して、ゆっくり体を動かしましょう。



休憩してリフレッシュしてからの方が作図もはかどります。

レベルの設定をする

下の図を元に車庫・門周りのレベル設定をしましょう。



すべてのユニットの配置が終わったらレベル設定をしましょう。

レベルは各図形のあるレイヤで設定します。難しいところですが、練習をすれば徐々にわかるようになります。



[レベル]→[レベル一括変換]

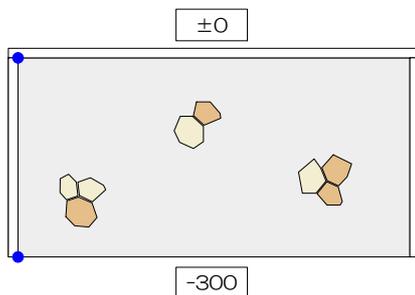
レベルの設定方法

レベルの設定方法です。場合によって何点レベルを指定するか使い分けをしながら、設定をします。

一定勾配の場合（2点）

高い方と低い方の図形の角をクリックして設定します。

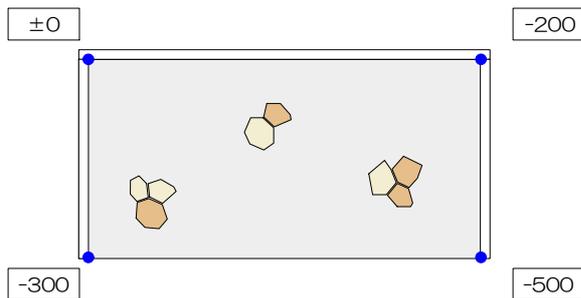
例：-300から±0まで左右並行に勾配がつく場合。



ねじれ勾配の場合（3点以上）

それぞれレベルを設定したい図形の角をクリックして設定します。

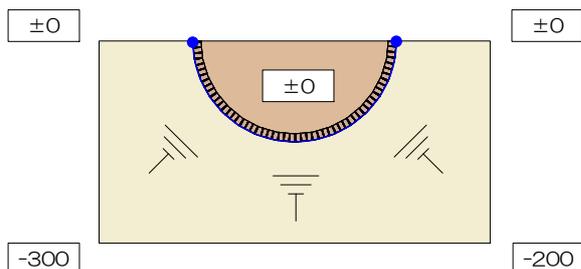
例：道路側が-300と-500、宅地側が±0と-200の勾配がつく場合。



床レベル部分指定

レベル一括変換で設定できない、詳細部分のねじれ勾配に使用します。

例：一つの図形の一部のレベルを指定したい場合。



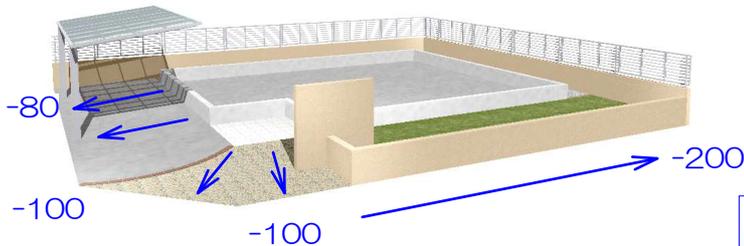


レイヤは「ユニット」

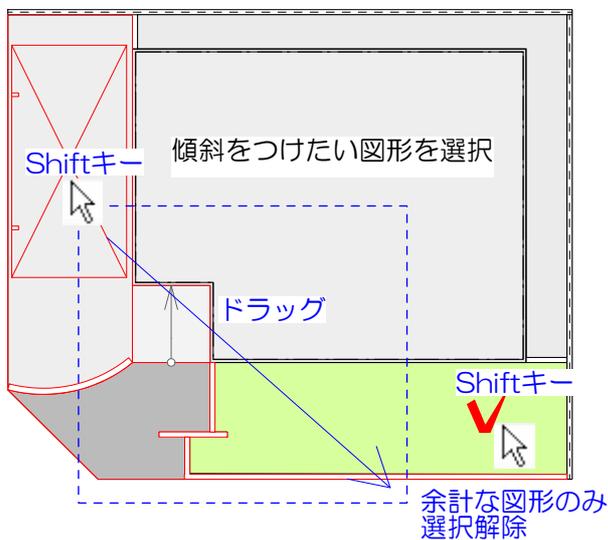
レベル一括変換

1 図形の選択

レベルを設定する図形を選択します。
ここでは、アプローチと駐車場の図形に
勾配がつきます。



画面の拡大、縮小をして選択する部分
が大きく見えるようにしておきましょ
う。



1-1 レベルを設定したい図形（左図赤線
で表示されている図形）を選択します。

カーソルが の時、「Shift」キーを押
たまま、左図の ---- の範囲をドラッグし
て図形を選択します。（または「Shift」
キーを押したまま1つずつ図形をクリック
します。）

余計な図形まで選択した場合は、解除し
たい図形を「Shift」キーを押したままクリ
ックすると、選択を解除することができます。

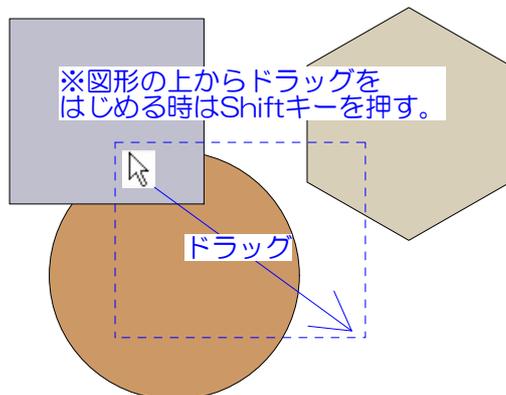


境界の塀、見切り、砂利、芝以外を選
択しましょう。

選択した図形の周りに黒い点が表示されま
す。



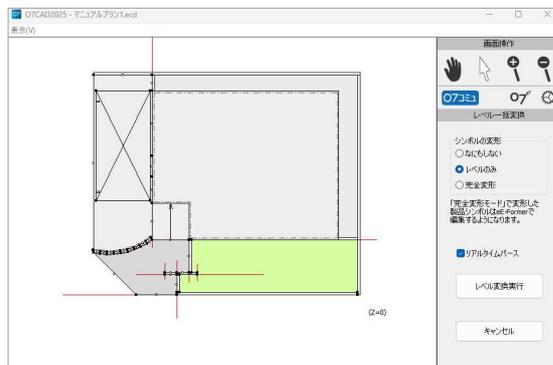
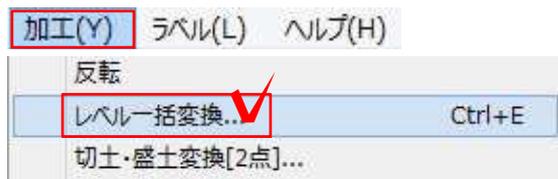
【図形を選択】



基本操作 図形選択 P28

マウスをドラッグして複数の図形を囲んで
選択するときは、点線に図形の一部が触れ
ていれば選択する事ができます。

図形の上でドラッグを始めると、図形を移
動してしまうので、Shiftキーを押したま
まドラッグをするか、図形がないところか
らドラッグを始めましょう。

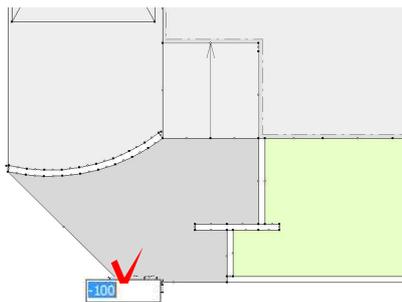


2 レベル一括変換

図形が選択できたら「レベル一括変換」を使ってレベルを設定します。

2-1 「加工」メニューの「レベル一括変換」を選択します。

レベル一括変換画面に切り替わります。

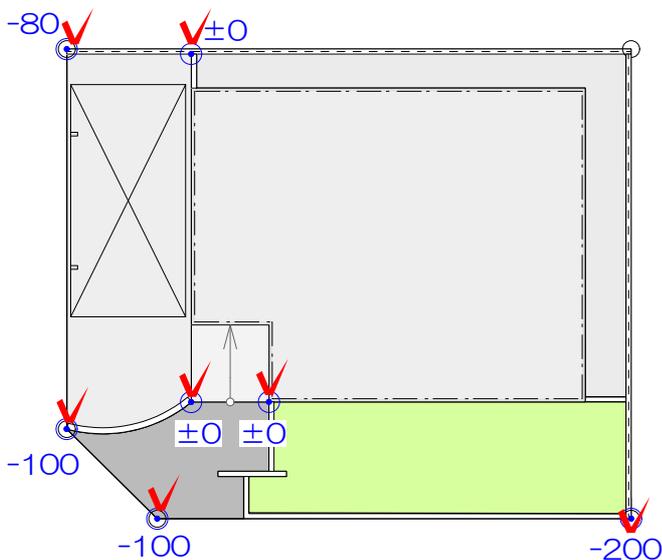


2-2 レベル指定したい図形の頂点をクリックします。

※図形の頂点にカーソルを近づけると、カーソルが \oplus の形になります。

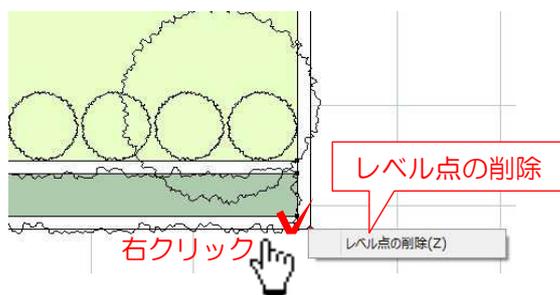
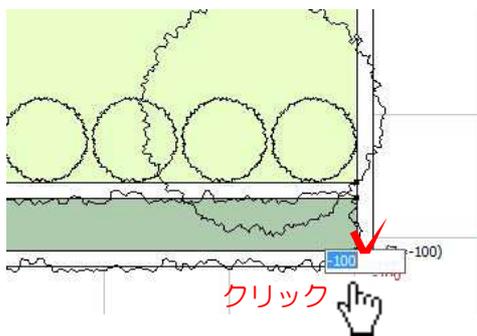
レベル入力欄が表示されます。

2-3 レベル入力欄に数字を入力し、Enterキーを押します。



2-4 全ての点のレベル入力を行います。

 【レベルを入力した点の変更・削除】



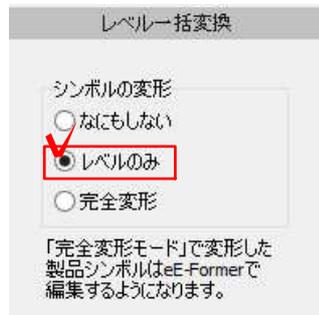
レベルを入力した点にカーソルを近づけると  のカーソルになります。

【レベルの変更】

 の時にクリックするとレベルの入力欄が表示されます。数字を入れ直してEnterキーを押します。

【レベル点の削除】

 の時に右クリックし「レベル点の削除」をクリックします。



2-5 画面右上の「シンボルの変形」の「レベルのみ」にチェックを入れます。

 「シンボルの変形」は、通常「レベルのみ」にチェックを入れましょう。

2-6 画面右下の「レベル変換実行」ボタンをクリックします。

選択した図形にレベルが設定されました。

保存しましょう。



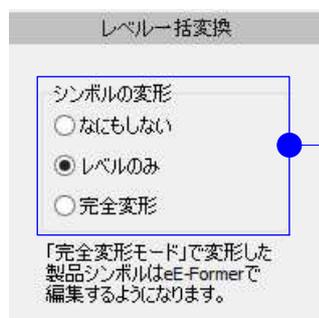
 レベル一括変換後にユニットを配置した場合は、もう一度レベル一括変換をします。

リアルタイムパースで確認しましょう。



【シンボルの変形詳細】

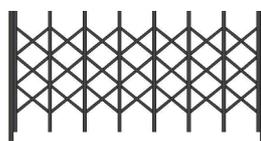
製品(シンボル)を選択している場合は【シンボルの変形】の設定に注意しましょう。



シンボルの変形を指定します。
通常は【レベルのみ】に設定します。

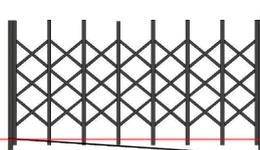
[なにもしない] = 配置した状態のままにします。
[レベルのみ] = レベルに合わせて高さを変えます。
[完全変形] = レベルに伴い形を変形します。
※設定後はeE-Formerで編集できるようになります。

何もしない



配置したままなので
浮いた状態になりま
す。

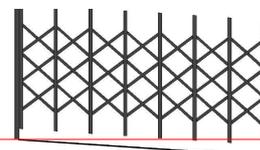
レベルのみ



形はそのまま、一
番低いレベルの高さ
に合わせます。

※門扉、カーポート
機能門柱など…

完全変形



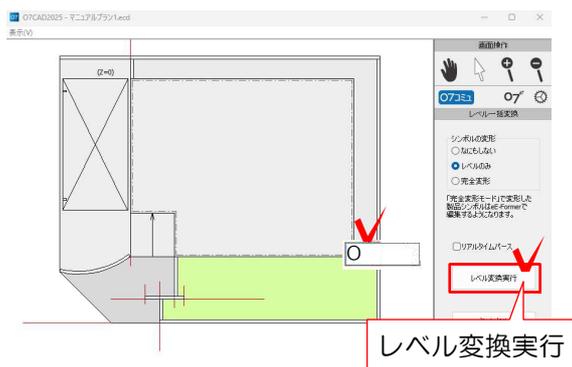
レベルに合わせて全
体の形を変形します。

※伸縮門扉、車、平板、
枕木、U字溝など

💡【床やレンガラインを平らにしたいときは・・・】



平らにしたい床やレンガラインが、設定したい位置よりも低いまたは高い場合、斜めになっている場合は、**レベル一括変換**または各設定画面で調整をします。



レベル変換実行

編集方法【その1】 レベル一括変換

1-1 平らにしたい図形を全て選択し、加工メニューからレベル一括変換を選びます。

1-2 任意の点をクリックしレベルを入力します。

1-3 レベル変換実行をクリックします



全体レベルを入力 +Enterキー

OK

編集方法【その2】 各設定画面で調整

・床の図形
2-1 ダブルクリックして設定画面を表示します。

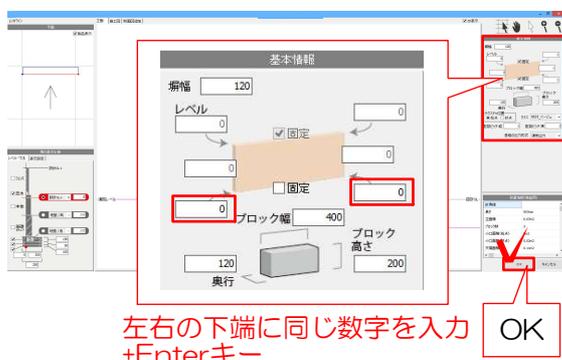
2-2 全体レベルを入力しEnterキーを押します。

2-3 OKをクリックします。

・レンガラインの図形
3-1 ダブルクリックして設定画面を表示します。

3-2 左右の下端のレベルに同じ数字を入力します。

3-3 OKをクリックします。



左右の下端に同じ数字を入力 +Enterキー

OK

階段の設定をする

下の図を元に階段の設定をしましょう。



階段：300角タイル貼
2段 GL±0~GL+300まで

階段をダブルクリックすると、設定画面(階段デザイナー)が起動します。

高さ・段数・踏面幅・蹴上の仕上げが設定できます。



[\[階段デザイナー\]→\[階段デザイナーの画面概要\]](#)



レイヤは「ユニット」

1 階段設定

階段の設定をします。



画面の拡大、縮小をして階段が大きくなるようにしておきましょう。



1-1 レイヤを「ユニット」にし、配置した階段をダブルクリックをします。



【ダブルクリックしても設定画面が表示されないときは・・・】



レイヤは「ユニット」になっていますか？
それ以外のレイヤボタンが押されていると階段が選択できません。



階段の設定画面が表示されます。
「断面設定」から「仕上げ」まで順番に設定をしていきます。

断面設定 ▶ 経路設定 ▶ 踏面設定 ▶ 1段目段鼻設定 ▶ 仕上げ

断面設定



階段の高さ・段数を設定します。

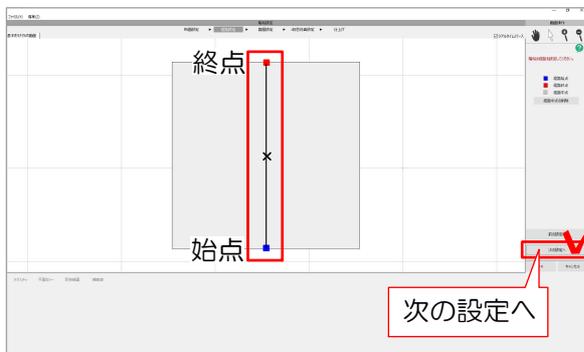
「断面設定」で階段を上った所の高さ(天端レベル)、階段の上り始めの高さ(下端レベル)、段数を設定します。

1-2 作成したい階段は
天端レベル：GL+300
下端レベル：GL±0
段数：2段

上記のように高さや段数を設定します。

1-3 入力したら、「次の設定へ」をクリックし次の工程に進みます。

経路設定



階段の経路を設定します。

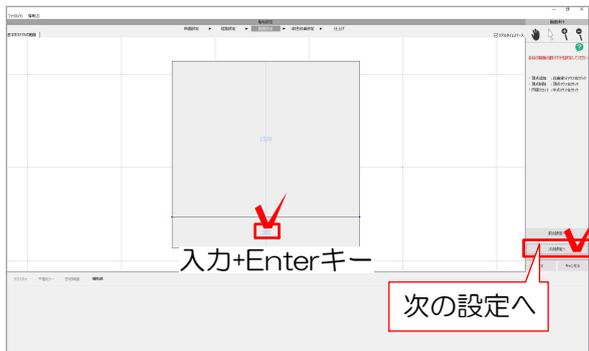
「経路設定」で人が通る経路の設定をします。
大抵は設定をせず、そのまま進みます。

1-4 階段の中央に表示されている線の上を人が歩くラインだと考えてください。
形状が複雑な階段でなければ、設定をせずそのまま進みましょう。

設定をする場合は、ライン中央にある×をドラッグすると、線の形状を変形することができます。

1-5 「次の設定へ」をクリックし、次の工程に進みます。

踏面設定



踏面を設定します。

「踏面設定」で階段1段目の踏面幅を設定します。

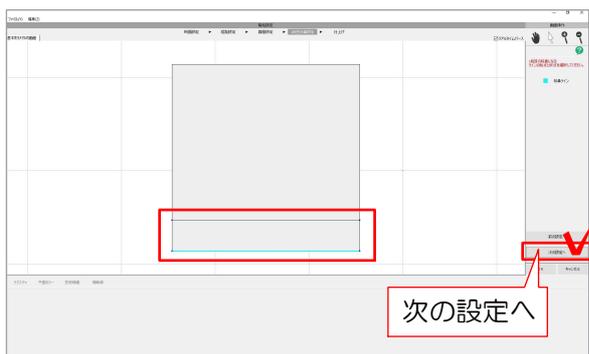
1-6 指定したい踏面の数値にマウスを合わせ、 になったらクリックします。

1-7 数値入力欄が表示されたら、指定したい数値を入力してEnterキーを押します。

1段目の踏面幅：300
で設定します。

1-8 各段の幅が指定できたら「次の設定へ」をクリックし、次の工程に進みます。

1段目段鼻設定



1段目の段鼻を設定します。

水色になっている部分が1段目の段鼻となります。

1-9 1段目の段鼻のラインが合ってることを確認し、問題なければ設定はせずそのまま進みましょう。

設定をする場合は、1段目の段鼻になるラインを始点→終点の順番にクリックします。

1-10 「次の設定へ」をクリックし、次の工程に進みます。

仕上げ

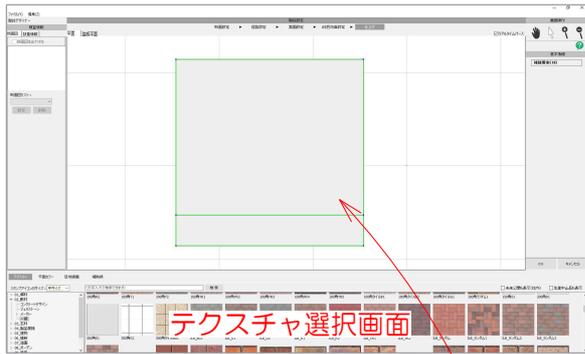


階段の仕上げを設定します。

踏面・蹴上の仕上げや目地の設定ができます。

タイルの色を変更します。

1-11 「編集メニュー→すべて選択」を選び、変更したい段をすべて選択します。



1-12 画面下に表示されているテクスチャ選択画面から使用したいテクスチャを選択し、階段の図形にドラッグします。

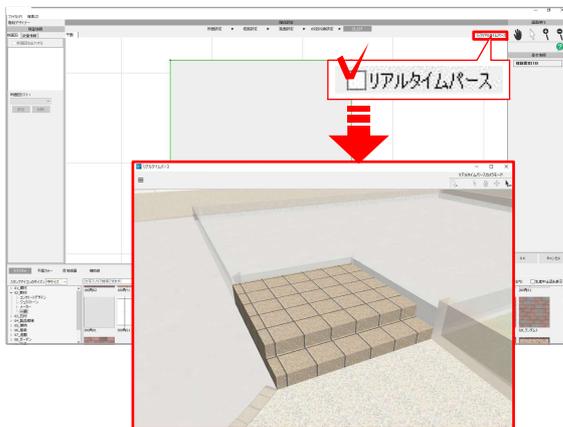
O2_敷材→一般→300角タイルB01

リアルタイムパースで確認しましょう。

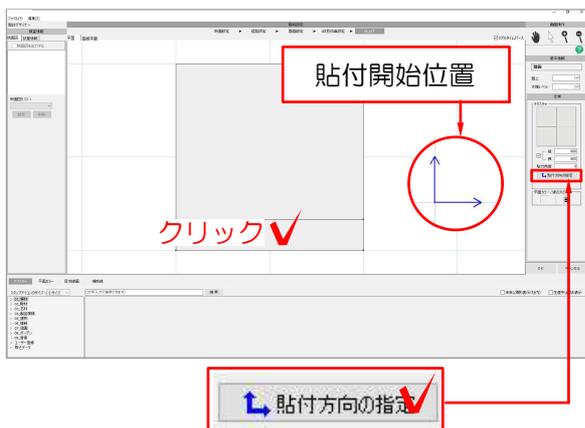


【リアルタイムパースの表示】

リアルタイムパースを表示させていると、階段の設定画面(階段デザイナー)での編集もリアルタイムで確認することができます。



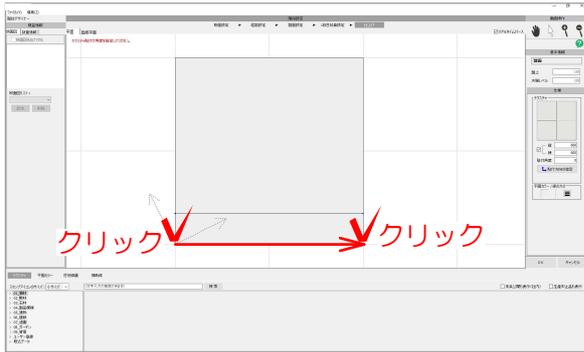
リアルタイムパースを表示していない場合は、右上の「リアルタイムパース」にチェックを入れる则表示されます。



タイルの貼り付け方向を指定します。

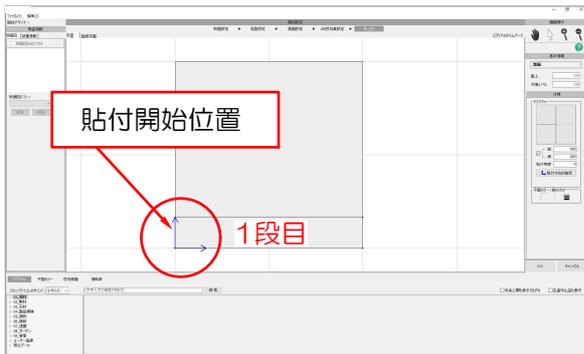
1-13 1段目をクリックします。現在の貼付開始位置（貼付方向）が確認できます。

1-14 「貼付方向の指定」をクリックします。

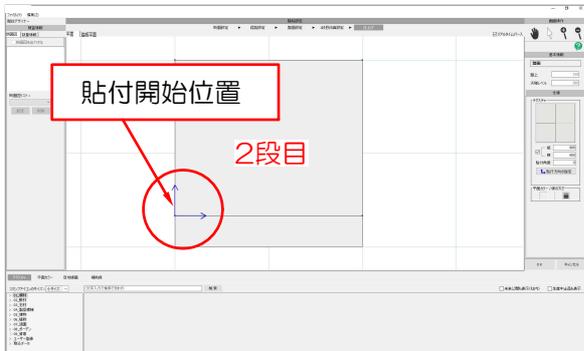


1-15 貼付け開始位置となる頂点をクリックします。

1-16 テクスチャを貼る方向をクリックで指定します。

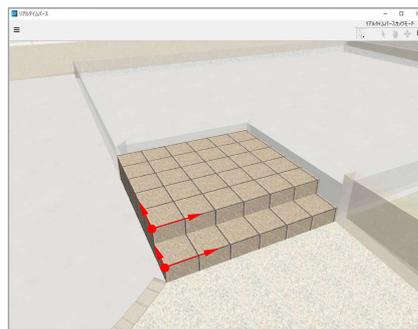


テクスチャ方向が設定され矢印がつきます。

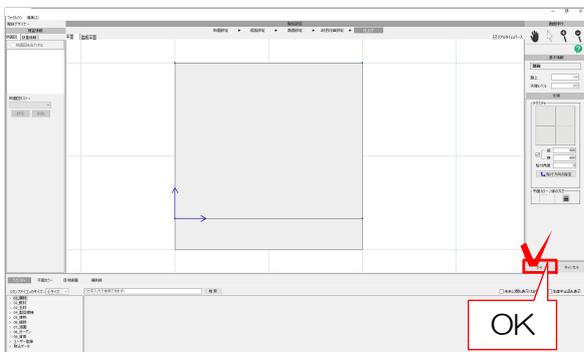


1-17 2段目も同様の手順で左下の角に開始位置を指定します。

リアルタイムパースで確認してみましょう。



1-18 「OK」をクリックします。



【リアルタイムパースでのテクスチャ移動】

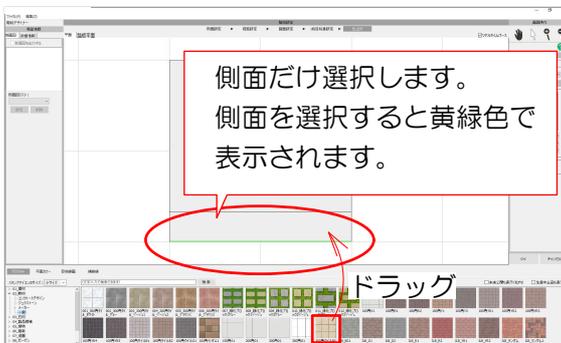


階段の設定画面(階段デザイナー)で編集
中は、リアルタイムパース右上に
ボタンが表示されます。

こちらのツールに切り替えるとドラッグ
でテクスチャの移動ができます。

タイルなど目地を合わせたい場合に便利
です。

仕上げ



仕上げの画面ですべて選択してテクスチャを設定すると、すべての面のテクスチャと一緒に移動するようになります。

側面だけ動かしたい場合は、側面だけ選択してテクスチャを設定しましょう。

【階段自動生成】



「自動生成」にチェックを入れてから、
階段をドラッグで配置します。

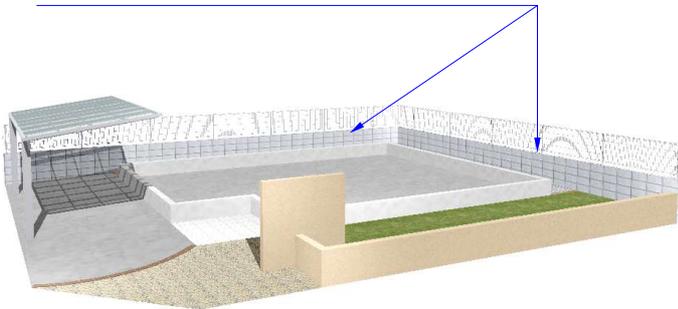


段数・蹴上・踏面幅を入力し「OK」を
クリックすると階段が作成されます。

塀の設定をする

下の図を元に塀の設定をしましょう。

塀1・塀2：CB 4段積（天=GL+800）
+メッシュフェンス H=800



塀をダブルクリックすると、設定画面(塀デザイナー)が起動します。

塀の高さ、形、種類、笠木、付属製品の選択、一部にレンガや石貼をつける、巾木を付けるなどができます。

ここではよく使う機能を練習します。



[塀デザイナー]→[塀デザイナーの概要]

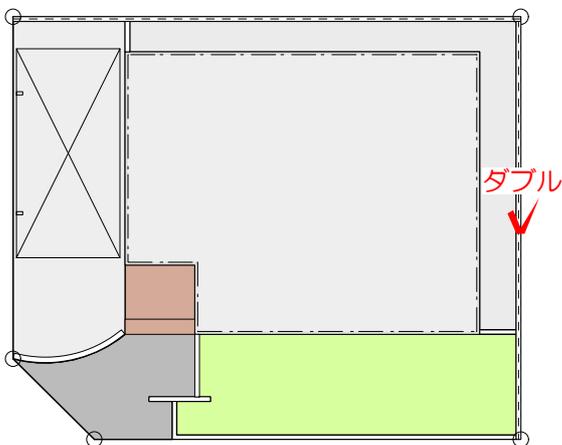


[塀デザイナー]→[塀デザイナーの画面構成]



レイヤは「ユニット」

1 塀1：ブロック+フェンス塀の設定



ブロックの上にフェンスをのせる塀の設定をします。



画面の拡大、縮小をして境界塀の一部が大きく見えるようにしておきましょう。

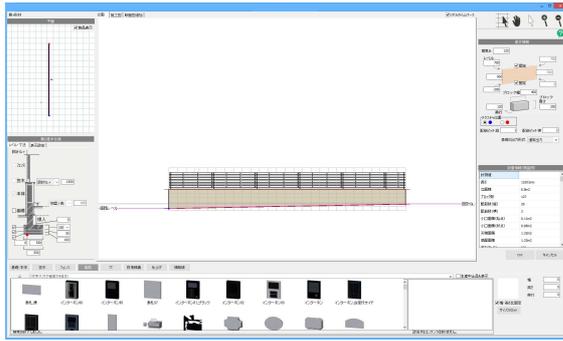
1-1 レイヤを「ユニット」にし、右の境界塀をダブルクリックします。



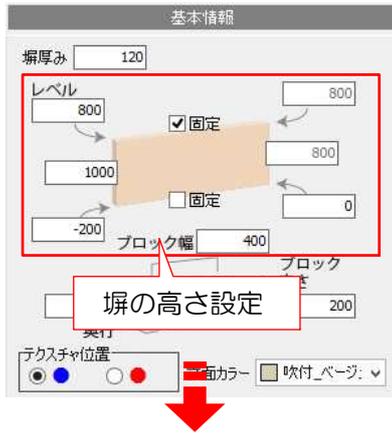
【ダブルクリックしても設定画面が表示されないときは・・・】



レイヤは「ユニット」になっていますか？
それ以外のレイヤボタンが押されていると塀が選択できません。



塀の設定画面(塀デザイナー)が表示されます。



塀の高さを設定します。

1-2 作成したい塀は
高さ：CB4段積 (=800)
下端：-200
(下端=ブロックの一番下のレベル)

下図のように高さを設定します。



【塀の設定詳細】

【立面設定】

●側の塀高さ欄

●側の塀高さ欄

天端=GLからの高さ
GL+800=800

下端~天端までの高さ
4段：200×4
-200から0まで200
=1000

下端：-200

塀の高さ設定

●側の塀高さ欄

塀の天端の高さ：下図（点A）
（実寸高さと連動）

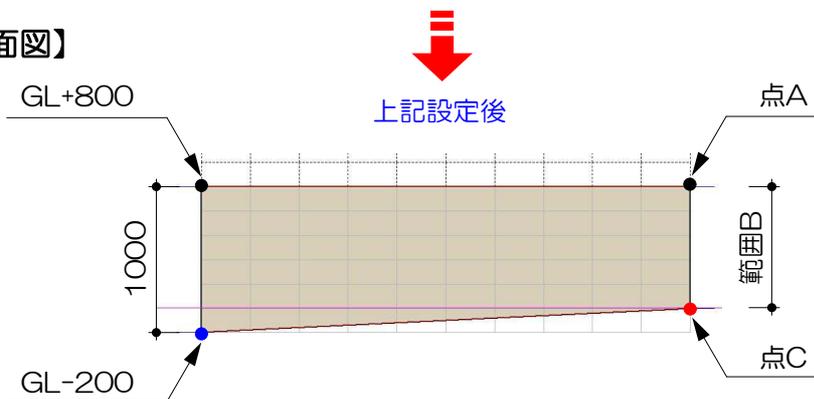
塀の実寸高さ：下図（範囲B）
（天端の高さと連動）

塀の下端のレベル
：下図（点C）

※塀の基礎を設定している
場合は入力できません。

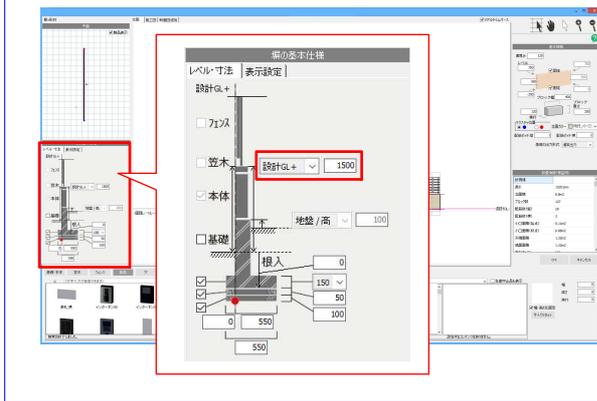
左右の高さを固定します。
左に入力すると右も同じ数値が入ります。

【立面図】





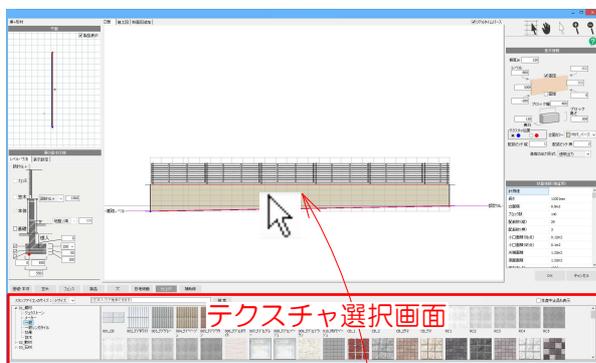
【塀の高さ変更】



画面左側にある塀の基本仕様の本体の天端ライン「設計GL」に入力しても高さの変更ができます。

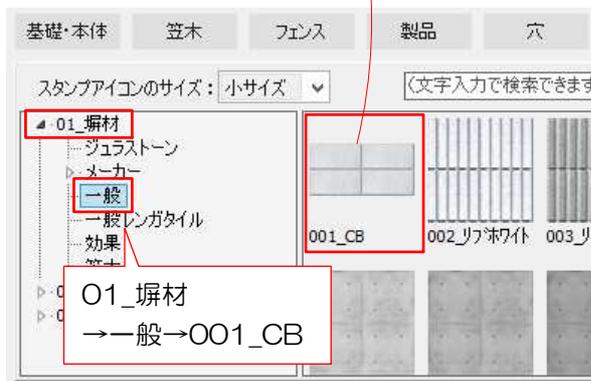


塀のテクスチャ(素材の模様)を設定します。
1-3 画面左下の「仕上げ」ボタンをクリックします。



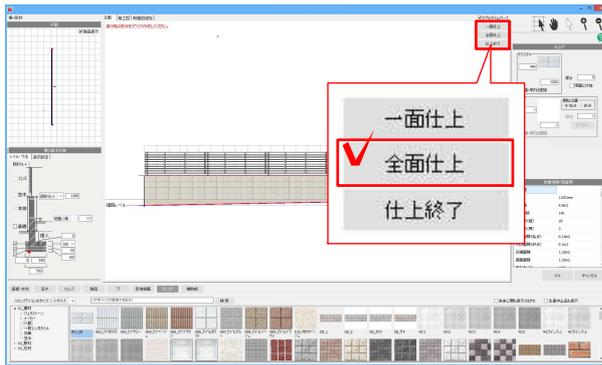
画面下にテクスチャの選択画面が表示されます。

ドラッグ

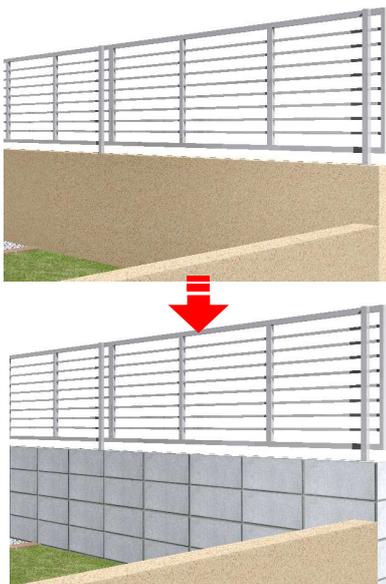


1-4 使用したいテクスチャを選択し、立面図の塀の部分にドラッグします。

01_塀材
→一般→001_CB



1-5 右上の「全面仕上」のボタンをクリックします。



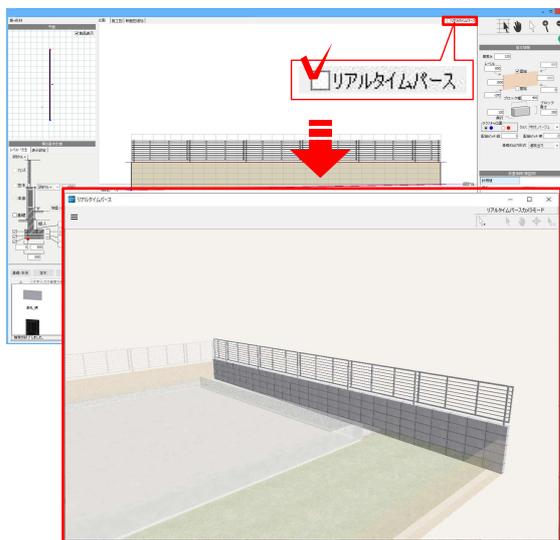
塀のテクスチャ(素材の模様)がCBに変更されました。

リアルタイムパースで確認しましょう。

 リアルタイムパースでもテクスチャの変更をすることができます。

【リアルタイムパースの表示】

リアルタイムパースを表示させていると、塀の設定画面(塀デザイナー)での編集もリアルタイムで確認することができます。



リアルタイムパースを表示していない場合は、右上の「リアルタイムパース」にチェックを入れる则表示されます。

【方法1】



フェンスを設定します。

フェンスを設定するには2つの方法があります。どちらかの方法でフェンスを設定してみましょう。

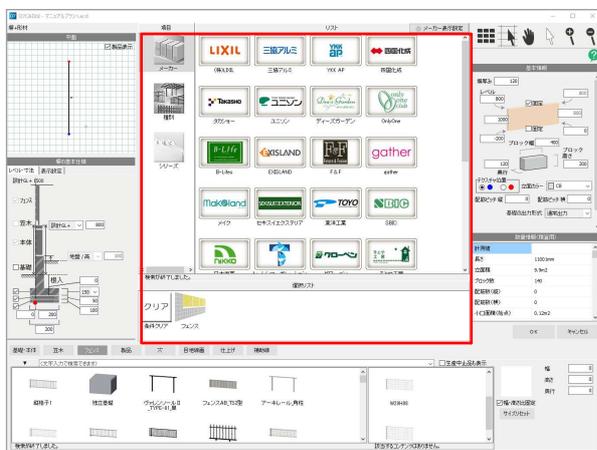
【方法1】 「フェンス」から配置
画面下「フェンス」から配置します。

【方法2】 建材情報ストリームから配置
画面右上の  ボタンから「建材情報ストリーム」を表示させフェンスを配置します。P102～



【方法1】 「フェンス」から配置

1-6 画面左下の「フェンス」ボタンをクリックします。



製品選択画面が表示されます。

フェンス
エクステリアー一般
メッシュフェンス サイズ：H800
を選択し、ドラッグして配置しましょう。

1-7 製品選択画面左上で

メーカー：エクステリアー一般
シリーズ：メッシュフェンス
をクリックします。

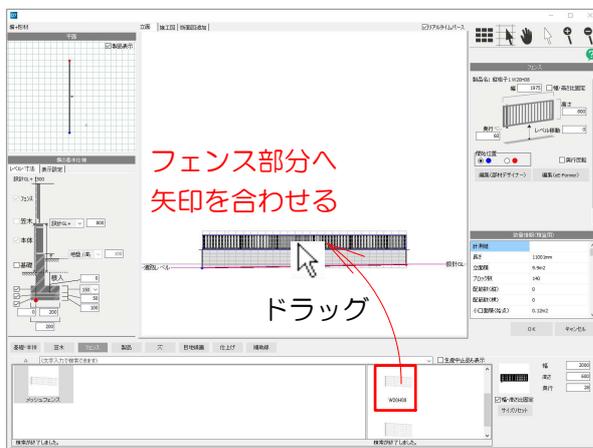


画面下に条件から選択された製品一覧が表示されます。



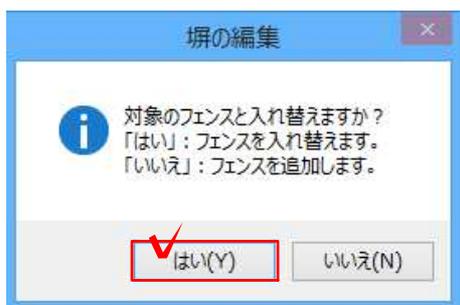
1-8 左下の「メッシュフェンス」をクリックします。

画面右側にサイズ一覧が表示されます。



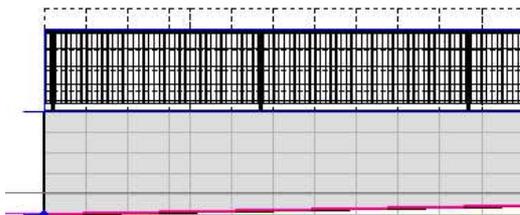
1-9 右下の「W20H08」を立面図上のフェンス部分に向かってドラッグします。

 フェンスを入れ替える場合は、立面図のフェンス部分へドラッグしましょう。他の部分にドラッグするとフェンスが追加されてしまいます。



メッセージが表示されます。

1-10 フェンス入れ替えのメッセージが表示されますので、「はい」をクリックします。



フェンスが変更できました。

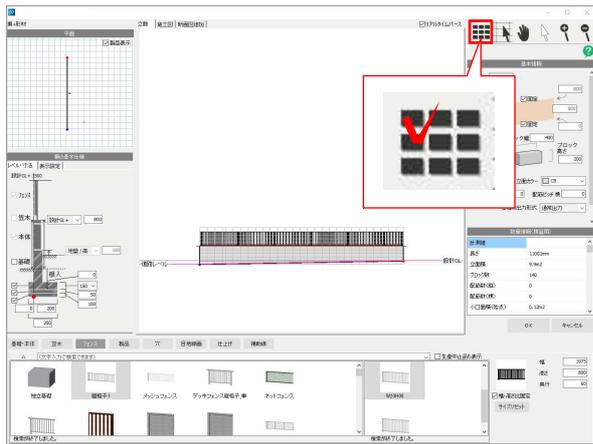


1-11 画面右下の「OK」をクリックして設定画面を閉じます。

次の塀を設定しましょう。P104へ

【方法2】 建材情報ストリームから配置

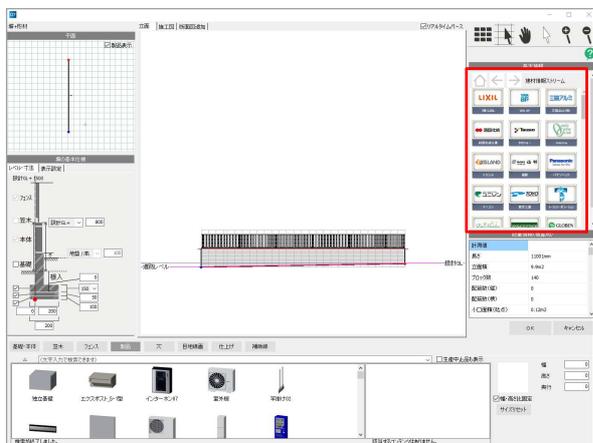
1-6 画面右上の  ボタンをクリックします。



建材情報ストリームが表示されます。

フェンス
LIXIL
ハイグリッドフェンスUF8型
サイズ：H800

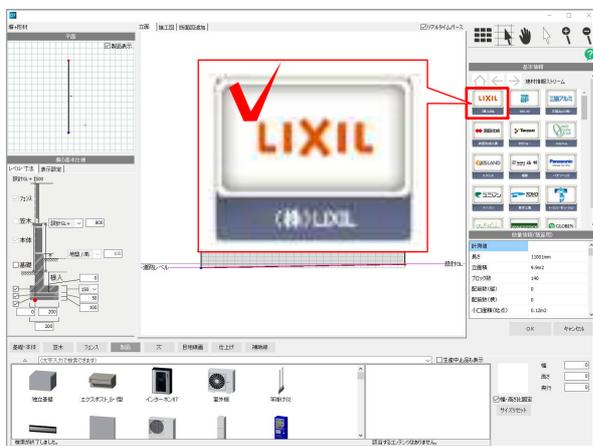
を選択し、ドラッグして配置しましょう。



1-7 画面右側の建材情報ストリームで

メーカー：LIXIL
種別：フェンス
シリーズ：ハイグリッドフェンスUF8型

をクリックしていきます。



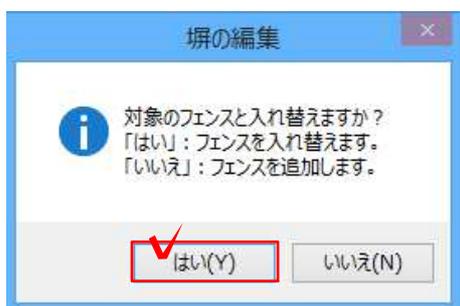
サイズ一覧が表示されます。





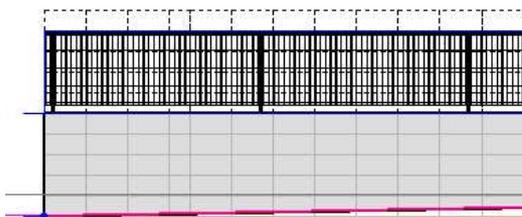
1-8 サイズ一覧から「H800」を選び、**O7CADへドロップ** を立面図上のフェンス部分に向かってドラッグします。

 フェンスを入れ替える場合は、立面図のフェンス部分へドラッグしましょう。他の部分にドラッグするとフェンスが追加されてしまいます。



メッセージが表示されます。

1-10 フェンス入れ替えのメッセージが表示されますので、「はい」をクリックします。



フェンスが変更できました。

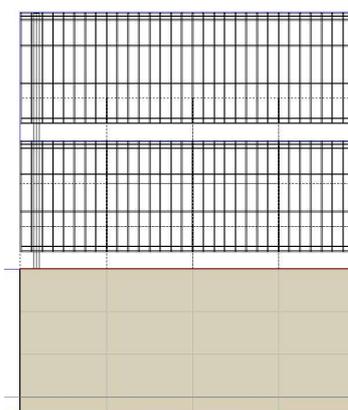
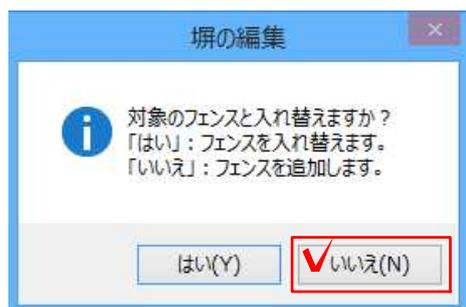


1-11 画面右下の「OK」をクリックして設定画面を閉じます。

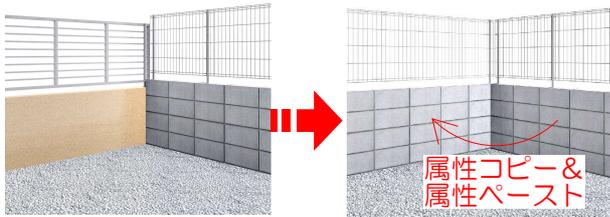
次の塀を設定しましょう。

【フェンスの追加】

「対象のフェンスと入れ替えますか？」のメッセージで「いいえ」を選択すると、フェンスの追加ができます。



2 塀2：塀の設定を北°-する



1で作成したブロック+フェンスの設定をコピーして、別の塀にペーストすることができます。

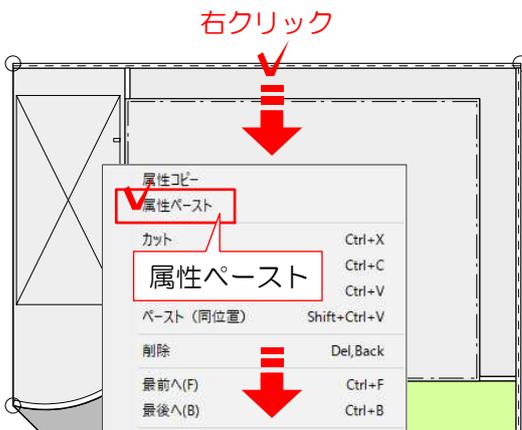


画面の拡大、縮小をして境界塀の一部が大きく見えるようにしておきましょう。



2-1 レイヤを「ユニット」にし、右の境界塀を右クリックします。

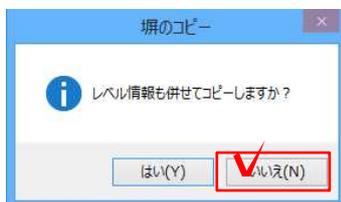
2-2 「属性コピー」を選択します。



2-3 同じ設定にしたい、上の境界塀を右クリックし、「属性ペースト」を選択します。

「レベル情報も併せてコピーしますか」とメッセージが表示されます。

2-3 「いいえ」をクリックします。



塀の下端レベルもコピーしたい場合は「はい」、コピーしたくない場合は「いいえ」を選びます



【属性コピーできる項目】

属性コピーできる設定は、塀の高さ、天端の形状、シンボル、穴シンボル、笠木、仕上げ、目地線画等です。

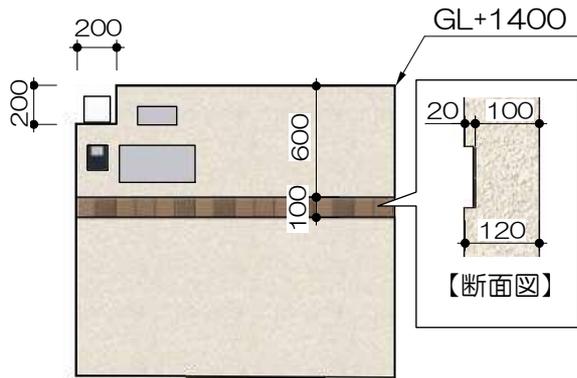
塀に基礎が設定されている場合は下端レベルはコピーされません。また、塀の長さが異なると天端の形状やシンボルの配置位置が変わりますので注意しましょう。



【塀デザイナー】→【塀ユニットの設定のコピー&ペースト（属性コピー）】



塀3：門塀 CB120
 天端=GL+1400
 吹付けベージュ+一部タイル貼
 照明・表札・ポスト・インターホン

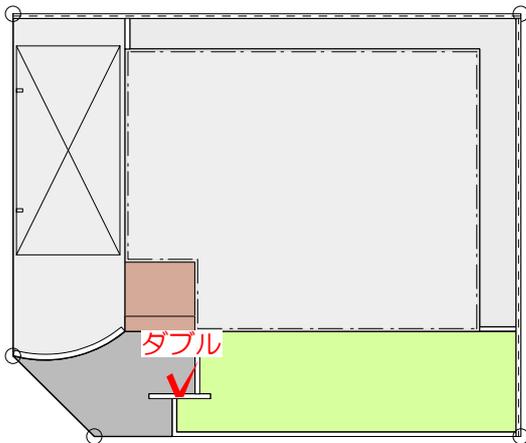


【立面図】

3 塀3：門塀 ブロック+ポスト・表札・照明 などの設定

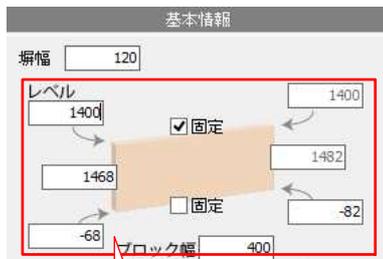
塀の天端=GL+1400
 左端に200×200の段差
 仕上げ 吹付けベージュ
 一部タイル貼り
 照明・表札・ポスト・インターホン

画面の拡大、縮小をして塀が大きく見えるようにしておきましょう。



3-1 ポーチ前に配置した門塀をダブルクリックします。

塀の設定画面(塀デザイナー)が表示されます。



天端：1400
 下端：入力されている数値

塀の高さを設定します。

3-2 作成したい塀は

CB積 (GL+1400)

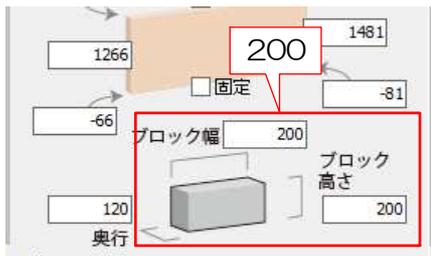
→天端：+1400

(天端：塀の一番高いところ)

下端：入力済み

※レベル一括変換で既に設定されています。

左図のように高さを設定します。

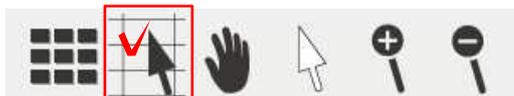


塀の形を設定します。

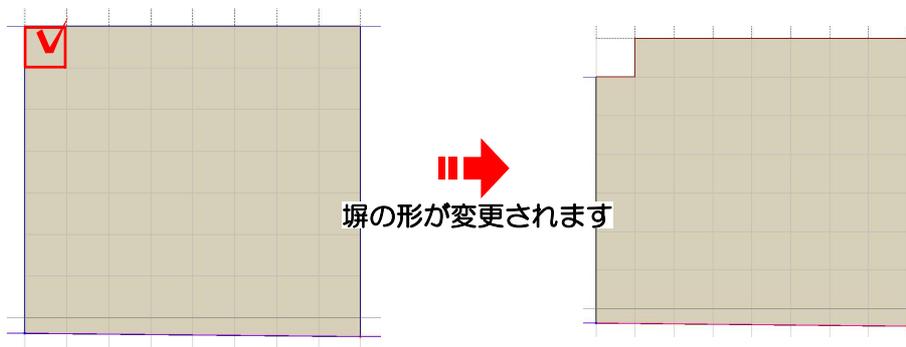
3-3 左端に200×200の段差を作成しますので、ブロック幅を200に変更します。

立面図のグリッドが200×200に変更されます。

3-4 右上の  のツールに変更します。



3-5 立面図で塀を段差にしたい部分(左上の角)をクリックします。

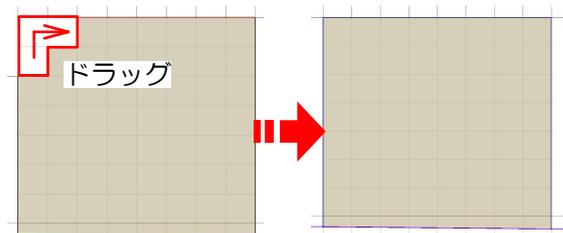


3-6 作業が終わったら  をクリックしてツールを戻します。

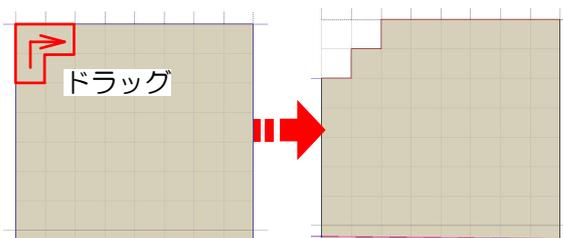


【塀の形状変更】

右上の  のツールでは、ブロックサイズに合わせてクリックまたはドラッグすると、塀を描き足したり部分的に削除することができます。



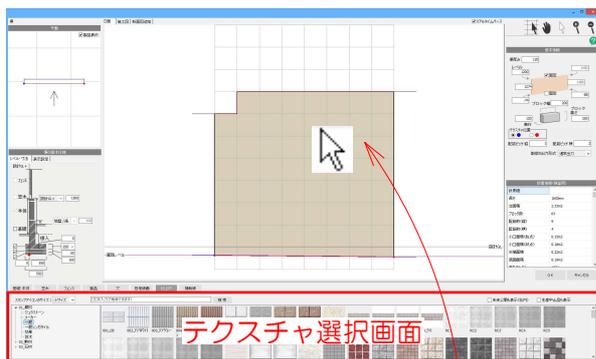
塀がない部分をクリックまたはドラッグすると、塀を描き足すことができます。



塀がある部分をクリックまたはドラッグすると、塀を部分的に削除することができます。



塀のテクスチャ(素材の模様)を設定します。
3-7 画面左下の「仕上げ」ボタンをクリックします。



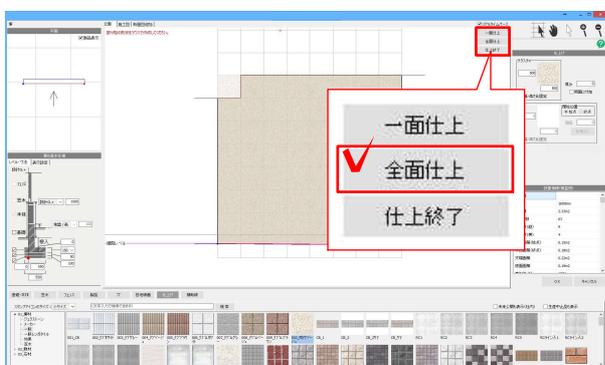
画面下にテクスチャの選択画面が表示されます。

ドラッグ

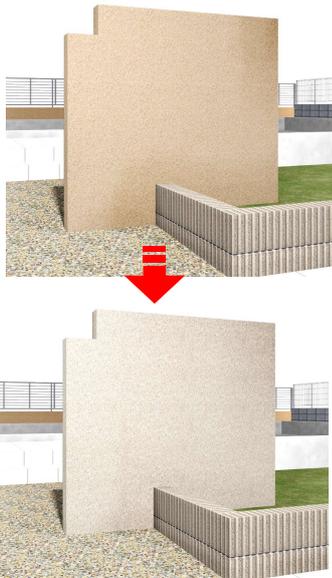


3-8 使用したいテクスチャを選択し、立面図の塀の部分にドラッグします。

- 01_塀材
- 一般
- O10_吹付バージュ



3-9 右上の「全面仕上」のボタンをクリックします。



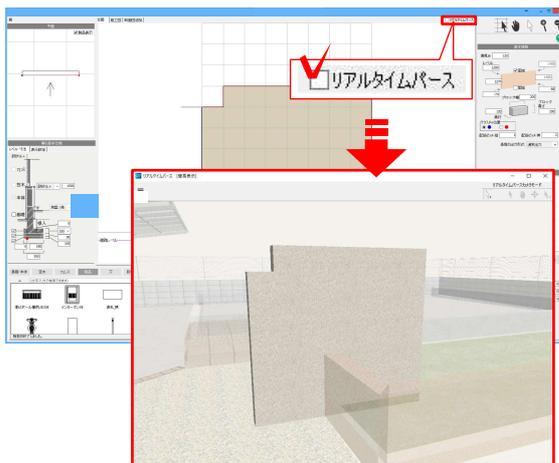
塀のテクスチャ(素材の模様)が吹付ページに変更されました。

リアルタイムパースで確認しましょう。

 リアルタイムパースでもテクスチャの変更をすることができます。

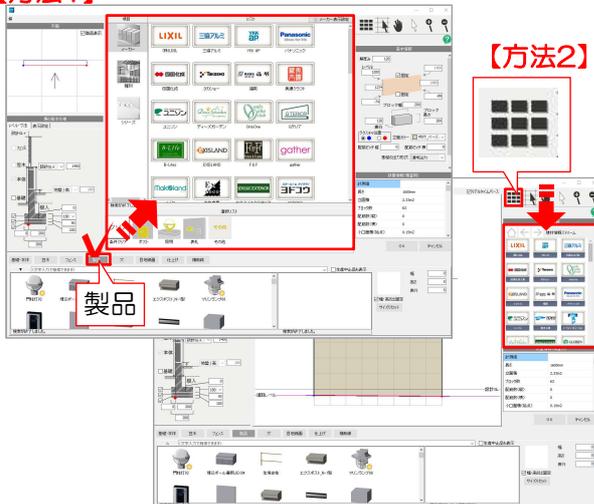
 【リアルタイムパースの表示】

リアルタイムパースを表示させていると、塀の設定画面(塀デザイナー)での編集もリアルタイムで確認することができます。



リアルタイムパースを表示していない場合は、右上の「リアルタイムパース」にチェックを入れる则表示されます。

【方法1】



製品(照明・表札・インターホン・ポスト)を選択して塀に配置します。

製品を配置するには2つの方法があります。どちらかの方法で製品を配置してみましょう。

【方法1】 「製品」から配置
画面下「製品」から配置します。P109～

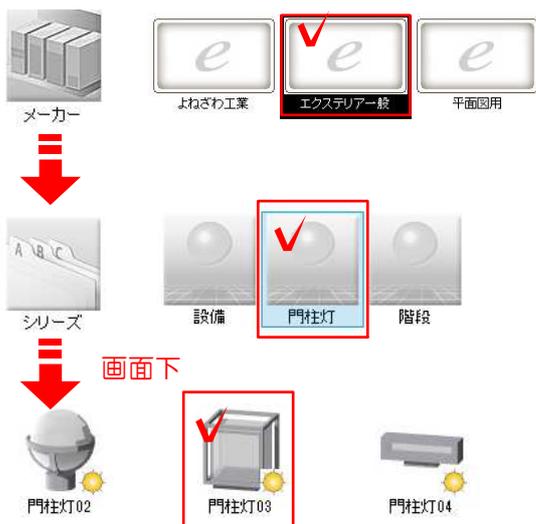
【方法2】 建材情報ストリームから配置
画面右上の  ボタンから「建材情報ストリーム」を表示させ製品を配置します。P113～



【方法1】「製品」から配置

照明を選択して塀に配置します。
エクステリア一般→門柱灯→門柱灯03

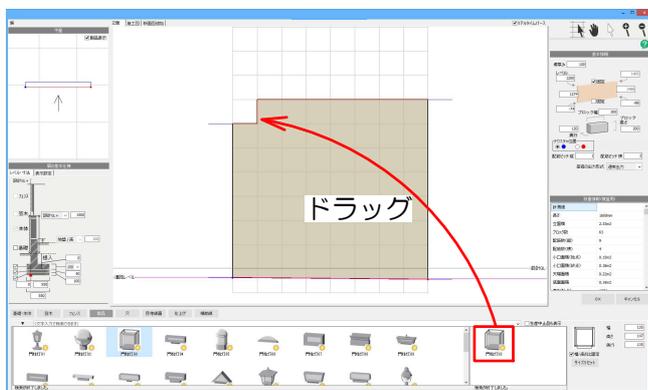
3-10 画面左下の「製品」ボタンをクリックします。



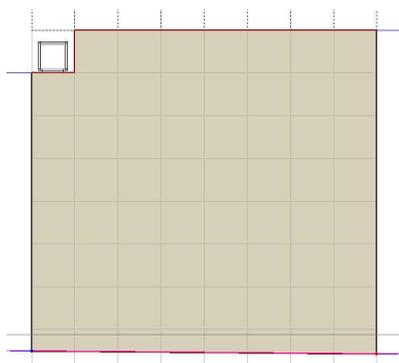
3-11 製品選択画面左上で

メーカー：エクステリア一般
シリーズ：門柱灯
をクリックします。

画面下に条件から選択された製品一覧が表示されます。



3-12 「門柱灯03」を塀にドラッグして配置します。



照明が配置されました。

 配置したシンボルはドラッグして移動する事ができます。



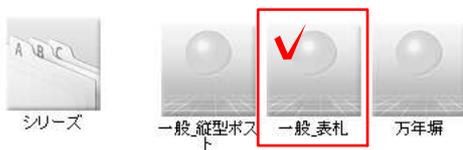
表札を選択して塀に配置します。
エクステリア一般→一般_表札→表札_横

3-13 左下の△ボタンをクリックします。

条件選択画面が表示されます。



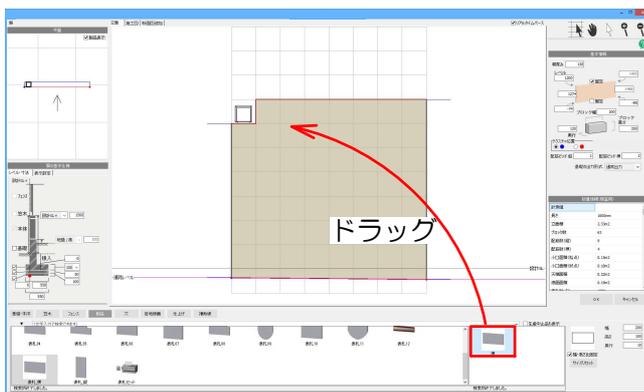
3-14 製品選択リストで、「門柱灯」をクリックして選択を解除します。



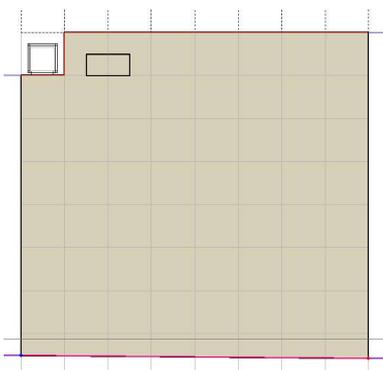
3-15 製品選択画面で
シリーズ：一般_表札
をクリックします。



画面下に条件から選択された製品一覧が表示されます。



3-16 「表札_横」を塀にドラッグして配置します。



表札が配置されました。



インターホンを選択して扉に配置します。
エクステリア一般→インターホン
→インターホン05

3-17 左下の△ボタンをクリックします。

条件選択画面が表示されます。



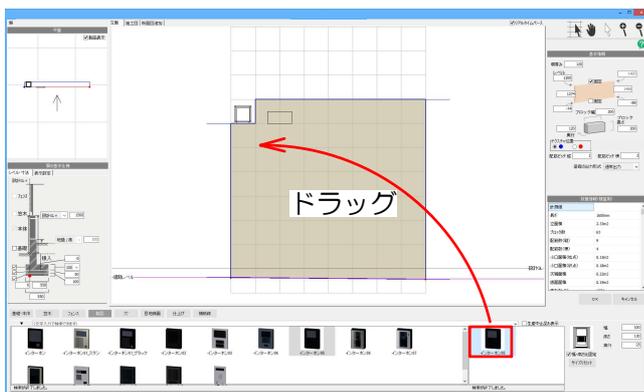
3-18 製品選択リストで、「一般_表札」をクリックして選択を解除します。



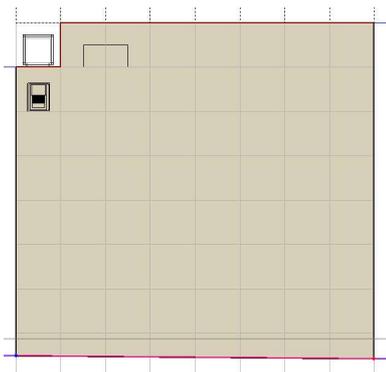
3-19 製品選択画面で
シリーズ：インターホン
をクリックします。



画面下に条件から選択された製品一覧が表示されます。



3-20 「インターホン05」を扉にドラッグして配置します。



インターホンが配置されました。



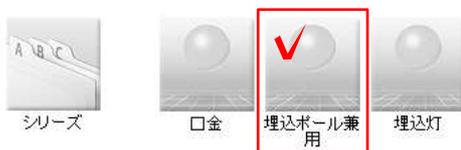
ポストを選択して塀に配置します。
エクステリア一般→埋込ポール兼用
→埋込ポール兼用JEX04

3-21 左下の△ボタンをクリックします。

条件選択画面が表示されます。



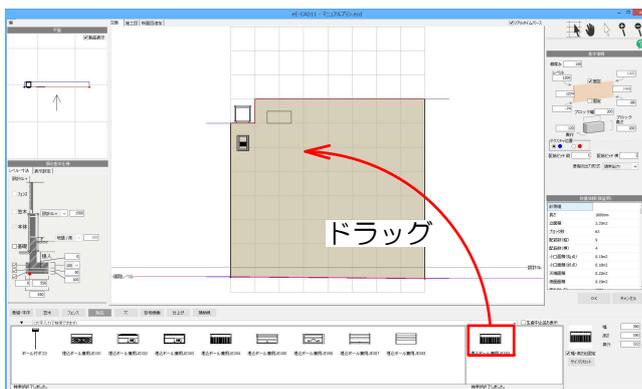
3-22 製品選択リストで、「インターホン」をクリックして選択を解除します。



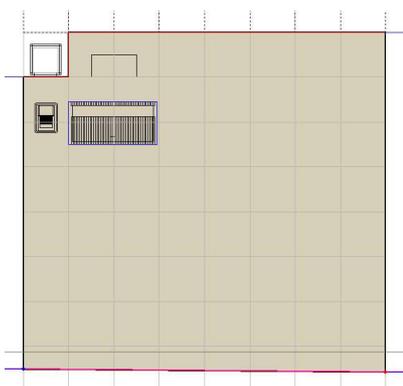
3-23 製品選択画面で
シリーズ：埋込ポール兼用
をクリックします。



画面下に条件から選択された製品一覧が表示されます。



3-24 「埋込ポール兼用JEX04」を塀にドラッグして配置します。



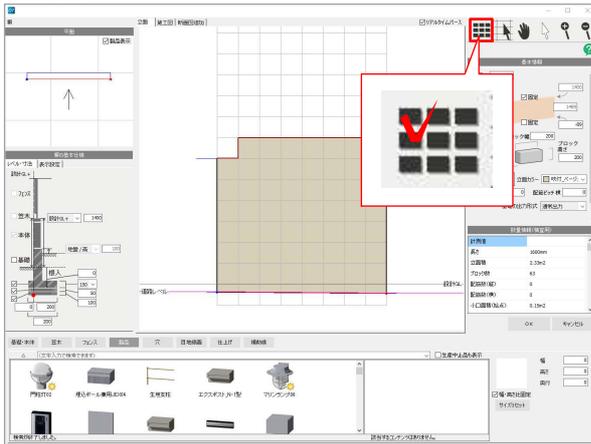
ポストが配置されました。

全ての製品が配置できましたので、次は
一部をタイル貼りにしましょう。
P118へ

【方法2】 建材情報ストリームから配置

照明を選択して塀に配置します。
LIXIL→照明→LML-8型 据置き

3-10 画面右上の  ボタンをクリックします。



画面右側に建材情報ストリームが表示されます。

3-11 画面右側の建材情報ストリームで

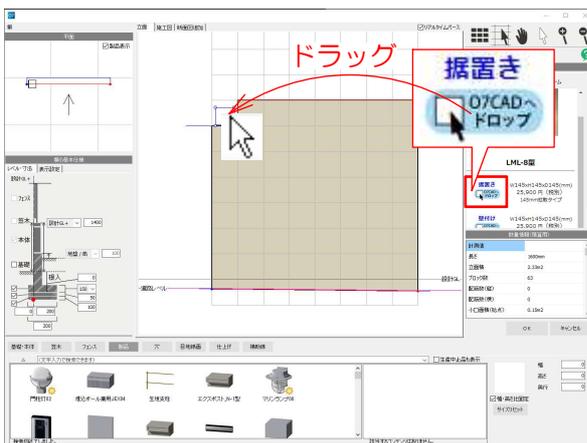
メーカー：LIXIL
種別：照明
シリーズ：門柱灯 LML-8型

をクリックしていきます。

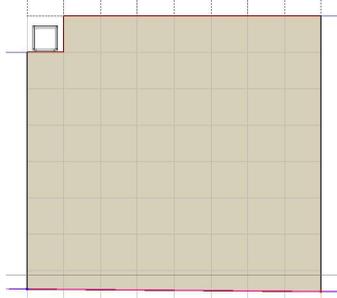


タイプ一覧が表示されます。

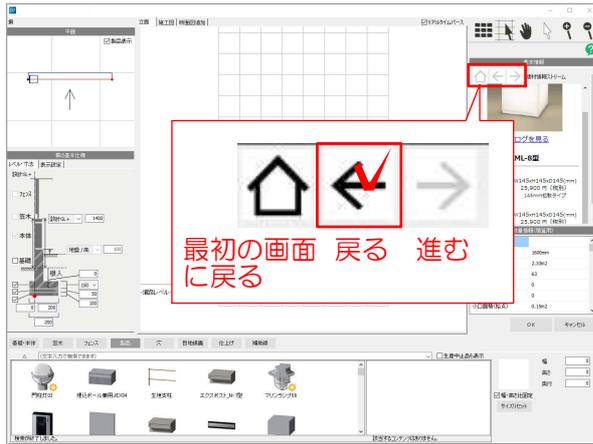
3-12 タイプ一覧から「据置き」を選び、
 を立面図上の配置したい所に向かってドラッグして配置します。



照明が配置されました。



 配置したシンボルはドラッグして移動する事ができます。



表札を選択して塀に配置します。
LIXIL→表札→ステンレスサインW

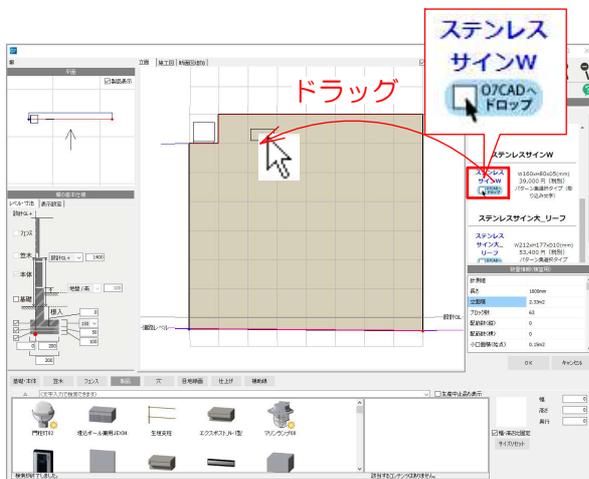
3-13 画面右上の  ボタンをクリックし、2つ前の種別選択画面に戻ります。



3-14 画面右側の建材情報ストリームで

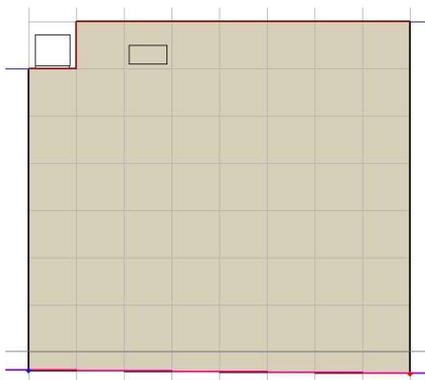
種別：表札
シリーズ：ステンレスサインW

をクリックしていきます。

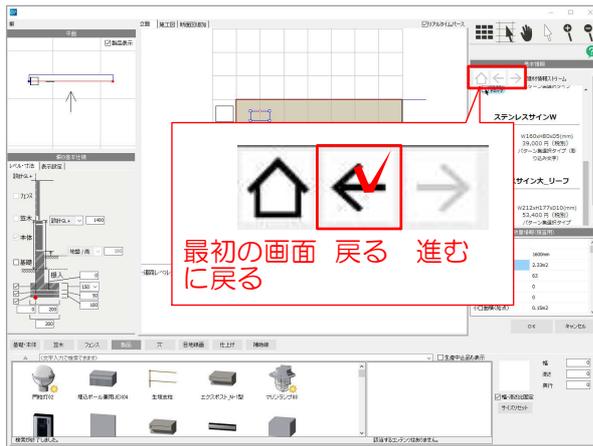


タイプ一覧が表示されます。

3-15 タイプ一覧から「ステンレスサインW」を選び、 を立面図上の配置したい所に向かってドラッグして配置します。



表札が配置されました。

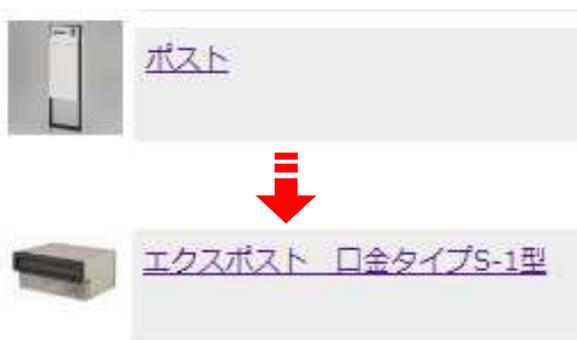


ポストを選択して扉に配置します。

LIXIL→ポスト

→エクスポスト口金タイプS-1型 1B05

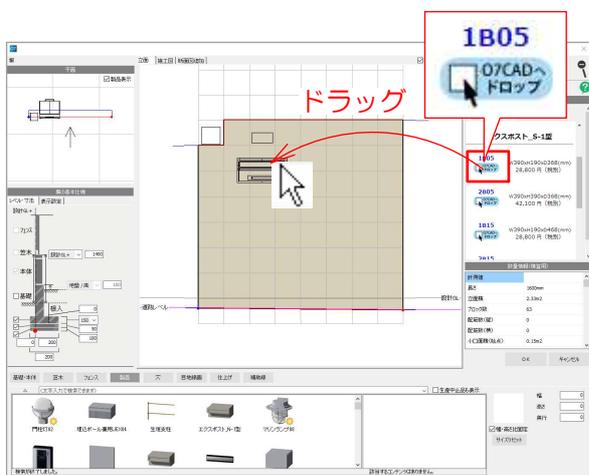
3-16 画面右上の  ボタンをクリックし、2つ前の種別選択画面に戻ります。



3-17 画面右側の建材情報ストリームで

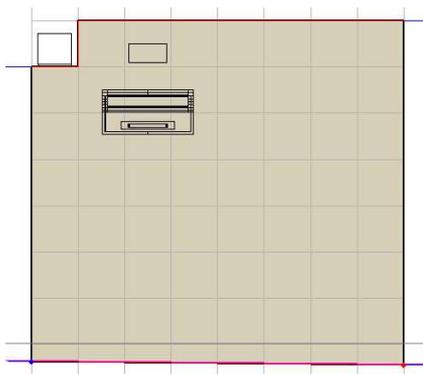
種別：ポスト

シリーズ：エクスポスト口金タイプS-1型
をクリックしていきます。

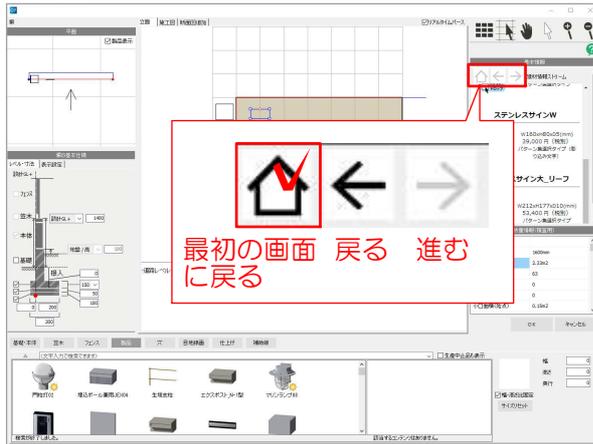


サイズ一覧が表示されます。

3-18 サイズ一覧から「1B05」を選び、 を立面図上の配置したい所に向かってドラッグして配置します。



ポストが配置されました。



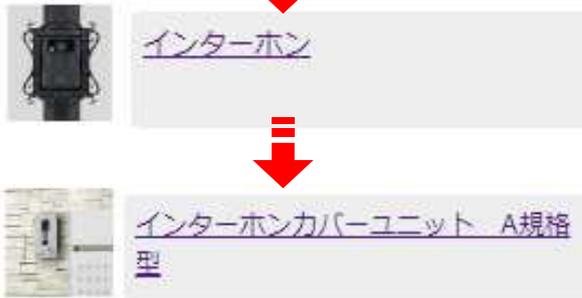
インターホンを選択して塀に配置します。
YKK AP→インターホン
→インターホンカバーユニット A規格型

3-19 画面右上の  ボタンをクリックし、最初のメーカー選択画面に戻ります。



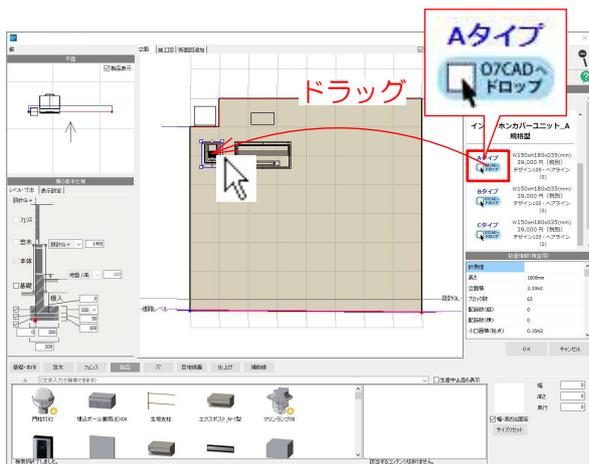
3-20 画面右側の建材情報ストリームで

メーカー：YKK AP
種別：インターホン
シリーズ：インターホンカバーユニットA規格型

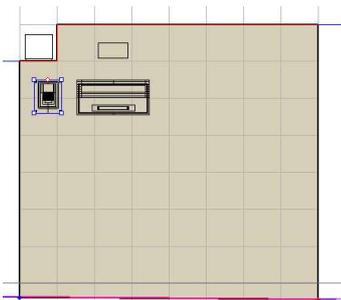


をクリックしていきます。

タイプ一覧が表示されます。



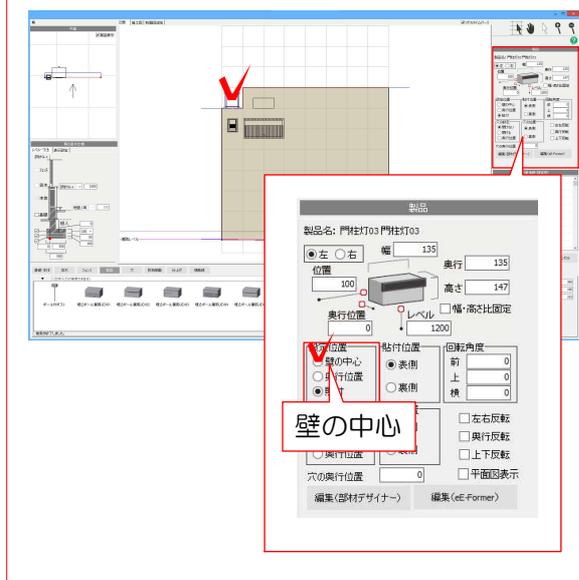
3-21 タイプ一覧から「Aタイプ」を選び、 を立面図上の配置したい所に向かってドラッグして配置します。



インターホンが配置されました。

全ての製品が配置できましたので、次は一部をタイル貼りにしましょう。
P118へ

💡【照明が塀の上ののっていないときは・・・】



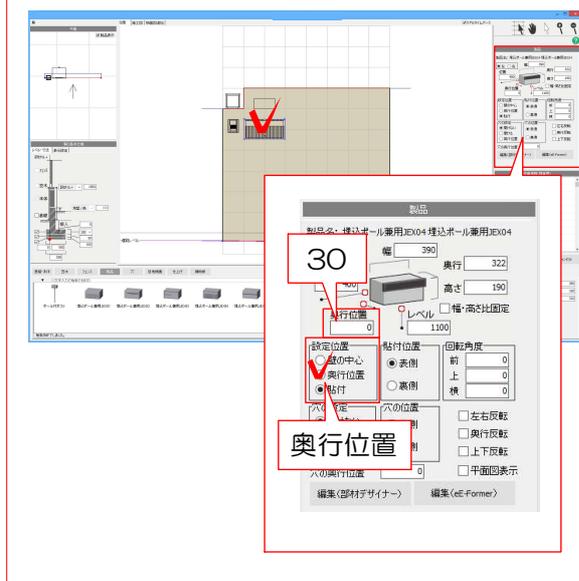
設定位置を調整します。

1 塀に配置した照明をクリックします。

画面右側が製品の設定に変わります。

2 設定位置を「壁の中心」に変更します。

💡【ポストが塀の内側に入っているときは・・・】



設定位置を調整します。

1 塀に配置したポストをクリックします。

画面右側が製品の設定に変わります。

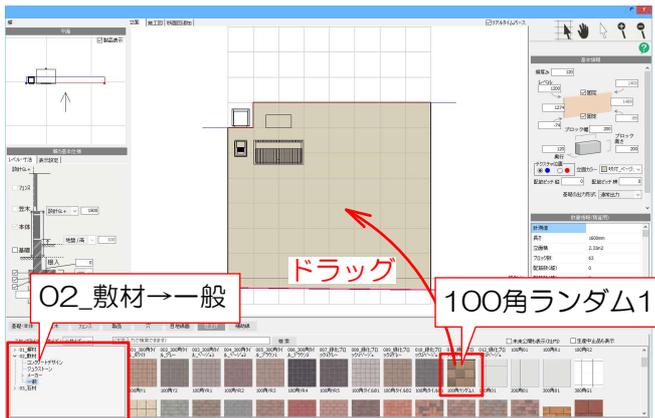
2 設定位置を「奥行位置」に変更して奥行位置の入力欄に「30」と入力します。
※ポストの種類によって数値を調節しましょう。



一部をタイル貼りにします。

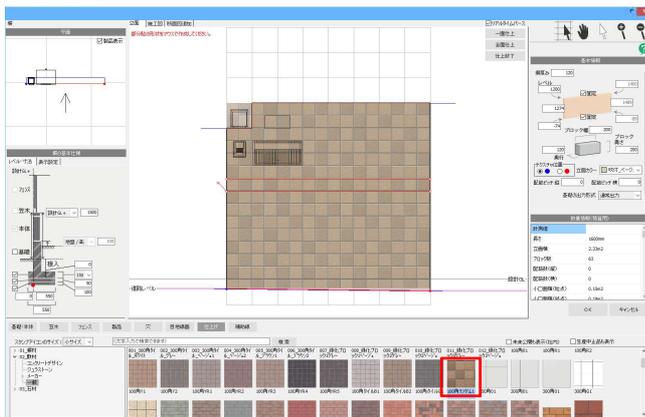
3-25 画面左下の「仕上げ」ボタンをクリックします。

画面下にテクスチャ選択画面が表示されます。



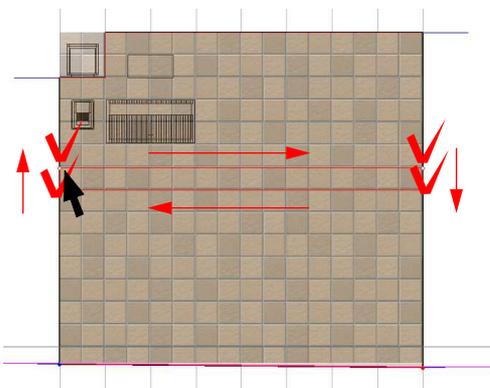
3-26 使用したいテクスチャを選択し、立面図の塀の部分にドラッグします。

- O2_敷材
- 一般
- 100角ランダム1

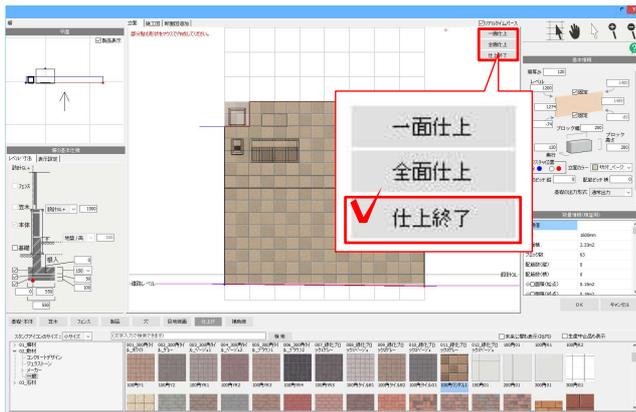


塀全体にタイルの絵が表示されます。

3-27 タイル貼りにしたい部分をクリックしながら描いていきます。



3-28 最後は線の描き始めにカーソルを近づけ、カーソルが  になったところでクリックして終了します。



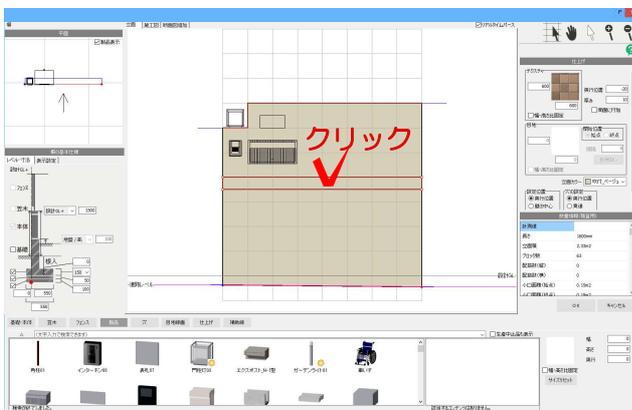
3-29 「仕上終了」をクリックします。



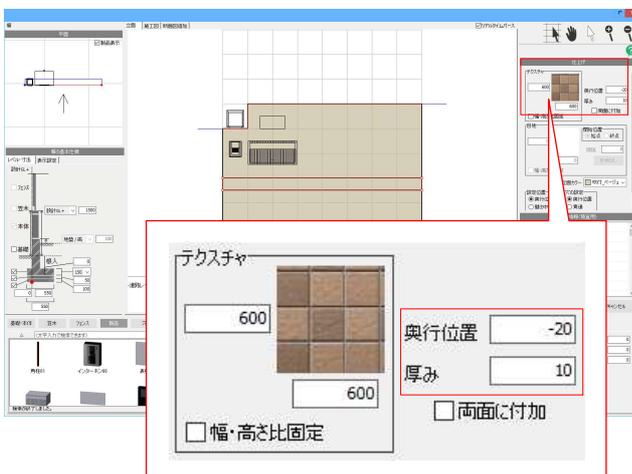
塀の一部をタイルにできました。

リアルタイムパースで確認しましょう。

タイルの部分を凹ませます。



3-30 作成したタイル部分の図形をクリックで選択します。



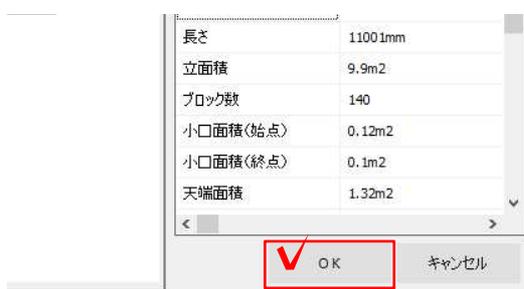
3-31 画面右側の奥行位置と厚みを入力します。

奥行位置→「-20」
厚み→「10」と入力します。



タイル部分を凹ませることができました。

リアルタイムパースで確認しましょう。



門塀の設定が完了しました。

3-32 画面右下の「OK」をクリックして設定画面を閉じます。



【立面図】

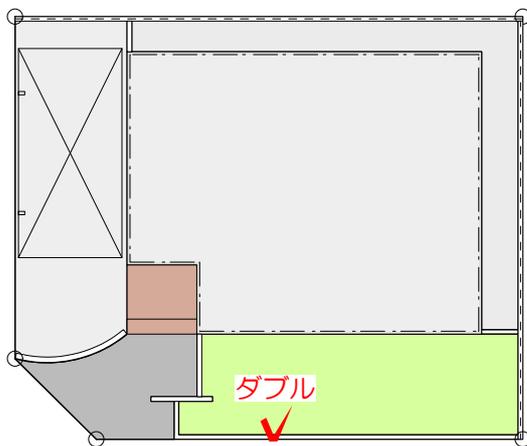
4 塀4：土留 化粧ブロック

左図の塀を作成します。

塀の天端=GL+200
化粧ブロック（リブページュ）

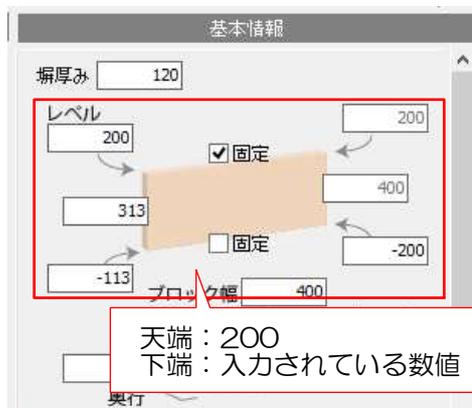


画面の拡大、縮小をして塀が大きく見えるようにしておきましょう。



4-1 左図の土留をダブルクリックします。

塀の設定画面(塀デザイナー)が表示されます。



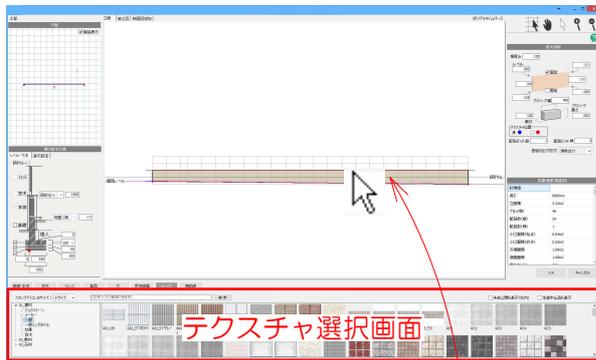
土留の高さを設定します。

4-2 作成したい塀は
化粧CB積
天端：+200
(天端：塀の一番高いところ)
下端：入力済み
※レベル一括変換で既に設定されています。

左図のように高さを設定します。



塀のテクスチャ(素材の模様)を設定します。
4-3 画面左下の「仕上げ」ボタンをクリックします。



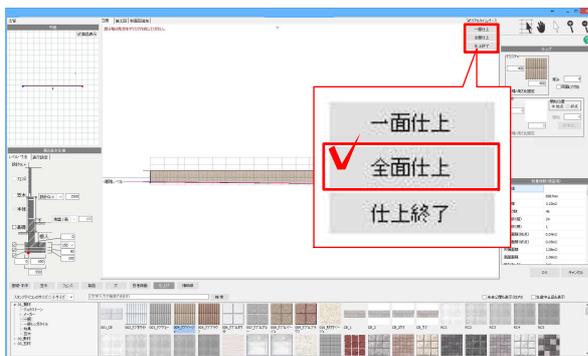
画面下にテクスチャの選択画面が表示されます。

ドラッグ

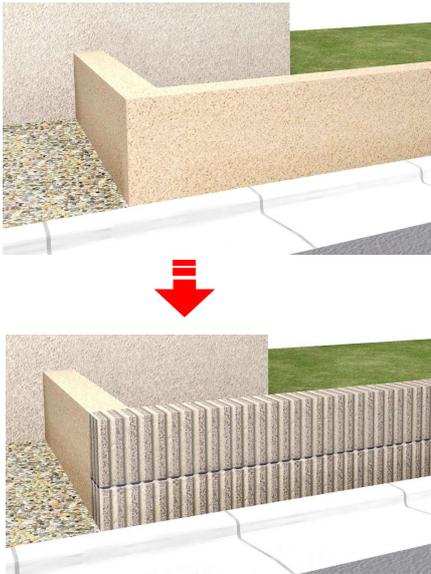


4-4 使用したいテクスチャを選択し、立面図の塀の部分にドラッグします。

- 01_塀材
- 一般
- 004_リブページ



4-5 右上の「全面仕上」のボタンをクリックします。



塀のテクスチャ(素材の模様)がリブページに変更されました。

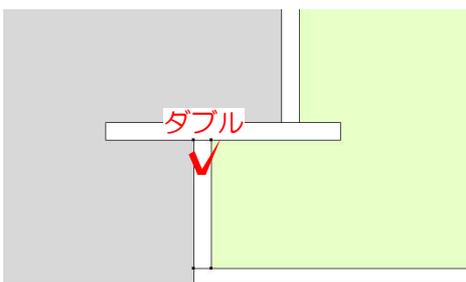
リアルタイムパースで確認しましょう。



リアルタイムパースでもテクスチャの変更をすることができます。

化粧ブロックの設定が完了しました。

4-6 画面右下の「OK」をクリックして設定画面を閉じます。



土留が2つに別れている場合は、もう片方も同じように設定しましょう。





【立面図】

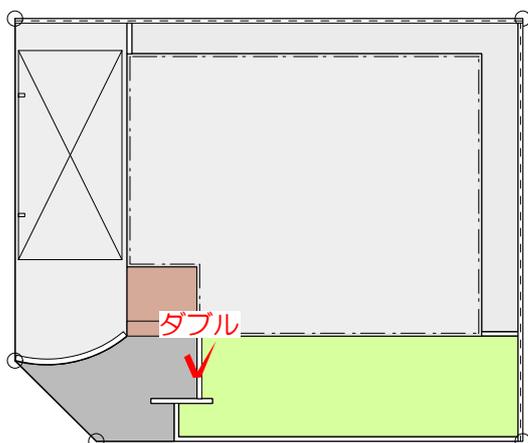
5 塀5：土留 化粧ブロック

左図の塀を作成します。

塀の天端=GL+50
化粧ブロック（リブベージュ）

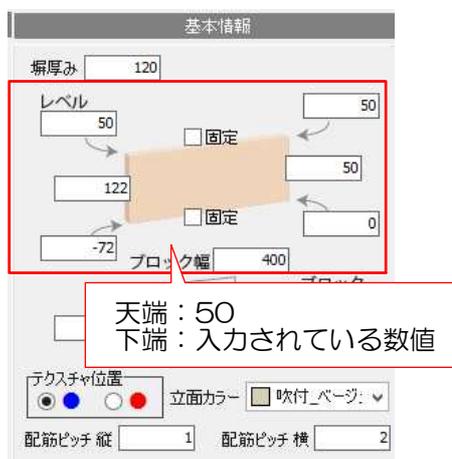


画面の拡大、縮小をして塀が大きく見えるようにしておきましょう。



5-1 左図の土留をダブルクリックします。

塀の設定画面(塀デザイナー)が表示されます。



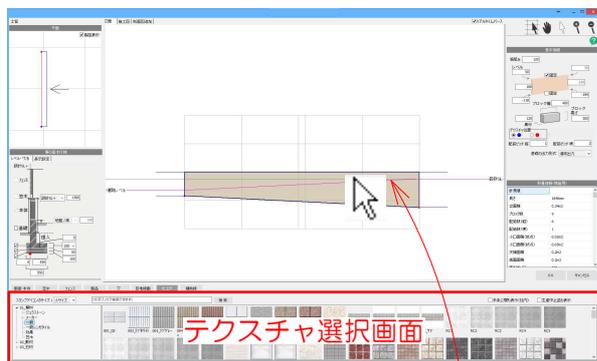
土留の高さを設定します。

5-2 作成したい塀は
化粧CB積
天端：+50
(天端：塀の一番高いところ)
下端：入力済み
※レベル一括変換で既に設定されています。

左図のように高さを設定します。



塀のテクスチャ(素材の模様)を設定します。
5-3 画面左下の「仕上げ」ボタンをクリックします。



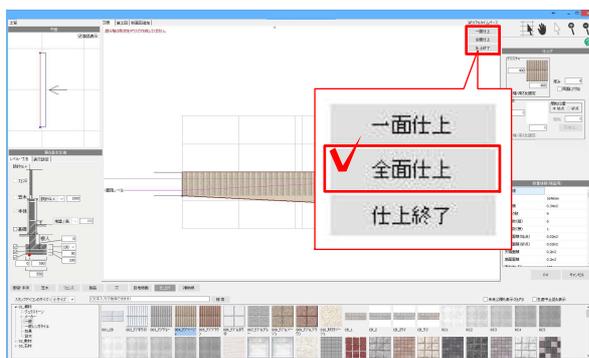
画面下にテクスチャの選択画面が表示されます。

ドラッグ



5-4 使用したいテクスチャを選択し、立面図の塀の部分にドラッグします。

- 01_塀材
- 一般
- 004_リブページユ



5-5 右上の「全面仕上」のボタンをクリックします。



塀のテクスチャ(素材の模様)がリブページに変更されました。

リアルタイムパースで確認しましょう。

 リアルタイムパースでもテクスチャの変更をすることができます。

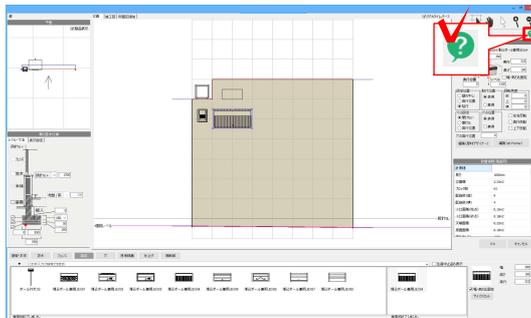
長さ	11001mm
立面積	9.9m ²
ブロック数	140
小口面積(始点)	0.12m ²
小口面積(終点)	0.1m ²
天端面積	1.32m ²

化粧ブロックの設定が完了しました。

5-6 画面右下の「OK」をクリックして設定画面を閉じます。



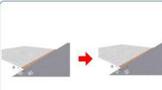
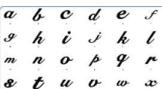
【操作が分からないときは・・・】



塀の設定画面(塀デザイナー)の右上にある  はマニュアルボタンです。クリックをすると塀に関するWEBマニュアルが表示されます。

「塀デザイナー」の関連マニュアル



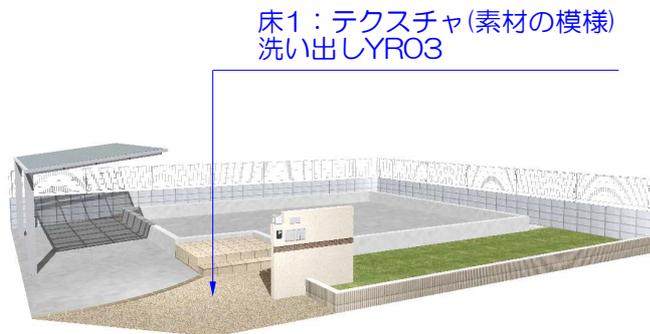
 <p>レンガ、緑石、ピンコロのサイズ変更</p>	 <p>立木を側面にも付ける方法</p>	 <p>塀の表と裏、小口にそれぞれ違うテクスチャを貼る方法</p>
 <p>表札文字シンボル組合せ(切り文字サイン)</p>	 <p>L字の塀を作成する方法</p>	 <p>塀デザイナーの概要</p>

操作が分からなくなった時は、こちらから操作を確認しましょう。

その他、床や道路の設定画面にもマニュアルボタンがあり、各設定画面のマニュアルを参照できます。

床の設定をする

下の図を元に床の設定をしましょう。



床をダブルクリックすると、設定画面(床デザイナー)が起動します。

床のレベル、厚さ、テクスチャ変更などができます。

ここではよく使う機能を練習します。



[床デザイナー]→[床のテクスチャを変更する方法]



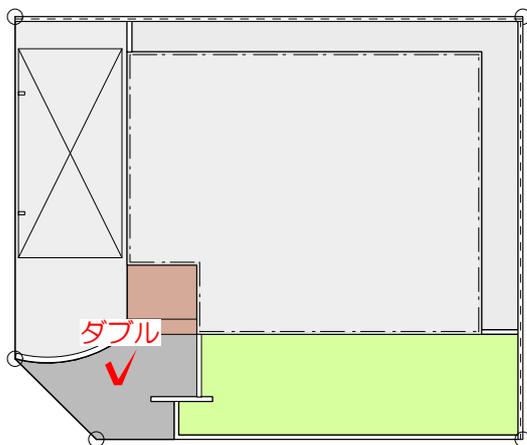
レイヤは「ユニット」

1 床1: テクスチャの設定

アプローチの床の設定をします。



画面の拡大、縮小をして床が大きく見えるようにしておきましょう。



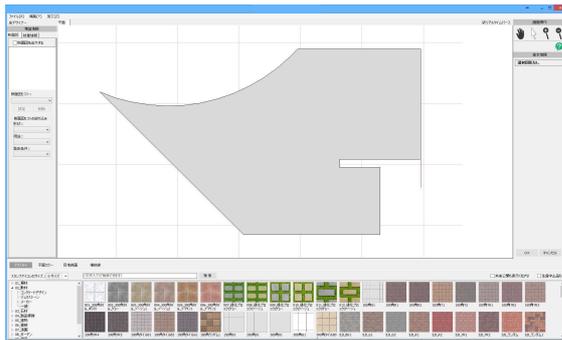
1-1 レイヤを「ユニット」にし、アプローチの床をダブルクリックします。



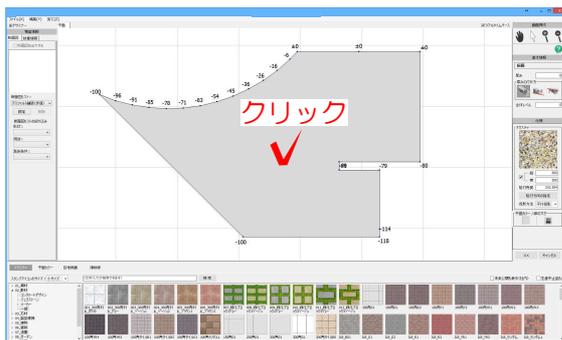
【ダブルクリックしても設定画面が表示されないときは・・・】



レイヤは「ユニット」になっていますか？
それ以外のレイヤボタンが押されていると床が選択できません。

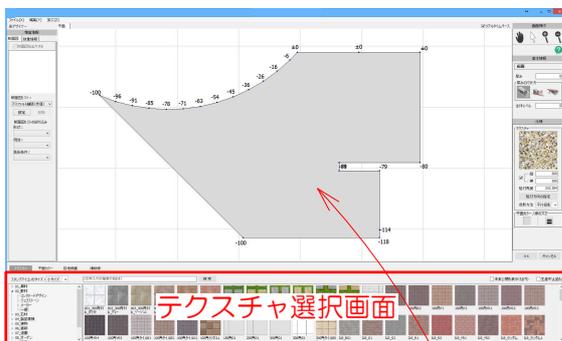


床の設定画面(床デザイナー)が表示されます。



床のテクスチャを設定します。

1-2 設定したい床の図形をクリックで選択します。

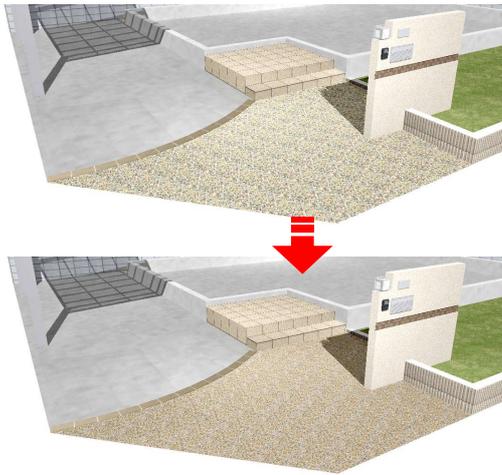


1-3 画面下に表示されているテクスチャ選択画面から使用したいテクスチャを選択し、床の図形にドラッグします。

03_石材→一般→洗出YR03

ドラッグ





床のテクスチャ(素材の模様)が洗出YRO3に変更されました。

リアルタイムパースで確認しましょう。

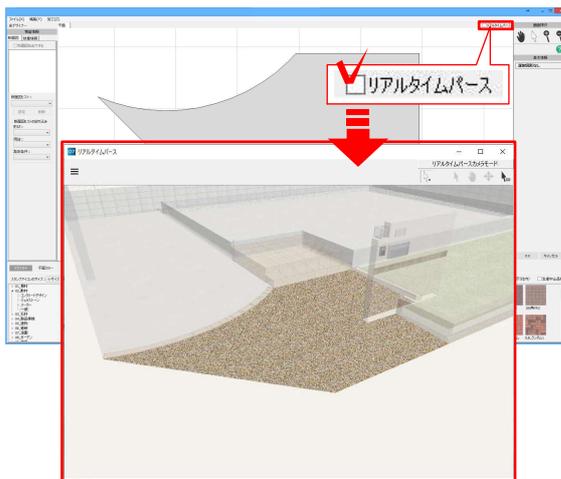


リアルタイムパースでもテクスチャの変更をすることができます。



【リアルタイムパースの表示】

リアルタイムパースを表示させていると、床の設定画面(床デザイナー)での編集もリアルタイムで確認することができます。



リアルタイムパースを表示していない場合は、右上の「リアルタイムパース」にチェックを入れる则表示されます。



【リアルタイムパースでのテクスチャ移動】



床の設定画面(床デザイナー)で編集中は

リアルタイムパース右上に  ボタンが表示されます。

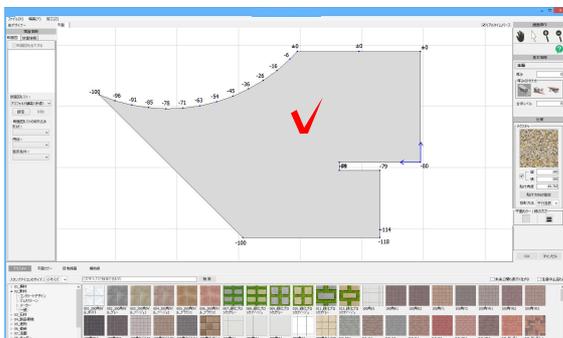
こちらのツールに切り替えるとドラッグでテクスチャの移動ができます。

タイルなど目地を合わせたい場合に便利です。



【床の設定画面(床デザイナー)レベル設定方法】

レベル一括変換で上手くレベルが合わなかった場合など、床の設定画面(床デザイナー)でレベルを設定することができます。



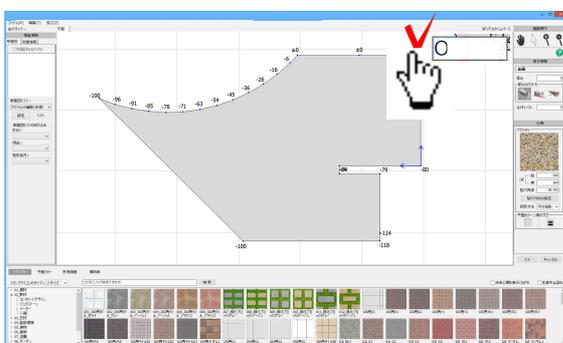
1 レベル設定方法(1点ずつ)

1-1 床の図形を選択すると、各頂点に現在のレベルが表示されます。

1-2 変更したいレベルの数字にマウスを近づけ、マウスカーソルが  になったらクリックします。

数字入力欄が表示されます。

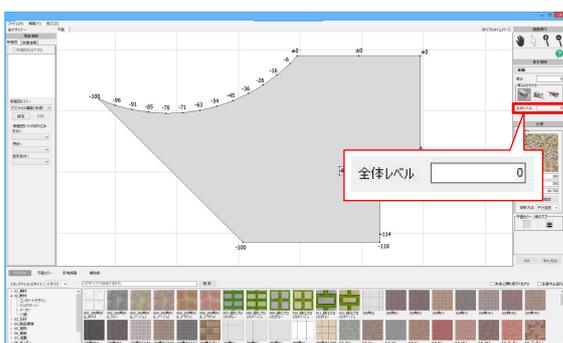
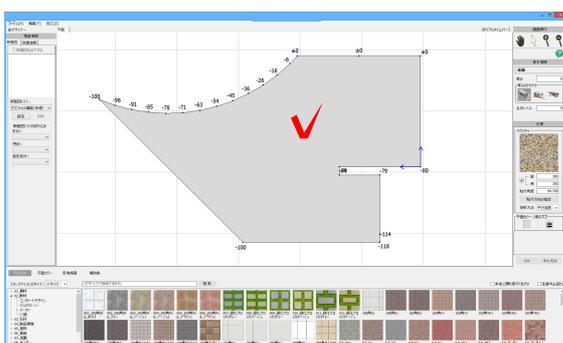
1-3 設定したいレベルを入力しEnterキーを押します。



2 レベル設定方法(全体)

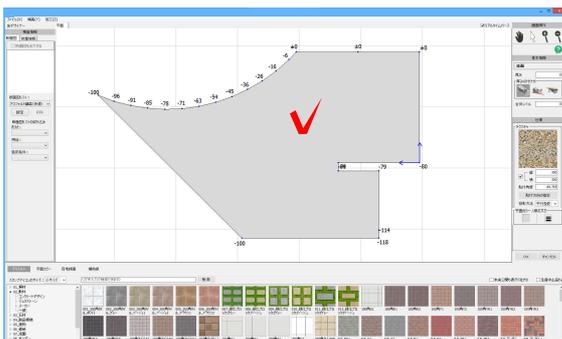
2-1 床の図形を選択します。

2-2 右側の「全体レベル」に設定したいレベルを入力しEnterキーを押します。

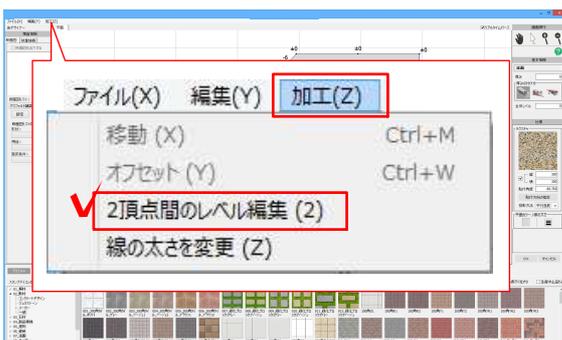


3 レベル設定方法(2点間)

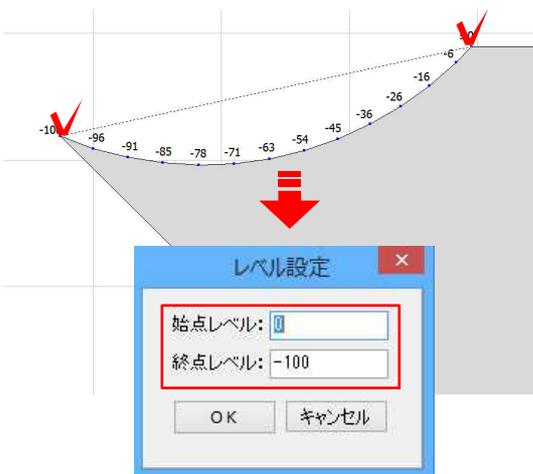
3-1 床の図形を選択します。



3-2 加工メニューの「2頂点間のレベル編集」を選択します。



3-3 間のレベルを設定したい2点をクリックします。

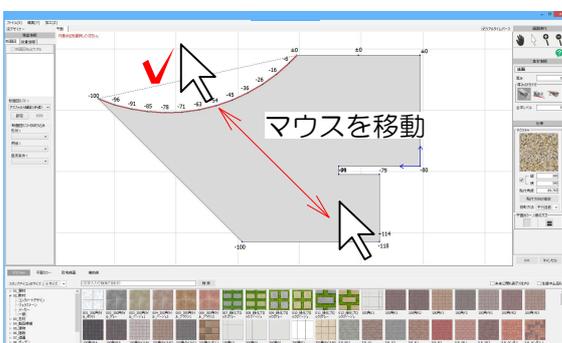


3-4 クリックした点のレベルを入力し「OK」をクリックします。

3-5 マウスカーソルを動かすと対象の辺(赤色の辺)が変わります。
※この時マウスはクリックしません。

設定したい辺が赤色になったらクリックをします。

Ctrlキーを押しながら間のレベルを設定したい2点をクリックし「レベル設定」を選択しても同じ操作ができます。



製品の設定をする

下の図を元に製品の設定をしましょう。



カーポート
サイドパネル2段

製品をダブルクリックすると、設定画面(部材デザイナー)が起動します。オプション・サイズ・カラーが設定できます。

※カラーやオプションの組み合わせは、各メーカーの最新カタログで**組み合わせが可能か、発注可能であるか**を必ずご自身でご確認をお願いいたします。



[製品]→[部材デザイナー概要]



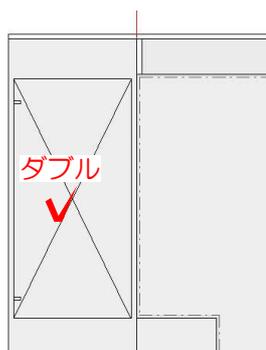
レイヤは「ユニット」

1 製品設定



製品の設定をします。

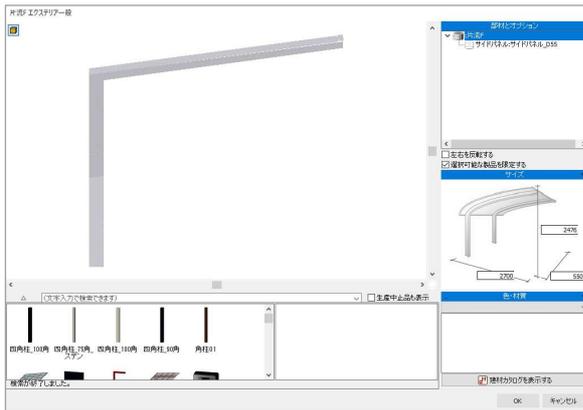
1-1 レイヤを「ユニット」にし、配置した製品をダブルクリックをします。



【ダブルクリックしても設定画面が表示されないときは・・・】

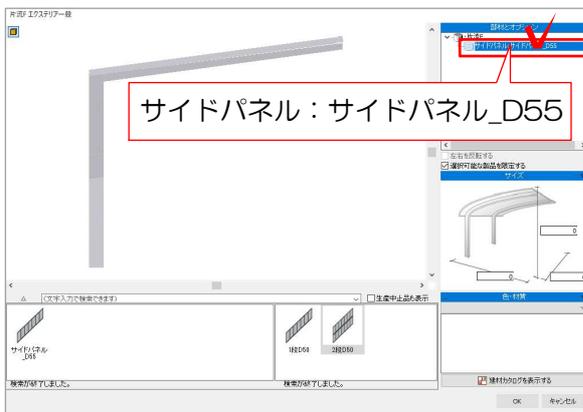


レイヤは「ユニット」になっていますか？
それ以外のレイヤボタンが押されていると製品が選択できません。



製品の設定画面(部材デザイナー)が表示されます。

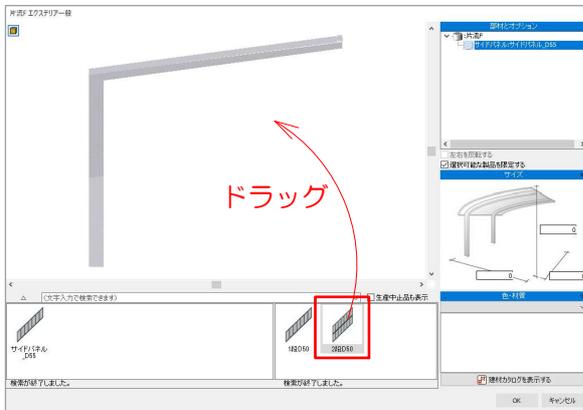
※以下エクステリア一般のカーポートで説明しております。他のカーポートを配置している場合も同様の手順でサイドパネルを設定してみましょう。(サイドパネルが選べないカーポートもございます。)



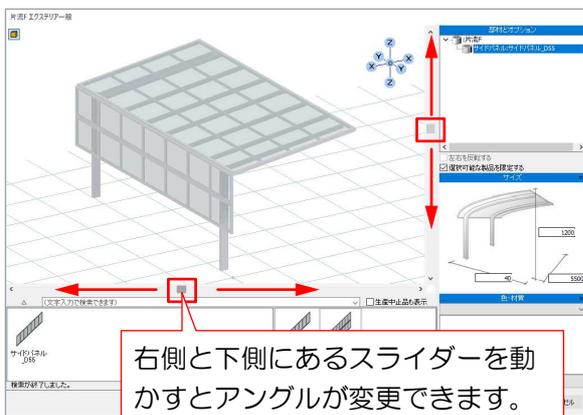
カーポートにサイドパネルを設定します。

1-2 右上の部材とオプションの「サイドパネル: サイドパネル_D55」をクリックします。

画面下にサイドパネルのバリエーションが表示されます。



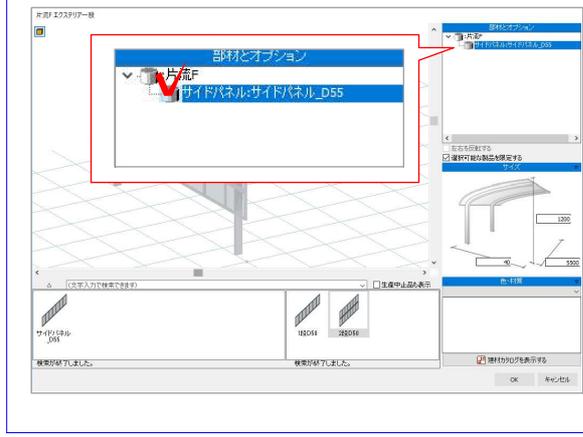
1-3 「2段D50」をカーポートの立面面にドラッグします。



サイドパネルが付けられました。

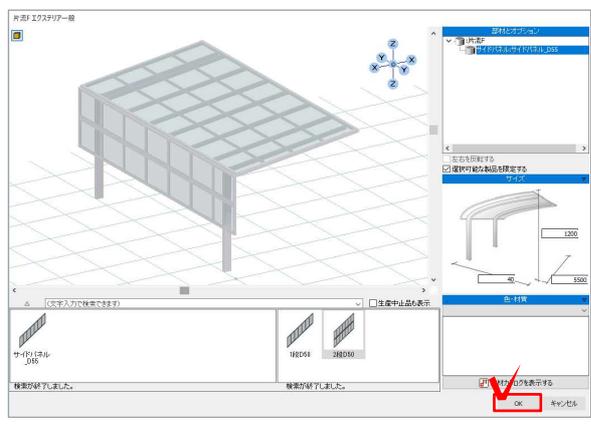
「部材とオプション」では
 ・カーポート→サイドパネル、サポート柱
 ・機能門柱→ポスト、表札、照明
 などが設定できます。

【オプションのあり・なしを変更する方法】

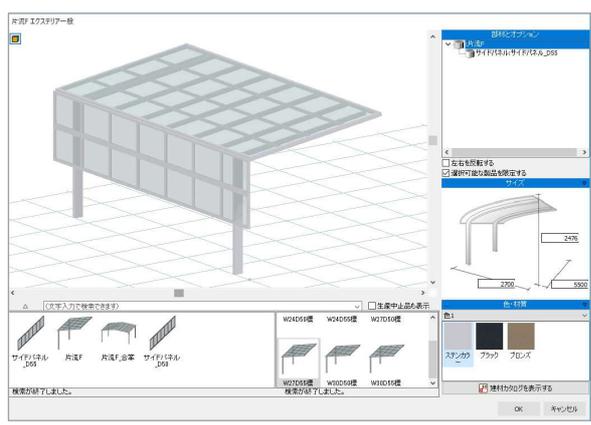


「部材とオプション」各項目の  をクリックしてオプションのあり、なしを変更できます。

-  サイドパネル:サイドパネル_D55
↑ オプションが付いている状態
-  サイドパネル:サイドパネル_D55
↑ オプションが付いていない状態



1-4 右下の「OK」をクリックします。



製品の設定画面(部材デザイナー)ではその他

- ・サイズ変更
- ・カラー変更
- ・建材カタログの表示

ができます。

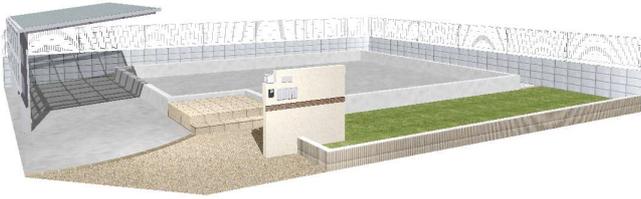
 [製品]→[部材デザイナー]

※カラーやオプションの組み合わせは、各メーカーの最新カタログで組み合わせが可能か、発注可能であるかを必ずご自身でご確認をお願いいたします。

※建材カタログに表示されている商品の価格は、e-tokoカタログに掲載されているメーカーカタログの定価価格です。こちらはリアルタイムでの価格、内容更新をしておりませんので、あくまで目安としてご利用ください。見積ご提出前に必ずご自身で金額確認をお願いいたします。

3Dを確認・編集する

リアルタイムパースで設定した塀や床を確認しましょう。



リアルタイムパースで確認・編集をします。
この画面では作成中の図面の3Dがリアルタイムで確認・編集できます。

表示(V) 加工(Y) ラベル(L) ヘルプ(H)



1 リアルタイムパース表示

リアルタイムパースが表示されていない場合は、画面を表示します。

1-1 「表示」メニューから「リアルタイムパース」をクリックします。

リアルタイムパースが表示されます。

 [リアルタイムパース]→[リアルタイムパース 基本操作]

2 視点の移動・図形の確認

見ている角度を動かしたり、拡大縮小して図形の確認をしましょう。

2-1 視点の調整をするには画面右上を矢印のツールにします。

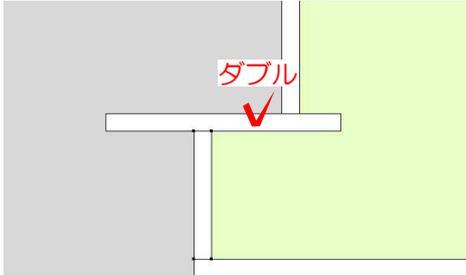


確認をした時に編集が必要な図形があった場合、2通りの編集方法があります。

3 ユニットの編集

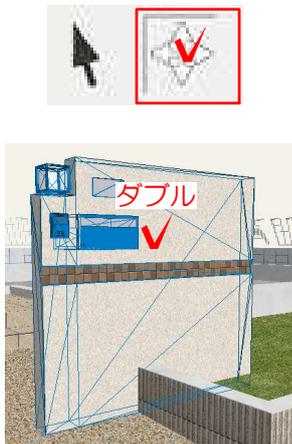
編集方法【その1】

平面図の画面で編集したい図形のあるレイヤに切り替え、ダブルクリックして編集します。



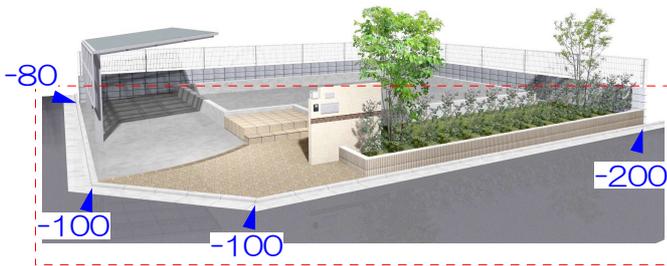
編集方法【その2】

リアルタイムパースで右上の「3D移動ツール」を選択し、図形をダブルクリックして編集します。



道路を作成する

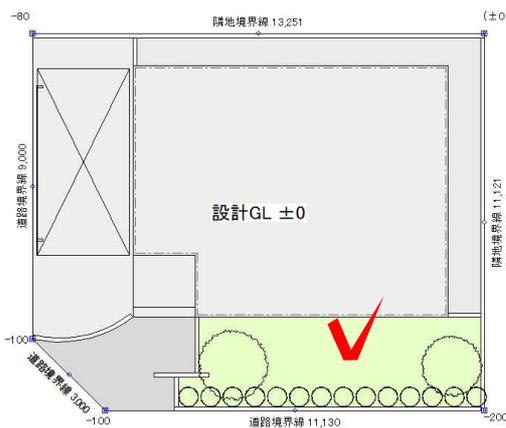
道路を作成しておくことで、パースの見映えもよくなり、高低差のイメージもわかりやすくなります。



「道路デザイナー」で道路を作成します。



1 道路デザイナーの起動

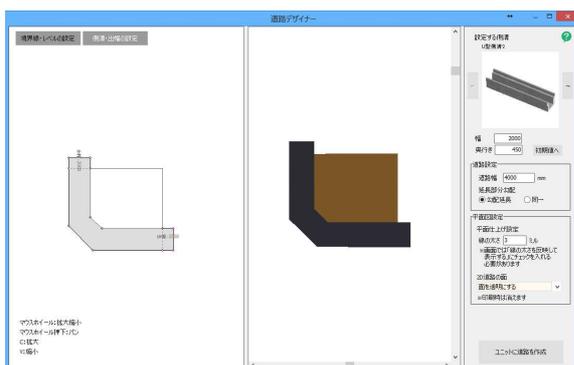


1-1 敷地の図形を選択します。

敷地境界と建物基礎の間をクリックしましょう。敷地が選択されると、角に青い点が表示されます。



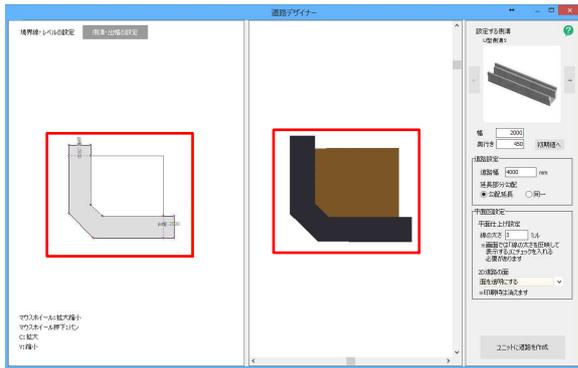
1-2 画面右側の「道路」ボタンをクリックします。



道路デザイナーの画面が表示されます。



[道路デザイナー]→[道路デザイナー]

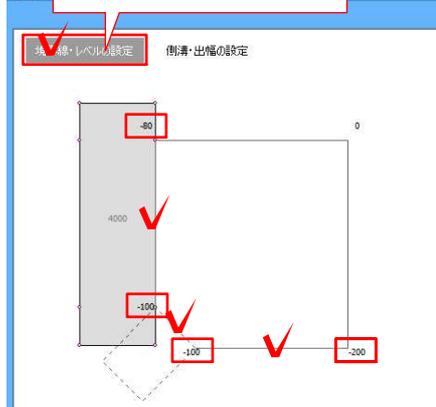


道路のアスファルト部分は自動で作成されています。
 ※あらかじめ敷地の図形に境界線・レベルの設定をしておくことで自動で作成されます。



【道路のアスファルト部分が自動で作成されていないときは・・・】

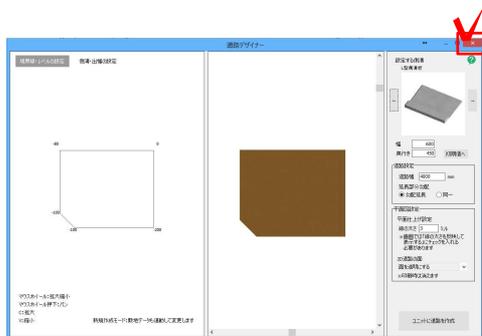
境界線・レベルの設定



編集方法【その1】

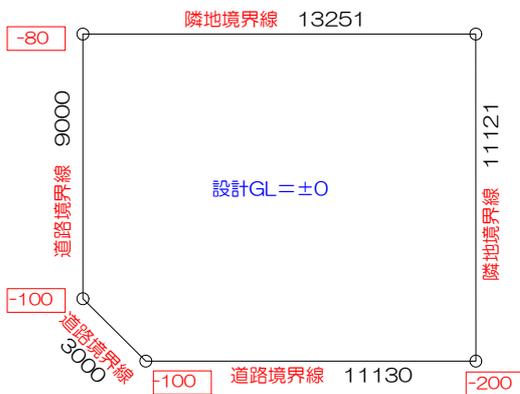
1-1 左上の「境界線・レベルの設定」を選択し、道路を作成したい部分にマウスを合わせ、の時にクリックします。

1-2 敷地の角に表示されている数字をクリックしてレベルを入力します。

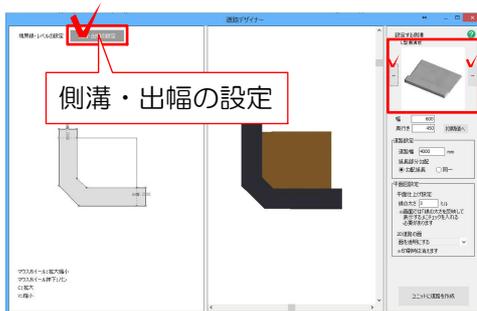


編集方法【その2】

2-1 右上の×をクリックして一度画面を閉じます。

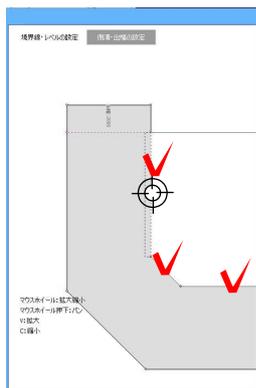


2-2 敷地基礎レイヤで、敷地の図形に境界線とレベルの設定をしてから道路デザイナーを起動します。

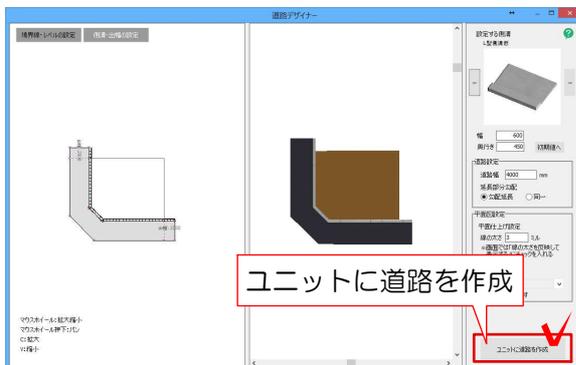


L型側溝を設定します。

1-3 左上の「側溝・出幅の設定」を選択し、右上の ← または → をクリックして「L型側溝低」を選びます。

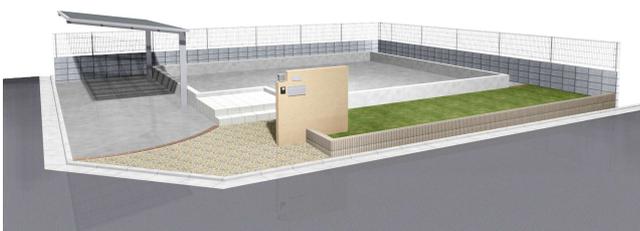


1-4 左側の平面図で側溝を設定したい境界ラインにマウスを近づけ、マウスカーソルが ⊕ の時にクリックをします。



1-5 右下の「ユニットに道路を作成」をクリックします。

道路が完成しました。



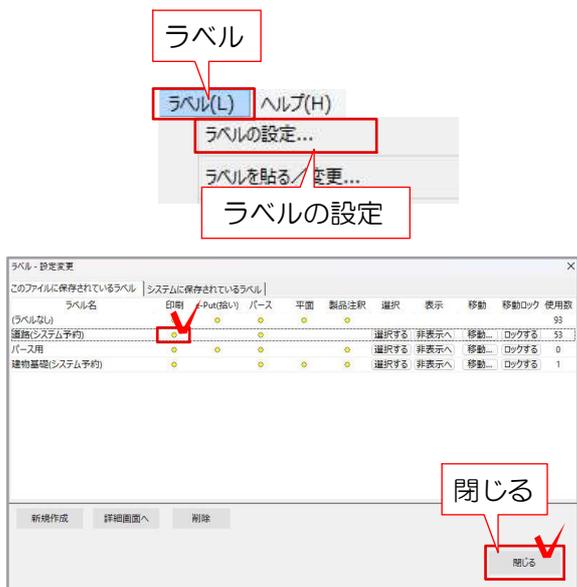
道路は「ユニット」レイヤに作成されます。編集をしたい場合は、ユニットレイヤに切り替えて道路をダブルクリックすると道路デザイナーが起動し編集できます。



道路デザイナーで作成した道路は、パース・立面図用です。平面カメラでは表示されません。また平面図画面で図形が表示されていても印刷には出てきません。

【道路を印刷したいときは・・・】

道路デザイナーで作成した道路には、作成した時点でラベルが設定されています。

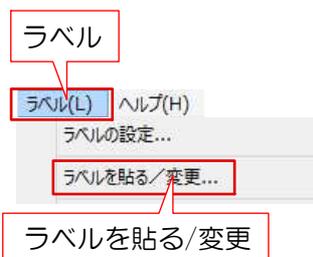


【ラベル】→【道路を印刷に出るようにする方法】

編集方法【その1】

1-1 ユニットレイヤに配置された道路を選択し、ラベルメニューから「ラベルの設定」を選択します。

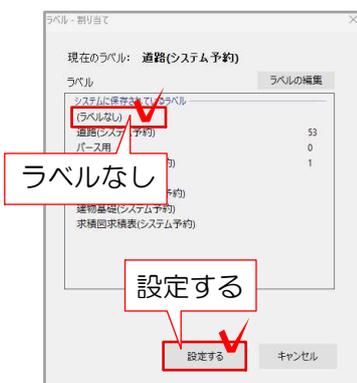
1-2 道路の印刷設定欄をクリックし●印を入れ、閉じるをクリックします。
※●印が入っているとそれぞれの項目の対象となります。



編集方法【その2】

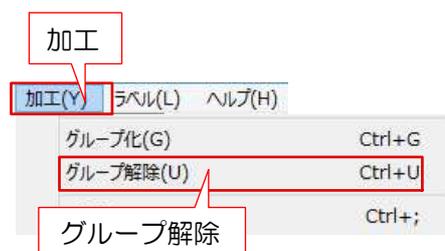
2-1 ユニットレイヤに配置された道路を選択し、ラベルメニューから「ラベルを貼る/変更」を選択します。

2-2 (ラベルなし)を選択して、設定するをクリックします。



※ユニットレイヤに配置された道路を右クリックし、ラベルを貼る/変更→ラベルなしを選択しても設定できます。

【道路を詳細に編集したいときは・・・】



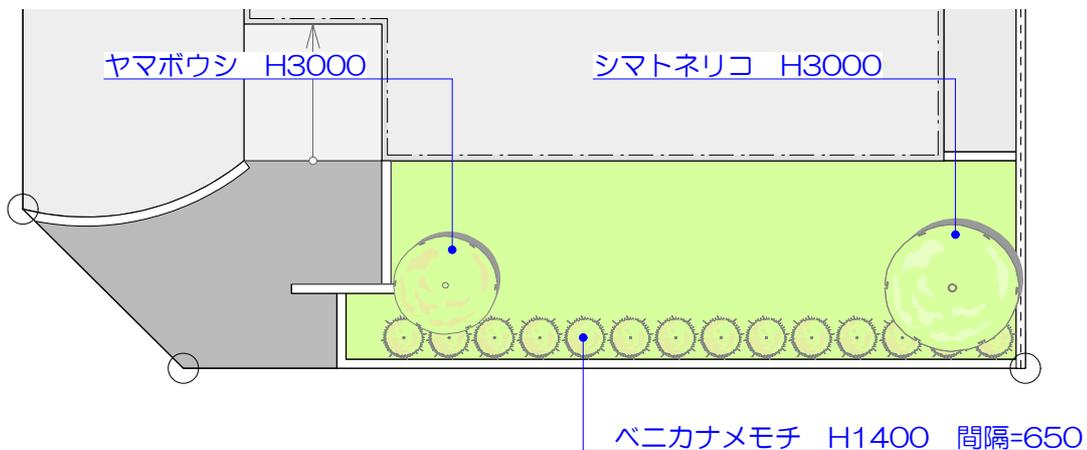
1 ユニットレイヤに配置された道路を選択し、加工メニューからグループ解除を選択します。

2 道路が床とシンボルに分解され、削除・編集ができます。

※一度グループ解除をすると、道路デザイナーは起動できなくなります。

植栽を配置する

下の図を元に植栽を配置しましょう。



レイヤは「造園」

1 樹木の選択(単独配置)

配置する樹木

- ・ヤマボウシ
- ・シマトネリコ

配置したい樹木を選択します。

1-1 レイヤを「造園」にし、スタンプパレットの「植栽アイテム」で「単独配置」をクリックします。

1-2 表示された一覧から樹木を選択します。



【樹木を探したいときは・・・】



樹木の名称で検索することができます。

スタンプ画面右上の に検索する樹木の名前をひらがなか、かたかなで入力し、**検索** をクリックします。

樹木の検索結果が表示されます。

07 [植栽アイテム]→[植栽の検索方法]
Webマニュアル

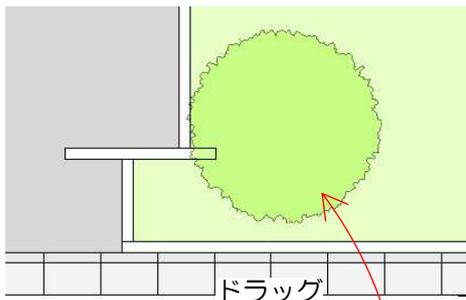


「単独配置」をクリックすると初期状態に戻ります。

2 樹木の配置(単独配置)

樹木を配置します。

2-1 選択した樹木を平面図上へドラッグします。



樹木は約800種類以上登録されています。良く使う順で表示すると、使用回数の多い樹木が一覧の上方へ表示されるようになります。



【リアルタイムパースで配置】



1 リアルタイムパースの左下△ボタンをクリックします。

樹木などコンテンツを選ぶ画面が表示されます。

2 パーツ・製品・樹木・添景からコンテンツを選択し、ドラッグで配置します。

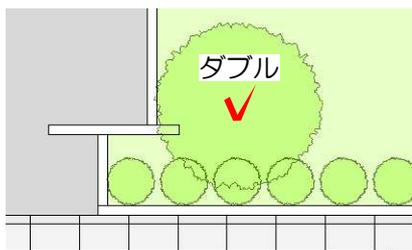
ドラッグした場所に合わせて、レベルが合うようになっています。

石積なども簡単に作成できます。



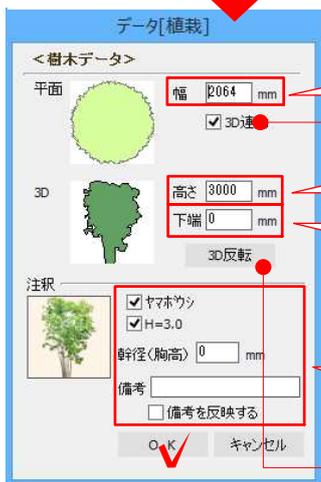


【樹木のサイズを変更したいときは・・・】



配置した樹木をダブルクリックすると
サイズの変更画面が表示されます。

樹木設定画面



幅（葉張り）
※高さで連動

高さ
※幅で連動

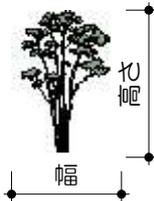
下端=樹木の
根元のレベル

注釈に表示
する内容

幅や高さを入力し、「OK」をクリック
します。

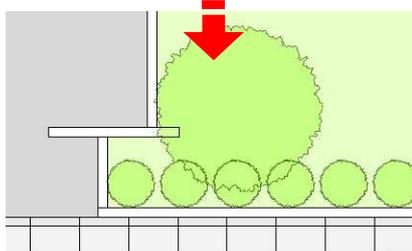
3D連動

✓がある時に、幅または
高さのいずれかを変える
ともう一方に比例した数
値が入ります。



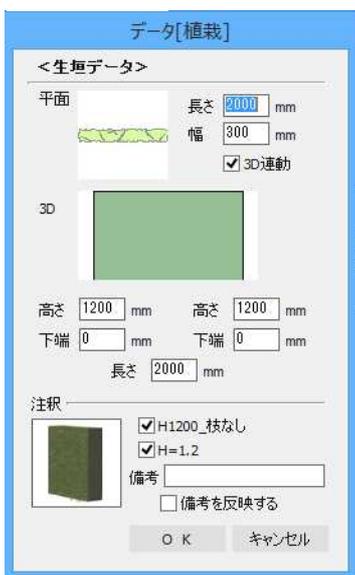
3D反転

立面の左右反転



樹木のサイズが変更されました。

生垣設定画面



低木設定画面



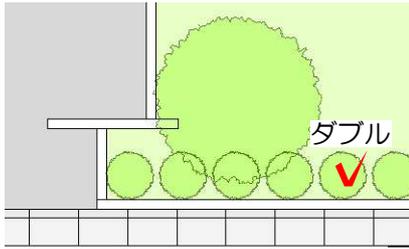
ダブルクリックした植栽
によって設定画面に多少
違いがあります。



[植栽アイテム]→
[生垣の配置・編集する方法]

[植栽アイテム]→
[草花・低木の配置・
編集する方法]

4 サイズ・間隔の変更(列植)



配置した樹木をダブルクリックするとサイズを変更することができます。

H1400のベニカナメモチを650間隔に配置します。

4-1 レイヤを「造園」にし、スタンプパレットの「植栽アイテム」で「列植」をクリックします。

高さ：1400 ※幅と連動

間隔：650

幅：高さに比例 ※高さとの連動

下端：0 (左右の設定)

※幅や高さ、間隔を入力し、「OK」をクリックします。

データ[植栽]

<列植データ>

平面 幅 mm ※幅(葉張り) ※高さとの連動

3D連動 ※幅、高さの連動

3D 高さ mm ※高さ ※幅との連動

3D反転 ※樹木の左右反転

下端 mm 下端 mm

長さ mm 長さ mm 列植の配置距離

間隔 mm 間隔 mm 列植の配置間隔

注釈

H=1.2

幹径(胸高) mm

備考

備考を反映する

OK 注釈に表示する内容

キャンセル

ベニカナメモチのサイズが変更されました。



植栽が配置できましたか？
配置ができれば保存しましょう。

リアルタイムパースで確認してみましょう。

【低木を配置したいときは・・・】

1 低木の選択

配置したい低木を選択します。

1-1 レイヤを「造園」にし、スタンプパレットの「植栽アイテム」で「低木等」をクリックします。



低木は「サツキ」や「アベリア」などの名称ではなく「形」で選択します。

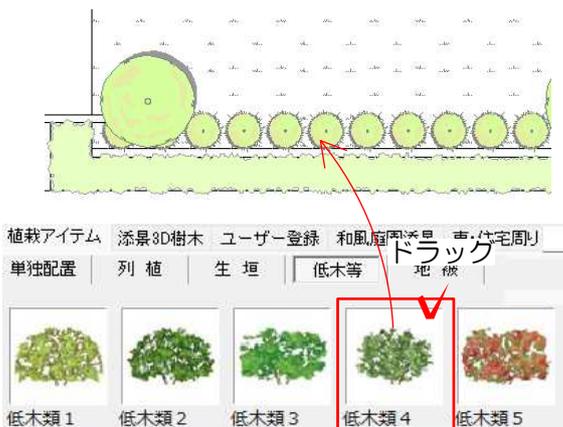


2 低木の配置

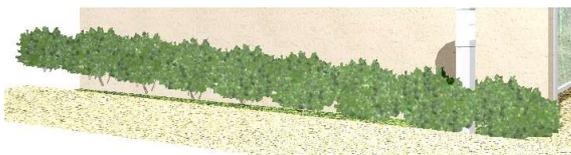
低木を配置します。

2-1 選択した低木を画面上へドラッグします。

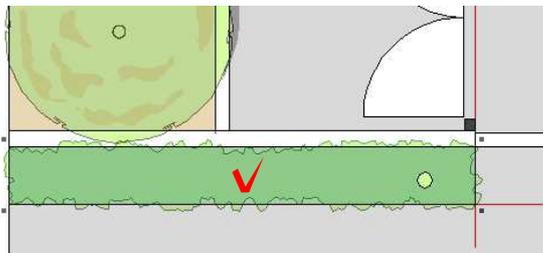
配置する時は配置したい範囲の周辺の線上にマウスを合わせて配置しましょう。



【低木や生垣が埋まっている、浮いているときは・・・】

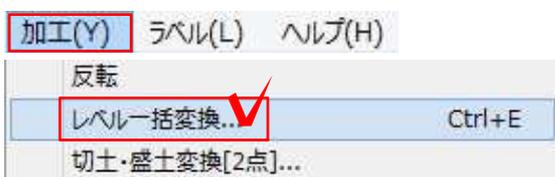


配置した低木や生垣が埋まっていたり、浮いているときがあります。「レベル一括変換」を使って調整することができます。



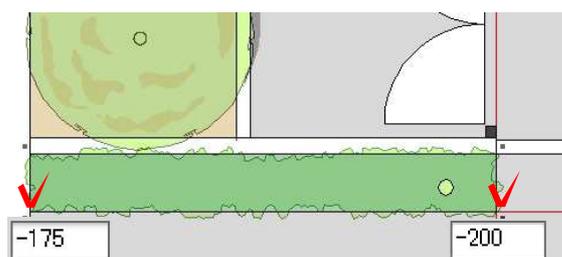
1 選択

1-1 レベルを調整したい植栽を選択します。

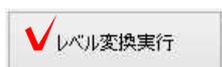


2 レベル一括変換

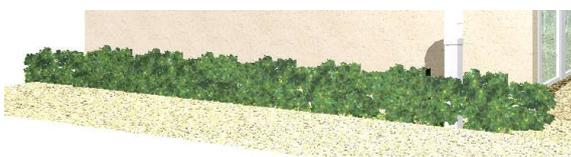
2-1 「加工」メニューの「レベル一括変換」をクリックします・



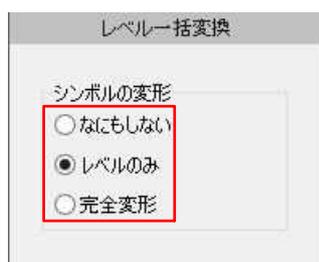
2-2 レベルを指定する2点をクリックして数値を入力します。



2-3 「レベル変換実行」をクリックします。



レベルが設定されました。



「添景」が選択されている場合は、右側の「シンボルの変形」を設定することができます。

【レベルのみ】

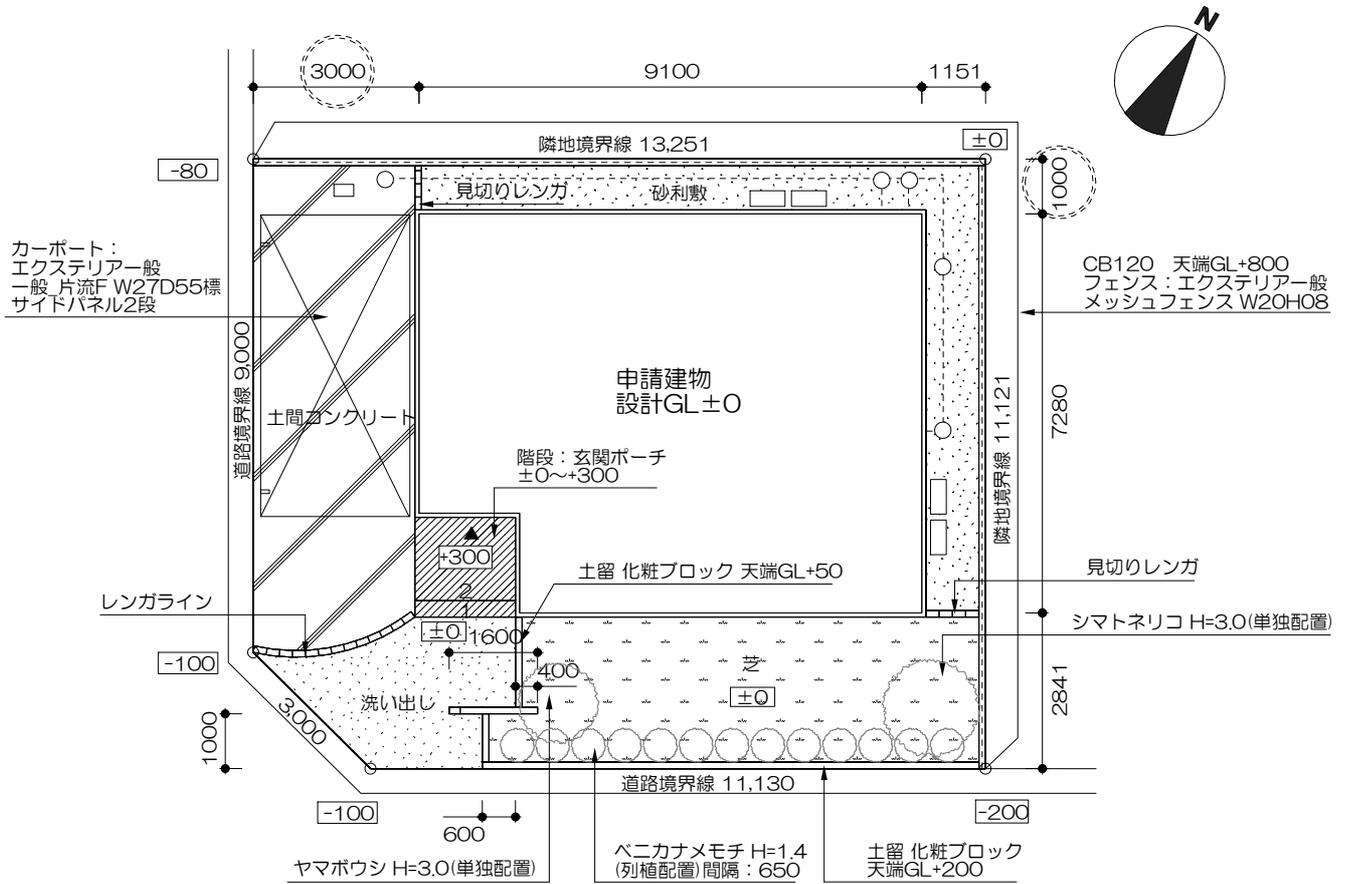
→傾斜に合わせて上下に移動

【完全変形】

→傾斜に合わせて形が変形します。

平面図を詳細に仕上げる

平面図を線画で詳細に仕上げたい場合は、2Dレイヤで作業をします。



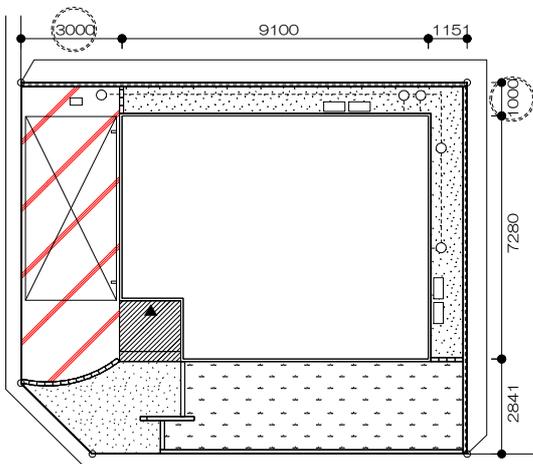
2Dレイヤ作業方法

レイヤは「2Dレイヤ」で作業します。



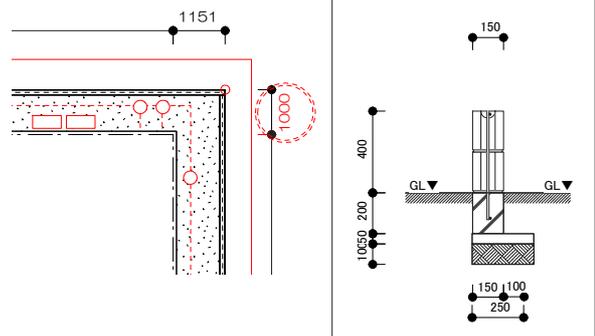
ハッチングを入れたり、文字、直線・四角形・多角形などの図形を描くことができます。

1 ハッチングを入れる



2 文字を書く

3 図形を描く

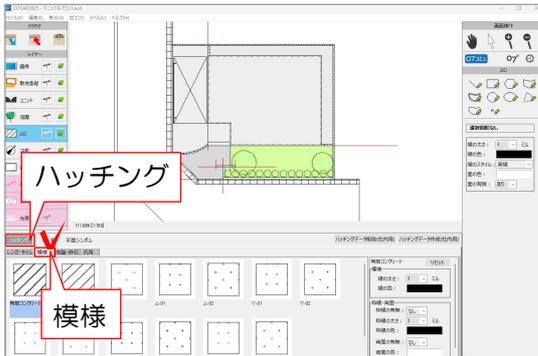


CB150 2段積 H400 フェンス無し

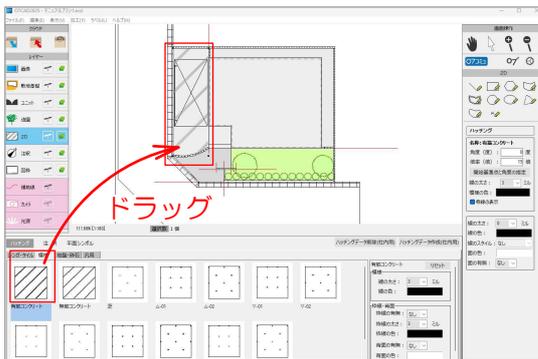


レイヤは「2D」

1 ハッチングを入れる



1-1 画面下の「ハッチング」を選択し、「模様」をクリックします。



1-2 「有筋コンクリート」を土間コンクリートの図形にドラッグします。

床や塀などの図形の上、もしくは補助線で囲われた範囲にドラッグできます。

※ユニットレイヤの床・階段の設定画面→「目地線画」からハッチングを設定することもできます。



詳しい操作方法はWEBマニュアルを参照してください。

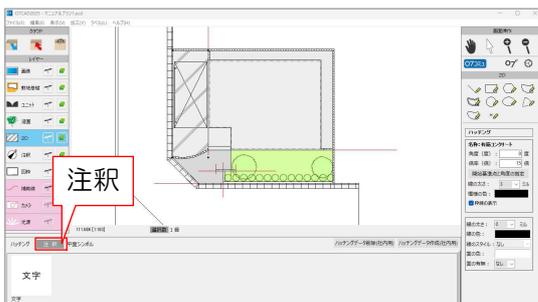


[2Dレイヤー]→[2Dレイヤの操作方法]

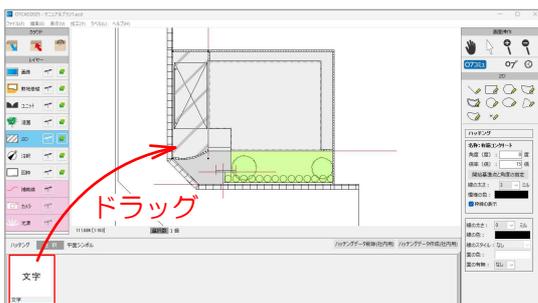
07 [床デザイナー]→[床に平面目地（線）を設定する方法]

2 文字を書く

※今回は作業の必要はありません。



2-1 画面下の「注釈」を選択します。



2-2 文字を配置したい箇所にドラッグします。

設定画面が表示されます。



※注釈レイヤの「文字」から文字を書くこともできます。

 詳細説明 P155
テキスト

2-3 表示させたい文字を入力して「OK」をクリックします。

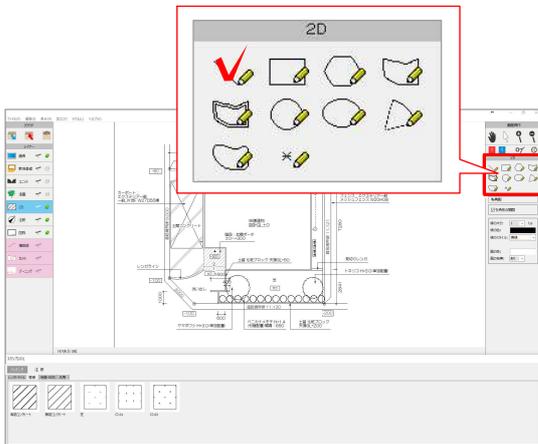
 詳しい操作方法はWEBマニュアルを参照してください。

 [2Dレイヤー]→[2Dレイヤの操作方法]

3 図形を描く

※今回は作業の必要はありません。

3-1 画面右上の各ツールボタンをクリックして図形を描きます。



 詳しい操作方法はWEBマニュアルを参照してください。

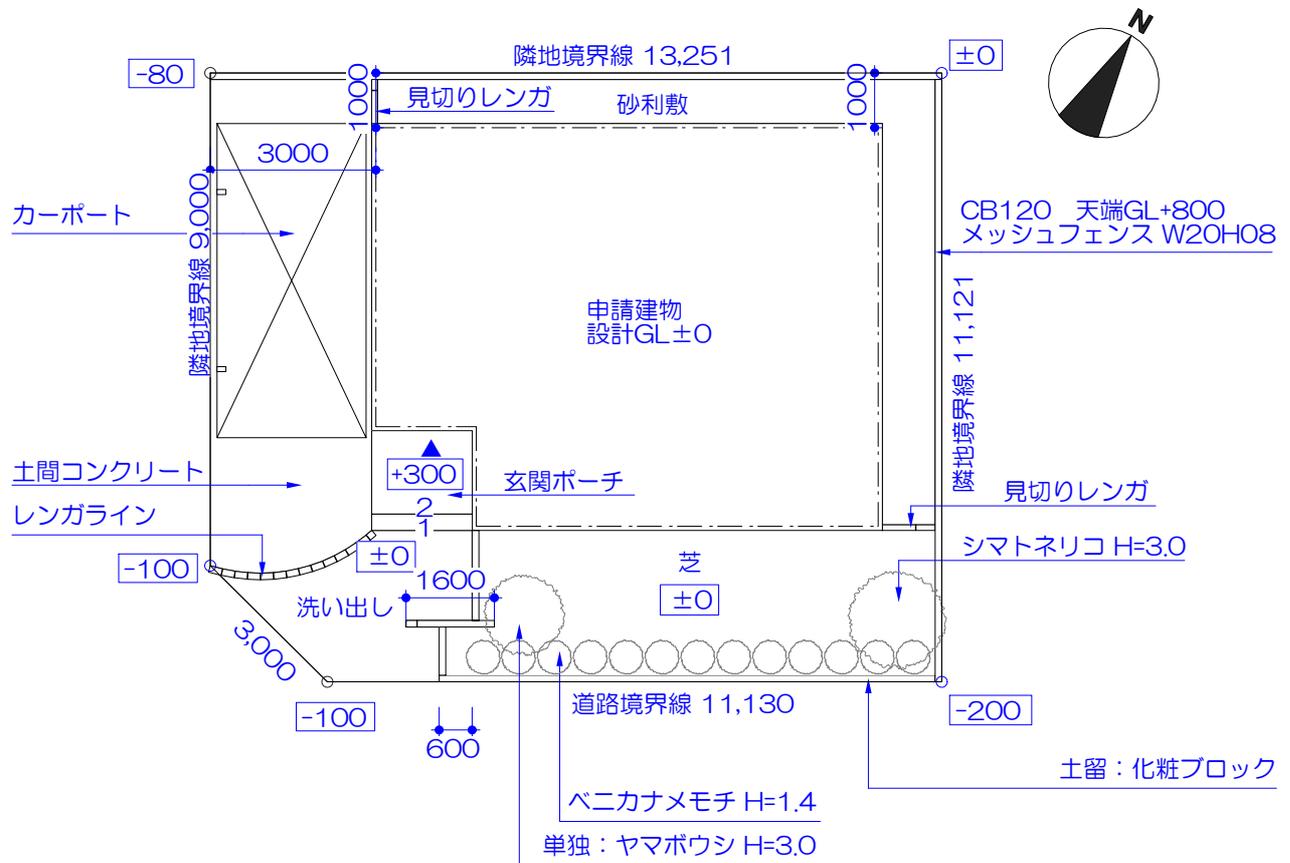
 [2Dレイヤー]→[2Dツール]

※補助線で線を書き、注釈レイヤの「補助線→線」「補助線→面」のボタンから図形を描くこともできます。

 [補助線]→[補助線を面に変換]

注釈を配置する

下の図を元に注釈を配置しましょう。今回は「方法1～6」を使用します。



注釈を配置する方法

注釈は「注釈レイヤ」で配置します。
境界寸法、ポイント、文字、方位、寸法線などを入力します。

方法1 敷地注釈を書く

敷地の寸法やレベルを書きます。

方法2 植栽注釈・製品注釈を書く

植栽・製品の注釈を書きます。

方法3 文字を書く

文字だけを書きます。

方法4 引き出し線を書く

矢印の付いた文字を書きます。

方法5 寸法線を書く

寸法線を書きます。

方法6 記号や定型文を配置する

方位、建物入口のマークを配置します。



レイヤは「注釈」

1 敷地注釈

敷地の長さや、境界ポイントなどを表示させます。

1-1 レイヤを「注釈」にし、画面右上の「敷地注釈」をクリックします。



1-2 求積表の設定画面が表示されます。「いいえ」をクリックします。



求積表が必要な場合は「はい」をクリックします。



[注釈レイヤー]→[敷地寸法を印刷に出す方法]



敷地注釈が表示されます。



【敷地寸法だけが表示されたときは・・・】



「敷地基礎レイヤ」で注釈の設定をしていないと、寸法値のみが表示されます。境界注釈を入力したい時は、下記のいずれかの方法で入力します。

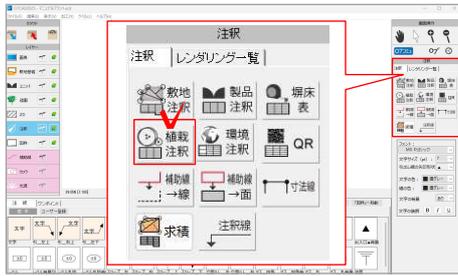
方法1：「注釈レイヤ」で寸法値をダブルクリックし、文字を入力します。

方法2：「敷地基礎レイヤ」へ戻り、注釈の設定をします。（設定はP48を参照）設定後、「注釈レイヤ」で「敷地注釈」をクリックします。



レイヤは「注釈」

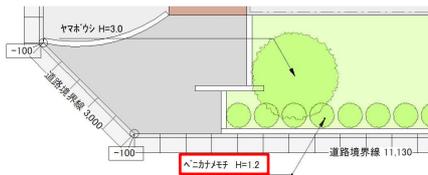
2-1 植栽注釈を書く



2-1-1 レイヤを「注釈」にし、画面右上の「植栽注釈」をクリックします。



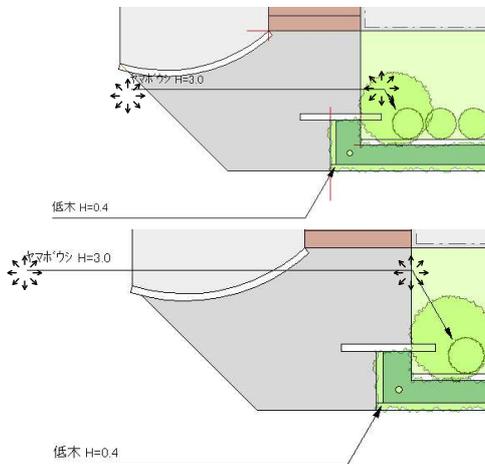
2-1-2 「引き出し線」か「表」を選択してクリックします。



植栽の注釈が表示されました。



【植栽注釈：引き出し線と表】



【引き出し線】

外構の注釈同様、文字の付いた文字列を自動で表示します。

位置が他の注釈と重なることがあります。始めに表示して位置を調整してから、外構注釈を書きましょう。

引き出し線の中点または、終点（文字がある方）を ✱ で変形することができます。



植栽仕様表

記号	樹木名	H	C	W	数量	備考
1	クオガネモ子	1.8	---	1.1	1	
2	シヤラノキ	2.5	---	1.4	1	
3	トネリコ	2.5	---	1.6	1	
4	ナナカマド	2.3	---	1.3	1	
5	H1200 枝なし	1.2	---		1	
6	低木	0.3	---		2	

【表】

平面図の植栽上には番号が表示されます。平面図右に使用している植栽の一覧表を作成します。

表はダブルクリックで編集可能です。



【注釈レイヤー】→

【植栽表・引き出し線を作成する方法】



レイヤは「注釈」

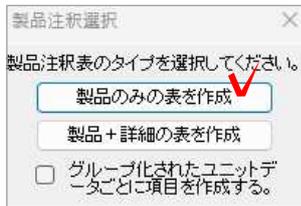
2-2 製品注釈を書く

使用している製品（メーカー金物商品）を一覧で表示することができます。

2-2-1 レイヤを「注釈」にし、画面右上の「製品注釈」をクリックします。



2-2-2 「製品のみ」を選択してクリックします。

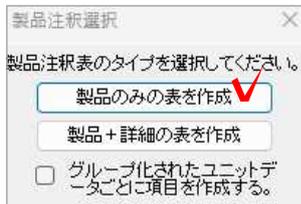


製品の一覧表が表示されました。

種別	メーカー	製品名	個数
両開門扉	三協アルミ	マイリッシュ_A01型 07-12W	1
機能門柱_ボール	(株)LDL	アクシイ1型_組合せ例01	1
照明	エクステリア一般	門柱灯03	1
フェンス	YKK AP	レスティナフェンス_21型 H800	6
カーポート	(株)LDL	フーゴフレギュラー_基本 27-50	1



【製品注釈】

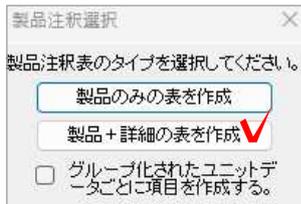


【製品のみ】

製品名一覧表が表になります。

表はダブルクリックで編集可能です。

種別	メーカー	製品名	個数
両開門扉	三協アルミ	マイリッシュ_A01型 07-12W	1
機能門柱_ボール	(株)LDL	アクシイ1型_組合せ例01	1
照明	エクステリア一般	門柱灯03	1
フェンス	YKK AP	レスティナフェンス_21型 H800	6
カーポート	(株)LDL	フーゴフレギュラー_基本 27-50	1



【製品+詳細】

製品名+オプション選択した製品名が表になります。

表はダブルクリックで編集可能です。

種別	メーカー	製品名	個数
両開門扉	三協アルミ	マイリッシュ_A01型 07-12W	1
		四角柱_75角	2
機能門柱_ボール	(株)LDL	アクシイ1型_組合せ例01	1
		アクシイ機型ポスト_志開き	1
照明	エクステリア一般	門柱灯03	1
		インターホン06	1
フェンス	YKK AP	レスティナフェンス_21型 H800	6
カーポート	(株)LDL	フーゴフレギュラー_基本 27-50	1



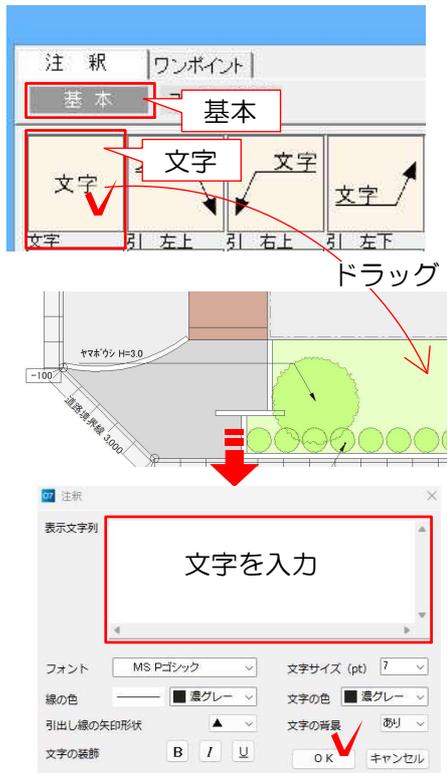
[注釈レイヤー]→[製品一覧表を作成する方法]



レイヤは「注釈」

3 文字を書く

3-1 レイヤを「注釈」にし、画面左下のパレット「注釈」→「基本」から「文字」を画面上へドラッグします。



注釈設定画面が表示されます。

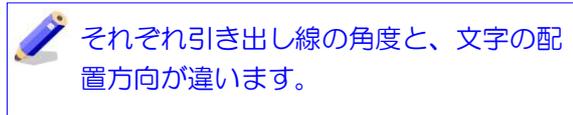
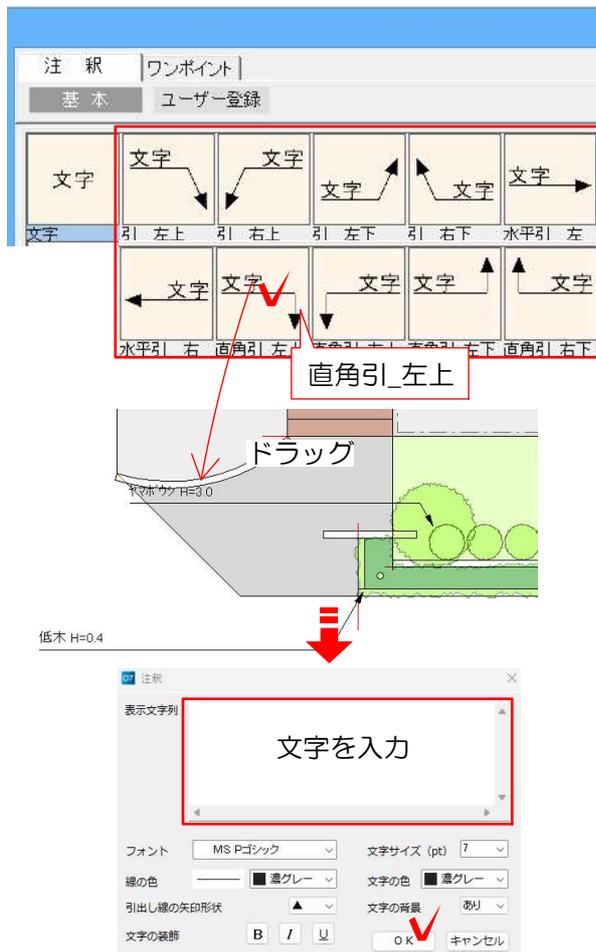


3-2 表示させたい文字を入力して「OK」をクリックします。

4 引き出し線を書く

【方法1 スタンプ引き出し線】

4-1-1 レイヤを「注釈」にし、画面左下のパレットから引き出し線を画面上へドラッグします。



4-1-2 矢印の先を図形に合わせて離します。

注釈設定画面が表示されます。



4-1-3 表示させたい文字を入力して「OK」をクリックします。



レイヤは「注釈」

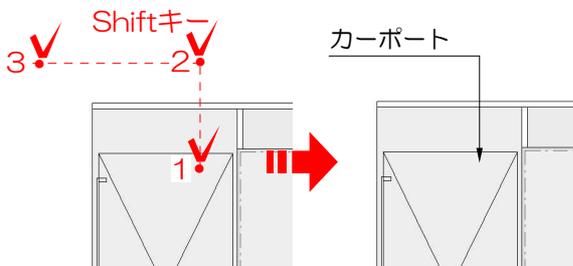


【方法2 手書き注釈線】

4-2-1 レイヤを「注釈」にし、画面右側の「注釈線」のボタンをクリックします。

手書き注釈線は任意の点で3回または2回クリックすることで自由に向きや長さを指定して注釈線を配置することができます。

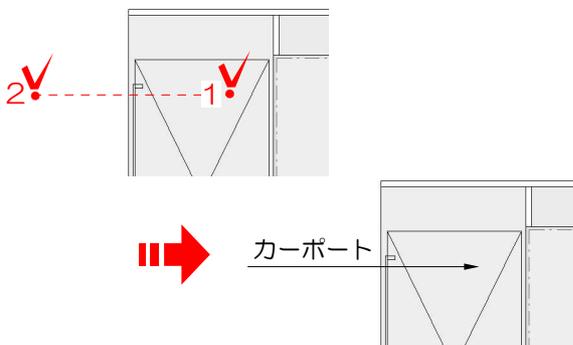
【折れ点のある注釈線の場合】



4-2-2 (1点目)
作図画面上で注釈線の矢印の先になる位置をクリックします。

4-2-3 (2点目)
中点となる位置をクリックします。
※直角の注釈線にする場合はキーボードのShiftキーを押しながら2点目をクリックしましょう。
※直線の注釈線の場合はこの操作は不要です。

【直線の注釈線の場合】



4-2-4 (3点目)
右側または左側にマウスを移動し、文字を配置したい位置でクリックします。

注釈設定画面が表示されます。

図形の「仕様名」が入力されています。



4-2-5 表示させたい文字を入力して「OK」をクリックします。

※「注釈線」を解除する場合は、別のツールを選ぶかキーボードのESCを押すと解除されます。

【文字のフォントやサイズ・色を変えたいときは・・・】



文字のフォントやサイズを変更するには、いくつかの方法があります。

【複数を変更する】

変更したい注釈を選択し、画面右のフォントとサイズを変更します。

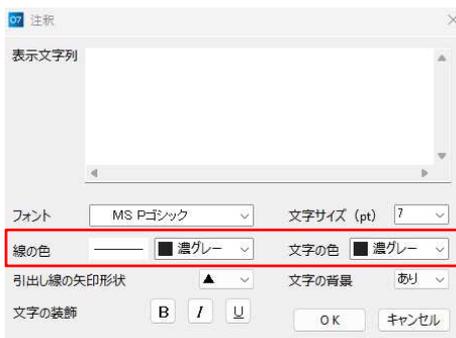
※注釈配置前に設定しておくこと、配置する注釈は設定したフォント・サイズで表示されます。

【注釈設定画面】



【一つだけ変更する】

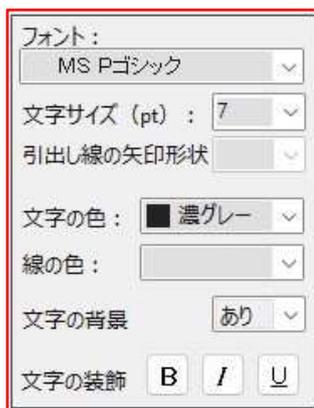
変更したい注釈をダブルクリックし、注釈設定画面で変更します。



文字の色を変更する方法

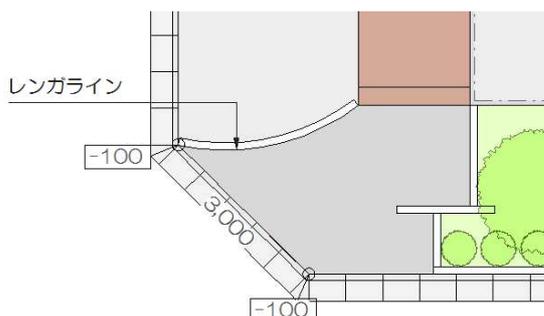
引き出し線の色・文字の色を選択し変更します。

※フォントとサイズを変更する時と同じように複数でも変更する事ができます。



【デフォルト設定をする】

注釈を何も選択しない状態で設定しておくことデフォルトを決める事ができます。何回も設定しなくても、CADを開いた時に設定したフォントや文字のサイズになっています。



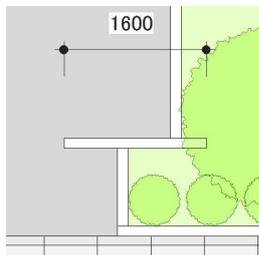
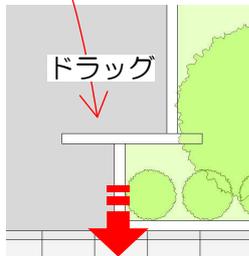
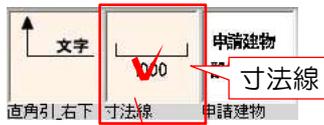
他の引き出し線も入力してみましょう。

入力できたら保存しましょう。



注釈

レイヤは「注釈」



5 寸法線を書く

【方法1 スタンプ寸法線】

5-1-1 レイヤを「注釈」にし、画面左下のパレットから「寸法線」を画面上へドラッグします。

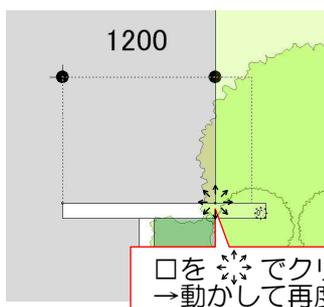
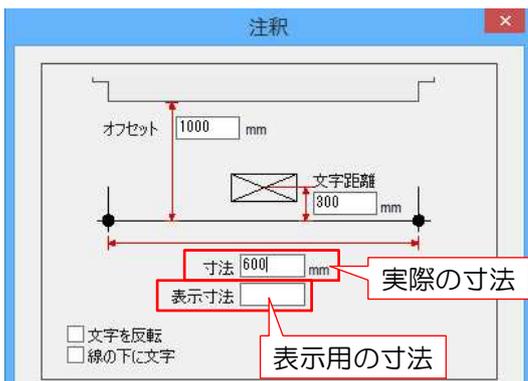
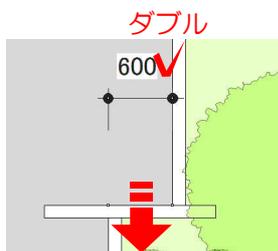


矢印の先を寸法線を配置したい図形に合わせて離します。

寸法線が配置されました。



【寸法線の数値が合わないときは・・・】



寸法線が図形に合わなかった場合は長さや表示数値を調整します。

【調整方法1】

寸法線の数値をダブルクリックします。

「寸法」で実際の長さ、「表示寸法」で表示用の長さが設定できます。

※表示寸法は数字以外の文字も入力できます。



[注釈レイヤー]→[寸法線を配置する方法]

【調整方法2】

寸法線の数値をクリックし、表示された口を✳️になったらクリックします。

移動させたい位置でクリックして調整できます。

※数値や角度がおよその位置になるので調整方法1と併用して利用しましょう。



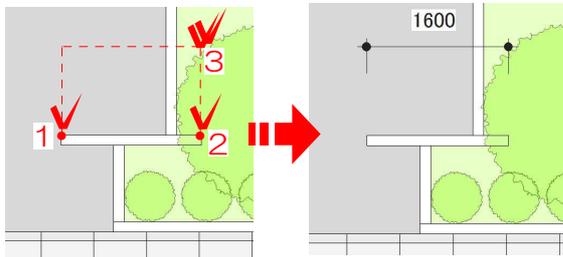
レイヤは「注釈」

【方法2 手書き寸法線】

5-2-1 レイヤを「注釈」にし、画面右側の「寸法線」のボタンをクリックします。

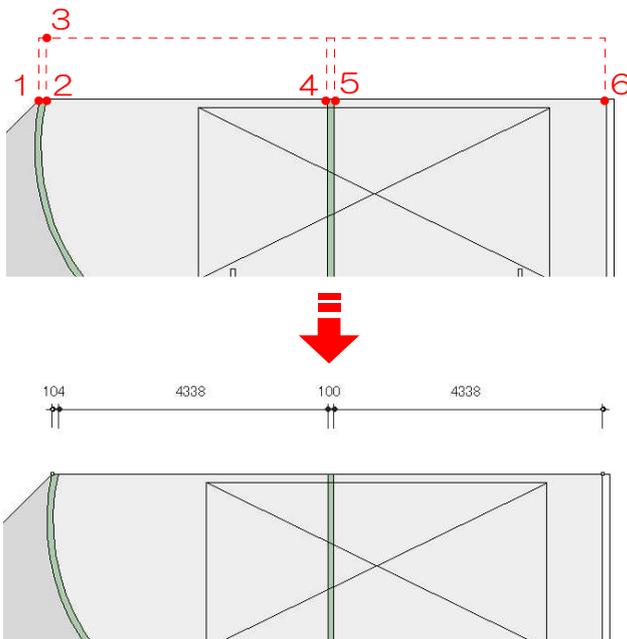


5-2-2 寸法を入れる対象の2点をクリックで指定します。左図1、2



5-2-3 マウスを移動して寸法線を配置する位置でダブルクリックします。左図3

【寸法線を連続で書く方法】



1 寸法を入れる対象の2点をクリックで指定します。左図1、2

2 マウスを移動して寸法線を配置する位置でクリックします。左図3

先に指定した2点と平行な寸法線が描画されます。

Shiftキーを押すと用紙に対して水平、垂直の角度で配置されます。

3 以降のクリックで、連続して寸法線を作成します。左図4、5

4 ダブルクリックで作成が終了します。左図6

寸法線は、グループ化されて配置されます。



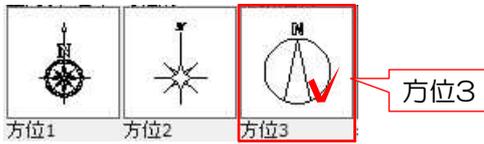
注釈

レイヤは「注釈」

6 記号や定型文を配置する

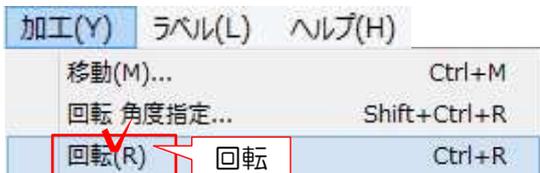
ここでは方位と建物入り口の▲、その他定型文を配置します。

6-1 レイヤを「注釈」にし、「方位3」を画面上へドラッグします。



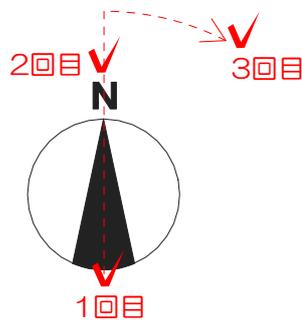
方位の角度を調整します。

6-2 配置した方位を選択した状態で、「加工」メニューの「回転」をクリックします。



「回転」は任意の点を3回クリックすることで回転させます。

今回は縦軸を右へ回転させたいので以下のように作業します。



6-3 【クリック1回目】

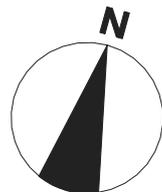
回転する時の基準にしたい点でクリック。大抵、図形の中心や角です。今回は中央一番下の点。

6-4 【クリック2回目】

回転する軸になるラインでクリック。大抵、1回目の点と反対側の角などです。今回は方位軸に沿って中央一番上の点。

6-5 【クリック3回目】

軸の回転方向でクリック。角度があっていればいいので、少し離れたところを指定します。今回は右斜め上の点。



方位が回転しました。



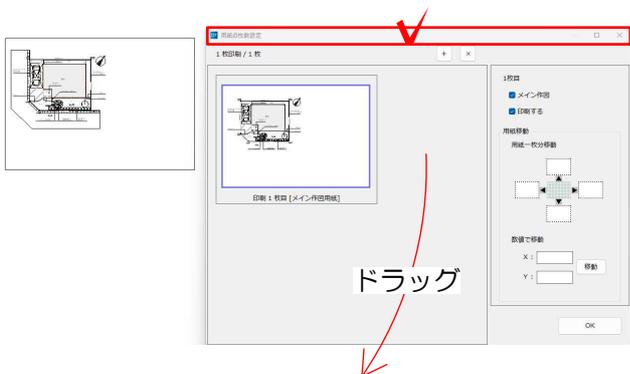
【注釈が用紙枠から出てしまうときは・・・】



注釈が用紙から出てしまう場合は、用紙を移動して調整します。

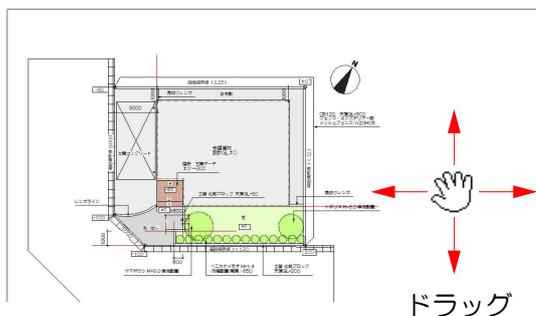
Web7-177 [用紙] → [平面図のレイアウト位置を調整する方法]

1-1 レイアを「注釈」にし、「ファイル」メニューから「複数用紙の設定、用紙移動」をクリックします。

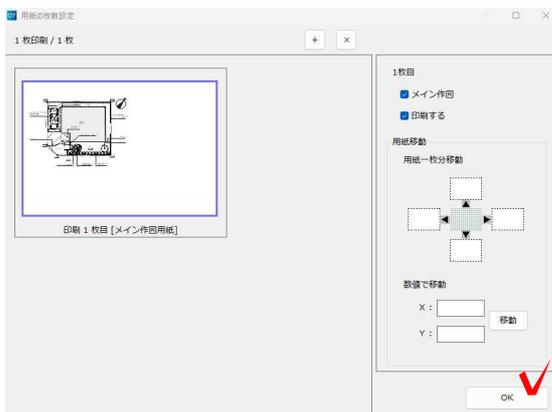


複数用紙の設定、用紙移動の設定画面が表示されます。

1-2 設定画面の上部バーをドラッグし、画面下へ移動します。



1-3 画面上にカーソルを動かし、 になったらドラッグして用紙範囲を動かします。



1-4 用紙位置が調整できたら「OK」をクリックします。

リアルタイムパースでイメージパースを作成する

リアルタイムパースを表示してイメージパースを作成してみましょう。



リアルタイムパースでテクスチャ(素材の模様)・効果設定を変更して、イメージパースを作成します。

表示(V) 加工(Y) ラベル(L) ヘルプ(H)



1 リアルタイムパース表示

1-1 「表示」メニューから「リアルタイムパース」をクリックします。



リアルタイムパースが表示されます。

07 [リアルタイムパース]→
Web7-17 [リアルタイムパース 基本操作]

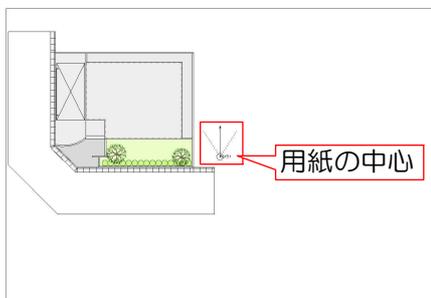


1 カメラを設定

カメラを表示します。

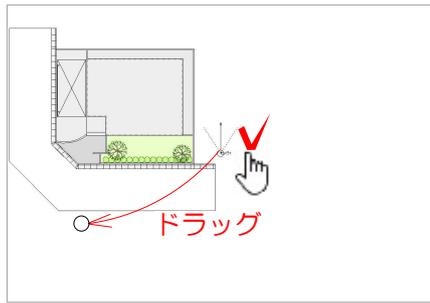
1-1 レイヤを「カメラ」にします。

用紙の中心に「カメラ1」が表示されます。



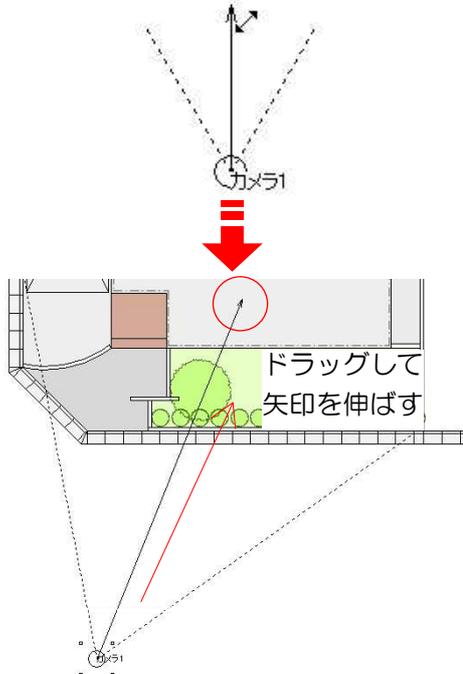
【レイヤをカメラにしても、カメラが表示されないときは・・・】

カメラは用紙の中心に表示されます。用紙の中心が見えるまで画面を縮小してみましょう。



カメラの位置を調整します。

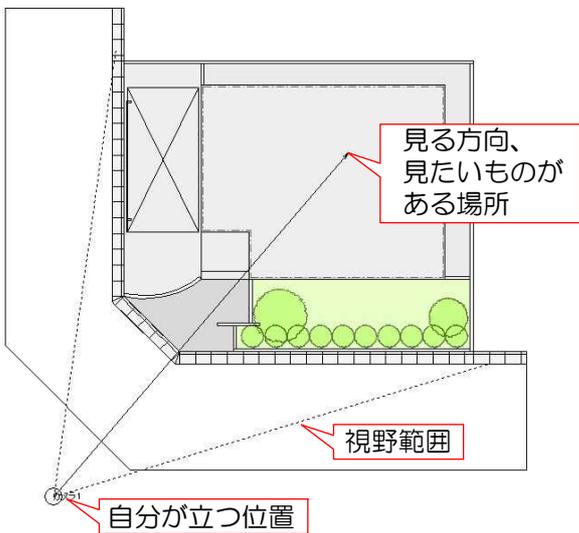
1-2 カメラの○にカーソルを合わせ、 になったら、ドラッグでカメラ位置（自分が立ちたい位置に）を移動します。



カメラの角度を調整します。

1-3 カメラの矢印の先にカーソルを合わせます。

1-4  になったら、ドラッグして矢印の先を見たい方向へ伸ばします。



○＝自分が立つ位置

矢印の先＝見る方向

見たいものがある場所

（全体パースの場合は視野範囲が、

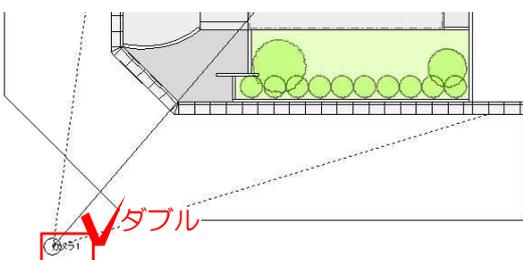
平面図全てに入る様に合わせます。

部分パースで門柱を見せたい場合は

門柱に矢印の先を合わせます。）

--- = 視野範囲

この点線の範囲に入っている所までパースに入ります。



1-5 カメラをダブルクリックします。

リアルタイムパースに表示されます。

カメラを追加する

カメラを追加して、違う角度のパースも作成してみましょう。



カメラを追加すると、複数のパースカメラを作成することができます。

今回は「全体パース」と門周りの「部分パース」、「立面パース」の3つを作成します。

1 部分パース用カメラを追加

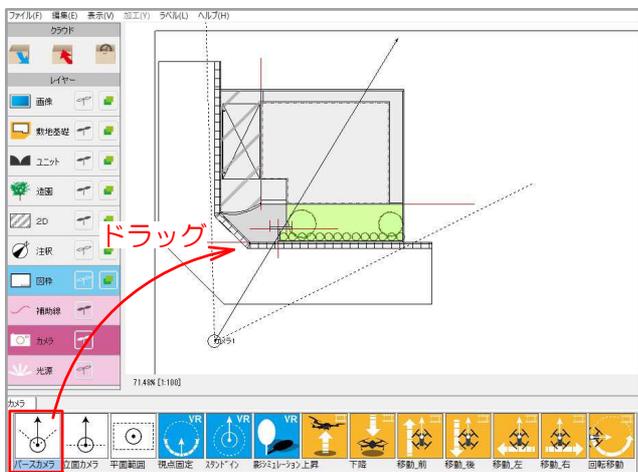
カメラを追加します。

1-1 レイヤを「カメラ」にします。

1-2 画面左下、「パースカメラ」を画面上にドラッグします。

「カメラ2」が追加され、画面上に表示されます。

配置位置や角度を調整して、門周りが見えるようにしましょう。



カメラをダブルクリックすると、リアルタイムパースに表示されるようになります。



【追加したカメラを削除する方法】



カメラの上で右クリックすると削除することが出来ます。

リアルタイムパースで視点を動かす

リアルタイムパースで視点を動かして、見る角度を変更をしてみましょう。



1-1 リアルタイムパース画面右上のパンツール  を選択します。

 パンツールを選択すると、手のイラストが白色に変わります。



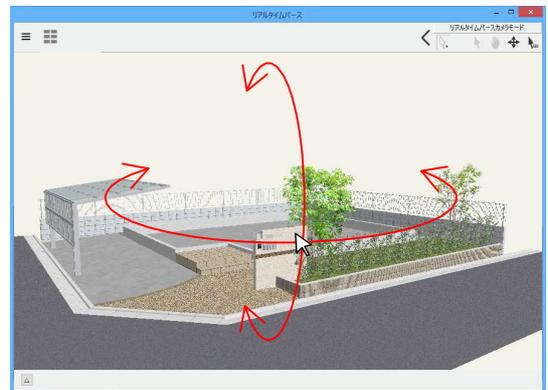
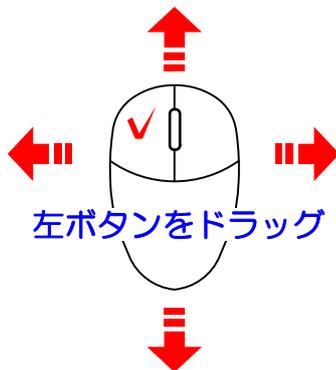
💡【パンツールとは】

パースカメラをリアルタイムパース内で動かす為の機能です。

作業画面でカメラや視点位置マーク  を移動するのと同じです。

【上下左右に回転】

マウスの左ボタンを、上へドラッグで「見上げる」、下へドラッグで「見下ろす」、左右へドラッグで回転します。

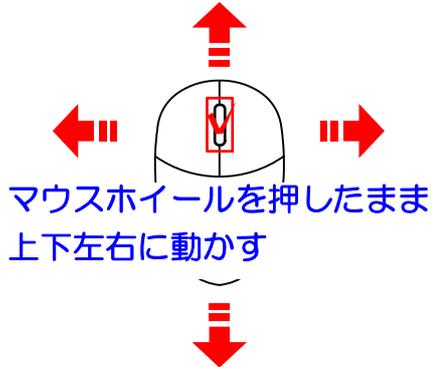


 Shiftキーを押したまま動かすと、水平・垂直方向に固定することができます。

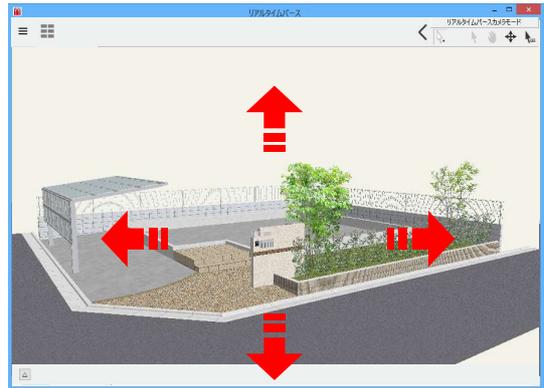
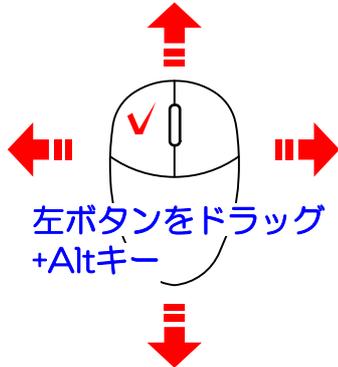
 Ctrlキーを押したまま動かすと、小さく動かすことができます。

【上下左右に移動】

方法1 マウスホイールを押したまま上下左右に動かします。見たい部分が端に寄っている時に使用します。



方法2 マウスの左ボタン+Alt 上下左右へドラッグでその方向に移動します。



Shiftキーを押したまま動かすと、水平・垂直方向に固定することができます。

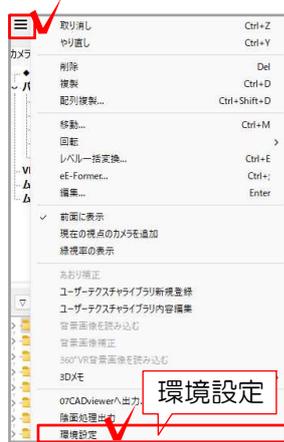
Ctrlキーを押したまま動かすと、小さく動かすことができます。

【前後に移動】

マウスホイールを上へ転がすと前へ、下へ転がすと後ろへ移動します。近づいたり遠のいたりします。

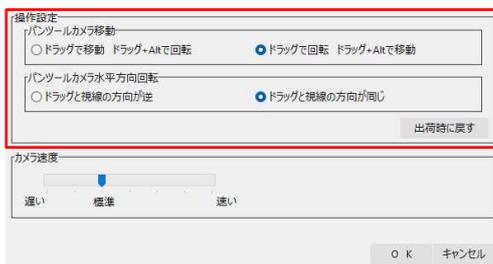


カメラ(視点)調整方法の設定



パースカメラで視点を動かす時(パンツール使用時)のカメラ(視点)の調整方法を変更することができます。

- 1 リアルタイムパース画面の左上にある  のボタンをクリックし、「環境設定」をクリックします。



- 2 操作設定で「パンツールカメラ移動」と「パンツール水平方向回転」の設定を変更します。

カメラ(視点)移動の速度設定



リアルタイムパースカメラとパースカメラで視点を動かす時のカメラの移動速度を変更することができます。

- 1 リアルタイムパース画面の左上にある  のボタンをクリックし、「環境設定」をクリックします。



- 2 カメラ速度のバーを動かし速度を調整します。

遅い→マウスの動きに対して画面がゆっくり動きます。
速い→マウスの動きに対して画面が速く動きます。

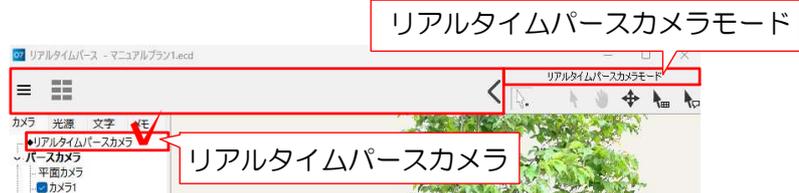


【カメラの種類について】

リアルタイムパース内のカメラの種類は4種類あります。画面左上より選択し使い分けます。

「リアルタイムパースカメラ」

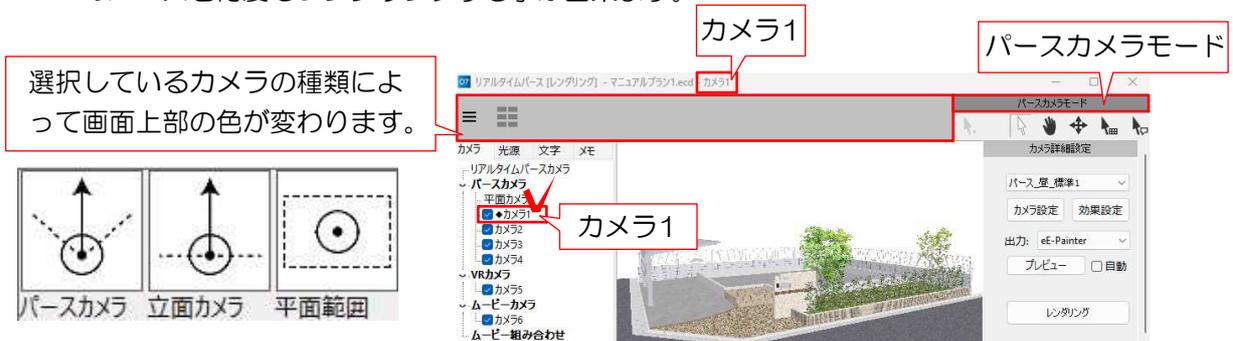
目地位置やテクスチャを調整する際、見たい所を見る為の【作業用カメラ】です。



「パースカメラ」

作成したパース画像を、図面にレイアウトする為の【パース用カメラ】です。

レンダリング（平面図上に貼る為に画像を撮る事）するパース数だけカメラを増やして使います。そうすることで、図面修正の際、カメラを切り替えるだけで同じ視点のパースを何度もレンダリングする事が出来ます。

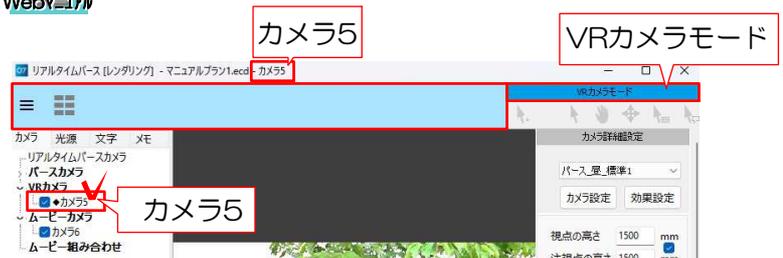


「VRカメラ」

VRを作成するカメラです。



[\[VR\]→\[VR作成方法\]](#)



「プロモーションカメラ」

ムービーを作成するカメラです。



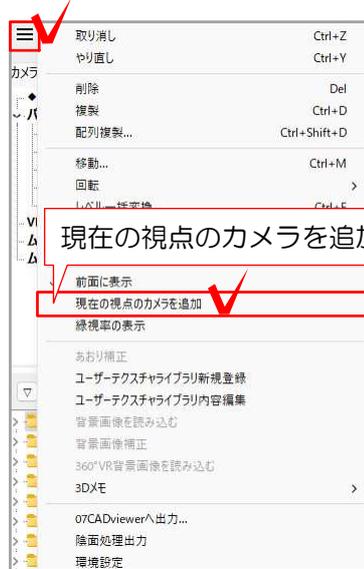
[\[プロモーションカメラ\]→](#)

[\[プロモーションカメラ ムービー作成方法\]](#)





【リアルタイムパースカメラで設定した視点をパースカメラに追加】



現在の視点のカメラを追加



「リアルタイムパースカメラ」で視点を設定しても、レンダリングできません。「パースカメラ」を追加する必要があります。

1-1 リアルタイムパース画面の左上にある  のボタンをクリックし、

「現在の視点のカメラを追加」をクリックします。

1-2 「カメラ名称」を入力し、「OK」をクリックします。



【簡単拡大表示】



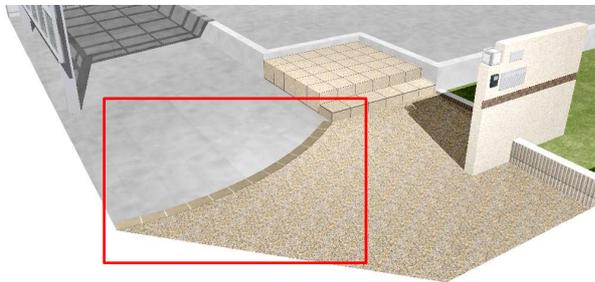
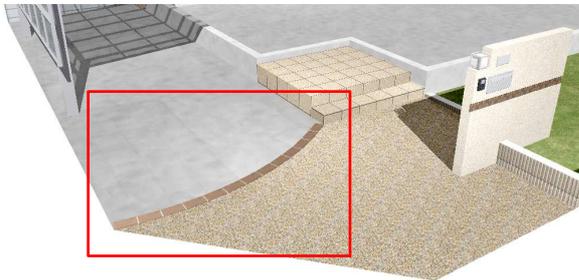
1-1 左上の「リアルタイムパースカメラ」を選択します。

1-2 作業したい図形をダブルクリックすると大きく見ることが出来ます。



テクスチャを貼る

リアルタイムパースでテクスチャを貼り換えてみましょう。



リアルタイムパース上で塀や床などの素材を変更する時に使うのがテクスチャです。
※各図形の設定画面でも変更可能です。

方法1 貼り換え

初期設定もしくは貼ってあるテクスチャを変更します。

方法2 貼り分け

同じ仕様の図形に、異なるテクスチャを貼ります。

方法3 同じテクスチャを貼る

画面上で既に使用しているテクスチャを他の図形にも使用する方法です。

表示(V) 加工(Y) ラベル(L) ヘルプ(H)



1 リアルタイムパース表示

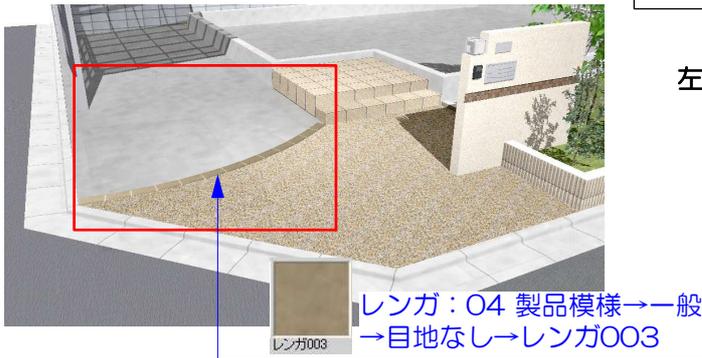
リアルタイムパースが表示されてない場合は、画面を表示します。

1-1 「表示」メニューから「リアルタイムパース」をクリックします。

リアルタイムパースが表示されます。

2 貼り換え

左図のようにテクスチャを貼り換えましょう。



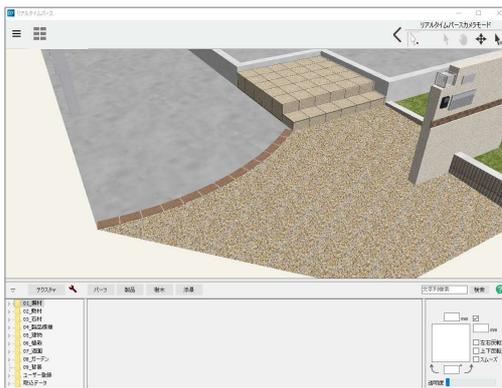
リアルタイムパースカメラ



2-1 左上の「リアルタイムパースカメラ」をクリックします。

2-2 調整したい図形をダブルクリックして、図形を大きく表示します。

調整したい図形が拡大されます。



2-3 画面下の「テクスチャ」をクリックします。

💡【テクスチャー欄が表示されていない場合は】左下の△マークをクリックすると表示されます。

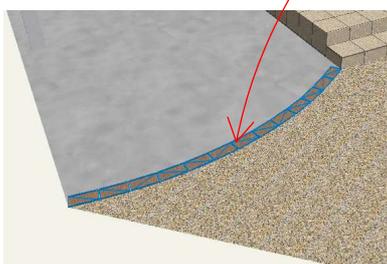


2-4 画面下の一覧から使用したいテクスチャを選択します。



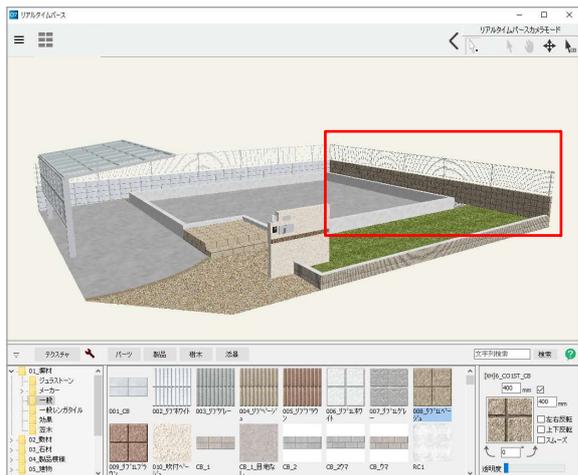
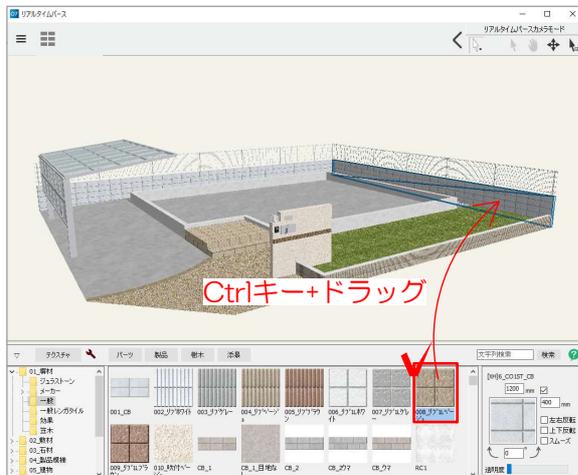
04_製品模様
→ 一般 → 目地なし
→ レンガ003

2-5 選択したテクスチャを貼り換えたい図形にドラッグします。



🖍️ 青い線が表示されている図形にテクスチャが貼り替えられます。

【貼り換えたくない図形まで変わってしまう場合】



3 貼り分け

ドラッグしてテクスチャを貼ったときに、複数の図形に同じテクスチャが貼られる場合は、それらが同じ「仕様」になっているときです。以下の2通りの方法で違うテクスチャを貼る事ができます。

【方法1】

リアルタイムパースで
テクスチャを貼り分ける方法

3-1-1 画面下のテクスチャー一覧から使用したいテクスチャを選択します。

3-1-2 Ctrlキーを押したまま、選択したテクスチャを貼り分けたい図形にドラッグします。

テクスチャの貼り分けができました。

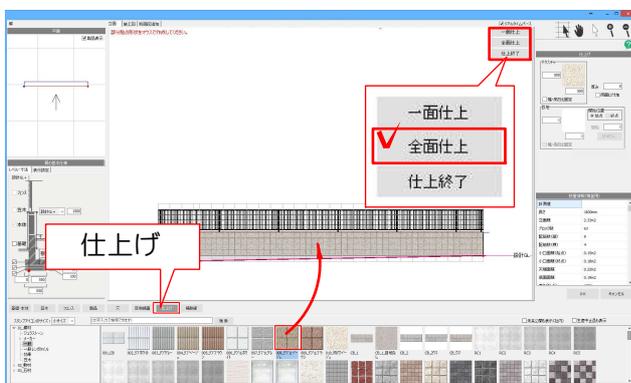
【方法2】

塀の設定画面でテクスチャを変える方法

3-2-1 CADの平面図に戻り、塀をダブルクリックします。

3-2-2 設定画面下の「仕上げ」をクリックして変更したいテクスチャをドラッグします。

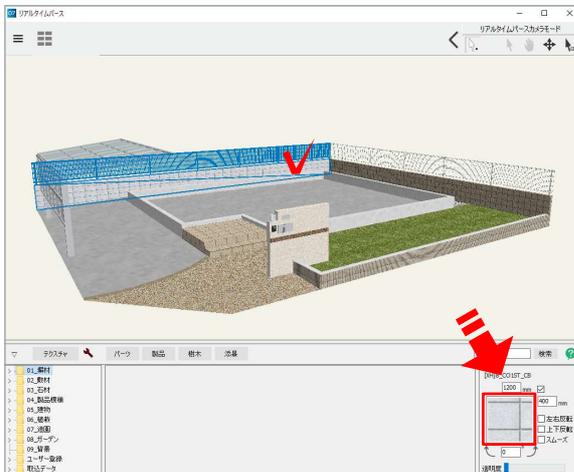
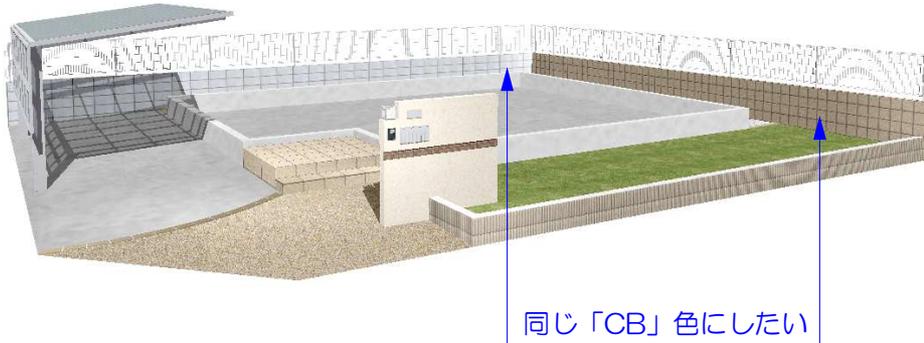
3-2-3 右上の「全面仕上」のボタンをクリックします。



【他の図形と同じテクスチャを使用したい場合】

4 同じテクスチャを貼る

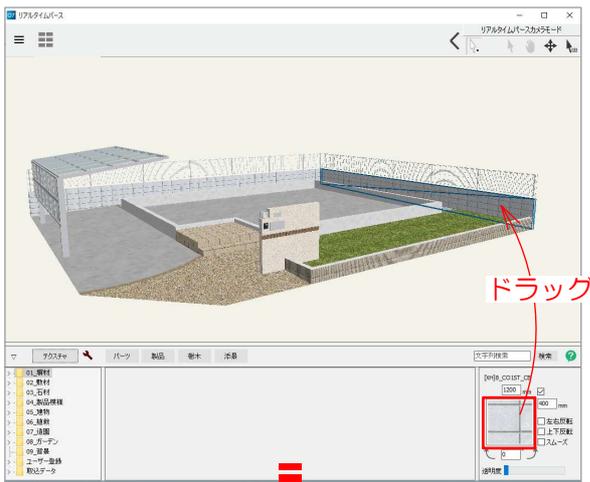
画面上で既に使用しているテクスチャを他の図形にも使用する方法です。



貼りたいテクスチャを選択します。

4-1 リアルタイムパース上で他のところにも貼りたいテクスチャが貼ってある図形をクリックします。

画面右下にテクスチャの絵が表示されます。



4-2 画面右下に表示されたテクスチャ画像を貼りたい図形にドラッグします。



選択したテクスチャと同じものが貼れます。

💡【テクスチャの検索方法】



1-1：画面右下の検索欄に検索したい文字を入力します。

1-2：検索をクリックします。



1-3：入力した文字が名前に含まれているテクスチャー一覧がパレットに表示されます。



検索結果

※「検索結果フォルダ」をクリックすると最後に検索したテクスチャが表示されます。

【背景を設定するには・・・】

背景に空などのテクスチャを使用したり、単色で表示することができます。



1 テクスチャを使用する

1-1 背景を入れたいパースカメラを選択します。

1-2 画面下の「テクスチャ」から使用したいテクスチャを選択します。

09_背景 → 空など

【テクスチャをドラッグしても、背景が変わらない場合は・・・】



画面右上の「効果設定」をクリックします。

効果設定画面が表示されます。



効果設定画面左上の背景「テクスチャ」をクリックします。

効果設定画面右下の「変更」をクリックして、テクスチャを再度ドラッグしてみましょう。

2 単色にする

2-1 画面右上の「効果設定」をクリックします。



効果設定画面が表示されます。

2-2 背景「カラー」をクリックし、 をクリックし、カラーを選択します。



 背景は上下2色選択できます。

カラーパレットが表示されます。

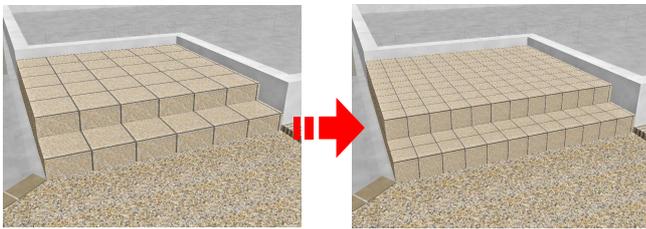
2-3 好みの色をクリックし、「OK」をクリックします。



2-4 「変更」をクリックします。

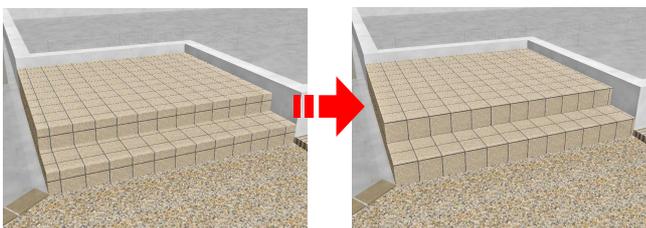
テクスチャを調整する

テクスチャを調整してみましょう。



1 サイズを変える

テクスチャのサイズを調整します。



2 模様を合わせる

図形とテクスチャのズレを調整します。

3 色を変える

テクスチャの素材の色を変更できます。

表示(V) 加工(Y) ラベル(L) ヘルプ(H)



1 リアルタイムパース表示

リアルタイムパースが表示されていない場合は、画面を表示します。

1-1 「表示」メニューから「リアルタイムパース」をクリックします。

リアルタイムパースが表示されます。





1 サイズを変える

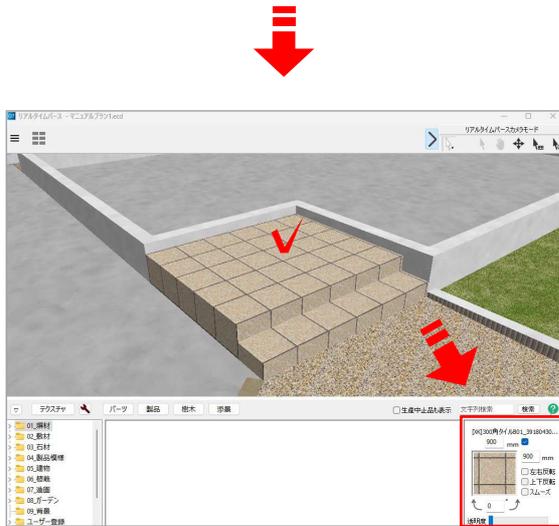
1-1 左上の「リアルタイムパースカメラ」をクリックします。

1-2 調整したい図形をダブルクリックして、図形を大きく表示します。

模様を合わせたい図形が拡大されます。

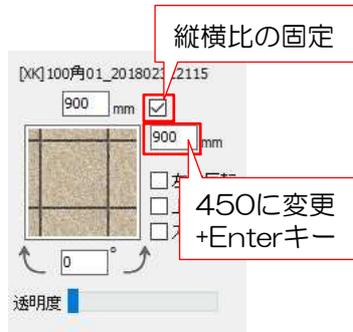
1-3 サイズを変えたいテクスチャが貼ってある図形をクリックします。

画面右下にテクスチャの絵が表示されます。



300角タイルを150角タイルへ変更してみましょう。

1-4 画面右下のテクスチャ欄にある数値を450に変更し、Enterキーを押します。



💡 【テクスチャーサイズについて】

テクスチャー欄の数値はタイル寸法とは関係がありません。
300角タイルでも900mmと表示されています。300角を半分の150角にしたい場合は、寸法も半分の数値にしますので、450mmと入力します。

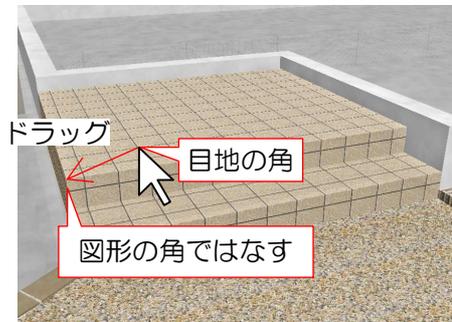
テクスチャのサイズが変更されました。



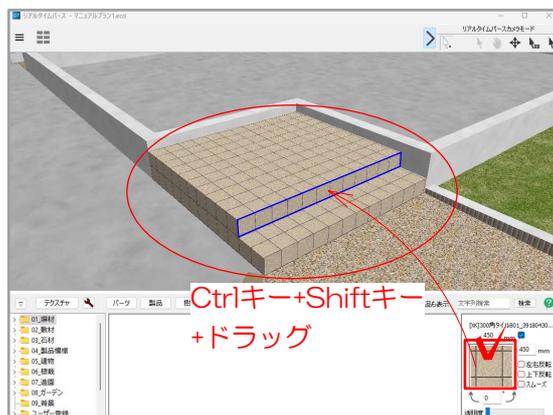


2 模様を合わせる

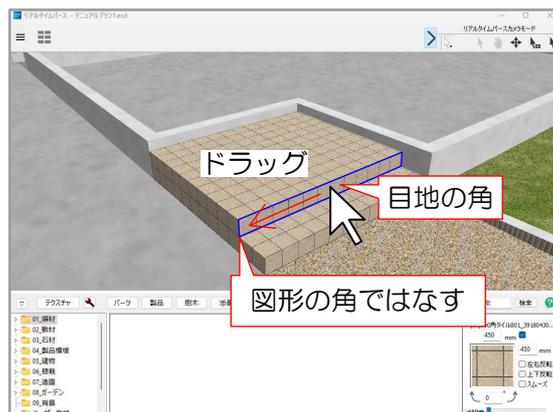
2-1 画面右上の  をクリックし、目地位置を変えたいテクスチャをドラッグします。



【側面だけテクスチャを動かしたい場合は・・・】



1 右下に表示されているテクスチャの絵を、Ctrlキー+Shiftキーを押したまま階段の側面に向かってドラッグします。



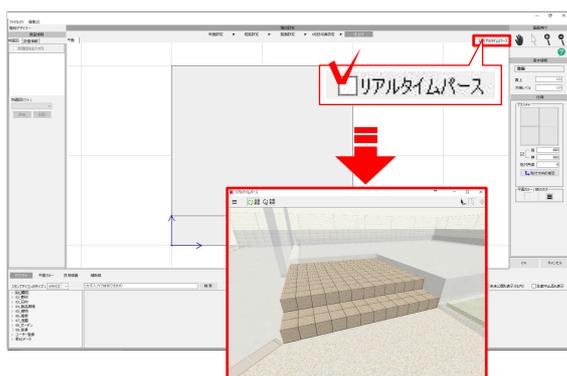
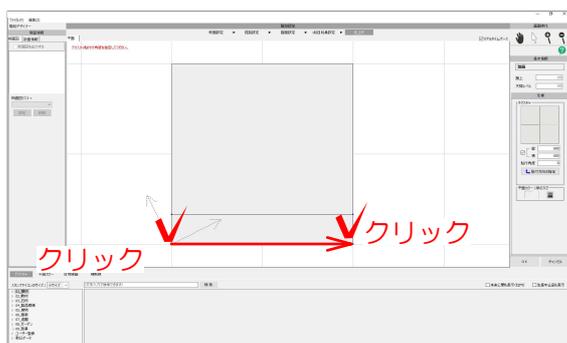
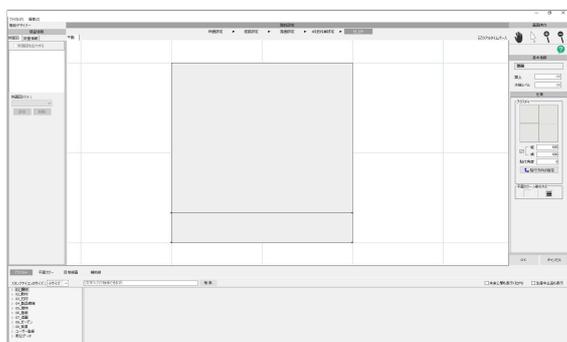
側面だけテクスチャを動かせるようになりました。テクスチャをドラッグして模様を合わせてみましょう。



【階段・塀・床の設定画面でテクスチャ貼り付け方向と位置を設定する方法】



レイヤはユニット



テクスチャの貼付け方向・位置の設定は各図形（階段・塀・床）の設定画面で設定することもできます。

※今回は作業の必要はありません。

【階段】

1-1 CADの平面図に戻り、階段をダブルクリックします。

1-2 対象の階段をクリックします。

現在の貼付開始位置（貼付方向）が確認できます。

1-3 「貼付方向の指定」をクリックします。

1-4 貼付け開始位置となる頂点をクリックします。

1-5 テクスチャを貼る方向をクリックで指定します。

テクスチャ方向が設定され矢印が付き
ます。

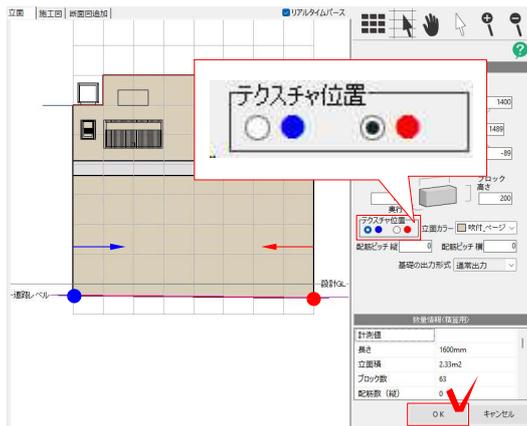
1-6 画面右下の「OK」をクリックしま
す。



【リアルタイムパースの表示】

右上の「リアルタイムパース」にチェ
ックを入れる则表示されます。

変更したテクスチャの確認をしまし
ょう。



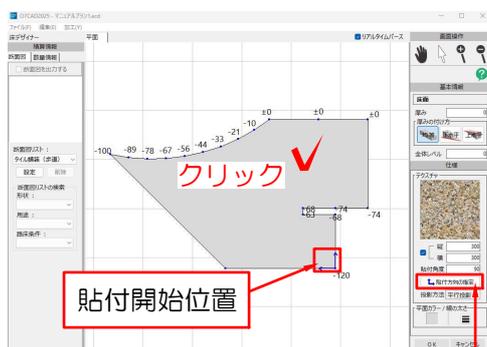
【塀】

2-1 CADの平面図に戻り、塀をダブルクリックします。

2-2 テクスチャの貼付け開始位置を選択することができます。

●または●を選択します。

2-3 画面右下のOKをクリックします。



【床】

3-1 CADの平面図に戻り、床をダブルクリックします。

3-2 対象の床をクリックします。

現在の貼付開始位置（貼付方向）が確認できます。

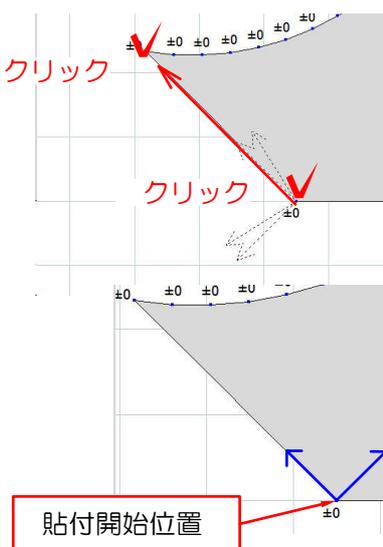
3-3 「貼付方向の指定」をクリックします。

3-4 貼付け開始位置となる頂点をクリックします。

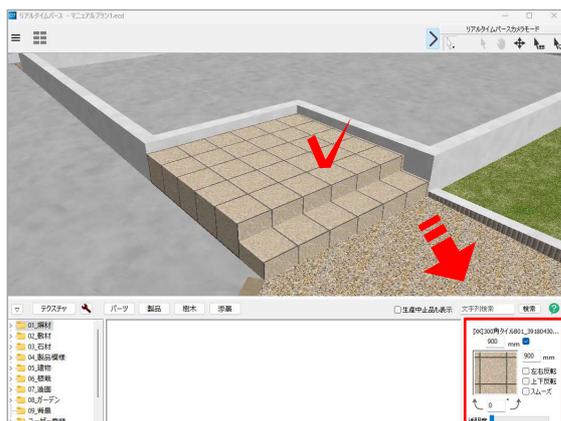
3-5 テクスチャを貼る方向をクリックで指定します。

テクスチャ方向が設定され矢印が付き
ます。

※同時にテクスチャの開始位置を設定
することができます。



3-6 画面右下の「OK」をクリックしま
す。



3 色を変える

色を変更したい部分を選択します。

3-1 テクスチャの色を変更したい部分をクリックします。

画面右下にテクスチャの絵が表示されます。



3-2 右下のテクスチャの上で右クリックをして「カラーを変更する」をクリックします。



3-3 テクスチャの色変更でプラスしたい色をクリックで選択します。登録名を変更してOKで完成です。

※作成したテクスチャは自動的にユーザー登録→カラーバリエーションに登録されます。

効果設定を変える

設定を変えることで、いろいろな演出をすることができます。

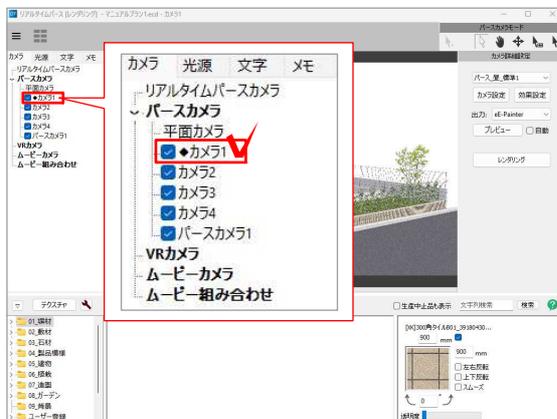


設定1 簡易設定

あらかじめ用意された設定一覧から選択します。

設定2 手動設定

各効果の設定を変更して、オリジナルの設定をすることができます。

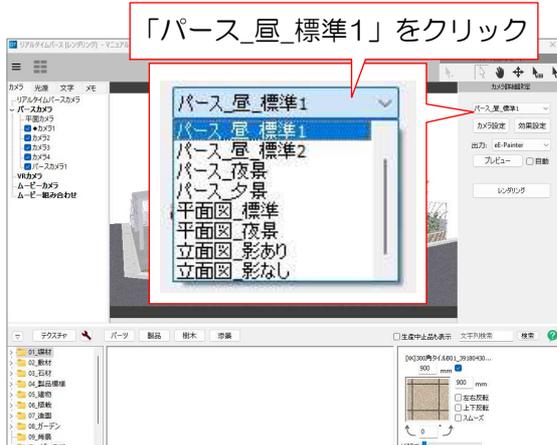


1 簡易設定

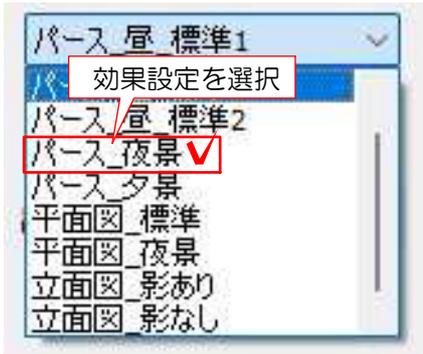
初期設定にいくつかの設定が登録されています。リアルタイムパース画面右上の「設定」で選択します。

1-1 画面左上「パースカメラ」の「カメラ1」をクリックします。

1-2 画面右上「カメラ詳細設定」の「パース_昼_標準1」をクリックします。



効果設定一覧が表示されます。



1-3 一覧から使用したい効果設定をクリックします。

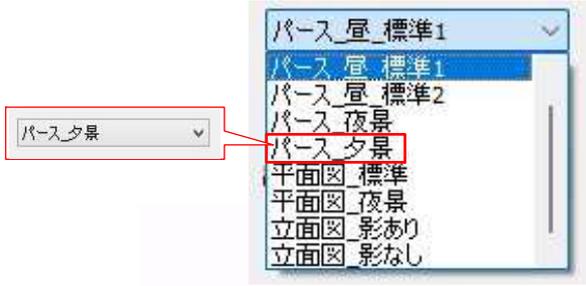


選択した効果設定が反映されます。

効果設定を変えることで簡単に昼・夕方・夜・平面図用の設定をすることができます。



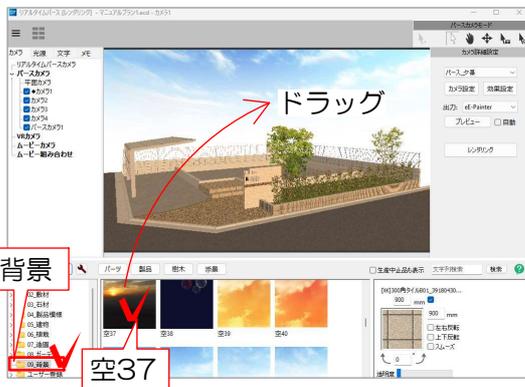
💡【夕景カメラにしたときは・・・】



「夕景パス」を選択した時に背景が夕景ではないテクスチャーや背景が白色のことがあります。



「夕景パス」は背景設定が「テクスチャ」になっているので、背景に夕景のテクスチャを貼ることで夕景らしい絵になります。



リアルタイムパス画面左下の「レンダリング」→「背景」を選択し、「空37」を背景へドラッグします。



背景が入って夕景らしくなります。

【効果設定の初期設定一覧】

リアルタイムパース 効果設定の初期設定一覧です。



パース_昼_標準1

初期設定はこの効果設定です。
SPファインダーがオンの設定です。
影が柔らかい印象です。

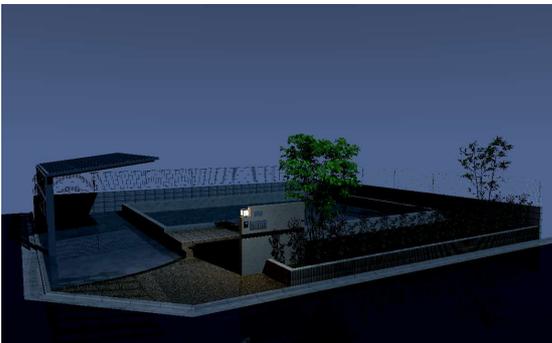


パース_昼_標準2

SPファインダーがオフの設定です。
はっきりしたイメージです。



[効果設定]→[SPファインダー]



パース_夜景

夜景は平面図上で配置した照明（光源のマークが付いているもののみ）が自動点灯します

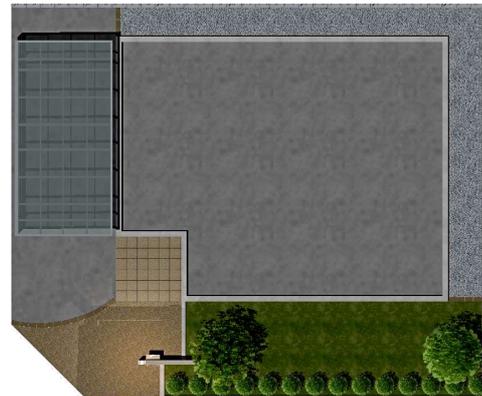


パース_夕景

夕景は背景にテクスチャを使用しています。
前ページ「夕景カメラにしたときは」参照。



平面図_標準



平面図_夜景



立面図_影あり

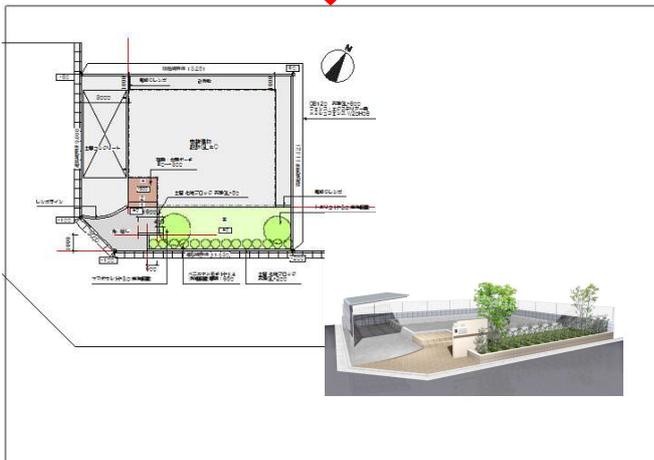


立面図_影なし

※名称や設定は予告なく変更になる場合がございます。

画像をCADに貼る

リアルタイムパースで作ったパースをCAD平面図上へ貼りつけます。



リアルタイムパースで角度やテクスチャを調整したパースをCAD平面図上に貼りつけます。

カメラが複数ある時は、各カメラごとに作業をします。

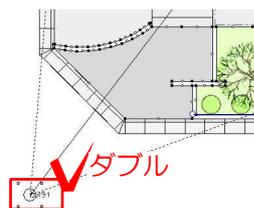


ここではカメラ1とカメラ2でパースを、カメラ3で立面図を作成します。

方法1



方法2



1 カメラを選択

1-1 パースカメラを選択します

方法1：リアルタイムパース画面左上のカメラ1を選択します。

方法2：平面のカメラ1をダブルクリックします。



2 図面上へ配置

CAD平面図上にパースを配置します。

2-1 画面右側の「レンダリング」をクリックします。



レンダリング設定画面が表示されます。

2-2 「eE-Painter」を選択し、「次へ」をクリックします。



2-3 「中」を選択し、「レンダリング開始」をクリックします。

 画像サイズは印刷するパースの大きさによって選択します。

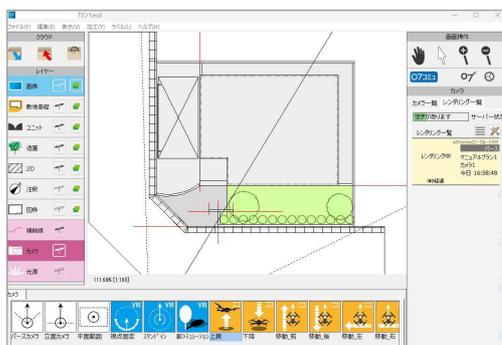
通常は「中」を。A3にパース1つの場合は「大」を目安にします。

大きいほど精密なパースができますが、データが重くなります。用紙に合わせた最適なサイズを選択しましょう。



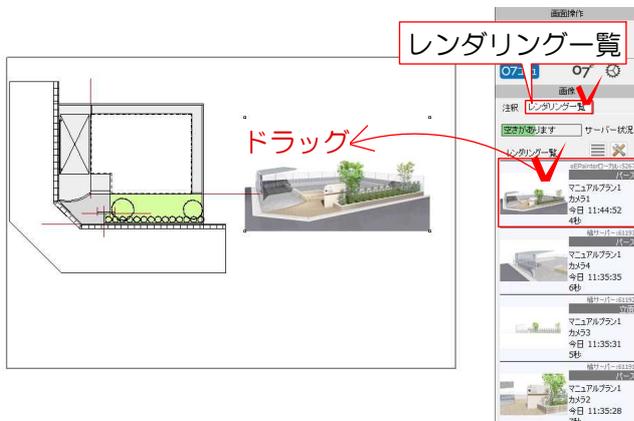
レンダリングが開始されました。

平面作業画面に戻りましょう。





2-4 レイヤを「画像」にします。

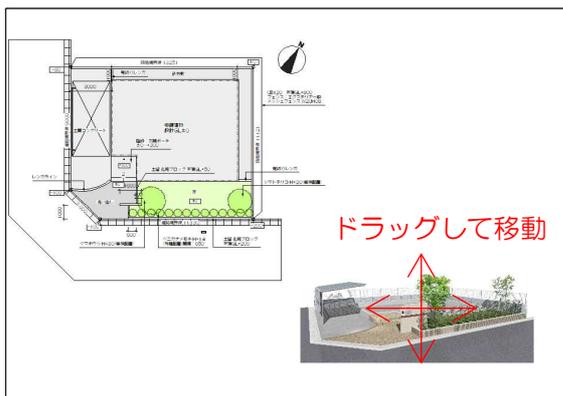


2-5 画面右側のレンダリング一覧から画像をドラッグで図面上に配置します。

 レンダリング中の場合は、他の作業をしながらレンダリングが終わるのを待ちましょう。

2-6 パースの位置を調整します。

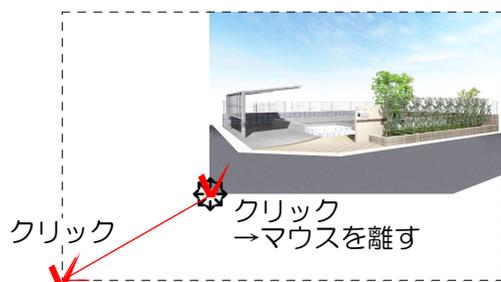
 パースは「画像」レイヤに配置されます。適当な位置に移動しましょう。



保存しましょう。

 同じ要領でカメラ2のパースも図面上へ配置しましょう。

 【画像のサイズを変更するには】



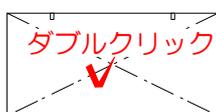
パース画像をクリックで選択し、角に表示された口にカーソルを合わせて  になった所でクリックします。マウスを動かし、変えたい大きさになったところでクリックします。

【e-tokoから製品の画像を取り込みたいときは・・・】

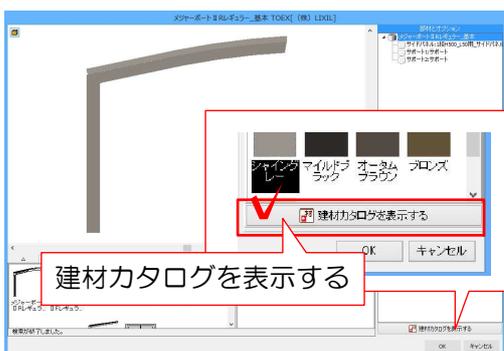


e-tokoカタログや、e-tokoプランには豊富な製品画像やプランの画像が用意されています。それらの画像を図面に貼り付けることでプレゼンの説得力をアップさせましょう。

1 製品をダブルクリックした画面からe-tokoカタログを開く方法



1-1 図面上の製品をダブルクリックし部材デザイナーを起動します。



1-2 右下の「建材カタログを表示する」をクリックします。

e-tokoカタログの該当製品のページが表示されます。



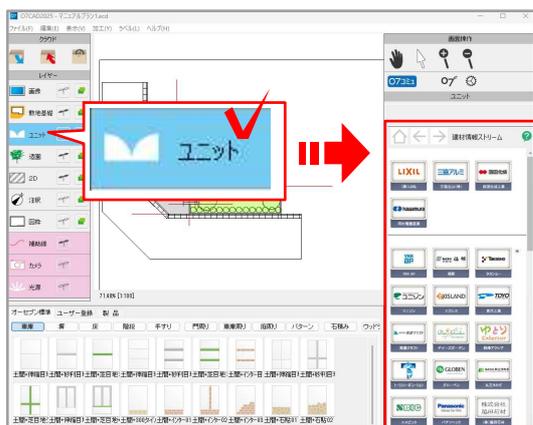
1-3 図面上に貼り付けたい画像の上で右クリックして、「画像をコピー」をクリックします。

1-4 CADの画面に戻り、編集メニューの中からペーストをクリックします。

編集(E)	表示(V)	加工(Y)	ラベル(L)	ヘルプ(H)
取り消し(U)				Ctrl+Z
やり直し(R)				Ctrl+Y
カット				Ctrl+X
コピー				Ctrl+C
ペースト				Ctrl+V

図面上に画像が貼り付けられます。

2 建材情報ストリームからe-tokoカタログを開く方法



2-1 レイヤを「ユニット」にします。

画面右側に「建材情報ストリーム」が表示されます。



2-2 メーカー、種別、シリーズを順番に選択していきます。



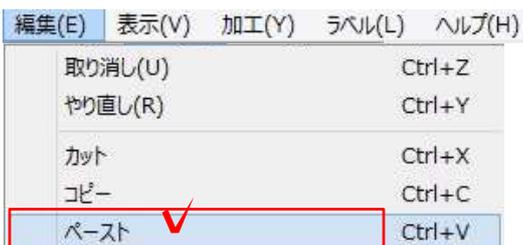
2-3 「カタログを見る」をクリックします。

e-tokoカタログの該当製品のページが表示されます。



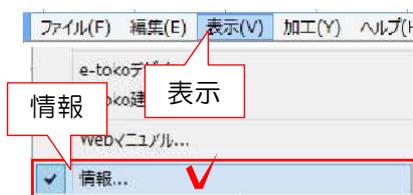
2-4 図面上に貼り付けたい画像の上で右クリックして、「画像をコピー」をクリックします。

2-5 CADの画面に戻り、編集メニューの中からペーストをクリックします。



図面上に画像が貼り付けられます。

3 情報画面からe-tokoカタログを開く方法

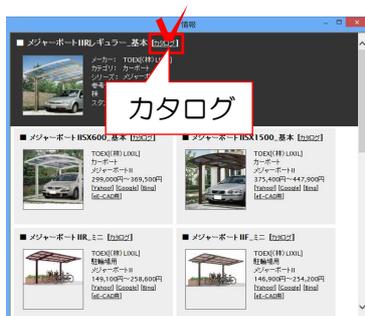


3-1 表示メニューから情報を選択し、情報画面を表示します。



3-2 ユニットレイヤで製品を選択します。

情報画面に製品の情報が表示されます。



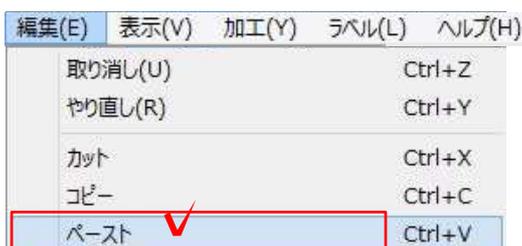
3-3 「カタログ」をクリックします。



e-tokoカタログの該当製品のページが表示されます。

3-4 図面上に貼り付けたい画像の上で右クリックして、「画像をコピー」をクリックします。

3-5 CADの画面に戻り、編集メニューの中からペーストをクリックします。



図面上に画像が貼り付けられます。

 【現場写真や樹木の画像を取り込みたいときは・・・】



OTCADには樹木写真が登録されており、図面上に配置する事が可能です。またデジカメでとった現場写真や、スキャナーで取り込んだ画像データを図面上に貼り付けることも可能です。

1 造園レイヤで樹木画像を貼り付ける方法



1-1 造園のレイヤに移動し、画像を使いたい樹木を図面上でクリックします。

1-2 画面右にある詳細パレット内の<樹木詳細情報>をクリックします。

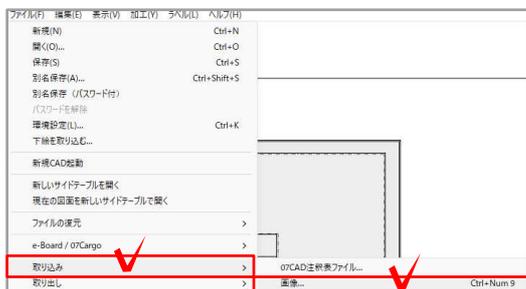
樹木詳細情報が表示されます。



1-3 樹木詳細情報に表示されている画像をドラッグで図面上に配置します。

樹木画像の貼り付けができました。

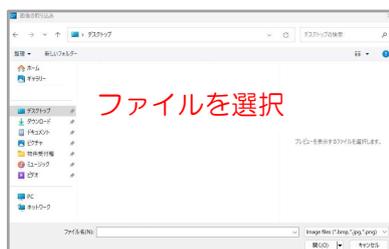
2 写真など画像を取り込む方法



2-1 注釈のレイヤに移動します。

2-2 ファイルメニューの中から取り込みをクリックし、更に画像をクリックします。

ファイルを選択する画面が表示されます。



2-3 取り込みたい画像データをクリックし、開くをクリックします。

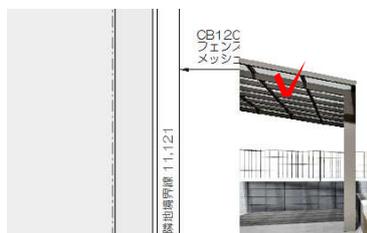
【文字が隠れてしまうときは・・・】



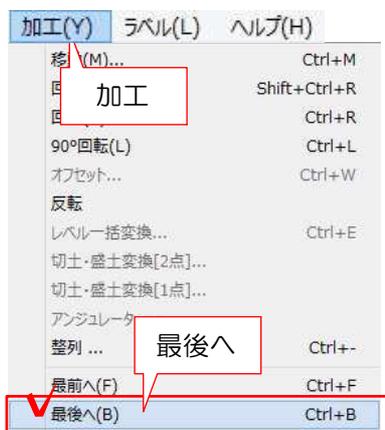
パーズを配置すると、注釈で書いた文字が見えなくなる事があります。パーズが文字の上ののっている状態なので、パーズを文字の下に表示させます。



1-1 レイヤが「画像」になっているか確認し、パーズ画像をクリックします。



1-2 「加工」メニューの「最後へ」をクリックします。



1-3 パーズ画像が文字の下になり、文字が見えるようになります。



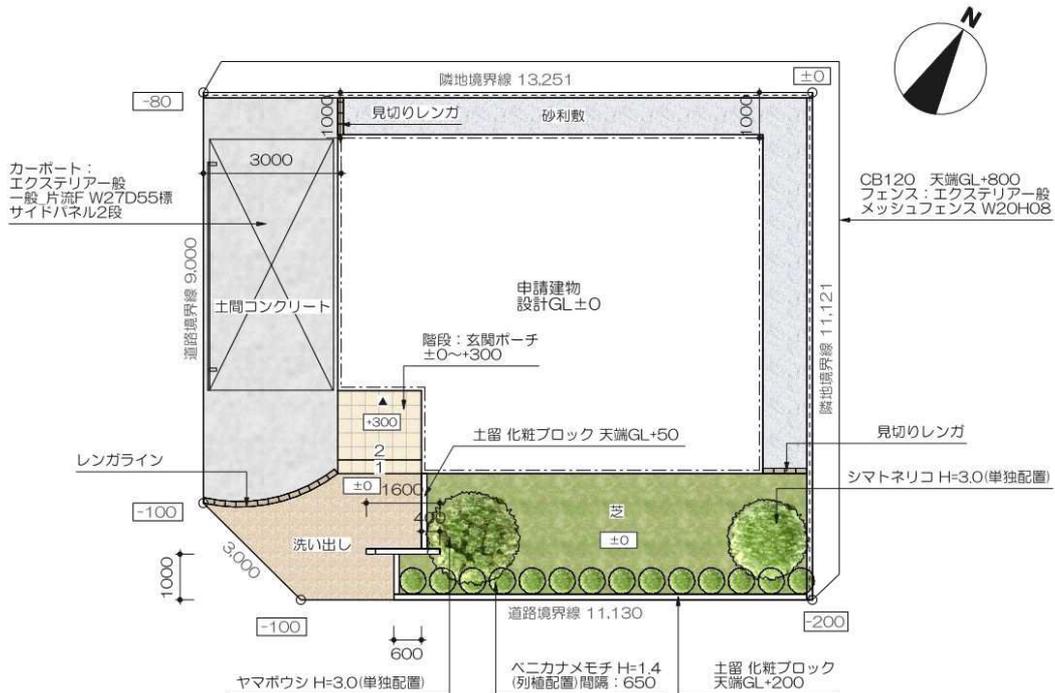
注釈のレイヤで配置した文字等は画像レイヤが一番下に表示されるので前後関係を変更する必要はありません。

注釈のレイヤから画像に移動する場合は、移動したい注釈を選択し、右側の



平面図仕上げ

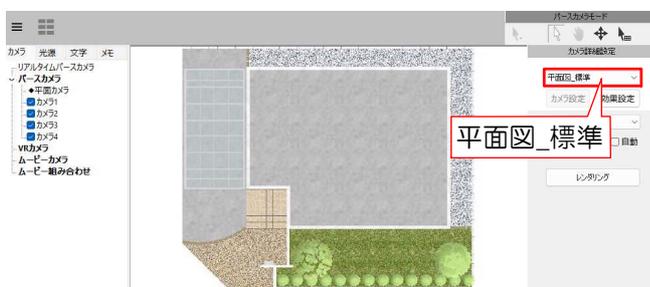
平面図をパースと同じようにリアルタイムパースで作成し、立体感のある表現にします。



1 リアルタイムパースで平面図を表示



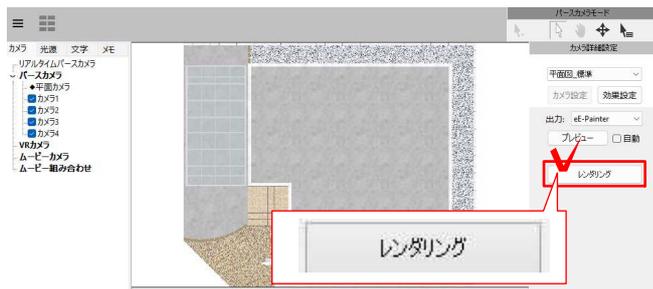
1-1 リアルタイムパース画面左上のパースカメラから「平面カメラ」を選択します。



1-2 リアルタイムパース画面右上のカメラ詳細設定を「平面図_標準」になっていることを確認します。

2 レンダリング

CAD平面図上に平面画像を配置します。

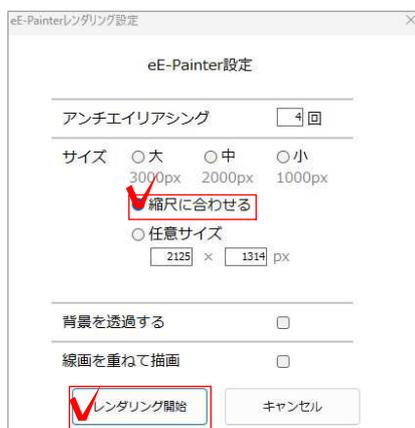


2-1 画面右側の「レンダリング」をクリックします。



レンダリング設定画面が表示されます。

2-2 「eE-Painter」を選択し、「次へ」をクリックします。

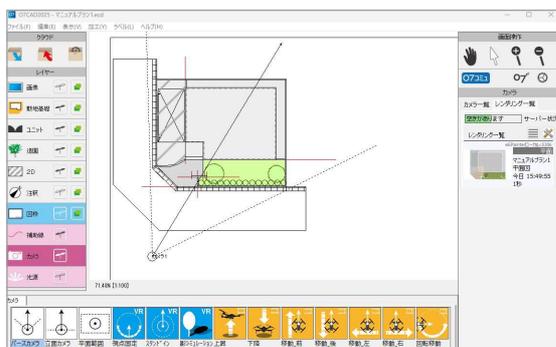


2-3 「縮尺に合わせる」を選択し、「レンダリング開始」をクリックします。

 平面カメラの場合は「縮尺に合わせる」を選択し、平面図と画像の縮尺を合わせます。



[おすすめ新機能]→[平面図の線画取り込み]

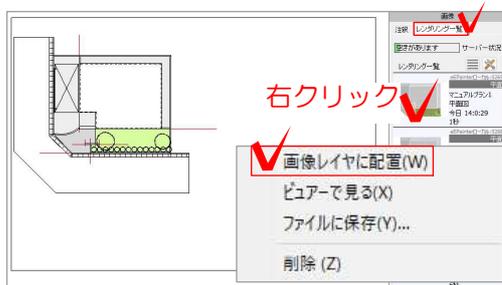


レンダリングが開始されました。

平面作業画面に戻りましょう。

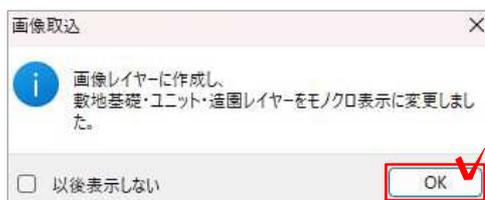


2-4 レイヤを「画像」にします。



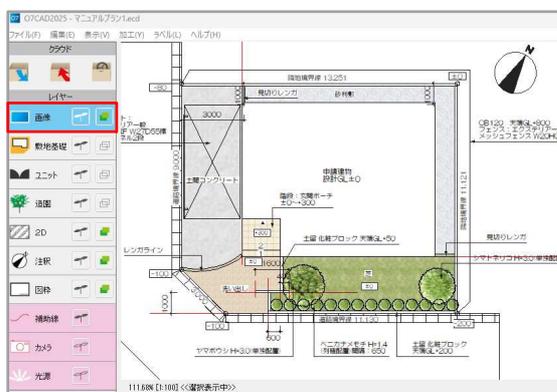
2-5 画面右側「レンダリング一覧」の平面画像を右クリックし「画像レイヤに配置」を選択します。

 レンダリング中の場合は、他の作業をしながらレンダリングが終わるのを待ちましょう。



2-6 「画像レイヤに作成し、敷地基礎・ユニット・造園レイヤをモノクロ指定に変更しました。」とメッセージが表示されます。

そのまま「OK」をクリックします。



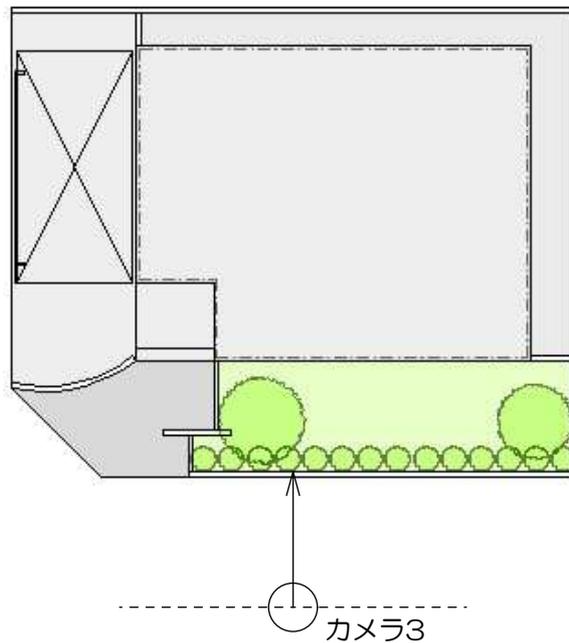
CADの平面図の位置に画像が配置されます。

 ユニットで描いた平面図の位置に合わせて、画像レイヤに配置されます。

 同時に敷地基礎・ユニット・造園レイヤがモノクロ指定に変更されます。

立面用カメラの作成

カメラレイヤで立面図作成用のカメラを作成します。



1 立面図用カメラを追加

カメラを追加します。

1-1 レイヤを「カメラ」にします。

1-2 画面下、「立面カメラ」をドラッグします。



「立面カメラ」が追加され、画面上に表示されます。

立面図作成

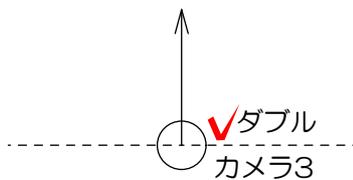
立面図を作成します。



1 立面図をリアルタイムパースで表示



1-1 レイヤを「カメラ」にします。



1-2 立面カメラをダブルクリックします。



1-3 リアルタイムパース画面右上のカメラ詳細設定を「立面図_影なし」になっていることを確認します。

2 レンダリング

CAD平面図上に立面画像を配置します。



2-1 画面右側の「レンダリング」をクリックします。

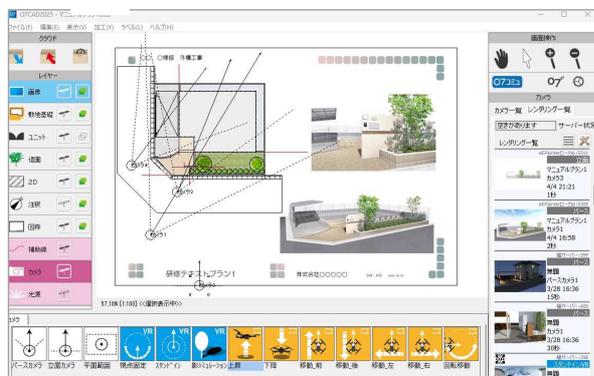


レンダリング設定画面が表示されます。
2-2 「eE-Painter」を選択し、「次へ」をクリックします。



2-3 「縮尺に合わせる」を選択し、「レンダリング開始」をクリックします。

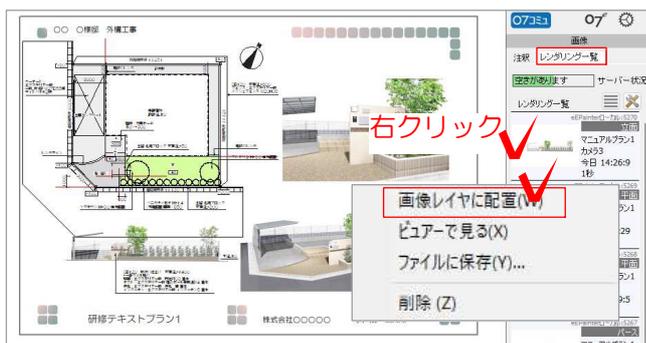
 立面カメラの場合は「縮尺に合わせる」を選択し、平面図と画像の縮尺を合わせます。



レンダリングが開始されました。
平面作業画面に戻りましょう。



2-4 レイヤを「画像」にします。



2-5 画面右側「レンダリング一覧」の立面画像を右クリック「画像レイヤに配置」を選択します。

保存しましょう。



【画像のトリミング】

画像をダブルクリックすると表示されます↓



複数の画像をレイアウトすると、パースや平面図の画像と重なってしまうことがあります。

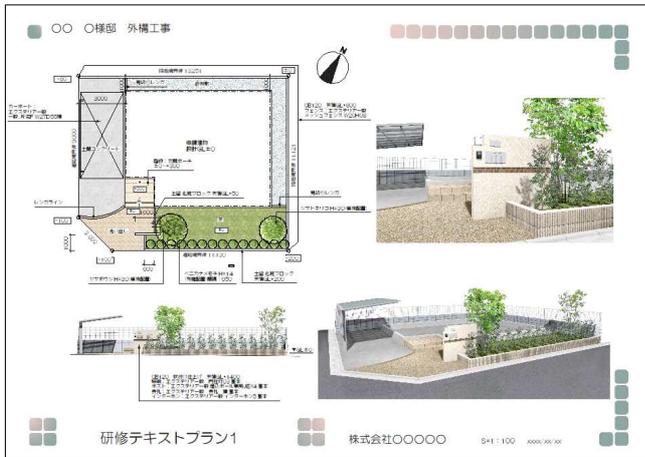
画像をトリミングする事で、余計な部分をカットし、レイアウトしやすい状態にすることができます。

画像をダブルクリックし、残したい部分をドラッグして囲みます。

右下の「OK」をクリックすると囲んだ範囲の画像が残ります。

レイアウト

用紙枠内にパースや平面図をレイアウトしましょう。



今回は、平面図と立面図とパースをA3用紙内にレイアウトします。平面図が左、パースを右、立面図を平面の下に配置しましょう。

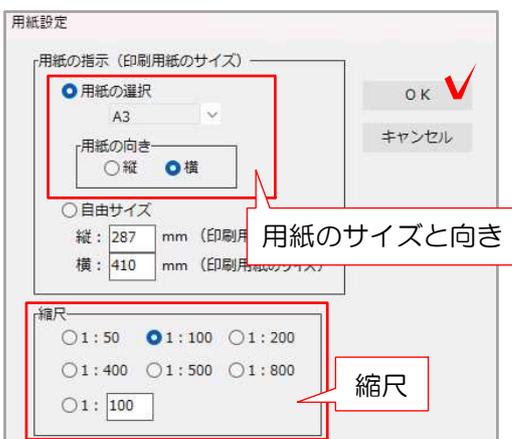
配置位置は自由です。できるだけそれぞれの図面が大きく入るようにしましょう。



1 用紙の大きさ・縮尺を確認

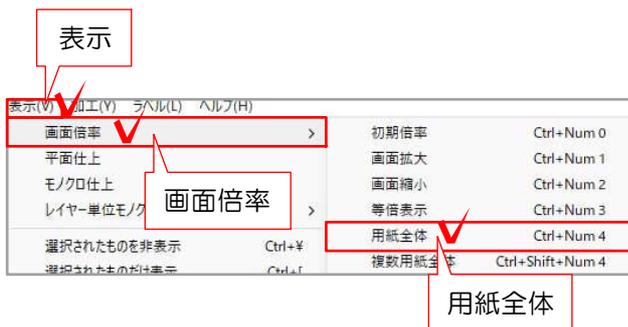
用紙のサイズと縮尺を確認しましょう。

1-1 「ファイル」メニューの「用紙の大きさ」をクリックします。



「用紙設定」画面が表示されます。

1-2 用紙のサイズ、向き、縮尺を確認して「OK」をクリックします。



2 全体レイアウトを確認

レイアウトを決めるために現在のレイアウトを確認しましょう。

2-1 「表示」メニューの「画面倍率」→「用紙全体」をクリックします。

画面内に用紙全体が表示されます。



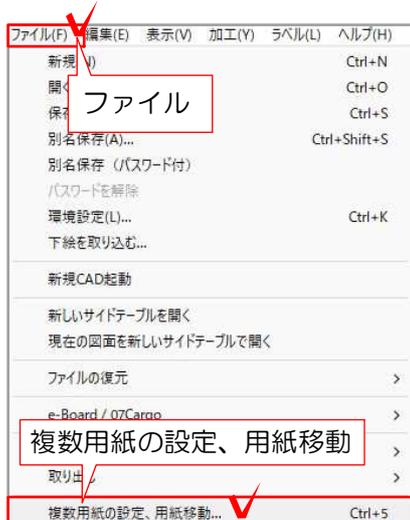
グレーのラインが用紙枠です。

3 用紙を動かす

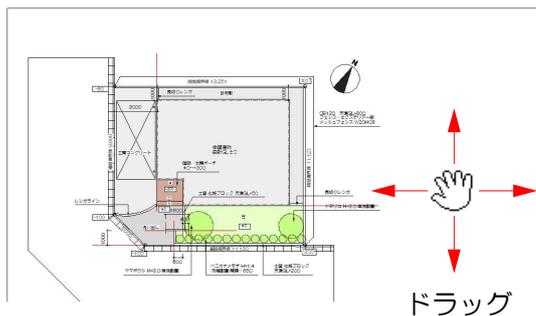
用紙を移動します。

3-1 「ファイル」メニューの「複数用紙の設定、用紙移動」をクリックします。

「用紙の移動」画面が表示されます。



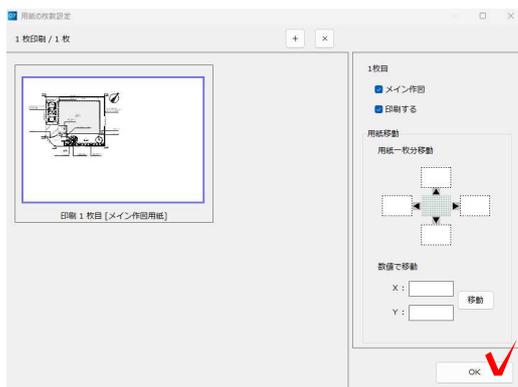
3-2 用紙全体が見えるように「用紙の移動」上部バーをドラッグし、画面端へ移動します。



3-3 カーソルが  になった時にドラッグして用紙を移動します。



右へドラッグすると用紙は右へ移動します。
紙を引っ張る感じで動かしましょう。



3-4 用紙位置が調整できたら「OK」をクリックします。

用紙位置が決定しました。

表示

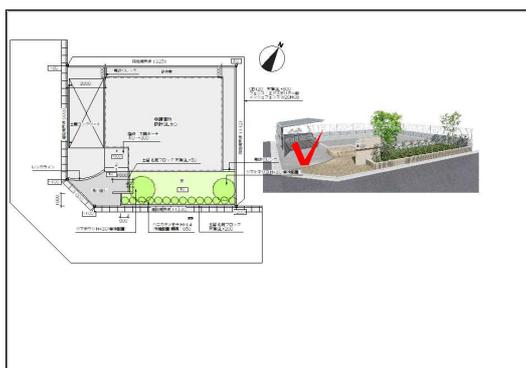


用紙全体

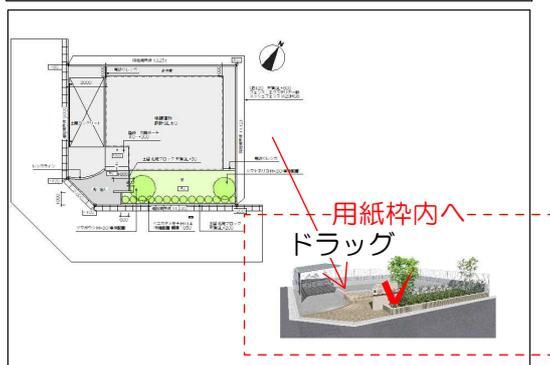
4 パースの大きさを調整する

残りの範囲に納まるようにパースの大きさを調整しましょう。

4-1 「表示」メニューの「画面倍率」→「用紙全体」をクリックします。



画面内に用紙全体が表示されます。



4-2 パースをドラッグして用紙内に配置します。



4-3 パースをクリックして選択し、角に表示された口にカーソルを合わせて  になったところでクリックします。



4-4 マウスを動かし、変えたい大きさになったところでクリックします。

パースを移動して用紙内にレイアウトしましょう。

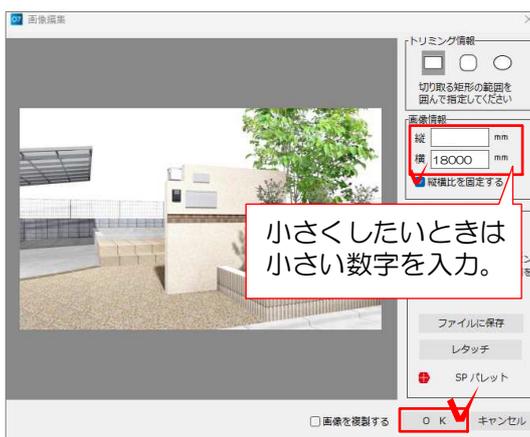


【パースの大きさ調整2】



パースの大きさを調整する方法はドラッグする以外にもうひとつあります。

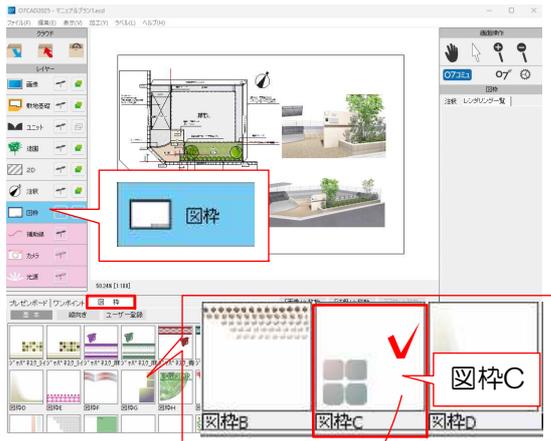
ドラッグして変形するのが苦手な方は下記の方法で調整しましょう。



画像をWクリックすると画像編集の画面が表示されます。

「画像情報」の「横」に任意の数値を入力し、「OK」をクリックします。

※縦横比固定にチェックを入れておけば横と縦は連動しています。どちらかに数値を入力すれば自動的にサイズを調整します。



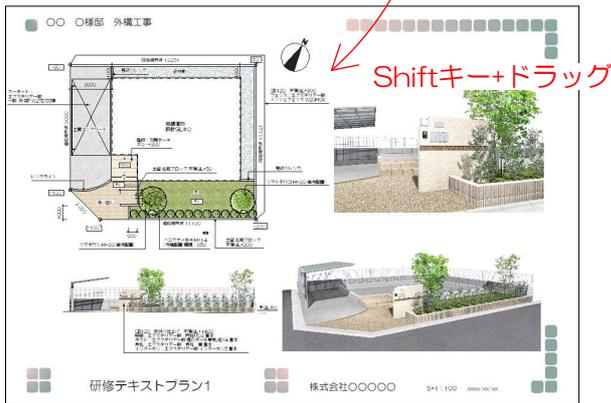
5 図枠を配置する

 用紙全体が見えるようにしましょう。

5-1 レイヤを「図枠」にし、画面左下のパレットから「基本」→「図枠C」を画面上へドラッグします。

 用紙枠内に図枠のラインが収まるように配置しましょう。

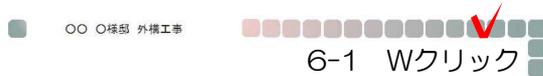
※Shiftキーを押したままドラックすると、用紙の中心に配置されます。



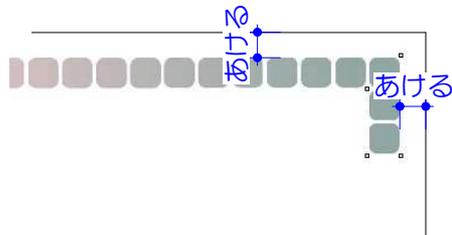
6 図枠を調整する

図枠サイズが用紙に合っていない場合は、大きさを調整します。

6-1 図枠をWクリックします。
※配置された図枠は、グループになっているので、Wクリックでグループ解除できます



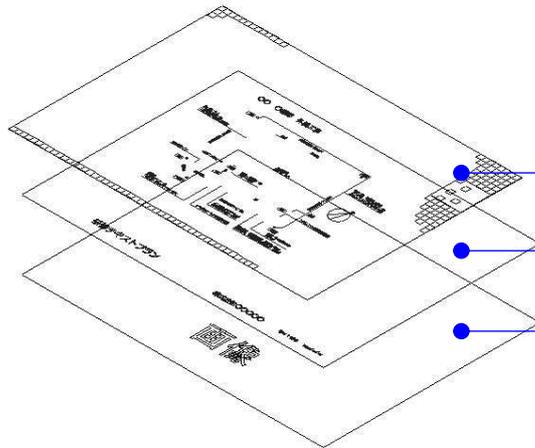
6-2 何も無いところをクリックした後、位置やサイズを調整します。



 図枠は用紙枠よりも少し内側に配置しましょう。

【レイヤの前後関係】

画像や注釈や図枠を移動する事ができます。



「図枠」が一番上、注釈が真ん中、画像が一番下です。

「図枠」：図枠

「注釈」：注釈文字、記号

「画像」：平面画像、パース



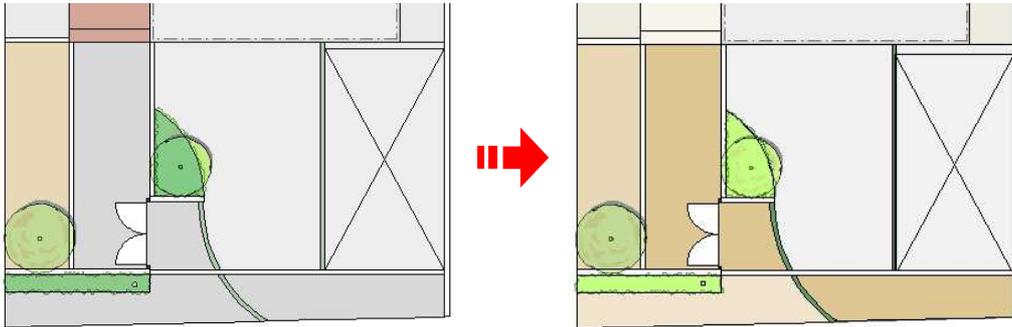
一番上のレイヤが印刷時に一番奥（下）に表示されます。

「画像」「注釈」「図枠」間は図形の移動が自由にできます。移動したい図形や注釈を選択し、右下の「〇〇」へ移動で移動する事ができます。



【平面図の色を変えるには・・・】

平面図の色は変更することができます。



1-1 「表示」メニューの「平面カラーパレット」をクリックします。

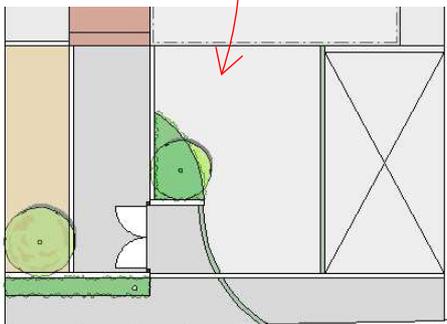


必ずカラーがONになっている状態に！

平面カラーパレットが表示されます。

1-2 色を変えたいユニットへ平面カラーパレットから好きな色をドラッグします。

平面図の色が変わります。



平面図の色が変わってもパースの色には影響しません。

【平面図の画像を重ねてるときは】

平面図の画像を重ねて仕上げる場合はカラー設定をOFFにしておかないと画像が表示されません。



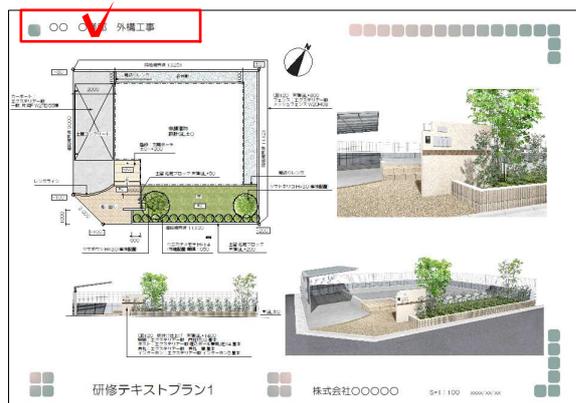


会社名

図枠



ダブル



7 邸名・会社名を書く

会社名と邸名「〇〇様邸 新築工事」を入力してみましょう。

7-1 レイヤは「図枠」をクリックします。

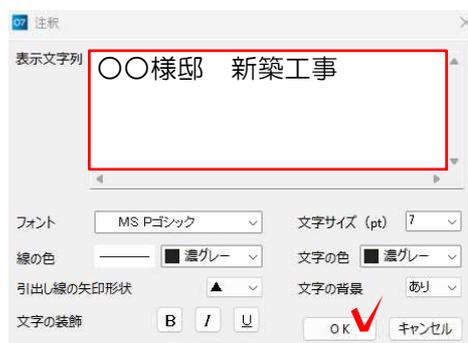
7-2 「〇〇様邸 外構工事」をダブルクリックします。

注釈設定画面が表示されます。

7-3
表示文字列「〇〇様邸 新築工事」

と入力し、「OK」をクリックします。

※文字の色やサイズやフォントもこの画面で変更できます。

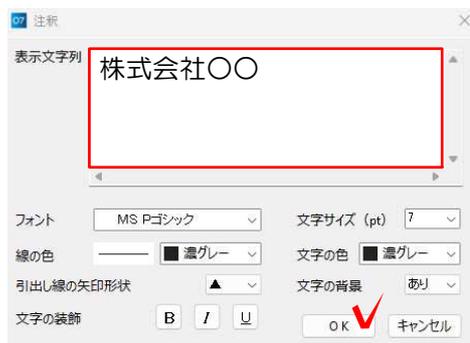




次に右下へ会社名を入力しましょう。



7-4 図枠右下の「会社名」をダブルクリックします。



注釈設定画面が表示されます。

7-5 表示文字列「株式会社〇〇」と入力し、「OK」をクリックします。
※文字の色やサイズやフォントもこの画面で変更できます。

 編集や追記があれば、これまでの要領で文字を記入しましょう。

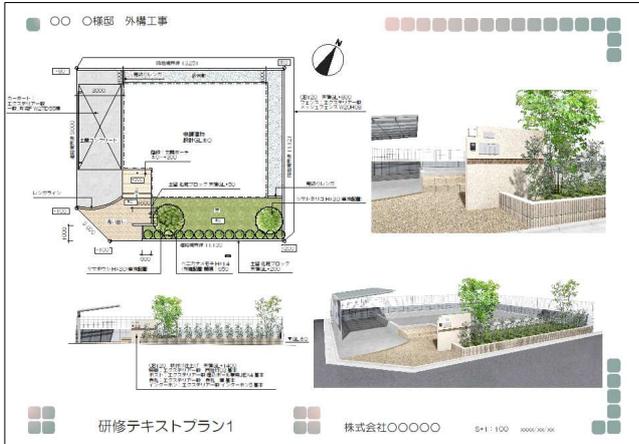
入力ができたら保存しましょう。



図面が完成しました。

印刷

レイアウトした図面を印刷してみましょう。



完成した図面を印刷します。



1 印刷

印刷前にプレビューで確認しましょう。

1-1 「ファイル」メニューの「印刷プレビュー」をクリックします。



印刷プレビュー画面が表示されます。

1-2 印刷したい図形が表示されているか確認し、「印刷」をクリックしましょう。



もし、修正点があった場合は「閉じる」をクリックして修正しましょう。

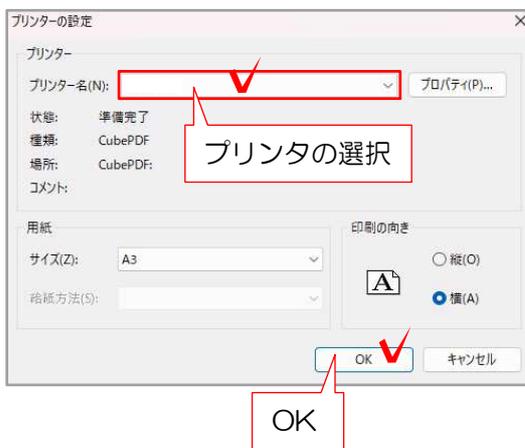


「印刷対象の選択」画面が表示されます。

1-3 「図面 線・テキスト情報保持」をクリックします。

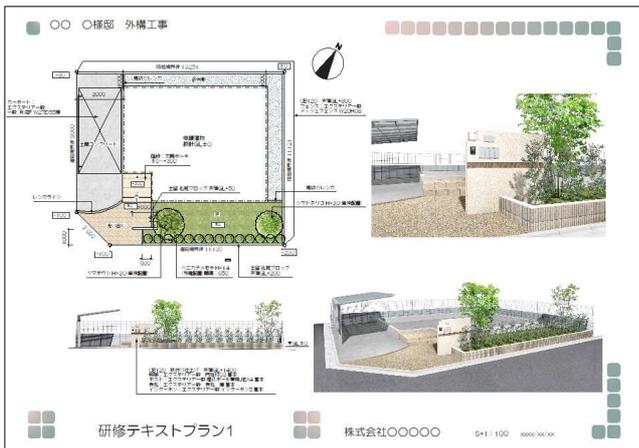
「図面 透過画像対応」はパースのオプション設定の背景を透過に設定した場合に利用します。

「緑の計画書」は図面に配置している樹木の詳細情報を閲覧・印刷できます。



1-4 印刷で使用するプリンタを選択し、用紙のサイズや向きなど設定を確認して「OK」をクリックします。

※プリンタの詳細設定については、ご利用のプリンタのマニュアルをご確認ください。



印刷された図面を確認してみましょう。

3 拾い出し項目の入力・編集

リアルタイムパースまたは平面図で、拾い出し項目がどの図形に該当するのか確認しながら作業します。

3-1 確認・編集したい項目をクリックで選択します。

図形が青色で強調表示されます。

3-2 編集したい文字や数量、金額をダブルクリックして入力・編集します。

工事名称と単位は登録されてる中から選択することができます。



項目を選ぶと図形が、図形を選ぶと項目が強調表示されます。

クリック→選択

右クリック

選択した項目は青くなります。

数値や文字はダブルクリックで編集

原価・見積単価を入力

原価総計・見積総計が表示されます。

図種	工事名称	種別・名称	規格・仕様	定価	数量	単位	数量調整	調整結果	備考	原価	原価金額	見積単価	見積金額
新1	基礎工事	ベース基礎			13.251	m				¥4000	¥53004	¥4500	¥59630
新1	雑種工事	ブロック積	CB 120		11.131	m2				¥7580	¥84373	¥9000	¥100179
新1	金物工事	フェンス	エクステリアー一般 メッシュコンス W20H08		7	枚				¥8000	¥56000	¥10300	¥72100
新2	基礎工事	ベース基礎			0.957	m				¥1500	¥1408	¥2000	¥1610
新3	基礎工事	ベース基礎			0.957	m				¥1300	¥1245	¥2100	¥2010
新4	基礎工事	ベース基礎			8.987	m				¥1500	¥13481	¥2000	¥17974
新5	基礎工事	ベース基礎			0.85	m				¥4000	¥3400	¥4500	¥3825
新6	基礎工事	ベース基礎			0.309	m				¥4000	¥6584	¥4500	¥7407
新6	雑種工事	ブロック積			11.001	m				¥4000	¥44004	¥4500	¥49505
新6	雑種工事	ブロック積			9.901	m2				¥7580	¥75050	¥9000	¥89109
新6	金物工事	フェンス			6	枚				¥8000	¥48000	¥10300	¥61800
新9	基礎工事	ベース基礎			1.6	m				¥18500	¥29600	¥25650	¥41040
新9	雑種工事	ブロック積			2.32	m2				¥5200	¥12064	¥7100	¥16472
新9	左官工事	仕上り		¥4,300	5.186	m2				¥3000	¥15558	¥4213	¥21849
新9	仕上り工事	仕上り			5.186	m2				¥6100	¥31635	¥8210	¥42578
新9	金物工事	フェンス			1	個				¥21200	¥21200	¥25900	¥25900
新9	金物工事	フェンス			1	個				¥10000	¥10000	¥17000	¥17000
新9	造園工事	造園			1	個				¥8000	¥8000	¥10000	¥10000
新9	金物工事	フェンス			1	個				¥15000	¥15000	¥27300	¥27300
床1	舗装工事	舗装			25.433	m2				¥3200	¥81386	¥4876	¥124012
床1	舗装工事	舗装			25.433	m2				¥580	¥14752	¥770	¥19584
床2	舗装工事	舗装			25.433	m2							
床2	舗装工事	舗装		¥2,500	15.11	m2							
床2	舗装工事	舗装		¥500	15.11	m2				¥1230	¥18586	¥1688	¥25506
床3	舗装工事	舗装			22.027	m2				¥2300	¥50666	¥2959	¥65178
床4	舗装工事	舗装			8.436	m2				¥3,500	¥8,436	¥13570	¥114477
床4	舗装工事	舗装			8.436	m2				¥12000	¥10128	¥17400	¥146787
床4	舗装工事	舗装			8.436	m2				¥580	¥4893	¥770	¥6496
床4	舗装工事	舗装			8.436	m2							
床4	舗装工事	舗装			8.436	m2							
製品1	金物工事	カーポート	エクステリアー一般 片流F W27D55横		1	個							
										原価総計: ¥1,376,791	見積総計: ¥1,884,181		

詳細に編集したい場合は、項目を選択して右クリックすると削除や複製、統合などの作業ができます。

詳しい操作方法はWEBマニュアルを参照してください。

[リアルタイム概算]

右下の「原価総計」「見積総計」に金額が反映され、概算見積を出すことができます。

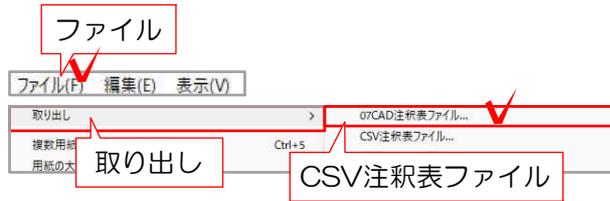


4-1 注釈レイヤ→CSVに出力

1 ファイルメニューから注釈レイヤに出力を選択します。

拾い出しが終了し、注釈レイヤに表が配置されます。

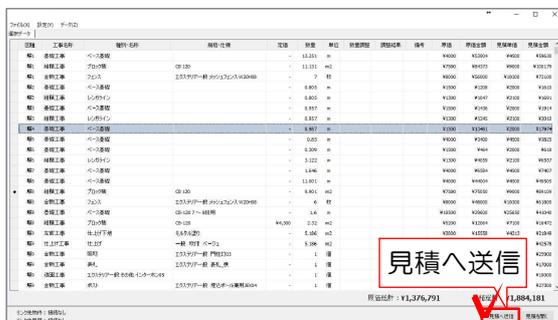
CSVデータに取り出したい場合は次の操作をします。



2 表を選択した状態で、ファイルメニュー「取り出し」→「CSV注釈表ファイル」をクリックし、ファイル名をつけて保存します。

※CSVファイルはエクセルで編集が出来ます。

4-2 見積へ送信



1 「見積へ送信」をクリックします。

※O7CAD2025では専用サーバーO7Cargo内に「e-Put積算」機能が標準搭載されています。

見積作成作業はお使いのサーバーによって操作が変わってきます。



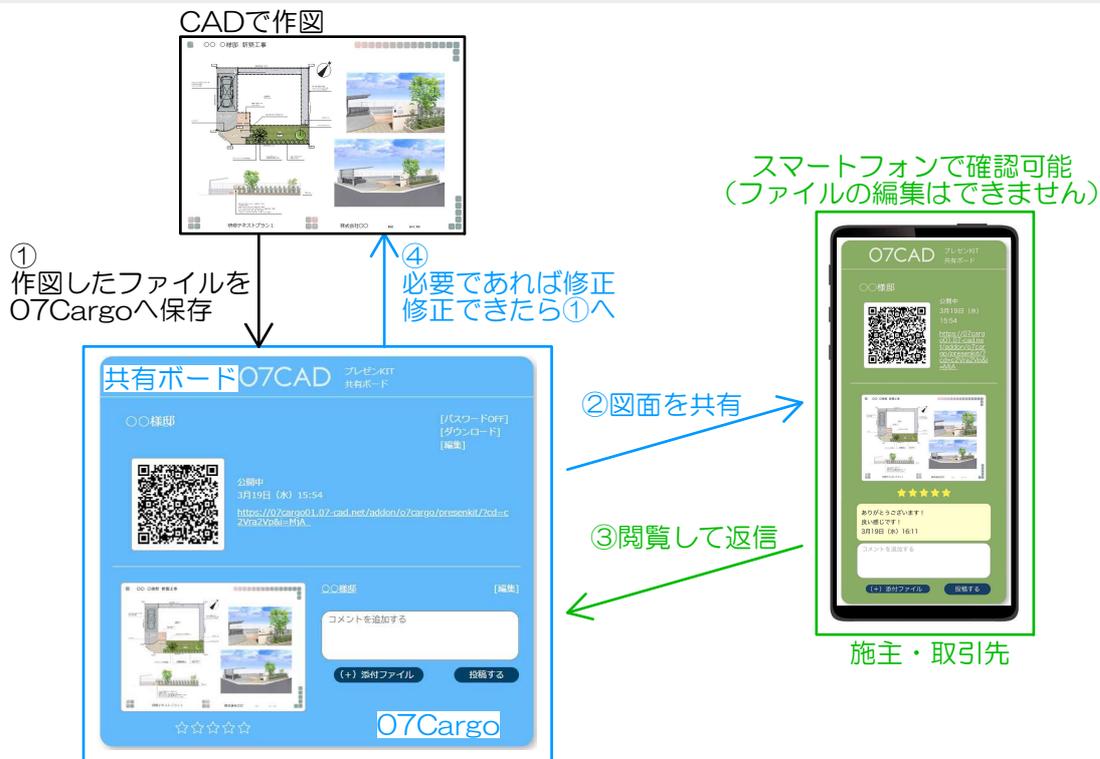
詳しい操作方法は納品マニュアルまたはWEBマニュアルを参照してください。



[O7Cargo・e-Put]

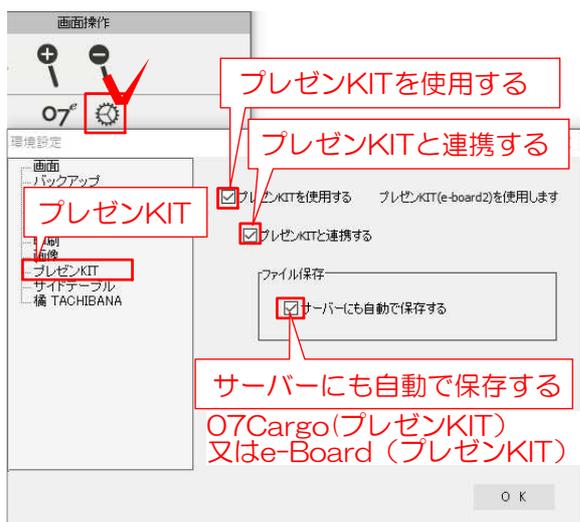
プレゼンKIT

施主側や取引先企業と提案図面や見積書を共有することができます。
ネット環境があれば情報を共有できるので、非対面でも円滑に打合せを進めることが可能です。



プレゼンKITは、O7CAD2025と物件を紐づけることで、作図した図面・パース・VRが自動的にサーバーに保存されます。保存されたデータから必要なデータを選んで、プレゼンボード（共有ボード）を作ることができます。

お施主様、取引先企業（職人）と共有ボードの中でご提案図面や工事進捗、商談の流れを共有することができます。お互いにコメントを残してやりとりができます。どこからでもネット環境があれば最新の情報を共有できるので、非対面でも円滑に打合せを進めることが可能です。



プレゼンKIT連携設定

- 1 画面右の環境設定 のプレゼンKITをクリックします。
- 2 「プレゼンKITを使用する」と「プレゼンKITと連携する」にチェックを入れます。

CADデータなどを自動でプレゼンKITに保存したい場合は、「サーバーにも自動で保存する」にもチェックを入れましょう。

O7Cargoと既存のe-Boardを切り替えて使用される方は、詳しいサーバーの設定方法はWEBマニュアルを参照してください。



07Cargo P15～ プレゼンKIT



[おすすめ新機能]→[サーバー情報自動取得]

作図練習

(エクステリア修正プラン)

テキスト内にある下図の表記は、参照マニュアルの案内です。必要に合わせて参照してください。



テキスト

詳細説明 P30～



テキストのP30～に載っています。



Webマニュアル

[レベル]→[レベル一括変換]



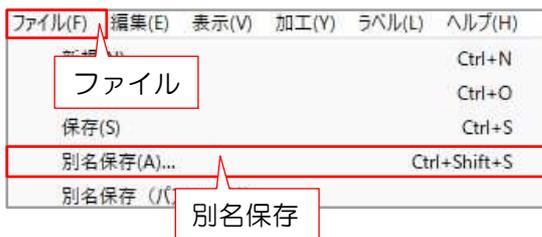
WEBマニュアルでキーワードの[レベル]をクリックし、参照マニュアルが表示されます。

※O7CADではWEBマニュアル、CambridgeではDVDマニュアルに収録されています。

※実際の操作画面は予告なく変更になる場合がございます。

データの複製

作成した図面を修正してみましょう。



1 データを開く

1-1 修正したいCADデータをダブルクリックで開きます。

2 別名保存

2-1 ファイルメニューから別名保存を選択します。

2-2 ファイル名を例：〇〇〇様邸修1と入力して保存を選択します。



※デスクトップ等わかりやすい場所に保存しましょう。

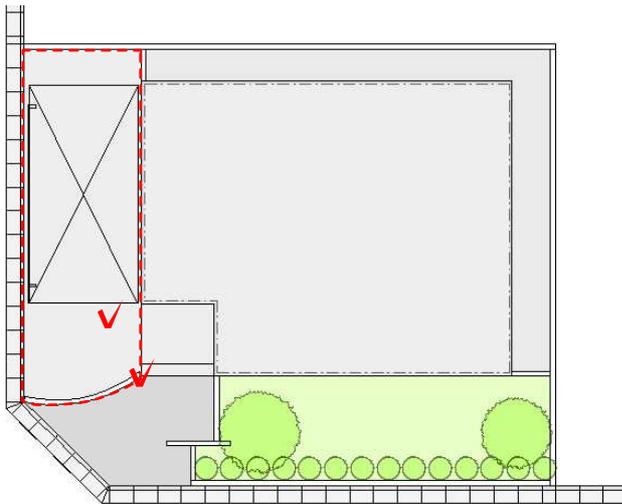
ユニット削除

訂正カ所のユニットを削除します。

1 ユニット選択&削除



1-1 レイヤーの  を選択してカラー表示にして、作業します。



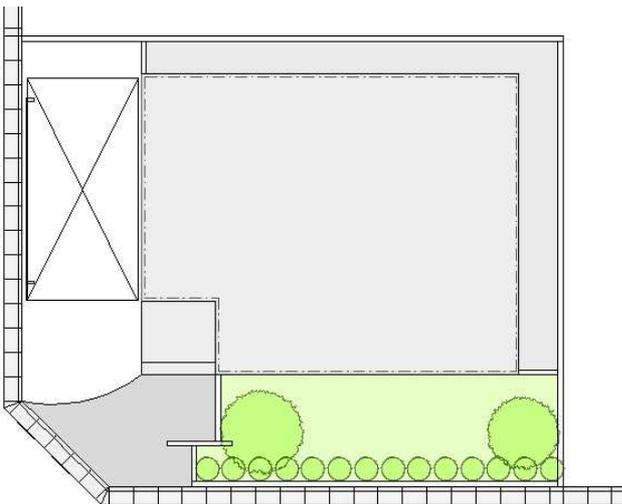
1-2 必要なくなったものや、変更する床ユニットをクリックで選択します。



洗い出しとカーポートを選択してしまった場合は、Shiftキーを押しながらクリックで選択解除してください。



選択解除の方法 P29



1-3 選択したものをBackSpaceまたはDeleteキーで削除します。

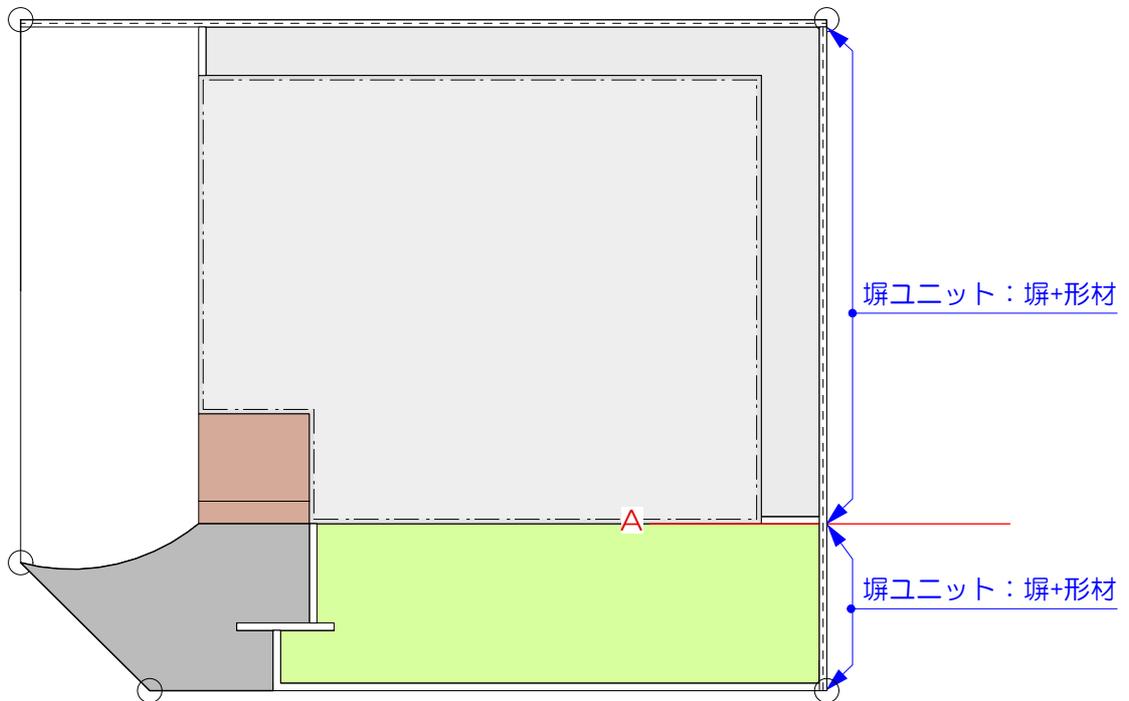
Back
Space

or

Delete

塀を配置する

下の図を参考に補助線を入力し、塀ユニットを配置してみましょう。

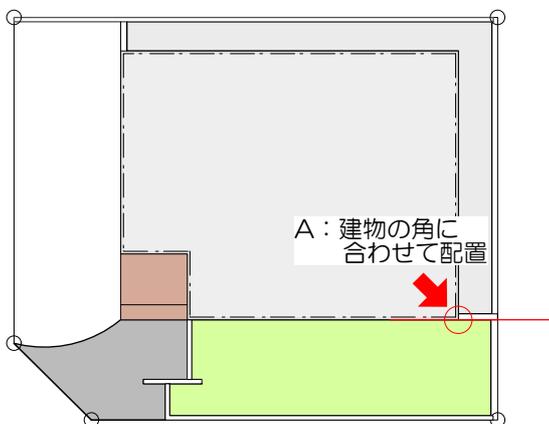


レイヤは
「ユニット」と「補助線」

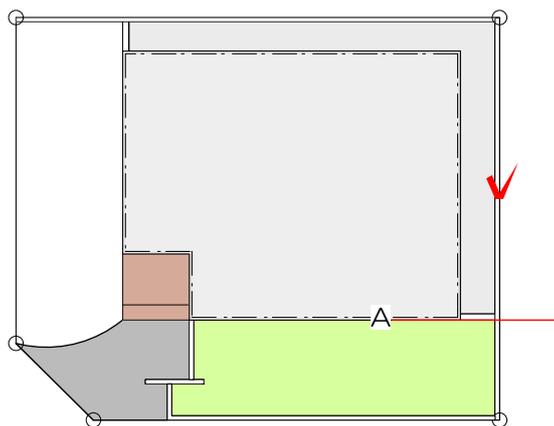
1 補助線配置

1-1 塀を配置するため、補助線を配置します。

レイヤを「補助線」にし、Aを配置します。



画面の拡大、縮小をして敷地全体が見えるようにしましょう。

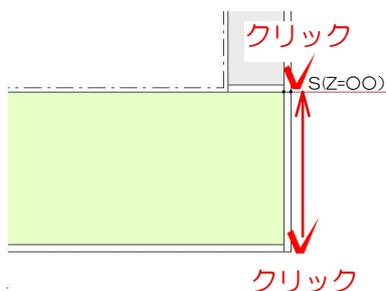


2 塀の長さ調整

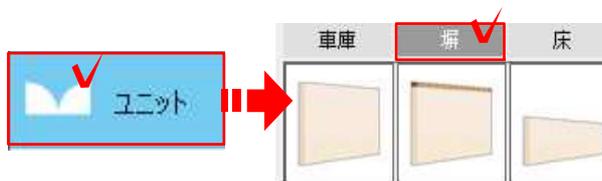
2-1 塀をクリックで選択します。

2-2 右下の頂点にマウスを近づけると ✖ のマークに変更されます。
右下の頂点をクリックで選択し、Aの補助線のラインまでマウスをスライドします。マウスカーソルにSと表示されたら再度クリックします。

※最初の頂点をクリックした後、マウスは押さずにスライドすると、スムーズです。



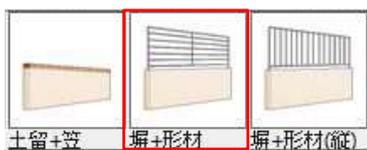
拡大して作業しましょう。この時必ず右側の頂点をクリックして補助線の交点に合わせて塀の長さを調整します。



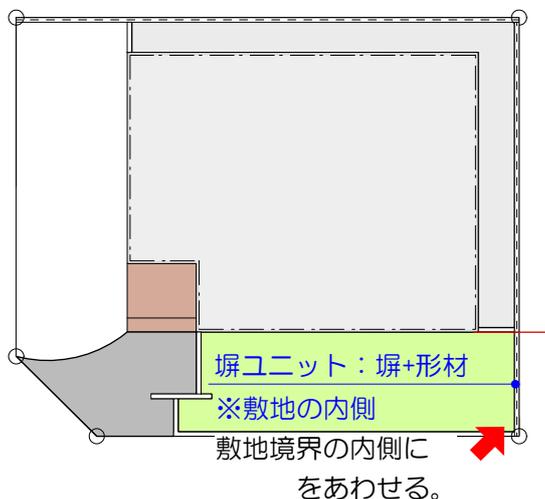
3 ユニット配置

塀を配置します。

3-1 レイヤを「ユニット」、画面下のスタンプ画面で「塀」を選択し、「塀+形材」を右の敷地境界の内側へドラッグします。



※塀が短く入ってしまった場合は、頂点をクリックして塀を伸ばしましょう。

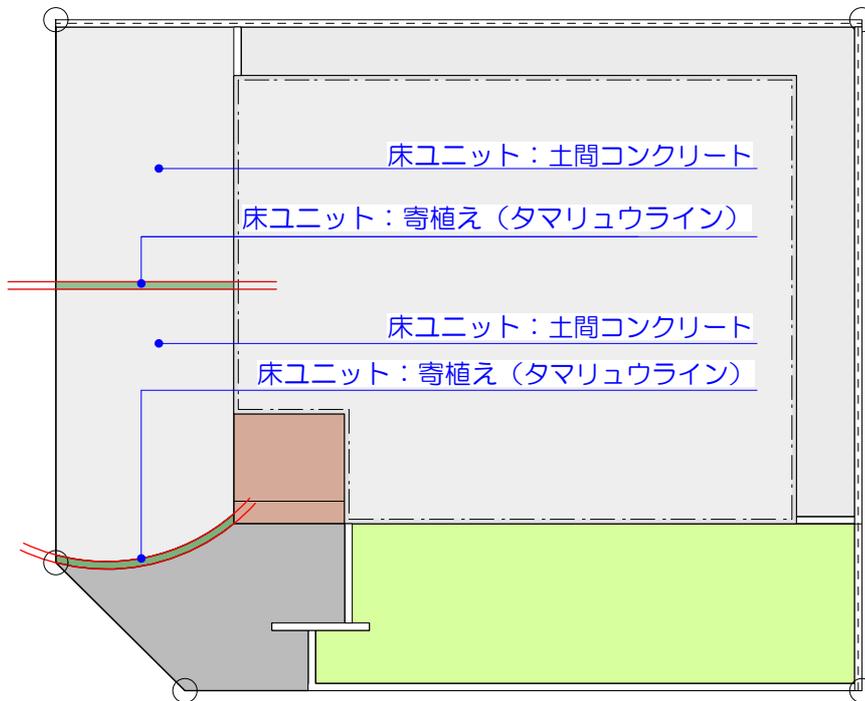


左図を参考に入力しましょう。この時、敷地境界の内側・外側・中心の位置を確認しましょう。マウスを線に合わせた位置で塀の配置が決まります。



床を配置する

下の図を参考に補助線を入力し、床ユニットを配置してみましょう。

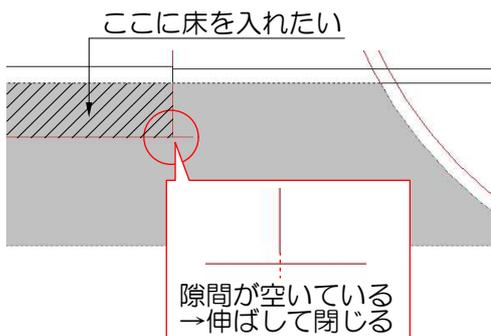


レイヤは「ユニット」と「補助線」

床はユニットで配置します。
床は補助線や塀、敷地などで囲まれた範囲を判断して形を作ります。

あらかじめ、作成したい床の形の枠を作成しておく必要があります。

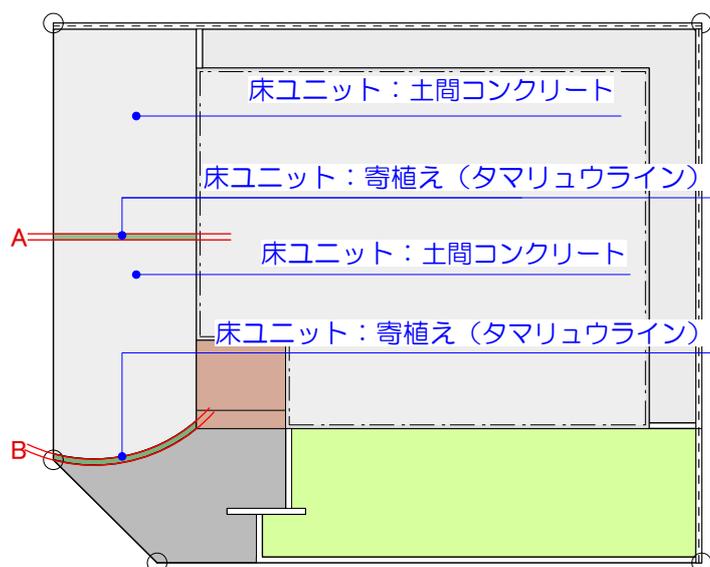
隙間があると、床がきちんと入りません。
枠の役目をする補助線は角に合わせて、少し長めに配置しましょう。



床が入りたい範囲よりも大きくなってしまふ場合は、補助線や塀、床の間に隙間ができています。
各頂点に隙間ができていないか確認しましょう。

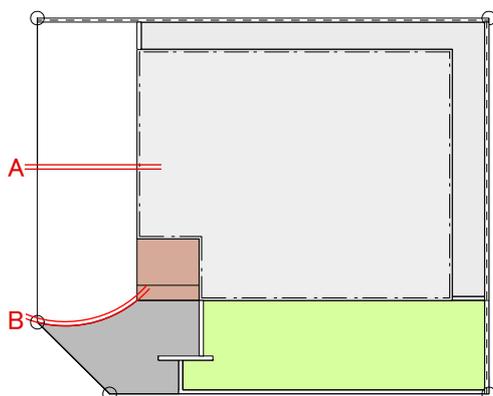
角が閉じているのに、床が入らない場合は補助線を追加してみましょう。

下図のように床を入れてみましょう。



1 補助線配置

床を配置する為のA~Bの補助線を配置します。



曲線の補助線 P67
分割補助線 P34
オフセット P36 を参照



画面の拡大、縮小をして車庫周辺が見えるようにしましょう。



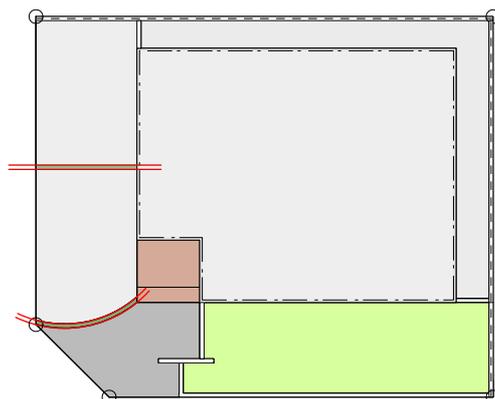
タマリユウラインのような目地は床デザイナーで作成も出来ます。詳しくはWEBマニュアルを参照してください。



[目地]→[デザイン目地]

2 ユニット配置

床を配置します。



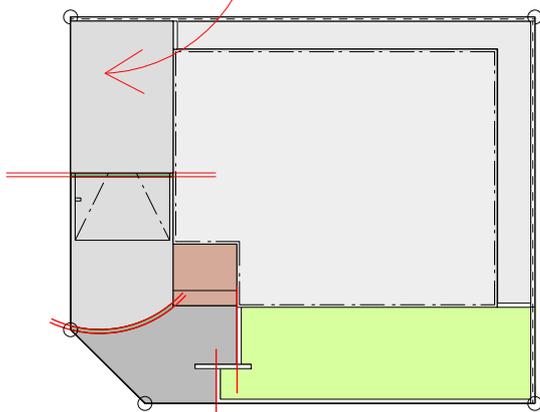
画面の拡大、縮小をして敷地全体が見えるようにしましょう。



2-1 レイヤを「ユニット」、画面下のスタンブ画面で「床」を選択します。

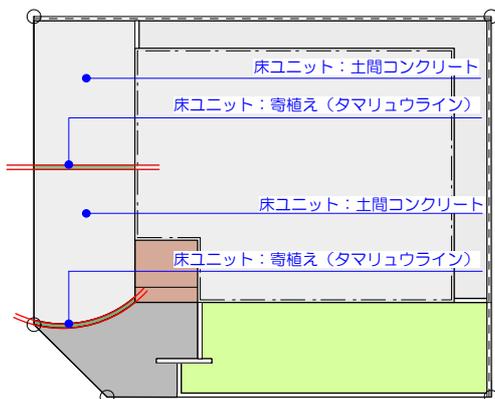
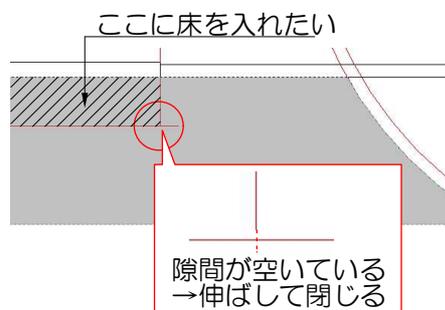


2-2 「土間コンクリート」を左図の位置へドラッグします。



下図のように床が入りたい範囲よりも大きくなってしまった場合は、補助線や塀、床の間に隙間ができています。各頂点に隙間ができていないか確認しましょう。

角が閉じているのに、床が入らない場合は補助線を追加してみましょう。



2-3 同じ要領で、左図のように床を配置しましょう。

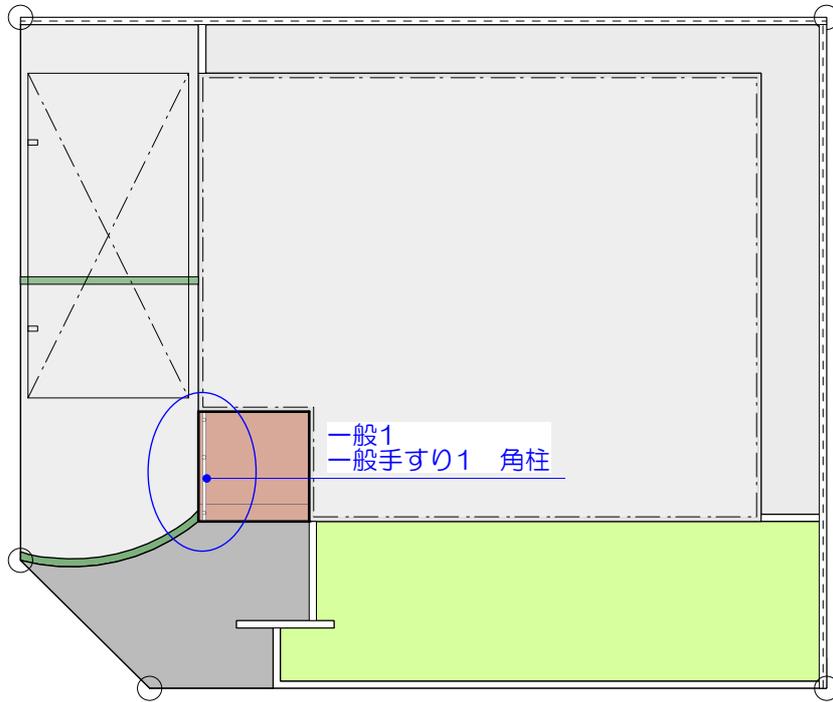
※カーポートを右クリックして最後へにしておくと、作業がスムーズです。

下図のように床でカーポートが隠れてしまった場合は、配置した床の上で右クリックして最後へを選択し、床とカーポートの前後関係を変更してください。



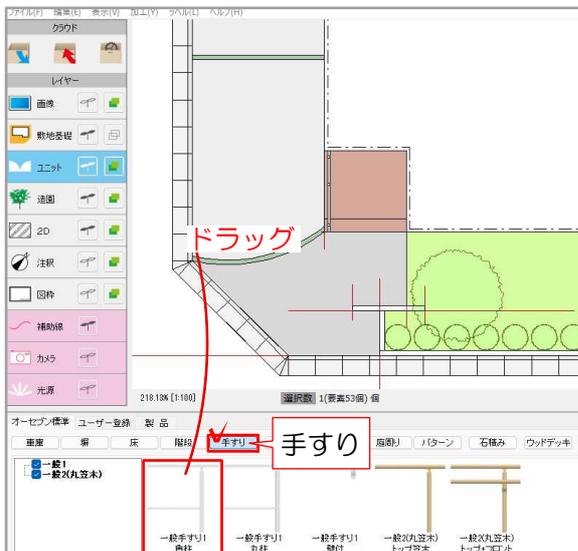
製品を配置する

下の図を参考に製品を配置してみましょう。

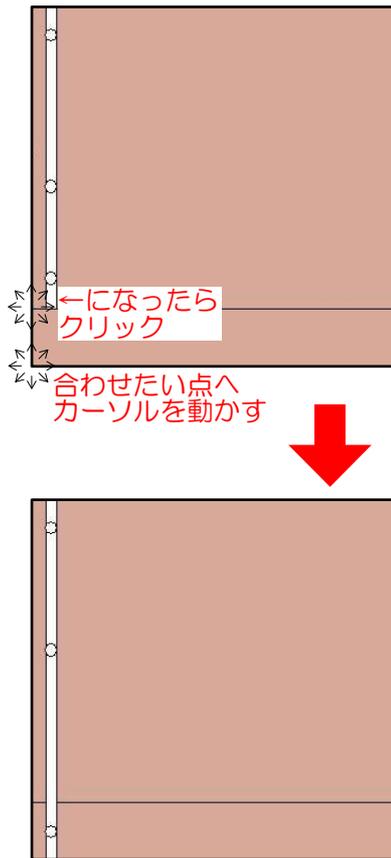


手すり配置

玄関ポーチに手すりを配置します。



1 ユニットレイヤを選択し、画面右下のスタンブ画面で「手すり」を選択し、ドラッグで配置します。



長さを調節したい場合

1 長さが足りない場合は、端点にカーソルを近づけ、になったらクリックします。

2 合わせたい点へカーソルを動かし、スナップしたらクリックします。

手摺が配置できました。
階段の勾配に合わせて自動で3Dも調整されています。



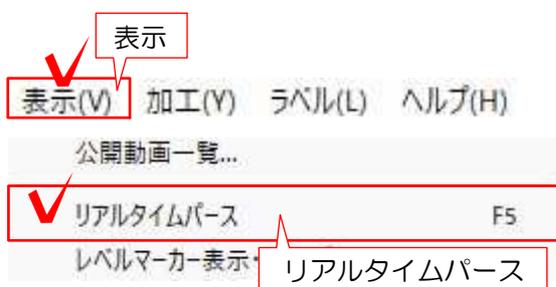
[おすすめ新機能]→[手すり]

3Dを確認する

配置したユニットがどんな状態になっているか確認してみましょう。



リアルタイムパースで確認します。
この画面では作成中の図面の3Dがリアルタイムで確認・編集できます。



1 リアルタイムパース表示

1-1 「表示」メニューから「リアルタイムパース」をクリックします。



リアルタイムパースが表示されます。



テキスト

視点を移動する P81



Webマニュアル

[リアルタイムパース]→[リアルタイムパース 基本操作]

休憩

作図がひと段落しました。休憩と保存はこまめに取りましょう。



1時間に10分休憩するのが理想です。
休憩時には体を少し動かしましょう。



45分以上



10~15分

1 休憩を取るタイミング

「これが終わったら休憩をしましょう」という決まりはありません。

45分程度作業をしたら、区切りの良い所で休憩を取りましょう。



タイマーなどをセットしておけば、「気が付いたら2時間！」なんてことも防げます。

2 運動

休憩の時はできるだけ体を動かしましょう。作図をしていると同じ姿勢で固まった状態になりやすく、目や肩が痛くなってしまいます。

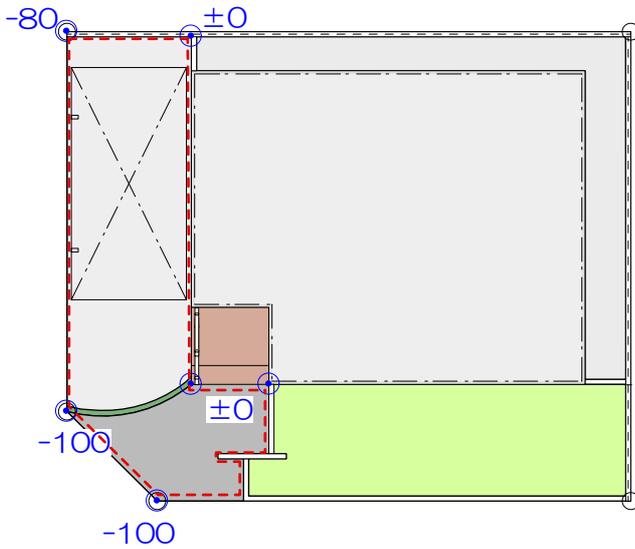
首や肩を回して、ゆっくり体を動かしましょう。



休憩してリフレッシュしてからの方が作図もはかどります。

レベルの設定をする

下の図を元に車庫・門周りのレベル設定をしましょう。



修正した床を再度レベル一括変換で水勾配に沿って変換します。

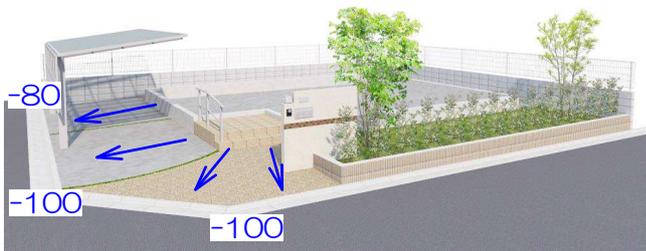


[レベル]→[レベル一括変換]



レイヤは「ユニット」

レベル一括変換

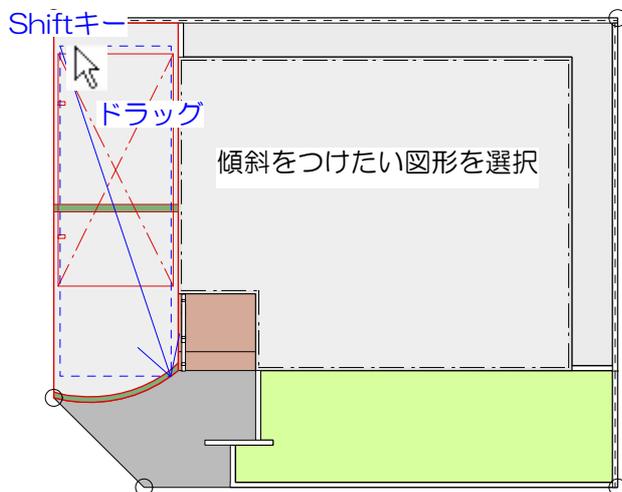


1 図形を選択

レベルを設定する図形を選択します。
ここでは、修正ヶ所の土間・タマリユウ
を選択します。



画面の拡大、縮小をして選択する部分
が大きく見えるようにしておきましょ
う。



1-1 レベルを設定したい図形（左図赤線
で表示されている範囲）を選択します

カーソルが  の時、「Shift」キーを押
たまま、左図の ---- の範囲をドラッグし
て図形を選択します。（または「Shift」
キーを押したまま1つずつ図形をクリック
します。）

余計な図形まで選択した場合は、解除した
い図形を「Shift」キーを押したままクリ
ックすると、選択を解除することができます。

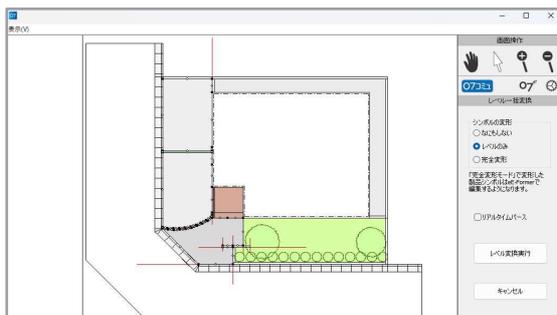
選択した図形の周りに黒い点が表示されま
す。



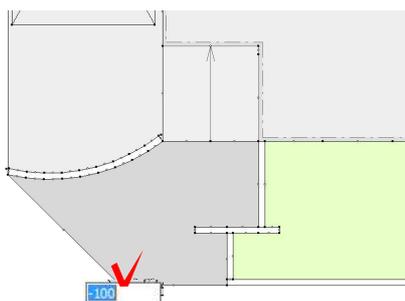
2 レベル一括変換

図形が選択できたら「レベル一括変換」を使ってレベルを設定します。

2-1 「加工」メニューの「レベル一括変換」を選択します。

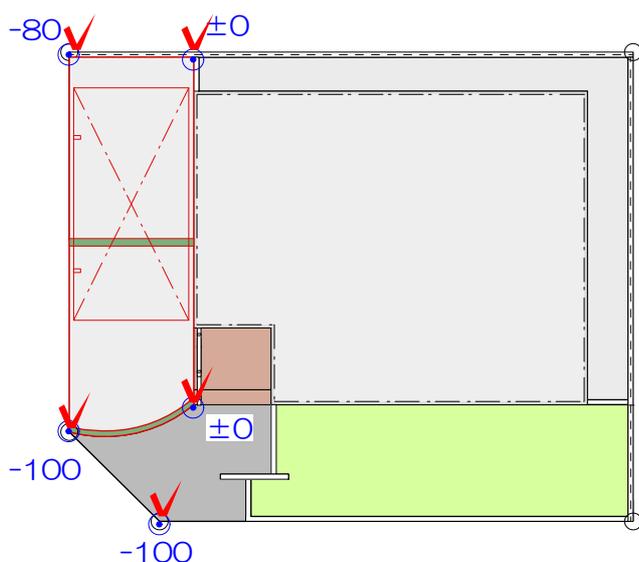


レベル一括変換画面に切り替わります。



2-2 レベル指定したい図形の頂点をクリックしてレベルを入力します。

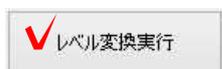
カーソルをレベル指定したい図形の頂点に近づけると、カーソルが $+$ の形になります。



2-3 修正した個所の全ての点のレベル入力を行います。



画面の拡大、縮小をして選択する部分が大きく見えるようにしておきましょう。



2-4 画面右上の「シンボル変形」の所を「レベルのみ」にチェックを入れ、右下の「レベル変換実行」ボタンをクリックします。

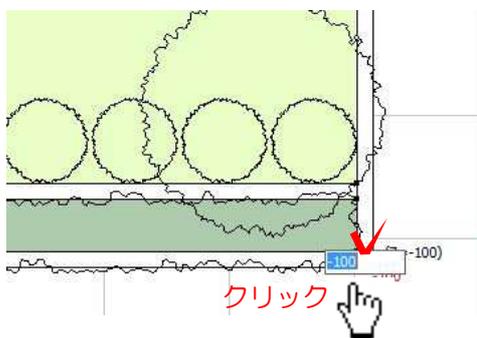
 通常は「シンボルの変形」の「レベルのみ」にチェックを入れましょう。

選択した図形にレベルが設定されました。

保存しましょう。

 レベル一括変換後にユニットを配置した場合は、もう一度レベル一括変換をします。

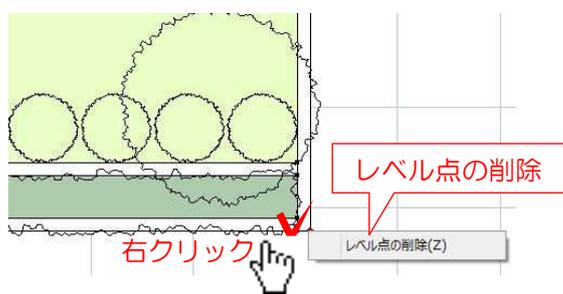
【レベルを入力した点の変更・削除】



レベルを入力した点にカーソルを近づけると  のカーソルになります。

【レベルの変更】

 の時にクリックするとレベルの入力欄が表示されます。数字を入れ直してEnterキーを押します。



【レベル点の削除】

 の時に右クリックし「レベル点の削除」をクリックします。

塀の設定をする

下の図を元に塀の設定をしましょう。

塀1：CB120（天=GL+800）吹付けイエロー
フェンス：エクステリア一般
目隠しフェンス W20H08



塀をダブルクリックすると、設定画面が起動します。

塀の高さ、形、種類、笠木、付属製品の選択、一部にレンガや石貼をつける、巾木を付けるなどができます。

ここではよく使う機能を練習します。



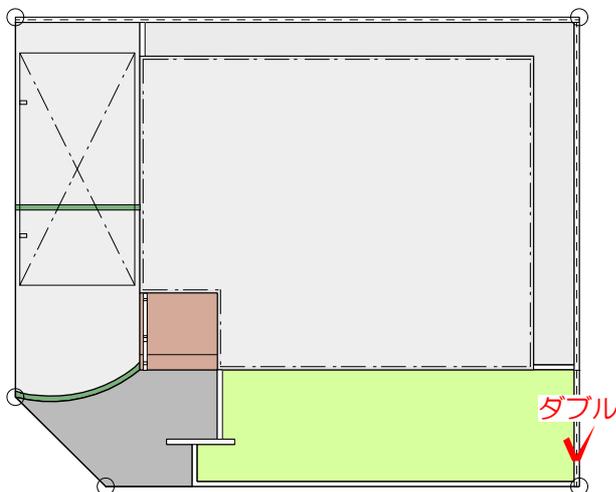
レイヤは「ユニット」

1 塀1：ブロック+フェンス塀の設定

ブロックの上にフェンスをのせる塀の設定をします。



画面の拡大、縮小をして境界塀の一部が大きく見えるようにしておきましょう。



1-1 レイヤを「ユニット」にし、右の境界塀をダブルクリックします。

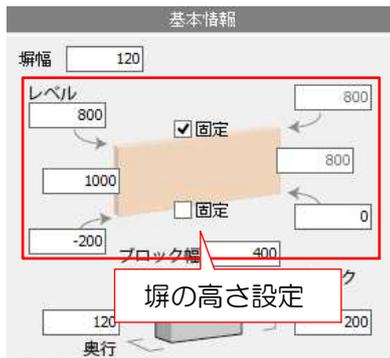


【ダブルクリックしても設定画面が表示されないときは・・・】



レイヤは「ユニット」になっていますか？
それ以外のレイヤボタンが押されていると
塀が選択できません。

塀の設定画面が表示されます。



塀の高さを設定します。

1-2：作成したい塀は
 高さ：CB4段積 (=800)
 下端：-200
 (下端=ブロックの一番下のレベル)

下図のように高さを設定します。



【塀の設定詳細】

【立面設定】

●側の塀高さ欄

●側の塀高さ欄

天端=GLからの高さ
 $GL+800=800$

下端～天端までの高さ
 4段： 200×4
 -200 から 0 まで 200
 $=1000$

下端：-200

塀の天端の高さ：下図（点A）
 (実寸高さで連動)

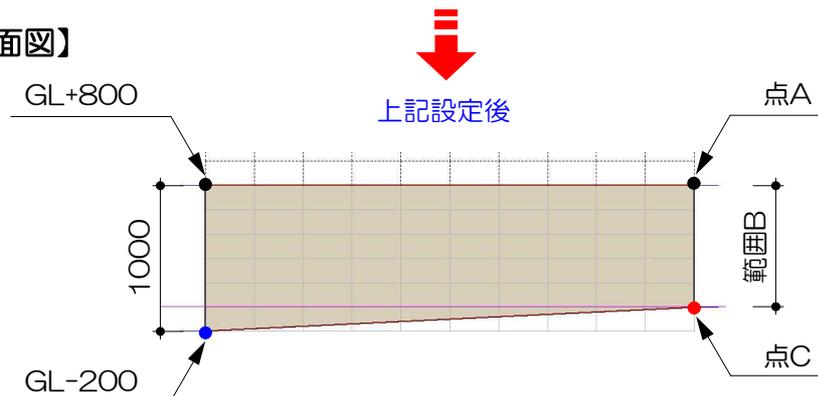
塀の実寸高さ：下図（範囲B）
 (天端の高さと連動)

塀の下端のレベル
 : 下図（点C）

※塀の基礎を設定している
 場合は入力できません。

左右の高さを固定します。
 左に入力すると右も同じ数値が入ります。

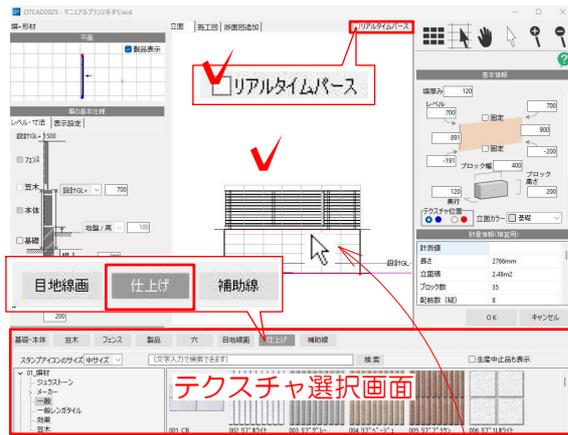
【立面図】



[塀デザイナー]→[塀デザイナーの概要]



[塀デザイナー]→[塀デザイナーの画面構成]



塀のテクスチャ(素材の模様)を設定します。
1-3 画面左下の「仕上げ」ボタンをクリックします。

リアルタイムパースのチェックを入れておきます。

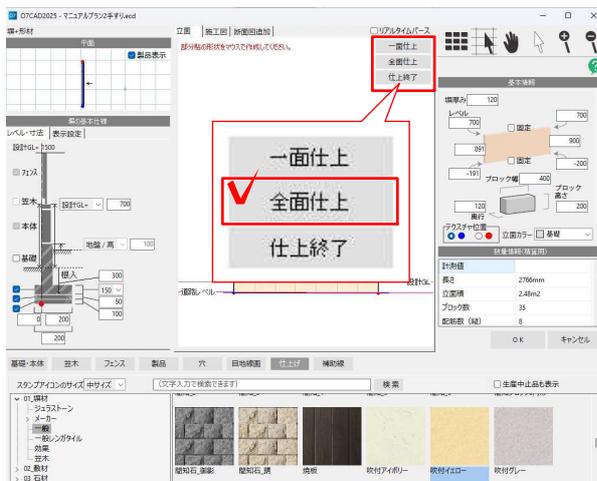
画面下にテクスチャの選択画面が表示されます。

1-4 使用したいテクスチャを選択し、立面図の塀の部分にドラッグします。

O1_塀材
→一般→吹付けイエロー



1-5 右上の「全面仕上」のボタンをクリックします。



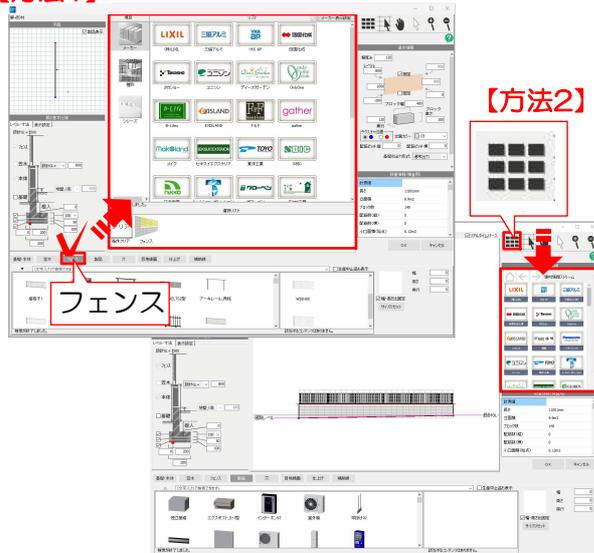
塀のテクスチャ(素材の模様)が吹付けイエローに変更されました。

リアルタイムパースで確認しましょう。

 リアルタイムパースでもテクスチャの変更をすることができます。



【方法1】



フェンスを設定します。

フェンスを設定するには2つの方法があります。どちらかの方法でフェンスを設定してみましょう。

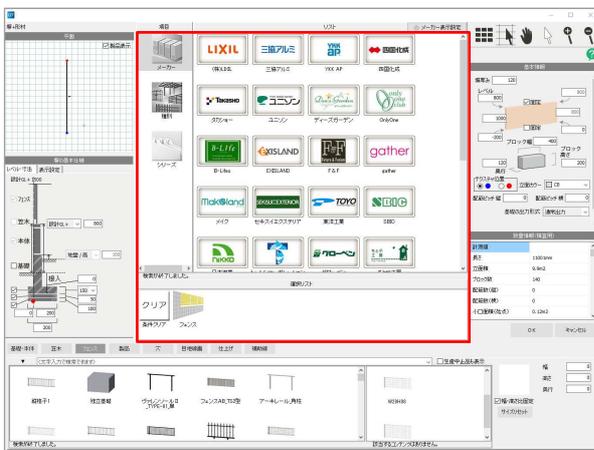
【方法1】 「フェンス」から配置
画面下「フェンス」から配置します。

【方法2】 建材情報ストリームから配置
画面右上の  ボタンから「建材情報ストリーム」を表示させフェンスを配置します。P238～

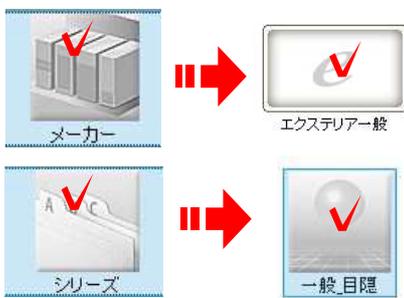


【方法1】 「フェンス」から配置

1-6 画面左下の「フェンス」ボタンをクリックします。



フェンス選択画面が表示されます。



1-7 項目がメーカーになっているのを確認して、リストの中から「エクステリア一般」をクリックします。

1-8 項目のシリーズをクリックして、リストの中から「一般目隠」をクリックします。



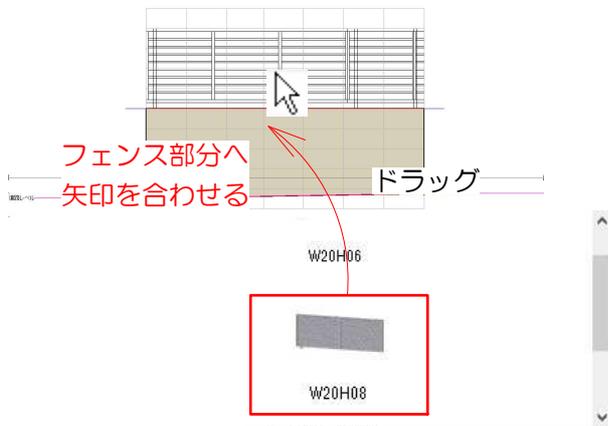
選択している項目が選択リストに表示されます。



1-9 選択リストに該当するフェンスのみ下に表示されます。「目隠_横」をクリックします。

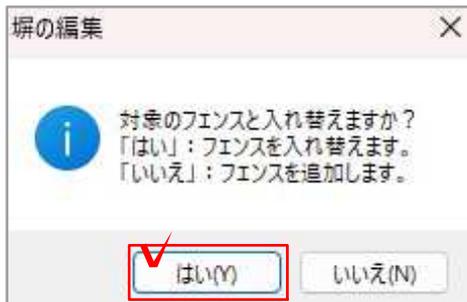


右下にサイズバリエーションが表示されます。



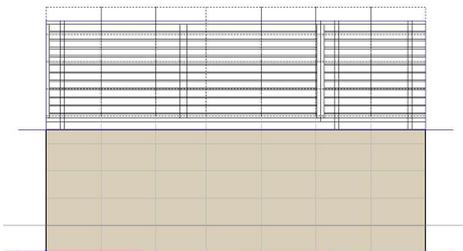
1-10 使用したいサイズ「W20H08」を選択し、立面図のフェンスに向かってドラッグします。

 すでにフェンスが付いている場合は、フェンスへドラッグしましょう。



メッセージが表示されます。

1-11 フェンス入れ替えのメッセージが表示されますので、「はい」をクリックします。



フェンスが変更できました。

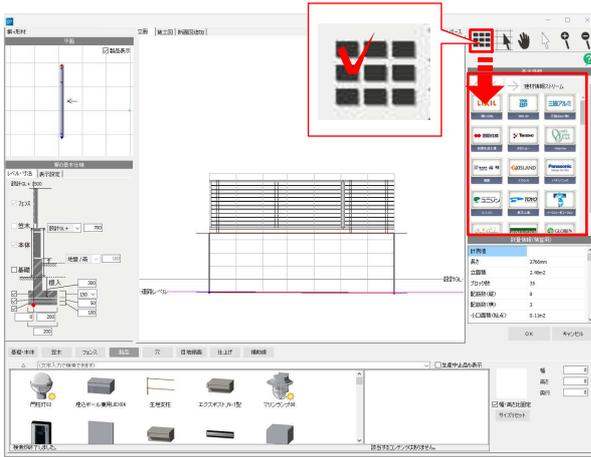


1-12 画面右下の「OK」をクリックして設定画面を閉じます。

次の塀を設定しましょう。P239へ

【方法2】 建材情報ストリームから配置

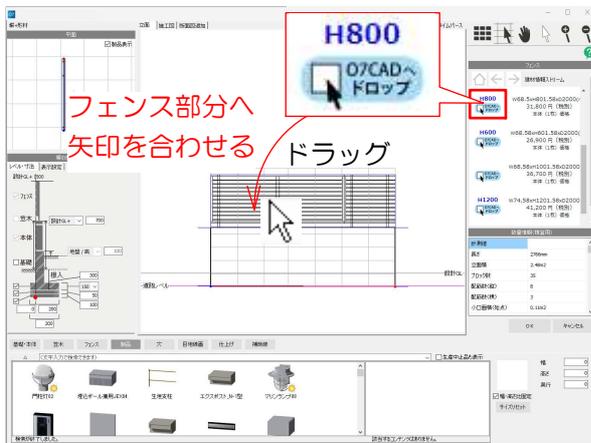
1-6 画面右上の  ボタンをクリックします。



建材情報ストリームが表示されます。

カタログ情報を見ながら好きな製品を配置してみましょう。

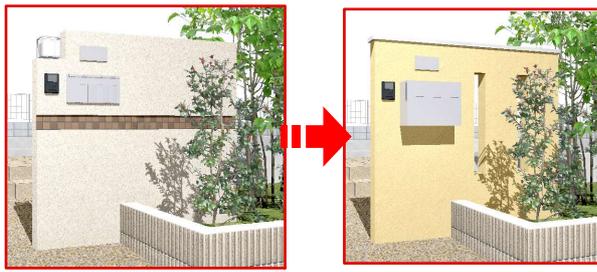
 [製品]→[建材情報ストリーム]



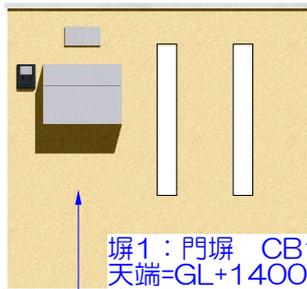
1-7 画面右下の「OK」をクリックして設定画面を閉じます。

次の塀を設定しましょう。





塀をダブルクリックすると、設定画面が起動します。
 塀の高さ、形、種類、笠木、付属製品の選択、一部にレンガや石貼をつける、巾木を付けるなどができます。
 ここでは修正する部分のスリットを設定します。



【立面図】

塀1：門塀 CB120
 天端=GL+1400
 吹付けイエロー
 +レンガ笠木
 照明・ポスト・インターホン
 +穴 100×800 2ヶ

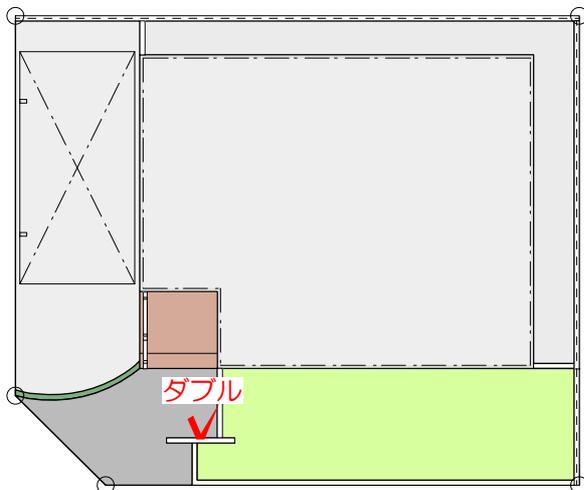
左図の塀を作成します。

塀の天端=GL+1400
 仕上げ 吹付けイエロー
 照明・表札・ポスト・インターホン
 穴2ヶ 100×800



[\[塀デザイナー\]→\[塀デザイナーの概要\]](#)

[\[塀デザイナー\]→\[塀デザイナーの画面構成\]](#)



- 1 塀1：門塀
 塀の形修正 仕上げ変更
 穴 2ヶの設定
 ポスト 箱型ポストに変更

門塀を設定します。

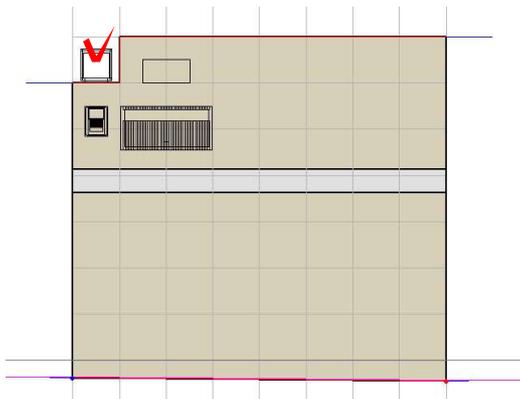


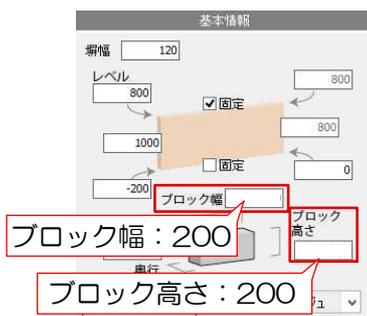
画面の拡大、縮小をして塀が大きく見えるようにしておきましょう。

1-1 ポーチ前に配置した門塀をダブルクリックします。

塀の設定画面が表示されます。

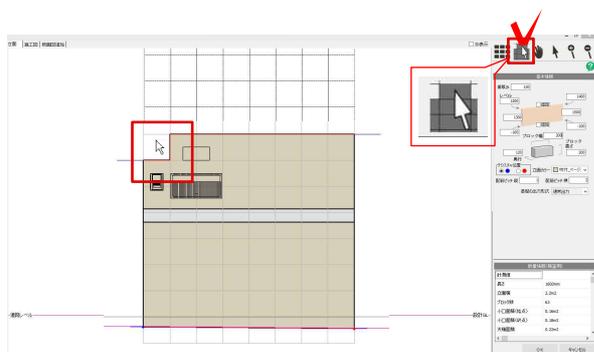
1-2 照明をクリックで選択しDeleteキーで削除します。





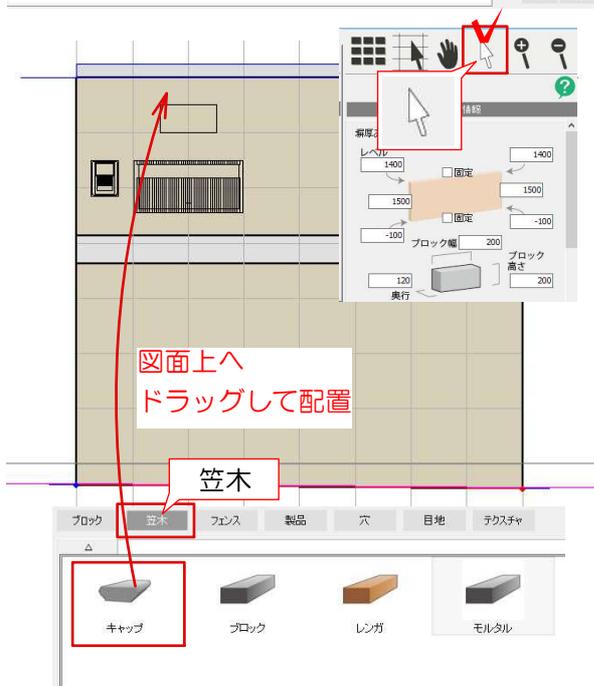
1-3 右上の基本情報を設定します。
ブロック幅：200 ブロック高さ：200

※グリッドの設定をしておく作業がスムーズです。

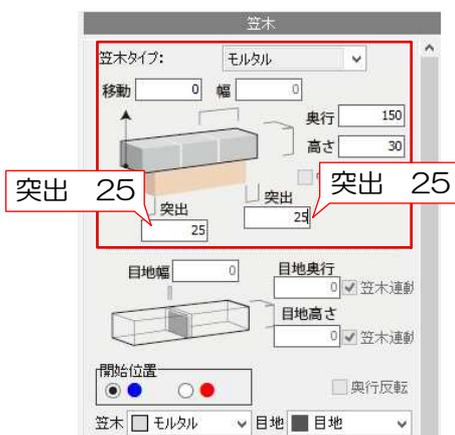


1-4 右上の  を選択し追加したい
左上のマスをクリックで選択します。

塀の形が設定できました。



1-5 右上の  を選択してから作業します。笠木を選択して、図面上へモルタルをドラッグして配置します。



1-6 右上の笠木で笠木の突出を25ずつ突出させます。



塀のテクスチャ(素材の模様)を設定します。
1-7 画面左下の「仕上げ」ボタンをクリックします。

リアルタイムパースのチェックを入れておきます。

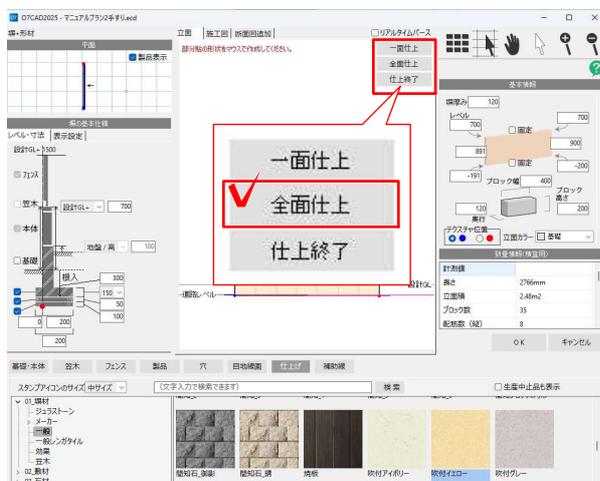
ドラッグ

画面下にテクスチャの選択画面が表示されます。



1-8 使用したいテクスチャを選択し、立面図の塀の部分にドラッグします。

- O1_塀材
- 一般
- O1O_吹付けイエロー



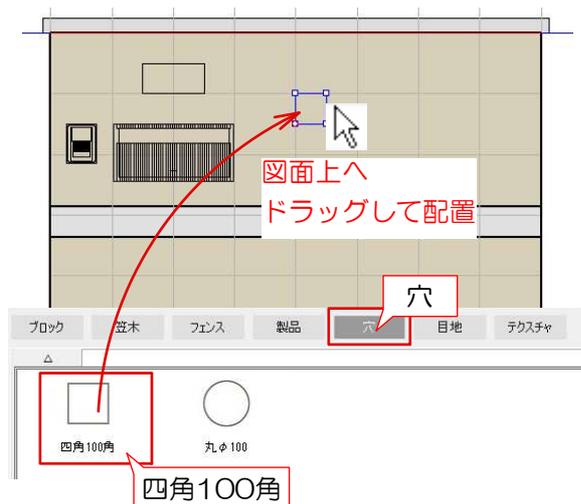
1-9 右上の「全面仕上」のボタンをクリックします。

塀のテクスチャ(素材の模様)が吹付けイエローに変更されました。

リアルタイムパースで確認しましょう。



リアルタイムパースでもテクスチャの変更をすることができます。

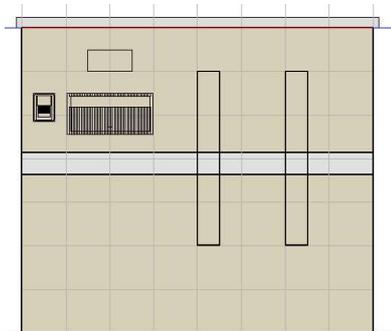


1-10 穴を選択して四角100角を選択して図面上へドラッグで配置します。

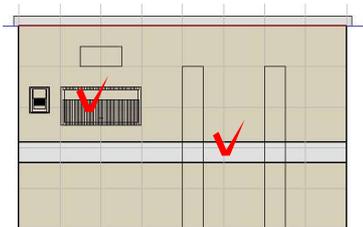
※右側のスクロールを下にドラッグすると四角100角が表示されます。



1-11 穴の大きさを800にして下にドラッグして配置します。



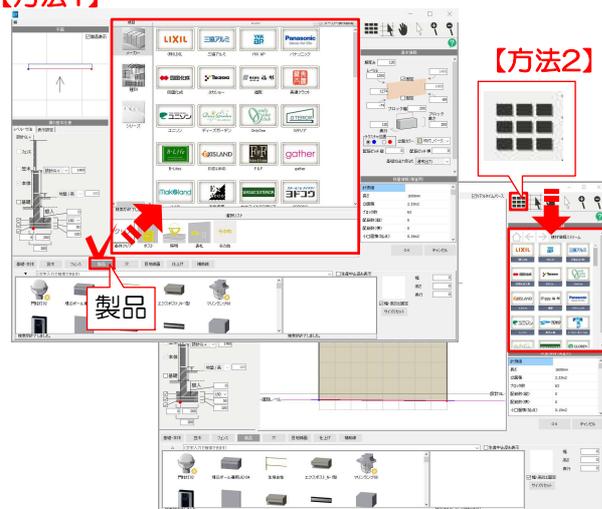
1-12 2個目の穴も同じように配置します。



1-13 ポストをクリックで選択します。選択したものをDeleteキーで削除します。タイル貼りの図形も同様に削除します。



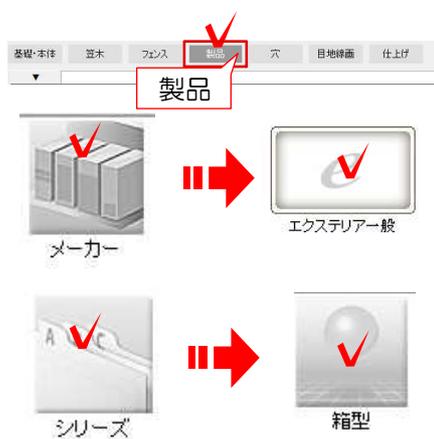
【方法1】



製品(照明・表札・インターホン・ポスト)を選択して塀に配置します。
製品を配置するには2つの方法があります。どちらかの方法で製品を配置しましょう。

【方法1】「製品」から配置
画面下「製品」から配置します。

【方法2】 建材情報ストリームから配置
画面右上の  ボタンから「建材情報ストリーム」を表示させ製品を配置します。P244～



【方法1】「製品」から配置

1-14 製品を選択後、項目がメーカーになっているのを確認して、リストの中から「エクステリア一般」をクリックします。

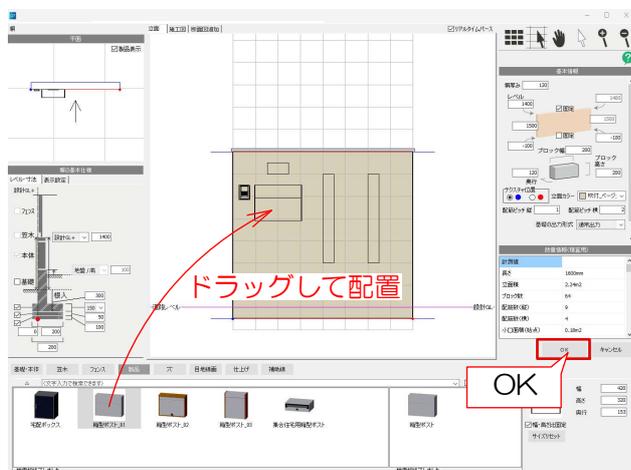
シリーズをクリックして、リストの中から「箱型」をクリックします。

※種別は選択されているので、今回は飛ばしてシリーズを選択してください。



選択している項目が選択リストに表示されます。

※表札・照明・その他は必要がなければクリックで選択解除ができます。



1-15 下に表示された箱型ポストをドラッグして配置します。

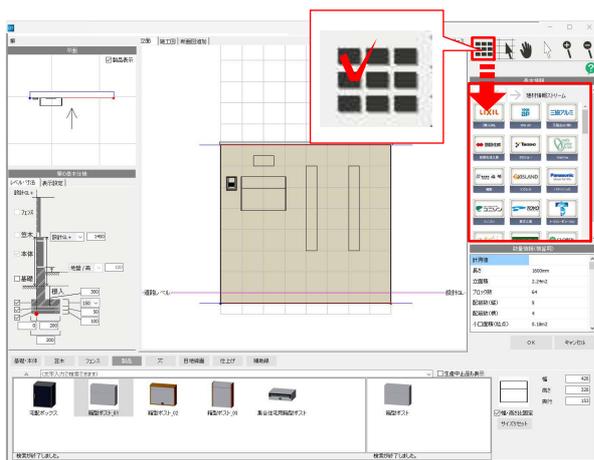
1-16 OKを選択し終了します。

※インターホン・表札は今回変更はしません

塀の設定が完了しました。

【方法2】 建材情報ストリームから配置

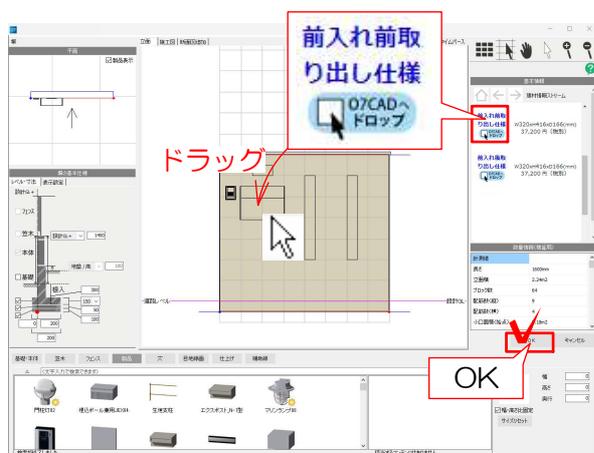
1-14 画面右上の  ボタンをクリックします。



建材情報ストリームが表示されます。

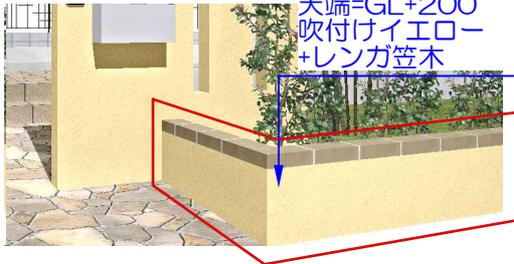
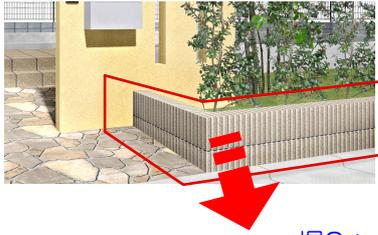
カタログ情報を見ながら好きな製品を配置してみましょう。

 [製品]→[建材情報ストリーム]



1-15 OKを選択し終了します。

※インターホン・表札は今回変更はしません
塀の設定が完了しました。



塀2：土留め CB120
天端=GL+200
吹付けイエロー
+レンガ笠木

左図の塀を作成します。

塀の天端=GL+200
仕上げ 吹付けイエロー
+レンガ笠木



[塀デザイナー]→[塀デザイナーの概要]

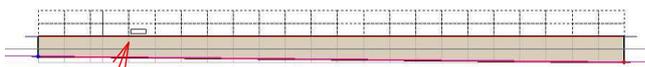
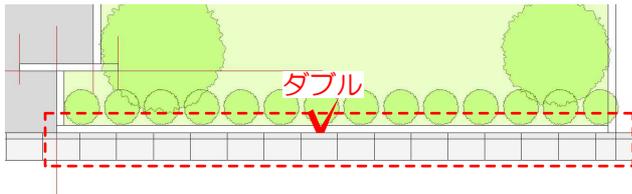
[塀デザイナー]→[塀デザイナーの画面構成]

1 塀2：土留め 塀の天端に笠木を配置 塀の仕上げの変更

土留めを設定します。



画面の拡大、縮小をして塀が大きく見えるようにしておきましょう。



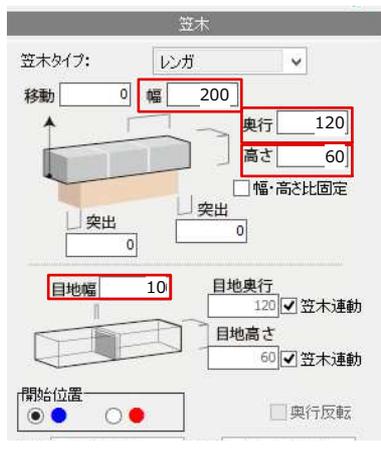
ドラッグして配置



1-1 植栽の前に配置された土留をダブルクリックします。

塀の設定画面が表示されます。

1-2 笠木を選択し、下のレンガを塀の天端にむかってドラッグで配置します。



1-3 右上の笠木で、幅・奥行・高さを入力します。

幅：200・奥行：120・高さ：60



塀のテクスチャ(素材の模様)を設定します。
1-4 画面左下の「仕上げ」ボタンをクリックします。

リアルタイムパースのチェックを入れておきます。

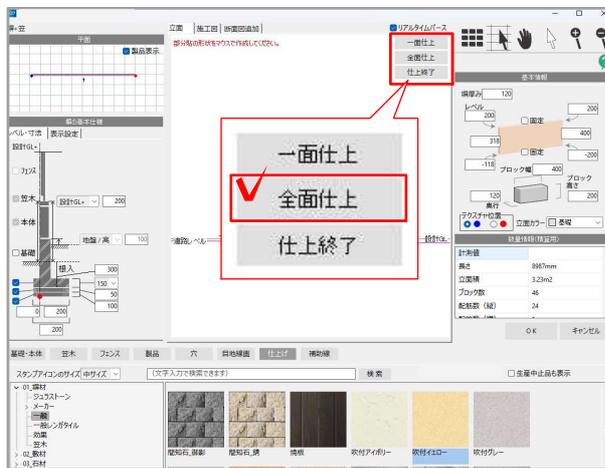
ドラッグ

画面下にテクスチャの選択画面が表示されます。



1-5 使用したいテクスチャを選択し、立面図の塀の部分にドラッグします。

- 01_塀材
- 一般
- 010_吹付ページ



1-6 右上の「全面仕上」のボタンをクリックします。

塀のテクスチャ(素材の模様)が吹付けイエローに変更されました。

リアルタイムパースで確認しましょう。

 リアルタイムパースでもテクスチャの変更をすることができます。



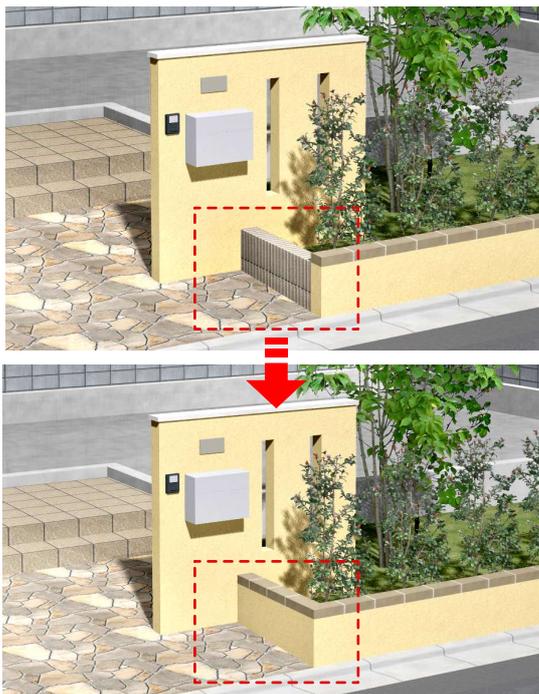
1-7 右下のOKを選択して完成です。

2 塀の設定をコピーする

1で作成したブロック+笠木の設定をコピーして、別の塀にペーストする事ができます



画面の拡大、縮小をして塀が大きく見えるようにしておきましょう。



2-1 作成した塀の上で右クリック属性コピーを選択します。



2-2 属性をコピーしたい塀の上で右クリック属性ペーストを選択します。

「レベル情報も併せてコピーしますか」とメッセージが表示されます。



2-3 「いいえ」をクリックします。

塀の設定が完了しました。
保存しましょう。



【属性コピーできる項目】

属性コピーできる設定は、塀の高さ、天端の形状、シンボル、穴シンボル、笠木、仕上げ、目地線画等です。

塀に基礎が設定されている場合は下端レベルはコピーされません。また、塀の長さが異なると天端の形状やシンボルの配置位置が変わりますので注意しましょう。



[塀デザイナー]→[塀ユニットの設定のコピー&ペースト(属性コピー)]

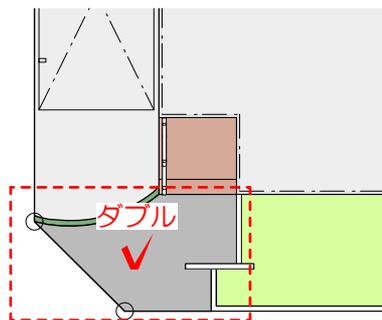
床の設定をする

下の図を元に床の設定をしましょう。



床をダブルクリックすると、設定画面が起動します。

ここでは床のテクスチャを変更します。



床の設定

1 レイヤを「ユニット」にし、アプローチの床をダブルクリックします。

塀の設定画面が表示されます。

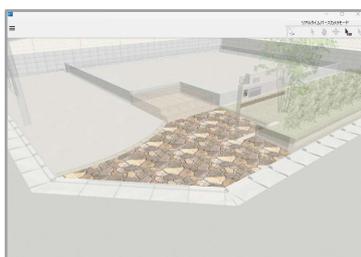
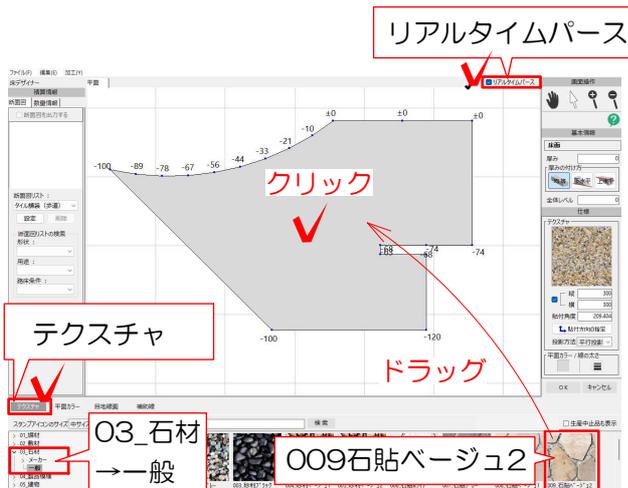
2 リアルタイムパースのチェックを入れておきます。

3 床をクリックで選択します。

4 画面左下の「テクスチャ」から使用したいテクスチャを選択します。

03_石材
→一般
→009石貼りベージュ

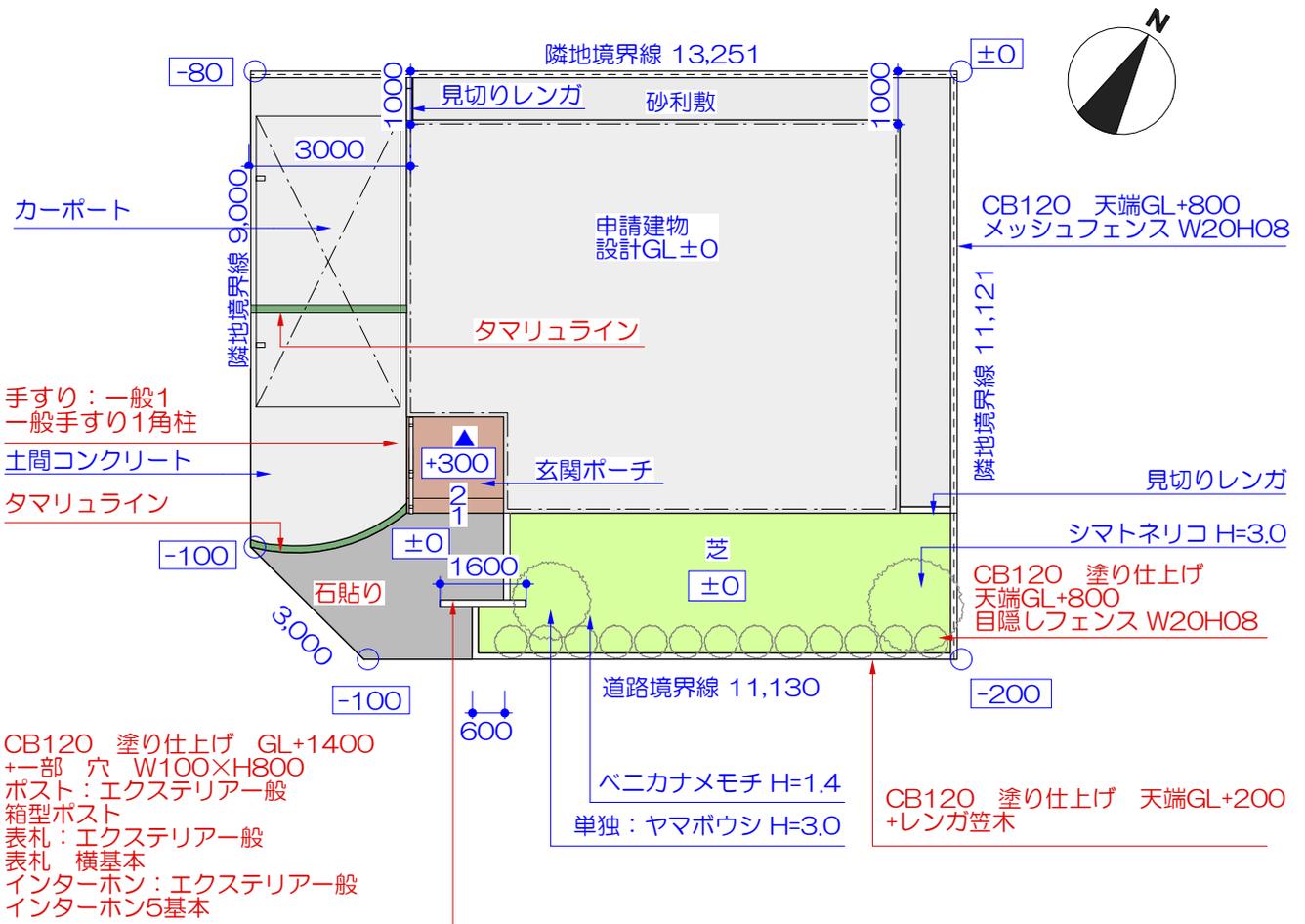
5 リアルタイムパースで確認しましょう。



 リアルタイムパースでもテクスチャの変更をすることができます。

注釈を変更する

下の図を元に注釈変更しましょう。



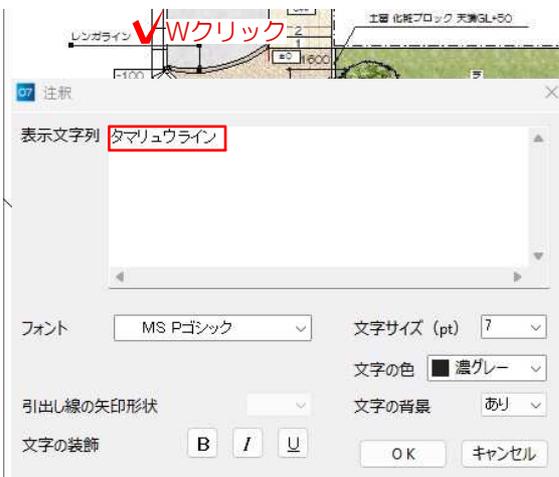
注釈

レイヤは「注釈」

1 注釈の変更

1-1 レイヤを「注釈」にし、変更する注釈の上でWクリックをして変更します。

※上の赤文字の注釈をすべて変更しましょう。



注釈の描き方 P155



【文字のフォントやサイズ・色を変えたいときは・・・】



文字のフォントやサイズを変更するには、いくつかの方法があります。

【複数を変更する】

変更したい注釈を選択し、画面右のフォントとサイズを変更します。

※注釈配置前に設定しておくこと、配置する注釈は設定したフォント・サイズで表示されます。

【注釈設定画面】



【一つだけ変更する】

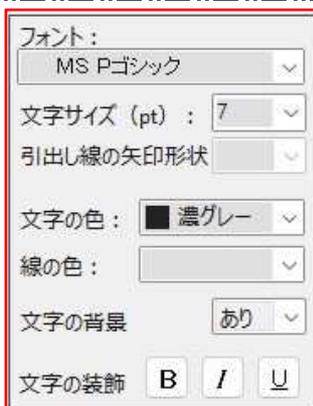
変更したい注釈をダブルクリックし、注釈設定画面で変更します。



文字の色を変更する方法

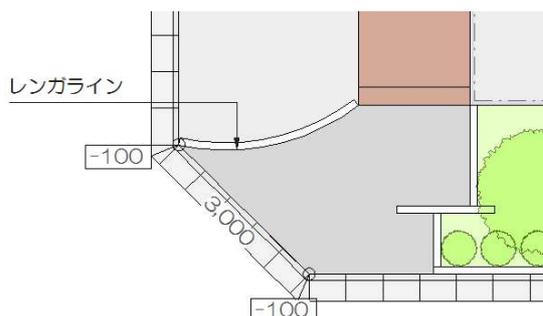
引き出し線の色・文字の色を選択し変更します。

※フォントとサイズを変更する時と同じように複数でも変更する事ができます。



【デフォルト設定をする】

注釈を何も選択しない状態で設定しておくことデフォルトを決める事ができます。何回も設定しなくても、CADを開いた時に設定したフォントや文字のサイズになっています。



他の引き出し線も変更・入力してみましょう。

入力ができたら保存しましょう。



【注釈が用紙枠から出てしまうときは・・・】

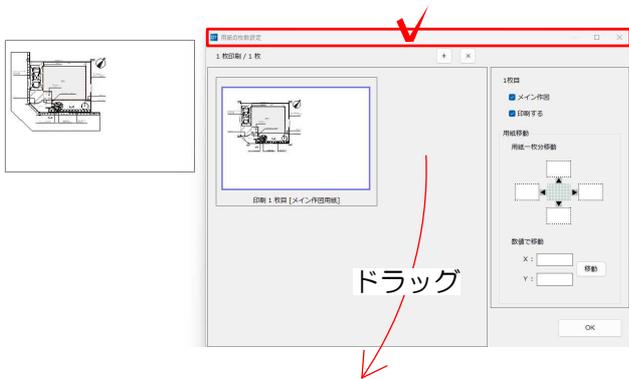


注釈が用紙から出てしまう場合は、用紙を移動して調整します。



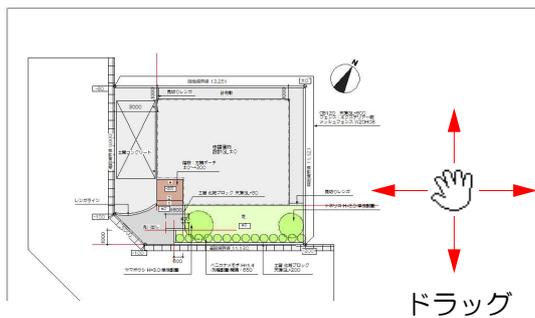
[用紙]→
[平面図のレイアウト位置を調整する方法]

1-1 レイヤを「注釈」にし、「ファイル」メニューから「複数用紙の設定、用紙移動」をクリックします。

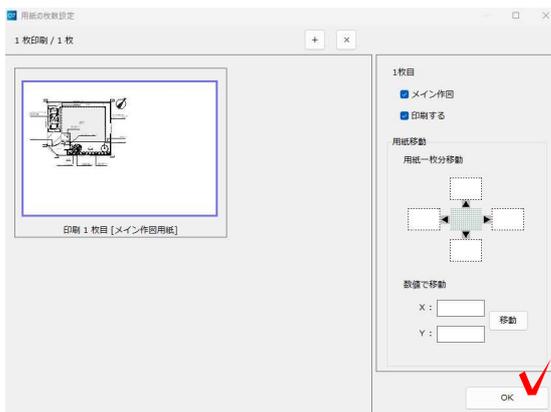


複数用紙の設定、用紙移動の設定画面が表示されます。

1-2 設定画面の上部バーをドラッグし、画面下へ移動します。



1-3 画面上にカーソルを動かし、 になったらドラッグして用紙範囲を動かします。



1-4 用紙位置が調整できたら「OK」をクリックします。

リアルタイムパースを表示する

テクスチャを確認しましょう。



リアルタイムパース上で作成したプランの確認をします。

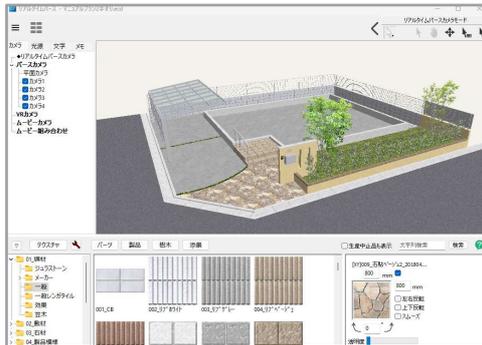
テクスチャの変更が必要な場合はここで作業しましょう。

 テクスチャは各図形の設定画面でも変更できます。



1 リアルタイムパース表示

1-1 「表示」メニューから「リアルタイムパース」をクリックします。



リアルタイムパースが表示されます。

 [リアルタイムパース]→[リアルタイムパース 基本操作]



2 貼り換え

※今回はテクスチャ設定済のため作業はありません。

2-1 画面下の「テクスチャ」から使用したいテクスチャを選択します。

2-2 選択したテクスチャを貼り換えたい図形にドラッグします。



効果設定を変える

設定を変えることで、いろいろな演出をすることができます。



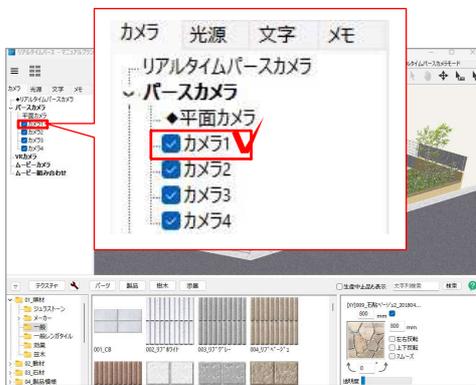
設定1 簡易設定

あらかじめ用意された設定一覧から選択します。



設定2 手動設定

各効果の設定を変更して、オリジナルの設定をすることができます。



1 簡易設定

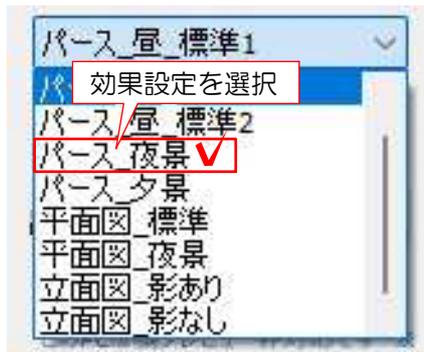
初期設定にいくつかの設定が登録されています。リアルタイムパース画面右上の「設定」で選択します。

1-1 画面左上「パースカメラ」の「カメラ1」をクリックします。

1-2 画面右上「カメラ詳細設定」の「パース_昼_標準1」をクリックします。



効果設定一覧が表示されます。



1-3 一覧から使用したい効果設定をクリックします。



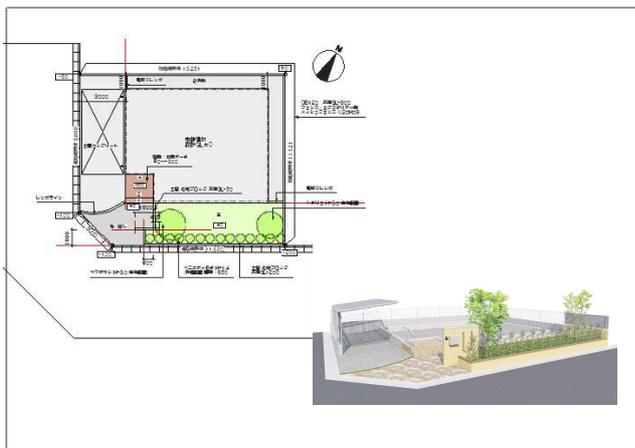
選択した効果設定が表示されます。

効果設定を変えることで簡単に昼・夕方・夜・平面図用の設定をすることができます。



画像をCADに貼る

リアルタイムパースで作ったパースをCAD平面図上へ貼りつけます。



リアルタイムパースで角度やテクスチャを調整したパースをCAD平面図上に貼りつけます。

カメラが複数ある時は、各カメラごとに作業をします。



ここではカメラ1とカメラ2でパースを、カメラ3で立面図を作成します。

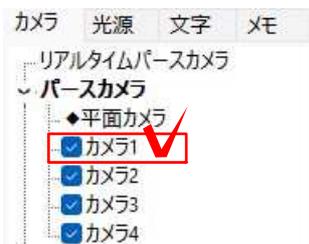
1 カメラを選択

1-1 パースカメラを選択します

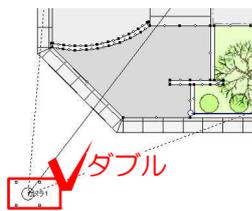
方法1：リアルタイムパース画面左上のカメラ1を選択します。

方法2：平面のカメラ1をダブルクリックします。

方法1



方法2



選択したカメラのパースが表示されます。

2 図面上へ配置

CAD平面図上にパースを配置します。

2-1 画面右側の「レンダリング」をクリックします。



レンダリング出力設定



レンダリング設定画面が表示されます。

2-2 「eE-Painter」を選択し、「次へ」をクリックします。



2-3 「中」を選択し、「レンダリング開始」をクリックします。

eE-Painterレンダリング設定



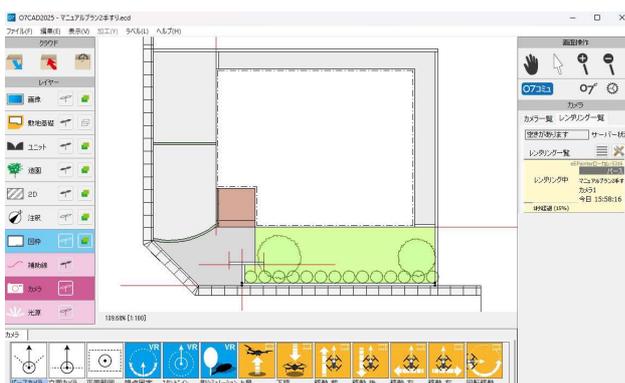
画像サイズは印刷するパースの大きさによって選択します。

通常は「中」を。A3にパース1つの場合は「大」を目安にします。

大きいほど精密なパースができますが、データが重くなります。用紙に合わせた最適なサイズを選択しましょう。

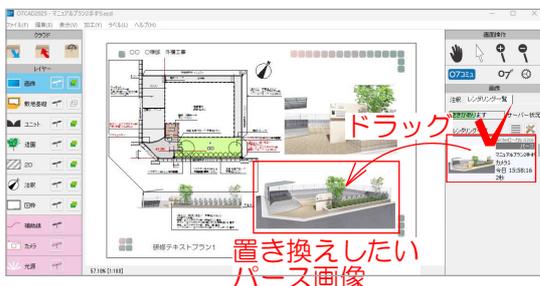
レンダリングが開始されました。

平面作業画面に戻りましょう。





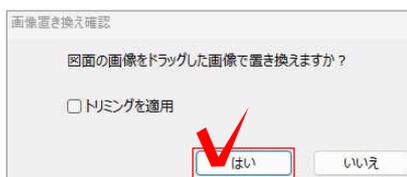
2-4 レイヤを「画像」にします。



2-5 画面右側のレンダリング一覧から、置き換えたいパース画像に向かってドラッグで配置します。

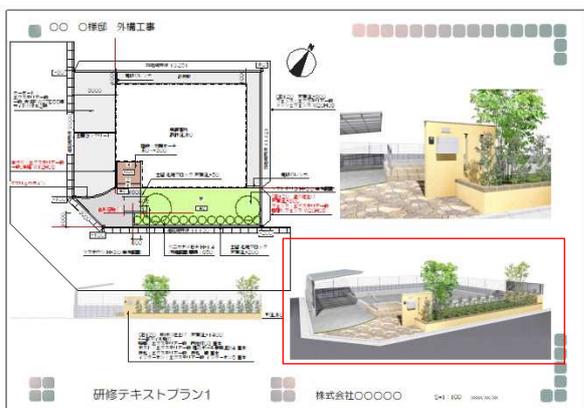
 レンダリング中の場合は、他の作業をしながらレンダリングが終わるのを待ちましょう。

 置き換えたいパース画像が表示されていない場合は、一度「画像」レイヤにしてから再度「カメラ」レイヤにしましょう。



画像を置き換えるか確認メッセージが表示されます。

2-6 「はい」をクリックします。



画像が置き換わりました。

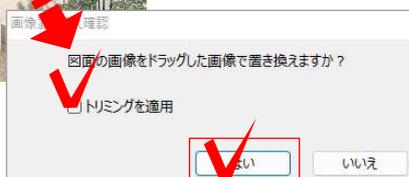
 置き換えしたパース画像の大きさや角度、図面上の上下関係は元の画像と同じになります。

保存しましょう。

 同じ要領でカメラ2・カメラ3のパース・立面図も図面上へ配置しましょう



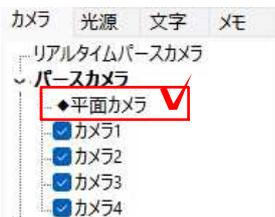
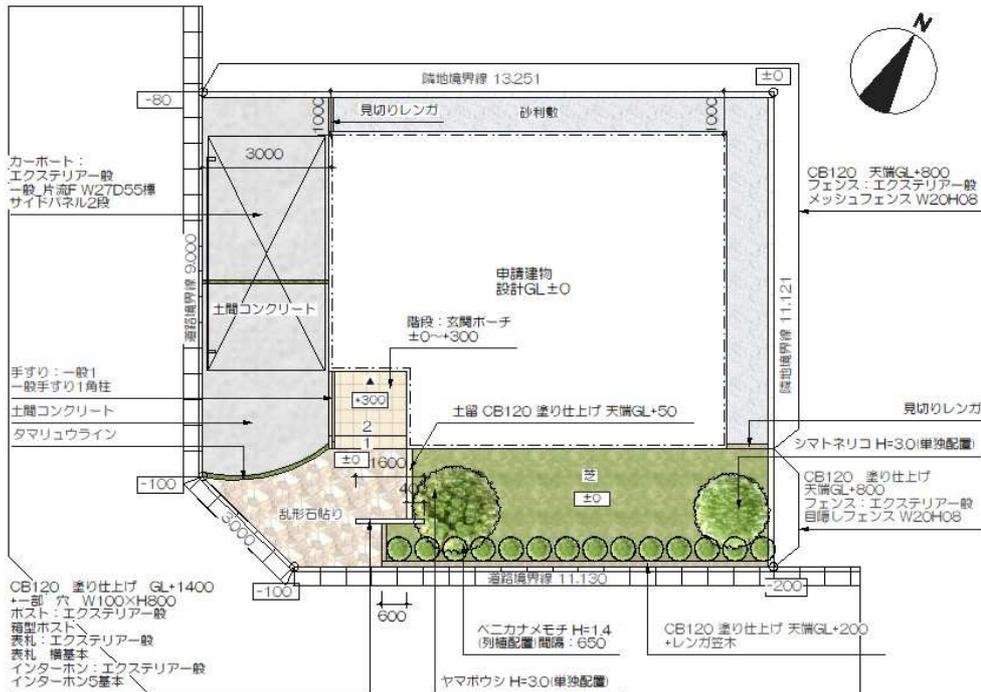
【置き換えたいパース画像をトリミングしている場合】



置き換えたいパース画像をトリミングしている場合は、画像置き換え確認メッセージで「トリミングを適用」にチェックを入れてから「はい」を選択しましょう。

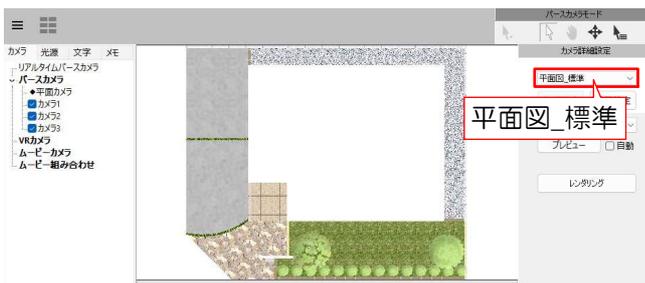
平面図仕上げ

平面図をパースと同じようにリアルタイムパースで作成し、立体感のある表現にします。

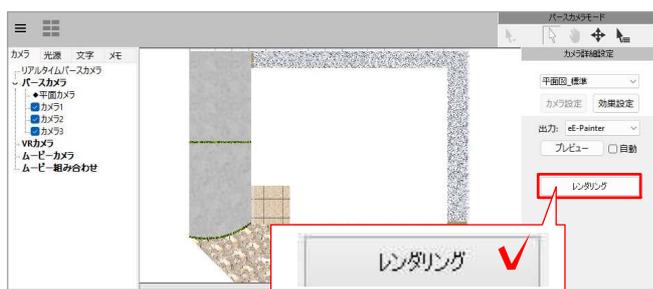


1 リアルタイムパースで平面図を表示

1-1 リアルタイムパース画面左上のパースカメラから「平面カメラ」を選択します。



1-2 リアルタイムパース画面右上のカメラ詳細設定を「平面図_標準」になっていることを確認します。



2 レンダリング

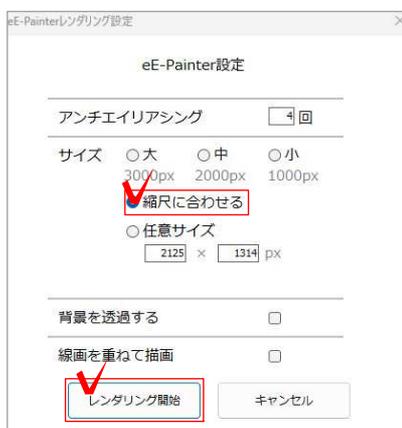
CAD平面図上に平面画像を配置します。

2-1 画面右側の「レンダリング」をクリックします。



レンダリング設定画面が表示されます。

2-2 「eE-Painter」を選択し、「次へ」をクリックします。

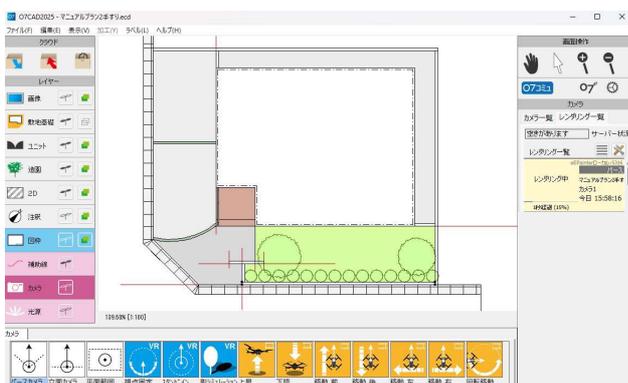


2-3 「縮尺に合わせる」を選択し、「レンダリング開始」をクリックします。

 平面カメラの場合は「縮尺に合わせる」を選択し、平面図と画像の縮尺を合わせます。



[おすすめ新機能]→[平面図の線画の取り込み]



レンダリングが開始されました。

平面作業画面に戻りましょう。



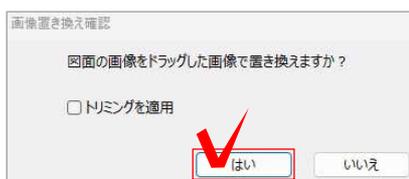
2-4 レイヤを「画像」にします。

2-5 画面右側のレンダリング一覧から、置き換えたい平面画像に向かってドラッグで配置します。



レンダリング中の場合は、他の作業をしながらレンダリングが終わるのを待ちましょう。

ユニットレイヤがカラー表示の場合平面画像はユニットレイヤの図形で隠れていますが、そのままの表示でもドラッグで置き換えます。



画像を置き換えるか確認メッセージが表示されます。

2-6 「はい」をクリックします。

画像が置き換わりました。



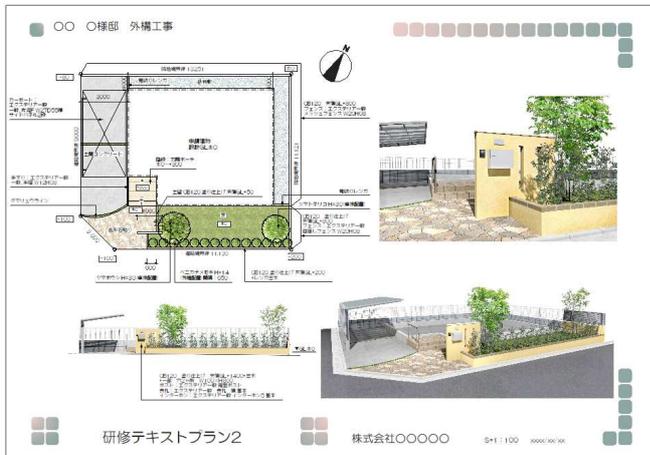
ユニットで描いた平面図の位置に合わせて、画像レイヤに配置されます。

同時に敷地基礎・ユニット・造園レイヤがモノクロ指定に変更されます。

保存しましょう。

レイアウト

用紙枠内にパースや平面図をレイアウトしましょう。



今回は、平面図と立面図とパースをA3用紙内にレイアウトします。平面図が左、パースを右、立面図を平面の下に配置しましょう。

配置位置は自由です。できるだけそれぞれの図面が大きく入るようにしましょう。

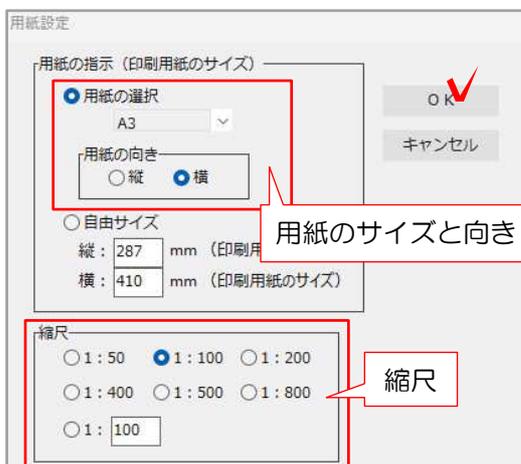


1 用紙の大きさ・縮尺を確認

用紙のサイズと縮尺を確認しましょう。

1-1 「ファイル」メニューの「用紙の大きさ」をクリックします。

「用紙設定」画面が表示されます。



1-2 用紙のサイズ、向き、縮尺を確認して「OK」をクリックします。

 この作業は縮尺が最初のプランと変更がなければ飛ばしても良い作業です。

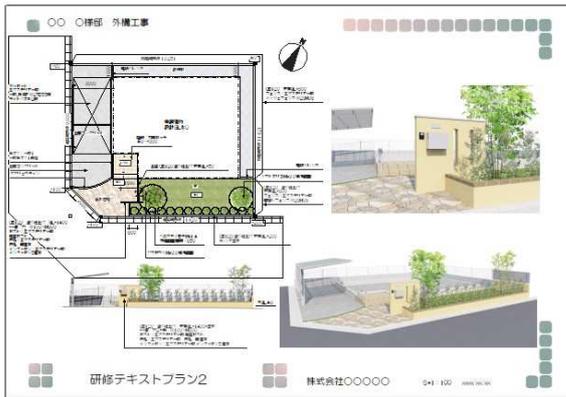


2 全体レイアウトを確認

レイアウトを決めるために現在のレイアウトを確認しましょう。

2-1 「表示」メニューの「画面倍率」→「用紙全体」をクリックします。

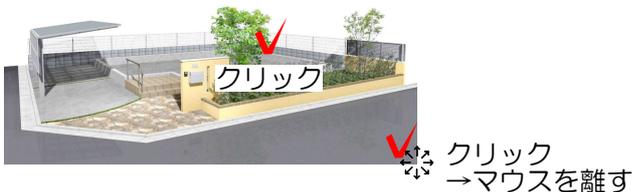
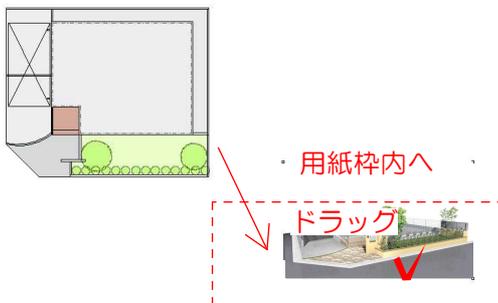
画面内に用紙全体が表示されます。



グレーのラインが用紙枠です。

3 パースの大きさを調整する

3-1 パースをドラッグして用紙内に配置します。



3-2 パースをクリックして選択し、角に表示された口にカーソルを合わせて  になったところでクリックします。

3-3 マウスを動かし、変えたい大きさになったところでクリックします。



パースを移動して用紙内にレイアウトしましょう。



【パースの大きさ調整2】



パースの大きさを調整する方法はドラッグする以外にもうひとつあります。

ドラッグして変形するのが苦手な方は下記の方法で調整しましょう。



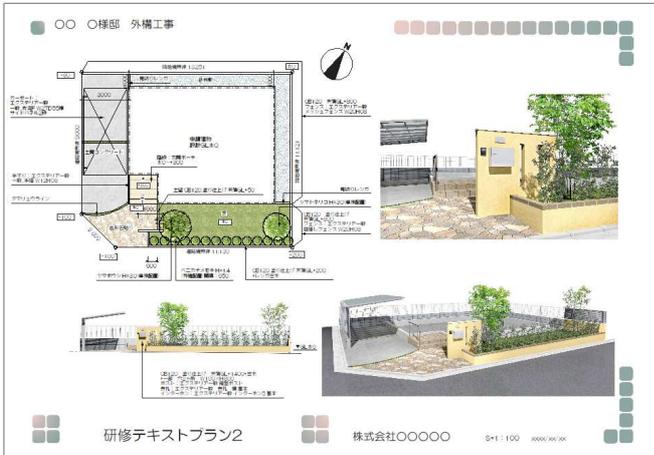
「画像の設定」が表示されます。

「画像情報」の「横」に任意の数値を入力し、「OK」をクリックします。

※「縦横比を固定する」にチェックを入れておけば横と縦は連動しています。どちらかに数値を入力すれば自動的にサイズを調整します。

印刷

レイアウトした図面を印刷してみましょう。



完成した図面を印刷します。



1 印刷

印刷前にプレビューで確認しましょう。

1-1 「ファイル」メニューの「印刷プレビュー」をクリックします。



印刷プレビュー画面が表示されます。

1-2 印刷したい図形が表示されているか確認し、「印刷」をクリックしましょう。



もし、修正点があった場合は「閉じる」をクリックして修正しましょう。



「印刷対象の選択」画面が表示されます。

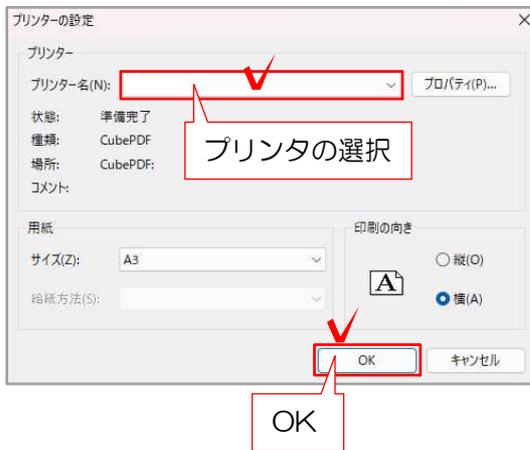
1-3 「図面 線・テキスト情報保持」をクリックします。



「図面 透過画像対応」はパースのオプション設定の背景を透明に設定した場合に利用します。



「緑の計画書」は図面に配置している樹木の詳細情報を閲覧・印刷できます。



1-4 印刷で使用するプリンタを選択し、用紙のサイズや向き、設定を確認して「OK」をクリックします。



※プリンタの詳細設定については、ご利用のプリンタのマニュアルをご確認ください。



作図練習

(造園プラン)

テキスト内にある下図の表記は、参照マニュアルの案内です。必要に合わせて参照してください。



テキスト

詳細説明 P30～



テキストのP30～に載っています。



Webマニュアル

[レベル]→[レベル一括変換]



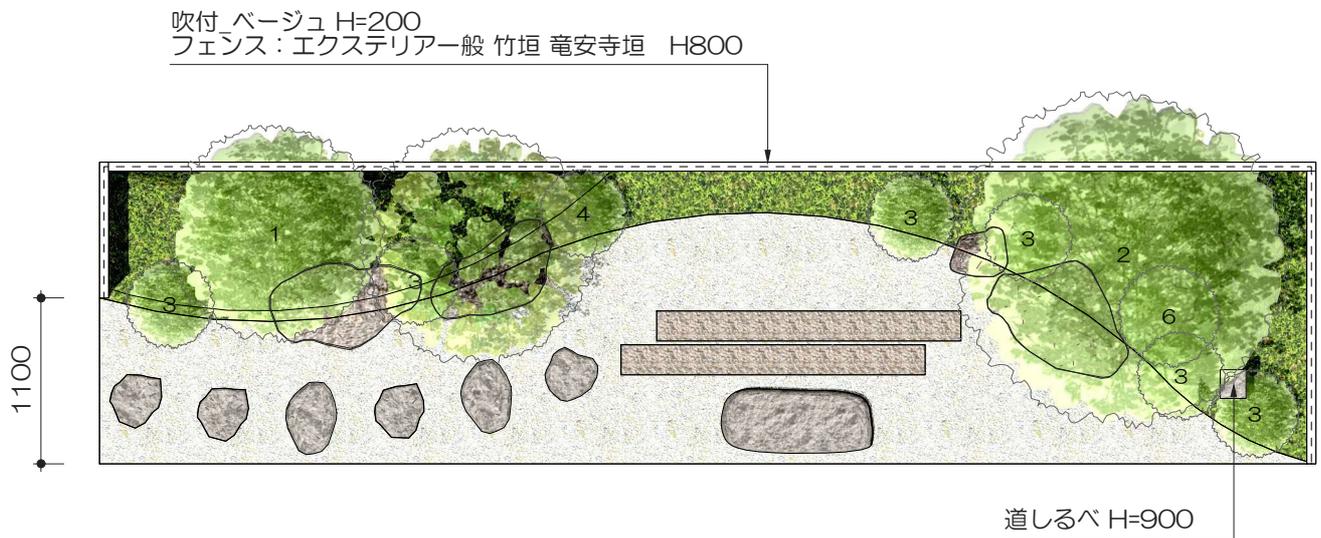
WEBマニュアルでキーワードの[レベル]をクリックし、参照マニュアルが表示されます。

※O7CADではWEBマニュアル、CambridgeではDVDマニュアルに収録されています。

※実際の操作画面は予告なく変更になる場合がございます。

造園プラン 下図のプランを作図してみましょう。

※縮尺：1/50の図面です。



スギ



モミジ



サツキ



ウメ



マンサク



CAD起動

CADを起動し、用紙のサイズを設定します。



1 CADの起動・用紙サイズ設定

CADを起動します。

1-1 CADのアイコンをダブルクリックします。



用紙の設定をします。

1-2 ファイルメニューから「用紙の大きさ」を選択します。



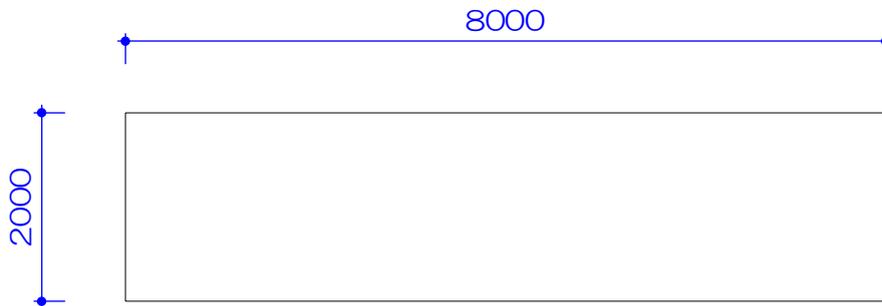
1-3 用紙サイズ A3、縮尺 1：50を選択し、OKをクリックします。



用紙がA3、1：50に設定されました。

庭スペース作成

敷地地型を使って造園スペースを作成します。

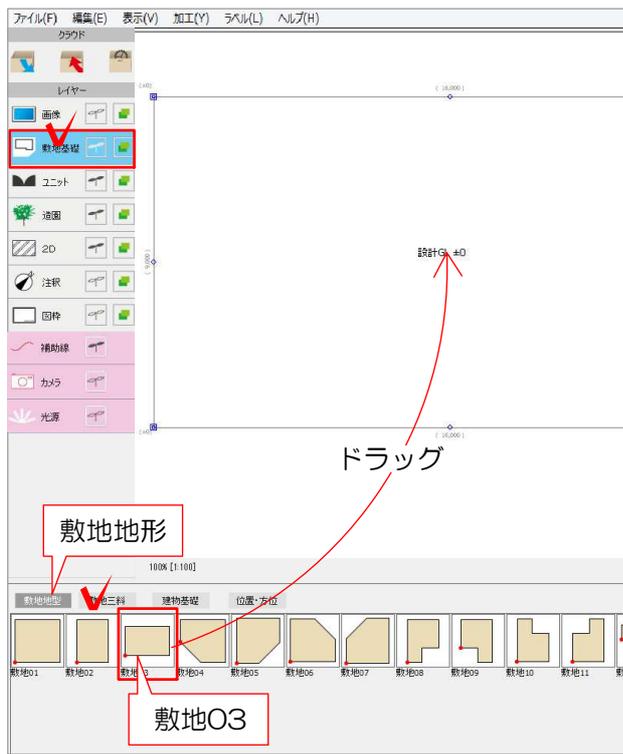


レイヤは「敷地基礎」

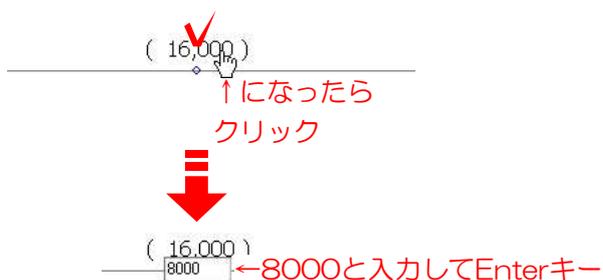
1 敷地地形の選択

配置したい敷地を選択します。

1-1 レイヤを「敷地」にし、スタンプパレットの「敷地地形」から「敷地03」を選び画面上へドラッグします。



1-2 各辺に表示された数値のいずれかをクリックして、寸法を入力し、Enterキーをおします。



この時、寸法を入力しEnterキーで確定したら流れに逆らわず左回りで寸法を入力します。



レイヤは「敷地基礎」

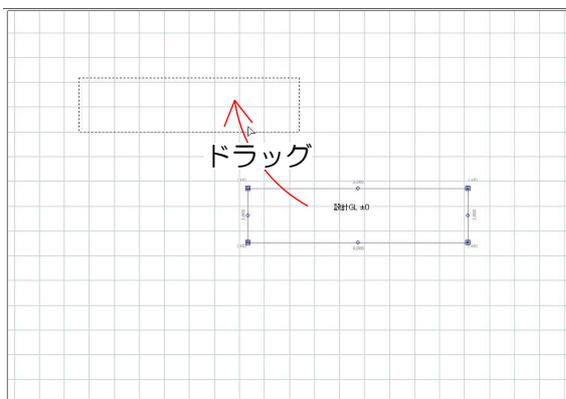
2 敷地のレイアウト

用紙全体を見てレイアウトを確認します。



2-1 表示メニューの「画面倍率」→「用紙全体」を選択します。

2-2 全体のバランスを見て、敷地を画面の左上辺りにドラッグして移動します。

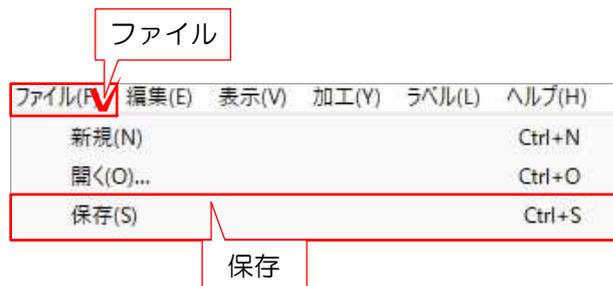


 敷地の線の内側にカーソルを置き、 になったらドラッグしましょう。

保存

作成したデータを保存します。

1 保存

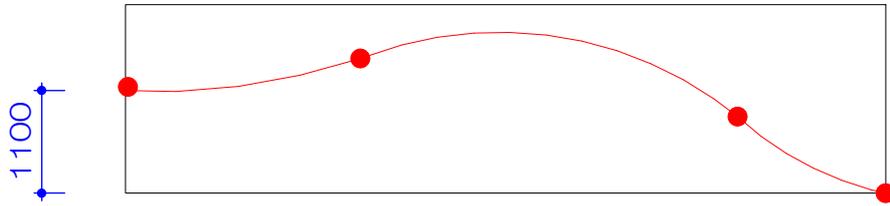


1-1 ファイルメニューの「保存」をクリックし、保存先と保存名を入力して「OK」をクリックします。



補助線入力

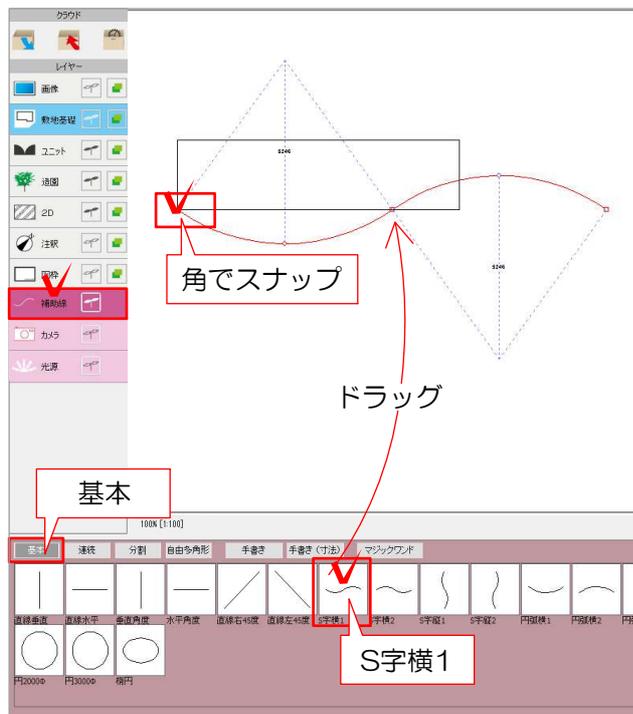
築山と砂利スペースの境界ラインを補助線で入力します。



1 補助線の配置

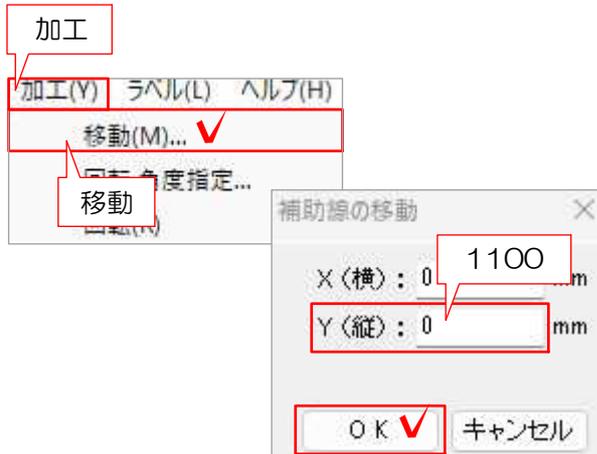
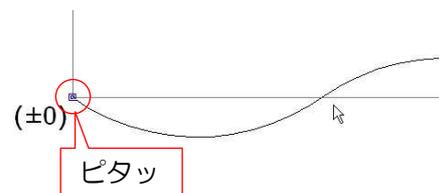
配置したい補助線を選択します。

 敷地全体が大きく見えるように拡大しておくと、作業がしやすくなります。



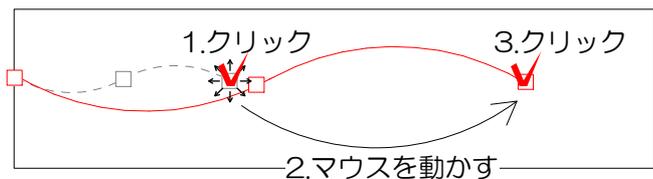
1-1 レイヤを「補助線」にし、スタンプパレットの「基本」から「S字補助線」を画面上へドラッグします。補助線の左端と敷地の左下角を合わせて配置します。

 補助線の左端点と敷地の左下角を合わせるように近づけ、ピタッとくっいたらマウスを離します。



1-2 補助線を選択した状態（端点に口がついている状態）で加工メニューの「移動」を選択し、Y（縦）に「1100」と入力し「OK」をクリックします。

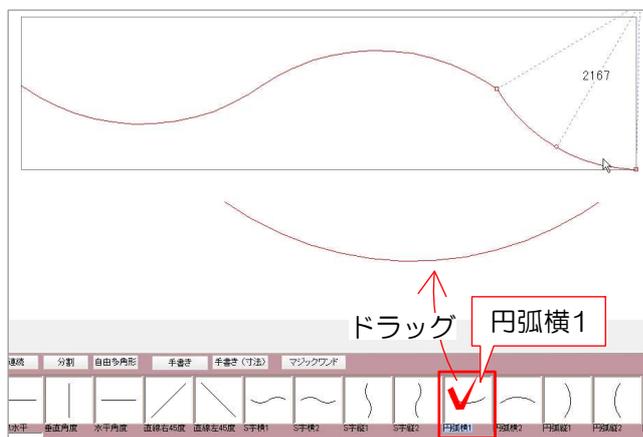
補助線が上に1100移動します。



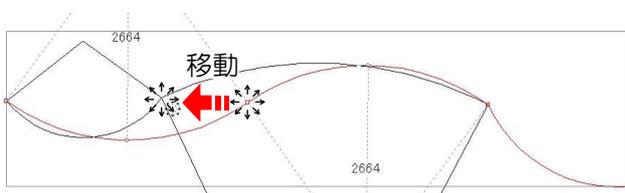
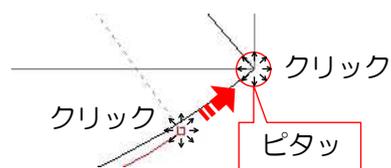
1-3 配置した補助線の右端にカーソルを合わせ（左図1）、 になったらクリックします。マウスを動かし（左図2）、庭スペース右1/4中央のあたりでクリック（左図3）をして補助線の長さを調整します。

補助線を追加します。

1-4 スタンプパレットの「基本」から「円弧横1」を画面上の適当な位置にドラッグします。補助線の端点をそれぞれ、S字補助線の右端と庭スペース右下角に合わせます。

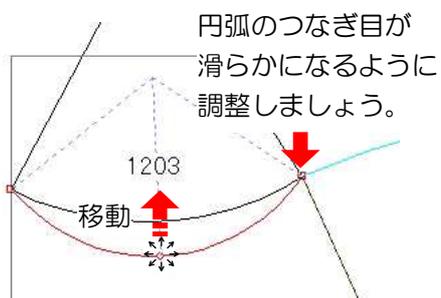


カーソルの形が  になったら端点を移動させる事ができます。

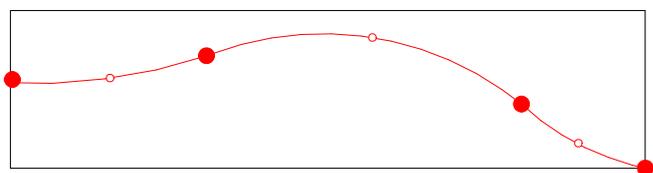


形を調整します。

1-5 配置したS字補助線をクリックして選択し、中央の□を左へ移動してバランスを整えます。



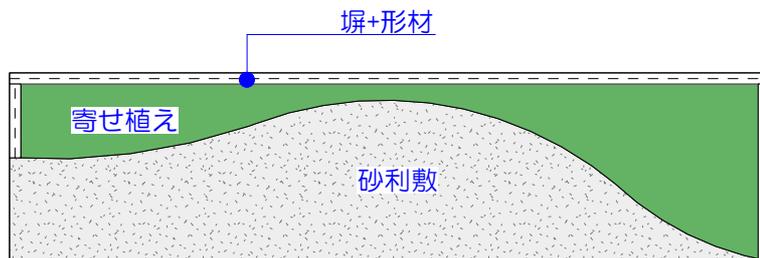
1-6 各円弧の中央○をカーソルが  になったらドラッグして、丸みを調整します。



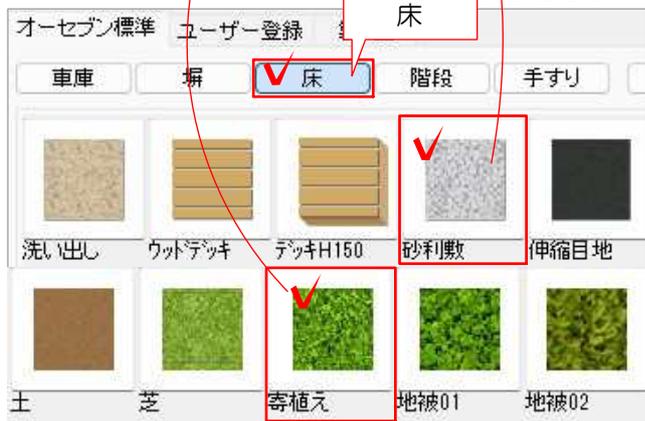
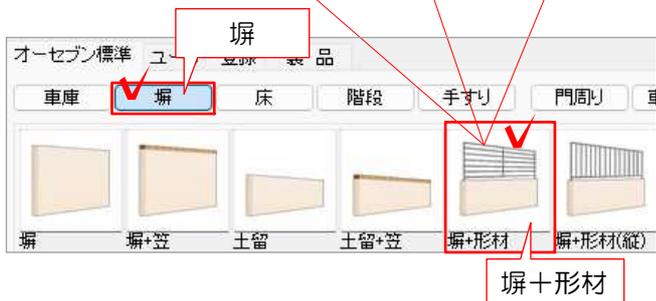
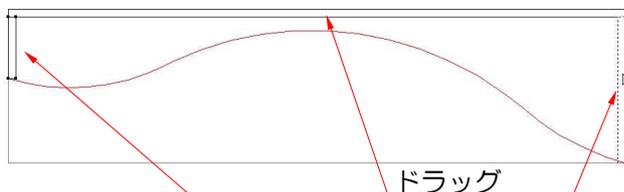
左図のように調整しましょう。

ユニット入力

塀、床、製品の各ユニットを入力します。



レイヤは「ユニット」



1 塀の選択と配置

配置したい塀を選択します。

1-1 レイヤを「ユニット」にし、スタンブパレットの「オーセブン標準」「塀」の中から「塀+形材」を選択し画面上へドラッグします。

1-2 庭スペースの内側三箇所配置します。

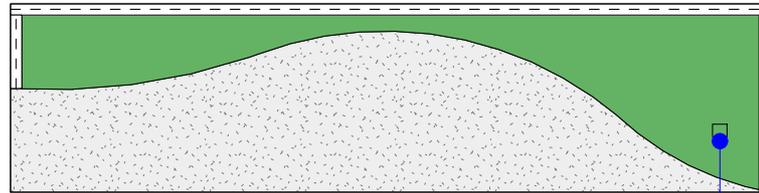
2 床の選択と配置

配置したい床を選択します。

2-1 スタンブパレットの「オーセブン標準」から「床」に切り替え、砂利敷きと寄せ植えをドラッグして配置します。

製品入力

製品の各ユニットを入力します。



エクステリア一般
ガーデンライト ガーデンライト和風01



製品を配置するには2つの方法があります。
どちらかの方法で製品を配置してみましょう。

方法1 「製品」から配置

画面下「製品」から配置します。
CADに登録されてる全メーカーから製品を選べます。またメーカー品ではない一般のものも選ぶことができます。

方法2 建材情報ストリームから配置

画面右「建材情報ストリーム」から配置します。
e-toko建材カタログにアクセスしてカタログ写真や詳細を確認しながら製品を選択できます。
その他メーカーおすすめセットプランを直接CADに配置することもできます。



※建材情報ストリームに表示されている商品の価格は、e-tokoカタログに掲載されているメーカーカタログの定価価格です。こちらはリアルタイムでの価格、内容更新をしておりませんので、あくまで目安としてご利用ください。見積ご提出前に必ずご自身で金額確認をお願いいたします。



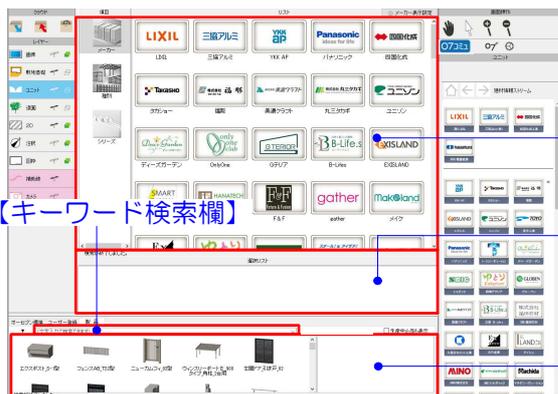
方法1 「製品」から配置



配置する製品を選択します。

1-1 レイヤを「ユニット」にし、画面下の「製品」をクリックします。

左図のような画面に切り替わります。



【条件選択画面】
メーカー：製品取り扱いメーカー
種別：種類（門扉・カーポートなど）
シリーズ：製品名称

【選択条件】
現在指定している条件が表示されます。
「クリア」を押すと条件が削除されます。

【製品一覧】
条件を元に検索された製品が並びます。
画面右には選択した製品のサイズが表示されます。

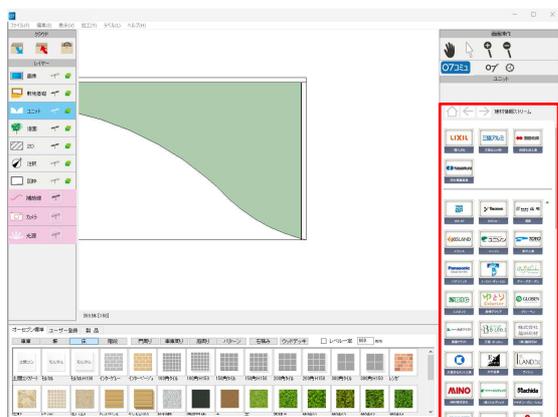
条件選択画面で
メーカー：エクステリア一般
種別：照明
名称：ガーデンライト和風01
をクリックします。

1-2 「スタンプユニット」に出てきた製品「ガーデンライト和風01」を画面上の位置にドラッグします。

方法2 建材情報ストリームから配置

配置する製品を選択します。

1-1 レイヤを「ユニット」にし、画面右側の建材情報ストリームから商品を選択します。



カタログ情報を見ながら好きな製品を配置してみましょう。

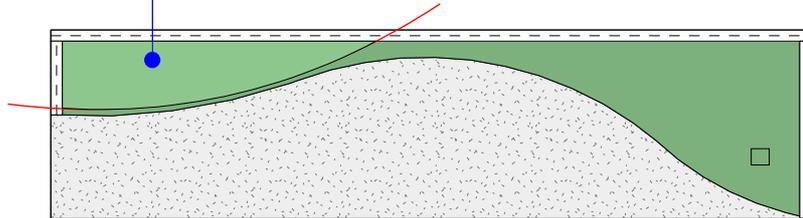


Web7.17 [製品]→[建材情報ストリーム]

築山作成-1

新たに補助線と床ユニットを入力し『切土・盛土変換〔1点〕』で築山の設定を行います。

1. H 150



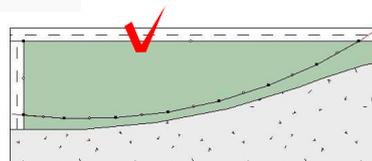
レイヤは「補助線」



レイヤは「ユニット」



切土・盛土+変換〔1点〕



1 築山作成

築山にする床を作成します。

1-1 レイヤを「補助線」にし、画面下の補助線の「円弧横1」を選択し上の図の位置に配置します。

1-2 レイヤを「ユニット」の状態で、画面下のスタンプパレット「床」をクリックします。「寄植え」を選択し、上の図の位置に配置します。

1-3 スタンプした床を選択状態で、「加工」のメニューから「切土・盛土+変換〔1点〕」を選択します。

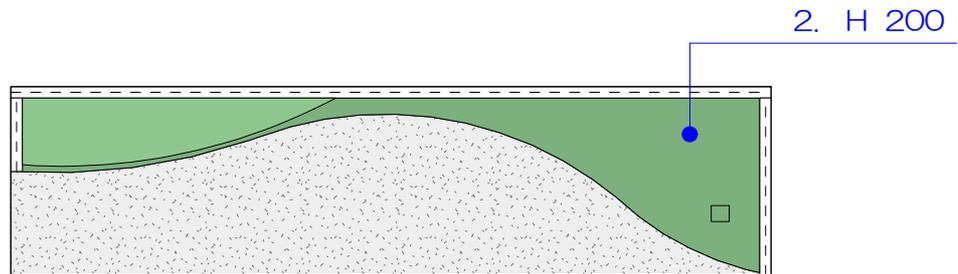
1-4 築山の頂点の位置をクリックします。

1-5 設定画面が出てきたら、築山の高さH150を入力しOKボタンをクリックします。

1の築山が出来上がります。

築山作成-2

アンジュレーター機能で築山の設定を行います。



2 築山作成

築山にする床を選択します。

2-1 2の床を選択状態で、「加工」メニューの中から「アンジュレーター」を選択します。

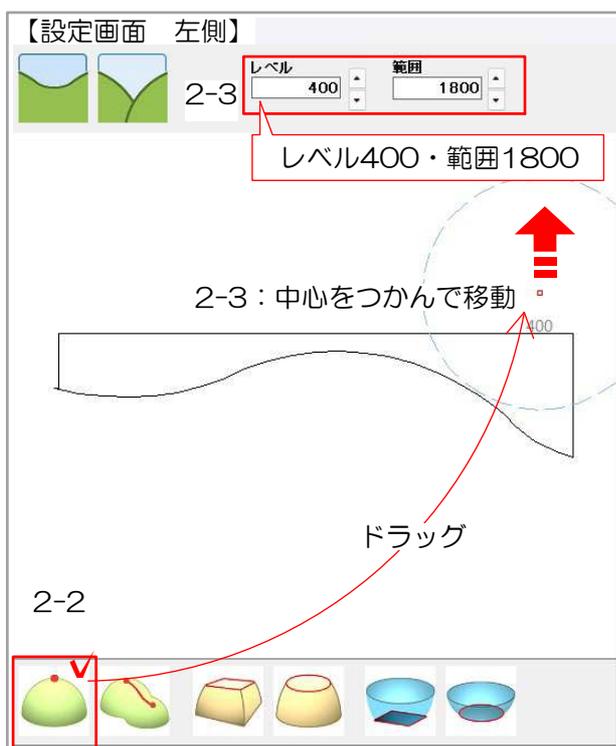


2-2 設定画面が出たら築山の形状を左図の様にドラッグして配置します。

2-3 配置した形状を選択状態で、数値をレベル400・範囲1800と入力し、中心点の位置をつかんで移動します。

※円の中心がレベル400になるので、敷地内の築山の高さはレベル200程度となります。

2-4 OKボタンをクリックします。



2の築山が出来上がります。

切土と盛土変換とアンジュレーターの機能の違い。

1 切土・盛土変換

1-1



簡単な築山、切土、盛土などを作成する時に使用します。

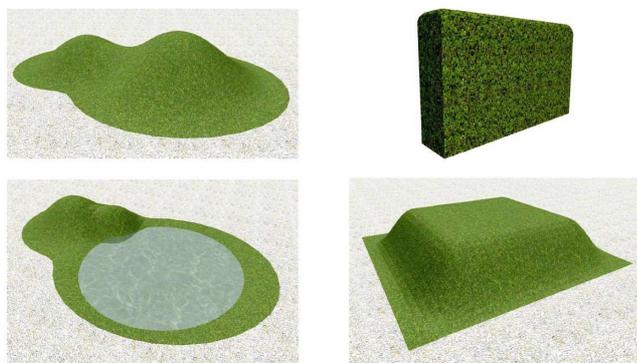
1-1 「加工メニュー」の切土・盛土変換[1点]を使用して作成できます。

1-2



1-2 「加工メニュー」の切土・盛土変換[2点]を使用して作成できます。

2-1



2 アンジュレーター

床に起伏を設定し、築山や池、盛土、刈り込んだ生垣などを作成する機能です。簡単な形状から複雑な形状まで作成できます。

2-1 「加工メニュー」のアンジュレーターを使用して左図のような形状を作成できます。



[\[築山\]→\[築山の作成方法 アンジュレーター\]](#)



【アンジュレーターと切土・盛土変換の違いは・・・】

アンジュレーターの場合・・・

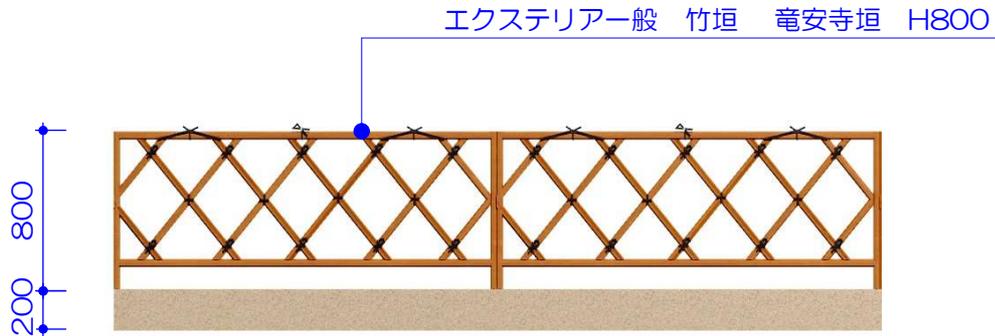
山の頂点が2点以上の場合
複雑な山の形状の場合

切土・盛り土の場合・・・

山の頂点が2点までの場合
山の形状が1点・2点盛り上がってる場合に使用する。

塀の設定

塀の高さを設定し竹垣を入力します。

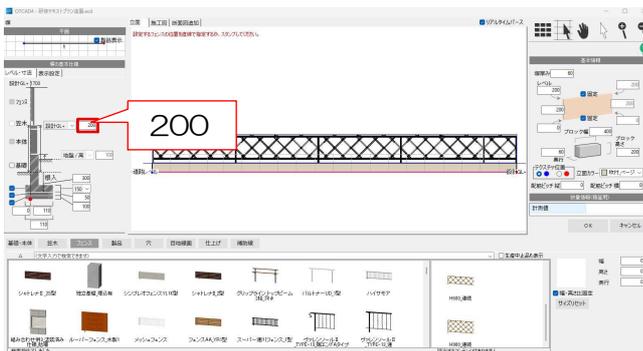


1 塀の設定

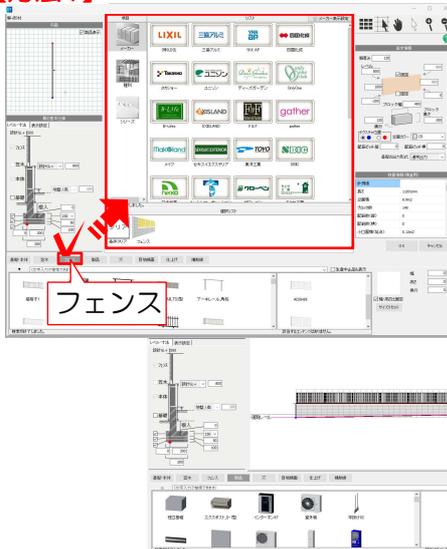
設定する塀を選択します。

1-1 塀を選択し、ダブルクリックで設定画面を起動します。

1-2 設定画面が出たら左下の本体天端ライン「設計GL」の欄に200と入力します。



【方法1】



竹垣を塀の上に配置します。

竹垣を設定するには2つの方法があります。どちらかの方法で竹垣を設定してみましょう。

【方法1】 「フェンス」から配置
画面下「フェンス」から配置します。
P281～

【方法2】



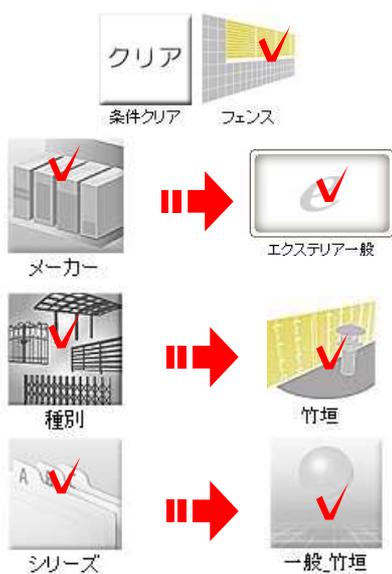
【方法2】 建材情報ストリームから配置
画面右上の  ボタンから「建材情報ストリーム」を表示させフェンスを配置します。P282～

【方法1】 「フェンス」から配置

1-3 設定画面下の項目を「フェンス」にします。



1-4 条件にフェンスと表示されるのでクリックして解除します。



1-5

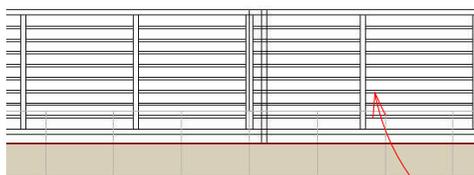
メーカー：エクステリア一般

種別：竹垣

シリーズ：一般_竹垣

をクリックで選択します。

1-6 下に「竜安寺垣」が表示されます。クリックするとサイズが右に表示されるので「H600_連続」をフェンスの上にドラッグして配置します。



ドラッグして配置



メッセージが表示されます。

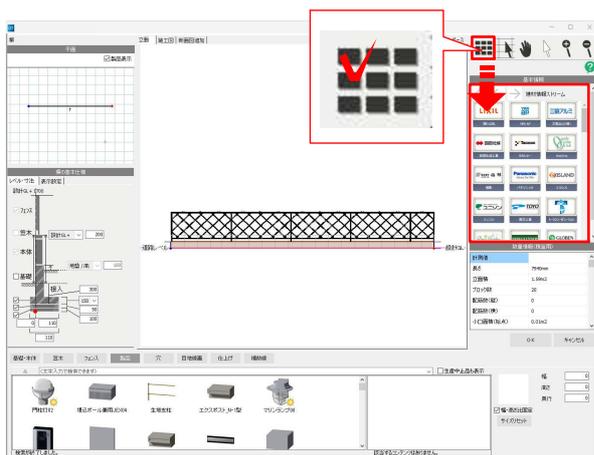
1-7 フェンス入れ替えのメッセージが表示されますので、「はい」をクリックします。



1-8 画面右下の「OK」をクリックして設定画面を閉じます。



次の塀を設定しましょう。P283へ

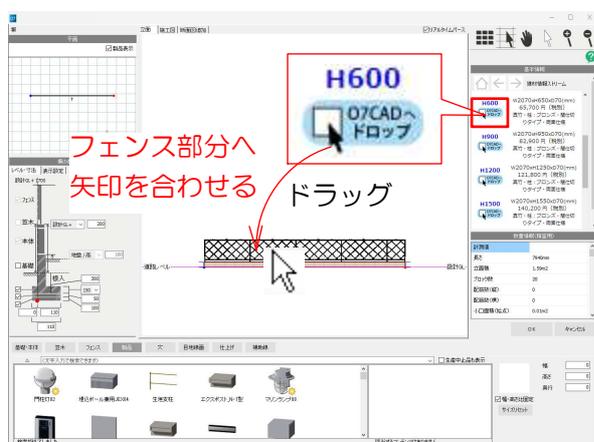


【方法2】 建材情報ストリームから配置

1-6 画面右上の  ボタンをクリックします。

建材情報ストリームが表示されます。

カタログ情報を見ながら好きな製品を配置してみましょう。



 [製品]→[建材情報ストリーム]

1-7 画面右下の「OK」をクリックして設定画面を閉じます。

次の塀を設定しましょう。

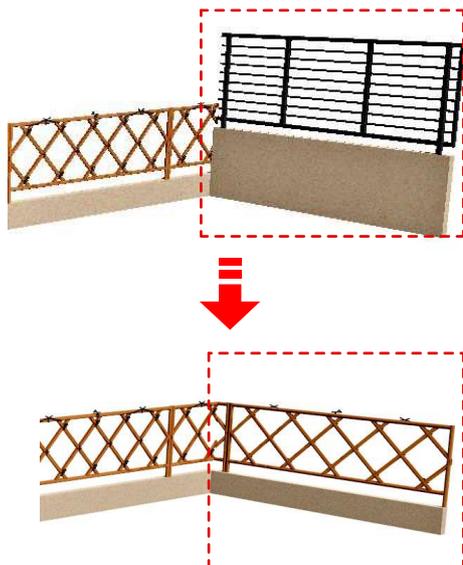


【フェンスの高さ変更】



フェンスの高さは右上の詳細で変更ができます。

2 塀の設定をコピーする



1で作成した塀+竹垣の設定をコピーして、別の塀にペーストする事ができます



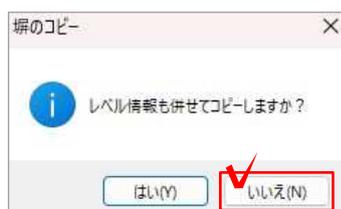
画面の拡大、縮小をして塀が大きく見えるようにしておきましょう。



2-1 作成した塀の上で右クリック→属性コピーを選択します。



2-2 右側の塀の上で右クリック属性ペーストを選択します。



「レベル情報も併せてコピーしますか」とメッセージが表示されます。

2-3 「いいえ」をクリックします。



2-4 左側の塀でも同様に属性ペーストをします。



【属性コピーできる項目】

属性コピーできる設定は、塀の高さ、天端の形状、シンボル、穴シンボル、笠木、仕上げ、目地線画等です。

塀に基礎が設定されている場合は下端レベルはコピーされません。また、塀の長さが異なると天端の形状やシンボルの配置位置が変わりますので注意しましょう。



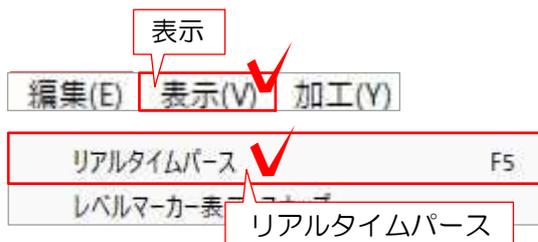
[塀デザイナー]→[塀ユニットの設定のコピー&ペースト(属性コピー)]

3Dを確認する

配置したユニットがどんな状態になっているか確認してみましょう。



リアルタイムパースで確認します。
この画面では作成中の図面の3Dがリアルタイムで確認・編集できます。



1 リアルタイムパース表示

1-1 「表示」メニューから「リアルタイムパース」をクリックします。



リアルタイムパースが表示されます。



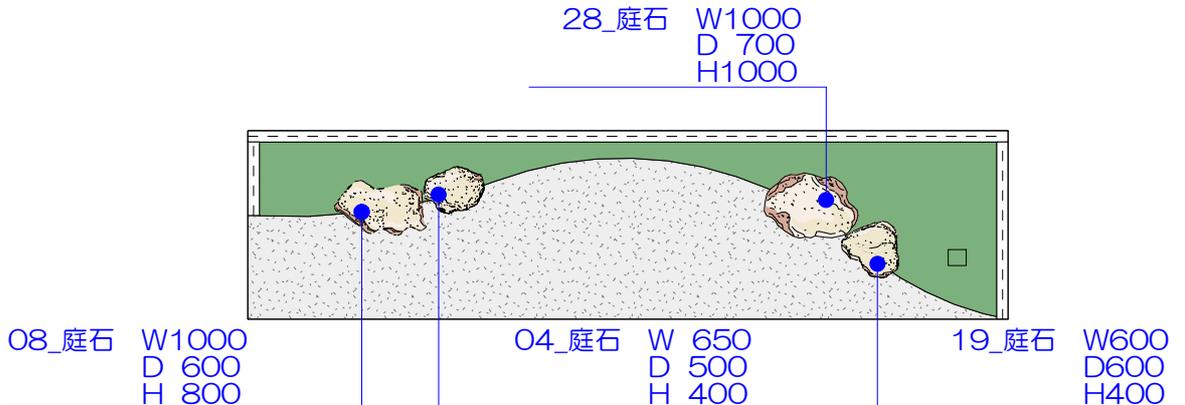
視点を移動する P81



[リアルタイムパース]→[リアルタイムパース 基本操作]

添景物配置

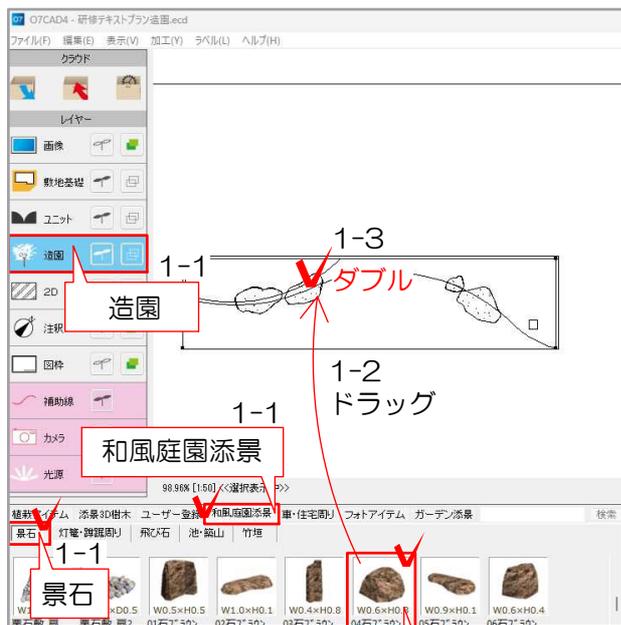
造園レイヤで景石などの添景物を配置します。



造園

レイヤは「造園」

1 景石の配置



1-3



04石ブラウン

1-1 「造園」のレイヤから、「添景アイテム」を選択し、「景石」をクリックします。

1-2 景石が表示されたら左図のようにドラッグして配置します。

1-3 配置した景石をダブルクリックして幅、奥行、高さを入力します。

幅 : 650
奥行 : 500
高さ : 400

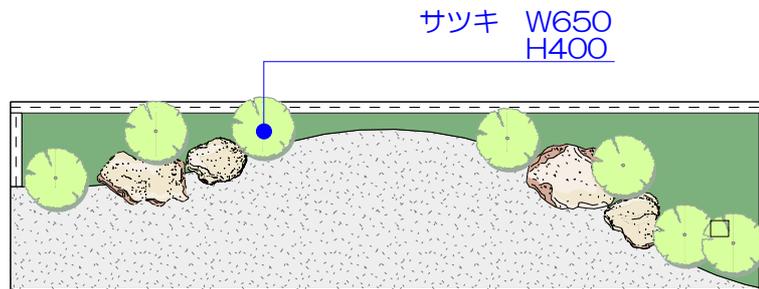
※縦横比固定・3D連動のチェックをはずしてください。

画面右下の「OK」をクリックして設定画面を終了します。

※全ての景石を同じ様に設定します。

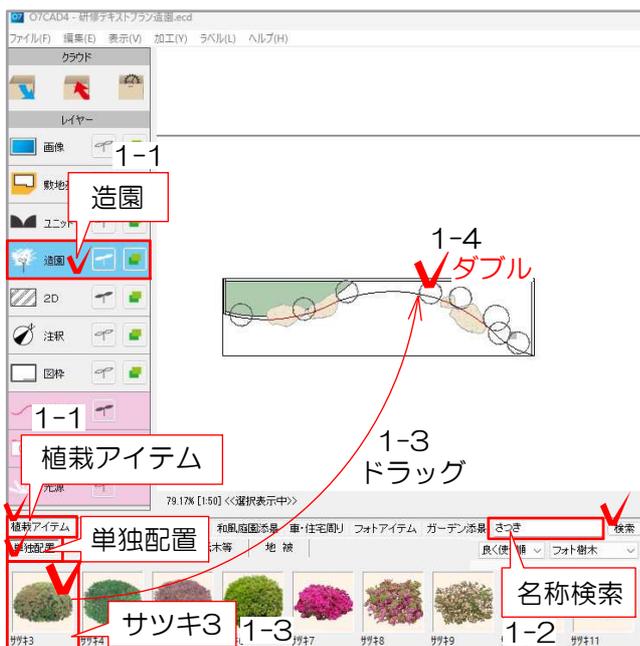
植栽の配置

造園レイヤで低木の配置を行います。



レイヤは「造園」

1 低木の配置



1-1 「造園」のレイヤから、「植栽アイテム」を選択し、「単独配置」をクリックします。

1-2 名称検索に「サツキ」と入力し検索します。

1-3 表示された一覧から「サツキ3」をドラッグして図の様に配置します。

1-4 配置した植栽をダブルクリックして幅、高さを入力します。

幅 : 650

高さ : 400

※3D連動のチェックをはずしてください。

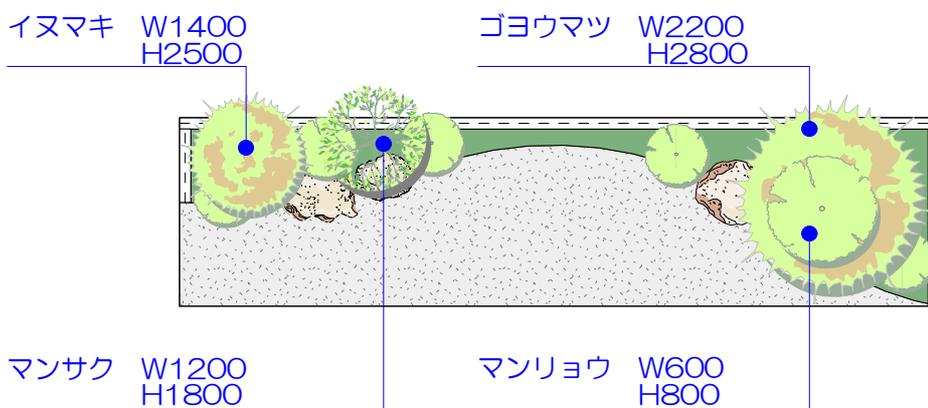
画面右下の「OK」をクリックして設定画面を終了します。

※ 設定変更したサツキを「編集メニュー」→「複製」を選択し図の様に配置します。

1-4

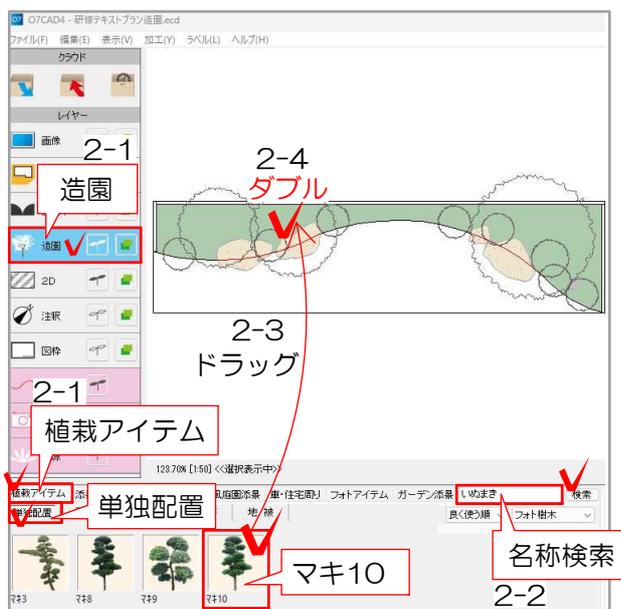


造園レイヤで高木の配置を行います。



レイヤは「造園」

2 高木の配置



2-1 「造園」のレイヤから、「植栽アイテム」を選択し、「単独配置」をクリックします。

2-2 名称検索に「イヌマキ」と入力し検索します。

2-3 表示された「イヌマキ(マキ)」の中から、「マキ10」をドラッグして図の様に配置します。

2-4 配置した植栽をダブルクリックして幅、高さを入力します。

2-4



幅 : 1400

高さ : 2500

※3D連動のチェックをはずしてください。

画面右下の「OK」をクリックして設定画面を終了します。

※全ての高木を同じ様に設定します。

 【リアルタイムパースで配置】



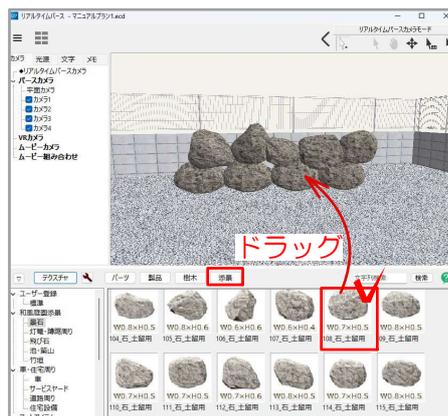
1 リアルタイムパースの左下△ボタンをクリックします。

樹木などコンテンツを選ぶ画面が表示されます。

2 パーツ・製品・樹木・添景からコンテンツを選択し、ドラッグで配置します。

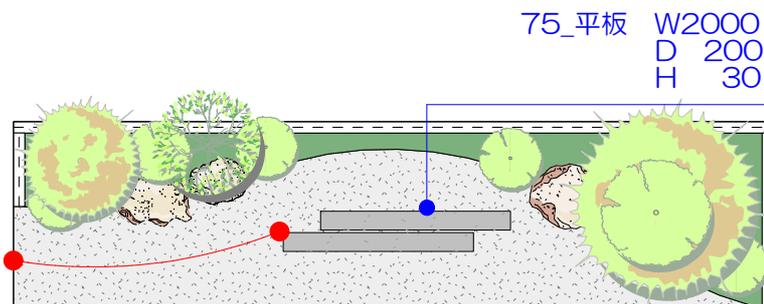
ドラッグした場所に合わせて、レベルが合うようになっています。

石積なども簡単に作成できます。

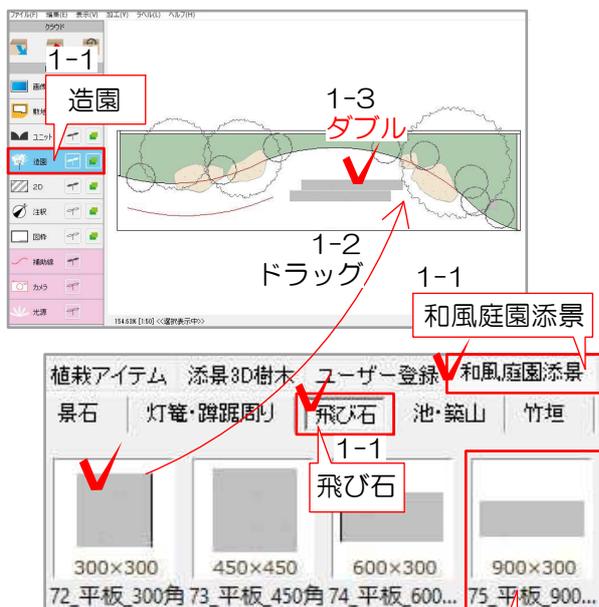


延べ石と補助線入力

平板を延べ石に見立てて配置し、飛び石を並べるラインを補助線で入力します。

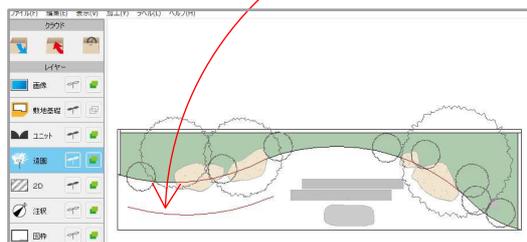
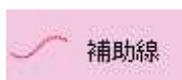


レイヤは「造園」



1-2 75_平板_900_300

レイヤは「補助線」



1 延べ石(平板)の配置

1-1 「造園」のレイヤから「添景アイテム」をクリックし、「飛び石」を選択します。

1-2 「飛び石」の中から75_平板_900_300を選択し図の位置にドラッグで配置します。

1-3 配置した平板をダブルクリックして幅、高さを入力します。

幅 : 2000
奥行き : 200
高さ : 30

画面右下の「OK」をクリックして設定画面を終了します。

※もう一つの平板も同様に配置します。

2 補助線の配置

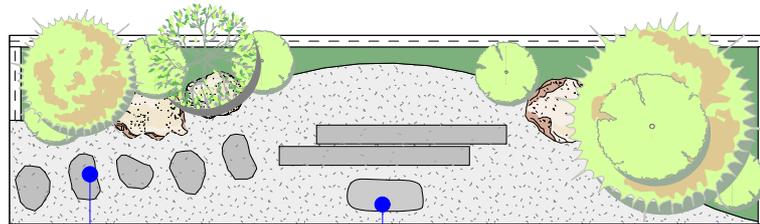
2-1 「補助線」のレイヤから、「円弧横1」を選択し、ドラッグで配置します。

※左図のように調整します。

飛び石と沓脱石入力

『Ctrl』キーを押しながらドラックし飛び石を補助線に添って配置します。

33_飛び石(中)
34_飛び石(中)
35_飛び石(中)

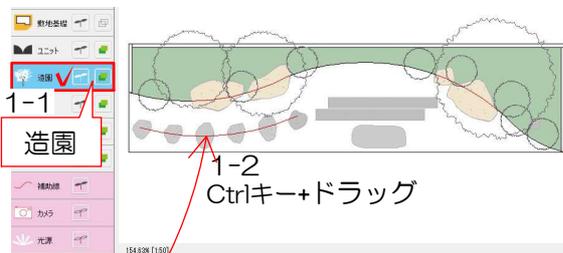


89_沓脱石_1000_430

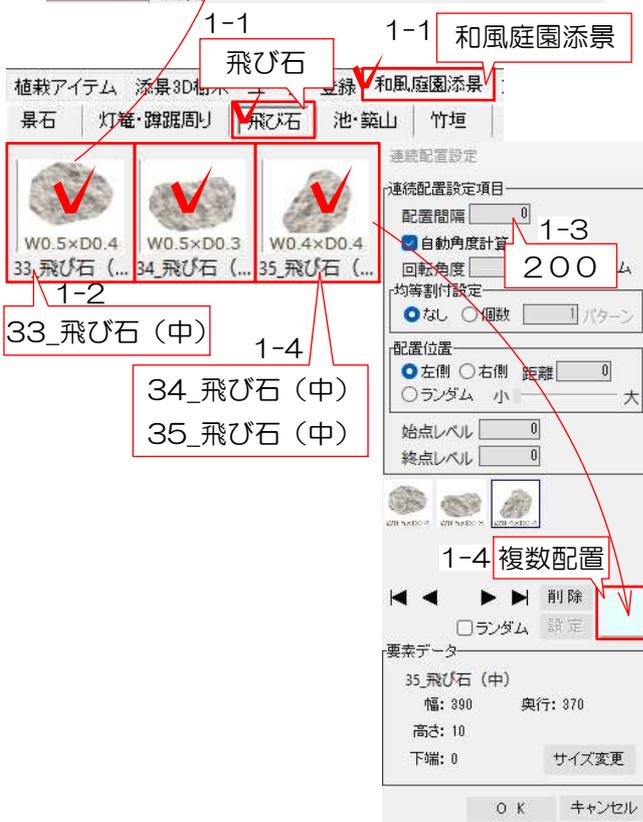


1 飛び石の配置

1-1 「造園」のレイヤから、「添景アイテム」の「飛び石」をクリックします。



1-2 「33_飛び石(中)」を選択し、補助線へ「Ctrlキー」を押しながらドラッグで配置します



1-3 「連続配置設定」が立ち上がったら、「配置間隔」に200と入力します。

1-4 複数のパターンで配置する為、34_飛び石(中)と35_飛び石(中)を右下の水色の枠に入れます。

画面右下の「OK」をクリックして屏の設定画面を終了します。

07
Web2.17
[飛び石]→[補助線に沿って飛び石や植栽を並べる方法]

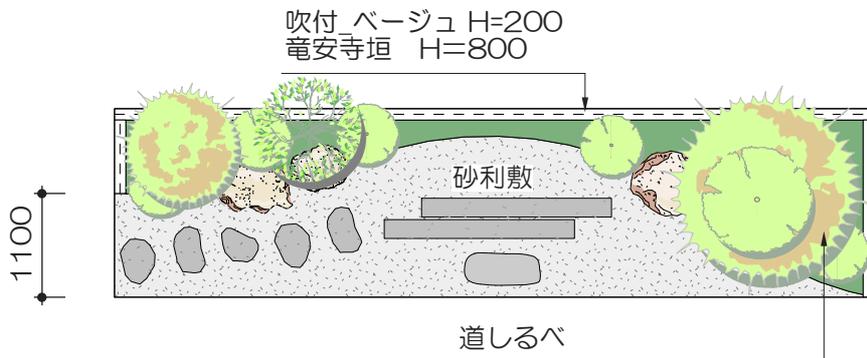
2 沓脱石の配置

2-1 同じく「飛び石」の中から89_沓脱石を選択し図の位置にドラッグで配置します。



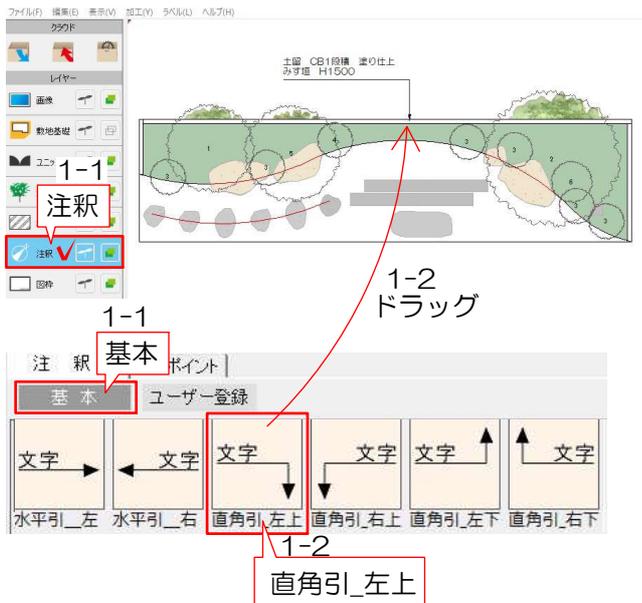
注釈入力

植栽以外の注釈を入力します。



レイヤは「注釈」

1 注釈の入力

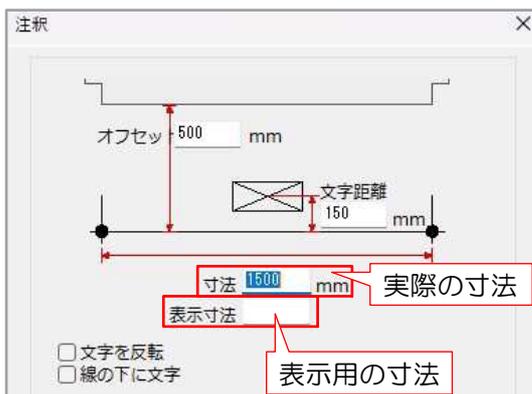


1-1 レイヤを「注釈」にし、画面左下の「基本」をクリックします。

1-2 一覧から「直角引_左上」を選択し、図の位置にドラッグで配置します。

1-3 図を参考に引き出し線と寸法線を配置し文字を打ち込みます。

【寸法線の数値が合わないときは・・・】



寸法線が図形に合わなかった場合は長さや表示数値を調整します。

寸法線の数値をダブルクリックします。

【寸法】で実際の寸法線の長さ、【表示寸法】で表示用の長さが設定できます。

植栽注釈更新

植栽注釈を表で作成し、植栽詳細情報より植栽の画像が配置できます。

記号	樹木名	H	C	W	数量	備考
1	イヌマキ	2.5	0	1.4	1	
2	クロマツ	2.8	0	2.2	1	
3	サツキ	0.4	—	0.6	6	
4	サツキ	0.4	0	0.6	1	
5	マンサク	1.8	0	1.6	1	
6	マンリョウ	1.2	0	0.7	1	



レイヤは「注釈」

1 植栽表

1-1



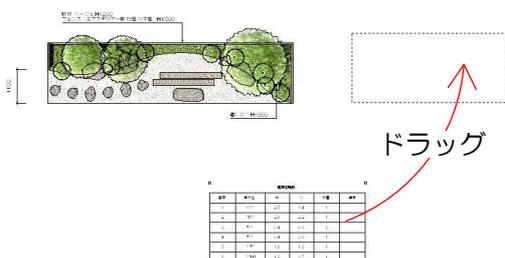
1-1 レイヤを「注釈」にし、画面右上の「植栽注釈」をクリックします。

1-2



1-2 植栽注釈選択で「表」をクリックします。

1-3



1-3 「植栽注釈表」をドラッグして移動し、位置を調整します。



敷地全体が大きく見えるように拡大しておくと、作業がしやすくなります。



イヌマキ



マンカ



ゴヨウマツ



イセシクリヨウ

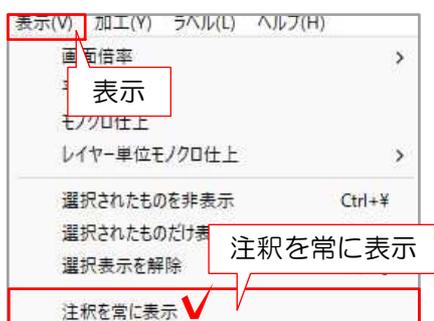


造園

レイヤは「造園」

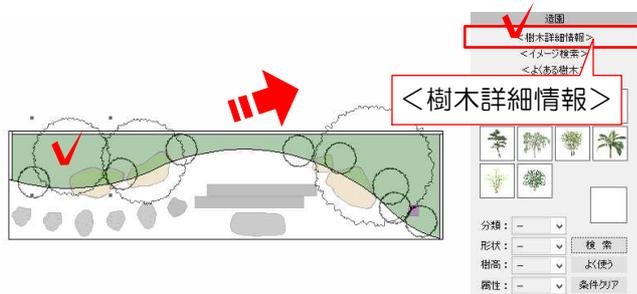
2 画像を配置

2-1 「造園」レイヤに戻り、「表示メニュー」で「注釈を常に表示」をクリックします。



注釈レイヤ以外にいても、注釈が表示されるようになります。

2-2 図面上に配置した樹木をクリックし、画面右上の<樹木詳細情報>をクリックします。



画面右に選択している植栽の詳細情報が表示されます。

2-3 写真をドラッグして平面上に配置します。



※他の植栽も同様にして画像を配置しましょう。

図枠入力

図枠を入力し物件名を記入します。



1 図枠入力



1-1 レイヤを「図枠」にし、画面左下の「基本」をクリックします。

 敷地全体が大きく見えるように拡大しておくと、作業がしやすくなります。

1-2 一覧から「図枠L」を選択し、Shiftキーを押しながらドラッグで配置します。

※Shiftキーを押したままドラッグすると、用紙の中心に配置されます。



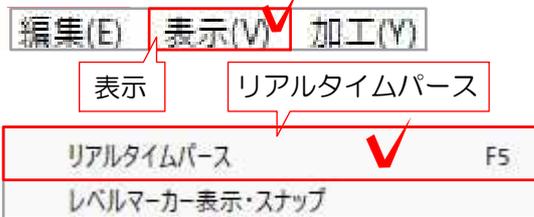
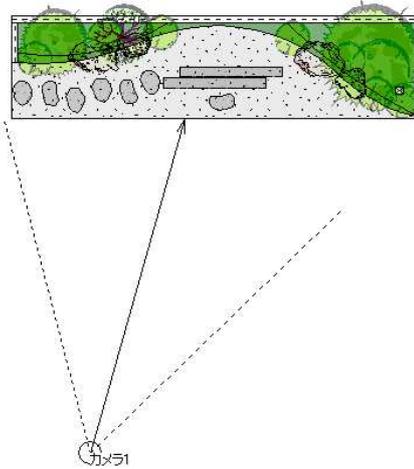
 図枠はグループになっています。解除してから注釈を入力しましょう。

- 1 加工メニューからグループ解除を選択
- 2 用紙の外でクリックし、選択解除します。
- 3 注釈を「ダブルクリック」で文字のサイズ、文字変更します。



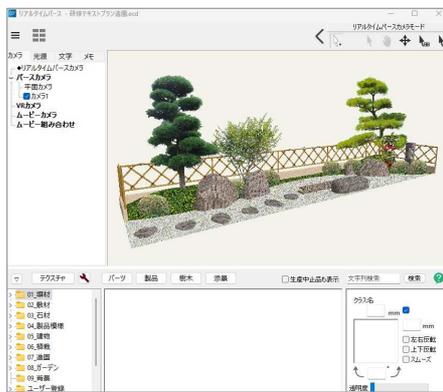
リアルタイムパース表示～カメラ配置

リアルタイムパースを表示しパースカメラを配置し作業に移りましょう。



1 リアルタイムパース表示

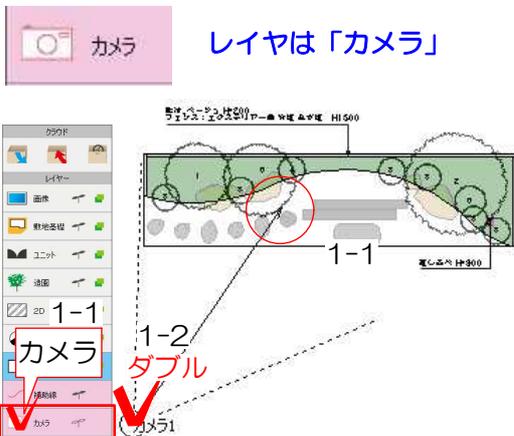
1-1 「表示」メニューから「リアルタイムパース」をクリックします。



リアルタイムパースが表示されます。



[リアルタイムパース]→[リアルタイムパース 基本操作]



1 カメラ設定

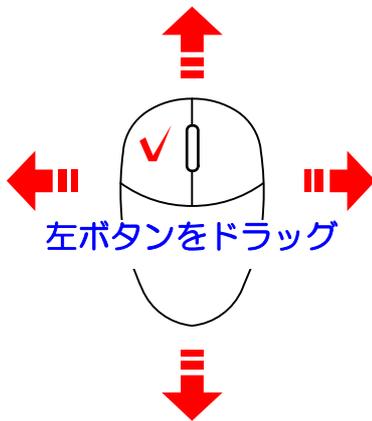
敷地全体が大きく見えるように拡大しておくと、作業がしやすくなります。

1-1 レイヤを「カメラ」にし、画面上の「カメラ1」の矢印の向きを変えてパースのアングルを決めます。

1-2 「カメラ1」の○部分をダブルクリックすると、リアルタイムパースに表示されます。

視点設定

パンカーソルを使って下図を参考に視点の変更を行ってみましょう。



上下左右に回転

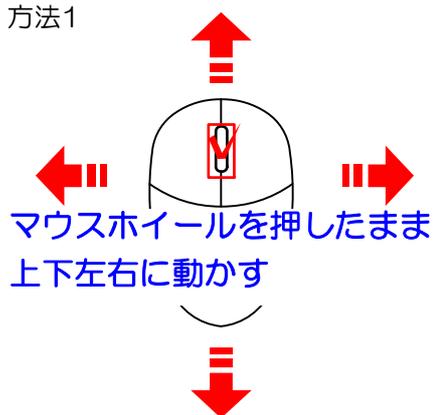
ぐるっと回転する感じです。横から見たいとき、上から見たいときに使用します。

マウス左ボタンを上へドラッグで「見上げる」、下へドラッグで「見下ろす」、左右へドラッグで回転します。

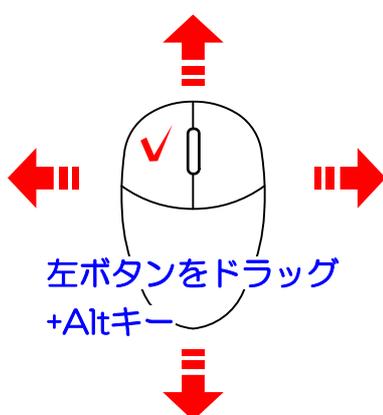
 Shiftキーを押したまま動かすと、水平・垂直方向に固定することができます。

 Ctrlキーを押したまま動かすと、小さく動かすことができます。

方法1



方法2



上下左右に移動

上下左右に動かします。見えている部分をずらす感じです。見たい部分が端によっているときに使用します。

方法1 マウスホイールを押したまま上下左右にドラッグすると、その方向へ動きます。

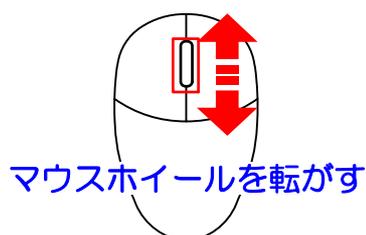
方法2 マウス左ボタンを上下左右にドラッグすると、その方向へ動きます。



Shiftキーを押したまま動かすと、水平・垂直方向に固定することができます。



Ctrlキーを押したまま動かすと、小さく動かすことができます。



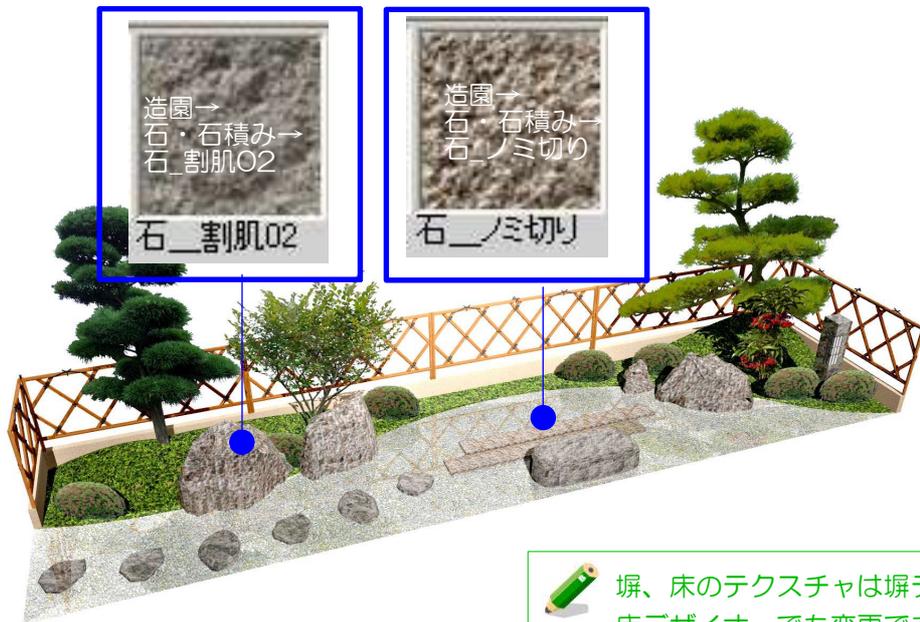
前後に移動

前後に動かします。近づいたり遠のいたりします。部分的に拡大して見たいとき、全体を見たいときに使用します。

マウスホイールを上へ転がすと「前」、下へ転がすと「後ろ」へ移動します。

テクスチャ設定

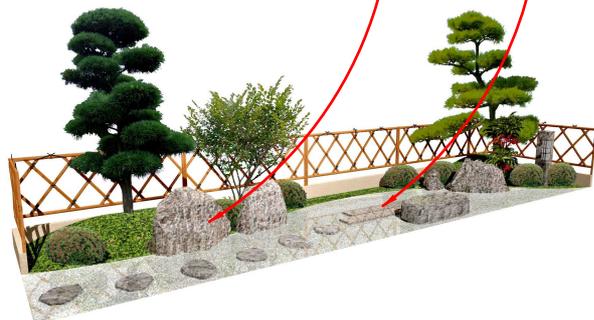
下図を参考にテクスチャを貼り付けてみましょう。



塀、床のテクスチャは塀デザイナー、
床デザイナーでも変更できます。



ドラッグ



1 テクスチャを選択

貼りたいテクスチャを選択します。

1-1 画面下の「テクスチャ」から使用したいテクスチャを選択します。

07_造園→
石・石積み→
石_割肌02

2 テクスチャを貼る

テクスチャを貼ります。

2-1 選択したテクスチャを貼り換えたい図形にドラッグします。



青い線が表示されている図形のテクスチャが貼り替えられます。

効果設定

簡易設定では簡単に効果設定できます。手動設定では効果設定を手動で設定できます。



効果設定（簡易）： 昼・夕方・夜・平面図用の光源を簡単に設定できます。

効果設定をするカメラを選択します。
各カメラごとに効果設定が出来ます。

カメラ 光 文字 メモ
リアルタイムパースカメラ
パースカメラ
平面カメラ
VRカメラ
ムービーカメラ
ムービー組み合わせ

パースカメラモード
カメラ詳細設定
パース_昼_標準1
カメラ設定 効果設定
出力: eE-Painter
プレビュー 自動
レンダリング



効果設定を変えることで簡単に昼・夕方・夜・平面図用の設定をすることができます。

効果設定（簡易）：

登録されている初期設定を選択することができます。

背景設定：背景の表示設定です。

カラー：グラデーションの2色を設定します。

テクスチャ：背景にテクスチャを使用します。

効果設定（手動）の概要を説明します。

効果設定

をクリックすると設定画面が表示されます。



[効果設定]→[効果設定について]

効果設定：

図形に対する明るさや効果の設定です。



太陽の位置：光源の位置設定

自動：カメラ位置に対して自動で太陽を作成します。
手動：太陽の位置、高さ、色などの設定ができます。

位置設定： ボタンまたはスライダーで調整

高度設定： ボタンまたはスライダーで調整

色設定： □をクリックして色を選択
スライダーで色の強さを調整

影：影の濃さ

チェックが付いている仕様の図形に影が付きま。

レンダリング効果設定を：

ファイルから開く：保存してある設定を開く
ファイルへ保存：現在の設定を保存

アンチエイリアス：
画像のギザギザを目立たなくします。

反射：
ガラスや鏡などが反射する回数を指定します。

スムージング：図形の角を滑らかにします。

SPファインダー：

影をやわらかい印象で作成できます。

共通：



スライダー：右へ行く程効果が強くなります。ドラッグで動かします。

ON/OFF：ボタンをクリックすると効果のON/OFFを切替えます。

レイアウト

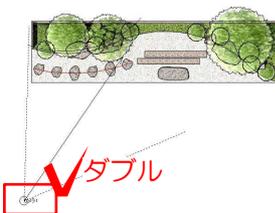
パースの静止画像を図面上に配置しレイアウトします。



方法1



方法2



1 カメラを選択

1-1 パースカメラを選択します

方法1：リアルタイムパース画面左上のカメラ1を選択します。

方法2：平面のカメラ1をダブルクリックします。

選択したカメラのパースが表示されます。





2 図面上へ配置

CAD平面図上にパースを配置します。

2-1 画面右下の「レンダリング」をクリックします。



レンダリング設定画面が表示されます。

2-2 「eE-Painter」を選択し、「次へ」をクリックします。

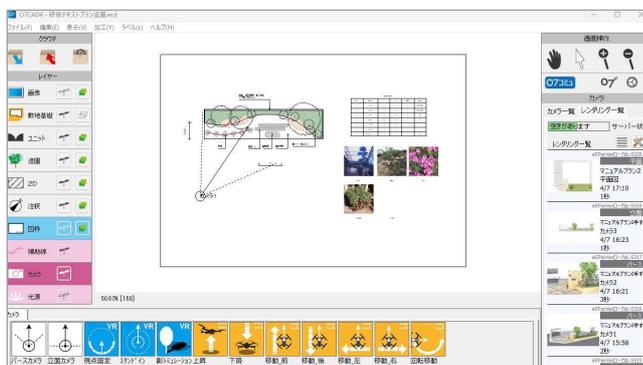
2-3 「中」を選択し、「レンダリング開始」をクリックします。



 画像サイズは印刷するパースの大きさによって選択します。

通常は「中」を。A3にパース1つの場合は「大」を目安にします。

大きいほど精密なパースができますが、データが重くなります。用紙に合わせた最適なサイズを選択しましょう。



レンダリングが開始されました。

平面作業画面に戻りましょう。



2-5 レイヤを「画像」にします。



2-6 画面右側のレンダリング一覧から画像をドラッグで図面上に配置します。



レンダリング中の場合は、他の作業をしながらレンダリングが終わるのを待ちましょう。

2-7 パースの位置を調整します。



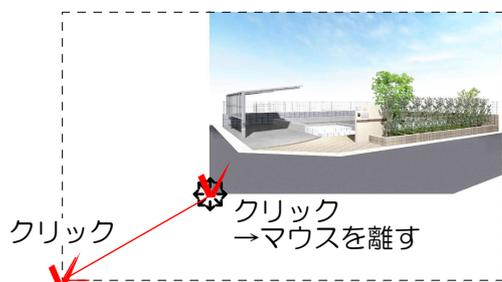
パースは「画像」レイヤに配置されます。適切な位置に移動しましょう。



保存しましょう。



【画像のサイズを変更するには】

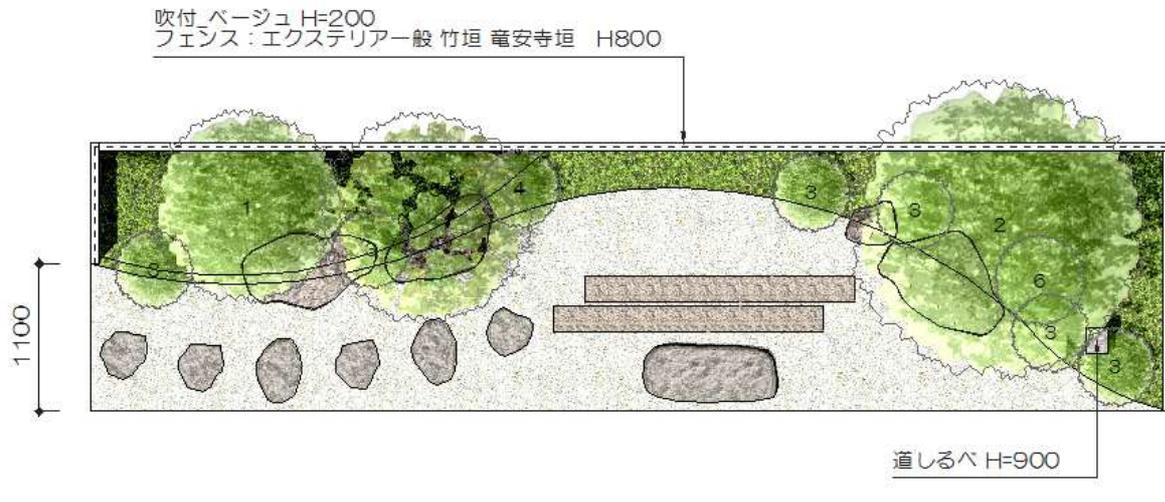


パース画像をクリックで選択し、角に表示された口にカーソルを合わせて  になった所でクリックします。

マウスを動かし、変えたい大きさになったところでクリックします。

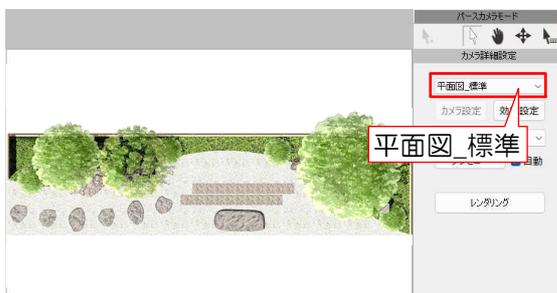
平面図仕上げ

平面図をパースと同じようにリアルタイムパースで作成し、立体感のある表現にします。



1 リアルタイムパースで平面図を表示

1-1 リアルタイムパース画面左上のパースカメラから「平面カメラ」を選択します。



1-2 リアルタイムパース画面右上のカメラ詳細設定を「平面図_標準」になっていることを確認します。



2 レンダリング

CAD平面図上に平面画像を配置します。

2-1 画面右側の「レンダリング」をクリックします。

レンダリング設定画面が表示されます。

2-2 「eE-Painter」を選択し、「次へ」をクリックします。



2-3 「縮尺に合わせる」を選択し、「レンダリング開始」をクリックします。

 平面カメラの場合は「縮尺に合わせる」を選択し、平面図と画像の縮尺を合わせます。



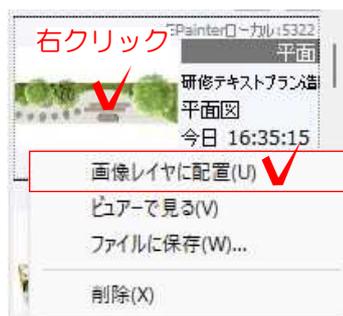
レンダリングが開始されました。

平面作業画面に戻りましょう。



2-4 レイヤを「画像」にします。

2-5 画面右側「レンダリング一覧」の平面画像を右クリック「画像レイヤに配置」を選択します。



 ユニットで描いた平面図の位置に合わせて、画像レイヤに配置されます。

 同時に敷地基礎・ユニット・造園レイヤーがモノクロ指定に変更されます。

印刷

レイアウトした図面を印刷してみましょう。



完成した図面を印刷します。



1 印刷

印刷前にプレビューで確認しましょう。

1-1 「ファイル」メニューの「印刷プレビュー」をクリックします。



印刷プレビュー画面が表示されます。

1-2 印刷したい図形が表示されているか確認し、「印刷」をクリックしましょう。



もし、修正点があった場合は「閉じる」をクリックして修正しましょう。

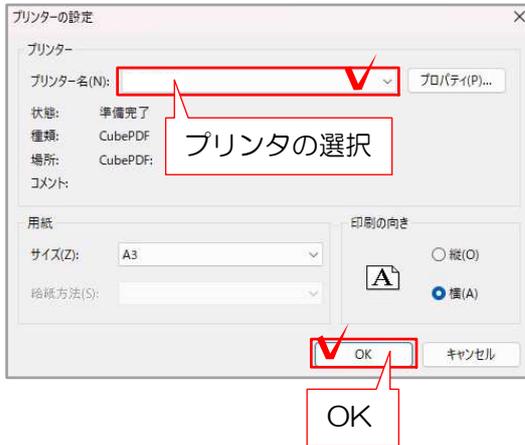


「印刷対象の選択」画面が表示されます。

1-3 「図面 線・テキスト情報保持」をクリックします。

「図面 透過画像対応」はパースのオプション設定の背景を透過に設定した場合に利用します。

「緑の計画書」は図面に配置している樹木の詳細情報を閲覧・印刷できます。



1-4 印刷で使用するプリンタを選択し、用紙のサイズや向きなど設定を確認して「OK」をクリックします。

※プリンタの詳細設定については、ご利用のプリンタのマニュアルをご確認ください。

新機能 & おすすめ機能

テキスト内にある下図の表記は、参照マニュアルの案内です。必要に合わせて参照してください。



テキスト

詳細説明 P30～



テキストのP30～に載っています。



Webマニュアル

[レベル]→[レベル一括変換]



WEBマニュアルでキーワードの[レベル]をクリックし、参照マニュアルが表示されます。

※O7CADではWEBマニュアル、CambridgeではDVDマニュアルに収録されています。

※実際の操作画面は予告なく変更になる場合がございます。

O7CAD

2025

新機能 機能強化 機能ダイジェスト

01 O7Cargo (O7CAD 2025 標準搭載)

見積りや工程表の作成、データ管理ができるクラウドサーバー「O7Cargo」がO7CAD 2025に標準装備で新登場！

どこからでもアクセス可能で、見積り書や契約書類をはじめ、図面、パース、VRまで、すべてのデータの一元管理を実現します。

リアルタイムでプレゼン資料やプロジェクト進行状況を共有し、業務の効率がぐんと高まります。



02 建物ビルダー (O7CAD 2025 オプションソフト) 6月リリース予定

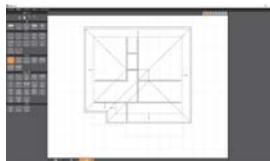
建物デザイナーを超えた精度を実現。内観作成機能の強化、複雑な屋根形状にも対応した「建物ビルダー」が新登場！

7万ダウンロードを達成した3D間取り作成アプリ「SpeedPlanner」をベースに、画面の見やすさや使いやすさを刷新。

壁の厚み調整、バルコニーの壁接続、精密な矩計算にも柔軟に対応し、より細かな表現も可能になりました。



内観：吹き抜け

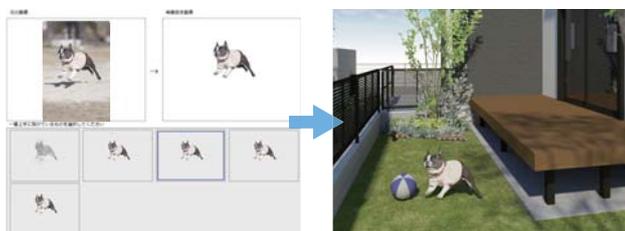


作成画面：屋根伏図



03 フォト添景 (AI 切り抜き機能)

写真やイラストから、AIが自動で対象を抜き出し、O7CADに登録できます。暮らしや生活シーンを再現し、具体的なパース提案が可能になりました。



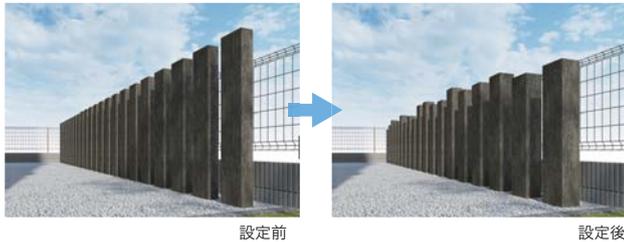
04 造園ユーザー登録

自作したオリジナルの植栽セットを登録できます。そのまま図面に配置できるので、植栽の配置やバランス調整の時間を短縮、作図時間の効率化にも役立ちます。



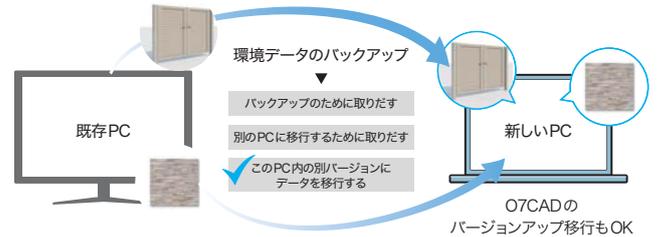
05 造園連続配置

造園コンテンツを個別にサイズ変更しながらの配列ができるようになりました。配置後の調整時間を減らし、より自然で美しい造園デザインをスピーディーに実現します。



06 ユーザーデータ移行機能

ユーザー登録データやカスタマイズした環境設定の移行がより簡単に！O7CADを別のPCにインストールした時のデータ移行がスムーズになり、新しい環境でもすぐに作業を再開できます。



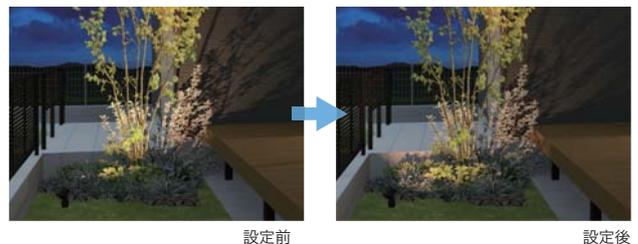
07 光源レイヤ

平面上で光の明るさや影響範囲の調整、複製・削除が可能になります。さらにカメラごとの点灯状態も記憶できるため、昼夜のシーン変更時もスムーズ。よりリアルなライティングで美しいパースを作成できます！



08 発光半径の調整機能

光源ごとに発光半径を自由に設定できます。照明の広がりや影の輪郭をコントロールし、柔らかく自然な光の表現が可能に！屋外の拡散光や室内の間接照明など、繊細な光が作りだします。



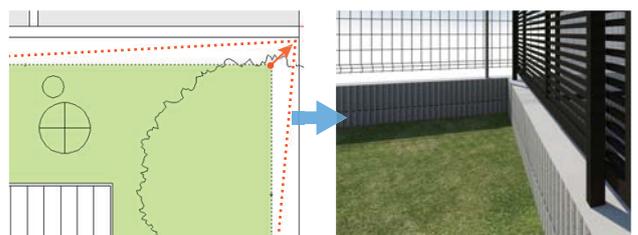
09 手すりツール

手すりツールに新たなバリエーションが追加！壁付け、ユニバーサルデザイン、フロント笠木と、幅広いプランニングに対応します。階段の勾配に自動でフィットするから簡単作成です。



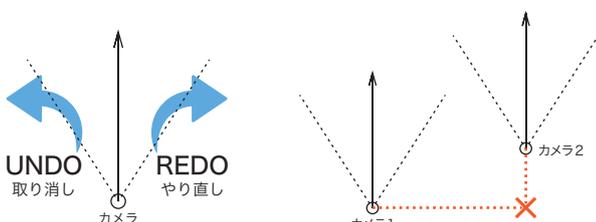
10 床の頂点移動

床の頂点を移動する際にレベルを維持したまま形状の調整ができます。デザインの編集時に高さを変えずにスムーズな調整が行えます。



11 カメラの UNDO / REDO

カメラが補助線にスナップ！複数のカメラを繋げて配置する際もズレなく正確に調整できます。また、カメラのコピー＆ペースト機能が異なるプランにも対応。同じ視点のパース、複数案の比較プランの作成もスムーズに。



12 複数用紙順序変更

複数ページの印刷順を自由に変更できるため、図面のレイアウト調整がより簡単に効率的になりました。プレゼンテーションのストーリーに合わせた順番を設定画面で変更できます。



サーバー情報自動取得

CAD内の設定へO7Cargo・e-Boardのサーバー情報を自動で取得します。

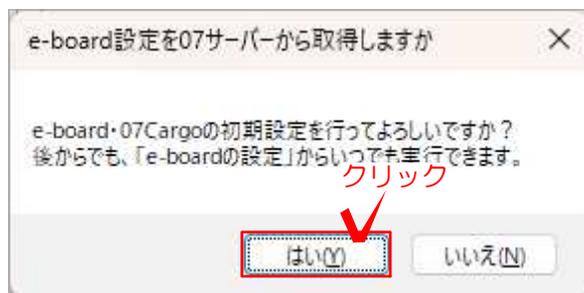


サーバー情報を自動取得するタイミングは複数あります。

それぞれの手順を確認しておきましょう。

また、ご契約内容により取得サーバー情報が変わってきます。

※ご契約内容による取得サーバー情報は巻末の表にまとまっています。



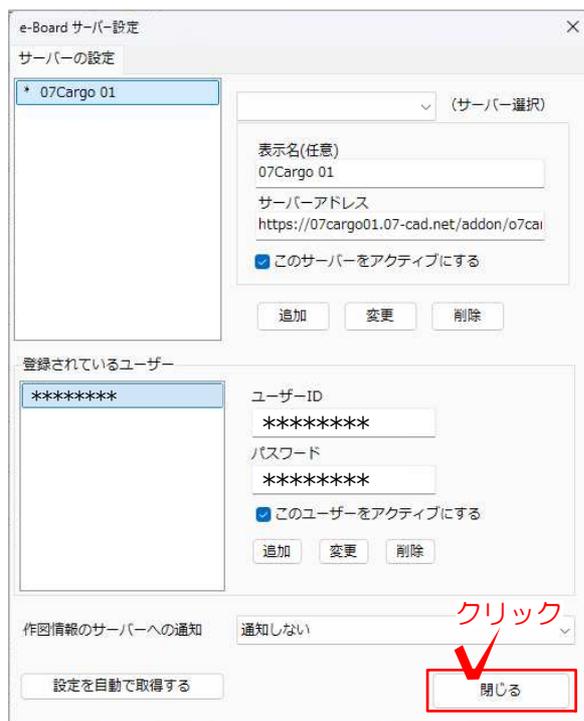
手順1 CADインストール時

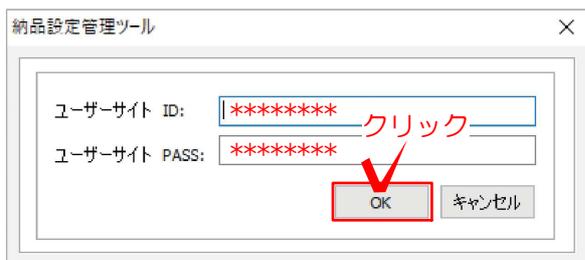
1-1 O7portalよりインストール時

インストール完了後の初回CAD起動時、【e-board設定をO7サーバーから取得しますか】と確認されます。

【はい】で進み【サーバー設定を取り込みました】と表示されましたら、サーバー情報の取得・設定が完了しています。

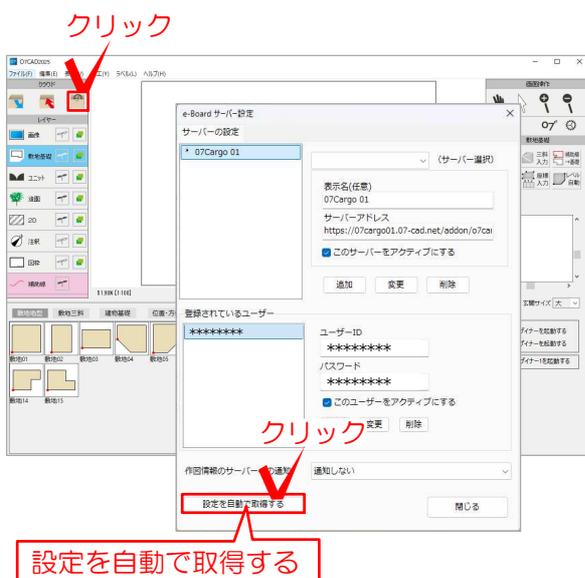
【e-Boardサーバー設定】ウィンドウが表示されますので設定された内容を確認し【閉じる】で閉じます。





1-2 インストーラー（USBメモリ）よりインストール時

インストールを進めていくと【納品設定管理ツール】ウィンドウが出て来ます。ID・PASSを入力して頂くとインストール完了後サーバー情報の取得・設定が完了しています。



手順2 サーバー設定画面

2-1 ご使用いただいているCAD内へ、サーバー設定を自動で行います。

CADメイン画面より【クラウド設定ボタン】を押していただくと【e-Boardサーバー設定】ウィンドウを表示されます。

ウィンドウ内【設定を自動で取得する】ボタンをクリックしますと、サーバー情報の取得・設定が完了します。



【サーバー設定を取り込みました】と表示されましたら、サーバー情報の取得・設定は完了です。

【OK】をクリックし閉じましょう。

 【ご契約内容ごとの取得サーバー情報について】

表の①～③を順番に進んでいただくと自動取得されるサーバー情報と初期アクティブサーバー情報（※1）が確認できます。

（※1）アクティブサーバー情報とは実際に利用されるサーバーのことです。サーバー情報自体は表のとおり取得しており、アクティブサーバーは手動で変更可能です。



アクティブサーバーの手動変更方法。

【e-Boardサーバー設定】画面より利用されたいサーバーを選択し

①【このサーバーをアクティブにする】にチェックを入れます。

②【変更】をクリックします。

③サーバー名の前に【*】が付きましたら変更完了です。

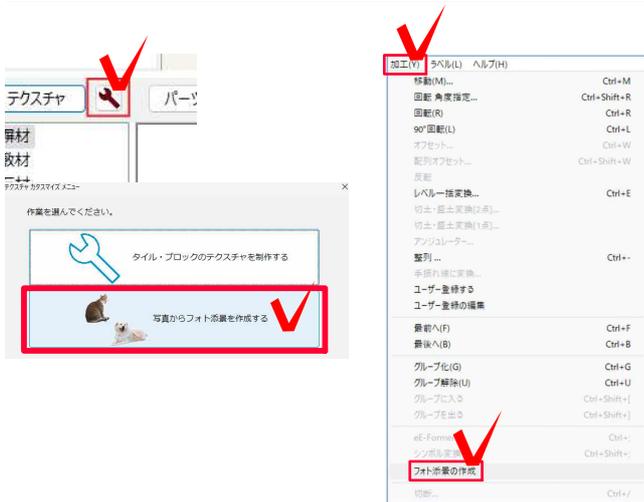
①初ご導入時バージョン	②現在ご利用のバージョン	③有料版e-Boardのご契約	取得サーバー情報 アクティブサーバー
O7CAD2025以降 (2025年5月12日以降のご契約)	O7CAD2025以降	ご契約あり	・O7Cargo ・O7Cargo
		ご契約なし	・O7Cargo
O7CAD4以前 (2025年5月11日以前のご契約)	O7CAD2025以降 (O7CAD4)	ご契約あり	・有料版e-Board ・eBoard one ・O7Cargo
		ご契約なし	・有料版e-Board ・O7Cargo
	O7CAD3.5以前	ご契約あり	・有料版e-Board ・eBoard one
		ご契約なし	・eBoard one ・eBoard one

フォト添景作成機能

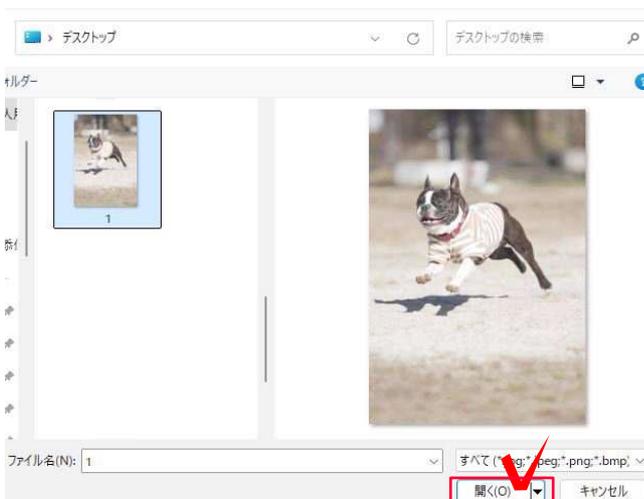
CADへ写真やイラストを取り込み、オリジナルのビルボードデータを作成できます。
※ビルボードとは常にカメラの方を向く3D（2.5D）データのことです。



CADに取り込んだ写真やイラストを、AIが自動で対象を抜き出し、リアルな添景データを簡単に作成してユーザー登録できます。
造園レイヤーへ配置し、常にカメラの方向を向くビルボード添景として活用できます。お施主様のペットやご家族の姿を取り入れたご提案で、より魅力的なプレゼンを実現できます！



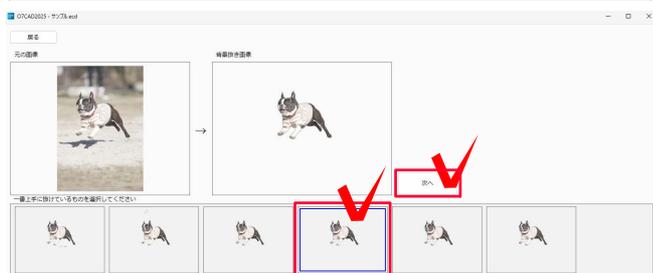
1 リアルタイムパース内のスパナアイコンより「写真からフォト添景を作成する」を選択、又はCADの加工メニューより「フォト添景の作成」を選択します。



2 ファイル選択画面より、取り込みたい画像を選択します。



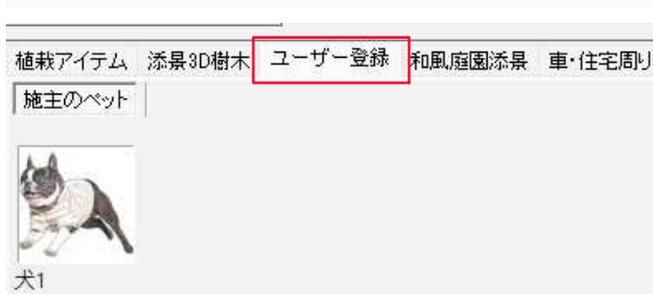
3 画像より自動的に特徴的な対象を抜き出し、被写体特徴や、イラスト特徴など、6種類の結果が表示されます



4 プレビュー画面を確認しながら、一番きれいに切り抜けている対象を選択し、次へをクリックします。



5 対象のおおよその幅、若しくは高さ、表示名を入力します。登録するユーザー登録フォルダを選択し、登録をクリックします。
※幅・高さどちらか一方を入力すれば比率が固定されます。



6 造園レイヤー内のユーザー登録へ登録されます。



【ユーザー登録編集画面の詳細】



登録画面にて、「画像ファイルに保存する」ボタンを選択すると、背景が切り抜かれた透過情報付きのPNGファイルとして、画像をPCへ保存することができます。

 【ユーザー登録編集画面の詳細】

幅が高さのどちらか、おおよその大きさを入力してください

幅 350 mm

高さ 320 mm

スタンプの画像



表示名: 犬1

造園レイヤーのユーザー登録に保存します。
登録する場所を選択してください

標準

登録

登録画面にて、「ボタン編集」ボタンを選択すると、ユーザー登録フォルダや、登録済みのスタンプ等の「造園ユーザー登録」の編集を行うことができます。

フォルダの順番や追加・削除をします。

【フォルダの編集】

フォルダの編集をします。
造園レイヤーの「ユーザー登録」にて表示されるフォルダ名を変更することができます。また、フォルダが2つ以上ある場合、該当のフォルダを選択後、「表示する」のチェックを外すことでフォルダを非表示にできます。

戻る

造園ユーザー登録の編集

フォルダ

標準

フォルダの編集

フォルダ表示名 標準

実際のフォルダ名 標準

スタンプ範囲に表示する 表示する

変更

選択したフォルダに保存されているユーザー登録

ガーデン

スタンプの編集

スタンプ表示名

所属フォルダ

サムネイル

削除

ファイルに保存する

変更

※スタンプをドラッグして表示順を変更できます

【スタンプの編集】

スタンプの編集をします。
上記にて選択したフォルダ内の、登録済スタンプの表示名や並び順を編集できます。該当のスタンプを、並び順を変更させたい場所へドラッグすると、並び順を変更できます。

【ファイルに保存する】

外部に保存します。保存したファイルはO7部品ファイルとして取り込むことができます。

選択したフォルダに保存されているユーザー登録



造園レイヤのユーザー登録

造園レイヤでユーザー登録することができます。



普段よく使うアイテムをまとめてユーザー登録しておくことで、作図時にスムーズに取り出せるようになり、操作の効率化に役立ちます。
この登録機能を活用することで、作業スピードが向上し、より快適にCADをご利用いただけます。



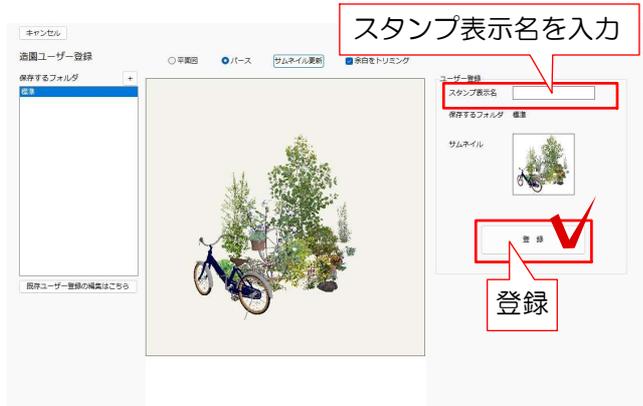
ユーザー登録する方法

方法1 右クリックで登録

1 画面上にある登録したい図形を選択し、右クリックします。

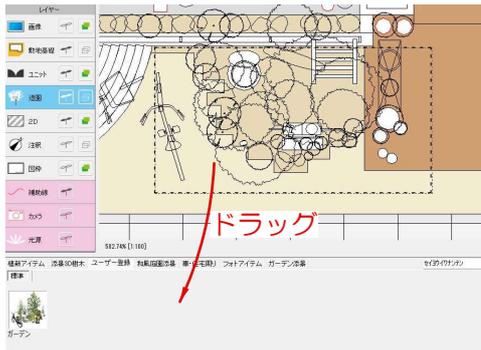
2 「ユーザー登録する」をクリックします。

3 スタンプ表示名を入力し、「登録」をクリックします。



【他のレイヤでのユーザー登録】

画像、ユニット、注釈、図枠レイヤにおいても、「ドラッグ」または「右クリック」でユーザー登録機能が使えます。

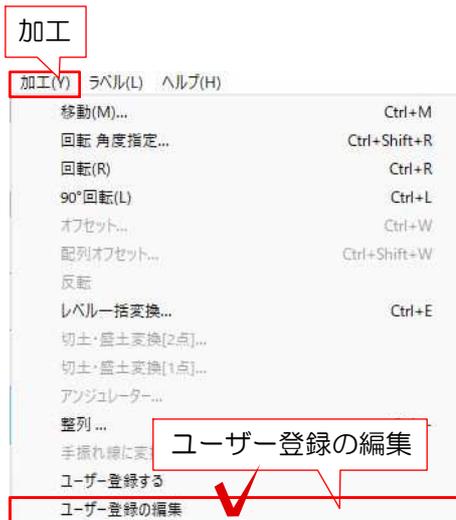


方法2 スタンプ画面へドラッグ

1 画面上にある登録したい図形を選択し、スタンプ画面へドラッグします。

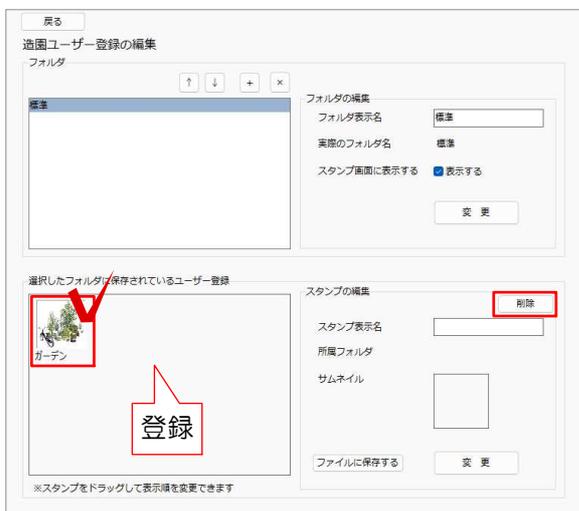


2 スタンプ表示名を入力し、「登録」をクリックします。



ユーザー登録を編集する方法

1 加工メニューの「ユーザー登録の編集」をクリックします。



1 編集したいユーザー登録をクリックし、編集します。

【ユーザー登録画面の詳細】

[平面図][パース]

スタンプに表示する画像をパースか平面を選択します。

[サムネイル更新]

中央の表示されている画面がサムネイルに反映されます。

[余白のトリミング]

中央の画面の余白をトリミングしてサムネイルに反映します。

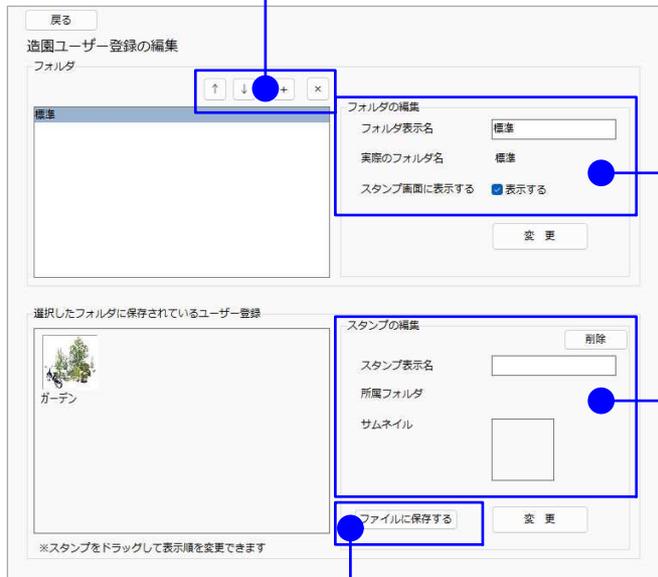
新しくフォルダを作成します。



選択した図形が表示されます。リアルタイムパースと同様の操作でアングルの変更ができ、スタンプに表示する画像になります。

[ユーザー登録]
スタンプ表示名を入力して登録します。

【ユーザー登録編集画面の詳細】



フォルダの順番や追加・削除をします。

[フォルダの編集]
フォルダの編集をします。

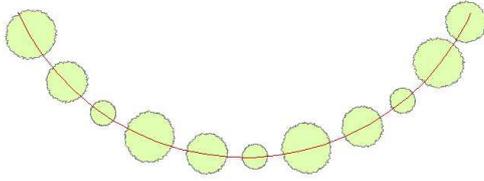
[スタンプの編集]
スタンプの編集をします。

[ファイルに保存する]

外部に保存します。
保存したファイルは07部品ファイルとして取り込むことができます。

補助線に沿って飛び石や植栽を並べる

造園レイヤの飛び石や植栽を補助線に沿って並べることができます。飛び石の他、植栽や景石、ガーデングッズなど造園レイヤにあるものは同様に配列することができます。



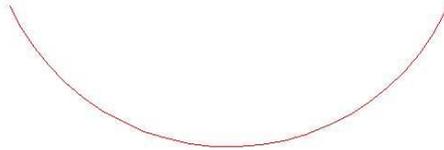
配列する図形はサイズ指定して配列ができます。



【造園レイヤの機能です】

造園レイヤだけで行える機能です。他のレイヤでは行うことができません。加工メニューのeE-formerにも類似の機能があります。

1 樹木を配置したいラインに補助線で作成します。



補助線を複数使ってラインを作成した場合、2つずつ選択して編集メニューの「結合」で1本の補助線にしておきましょう。

2 造園レイヤに切り替えて、配置したい樹木をCtrlキーを押しながら補助線にドラッグして離します。

Ctrlキーを押しながらドラッグ

カーソルの矢印の先を補助線に合わせましょう。



連続配置設定画面が表示されます。

3 配置間隔、位置、レベル、配置するものの追加などの設定をします。





4 個別設定をしたい樹木を選択し、「サイズ変更」をクリックします。

サイズの変更ができれば、「OK」をクリックします。

【連続配置設定】



A 連続配置設定項目

[間隔配置]：配置する図形の間隔

[自動角度計算]：配置角度を自動調整します

[回転角度]：回転させる角度。ランダムにすると適当な角度に回転します。

[均等割付設定]

なし：[配置間隔]で配置

個数：指定した個数が均等に配置されます。

B 配置位置

配置する側が補助線の[左]か[右]を選択します。

[距離]：補助線からの離れ寸法です。

[ランダム]：補助線を中心にランダムに並びます。

[始点レベル][終点レベル]：勾配がつきます。

C 右下の水色の枠に違う図形をスランプし、複数の図形を配列できます。

[左右三角ボタン]：配置順を調整します。

[削除]：追加した図形を削除できます。

[ランダム]：並び順をランダム設定します。

[設定]を押すと並びを変更します。

[サイズ変更]：図形のサイズを変更します。

光源レイヤについて

光源レイヤで、光源の配置方法や設定方法をマスターしましょう。

before



After



「光源レイヤ」では、以下の設定が可能です。

- ・新規光源の追加
- ・配置済み光源の個別・一括編集
- 位置調整
- 明るさの変更
- 影響範囲の調整
- 複製・削除
- 表示の切り替え
- カメラ毎の点灯設定

配置した光源は「ユーザー光源」と呼びます。この光源は、夜景パースや室内パースの明暗バランスとして活用できます。

活用例

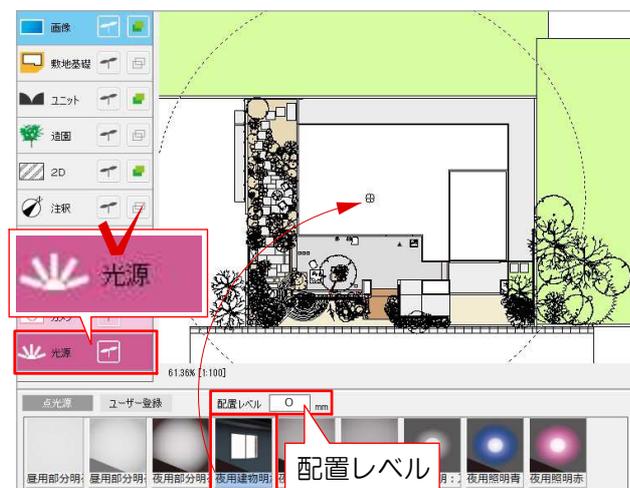
- ・建物に灯りをともし
- ・点灯照明のライトアップ効果を強調
- ・室内の明るさを調整
- ・特定エリアの明るさを補正

※製品に標準搭載されている光源は描画されません。

※建物の灯り設定する方法は2通りあります。

方法1：ユーザー光源

方法2「建物デザイナー2」内でイメージ光源を配置



1 光源を配置する

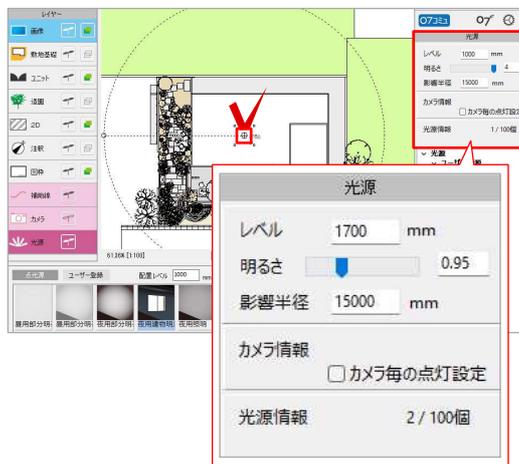
レイヤは「光源」

1 配置したい光源を選択し、画面上にドラッグで配置します。

「配置レベル」に入力されている高さ (Z) に光源が配置されます。

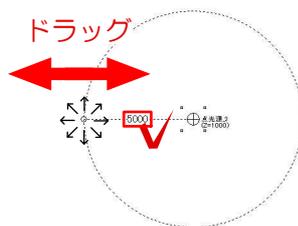


光源を右クリックで、点灯／消灯の切り替えや移動ロック等ができます。



2 光源の調整

1 光源を選択し、レベル・明るさ・影響半径などを調整します。



影響半径の数字を平面で変更したり、点線の中央左端にある点を左右にドラッグして光源が届く範囲を設定することもできます。



3-1 光源の調整 詳細設定

1 設定する光源を選択し、ダブルクリックします。

光源設定画面が表示されます。

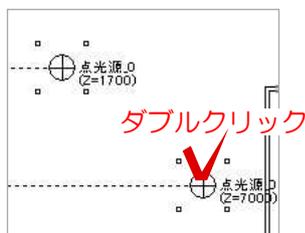
2 選択中の光源の設定を変更し、「変更」をクリックします。



共通：



スライダー：右へ行くほど効果が強くなります。



3-2 光源の調整 詳細設定 (複数選択の場合)

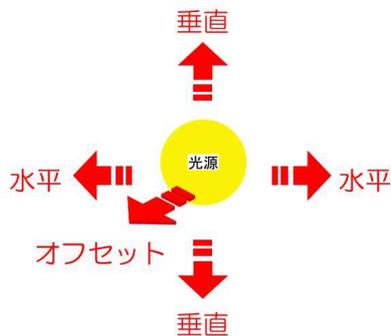
1 光源オブジェクトを複数選択し、光源オブジェクト上でダブルクリックをします。

光源設定画面が表示されます。

2 選択中の光源を変更し、「反映」の各項目にチェックを入れ、「変更」をクリックします。



【光源の距離について】



オフセット位置について・・・

光源が付いている図形と光源の距離を設定します。距離が近い方が強い光になります。
※光源によってオフセット向きは異なります。

移動水平について・・・

光源をクリックした図形に対して水平方向に移動します。

移動垂直について・・・

光源をクリックした図形に対して垂直方向に移動します。

【詳細パレットについて】

レベル・明るさ・影響半径の変更ができます。
※複数光源オブジェクトを選択した場合、最後に選択した光源オブジェクトの設定が表示されます。

各カメラの光源点灯設定

- 全てのパースカメラ共通で点灯します
 - カメラ毎の点灯状態を変更できます。
- ※リアルタイムパースカメラまたはムービーカメラ選択中は光源の点灯状態の変更はできません。

この設定はecdファイルに保存され、次回開いた時にも反映されます。

光源情報

配置しているユーザー光源数/ユーザー光源の配置上限数を表しています。

各光源の点灯設定

- 光源範囲が表示されレンダリング時に光源が点灯します。
- 光源範囲が表示されずレンダリング時に光源が点灯しません。



3-2 光源の調整 詳細設定 (リアルタイムパースの場合)

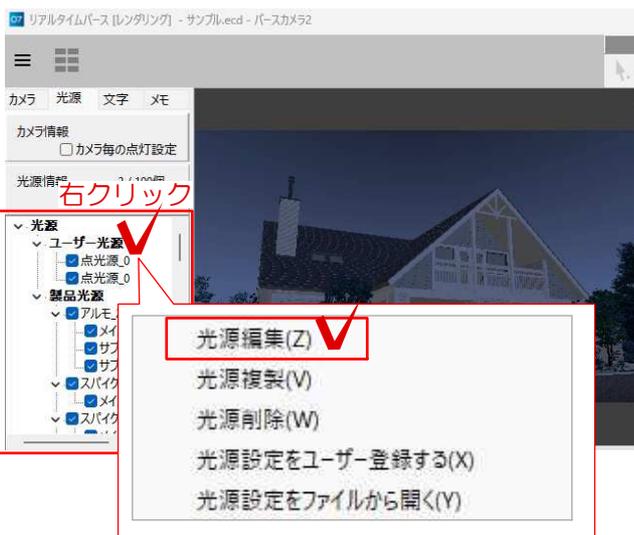
1 リアルタイムパースの左側の「光源」をクリックします。

光源の一覧が表示されます。

 **ユーザー光源**：追加した光源です。
光源レイヤで追加した光源が表示されます。

製品光源：製品に付いている光源です。
チェックを外すと非表示になります。

 光源名をクリックすると、光源の位置と範囲がオレンジ色で表示されます。



2 一覧から編集したい光源を選択し、右クリックで「光源編集」を選びます。



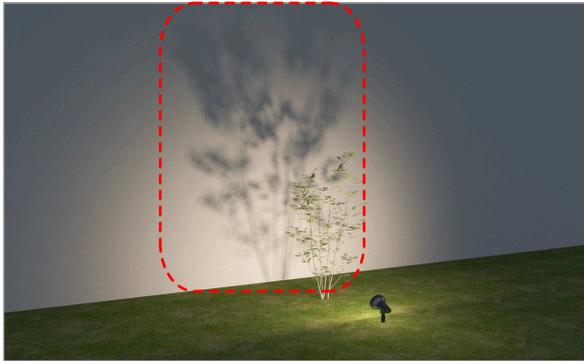
光源設定画面が表示されます。

2 選択中の光源の設定を変更し、「変更」をクリックします。

 ラインライトなど役割が同じ光源が複数ある場合、まとめて同時設定を行うことで時間短縮になります。

光源発光半径設定

光源自体の発光半径の設定により影に揺らぎの表現が出来るようになりました。



発光半径を広げることで、影の揺らいだ表現が出来るようになりました。
数値変更でのパースの違いや、調整時の注意点などを確認しましょう。

※発光半径はオプションソフト「橋」のレンダリング結果にのみ反映します。
「eE-Painter」でレンダリングされた際は効果は反映しません。

発光半径の変更方法

発光半径の設定方法を確認しましょう
また発光半径数値を変更したパースを見比べ
どういった変化があるか確認しましょう

リアルタイムパースの光源タブより
調整したい光源をダブルクリックします。
表示された光源設定の一番下に「発光半径」
の入力項目が追加されています。
※初期設定は10mmです。



発光半径10mm (直径20mm)
発光半径50mm (直径100mm)



発光半径の数値を入力し調整します。
※上図は発光半径を入力する際の
数値による変化のイメージです。

発光半径による影の違い

パースを見比べて影の変化を確認します。



発光半径：10mm（デフォルト）



発光半径：25mm



発光半径：40mm

発光半径を大きくした方が影が揺らいだのが分かります。

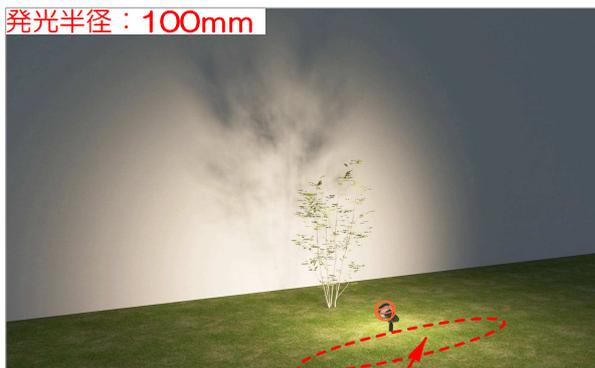
※サイズが大きくなりますので明るさも明るくなくなっただよに見えます。

※影の伸びる長さには影響しません。



【数値調整時の注意点】

発光半径：100mm



器具後方も光って
しまっています。

発光半径を大きくし過ぎてしまうと、本来発光しない箇所からも光が漏れてしまいます。

発光半径の最大値の目安としては
器具口径の1/2以下としてください。

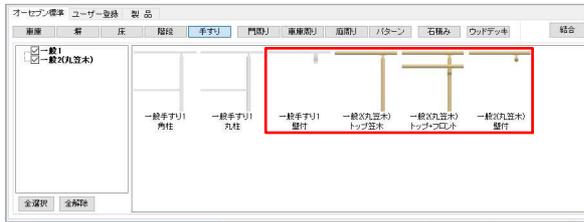
※半径での数値設定のため。

※実際の数値は器具のサイズによって異なります。



手すりツール種類追加

手すりツールの種類追加が追加されました。



手すりツールの種類が新たに4種追加され、以前の2種類に加え6種類に増えました。それぞれの設定項目を確認しましょう。

※平面設置の作業方法はこれまでと同様です。

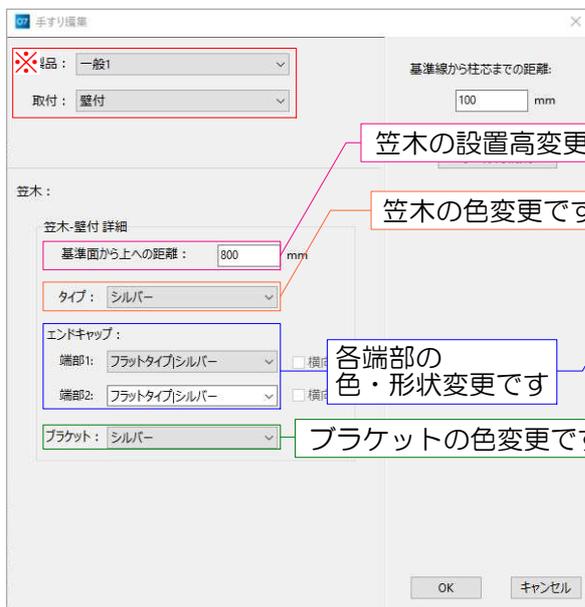
手すり種類① 壁付けタイプ

- ・一般手すり1 壁付（角型笠木形状）
 - ・一般2（丸笠木）壁付（丸型笠木形状）
- ※各形状とも設定項目は共通です。



【編集画面】

※を変更すると元々の形状が変更されます

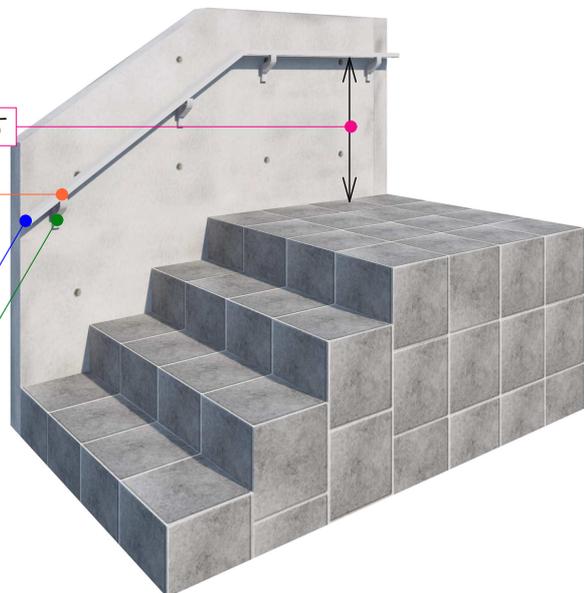


笠木の設置高変更です

笠木の色変更です

各端部の色・形状変更です

ブラケットの色変更です



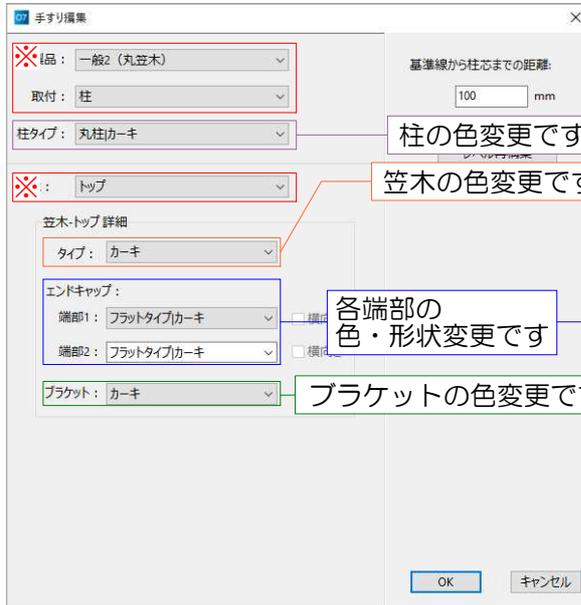
※ここでの色変更は、仕様の変更になりますので近い色に設定しておきリアルタイムパスにて各メーカーのテクスチャに張り替えます。

手すり種類② 柱立てタイプ

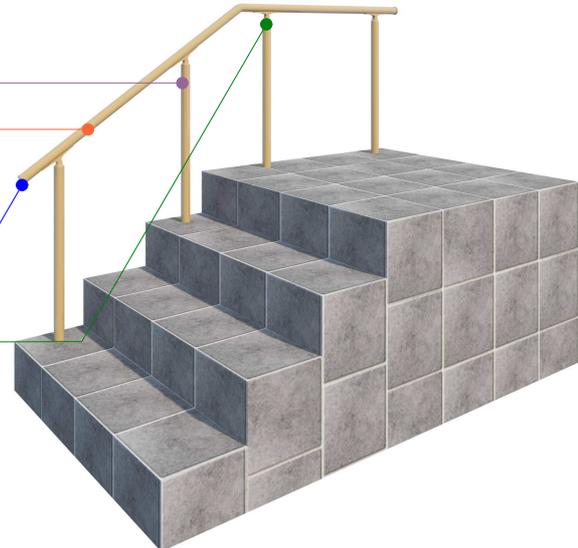
- ・一般2（丸笠木）トップ笠木
- ・一般2（丸笠木）トップ+フロント



【編集画面】



※を変更すると元々の形状が変更されます



柱の色変更です

笠木の色変更です

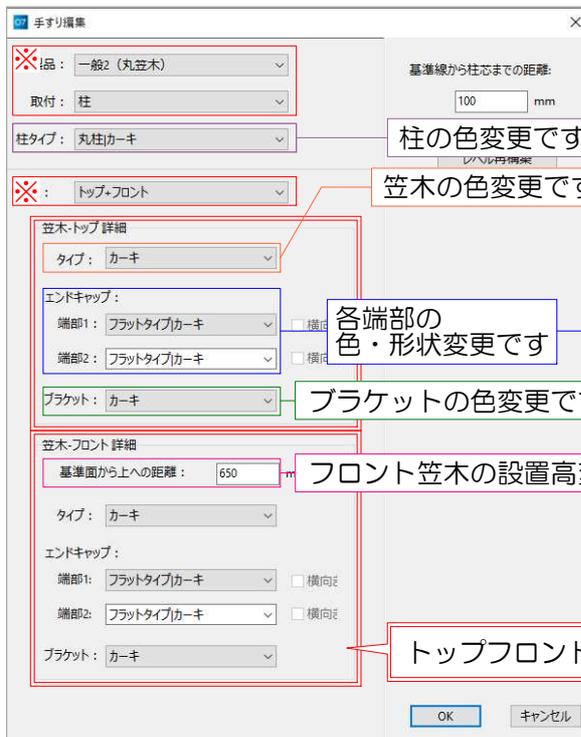
各端部の色・形状変更です

ブラケットの色変更です

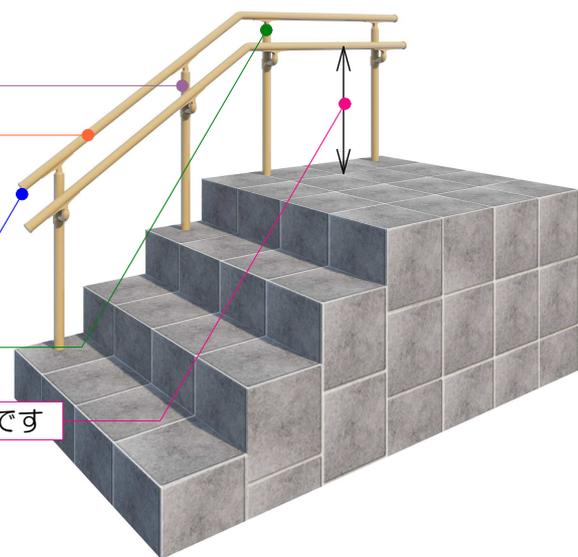
※ここでの色変更は、仕様の変更になりますので近い色に設定しておきリアルタイムパスにて各メーカーのテクスチャに張り替えます。



【編集画面】



※を変更すると元々の形状が変更されます



柱の色変更です

笠木の色変更です

各端部の色・形状変更です

ブラケットの色変更です

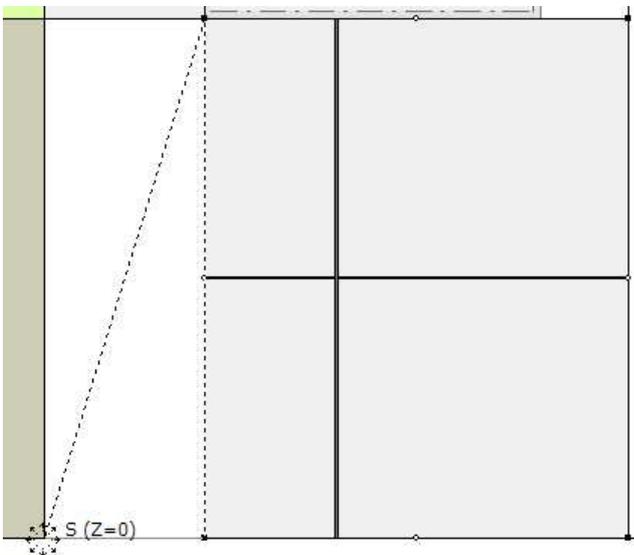
フロント笠木の設置高変更です

トップフロントそれぞれの設定です

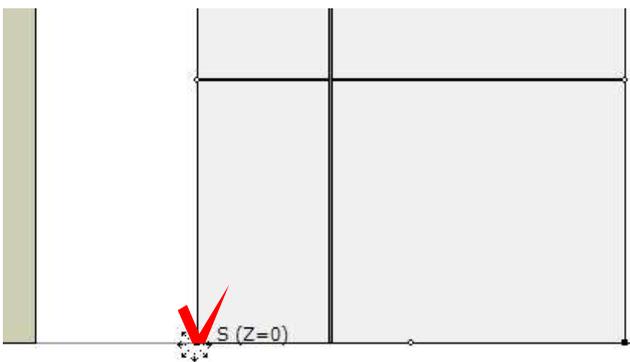
※ここでの色変更は、仕様の変更になりますので近い色に設定しておきリアルタイムパスにて各メーカーのテクスチャに張り替えます。

床の頂点レベル維持

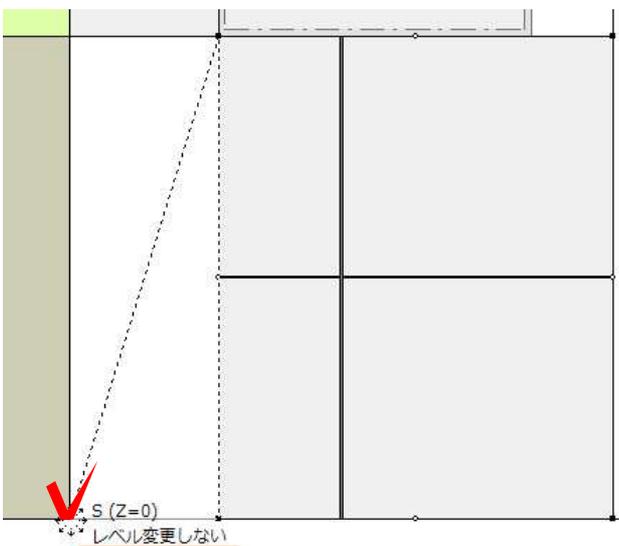
床の頂点移動のとき、レベル変更が行われないようにできます。



床の頂点を移動する際に、Altキーを押しながらドラッグすると、レベルを維持したまま形状のみを調整することが可能になりました。平面デザイン編集時に、高さが変わらずに形状を修正できます。



1 ユニットレイヤーにて図面上の床を選択し、動かしたい頂点へカーソルを合わせ、左クリックします。



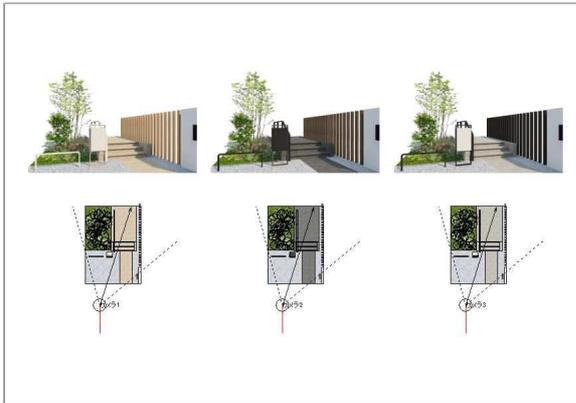
2 Altキーを押しながら、移動したい位置へ頂点を動かし、再度左クリックして位置を決定します。



Altキーを押しながらマウスを動かしますと、「レベル変更しない」と表示が出ます。

カメラレイヤの機能追加

カメラレイヤで出来る操作が増えました。



以下の操作が出来るようになりました。

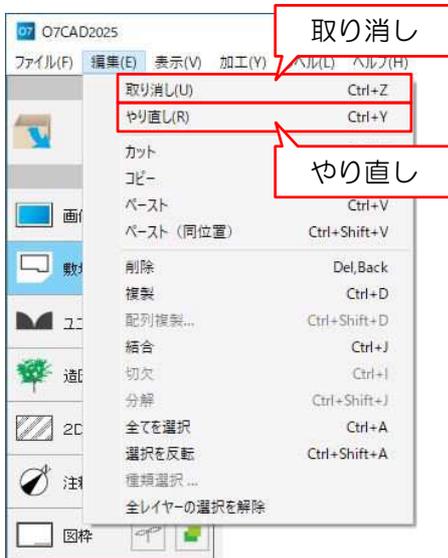
- ・編集メニュー「取り消し」「やり直し」
- ・加工メニュー「移動」
- ・補助線のカメラへのスナップ
- ・カメラの補助線へのスナップ

複数の別プランを同位置から並べて取りたい場合や、操作を誤ってしまった場合などにご利用ください。



「移動」

ドラッグでの任意の位置設定の他に、数値で移動距離を指定する、加工メニュー「移動」が行えるようになりました。



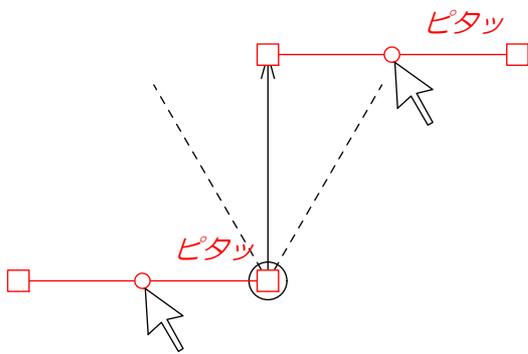
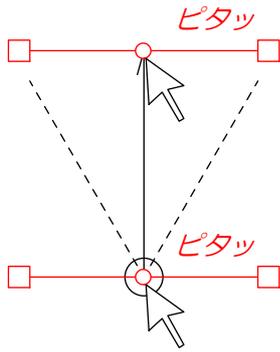
「取り消し」「やり直し」

誤ってずらしてしまった等、一つ作業に戻る「取り消し」が行えるようになりました。「やり直し」は「取り消し」を戻す機能です。
。「取り消し」をし過ぎたときに使用します。

補助線のカメラへのスナップ

補助線がカメラへスナップします。

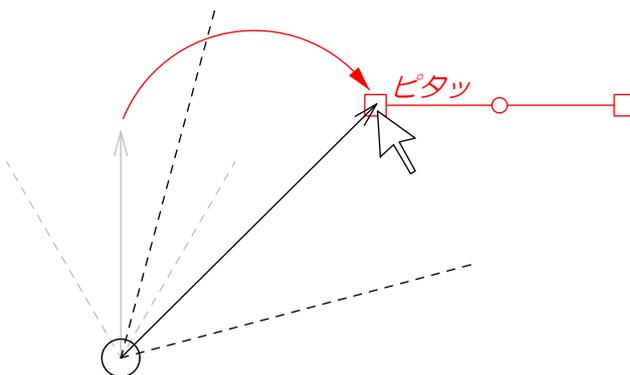
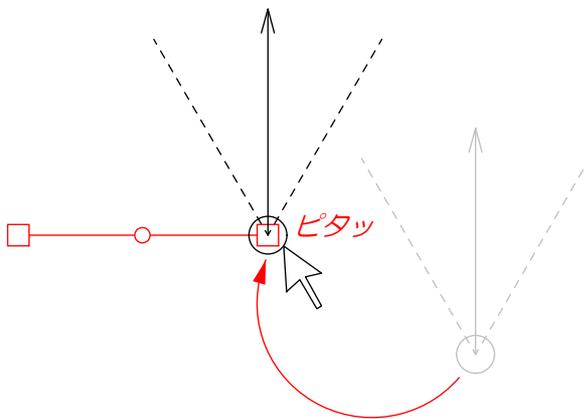
- ・カメラ名が表示される円の中心
 - ・視点の先の矢印の先端
- 2ヶ所へスナップします。



カメラの補助線へのスナップ

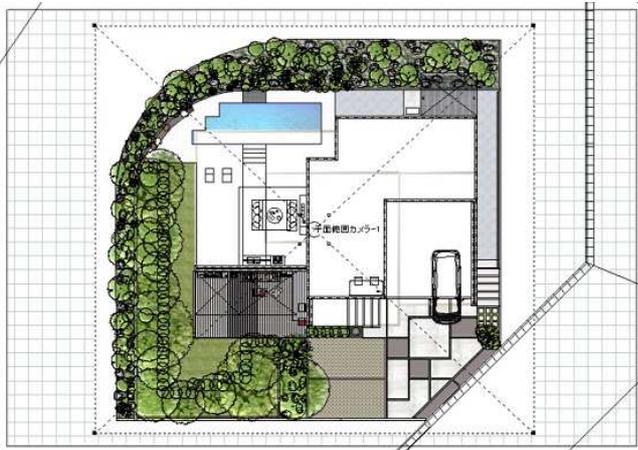
カメラが補助線へスナップします。

- ・カメラ名が表示される円の中心
 - ・視点の先の矢印の先端
- 2ヶ所へスナップします。

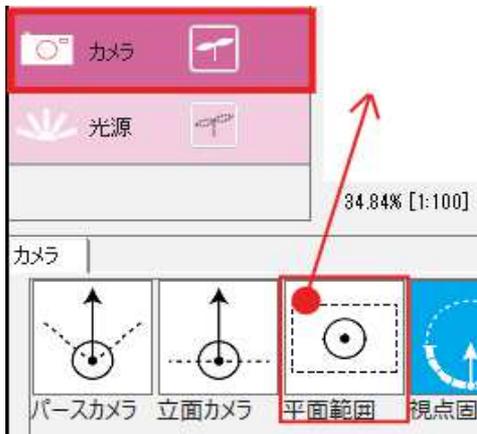


平面範囲カメラ

平面範囲カメラを配置することで、任意の範囲の平面をレンダリングできます。

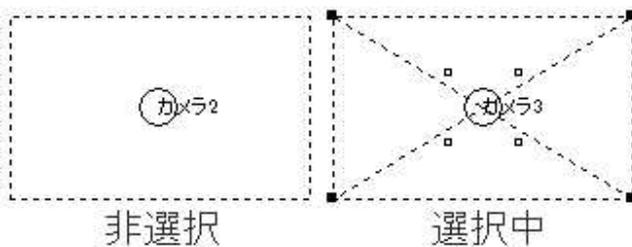


新たにカメラレイヤーに「平面範囲カメラ」を用意しました。図面に配置する方式にすることで、複数の平面レンダリングの範囲設定や管理が図面上で行うことができます。映り込み用に大量に配置した隣地データをカットして平面図をレンダリングをする際や、庭部分のみの平面レンダリングを行いたい場合などに便利な機能です。



カメラの配置・操作方法

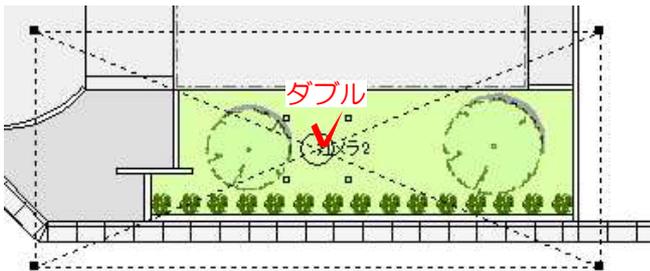
1 カメラレイヤーにて、スタンプパレット内に表示された平面範囲カメラを図面へドラッグし、任意の場所へ配置します。



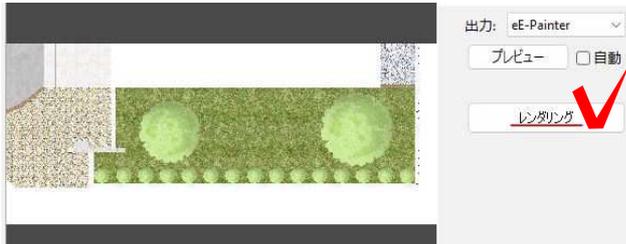
2 図面上のカメラ、又は枠線をクリックするとカメラが選択され、範囲の4隅のコントロールポイントと対角線が表示されます。選択した状態で4隅のコントロールポイントをドラッグして範囲を調節できます。



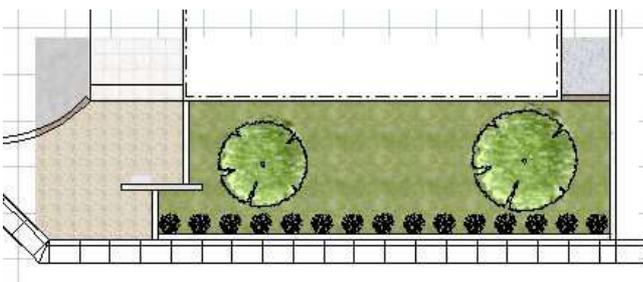
シフトキーを押すと、1:1、2:1、4:3、黄金比、16:9、元の比率を維持、の特定のアスペクト比にできます。非選択状態からダイレクトに4隅を移動させることはできず、カメラの移動のみ行うことができます。



3 図面上に配置されている該当のカメラをWクリックすると、リアルタイムパース上に選択した範囲の平面図が表示されます。確認後、レンダリングボタンをクリックし、レンダリングを開始します。



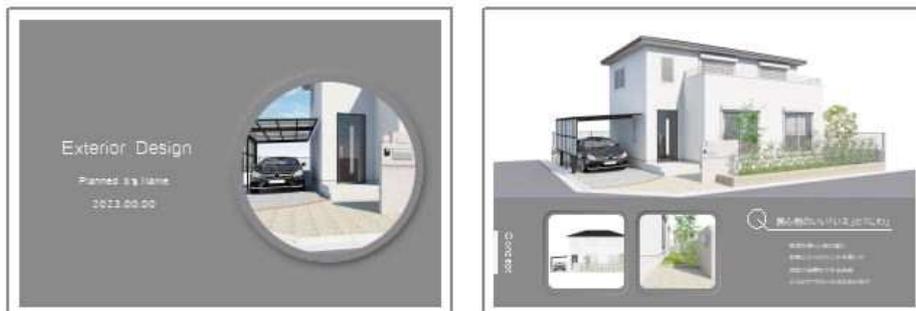
4 レンダリング完了後、レンダリング一覧よりレンダリング後の画像を右クリックします。画像レイヤーに配置を選択しますと、図面上の範囲指定部分に画像が重なる様に配置されます。



複数用紙印刷設定の機能追加

複数用紙を設定した際に印刷順を変えることができます

用紙を複数枚で印刷する際に、印刷される順番を変更できるようになりました。プレゼンテーションや施工図面のストーリーに合わせて順番を整えられるため、より伝わりやすい資料を作成できます。また、新たなアイデアに応じて関連図面や説明の流れを柔軟に変更できることで、作業の効率化にもつながります。



1 ファイルメニューより、「複数用紙の設定、用紙の移動」を選択します。



2 複数枚用紙が設定されている状態で、入れ替いたい用紙を選択し、青く囲われている状態にします。



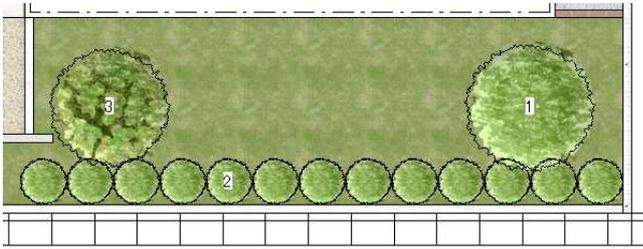
3 画面上部の矢印をクリックすることで1枚ずつ左右へ移動し、印刷の順番を変更できます。



印刷の順番のみ入れ替わる為、作図画面は入れ替わりません。また、印刷の順番を確認する際は、ファイルメニューの印刷プレビューより確認できます。

植栽表作成設定の機能追加

植栽表作成時に文字サイズと背景を設定できます。

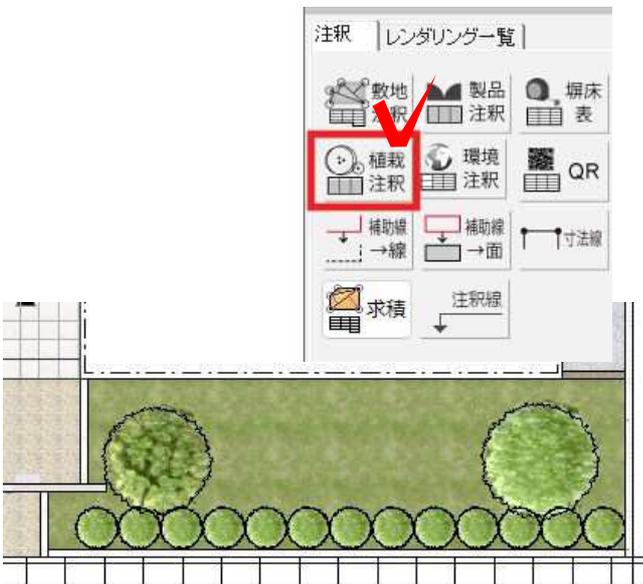


植栽仕様表

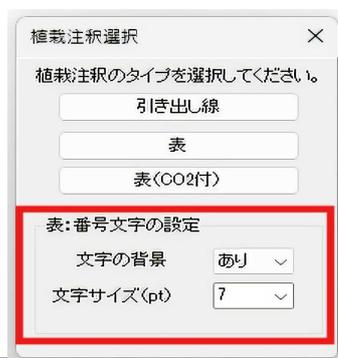
記号	樹木名	H	C	W	数量	備考
1	シマトリコ	3.0	---	1.9	1	
2	ペニカメモ子	1.4	---	0.7	13	
3	ヤマボウシ	3.0	---	1.7	1	

植栽表作成時に、樹木番号の文字サイズや背景を設定できるようになりました。

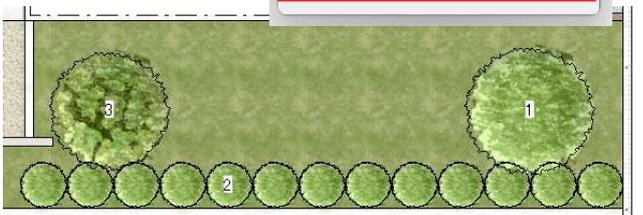
これにより、造園計画をメインとするプランで、平面上の見やすさやデザインの好み等に合わせた表記が可能になります。



1 注釈レイヤーにて、図面上に植栽が配置されている状態で、CAD画面右側の「植栽注釈」を選択します。



2 植栽表の形式を選択する画面で、文字の背景の有無、文字サイズを変更することができます。



 従来通り、植栽表配置後も文字サイズや背景の有無の変更は可能です。



その他おすすめ機能

詳細はWEBマニュアルをご確認ください。キーワードを選択して検索しましょう。
スマートフォン・タブレットで見る場合は、QRコードから閲覧することもできます。

■VR

マウスドラッグでクルクルと回して見ることができるパースを作成し、QRコードを図面上に張り付けることができます。

検索キーワード [VR]

QRコード



■ムービー(プロモーションカメラ)

ドローンのような視点でプロモーション動画を作成できます。

[プロモーションカメラ]



■リアルタイム概算

作図した図面から数量を拾い出し、概算見積を出すことができます。

[リアルタイム概算]



■橋~TACHIBANA ※オプションソフト

eE-Painterとは異なる風合いのイメージパースを作成することができます。
よりリアルなパースに仕上がります。

[橋]



■背景合成

写真を背景として取り込み、CAD図形と合成することができます。

[背景合成]



■データ取り込み・取り出し

他のCADで作成したデータを取り込み、07CADで作成したデータを別の形式で取り出しができます。

【CADに取り込めるデータ】

POL/3D-DXF・OSX/3D-DXF・3DS・3D-DXF・JWW・CSV (Excel)・STL

【CADから取り出せるデータ】

3DS・3D-DXF・CSV (Excel)・STL

[取り込み]



[取り出し]



■e-Board

CAD図面、VRデータ、見積もりデータなどを「e-Board (インターネット上)」に保存することができ、外出先で各種デバイス(タブレット、スマートフォン、パソコン)で閲覧できます。

スタッフ全員でデータ(情報)を共有できるクラウドツールです。

[e-Board]





07Cargo

目次

07Cargo

◇ 07Cargoとは	1
◇ 07Cargoの設定	2
◇ 07Cargoへファイルを保存する・開く方法	3
◇ 07Cargoの開き方	5
◇ 新しい物件を作成する方法	6
◇ 物件を削除する方法	7
◇ 画面構成【ホーム画面】	9
◇ 画面構成【ファイル保管庫】	10
◇ 画面構成【一時保管】	12
◇ プレゼンKIT	15
◇ 画面構成【プレゼンKIT】	16
◇ 共有ボードの活用方法	19
◇ 共有ボードを閲覧する方法	21
◇ VRデータを作成する方法	22
◇ 画面構成【パルス共有】	27

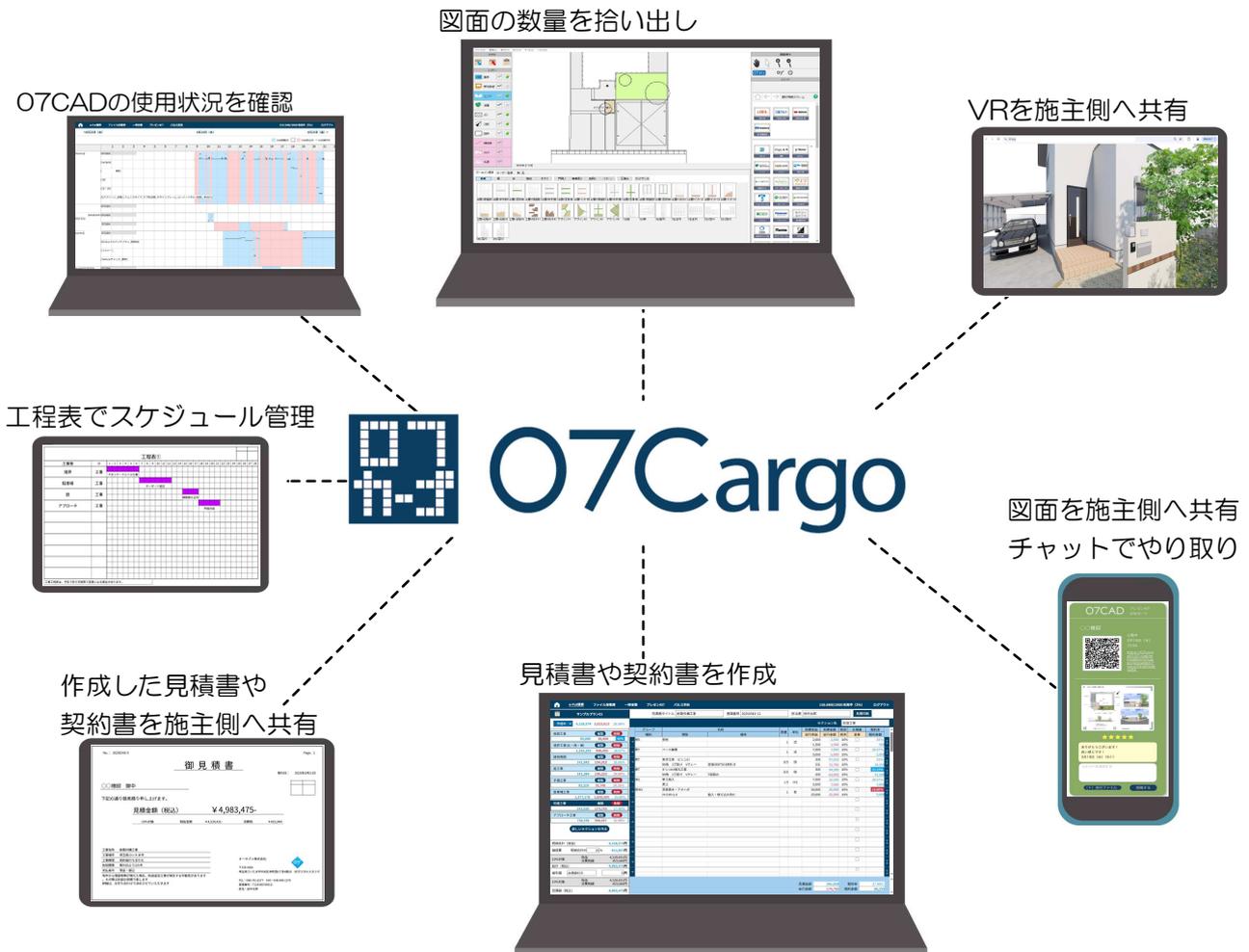
e-Put積算

◇ e-Putご使用の注意点	29
◇ 作業手順【07Cargoのみで作業する場合】	30
◇ 作業手順【07CADから作業する場合】	31
◇ 07Cargoの開き方	32
◇ 新しい物件を作成する方法	33

◇ マスター設定・環境設定	34
◆ 自社設定	34
◆ 担当者	36
◆ 業者	37
◆ 台帳	39
◆ 入力補助	44
◆ 環境設定	48
◇ 画面構成【e-Put積算】	49
◇ リアルタイム概算 概要	50
◇ リアルタイム概算 拾い出し項目の設定	51
◇ リアルタイム概算 拾い出し前の準備	52
◇ リアルタイム概算	54
◇ 見積書を作成する方法	60
◆ 新しい見積を作る	61
◆ 各金額・粗利の確認	66
◆ 見積書の印刷	67
◆ 見積書印刷後の操作	68
◇ 契約書を作成する方法	69
◇ 実行予算書を作成する方法	71
◇ 注文書・請書を作成する方法	73
◇ 請求書を作成する方法	75
◇ 仕様書を作成する方法	76
◇ 工程表を作成する方法	78
◇ e-Put 自動拾い出し機能の項目と数量について	82

O7Cargo（ゼロナナカーゴ）とは？

オーセブンCAD2025以上、CAD基本サポート加入でお使いいただけるサービスです。
O7CADファイル、VRデータ、見積データなどを「O7Cargo」に保存すると、各種デバイス（タブレット、パソコン）で閲覧でき、社員・施主側・業者で情報を共有できるクラウドツールです。



インターネットがあればどこからでもアクセス可能で、図面、パース、VR、見積もり、契約書、実行予算書、発注書、請求書、そして工程表まで、一元管理ができます。



【e-Boardをお使いの方へ】

e-BoardからO7Cargoへの切り替え期間を1年間設けております。
この期間は切り替えながらご利用いただくことが可能です。

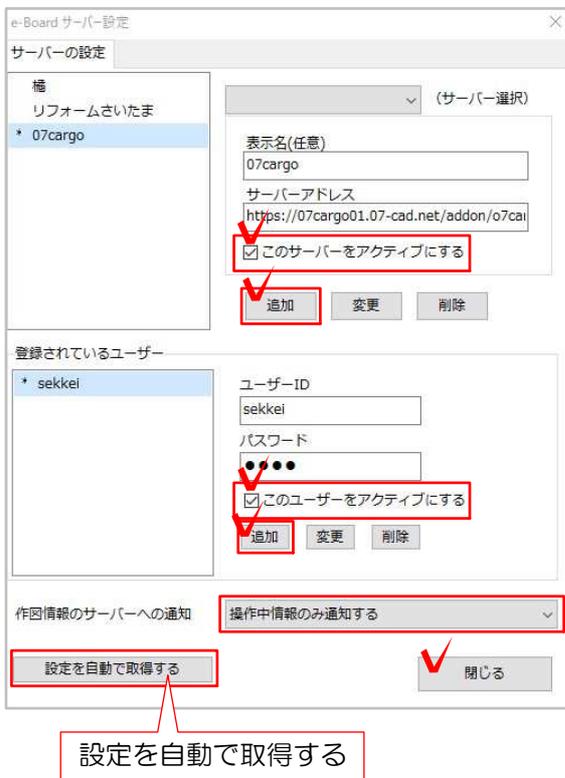
- ※e-BoardとO7Cargo間でのデータ移動やコピー、共有はできません。
- ※橋サーバーの結果は、接続されているクラウドの方へ保存されます。

07Cargoの設定（CADとの連動）

クラウドサービスの07Cargoを使うとCAD図面やVRなどを外出先で閲覧したり、施主側に直接共有することも容易にできるようになります。
ここでは、その為に必要な07CargoとCADの接続設定方法を解説します。



1 CAD画面左上のクラウドの設定ボタンをクリックします。



2 画面左下「設定を自動で取得する」ボタンをクリックで07Cargoの設定を自動取得することが可能です。設定できましたら完了です。

【手動で設定する場合】

1 サーバーアドレスを入力します。
表示名は任意の名前を入力します。
「このサーバーをアクティブにする」にチェックを入れ「追加」をクリックします。

2 ユーザーIDとパスワードを入力します。
「このユーザーをアクティブにする」にチェックを入れ「追加」をクリックします。

※保存サーバー、ユーザーID、パスワードは納品時の書類を確認して下さい。

【作図情報のサーバーへの通知】

通知するにしておくで07CADの使用状況の確認（パルス共有）ができます。



詳細説明 P27

オーセブンCADと07Cargoを連動することでできること

- 1 CADファイルを07Cargoに保存できる。
- 2 07Cargoに保存したCADファイルを、07Cargoと連動させた別のPCのCADで開くことができる。
- 3 CADで作成したVRデータやCAD図面を直接07Cargoに保存できる。
- 4 07Cargoに保存したVRデータやCADで作成した図面（JPG形式）を外出先で見ることができる。（タブレット、自宅パソコンなど）
- 5 07Cargoに保存したVRデータやCADで作成した図面（JPG形式）を施主側に共有できる。

07Cargoへファイルを保存する・開く方法

07Cargoに物件を作成し、07CADファイルを保存する手順を解説します。

【CADデータ共有のメリット】

- ・作図途中のCADファイルを07Cargoに保存して、別のパソコンで作業の続きができます。
- データを持ち歩かずに自宅でも作業できる為、作業効率がUPします。
- ・過去の図面も物件情報と一緒にすぐに引き出せます。
- 検索して引き出せるので、急な問い合わせやアフターフォローも瞬時に対応できます。

07Cargoに保存する方法

1 07Cargoに保存したいCADファイルを開きます。画面左上のクラウドの保存ボタンをクリックします。



2 物件を作ります。

「新しい物件を作る」をクリックします。既に保存したい物件が作成されている場合はそちらをクリックします。

※作成前に検索をしますと重複がないか確認できます。



3 物件名を入力し、「作成する」をクリックします。



4 新しく作成した物件が表示されます。物件をクリックし選択します。



5 ファイル名を入力します。

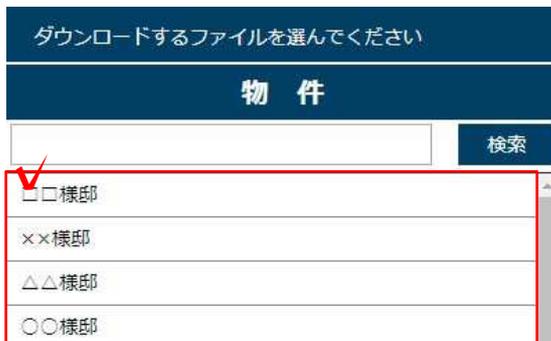
「この物件に保存」をクリックで完了です。





O7Cargoからファイルを開く方法

1 O7CADを新規で開きます。
画面左上のクラウドの開くボタンをクリックします。



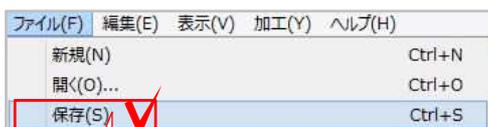
2 保存したファイルが入っている物件をクリックします。



3 右側に保存されているCADファイルが表示されます。「このファイルを開く」をクリックして開きます。



4 CADファイルが開きます。



保存



【注意！！】

自動保存はされません。
必ずPC内（ローカル環境）に保存をしてから作業してください。
O7Cargoへも自動保存はされませんので、作業終了後は再度O7Cargoへも保存しましょう。

07Cargoの開き方

07Cargoを開く（見る）方法です。

また、CADファイルはオーセブンCADから開いて編集することができます。

推奨ブラウザ



1 ブラウザから開く

1 インターネットブラウザを開き、07Cargoのアドレスを入力し、Enterキーを押します。
※Google Chrome推奨です。

2 ブラウザでログイン画面が表示されます。
ログインIDとパスワードを入力します。
ログインをクリックして開きます。

※ネット環境があればタブレット端末でも07Cargoを開けます。保存したCADファイルを画像（JPG形式）で閲覧することは可能ですが編集はできません。

2 オーセブンCADから開く

1 「ファイル」メニューをクリックし、「e-Board / 07Cargo」より、「ブラウザで開く」をクリックします。



2 ブラウザでログイン画面が表示されます。
ログインIDとパスワードを入力し、ログインをクリックして開きます。

新しい物件を作成する方法

O7Cargoの画面から物件を作成する方法です。
作成した物件の中にCADファイルを保存したり、見積書を作成することができます。

物件の作成方法

- 1 O7Cargoを開きます。
- 2 画面左側「新しい物件を作る」をクリックします。

※表示されない場合は左側の物件一覧の部分を下にスクロールしましょう。



新しい物件を作る

物件名:

- 3 物件名を入力します。
「作成する」をクリックします。

作成しない場合は右上の×をクリックします。



- 4 画面左側の物件一覧の上部に作成した物件が表示されます。

物件を削除する方法

O7Cargoの画面から物件を削除する方法です。



物件の削除方法

- 1 画面左上「ホーム画面」をクリックします。
- 2 削除したい物件をクリックします。
- 3 右側の「削除」をクリックします。



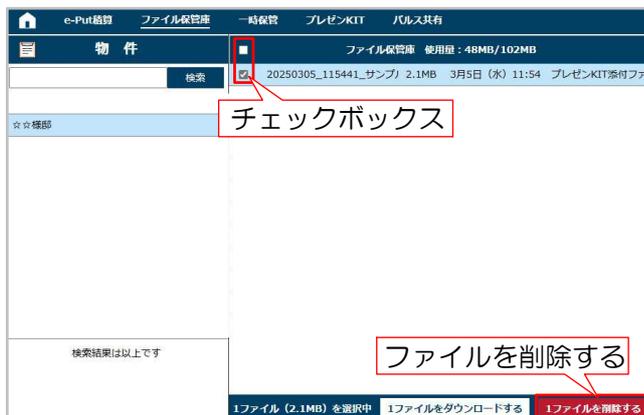
ファイルの削除方法

CADファイル・プレゼンKIT・見積が保管されている物件はそのまま削除ができません。削除ができない場合はボタンが灰色で表示され、削除できる場合は赤色で表示されます。

物件の中に保管されているファイルを全て削除すると、物件の削除ができるようになります。



- 1 削除したいファイルをクリックします。



- 2 各ファイルの保管場所へ移ります。

削除したいファイル名の左側にチェックを入れます。一番上のチェックボックスにチェックを入れると、表示されているファイルに一括でチェックを入れることができます。

- 3 画面下の「ファイルを削除する」をクリックします。



4 確認画面が表示されます。

「ファイルを完全に削除する」をクリックで削除できます。

※削除をしたくない場合は、右上の×をクリックし確認画面を閉じてください。



5 ファイルを削除できましたらホーム画面に戻ります。削除したい物件をクリックし、ボタンが赤色で表示されましたら削除ができます。

画面構成【ホーム画面】

O7Cargoのホーム画面です。

作成した物件やファイルを一覧で確認したり、O7Cargoの設定を変更することができます。

ホーム画面

容量の確認

ログアウト

1 物件一覧

2 ファイル一覧

3 検索

4 各種設定

更新日時	物件名	データ名	データタイプ	備考
3月20日 (木) 13:58	☆☆権部	サンプル.ecd	ecd	
3月20日 (木) 13:55		サンプル (カメラ2) Tachibana.jpg	jpg	橋サーバー
3月20日 (木) 13:55		サンプル (カメラ1) Tachibana.jpg	jpg	橋サーバー
3月20日 (木) 13:53		マニュアルプラン (カメラ1) Tachibana.jpg	jpg	橋サーバー
3月20日 (木) 13:52		マニュアルプラン (カメラ2) Tachibana.jpg	jpg	橋サーバー
3月20日 (木) 13:52		マニュアルプラン (カメラ3) Tachibana.jpg	jpg	橋サーバー
3月20日 (木) 13:52		マニュアルプラン (カメラ1) Tachibana.jpg	jpg	橋サーバー

ホーム画面

1 O7Cargoで作成した物件が一覧で表示されます。物件名をクリックすると中に保管されたファイルを確認できます。

2 O7Cargoにアップロードしたファイルが一覧で表示されます。

更新日時：ファイルを更新・保管した時間
物件名：ファイルが保管されている物件名
データ名：保管されているファイル名
データタイプ：ファイルの種類
備考：橋サーバーでレンダリングしたファイル
 プレゼンKITのコメントで添付されたファイル
 見積作成時に担当者が設定されているファイル
 等にその旨が表示されます。

3 作成した物件/ファイルを検索し、探すことができます。

4 e-Put積算に必要な、取引先・台帳等の各種設定をすることができます。

更新日時	物件名	データ名	データタイプ	備考
3月20日 (木) 13:58	☆☆権部	サンプル.ecd	ecd	
3月20日 (木) 13:55		サンプル (カメラ2) Tachibana.jpg	jpg	橋サーバー
3月20日 (木) 13:55		サンプル (カメラ1) Tachibana.jpg	jpg	橋サーバー
3月20日 (木) 13:53		マニュアルプラン (カメラ1) Tachibana.jpg	jpg	橋サーバー
3月20日 (木) 13:52		マニュアルプラン (カメラ2) Tachibana.jpg	jpg	橋サーバー
3月20日 (木) 13:52		マニュアルプラン (カメラ3) Tachibana.jpg	jpg	橋サーバー
3月20日 (木) 13:52		マニュアルプラン (カメラ1) Tachibana.jpg	jpg	橋サーバー

- ・ ecd (O7CADファイル)
- ・ jpg (画像)
- ・ pdf
- ・ O7EXVR (VR)
- ・ 見積書



マスター設定	
自社設定	
担当者	
業者	
台帳	
入力補助	
環境設定	



詳細説明 P34

画面構成【ファイル保管庫】

07CADからアップロードされたCADファイルや、画像ファイルが保管されます。空き容量が無くなると新たに保管できなくなります。不要なファイルは削除し、整理をしましょう。

The screenshot shows the main interface of the file storage system. Callouts identify the following elements:

- ファイル保管庫**: Points to the top navigation bar.
- 1 ファイル保管庫 使用量**: Points to the usage indicator at the top right (233.3MB/0.2GB).
- 容量の確認**: Points to the usage indicator.
- 物件一覧**: Points to the left sidebar menu.
- 2 選択リスト**: Points to the central file list table.
- 3 プレビュー**: Points to the right-hand preview area for a selected file.

1 チェックボックス

This close-up shows the file list table with callouts for specific columns:

- 1 チェックボックス**: Points to the selection checkboxes on the left.
- ファイル名**: Points to the file name column.
- 容量**: Points to the file size column.
- 更新日時**: Points to the update time column.
- 2 備考**: Points to the notes column.

ファイル保管庫 使用量: 116.3MB/102MB			
<input type="checkbox"/>	マニュアルプラン.ecd	17MB	3月21日 (金) 11:42
<input type="checkbox"/>	20250321_113637_サンプル1.jpg	55.1KB	3月21日 (金) 11:36
<input type="checkbox"/>	サンプル.ecd	17MB	3月20日 (木) 13:58
<input type="checkbox"/>	□□様邸.ecd	24.8MB	3月19日 (水) 19:26

1 ファイル保管庫 使用量

保管されているファイルと容量が一覧で表示されます。

内容を確認したり、チェックを入れたファイルのダウンロードと削除ができます。

1 ファイル名の左側にチェックを入れるとファイルを選択できます。一番上のチェックボックスにチェックを入れると、表示されているファイルに一括でチェックを入れることができます。

2 プレゼンKITで共有されているファイルは備考欄に表記されます。

※削除すると共有ボードから閲覧ができなくなります。

・**プレゼンKIT共有中**
プレゼンKITで共有しているファイルです。

・**プレゼンKIT添付ファイル**
プレゼンKITのコメントで添付されたファイルです。

2 選択リスト



・選択中のファイル

現在選択しているファイルの個数、ファイル容量の合計値が表示されます。

・ファイルをダウンロードする

クリックすると現在選択しているファイルをダウンロードできます。

・ファイルを削除する

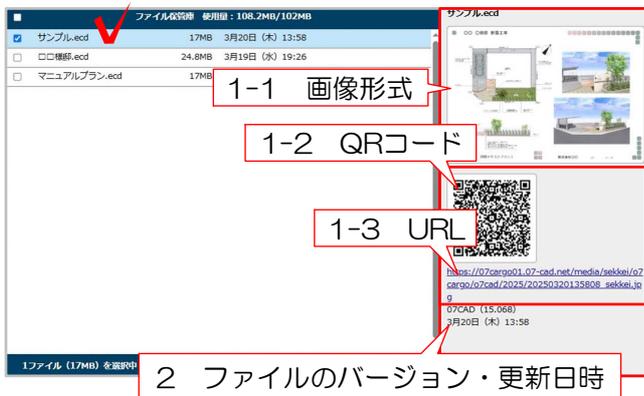
クリックすると確認画面が表示されます。「ファイルを完全に削除する」をクリックすると削除されます。

※削除後は復元できません。

※削除をしたくない場合は、右上の×をクリックし確認画面を閉じてください。



3 プレビュー



ファイル名をクリックすると画面右側に「画像形式」「QRコード」「URL」の3タイプで内容が表示されます。

1-1 画像形式

保管ファイルの内容を視覚的に確認できます。

1-2 QRコード

保管ファイルはすべて自動でQRコード化されます。

QRコードはスマートフォンで直接読み取ったり、メールなどで添付送信ができます。読み取ったQRコードは「画像形式」で内容が表示されます。

1-3 URL

保管ファイルはすべて自動でURL化されます。URLをクリックすると、大きな「画像形式」で内容が表示されます。また、メールなどで添付送信することもできます。

2 CADファイルの場合、ファイル作成時に使用したCADのバージョンとファイル保管日時が表示されます。

画面構成【一時保管】

07CADから橋サーバーへの中継地となる、一時的な保管場所となります。
空き容量が無くなると新たに保管できなくなります。不要なファイルは削除し、整理をしましょう。

The screenshot shows the '一時保管' (Temporary Storage) page. It includes a search bar, a list of files, and a preview area. Numbered callouts identify key features:

- 1 一時保管 使用量 (Temporary Storage Usage): 125.1MB/102MB
- 2 選択リスト (Selection List): The file list table.
- 3 プレビュー (Preview): The image preview area for 'サンプル (カメラ1) Tachibana.jpg'.
- 4 一時保管設定 (Temporary Storage Settings): The settings button at the bottom left.

Additional callouts include '一時保管' (Temporary Storage) at the top, '容量の確認' (Check Capacity) pointing to the usage bar, and '物件一覧' (Property List) pointing to the search results area.

This close-up shows the file list table with callouts for specific columns:

- 1 チェックボックス (Check Box): Points to the selection checkboxes.
- ファイル名 (File Name): Points to the file name column.
- 容量 (Capacity): Points to the file size column.
- 更新日時 (Update Date/Time): Points to the date and time column.
- 2 備考 (Remarks): Points to the 'プレゼンKIT' (Presentation Kit) column.

This close-up highlights files shared via 'プレゼンKIT共有中' (Presentation Kit Shared). A red box and callout point to the 'プレゼンKIT共有中' label in the '備考' column for several files.

1 一時保管 使用量

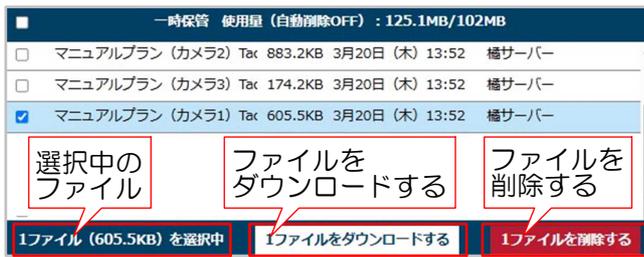
橋サーバーでレンダリングしたファイルと容量が一覧で表示されます。
内容を確認したり、チェックを入れたファイルのダウンロードや削除ができます。

1 ファイル名の左側にチェックを入れるとファイルを選択できます。
一番上のチェックボックスにチェックを入れると、表示されているファイルに一括でチェックを入れることができます。

2 プレゼンKITで共有されているファイルは備考欄に表記されます。

※削除すると共有ボードから閲覧ができなくなります。

2 選択リスト



・選択中のファイル

現在選択しているファイルの個数、ファイル容量の合計値が表示されます。

・ファイルをダウンロードする

クリックすると現在選択しているファイルをダウンロードできます。

・ファイルを削除する

クリックすると確認画面が表示されるので「ファイルを完全に削除する」をクリックすると削除されます。

※削除後は復元できません。



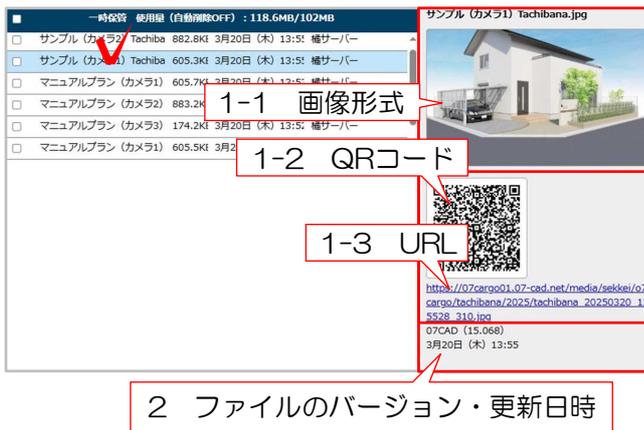
※削除をしたくない場合は、右上の×をクリックし確認画面を閉じてください。

※CADの画面右側「レンダリング一覧」で「橋サーバー」と表示されているファイルがO7Cargoの「一時保管」に保管されているファイルになります。

※ファイルを削除すると「レンダリング一覧」からも削除されます。



3 プレビュー



ファイル名をクリックすると画面右側に「画像形式」「QRコード」「URL」の3タイプで内容が表示されます。

1-1 画像形式

保管ファイルの内容を視覚的に確認できます。

1-2 QRコード

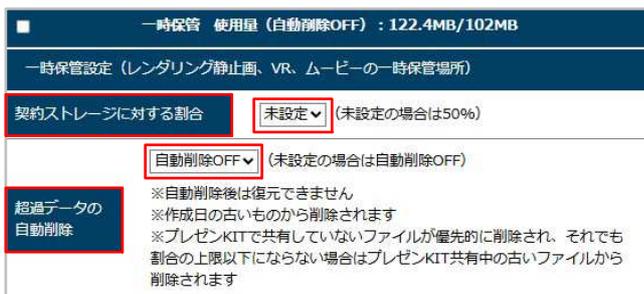
保管ファイルはすべて自動でQRコード化されます。QRコードはスマートフォンで直接読み取ったり、メールなどで添付送信ができます。読み取ったQRコードは「画像形式」で内容が表示されます。

1-3 URL

保管ファイルはすべて自動でURL化されます。URLをクリックすると、大きな「画像形式」で内容が表示されます。また、メールなどで添付送信することもできます。

2 CADファイルの場合、ファイル作成時に使用したCADのバージョンとファイル保管日時が表示されます。

4 一時保管設定



・契約ストレージに対する割合

全体の契約容量の内、どのくらい「一時保管」に割り当てるかを10%単位で指定ができます。

未設定の場合は契約容量の50%が割り当てられます。残り50%は「ファイル保管庫」に割り当てられます。

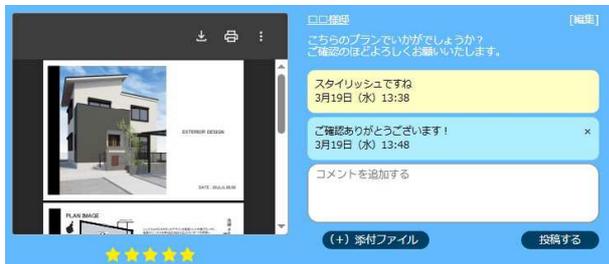
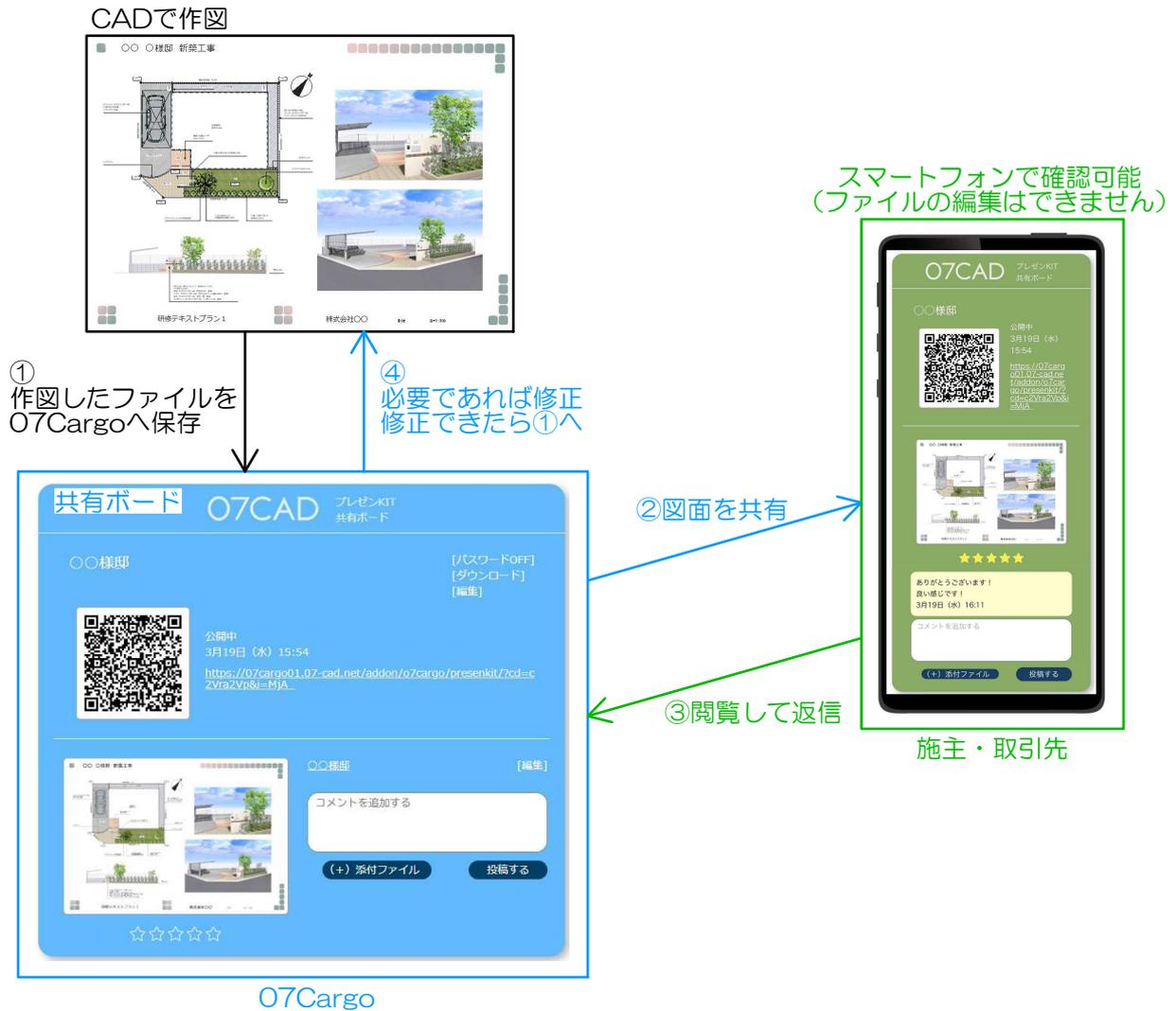
・超過データの自動削除

「自動削除ON」に設定すると、一時保管に割り当てられた容量を超えた場合に古いファイルから随時自動で削除されます。プレゼンKITで共有していないファイルから優先的に削除されますが、容量が上限以下にならない場合はプレゼンKIT共有中の古いファイルも削除されます。

※削除後は復元できません。

プレゼンKIT

施主側や取引先企業と提案図面や見積書を共有することができます。
ネット環境があれば情報を共有できるので、非対面でも円滑に打合せを進めることが可能です。



施主側・取引先とは「共有ボード」に資料をアップロードして、コメントを入力してやり取りができます。



施主側・取引先の画面では共有ボードで共有されたファイルに対して、☆を付けて評価もできます。

画面構成【プレゼンKIT】

プレゼンKITの画面です。「共有ボード」を作成し、施主側・取引先へ共有します。
共有ボードはQRコードもしくはURLで閲覧ができますので、ネット環境があればやり取りが可能です。



共有中 (公開)

作成中 (非公開)

1 共有ボードの追加

「共有ボード追加」をクリックすると、共有ボードを作成することができます。
中央に表示されている画面が共有中の情報になります。
共有中（公開）は青色で表示されます。
作成中（非公開）は灰色で表示されます。
非公開の時はQRコード・URLが表示されません。

2 共有ボードの切り替え

「共有ボード追加」の左側に共有ボード名が表示されます。共有ボードが複数ある場合はクリックして切り替えることができます。

共有ボード名が青色の場合は共有中になっています。



共有中 (公開)

作成中 (非公開)

3 共有ボードの編集

1



1 共有ボードの編集ができます。

・公開チェック

チェックを入れると、共有ボードが公開された状態になります。

・通知を受ける担当者

担当者の名前を選びチェックを入れると、共有ボードに書き込みがあった場合メールに通知が届きます。

担当者はホーム画面のマスター設定より設定ができます。メールアドレスの入力をしておくと「通知を受ける担当者」の下に表示されます。

・削除する

チェックを入れて保存をすると、共有ボードが削除されます。

※削除後は復元できません。

2



2 パスワードON/OFF

パスワードをONにすると、QRコードもしくはURLを読み取った上でパスワードを入力した場合のみ共有ボードを閲覧することができます。

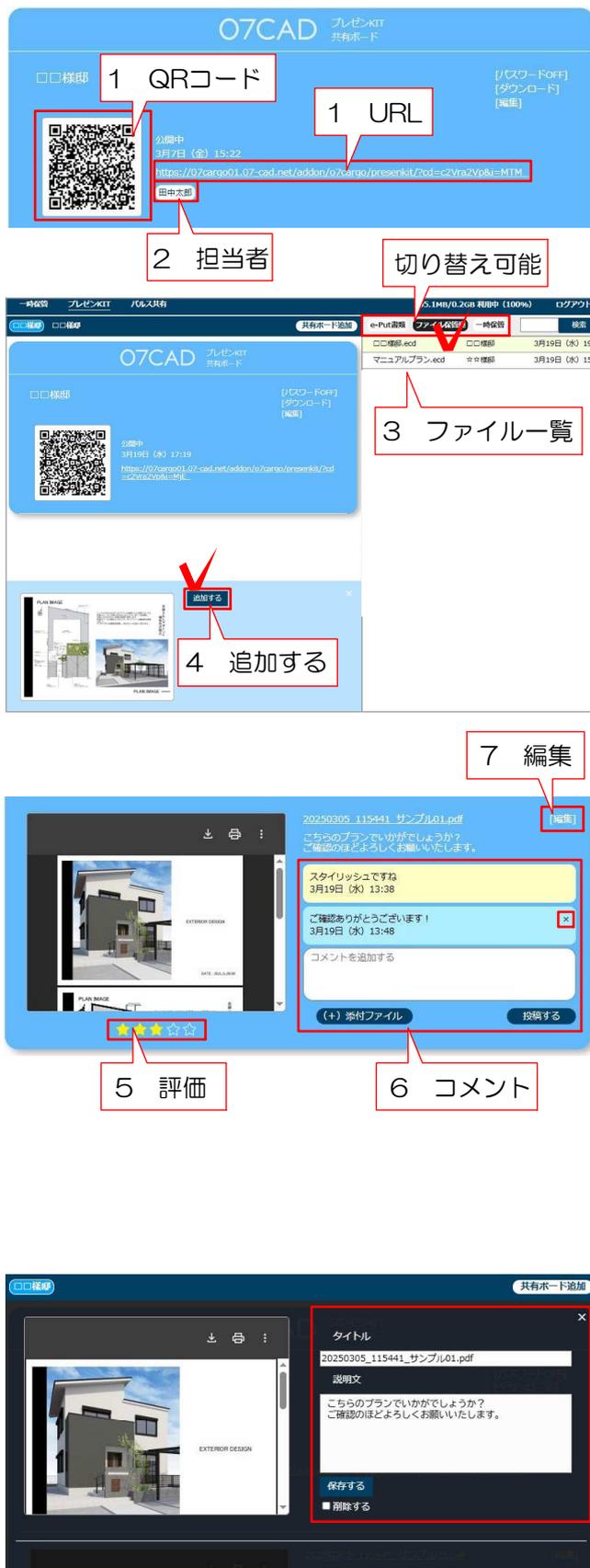
パスワードは自分で入力して決定するか、自動生成でランダムに作成して決めることができます。

3



3 ダウンロードをクリックすると、共有ボードでやり取りしたコメント共有ボードにアップロードされたデータを一括でダウンロードできます。

4 共有ボード



1 QRコードを読み取るか、URLをクリックすると、施主側・取引先の視点で共有ボードを確認することができます。

2 施主側・取引先から共有ボードに反応があれば表示されている担当者のメールに通知が入ります。担当名は先方からは見えません。

3 画面右側にこれまでにアップロードされたファイルが一覧で表示されます。e-Put書類・ファイル保管庫・一時保管をそれぞれクリックして画面を切り替えられます。

※橋サーバーでレンダリングをしたり、VRを作成したりするとO7Cargoに保存されます。※選択している物件の中に入っているファイルは黄色で表示されます。

4 「追加する」をクリックすると共有ボードにファイルを追加できます。

5 施主側・取引先から評価があれば黄色の☆が表示されます。この画面で評価を付けることはできません。

6 コメントを入力してやり取りができます。自分：水色 施主側・取引先：黄色で表示されます。「添付ファイル」をクリックし、資料を添付することもできます。写真を見せてイメージを伝えたい場合は資料を添付ください。×をクリックするとコメントを削除できます。

7 編集をクリックすると添付したファイルのタイトル・説明文を変更できます。タイトルは変更しても、ファイル保管庫に保存されているファイル名は変わりません。

「削除する」にチェックを入れ「保存する」をクリックすると添付されたファイルが削除されます。

※削除後は復元できません。

※編集しない場合は、右上の×をクリックし確認画面を閉じてください。



6 「公開チェック」にチェックを入れます。通知を入れておきたい場合は、担当者を選びチェックを入れます。

※担当者が表示されない場合は、ホーム画面のマスター設定から担当者のメールアドレスを入力してください。



詳細説明 P36

7 保存するをクリックして保存します。

8 共有ボードの色が青色になり、QRコードとURLが作成され公開された状態になります。パスワードが必要な場合は設定をします。



詳細説明 P17

共有ボードを施主側へ共有

施主側へQRコード、もしくはQRコードの右側に表示されているURLを共有します。

1 QRコードを右クリックし「名前を付けて画像を保存」をクリックします。保存先はデスクトップを選び保存をしてください。

もしくは、URLを右クリックし「リンクのコピー」をクリックします。

2 お使いのメールアプリを開きます。

※各種SNS等も可能です。

メールにQRコードの画像を添付します。

URLの場合は、メールの本文で右クリックし「貼り付け」をクリックします。

※パスワードの設定をした場合はあわせて入力し、相手へ通知ください。

3 送り先のアドレス、本文を入力して送信します。先方はQRコードを読み取るか、URLをクリックすると確認できます。

※次のページでは施主側・取引先へ向けての使い方・解説になります。必要であれば印刷してお渡しください。



メール（アプリの種類により画面は異なります）



共有ボードを閲覧する方法

The screenshot shows the O7CAD shared board interface. At the top, it says '07CAD プレゼンKIT 共有ボード'. Below that, there's a QR code and a link: 'https://07cargo01.07-cad.net/addon/o7cargo/presenkit/?cd=c2Vra2Vp&i=MTM'. The main content area is divided into three sections: 1. プレビュー (Preview) showing a 3D rendering of a house with 'EXTERIOR DESIGN' text. 2. 資料の確認 (Check materials) showing a file named '20250305_115441 サンプル01.pdf' with a description: 'こちらのプランでいかがでしょうか? ご確認のほどよろしくお願いたします。' and two comments: 'スタイリッシュですね 3月19日 (水) 13:38' and 'ご確認ありがとうございます! 3月19日 (水) 13:48'. 3. コメント (Comments) with a text input field and a '投稿する' (Post) button. There are also star ratings and a '添付ファイル' (Attach file) button.

The screenshot shows the O7CAD password input screen. It has a header '07CAD プレゼンKIT 共有ボード' and a 'パスワード' (Password) input field with an 'OK' button below it.

The screenshot shows the O7CAD preview screen with a star rating highlighted. The star rating consists of five stars, with the first four filled and the fifth empty. A red checkmark is placed over the stars.

The screenshot shows the O7CAD comment input screen. It has a text input field and a '投稿する' (Post) button. The '投稿する' button is highlighted with a red checkmark.

2 資料の確認

1 プレビュー

3 評価

4 コメント

QRコードを読み取る、またはURLを開くと、上記のような緑色の画面が表示されます。
※パスワード入力画面が表示された場合は、通知されたパスワードを入力ください。

- 共有された資料を確認できます。
- 資料を大きく確認したい場合はこちらをクリックします。ファイル名の下に資料についての説明文が表示されます。
※説明文がない場合は表示されません。
- ☆を付けて五段階で評価ができます。共有された資料を確認して評価をしましょう。
- コメントを入力してやり取りができます。自分：黄色 相手：水色で表示されます。

「添付ファイル」をクリックして、資料を添付することもできます。写真を見せてイメージを伝えたい場合は資料を添付ください。

【注意！！】

「投稿する」をクリックすると相手に送信されます。投稿した後はコメントの内容を編集したり削除することが出来ないので、ご注意ください。

VRデータを作成する方法

O7CargoにVRデータを保存する方法と、O7CargoでVRを確認する方法を解説します。

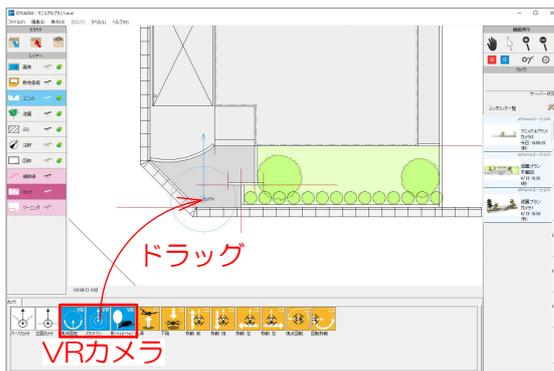


VRレンダリングとは・・・
自由に視線を動かして見ることができる
イメージを作成する機能です。

【VRデータ共有のメリット】

- ・スマートフォンやiPadなどのタブレット端末で手軽にイメージを見せることができます。
- ・QRコードも同時に作成できます。
- ・チラシや提案資料に貼り付けてお施主様にスマートフォンでご覧いただくことも可能です。
- ・360° 動くイメージをお見せして他社と差をつけたプレゼンができます。

1-1



1 VRを作成する手順

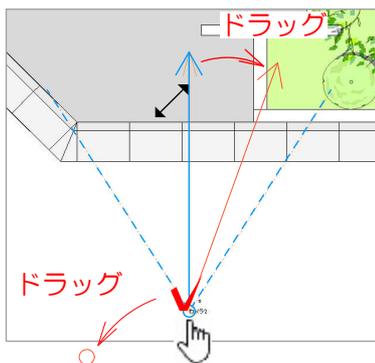
VRの作成はCADより行います。

1-1 カメラレイヤーを選択し、VRカメラを配置します。

カメラの位置と角度を調整します。

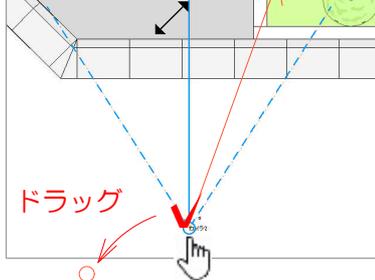
- → 自分が立つ位置
- 矢印の先 → 見たいものがある場所
- 矢印の方向 → 見る方向
- → 視野範囲

1-2

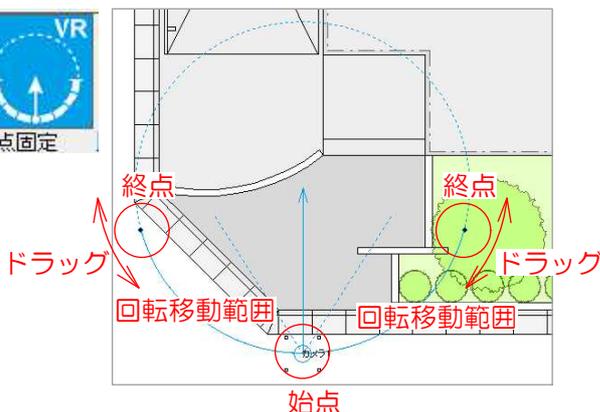


1-2 カメラの○にカーソルを合わせ、になりましたら、ドラッグでカメラの位置を合わせます。

1-3



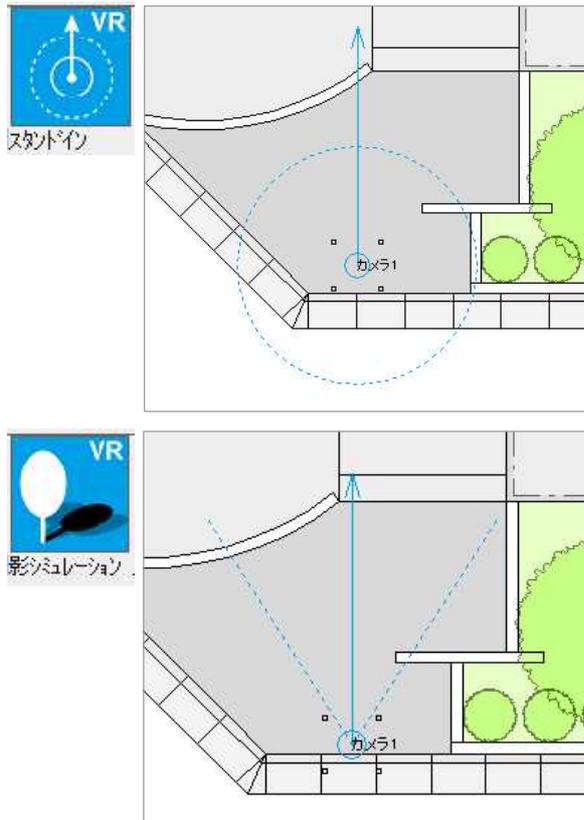
1-3 カメラの矢印の先にカーソルを合わせます。になりましたら、ドラッグして矢印の先を見たい方向へ伸ばします。矢印の先を伸ばすと視野範囲が広がります。



【視点固定】

矢印の先（対象物）中心に周囲を回ります。
外周から回りながら見渡せることで建物とエクステリアの配置関係や広さが伝わり、各エリアの繋がりや動線が視覚的に確認でき、暮らしやすさをイメージしやすくなります。

終点をドラッグし回転範囲を変更できます。



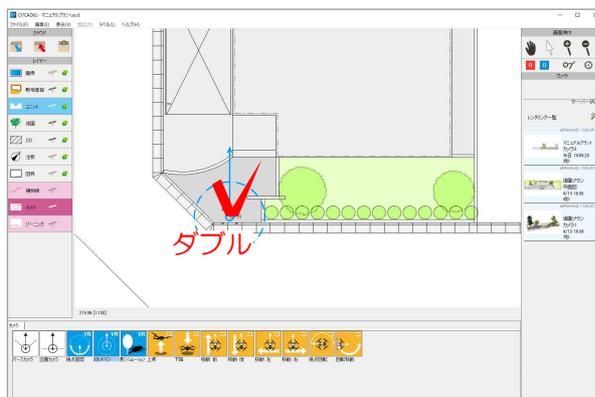
【スタンドイン】

カメラの位置から360°を見回します。
VRゴーグルを使用できます。
施主側が自ら操作しながら体感できる為、まるで実際にその空間にいるような臨場感がリアルに伝わります。
これにより、完成後の姿が具体的にイメージしやすくなり、納得感と決断力が一層高まる効果的な手法です。

【影シミュレーション】

視点は動かさず、影が動きます。
時間経過による影の動きを見せることで、日差しと影のバランスが直感的に把握でき1日の暮らしの変化をリアルに想像しやすくなります。

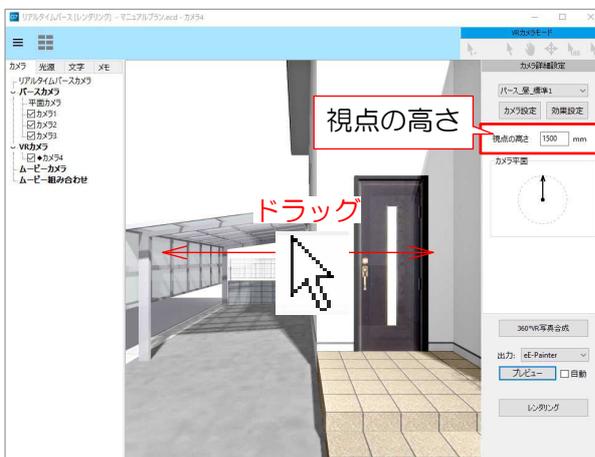
1-4



1-4 配置したカメラをダブルクリックします。

リアルタイムパースに選択したカメラのプレビューが表示されます。

1-5

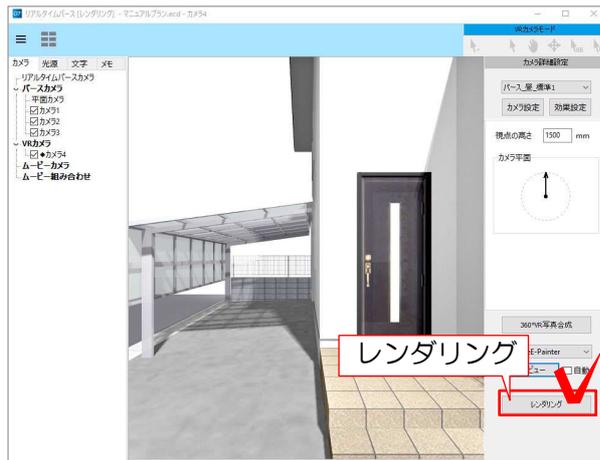


1-5 視点の高さの調整をします。

※視点固定VRの場合、視点・注視点の高さ、回転範囲が指定できます。
※影シミュレーションVRの場合、視点・注視点の高さ、所在地、設定日が指定できます。

1-6 ドラッグで視点を動かし確認します。

2-1



2 レンダリング・07Cargoへ送る

2-1 画面右下の「レンダリング」をクリックします。

「レンダリング出力設定」が表示されます。

2-2



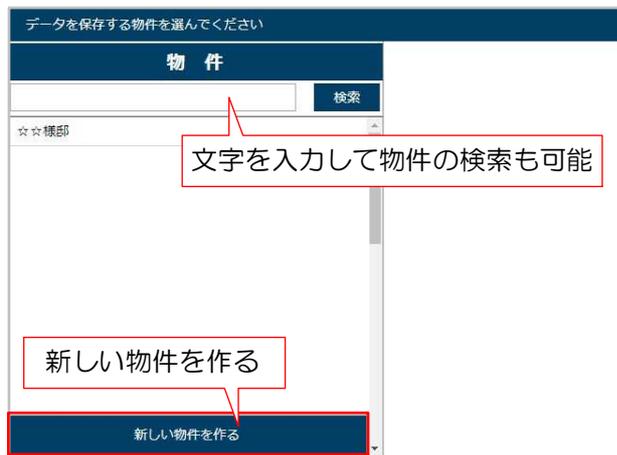
2-2 「eE-Painter」にチェックを入れ、「e-Board / 07Cargo へ保存」にチェックを入れ「次へ」をクリックします。

※橋(オプションソフト)をご導入頂いてる方は橋サーバー、橋ローカルも選択できます。

橋サーバーを選択している場合は、「e-Board / 07Cargo へ保存」にチェックが必ず入った状態になります。

07Cargoの物件の一覧画面が表示されます。

2-3



2-3 新しく物件を作る場合は「新しい物件を作る」をクリックします。
※保存する物件が既にある場合は、物件の名前をクリックします。

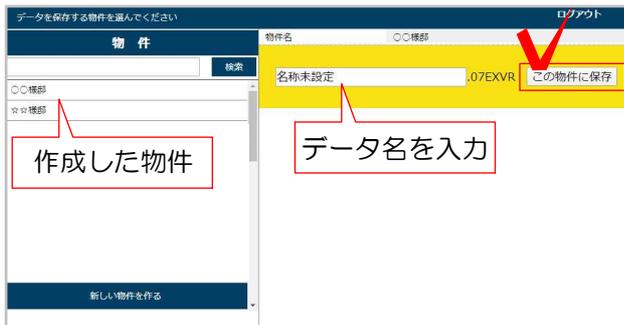
物件を新しく作る場合は入力画面が表示されます。

2-4



2-4 物件名を入力し作成を選択します。

2-5



左側に作成した物件が表示されます。

2-5 保存するデータ名を入力し、「この物件に保存」を選択します。

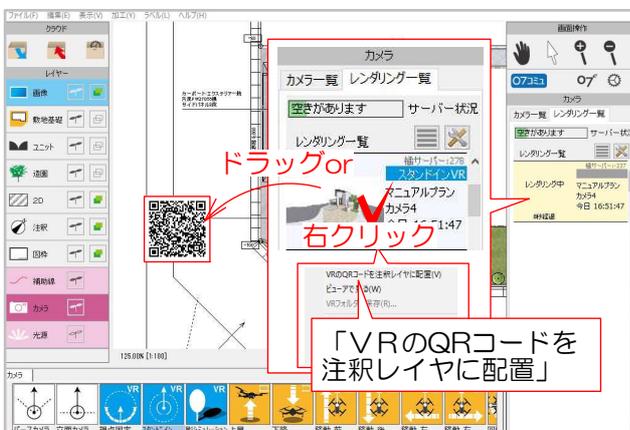
2-6



レンダリング中は、カメラレイヤーの画面右側のレンダリング一覧で「レンダリング中」と表示されます。
レンダリングが完了すると、パース画像が表示されます。

2-6 パース画像をダブルクリック、もしくは右クリックし「ビューアで見る」からVRを確認できます。

2-7



2-7 パース画像を用紙に向かってドラッグ、もしくは右クリックし「VRのQRコードを注釈レイヤに配置」でQRコードを配置します。

QRコードが図面上(注釈レイヤ)に配置されます。

こちらのQRコードをスマートフォンなどで読み取るとVRが閲覧できます。

3 VRデータを07Cargoで見る方法

3-1

3-1 ブラウザで07Cargoを開きます。

3-2



3-2 画面左の「物件」から、VRが保存された物件をクリックします。データ名が「00.07EXVR」の場合、VRデータになります。こちらをクリックします。

3-3



3-3 一時保管の画面に移ります。VRのデータを改めてクリックすると右側にVRの確認画面、QRコード、URLが表示されます。URLをクリックします。

※スマートフォンで確認する場合はQRコードを読み取ってください。

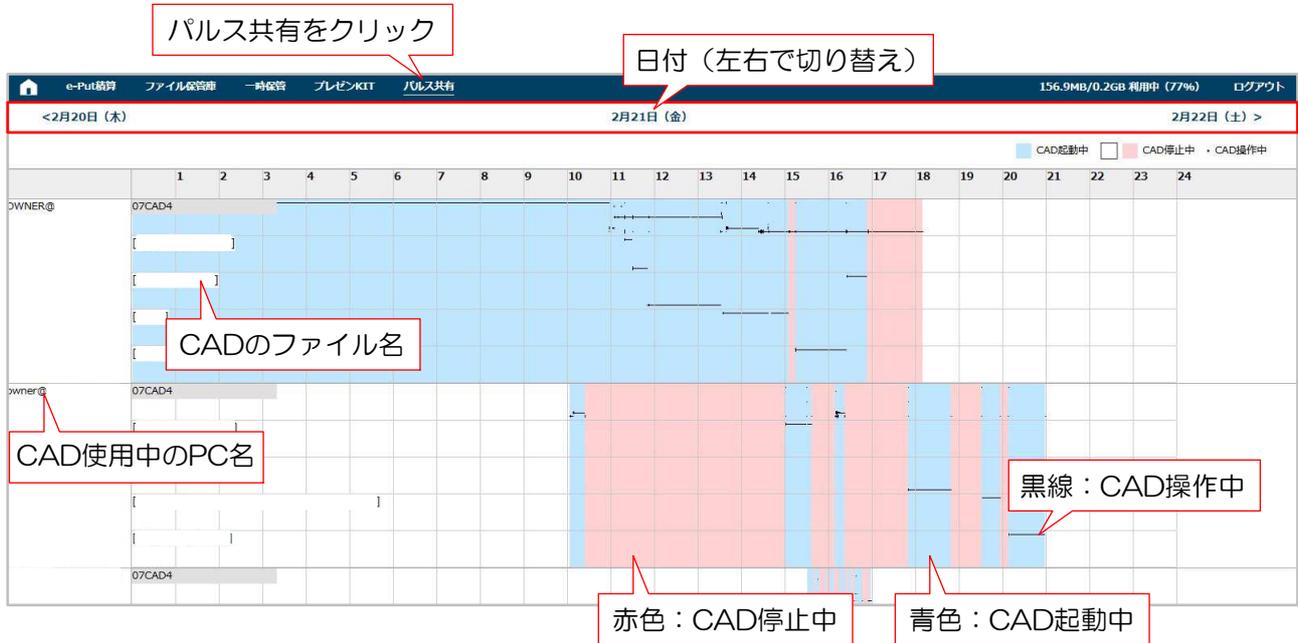
3-4



3-4 VRが表示されます。左右にドラッグしてイメージパースを確認します。

画面構成【パルス共有】

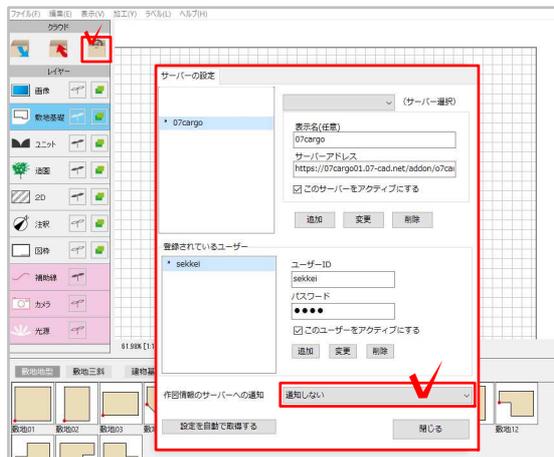
パルス共有の画面構成です。
 どのPCでいつCADを操作していたのか、操作中の情報をO7Cargoで確認することができます。
 テレワーク・遠隔地のオペレーターの作業状況も共有・管理できます。



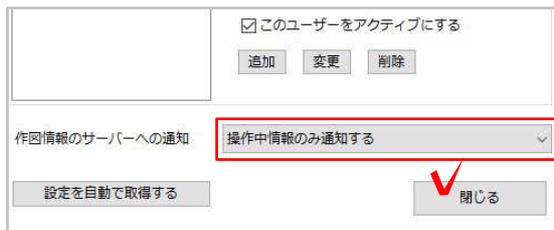
パルス共有を利用する為のCADの設定

1 CAD画面左上の設定ボタンをクリックし、サーバー設定の画面を開きます。

※O7Cargoの「サーバーの設定」を先に設定しておく必要があります。



2 サーバー設定画面下の「作図情報のサーバーへの通知」の右側の灰色のタブをクリックします。



3 「操作中情報のみ通知する」を選択します。

※通知しないになっている場合はパルス共有の画面には何も表示されません。



07Cargo

見積作成

e-Putご使用の注意点

【重要】

以下の点をご理解の上、e-Putをご利用ください。

- ・ O7CADで作成した図面から拾い出された面積や長さは作図データから出されたものです。
現況数値とは異なりますので、その点を考慮した上で数値の調整を行ってください。
- ・ 拾い出し時に入力されている商品の価格は、e-tokoカタログ・建材サーチに掲載されているメーカーカタログの定価価格です。
こちらはリアルタイムでの価格、内容更新をしておりませんので、あくまで目安としてご利用ください。見積ご提出前に必ずご自身で金額確認をお願いいたします。
- ・ 金物商品の付帯金具の項目、個数は商品によって異なります。
e-Putではその情報を含んでおりません。
実際の必要金具項目、及び個数はご自身でご確認の上、お見積作成をお願いいたします。

テキスト内にある下図の表記は、参照マニュアルの案内です。必要に合わせて参照してください。



テキスト

詳細説明 P47～



テキストのP47～に載っています。



Webマニュアル

参考 [拾い出し・計測]を検索



webマニュアルで[拾い出し・計測]を検索
しますと、参照マニュアルが表示されます。

作業手順【O7Cargoのみで作業する場合】

見積書作成までの流れです。

物件作成： O7Cargoを開き、物件を作成します。

O7Cargo

新しい物件を作る

1 「物件」を作成

2 マスター設定・環境設定

見積： e-Putで見積をします。

O7Cargo【e-Put積算】

□名称未設定.ecd

グループ	名称	数量	単位	見積単価	見積金額	税率	仕様書	積利率
棟1	コンクリート 巻上上げ	109.092	m2	0	0			
棟1	下地 ワイヤメッシュ	109.092	m2	0	0			
棟1	下地 砕石強盤	109.092	m2	0	0			

1 取込み・反映

・ マスター台帳 ・ 捨い出しデータ

2 見積設定

・ 原価・単価設定 ・ 諸経費設定
 ・ 書き換え ・ 値引き設定
 ・ 情報追加 ・ 消費税設定

品名	数量	単価	金額	税率	仕様書	積利率
コンクリート	109.092	0	0			
下地 ワイヤメッシュ	109.092	0	0			
下地 砕石強盤	109.092	0	0			

3 印刷

No. : 20250342-5 Page: 1

御見積書

発行日: 2025年3月21日

〇〇様 御中

下記の通り御見積り申し上げます。

見積金額 (税込) ¥4,983,475-

10%対象 税抜金額 ¥4,530,431- 消費税 ¥453,044-

書類作成： 契約が決まったら、契約書や請求書を作成します。

O7Cargo【e-Put積算】

1 書類作成

・ 契約書 ・ 実行予算書
 ・ 請求書 ・ 仕様書
 ・ 工程表 ・ 注文書・請書

工事請負契約書

工事請負契約書

金額合計 **¥62,920-** (税込)

10%対象 税抜金額 ¥57,200- 消費税 ¥4,720-

2 印刷

No. : 20250342-2-88 発行日: 2025年4月3日

請 求 書

展示会 御中

下記の通り御請求申し上げます。

請求金額 (税込) ¥500,000-

10%対象 税抜金額 ¥454,545- 消費税 ¥45,455-

新資金 支払期限: 2025年4月10日

07Cargoの開き方

07Cargoを開く（見る）方法です。

また、CADファイルはオーセブンCADから開いて編集することができます。

推奨ブラウザ



1 ブラウザから開く

1 インターネットブラウザを開き、07Cargoのアドレスを入力し、Enterキーを押します。
※Google Chrome推奨です。

2 ブラウザでログイン画面が表示されます。
ログインIDとパスワードを入力します。
ログインをクリックして開きます。

※ネット環境があればタブレット端末でも07Cargoを開けます。保存したCADファイルを画像（JPG形式）で閲覧することは可能ですが編集はできません。

2 オーセブンCADから開く

1 「ファイル」メニューをクリックし、「e-Board / 07Cargo」より、「ブラウザで開く」をクリックします。



2 ブラウザでログイン画面が表示されます。
ログインIDとパスワードを入力し、ログインをクリックして開きます。

新しい物件を作成する方法

O7Cargoの画面から物件を作成する方法です。
作成した物件の中にCADファイルを保存したり、見積書を作成することができます。

物件の作成方法

- 1 O7Cargoを開きます。
- 2 画面左側「新しい物件を作る」をクリックします。

※表示されない場合は左側の物件一覧の部分を下にスクロールしましょう。



新しい物件を作る

物件名:

- 3 物件名を入力します。
「作成する」をクリックします。

作成しない場合は右上の×をクリックします。



- 4 画面左側の物件一覧の上部に作成した物件が表示されます。

マスター設定・環境設定

ホーム画面で、e-Put積算（見積ソフト）を使用する為の設定ができます。
見積書等の書類を作成する前に設定を行います。

ホーム画面

The screenshot shows the Home screen with a navigation bar at the top containing 'e-Put積算', 'ファイル保管庫', '一時保管', 'プレゼンKIT', and 'パルス共有'. Below the navigation bar is a table of items with columns for '更新日時', '物件名', and 'データ名'. On the left side, there is a 'マスター設定' (Master Settings) dropdown menu. The menu items are: '自社設定', '担当者', '業者', '台帳', and '入力補助'. Below the menu is an '環境設定' (Environment Settings) button. Red callout boxes with numbers 1 through 6 point to these elements: 1 points to '自社設定', 2 to '担当者', 3 to '業者', 4 to '台帳', 5 to '入力補助', and 6 to '環境設定'.

6 環境設定

1 自社設定

The screenshot shows the '自社設定' (Company Settings) screen. At the top right, there is a button labeled '+新しい自社情報を追加する' (Add new company information). Below this, there is a list of settings: '担当者', '業者', '台帳', and '入力補助'. A red box highlights the '+新しい自社情報を追加する' button.

「自社設定」で自社の情報を設定します。
あらかじめ入力しておく、見積書等の書類作成時に自社の情報をそのまま記載することができます。

1 ホーム画面をクリックします。

「マスター設定」の「自社設定」をクリックし画面右側の「+新しい自社情報を追加する」をクリックします。

The screenshot shows the '新規登録フォーム' (New Registration Form) with the following fields: '社名1', '社名2', '郵便番号', '住所1', '住所2', 'TEL', 'FAX', '適格事業者登録番号', '備考1', '備考2', '備考3', '備考4', '備考5', and 'ロゴ'. There are two red boxes: one around '社名2' and '住所2' with the text '※無い場合は入力不要' (Not required if none), and another around the 'ロゴ' field with the text 'ファイルの選択 ファイルが選択されていません' (File selection File is not selected). At the bottom, there is a note '(項目を入力して「新規登録」ボタンで保存されます)' (Enter items and save with the 'New Registration' button) and a '新規登録' button.

2 「新規登録フォーム」が表示されます。

自社の情報を入力します。

社名1：社名を入力します。

社名2：社名が複数あれば入力します。

（無い場合は入力不要）

郵便番号：郵便番号を入力します。

住所1：住所を入力します。

住所2：他の場所にも事務所や支店があれば入力します。（無い場合は入力不要）

TEL：電話番号を入力します。

FAX：FAX番号を入力します。

適格事業者登録番号：登録番号を入力します。

備考1~4：特記事項があれば入力します。

ロゴ：作成した書類に自社のロゴを入れることができます。

【印刷後の見積書】

No.: 20250342-5 Page: 1

御 見 積 書

発行日: 2025年3月21日

〇〇様 御中

下記の通り御見積り申し上げます。

見積金額 (税込) ￥4,983,475-

10%対象 税抜金額 ￥4,530,431- 消費税 ￥453,044-

工事名称 新築外構工事
 工事場所 埼玉県さいたま市
 工事期間 契約後打ち合わせ
 有効期限 発行日より2か月
 支払条件 現金・前払
 地中から埋設物等が現れた場合、別途追加工事が発生する可能性があります。その際は別途御見積り致します。詳細は、お打ち合わせで決めていただきます

オーセブン株式会社

〒338-0004
埼玉県さいたま市中央区本町西6丁目4番14-07デジタルスタジオ

TEL: 048-741-8177 FAX: 048-840-1579
登録番号: T123456789012
担当: 田中太郎

入力した自社情報は、見積書の右下に表示されます。

オーセブン株式会社

〒338-0004
埼玉県さいたま市中央区本町西6丁目4番14-07デジタルスタジオ

TEL: 048-741-8177 FAX: 048-840-1579
登録番号: T123456789012
担当: 田中太郎

新規登録フォーム 新規登録モードを出す

社名1	オーセブン株式会社
社名2	
郵便番号	338-0004
住所1	埼玉県さいたま市中央区本町西6丁目4番14-07デジタルスタジオ
住所2	
TEL	048-741-8177
FAX	048-840-1579
連絡事業者登録番号	T123456789012
備考1	
備考2	
備考3	
備考4	
備考5	
ロゴ	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px;">ファイルを選択</div> <input type="text" value="ロゴ.png"/> </div>

(項目を入力して「新規登録」ボタンで保存されます) 新規登録

3 ロゴを設定する場合は、ロゴ画像をあらかじめデスクトップ等に用意しておきます。「ファイルを選択」をクリックし、ロゴ画像を選択後「開く」をクリックで追加できます。(無い場合は登録不要)

4 「新規登録」をクリックで設定完了です。自社情報を複数登録しない場合は「新規登録モードを出す」をクリックします。

プレゼンKPI ハード共有 213.8MB/0.2GB 利用中 (104%) ログアウト

社名1	社名	郵便	住所1	住所	TEL	FAX	連絡	備考	備考	備考	備考	備考	備考	ロゴ
↑ ↓	オーセ	33	埼玉県		048-	048-	T123							編集
	オーセ	33	埼玉県		048-	048-	T123							編集

+ 新しい自社情報を追加する

5 自社情報を複数登録した場合は、社名左側の↑↓を上下にドラッグで、登録情報の表示順を変更できます。設定を編集したい場合は右側の「編集」をクリックします。

編集フォーム 編集モードを出す

社名1	オーセブン株式会社
社名2	
郵便番号	338-0004
住所1	埼玉県さいたま市中央区本町西6丁目4番14-07デジタルスタジオ
住所2	
TEL	048-741-8177
FAX	048-840-1579
連絡事業者登録番号	T123456789012
備考1	
備考2	
備考3	
備考4	
備考5	
ロゴ	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-left: 10px;">削除</div> </div>

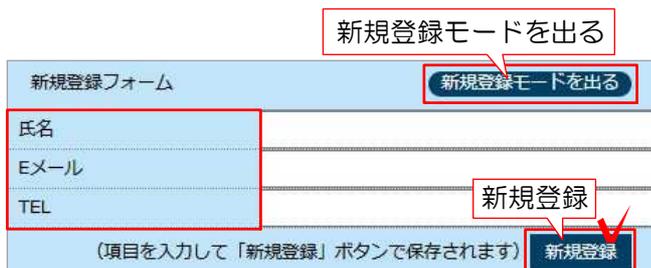
(内容を書き換えると、自動保存されます) 削除

6 「編集フォーム」が表示されますので、変更したい部分を書き換えます。
※内容を書き換えた時点で自動保存されます。戻すことはできないのでご注意ください。

7 編集できましたら、右上の「編集モードを出す」をクリックしフォームを閉じます。

自社設定を削除したい場合は右下の「削除」をクリックします。
※削除後は復元できません。

2 担当者



【見積書作成画面】



「担当者」で自社担当者の情報を設定します。あらかじめ入力しておく、見積書等の書類作成時に担当者の情報をそのまま記載することができます。

1 ホーム画面をクリックします。「マスター設定」の「担当者」をクリックし画面右側の「新しい担当者を追加する」をクリックします。

2 「新規登録フォーム」が表示されます。自社担当者の情報を入力します。

氏名：担当者の名前を入力します。
Eメール：メールアドレスを入力します。
TEL：電話番号を入力します。

3 「新規登録」をクリックで設定完了です。担当者を複数登録しない場合は「新規登録モードを出る」をクリックします。

※入力した担当者の情報は、見積書作成画面で表示され選択できます。

4 担当者を複数登録した場合は、担当者名左側の上下矢印を上下にドラッグで、担当者の表示順を変更できます。担当者を編集したい場合は右側の「編集」をクリックします。

5 「編集フォーム」が表示されますので、変更したい部分を書き換えます。
※内容を書き換えた時点で自動保存されます。戻すことはできないのでご注意ください。

6 編集できましたら右上の「編集モードを出る」をクリックしフォームを閉じます。

担当者を削除したい場合は右下の「削除」をクリックします。
※削除後は復元できません。

3 業者



「業者」で取引先の業者を設定します。
あらかじめ入力しておくこと、見積書発注等の書類作成時に業者の情報をそのまま記載することができます。

1 ホーム画面をクリックします。
「マスター設定」の「業者」をクリックし画面右側の「+新しい業者を追加する」をクリックします。

2 「新規登録フォーム」が表示されます。
業者の情報を入力します。

宛名(社名・氏名)：社名・氏名を入力します。
宛名(部署名など)：部署名を入力します。
敬称など：敬称を入力します。
※入力が無い場合注文書に敬称が表示されません。

読み仮名：読み仮名を入力します。
宛先(郵便番号)：郵便番号を入力します。
宛先(都道府県・市区町村)：都道府県と市区町村を入力します。
宛先(番地ほか)：番地以降を入力します。
TEL：電話番号を入力します。
FAX：FAX番号を入力します。
Eメール：メールアドレスを入力します。
備考：特記事項があれば入力します。
業者コード：業者を識別するための番号を入力します。管理しやすいように連番で入力します。

【業者コード入力例】

宛名(社)	宛名	敬	読み	宛	宛先(都)	宛先	TE	業者	業者
↑ 間屋澤田								001	編集
↑ 林造園								002	編集
↑ 志賀測量								003	編集
↑ 萩原造園								004	編集
↑ 小谷建設		御						005	編集
↑ 水道屋		御						006	編集
↑ 佐藤造園		御						007	編集
								008	

3 「新規登録」をクリックで設定完了です。
業者を複数登録しない場合は「新規登録モードを出る」をクリックします。

4 台帳

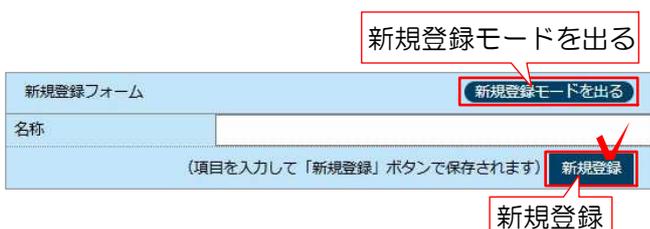


よく使用する項目は「台帳」に登録しておくで見積作成時に名称や価格を呼び出して使用できます。

※「07Cargoエクステリア台帳」ではいくつかの項目と金額が入力されており、編集することもできます。

新たに台帳を作成する場合は下記の手順になります。

1 ホーム画面をクリックします。
「マスター設定」の「台帳」をクリックし画面右側の「+新しい台帳を追加する」をクリックします。



2 「新規登録フォーム」が表示されます。
台帳の名称を入力します。

3 「新規登録」をクリックで設定完了です。
台帳を複数登録しない場合は「新規登録モードを出る」をクリックします。



4 台帳を複数登録した場合は、台帳名左側の上下矢印を上下にドラッグで、台帳の表示順を変更できます。

台帳を編集したい場合は右側の「編集」をクリックします。

台帳を削除したい場合は右側の「削除」をクリックします。

※削除後は復元できません。

編集フォーム

名称 07Cargoエクステリア台帳

編集モードを出る

分類名 共通工事

分類されていない台帳項目

- 共通工事
- 境界工事
- 駐車場工事
- アプローチ工事
- 庭工事

新しい分類を作る インポート エクスポート

グループ	名称		数量	単位	見積単価	見積金額	税率	仕様書	相利率
種別	規格	備考			実行単価	実行金額	税率	業者	相利金額
→	仮設工事	水盛溜り方 位置・高さ出し		式	10,000			<input type="checkbox"/>	
→	仮設工事	養生		式	7,000			<input type="checkbox"/>	
→	仮設工事	現場養生・清掃		式	5,000			<input type="checkbox"/>	
→	仮設工事	重機回送費		式	35,000			<input type="checkbox"/>	
→	仮設工事	コンボ		式	30,000			<input type="checkbox"/>	
→	仮設工事	仮設材運搬		式	0			<input type="checkbox"/>	
→	仮設工事	その他仮設工事		式	0			<input type="checkbox"/>	
→	仮設工事			式	0			<input type="checkbox"/>	
→	設備工事	柵高さ調整		個	3,000			<input type="checkbox"/>	
→	設備工事	給排水管		式	2,000			<input type="checkbox"/>	
→	設備工事	その他設備工事		式	0			<input type="checkbox"/>	
→	設備工事			式	0			<input type="checkbox"/>	

分類

項目

台帳の分類

分類をおおまかに分けておき、分類の中の項目で金額や工事の名称等を設定できます。

新しい分類を作る：新規の分類を作成できます。項目ごとに分けて作成します。分類名の右側の×をクリックで削除できます。
※削除後は復元できません。

インポート：07Cargoでエクスポートした台帳や、e-Board版で作成しエクスポートした台帳を取り込むことができます。

・e-Board版で作成した台帳を取り込む場合「e-Put (e-Board版) 2023」を選択します。複数の価格設定をされていた場合はご希望の「価格」をお選びください。

※複数の価格を同時に取り込むことはできません。1つずつ取込みをしてください。

・07Cargoで作成した台帳を取り込む場合e-Put (07Cargo版) を選択します。「価格」は表示されません。

共通工事

境界工事

新しい分類を作る インポート エクスポート

csvファイルを選択 バージョンを選択

CSV選択 ファイルを選択 選択されていません バージョン e-Put(e-Board版) 2023

キャンセル インポートする

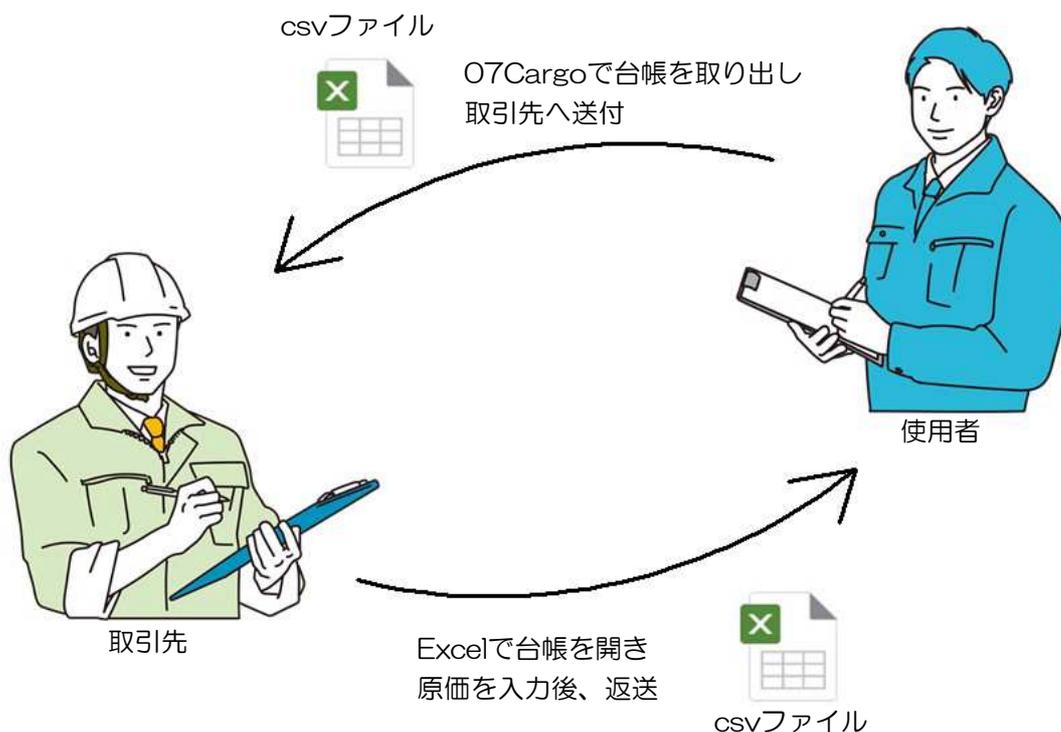
【e-Board画面】

種別(工事)	項目	単位	材料設定	原価設定	仕入業者	見積価格	材料原価	標準原価	見積単価	材料原価	合計原価
舗装工事	土留コンクリート	m2	0	1	新設舗装	0	1000	0	0	2100	6000
					修繕設計	0	5000	0	0	6000	6000
材料費	砂利	m2	0	1	江戸ブロック	0	1000	0	0	1200	6000
					カントウホーム	0	8000	0	0	8000	7200
仮設工事	仮設トイレ	個	0	2	カントウホーム	0	8000	0	0	0	8000
					フチノ葉事	0	0	0	0	0	120000
					カントウホーム	0	8000	0	0	0	100000
						0	0	0	0	0	120000
						0	0	0	0	0	0
						0	0	0	0	0	0
						0	0	0	0	0	0
						0	0	0	0	0	0
						0	0	0	0	0	0
						0	0	0	0	0	0
						0	0	0	0	0	0



エクスポート：取り出したい分類にチェックを入れ「エクスポート」をクリックしますと作成した台帳をcsvファイルで取り出すことができます。取り出した台帳は「インポート」でO7Cargoに再度取り込みできます。

【使用例】



【O7Cargoで台帳をエクスポートし、再度O7Cargoへインポートする場合】

商品・工事業者問わず新規取引先が増えた場合は、台帳のやり取りができます。

- 1 元になる台帳をエクスポートし、メール等で先方に送ります。
- 2 先方は台帳に原価を入力し、こちらに返送してもらいます。
- 3 台帳を受け取りましたら売価を入力し、O7Cargoを開きます。
- 4 マスター設定の「台帳」にて台帳をインポートします。
- 5 台帳を元に、見積書を作成します。

分類名 共通工事										
グループ	名称			数量	単位	見積単価	見積金額	税率	仕様書	粗利率
種別	規格	備考	実行単価			実行金額	税率	業者	粗利金額	
→ 仮設工事	水盛造り方				式	10,000		10%	<input type="checkbox"/>	
	位置・高さ出し					7,000		10%		
→ 仮設工事	養生				式	7,000		10%	<input type="checkbox"/>	
	現場養生・清掃					5,000		10%		
→ 仮設工事	重機回送費				式	35,000		10%	<input type="checkbox"/>	
	ユンボ					30,000		10%		

台帳の項目

グループ	名称			数量	単位
種別	規格	備考			
→ 門柱					個
→ 組積工事	ブロック積工事				
→ 門柱					枚
→ タイル工事	タイル貼り				
→ 門柱					個
→ 製品:ポスト	ポスト				
→ 門柱					個
→ 製品:表札	表札				

グループ：種別違いの項目をまとめます。
 種別：工事の種類を選択します。
 名称：見積項目を入力します。
 規格：サイズや色等の項目の詳細を入力します。
 備考：追記事項があれば入力します。
 数量：数量を入力します。
 単位：単位を選択します。

見積単価	見積金額	税率	仕様書	粗利率
実行単価	実行金額	税率	業者	粗利金額
10,000		10%	<input type="checkbox"/>	
7,000		10%		
7,000		10%	<input type="checkbox"/>	
5,000		10%		
35,000		10%	<input type="checkbox"/>	
30,000		10%		

見積単価：売価を入力します。
 実行単価：原価を入力します。
 見積金額：数量と見積単価入力後表示されます。
 実行金額：数量と実行単価入力後表示されます。
 税率(上下)：税率を選択できます。
※種別や規格等を入力した後にページを更新しますと、自動で10%と入力されます。

編集フォーム 編集モード退出

名称 07Cargoエクステリア台帳

グループ	名称			数量	単位	見積単価	見積金額	税率	仕様書	粗利率
種別	規格	備考	実行単価			実行金額	税率	業者	粗利金額	
共通工事	水盛造り方				式	10,000		10%	<input type="checkbox"/>	
	位置・高さ出し					7,000		10%		
	養生				式	7,000		10%	<input type="checkbox"/>	
	現場養生・清掃					5,000		10%		
	重機回送費				式	35,000		10%	<input type="checkbox"/>	
	ユンボ					30,000		10%		
アプローチ工事	仮設材運搬				式	0		10%	<input type="checkbox"/>	
	仮設工事	その他仮設工事				0		10%	<input type="checkbox"/>	
	仮設工事				個	3,000		10%	<input type="checkbox"/>	
	仮設工事				式	0		10%	<input type="checkbox"/>	
	仮設工事				式	0		10%	<input type="checkbox"/>	

分類を改めてクリックするとページを更新できます。

仕様書：仕様書作成時に表示させたい項目にチェックをいれます。

[詳細説明 P76](#)

業者：「業者」で登録した業者を選択します。

[詳細説明 P37](#)

粗利率：％で表示されます。

[詳細説明 P48](#)

粗利金額：粗利金額が表示されます。

グループ	名称		
種別	規格	備考	
→ 門柱			
→ 組積工事	ブロック積工事		
→ 門柱			
→ タイル工事	タイル貼り		

項目を選択している場合、上に「行複製」「行削除」と表示されます。
 行複製：選択している項目を複製します。
 行削除：選択している項目を削除します。
※削除後は復元できません。

台帳の編集



「編集」をクリックで「編集フォーム」が表示されますので、変更したい部分を書き換えます。

※内容を書き換えた時点で自動保存されます。戻すことはできないのでご注意ください。

名称：台帳の名称を変更できます。

分類名：分類名を変更できます。

分類名 共通工事										
グループ	種類	規格	備考	数量	単位	見積単価	見積金額	税率	仕様書	租利率
						実行単価	実行金額	税率	業者	租利金額
仮設工事		水盛溜り方			式	10,000		10%	<input type="checkbox"/>	
仮設工事		位置・高さ出し				7,000		10%	<input type="checkbox"/>	
仮設工事		養生			式	7,000		10%	<input type="checkbox"/>	
仮設工事		現場養生・清掃				5,000		10%	<input type="checkbox"/>	
仮設工事		重機回送費			式	35,000		10%	<input type="checkbox"/>	
仮設工事		コンボ				30,000		10%	<input type="checkbox"/>	
仮設工事		仮設材運搬			式	0		10%	<input type="checkbox"/>	
仮設工事		その他仮設工事				0		10%	<input type="checkbox"/>	
仮設工事					式	0		10%	<input type="checkbox"/>	
改修工事		柵高さ調整			個	3,000		10%	<input type="checkbox"/>	
改修工事		給排水管				2,000		10%	<input type="checkbox"/>	
改修工事		その他改修工事			式	0		10%	<input type="checkbox"/>	
改修工事						0		10%	<input type="checkbox"/>	

右側の上下矢印を上下にドラッグで項目の表示順を変更できます。

左側の矢印をクリックしますと、ボタンの形が上下矢印に切り替わります。項目の中で細かく入力ができます。

編集モードを出る

一式工事の詳細（内訳）を入力したい場合に活用できます。（無い場合は入力不要）

上下矢印をクリックで閉じることができます。

編集できましたら右上の「編集モードを出る」をクリックしフォームを閉じます。

5 入力補助

【見積書作成画面】

グループ	種別	規格	名称	備考	単位	見積単価	見積金額	税率	仕税率	増利率	増利金額
コンクリート工事	砕石工事	木砕			m	700		10%			
コンクリート工事	作業目地				式	500		10%			
コンクリート工事	砕石見切り				敷	3,000		10%			
コンクリート工事	その他アルミ工事				板	2,000		10%			
金物工事	アルミ取具				本	3,000	3,000	10%			16.66%
金物工事	配線工事				丁	2,500	2,500	10%			50%
電気工事	架台工事				台	0		10%			
電気工事	架台工事				分	0		10%			
電気工事	架台工事				m	0		10%			
電気工事	架台工事				m2	20,000		10%			
電気工事	架台工事				m3	15,000		10%			
電気工事	架台工事				mm	3,000		10%			
電気工事	架台工事				kg	2,000		10%			
電気工事	架台工事				リットル	40,000		10%			
電気工事	架台工事				リットル	30,000		10%			

選択できる単位

見積書作成時に選択できる「単位」「種別」「税率」、契約書作成時に選択できる「分割請求」の一覧が表示されます。追加登録したり、編集や削除ができます。

【単位】

見積書作成画面で選択できる「単位」を追加したり、編集や削除ができます。



新しい入力補助（単位）を追加する

1 ホーム画面をクリックします。「マスター設定」の「入力補助」をクリックし「+新しい入力補助（単位）を追加する」をクリックします。



新規登録モードを出す

2 「新規登録フォーム」が表示されます。単位の名称を入力します。

3 「新規登録」をクリックで設定完了です。キャンセルする場合は「新規登録モードを出す」をクリックします。

単位の名称左側の上下矢印を上下にドラッグで、単位の表示順を変更できます。



編集モードを出す

4 単位の名称を編集したい場合は右側の「編集」をクリックします。

5 「編集フォーム」が表示されますので、変更したい部分を書き換えます。
※内容を書き換えた時点で自動保存されます。戻すことはできないのでご注意ください。

6 編集できましたら右上の「編集モードを出す」をクリックしフォームを閉じます。

単位の名称を削除したい場合は右下の「削除」をクリックします。

※削除後は復元できません。

【見積書作成画面】

行削除	行削除	グループ	名称	数量	単位	見積単価	見積金額	税率	仕書書	租利金額
			木工事		m	700		10%	<input type="checkbox"/>	
			コンクリート工事		m	500		10%	<input type="checkbox"/>	
			浮線目地		m	3,000		10%	<input type="checkbox"/>	
			コンクリート工事		m	2,000		10%	<input type="checkbox"/>	
			縁石見切り		m	3,000	3,000	10%	<input type="checkbox"/>	16.66%
			コンクリート工事	1	m	2,500	2,500	10%	<input type="checkbox"/>	50%
			その他アルミ工事		式	0		10%	<input type="checkbox"/>	
			金物工事			0		10%	<input type="checkbox"/>	
			アルミ商品			0		10%	<input type="checkbox"/>	
			金物工事		セット	0		10%	<input type="checkbox"/>	

選択できる税率

【税率】

見積書作成画面で選択できる「税率」を追加したり、編集や削除ができます。

新しい入力補助（税率）を追加する

1 ホーム画面をクリックします。「マスター設定」の「入力補助」をクリックし「+新しい入力補助（税率）を追加する」をクリックします。

新規登録モードを出る

新規登録モードを出る

新規登録

新規登録

2 「新規登録フォーム」が表示されます。税率を入力します。

3 「新規登録」をクリックで設定完了です。キャンセルの場合は「新規登録モードを出る」をクリックします。

税率左側の上下矢印を上下にドラッグで、税率の表示順を変更できます。

編集モードを出る

編集モードを出る

削除

削除

4 税率を編集したい場合は右側の「編集」をクリックします。

5 「編集フォーム」が表示されますので、変更したい部分を書き換えます。
※内容を書き換えた時点で自動保存されます。戻すことはできないのでご注意ください。

6 編集できたら右上の「編集モードを出る」をクリックしフォームを閉じます。

税率を削除したい場合は右下の「削除」をクリックします。

※削除後は復元できません。

【契約書作成画面】



選択できる請求の名称

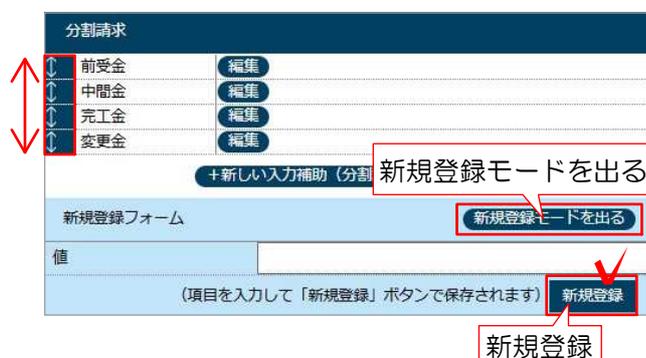
【分割請求】

契約書作成画面で選択できる「分割請求」を追加したり、編集や削除ができます。



新しい入力補助 (分割請求) を追加する

1 ホーム画面をクリックします。
「マスター設定」の「入力補助」をクリックし「+新しい入力補助（分割請求）を追加する」をクリックします。



新規登録モードを出す

新規登録

2 「新規登録フォーム」が表示されます。
分割請求の名称を入力します。

3 「新規登録」をクリックで設定完了です。
キャンセルの場合は「新規登録モードを出す」をクリックします。

分割請求の名称左側の上下矢印を上下にドラッグで、名称の表示順を変更できます。



編集モードを出す

削除

4 分割請求の名称を編集したい場合は右側の「編集」をクリックします。

5 「編集フォーム」が表示されますので、変更したい部分を書き換えます。
※内容を書き換えた時点で自動保存されます。
戻すことはできないのでご注意ください。

6 編集できたら右上の「編集モードを出す」をクリックしフォームを閉じます。

分割請求の名称を削除したい場合は右下の「削除」をクリックします。

※削除後は復元できません。

6 環境設定

初期値

消費税率の初期設定: 10%▼

諸経費%: 10%

諸経費表示名: 現場管理費

値引き表示名: 値引き

丸め/端数処理

粗利率表現: 小数点第2位: 第3位以下切り捨て▼

端数処理 (消費税額): 整数: 小数点以下切り上げ▼

端数処理 (金額): 整数: 小数点以下切り捨て▼

表記

マイナス記号: ▲▼

画面表示

良い粗利の最小値: 30%

標準粗利の最小値: 25%

悪い粗利の最小値: 20%

グループ	種類	規格	名称	備考	数量	単位	見積単価	見積金額	税率	仕稼書	粗利率	粗利金額
※10			フェンス取付		6	枚	2,000	12,000	50%	25%	3,000	3,000
※10			ステールフェンス	高さ80cm	1,500		1,500	1,500	50%	50%	50%	50%
※10			フェンス加工		1	枚	1,000	1,000	25%	25%	25%	25%
※10			ステールフェンス	高さ80cm	500		500	500	25%	25%	25%	25%
※10			LXLハイグリッドフェンス UF8型		6	枚	3,480	20,880	25%	25%	25%	25%
※10			本体	高さ80cm	2,610		2,610	2,610	25%	25%	25%	25%
※10			<西製ブロック・フェンス>									
※10			掘削		18.9	m	3,000	56,100	33.33%	33.33%	33.33%	33.33%
※10			基礎工事	ベース基礎	2,000		2,000	18,899	22.22%	22.22%	22.22%	22.22%
※10			基礎工事		4,500		4,500	18,900	22.22%	22.22%	22.22%	22.22%
※10			基礎工事	残土処分(埋め戻し出来ない分のみ)	3,500		3,500	18,900	25%	25%	25%	25%
※10			基礎工事	残土処分(埋め戻し出来ない分のみ)	8,000		8,000	18,900	25%	25%	25%	25%
※10			基礎工事	掘削運搬含む	3.5	m3	6,000	21,000	7.00%	7.00%	7.00%	7.00%

e-Put積算の設定を変更できます。
会社の基準に合わせて設定ください。

ホーム画面をクリックし「環境設定」をクリックします。

【初期値】

消費税率の初期設定：10%か8%で設定できません。

諸経費：会社の基準に合わせて入力ください。
（任意設定）

諸経費表示名：表示名を変更できます。

値引き表示名：表示名を変更できます。

【丸め/端数処理】

※設定は金額に影響します。

粗利率表現：小数点以下の計算方法を「四捨五入」「切り上げ」「切り捨て」から設定できます。

端数処理（消費税額）：小数点以下の計算方法を「四捨五入」「切り上げ」「切り捨て」から設定できます。

端数処理（金額）：小数点以下の計算方法を「四捨五入」「切り上げ」「切り捨て」から設定できます。

【表記】

マイナス記号：表示する記号を変更できます。

【画面表示】

見積書作成時に算出された粗利率の良い・悪いを設定できます。

会社の基準に合わせて入力ください。

良い粗利の最小値：良い粗利の最小値で設定された%を上回ると青い四角で表示されます。

標準粗利の最小値：標準粗利の最小値で設定された%を上回ると青文字で表示されます。

悪い粗利の最小値：標準粗利の最小値で設定された%を下回ると赤文字で表示されます。

悪い粗利の最小値で設定された%を下回ると赤い四角で表示されます。

画面構成【e-Put積算】

e-Put（積算）の画面です。

見積書、契約書、請求書、実行予算書、注文書、請書、仕様書、工程表を作成することができます。
 O7CADで作図した図面から数量を拾い出し、見積書を作成することも可能です。



e-Put積算

見積先・請求先		検索	編集
宛名 (社名・氏名)			
宛名 (郵便名など)			
敬称など			
読み仮名			
TEL			
FAX			
Eメール			
宛先 (郵便番号)			
宛先 (都道府県・市区町村)			
宛先 (番地ほか)			
備考			
業者コード			

キャンセル 「見積先・請求先」を保存する 同時にマスター保存する

1 画面左側の物件一覧から、編集したい物件をクリックします。
 画面上側に「物件名」が表示されます。
 物件名を打ち換えると、名称を変更できます。

2 「業者」で登録した情報を検索できます。
 検索して表示された「業者」を選択しますと
 「見積先・請求先」に情報が入力された状態になります。

3 「見積先・請求先」の情報を新規で入力できます。

4 見積書を作成できます。
 左記参照ください。

5 仕様書を作成できます。
 [詳細説明 P76](#)

6 工程表を作成できます。
 [詳細説明 P78](#)

7 物件を削除できます。
 [詳細説明 P7](#)

💡【見積作成】

CADから拾い出す場合



[詳細説明 P50](#)

CADから拾い出さない場合



[詳細説明 P60](#)

リアルタイム概算 概要

07CADで作成した図面の数量を拾い出す機能です。
概算見積りを使用するには金額の設定が必要です。

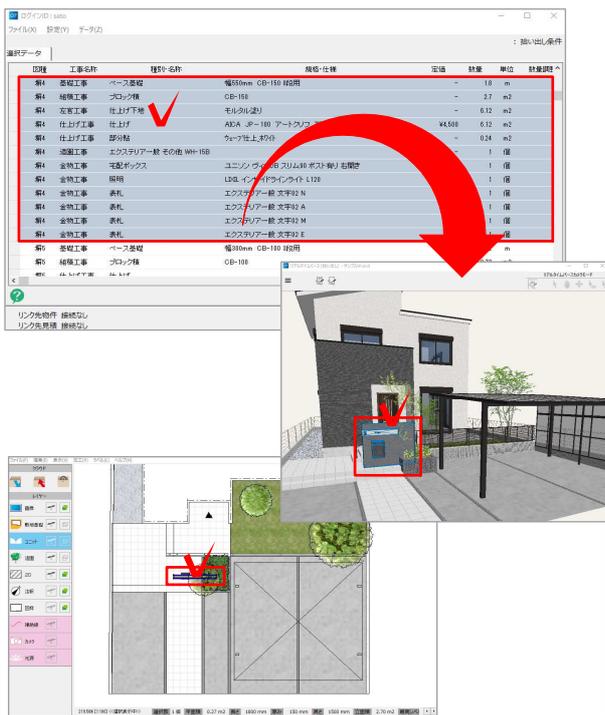
e-Putへ数量情報を送信して見積書を作成したり、e-Putの台帳機能を連動することができます。
拾いだした数量はExcel（CSV）データとしてCAD外部へ保存もできます。

リアルタイム概算画面で金額設定をしますと、起動時に材料費概算を確認することができます。

1 数量確認と画面

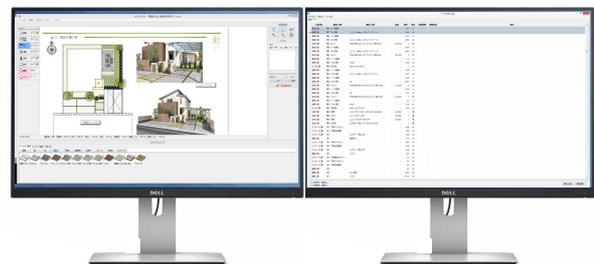
「CAD平面図」「リアルタイムパース画面」「拾い出しリスト」がそれぞれ連動した状態で、数量の確認作業ができます。
モニターが複数ありますと確認作業がスムーズです。

それぞれの画面で、図形もしくは項目をマウスで選択しますと、他の画面で青く選択されます。確認しやすい画面で選択をして照らし合わせることが出来ます。



CAD画面

拾い出し画面



2 拾い出した部分が重複した場合

一度拾い出した箇所を重複して拾い出ししようとしますと、左のようなメッセージが表示されます。

間違っして重複してしまった場合は「いいえ」を選択します。



リアルタイム概算 拾い出し項目の設定

拾い出す項目の設定をします。

拾い出し項目の設定



1 「ファイル」メニューをクリックし、「e-Board / O7Cargo」より、「e-Putの設定」をクリックします。

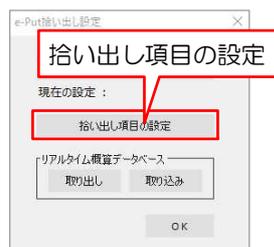
2 「e-put拾い出し設定」の「拾い出し項目の設定」をクリックします。

3 各項目の設定をおこないます。

・「フェンス部品」の項目は立体の作成方法で結果が異なりますので、あくまで目安としてください。

・碎石路盤などの下地項目が不要の場合は「下地項目を拾う」のチェックを外しましょう。

・「鋤取り土量の項目を拾う」又は「レベルマーカデータ」を使用するには敷地の現況レベルやゾーニング設定が別途必要となります。



参考 [拾い出し・計測]を検索



リアルタイム概算 拾い出し前の準備

拾い出す前に設定しておくことで便利な機能です。

1 ラベルの設定



1 ラベルを貼る対象の図形を右クリックし「ラベルを貼る/変更」をクリックします。

2 「既存構造物（システム予約）」をクリックで、ラベルが貼られた状態になります。

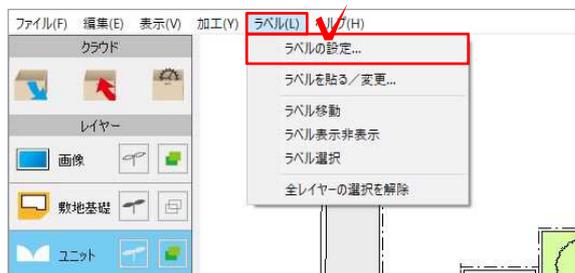
【ラベルとは】

印刷やパースへの表示・非表示の切り替え、拾い出しの対象にするかどうかを図形ごとに設定することができます。あらかじめ拾い出し不要な図形を設定できます。

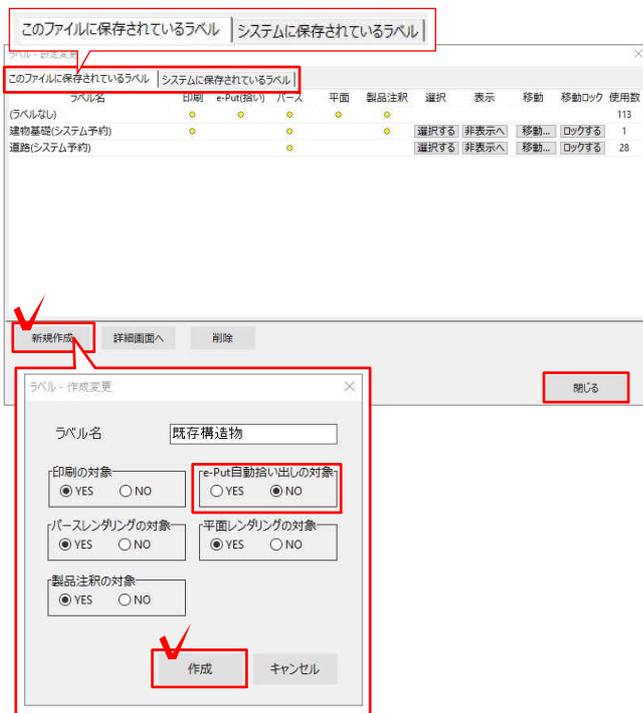
「既存構造物（システム予約）」を貼られた図形は、拾い出さない設定になります。

【ラベルを新たに作成する場合】

1 「ラベル」メニューをクリックし、「ラベルの設定」をクリックします。



2 ラベル設定画面が表示されます。画面左下の「新規作成」をクリックします。



3 ラベル作成画面が表示されます。ラベル名を入力し使用目的に合わせて設定を変更します。

【e-Put自動拾い出しの対象】

YES：拾い出し項目に表示されます。

NO：拾い出し項目に表示されません。

表示不要の場合はNOに設定します。

「作成」をクリックします。

【このファイルに保存されているラベル】

作図中のCADファイルのみ設定されます。

【システムに保存されているラベル】

このパソコンで開くCADファイル全てに設定されます。繰り返し使用するラベルはシステムに保存しておく便利です。



参考 [ラベル]を検索

4 画面右下の「閉じる」をクリックし設定画面を閉じます。

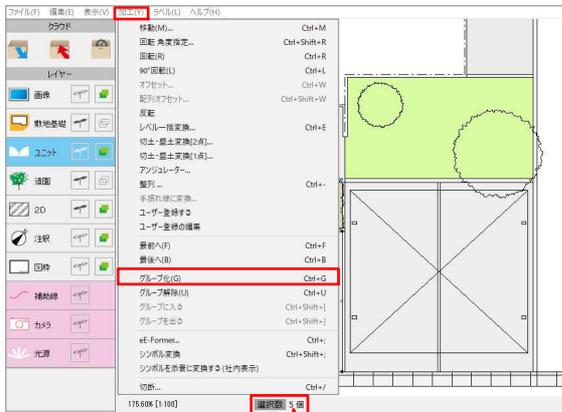
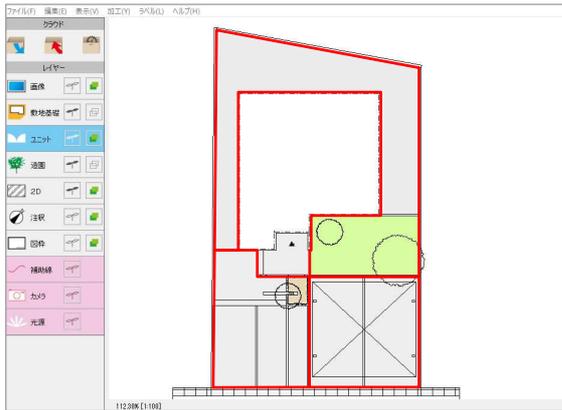
2 グループ化

【グループ化とは】

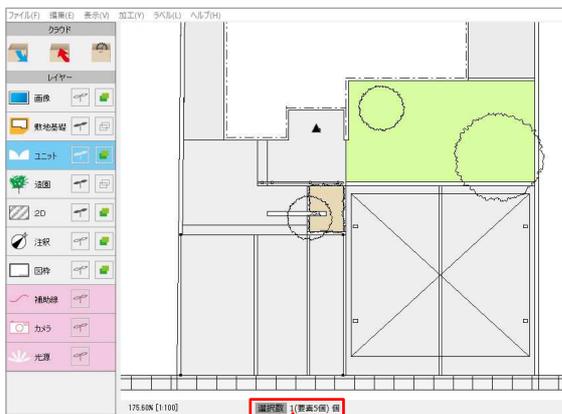
複数選択した図形を1つのグループにまとめる事ができます。

あらかじめ1つのグループしておくことで、拾い出した時にグループ化しておいた図形の同素材の床面積が合計表示されます。

※合計表示される図形は床のみになります。
扉や階段は非対応です。



選択数 5 個



選択数 1(要素5個) 個

1 Shiftキーを押しながら、1つのグループにまとめたい図形をクリックで選択します。

「加工」メニューをクリックし、「グループ化」をクリックします。

2 画面中心に「選択数1（要素〇〇個）」と表示されましたらグループされた状態になります。

他にもまとめたい図形があればおなじように選択しグループ化をします。

リアルタイム概算

O7CADで作成した図面から数量を拾い出します。起動方法は2通りあります。



1-1 すべてを自動拾い出し

画面上で右クリックし「全て拾い出し」をクリックします。

すべてを拾い出す際に使用します。

新規で作成した図面・過去に拾い出しをしていない図面の場合はこちらを選びます。

1-2 自動拾い出し

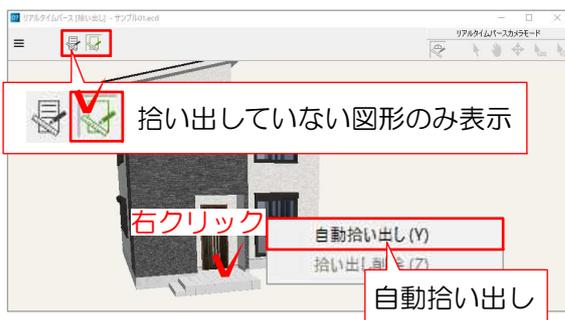
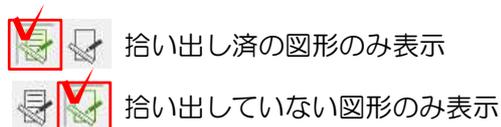
拾い出す図形を予め選択し、選択図形上で右クリックし「自動拾い出し」をクリックします。

部分的に拾いだす際に使用します。

修正した図面の場合はこちらを選びます。

2 拾い出し図形の確認と追加・削除

1 リアルタイムパースで必要な図形が拾い出しされているか、拾い出し不要な図形がないかを確認します。



2 項目を追加・削除したい場合は、リアルタイムパースで対象の図形を選択し、右クリック→「自動拾い出し」または「拾い出し削除」を選択します。

自動拾い出し：拾い出しリストに追加

拾い出し削除：拾い出しリストから削除



項目を選ぶと図形が、図形を選ぶと項目が強調表示されます。

3 項目の編集

リアルタイム概算の画面が表示されます。

1 編集したい項目をクリックします。
図形が青色で表示されます。

2 編集したい文字や数量・金額をダブルクリックし入力・編集します。

※製品を代用した場合は、製品名を調整ください。

リアルタイムパースまたは平面図で、拾い出し項目がどの図形に該当するのか確認しながら作業します。

クリック→選択 右クリック

選択した項目は青くなります

数値や文字はダブルクリックで編集

原価・見積単価を入力

原価総計・見積総計が表示されます

原価総計: ¥1,376,791 見積総計: ¥1,884,181

見積を閉じる

見積を閉じる

新規項目 (P)
複製 (Q)
同種の項目を選択 (R)
統合 (S)
同種の項目を統合 (T)
削除 (U)
拾い出し情報 (V)
台帳項目を反映 (W)
セクションに移動 (X)
セクション名称の変更 (Y)
eE-Formerで計測 (E)
現在の各項目・金額の設定を保存 (Z)

新規項目: 項目を追加できます。
複製: 選択した項目を複製します。
同種の項目を選択: 同じ内容の項目を一度に選択できます。
統合: 単位が同じ複数の項目を1つにまとめます。
同種の項目を統合: 選択された項目→選択された項目と同種の項目を統合します。全ての項目→選択している項目に関わらず、同種の項目がある全ての項目を統合します。
削除: 項目を削除します。(Delete/Backspace)
拾い出し情報: →4
台帳項目を反映: →5
セクションに移動: →6
セクション名称の変更: 作成したセクション名を変更します。
eE-Formerで計測: eE-Former画面で詳細を計測します。
現在の各項目・金額の設定を保存: 入力した金額が保存され、次の拾い出し時にも金額が反映されます。

詳細情報が表示されます。

クリック→選択
右クリック

新規項目 (R)
複製 (S)
同種の項目を選択 (T)
統合 (U)
削除 (V)
拾い出し情報 (W)
台帳項目を反映 (X)
セクションに移動 (Y)
セクション名称の変更 (Z)
eE-Formerで計測 (E)

取込	項目	単位	値
<input type="checkbox"/>	長さ	m	1.6
<input type="checkbox"/>	最大高さ	m	1.515
<input type="checkbox"/>	最小高さ	m	1.315
<input type="checkbox"/>	厚み	m	0.12
<input checked="" type="checkbox"/>	立面面積	m2	2.372
<input checked="" type="checkbox"/>	小口面積1	m2	0.156
<input checked="" type="checkbox"/>	小口面積2	m2	0.182
<input checked="" type="checkbox"/>	上面面積	m2	0.216
<input type="checkbox"/>	総面積	m2	5.298
<input type="checkbox"/>	立面面積1 [010_吹付ページ]	m2	2.372
<input type="checkbox"/>	立面面積2 [010_吹付ページ]	m2	2.372
<input type="checkbox"/>	小口面積1 [010_吹付ページ]	m2	0.156
<input type="checkbox"/>	小口面積2 [010_吹付ページ]	m2	0.182
<input type="checkbox"/>	基本型ブロック数	個	63
<input type="checkbox"/>	基本型構筋ブロック数	個	0
<input type="checkbox"/>	コーナーブロック数	個	0
<input type="checkbox"/>	基礎長さ	m	1.6
<input type="checkbox"/>	基礎幅	mm	170
<input type="checkbox"/>	基礎高さ	mm	150
<input type="checkbox"/>	基礎型枠ブロック個数	個	0

計算式:

結果: 種別・名称 m2

取込 閉じる

見種へ送信 見種を開く

リンク先物件: 接続なし
リンク先見積: 接続なし

4 拾い出し情報

塀・床・階段ユニットの詳細情報を引き出すことができます。

取込: 拾い出し一覧に取り込みたいデータにチェックを入れます。

値: ブロックサイズ・張材サイズを変更すると自動で値が変更します。

ブロックサイズ: サイズを変更できます。

張材サイズ: サイズを変更できます。

計算式: 計算式が入力できます。計算結果を拾い出し一覧に取り込むことができます。

結果: 単位の右側に計算結果が表示されます。計算結果を取り込む場合は、チェックを入れます。

取込: チェックを入れたデータを、拾い出し一覧に取り込むことができます。

閉じる: 拾い出し情報の画面を閉じます。

取込

取込	項目	単位	値
<input checked="" type="checkbox"/>	長さ	m	1.6
<input type="checkbox"/>	最大高さ	m	1.477
<input type="checkbox"/>	最小高さ	m	1.269
<input type="checkbox"/>	厚み	m	0.12
<input checked="" type="checkbox"/>	立面面積	m2	2.32
<input type="checkbox"/>	小口面積1	m2	0.15
<input type="checkbox"/>	小口面積2	m2	0.18
<input type="checkbox"/>	上面面積	m2	0.22
<input type="checkbox"/>	総面積	m2	5.19
<input type="checkbox"/>	部分貼面積[100角ラウンドM]	m2	0.16
<input type="checkbox"/>	組積材段数	段	7~8
<input type="checkbox"/>	ブロック個数	個	29
<input type="checkbox"/>	張材個数	個	0

ブロックサイズ(mm): W 400 H 200 D 120

張材サイズ(mm): W 0 H 0 D 目地 0

計算式:

結果: 種別・名称 m3

取込 閉じる

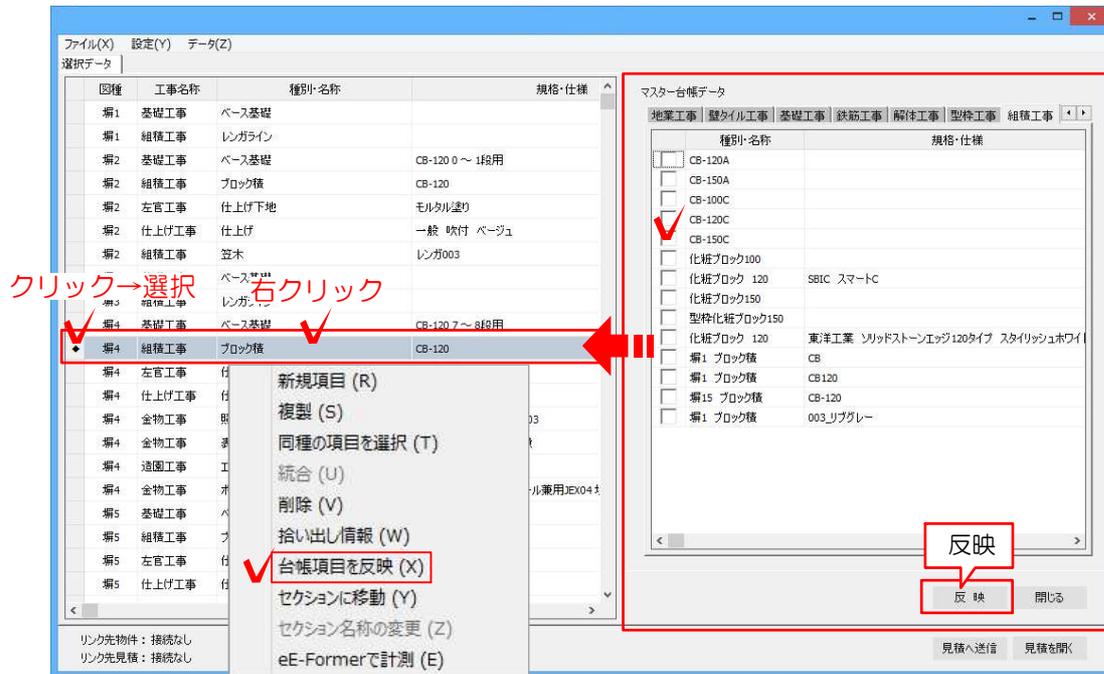
計算式:

結果: 種別・名称 小口+天端 m2

単位

種別・名称を入力

計算結果



5 台帳項目を反映

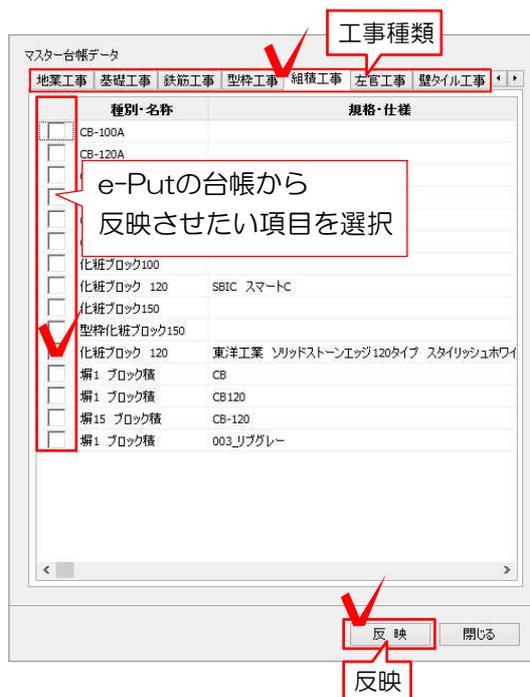
e-Putのマスター台帳から登録情報を拾い出した数量項目に反映させることができます。
※マスター設定の「台帳」であらかじめ台帳を登録しておく必要があります。



詳細説明 P39

- 1 工事種類を選択します。
- 2 反映させる項目を台帳一覧からチェックを入れ選択します。
- 3 反映をクリックすると、拾い出した項目に数量を反映できます。

【重要】台帳の初期設定で入力されている金額や項目はおおよその数値です。
自社用の設定を作成してからご利用ください。



6 セクションに移動

複数の項目をセクションとして分けてまとめることができます。

【セクションとは】

部位別や工種等、拾い出し項目を分類してまとめる機能です。

1 Shiftキーを押しながらクリックで複数の項目を選択します。右クリックし「セクションに移動」をクリックします。

2 セクション名を入力し「OK」をクリックします。

3 選択していた項目がセクションとしてひとまとまりになります。選択されていなかった項目は「その他」のセクションに自動で分けられます。

Shift+クリック→選択 右クリック

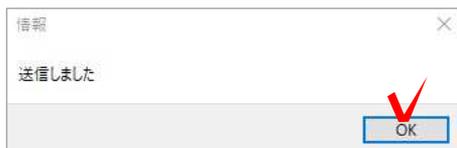
図種	工事名称	種別・名称	
堀2	仕上げ工事	仕上げ	一般 吹付
堀2	組積工事	竝木	レンガ003
堀3	基礎工事	ベース基礎	
堀4	基礎工事	ベース基礎	CB-120 7～
堀4	新規項目 (R)		CB-120
堀4	複製 (S)		モルタル塗り
堀4	同種の項目を選択 (T)		一般 吹付
堀4	統合 (U)		エクステリアー
堀4	削除 (V)		エクステリアー
堀4	拾い出し情報 (W)		エクステリアー
堀4	台帳項目を反映 (X)		エクステリアー
堀4	セクションに移動 (Y)		エクステリアー

移動するセクションの選択

セクション名

OK キャンセル

図種	工事名称	種別・名称	
門柱工事			
堀4	基礎工事	ベース基礎	CB-120 7～
堀4	組積工事	ブロック積	CB-120
堀4	左官工事	仕上げ下地	モルタル塗り
堀4	仕上げ工事	仕上げ	一般 吹付
堀4	金物工事	照明	エクステリアー
堀4	金物工事	表札	エクステリアー
堀4	造園工事	エクステリアー一般 その他	
堀4	金物工事	ポスト	エクステリアー
その他			
堀1	基礎工事	ベース基礎	
堀1	組積工事	レンガライン	



7 見積へ送信

- 1 調整した項目をO7Cargoへ送信します。
右下の「見積へ送信」をクリックします。
- 2 O7Cargoの物件一覧が表示されます。
物件を作成済の場合は、左の物件名をクリックし選択します。
物件を作成していない場合は「新しい物件を作る」をクリックし作成します。
- 3 「この物件に保存」をクリックで項目が送信されます。「送信されました」と表示されますので「OK」をクリックで閉じます。

- 4 見積作成画面へ進みます。
右下の「見積を開く」をクリックします。

見積書を作成する方法

見積書を作成する方法です。

OTCADで作図した図面から数量を拾い出し、見積書を作成することができます。

1 見積先の情報を入力する

1 画面左側の物件一覧から、見積書を作成したい物件をクリックします。

2 見積先の情報を入力します。マスター設定の「業者」で見積先を登録済の場合は「検索」をクリックします。

3 検索画面が表示されます。業者の名称を入力し「検索」をクリックすると検索結果が表示されます。見積先の業者をクリックします。

4 確認画面が表示されます。「OK」をクリックで完了です。

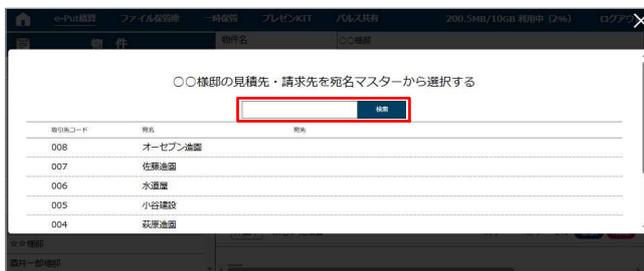
5 マスター設定の「業者」で見積先を登録していない場合は「編集」をクリックします。



6 編集フォームが表示されます。業者の情報を入力し「見積先・請求先を保存する」をクリックします。

※「同時にマスター保存する」にチェックを入れて保存しますと、マスター設定の「業者」に顧客として登録できます。

「業者」に登録後、次回以降は検索から呼び出すことができるので入力の手間が省けます。



「見積先・請求先」を保存する

2-1 新しい見積を作る



1 右側の「新しい見積を作る」をクリックします。



2 見積書のタイトルを任意で入力します。「作成する」をクリックします。

※作成しない場合は、右上の×をクリックし確認画面を閉じてください。



3 見積書作成画面が表示されます。

【見積書作成画面の構成】

基本情報		印刷		見積項目の追加	
作成中	4,118,574	3,023,613	26.58%	見積書タイトル	新築外構工事
見積書番号	20250342-9	担当者	田中太郎	見積印刷	
明細合計 (税抜)	4,118,574円	見積金額	241,020	粗利率	27.48%
消費税	411,857円	実行金額	174,765	粗利金額	66,255
10%対象 税抜	4,530,431円				
消費税額	453,044円				
統計 (税込)	4,983,475円				
債引額	0円				
10%対象 税抜	4,530,431円				
消費税額	453,044円				
見積額 (税込)	4,983,475円				

グループ	種別	規格	名称	備考	数量	単位	見積単価	見積金額	税率	仕様書	粗利率
振削					1	式	2,000	2,000	10%		25%
ベース基礎					1	式	1,500	1,500	10%		90%
東洋工業	ピンコロ				315	個	308	97,020	10%		25%
90角	1丁掛け	Vグレー		定価385円の2割引き			231	72,765	10%		24.23%
ピンコロ積み工事					315	個	300	94,500	10%		33.33%
90角	1丁掛け	Vグレー		7段積み			200	63,000	10%		31.5%
客土搬入					1.5	m2	7,000	10,500	10%		28.57%
黒土							5,000	7,500	10%		3.00%
落葉高木・アオハダ					1	本	30,000	30,000	10%		16.66%
H=3W=1.4				搬入・植え込み含む			25,000	25,000	10%		5.00%

2-2 新しいセクションを作る

工事区分ごとに見積書を作成します。
左側の「新しいセクションを作る」をクリックします。

作成方法は3つあります。

①空のセクションを作る

自由に文章を入力できます。オリジナルの見積書を作成したい場合に使います。

②台帳から選択して作る

あらかじめ【マスター設定】の「台帳」に登録した内容をもとに、見積書を作成できます。
必要な項目にチェックを入れて使います。



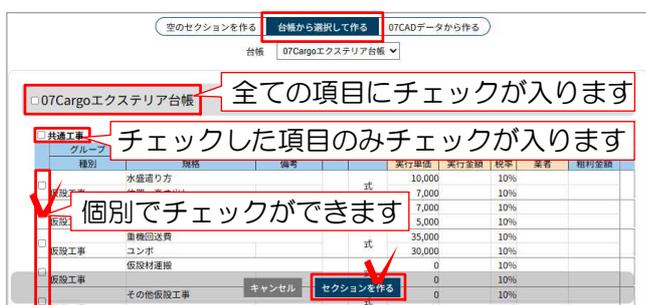
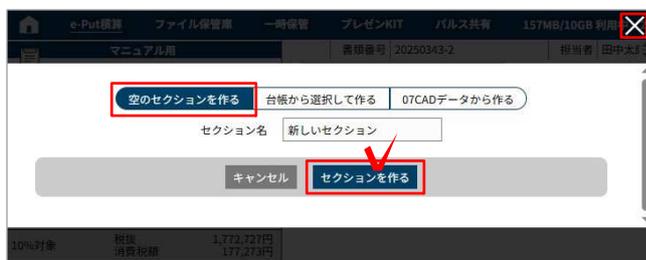
詳細説明 P39

③07CADデータから作る

07CADで作図した図面から、自動で数量を拾い出し、見積書が作成されます。
必要な項目にチェックを入れて使います。



詳細説明 P50



2-3 見積書の基本情報を入力する

見積書のタイトルや書類番号、担当者を入力します。

見積書タイトル：見積書の「工事名称」として表記されます。

書類番号：書類を識別するための番号です（未入力でも保存可）。

担当者：見積書の作成者名を入力します。マスター設定で「担当者」を設定している場合は、リストから選択可能です。希望の担当者が表示されない場合は直接入力してください。



詳細説明 P36

2-4 見積内容を入力する

見積内容を入力します。

グループ：種別違いの項目をまとめます。

種別：工事の種類を選択します。

名称：見積項目の名称を入力します。

規格：サイズや色などの仕様詳細を入力します。

備考：補足情報があれば記入します。

数量：数量を入力します。

単位：単位を選択します。

見積単価：売価を入力します。

実行単価：原価を入力します。

見積金額：数量と見積単価入力後表示されます。

実行金額：数量と実行単価入力後表示されます。

税率（上下段）：税率を選択します。

※種別や規格を入力後にページを更新しますと、税率が自動的に「10%」になります。

仕様書：仕様書に表示させたい内容にチェック。



詳細説明 P76

業者：発注先が決まっている場合、マスター設定「業者」から選択します。



詳細説明 P37

粗利率：%で自動表示されます。



詳細説明 P48

粗利金額：粗利金額が自動表示されます。

グループ	規格	名称	備考	数量	単位	見積単価	見積金額	税率	仕様書	粗利率
ベース基礎	幅350mm			19	m	3,000	57,000	10%	<input type="checkbox"/>	66
ブロック積				14.23	m2	1,000	19,000	10%	<input type="checkbox"/>	47
CB-120						5,000	71,170	10%	<input type="checkbox"/>	6

【見積書印刷後】

No.: 20250223-1 Page: 1

御見積書

発行日: 2025年2月7日

下記の通り御見積り申し上げます。

見積金額(税込) ￥319,000-

10%対象 税抜金額 ￥290,000- 消費税 ￥29,000-

工事名称: 駐車場工事
工事種別: 駐車場工事
有効期限: 2025/02/07 ~ 2025/02/28

見積書タイトル

担当者

オーセブン株式会社
〒338-0004
埼玉県さいたま市中央区本町西6丁目4番14-07デジタルスタジオ
TEL: 048-741-8177 FAX: 048-840-1579
担当番号: 0120-956789002

グループ	名称	数量	単位
門柱			個
組積工事	ブロック積工事		
門柱			枚
タイル工事	タイル貼り		
門柱			個
製品:ポスト	ポスト		
門柱			個
製品:表札	表札		

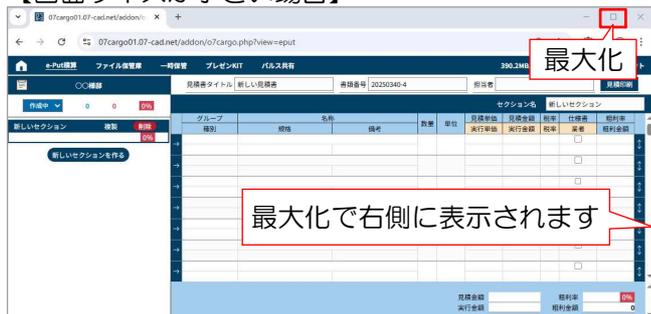
見積単価	見積金額	税率	仕様書	粗利率
実行単価	実行金額	税率	業者	粗利金額
10,000		10%	<input type="checkbox"/>	
7,000		10%	<input type="checkbox"/>	
7,000		10%	<input type="checkbox"/>	
5,000		10%	<input type="checkbox"/>	
35,000		10%	<input type="checkbox"/>	
30,000		10%	<input type="checkbox"/>	

グループ	規格	名称	備考	数量	単位	見積単価	見積金額	税率	仕様書	粗利率
組積工事				1	式	2,000	2,000	10%	<input type="checkbox"/>	25%
組積工事				1	式	5,000	5,000	10%	<input type="checkbox"/>	30%
組積工事				1	式	5,000	5,000	10%	<input type="checkbox"/>	25%
組積工事				315	個	231	72,765	10%	<input type="checkbox"/>	28%
組積工事				315	個	300	94,500	10%	<input type="checkbox"/>	13.7%
組積工事				200	個	300	60,000	10%	<input type="checkbox"/>	28.57%
組積工事				1.5	m2	5,000	7,500	10%	<input type="checkbox"/>	1.6%
組積工事				1	本	30,000	30,000	10%	<input type="checkbox"/>	10.00%
組積工事				1	本	25,000	25,000	10%	<input type="checkbox"/>	5.00%

セクションを改めてクリックしますとページを更新できます。

2-6 見積項目の追加

【画面サイズが小さい場合】



画面右側に「台帳から選ぶ」「O7CADデータから選ぶ」「予測候補」の3つのボタンが表示されます。

選択し見積項目に追加することができます。

※画面サイズが小さい場合は表示されません。ブラウザを最大化してお使いください。

		検索	
		台帳から選ぶ	O7CADデータから選ぶ 予測候補
粗利率	50%	名称:	07Cargoエクステリア台帳
粗利金額	5,000	分類:	庭工事
	42.85%	←	勤取り 2,000
	3,000		15,000
	14.28%		土工事 m2
	5,000	←	残土整地(宅内処理) 5,000
			人力 4,000
			土工事 m3

①台帳から選ぶ

マスター設定で「台帳」の設定を行っている場合に表示されます。

項目を選び←をクリックしますと、見積に追加されます。

一式工事の詳細(内訳)を入力済みの項目は、←で表示され、詳細込みで取り込むことができます。

		検索	
		台帳から選ぶ	O7CADデータから選ぶ 予測候補
粗利率	50%	名称:	07Cargoエクステリア台帳
粗利金額	5,000	分類:	庭工事
	42.85%	←	勤取り 2,000
	3,000		15,000
	14.28%		土工事 m2
	5,000	←	残土整地(宅内処理) 5,000
			人力 4,000
			土工事 m3

②O7CADデータから選ぶ

CADから拾い出した項目が一覧で表示されます。

取り込みたい項目にチェックを入れ、「挿入する」をクリックすると見積に追加できます。

		検索	
		台帳から選ぶ	O7CADデータから選ぶ 予測候補
粗利率	50%	名称:	07Cargoエクステリア台帳
粗利金額	5,000	分類:	庭工事
	42.85%	←	勤取り 2,000
	3,000		15,000
	14.28%		土工事 m2
	5,000	←	残土整地(宅内処理) 5,000
			人力 4,000
			土工事 m3

③予測候補

セクション名をもとに、過去の入力履歴から候補が表示されます。

物件問わず、e-Put積算で使用した履歴の中から、一定数の項目が提示されます。

※古い履歴は自動で削除されます。

項目を選び←をクリックすると見積に追加できます。

一式工事の詳細(内訳)を入力した項目は←で表示されます。クリックすると詳細込みで取り込むことができます。

検索ボックスに文字を入力して絞り込み検索も可能です。

3 各金額・粗利の確認

見積作成後、自動的に諸経費が計上されます。
金額は画面の各所で確認できます。

品名	数量	単位	見積金額	実行金額	粗利率
仮設工事	50,000	30,000	26.58%		
境界工事(北・西・東)	1,335,292	948,405	28.97%		
建物周囲	141,842	104,018	26.66%		
庭工事	141,384	106,253	24.84%		
手摺工事	93,320	70,740	24.19%		
駐車場工事	1,377,178	1,020,505	25.89%		
花壇工事	241,020	174,765	27.48%		
アプローチ工事	738,538	568,927	22.96%		

【表示される場所と内容】

画面左側

セクションごとに以下の3つの金額が表示されます。

左側：「見積金額」

中央：「実行金額」

右側：「粗利率 (%)」

粗利率の良し悪しにより、%の色が変わります。



詳細説明 P48

品名	見積金額	実行金額	粗利率
仮設工事	50,000	30,000	40%
境界工事(北・西・東)	1,335,292	948,405	28.97%
建物周囲	141,842	104,018	26.66%
庭工事	141,384	106,253	24.84%
手摺工事	93,320	70,740	24.19%
駐車場工事	1,377,178	1,020,505	25.89%
花壇工事	241,020	174,765	27.48%
アプローチ工事	738,538	568,927	22.96%

明細合計 (税抜)		4,118,574円
諸経費	明細合計の 10%	411,857円
10%対象	税抜 消費税額	4,530,431円 453,044円
総計 (税込)		4,983,475円
値引額	出精値引き	0円
10%対象	税抜 消費税額	4,530,431円 453,044円
見積額 (税込)		4,983,475円

画面左下

見積金額の総額が表示されます。

※こちらで値引き金額 (税込) の入力ができます。

見積金額	241,020	粗利率	27.48%
実行金額	174,765	粗利金額	66,255

画面右下

現在選択しているセクションの金額と粗利が表示されます。

4 見積書の印刷

見積作成画面の右上の「見積印刷」をクリックしますと印刷画面へ進みます。

1 印刷画面を開きます。

見積作成画面の右上にある「見積印刷」をクリックします。

2 各種情報を入力します。

見積書タイトル：任意のタイトルを入力します

発行日：発行日を入力します。

担当者：発行日と作成者名を入力します。

【宛先】

宛名を入力します。

【自社情報】（発行元）

発行元となる自社情報を入力します。マスター設定で「自社情報」を設定した場合は「環境設定の自社情報から読み込む」の選択肢に表示されます。



詳細説明 P34

発行元：発行元となる社名を入力します。

郵便番号：郵便番号を入力します。

住所1：住所を入力します。

住所2：他の場所にも事務所や支店があれば入力します。（無い場合は入力不要）

TEL：電話番号を入力します。

FAX：FAX番号を入力します。

適格事業者登録番号：登録番号を入力します。

備考1～5：特記事項があれば入力します。

【その他情報】

工事場所：工事場所を入力します。

工事概要：概要を入力します。

工事期間：工事期間を入力します。

支払条件：支払条件を入力します。

有効期限：期限を入力します。

特記事項：特記事項があれば入力します。

3 印刷します。

「印刷する」をクリックでPDFが出力されます。未入力項目がある場合はメッセージが表示され「OK」を押すと進めます。

※見積書を印刷した後は見積書の編集ができなくなります。ご注意ください。

見積印刷

グループ	種別	名称	数量	単位	見積単価	見積金額	税率	税率	税引金額
076	部材			1	2,000	2,000	10%		1,800
077	ベース基礎			1	7,000	7,000	10%		6,300
077	築地工事	ピンコロ			5,000	5,000	10%		4,500
077	50角 17厚板	Vアレー	315	個	300	94,500	10%		84,000
077	ピンコロ工事	50角 17厚板	315	個	300	94,500	10%		84,000

見積書タイトル 書類番号 20250342-5 発行日 2025/03/21

担当者 田中太郎

宛先 宛中

自社情報 環境設定の自社情報から読み込む：オーセブン株式会社

社名1

社名2

郵便番号

住所1

住所2

TEL FAX

適格事業者登録番号

備考1 備考2

備考3 備考4

備考5

その他の情報

工事場所

工事概要

工事期間

契約後打ち合わせ

支払条件

現金・振込

有効期限

発行日より2か月

印刷スタイル

印刷する

07cargo01.07-cad.net の内容

未記入の項目があります。

- ・工事場所
- ・工事概要
- ・工事期間
- ・支払条件
- ・有効期限

このまま印刷してもよろしいでしょうか？

契約書を作成する方法

契約書を作成する方法です。見積書を作成した後に作成できます。

契約書を作成する方法



1 画面左側の物件一覧から、契約書を作成したい物件をクリックします。

2 「契約書を作る」をクリックします。

3 契約書作成画面が表示されます。必要項目を順番に入力していきます。



契約日：契約日を設定します。

担当者：契約書の作成者を入力します。マスター設定で「担当者」を設定した場合は、選択肢に表示されます。



詳細説明 P36

選択肢の中に希望の担当者が表示されない場合は、担当者名を入力します。

【見積内容】

見積書の名称と金額が表示されます。

【請負内容】※入力必須

工事内容：工事名を入力します。

工事場所：工事場所を入力します。

工事概要：概要を入力します。

工事期間：工事期間を入力します。

特記事項：特記事項があれば入力します。

【支払方法】※入力必須

支払い方法や入金日の設定ができます。

P47で入力した分割請求の名称を選択します。右側に金額を入力します。任意で入力もしくは総額に対する割合入力ができます。

実行予算書を作成する方法

実行予算書を作成する方法です。契約書を作成した後に作成できます。
社内管理用書類となりますので外部と共有しないようご注意ください。

実行予算書を作成する方法

契約書印刷後、実行予算書を作成することができます。

1 画面左側の物件一覧から、実行予算書を作成したい物件をクリックします。
先に作成した見積書をクリックします。



2 見積作成画面を開きます。
実行単価を調整し、実際の利益を管理します。

実行単価のみ数値を編集できます。
文字や数字がグレーになっている部分は編集ができません。未記入の項目には追加で書き足すことができます。

※見積書・契約書作成済の為、見積単価の入力はできません。



3 実行単価を変更しますと、画面右下のセクション小計の実行金額、粗利率、粗利金額が変わります。
複数のセクションがある場合は、各セクションで調整します。



画面左上の総額の実行金額、粗利率も変わります。

実行単価の調整が済みましたら画面左上の [] をクリックし見積作成画面を閉じます。





実行予算書を作る

- 4 物件を開いた状態の画面に戻ります。
「実行予算書を作る」をクリックします。



印刷する

- 5 実行予算書作成画面が表示されます。

【実行予算書を作成する見積りデータ】

実行予算書タイトル：タイトルを入力します。
発行日：発行日を入力します。
担当者：実行予算書の作成者を入力します。
 マスター設定で「担当者」を設定した場合は、
 選択肢に表示されます。



詳細説明 P36

【実行予算書印刷後】



選択肢の中に希望の担当者が表示されない場合は、
 担当者名を入力します。

備考：特記事項があれば入力します。

「印刷する」をクリックでPDFで出力できます。

※印刷した後も編集はできません。

※注文書・請書を印刷した後は見積作成画面で
 実行単価の編集ができなくなります。

注文書・請書を先に印刷されないようご注意ください。

名称/規格/備考		数量	見積単価	見積金額	粗利
			実行単価	実行金額	粗利%
A. 仮設工事	1式	50,000		50,000	20,000
		30,000		30,000	40%
		1,335,292		1,335,292	386,887
B. 境界工事(北・西・東)	1式	948,405		948,405	28.97%
		141,842		141,842	37.82%
C. 建物周囲	1式	104,018		104,018	26.66%
		141,384		141,384	35,131
D. 庭工事	1式	106,253		106,253	24.84%
		93,320		93,320	22,580
E. 手掘工事	1式	70,740		70,740	24.19%
		1,377,178		1,377,178	356,673
F. 駐車場工事	1式	1,020,505		1,020,505	25.89%
		241,020		241,020	66,255
G. 花壇工事	1式	174,765		174,765	27.48%
		738,538		738,538	169,611
H. アプローチ工事	1式	568,927		568,927	22.96%
見積合計 (税抜)				4,118,574	1,094,961
実行合計 (税抜)				3,023,613	26.58%

注文書・請書を作成する方法

注文書・請書を作成する方法です。

契約書を印刷した後に作成できるようになりますが、実行予算書作成の後に作成します。

注文書・請書を作成する方法

※注文書・請書を印刷した後は見積作成画面で実行単価の編集ができなくなります。実行予算書を作成した後に作成ください。

1 画面左側の物件一覧から、注文書・請書を作成したい物件をクリックします。先に作成した見積書をクリックします。

2 見積作成画面を開きます。

業者を入力します。

実行単価のみ数値を編集できます。

文字や数字がグレーになっている部分は編集できません。未記入の項目には追加で書き足すことができます。

※見積書・契約書作成済の為、見積単価の入力はできません。

※注文書・請書作成時でも実行単価は編集できます。既に実行予算書を作成している場合で、注文書・請書作成時に実行単価を編集しますと差異があるので再度、実行予算書を印刷してください。

実行単価の調整が済みましたら画面左上の

🏠をクリックし見積作成画面を閉じます。

3 物件を開いた状態の画面に戻ります。

実行予算書の下の「注文書・請書を作る」をクリックします。



注文書・請書を作る

4 注文書・請書作成画面が表示されます。

【見積内容・契約内容】

見積内容と契約内容が表示されます。

【基本情報】

注文書タイトル：タイトルを入力します。

発行日：発行日を設定します。

担当者：請求書の作成者を入力します。

マスター設定で「担当者」を設定した場合は、選択肢に表示されます。



詳細説明 P36

見積内容・契約内容

契約済 外構工事 田中太郎 3月24日(月) 2,463,207円 1,663,691円 32.45%

基本情報

注文書タイトル 外構工事 見積番号 20250343-12-r1 発行日 2025/04/23 担当者 田中太郎

見積内容の選択

熊鷹寺田 (001) 11点 189,245円
 林道園 (002) 9点 72,272円

工事場所/工事期間/支払条件/備考

工事場所
 工事期間 2025/04/09 ~ 2025/04/15
 支払条件
 備考

印刷スタイル

07標準注文書・請書 (A3横)

キャンセル 印刷する

【注文書・請書印刷後】

No.: 1-1-1-02 注文書 2025年3月24日

林道園 オープン株式会社

下記の通りご注文いたします。 貴社名 2025年3月24日 林道園 (002)

注文金額 16,449円 税込 18,449円

工事期間 2025年4月7日 ~ 2025年4月30日

金額(税抜) ¥72,272-

名称・規格	数量	単価	金額
ピンコロライン 鍍銀石材 パワルトピンコロ	5,823m	1,000	5,823
コンタクト 裏仕上げ	16,449m ²	1,000	16,449
雑費			0
ワイヤメッシュ			0
フェンス 1.8M, ハイグリップフェンスUP仕様H800	100R	5,000	50,000
コンタクト 裏仕上げ	16,449m ²	0	0
下地砕石層	16,449m ²	0	0
下地ワイヤメッシュ	16,449m ²	0	0
下地ワイヤメッシュ	16,449m ²	0	0

No.: 1-1-1-02 注文請書

オープン株式会社 様 年 月 日

貴社名 2025年3月24日 林道園 (002)

下記の通り注文書を送付いたします。

工事期間 2025年4月7日 ~ 2025年4月30日

金額(税抜) ¥72,272-

名称・規格	数量	単価	金額
ピンコロライン 鍍銀石材 パワルトピンコロ	5,823m	1,000	5,823
コンタクト 裏仕上げ	16,449m ²	1,000	16,449
雑費			0
ワイヤメッシュ			0
フェンス 1.8M, ハイグリップフェンスUP仕様H800	100R	5,000	50,000
コンタクト 裏仕上げ	16,449m ²	0	0
下地砕石層	16,449m ²	0	0
下地ワイヤメッシュ	16,449m ²	0	0
下地ワイヤメッシュ	16,449m ²	0	0

【注文先の選択】

どの業者に注文を出すか選びます。

業者名の左にチェックを入れて選択します。

業者は1件ずつ選択が可能です。注文先が複数ある場合は複数回に分けて印刷までお進みください。

【工事場所/工事期間/支払条件/備考】

工事場所：工事場所を入力します。

工事期間：工事期間を入力します。

支払条件：支払条件を入力します。

備考：振り込み先等、特記事項があれば入力します。

「印刷する」をクリックでPDFで出力できます。

※注文書・請書を印刷した後は見積作成画面で実行単価の編集ができなくなります。

業者の選択・変更のみ、印刷後も編集ができます。

請求書を作成する方法

請求書を作成する方法です。
契約書を作成した後に作成できます。

請求書を作成する方法

契約書作成後、請求書を作成することができます。

1 画面左側の物件一覧から、請求書を作成したい物件をクリックします。

2 契約書の下に請求書が表示されます。右側の「作成」をクリックします。

3 請求書作成画面が表示されます。

【見積内容・契約内容】

見積内容と契約内容が表示されます。

【基本情報】

請求書タイトル：タイトルを入力します。

担当者：請求書の作成者を入力します。

マスター設定で「担当者」を設定した場合は、選択肢に表示されます。



詳細説明 P36

【明細】

発行日：発行日を設定します。

備考：特記事項があれば入力します。

【振込先・備考】

振込先：振込先の銀行を入力します。

備考：特記事項があれば入力します。

「印刷する」をクリックでPDFで出力できます。



【請求書印刷後】



仕様書を作成する方法

仕様書を作成する方法です。

契約書を作成し印刷した後であれば、作成した見積書を元に作成することもできます。

仕様書を作成する方法

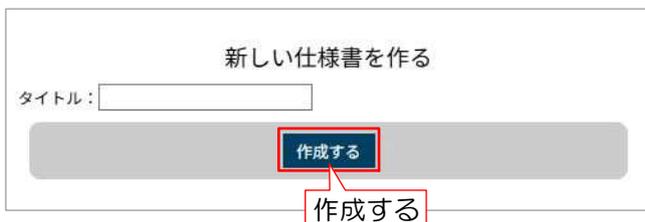
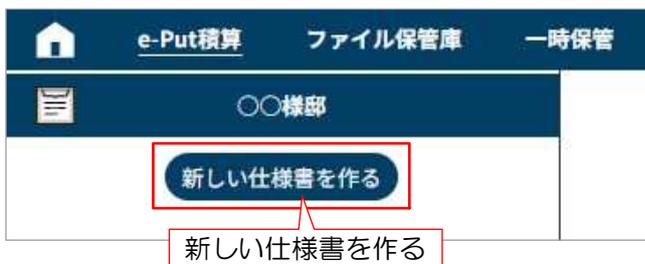
1 見積作成画面で仕様書に反映させたい項目にチェックを入れ選択します。

2 画面左上のをクリックし見積作成画面を閉じます。

3 物件を開いた状態の画面に戻ります。画面下の「新しい仕様書を作る」をクリックします。

4 左上の「新しい仕様書を作る」をクリックします。

5 タイトルを入力し「作成する」をクリックします。



1 仕様書一覧

2 仕様書

3 編集

4 印刷

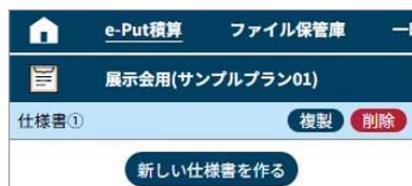
部位	メーカー	名称	規格・仕様	カラー	備考
フェンス工事	LIXIL	ハイグリッドフ	本体 高さ80cm		定価5800円の4割引
フェンス工事	LIXIL	ハイグリッドフ	スチール柱 高さ80cm		定価3300円の4割引
フェンス工事	LIXIL	ハイグリッドフ	小口キャップ		定価490円の4割引
砂利敷工事		砂利敷	ホワイト		
手すり工事	LIXIL	アーキレール	埋め込み柱:角柱 高さ8		定価10800円の4割引

仕様書作成画面の構成

仕様書作成画面が表示されます。

1 「新しい仕様書を作る」で仕様書を追加で作成できます。

作成した仕様書の複製や削除もできます。



【見積書で入力した内容】

部位	メーカー	名称	規格・仕様	カラー	備考
		LIXIL ハイグリ	本体 高さ80cm		定価5800円の4割引
		LIXIL ハイグリ	スチール柱 高さ80cm		定価3300円の4割引
		LIXIL ハイグリ	小口キャップ		定価490円の4割引
		砂利敷	ホワイト		
	LIXIL	アーキレ	埋め込み柱:角柱 高さ8		定価10800円の4割引
	LIXIL	アーキレ	笠木 L=2400		定価11000円の4割引
	LIXIL	アーキレ	笠木 L=1500		定価7200円の4割引
	LIXIL	アーキレ	埋め込み柱:角柱 傾斜		定価8900円の4割引

2 見積書で入力した内容が反映されます。

編集が必要な場合は編集をします。

部位：工事名を入力します。

メーカー：メーカー名を入力します。

名称：製品名を入力します。

規格・仕様：製品のサイズやオプション等を入力します。

カラー：製品の色を入力します。

備考：特記事項があれば入力します。

【調整後】

部位	メーカー	名称	規格・仕様	カラー	備考
フェンス工事	LIXIL	ハイグリッドフ	本体 高さ80cm		定価5800円の4割引
フェンス工事	LIXIL	ハイグリッドフ	スチール柱 高さ80cm		定価3300円の4割引
フェンス工事	LIXIL	ハイグリッドフ	小口キャップ		定価490円の4割引
砂利敷工事		砂利敷	ホワイト		
手すり工事	LIXIL	アーキレール	埋め込み柱:角柱 高さ8		定価10800円の4割引
手すり工事	LIXIL	アーキレール	笠木 L=2400		定価11000円の4割引
手すり工事	LIXIL	アーキレール	笠木 L=1500		定価7200円の4割引
手すり工事	LIXIL	アーキレール	埋め込み柱:角柱 傾斜		定価8900円の4割引

右側の上下矢印を上下にドラッグで、表示順を変更できます。

【仕様書印刷後】

サンプルプラン01			
工事仕様書			
名称	メーカー	詳細	押印箇所
フェンス工事	LIXIL	本体 高さ80cm	定価5800円の4割引
	商品	ハイグリッドフェンス UF8型	
フェンス工事	色		
	LIXIL	スチール柱 高さ80cm	定価3300円の4割引
フェンス工事	商品	ハイグリッドフェンス UF8型	
	色		
フェンス工事	LIXIL	小口キャップ	定価490円の4割引
	商品	ハイグリッドフェンス UF8型	
フェンス工事	色		

3 行やタイトルの編集ができます。

行追加：表の一番下に行を追加できます。

行複製：選択している行を複製できます。

行削除：選択している行を削除できます。

タイトル：タイトルを変更できます。

4 「印刷」をクリックでPDFで出力できます。

仕様書の右上の欄は、打ち合わせ時に押印箇所としても使用できます。

工程表を作成する方法

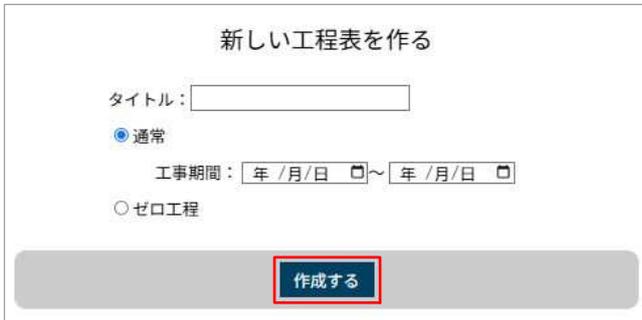
工程表を作成する方法です。

作業日をマーカーで塗りスケジュールを立てることができます。2通りの作成方法があります。



1 画面左側の物件一覧から、工程表を作成したい物件をクリックします。

2 画面下の「新しい工程表を作る」をクリックします。



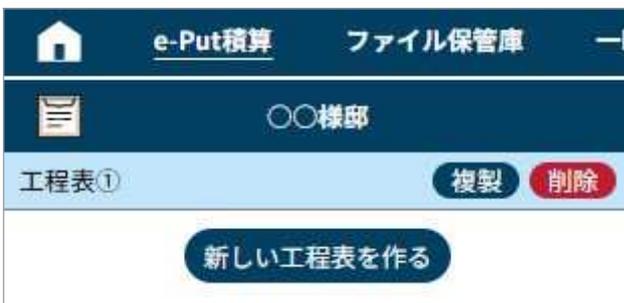
3 工程表作成画面が表示されます。

タイトル: タイトルを入力します。

通常: 工事期間を設定し作成できます。

ゼロ工程: 作業日のみ設定し作成できます。

「通常」もしくは「ゼロ工程」のいずれかを選択し「作成する」をクリックします。



工程表を作成する方法（通常）

1 「新しい工程表を作る」で工程表を追加で作成できます。

作成した工程表の複製や削除もできます。

2 工事名は見積作成時に作成したセクションで表示されます。足りない場合は手入力で追加できます。

	月	4月																
	日	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18					
工事等	曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金					
境界	工事	ブロック・フェンス工事																
駐車場	工事	[色塗り]																

工事期間に色を付けることができます

文字が入力できます

3 工事予定日の上の部分をドラッグしますとマーカーの色が付きます。下の部分をダブルクリックで文字を入力できます。工事の内容を記載しましょう。

		月	4月																
		日	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19				
工事等		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土				
境界	工事	ブロック・フェンス工事																	
駐車場	工事	[色塗り]																	

結合 分割 続きの予定 マーカー

結合・分割

ドラッグ

下の部分をドラッグしますと上に「結合」「分割」と表示されます。

	月	4月																
	日	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18					
工事等	曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金					
境界	工事	ブロック・フェンス工事																
駐車場	工事	カーポート組立																

続きの予定

「結合」をしますとグリッド線が無くなり、文字を確認しやすくなります。結合する前に戻したい場合は、戻したい部分をクリックし「分割」をクリックします。

		月	4月																
		日	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18					
工事等		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金					
境界	工事	ブロック・フェンス工事																	
駐車場	工事	カーポート組立																	

続きの予定

備考欄

工事工程表は、予定であり天候等で変更になる場合があります。

4 事前に伝えておきたいことや注意書き等を入力します。

5 先の日程が見切れている場合は、「続きの予定」をクリックで先の予定を表示できます。



6 クリックでマーカーの色を変更できます。5種類の色を選択できます。

【工程表印刷後】

マニュアル用		月	4月																											
工事等		日	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26								
境界		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土								
境界	工事	ブロック・フェンス工事																												
駐車場	工事	カーポート組立																												
庭	工事	植栽																												
アプローチ	工事	植栽																												
舗装	工事	舗装																												
デッキ	工事	デッキ組み立て																												

押印箇所

工事工程表は、予定であり天候等で変更になる場合があります。

7 「印刷」をクリックでPDFで出力できます。工程表の右上の欄は、打ち合わせ時に押印箇所としても使用できます。

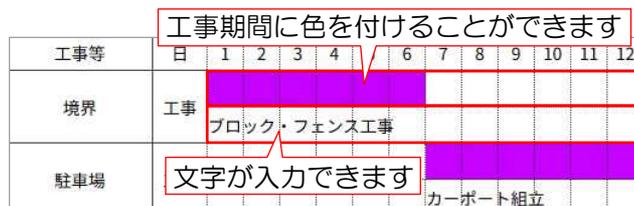


工程表を作成する方法（ゼロ工程）

1 「新しい工程表を作る」で工程表を追加で作成できます。
作成した工程表の複製や削除もできます。

2 工事名は見積作成時に作成したセクションで表示されます。足りない場合は手入力で追加できます。

3 工事予定日の上の部分をドラッグするとマーカーの色が付きます。
下の部分をダブルクリックで文字を入力できます。工事の内容を記載しましょう。



下の部分をドラッグしますと上に「結合」「分割」と表示されます。



「結合」をしますとグリッド線が無くなり、文字を確認しやすくなります。
結合する前に戻したい場合は、戻したい部分をクリックし「分割」をクリックします。



4 備考欄に事前に伝えておきたいことや注意書き等を入力します。

5 先の日程が見切れている場合は、「続きの予定」をクリックで先の予定を表示できます。
※工程表は複製された状態になります。



6 クリックでマーカーの色を変更できます。

【工程表印刷後】



7 「印刷」をクリックでPDFで出力できます。

工程表の右上の欄は、打ち合わせ時に押印箇所としても使用できます。

e-Put 自動拾い出し機能の項目と数量について

e-Putの自動拾い出し機能で取得される項目と数量は以下となります。

※1 オブジェクトの状態やテクスチャの情報取得状況で、取得される項目が変わりますのでご注意ください。特に各オブジェクトの機能を利用して特殊形状を作成している場合に意図する名称や必要工事と異なる情報が表示される場合がございますのでご注意ください。

※2 テクスチャや製品情報、またはe-Putで設定してあるマスター台帳から、定価や基本価格、工事価格を自動で割り当てています。
参考価格となりますので、カタログ、施工状況等必ずご確認ください。備考欄に価格の条件等が表示される場合があります。

※3 一部の項目で、ユーザーが拾いの単位、表示・非表示を設定することができます。

※4 金額や項目の設定をユーザーが保存した場合、下記とは異なる結果になる場合があります。

07CADの オブジェクト	条件	項目	単位	備考
塀	塀共通	基礎 ※3	m	塀の下端の長さです。塀デザイナーの設定により、基礎の種類が変わります。
		塀本体 (ブロック 積み) ※3	m ² , m	側面(片面)の面積 規格・仕様欄に「CB + 厚さ」が表示されます。 根入れの部分は最大高とブロックサイズからのおおよその値が含まれています。
		仕上げ下地 ※3	m ²	表面積が表示されます。
		仕上げ ※3	m ²	両側面+両小口+(天端)の面積 規格・仕様欄に材料の情報が表示されます。
	笠木が設定 されている 場合	笠木 ※3	m, 個	笠木が設定されている部分の長さの合計(又は笠木 ブロックの個数)。 規格・仕様欄に材料の情報が表示されます。
	巾木が設定 されている 場合	巾木	m ²	巾木が設定されている部分の両側面+両小口の面積 規格・仕様欄に材料の情報が表示されます。
	部分貼が設 定されてい る場合	部分貼	m ²	部分貼が設定されている部分の片側の面積 規格・仕様欄に材料の情報が表示されます。

07CADの オブジェクト	条件	項目	単位	備考
塀	フェンスが 設定されて いる場合	フェンス ※3	枚, m	配置されたフェンスの個数（又は長さ）が表示されます。 規格・仕様欄にフェンスの情報が表示されます。
		フェンス部 品 柱 ※3	セット	配置された柱の個数が表示されます。
		フェンス部 品 ジョイ ント ※3	箇所	配置されたフェンスの直線上の連結箇所が表示され ます。
		フェンス部 品 コーナ ー ※3	箇所	塀のコーナー数からフェンスのコーナー箇所が表示 されます。
		フェンス部 品 端部 ※3	箇所	配置されたフェンスの端部の箇所が表示されます。
	製品シンボ ルが設定さ れている場 合	製品情報	個	配置された製品の数 規格・仕様欄に製品の情報が表示されます。
シンボル化 された塀	(シンボル 化された 塀)	個	シンボル化された塀は個数のみ表示されます。 eE-Former等で手拾いしていただく必要があります。	
床	床共通	床	m2	床の表面積 規格・仕様欄に材料の情報が表示されます。 同ユニットに存在する場合は総数が表示されます。
	断面図が設 定されてい る場合	下地の項目 ※3	m2, m3	断面図に設定された項目について、設定されている 高さ、床の表面積から算出された数量が表示され ます。
	断面図が設 定されてい ない場合	下地の項目 ※3	m2	床の仕上げ情報から項目が自動で選択され、床の表 面積から算出された数量が表示されます。
	縁取、デザ イン目地が 設定されて いる場合	目地 ※3	m2, m	規格・仕様欄に材料の情報が表示されます。 同ユニットに存在する場合は総数が表示されます。
	シンボル化 された床	(シンボル 化された 床)	個	シンボル化された床は個数のみ表示されます。 eE-Former等で手拾いしていただく必要があります。

07CADの オブジェクト	条件	項目	単位	備考
階段	階段共通	下地 ※3	m2	階段平面エリアの面積
		段鼻長さ	m	段鼻の総長さ レンガ小端立てなど設定してあるときは規格・仕様欄に材料の情報が表示されます。
		仕上げ	m2	踏面の表面積（+蹴上、側面の面積） 規格・仕様欄に材料の情報が表示されます。
	シンボル化された階段	（シンボル化された階段）	個	シンボル化された階段は個数のみ表示されます。 eE-Former等で手拾いしていただく必要があります。
シンボル	DB登録されている製品	製品の種別	個	製品本体の個数 同じ製品は総数が表示されます。
		付属部品	個	製品付属部品が設定してある場合の個数
	DB登録されていない製品	シンボル名称	個	シンボルの個数
植栽	単独樹木・列植	樹種・樹木名	本	樹木の本数 規格・仕様欄にサイズが表示されます。
	生垣	生垣	m	生垣の長さ 規格・仕様欄にサイズが表示されます。
	低木 ※3	寄植	m2, 本	エリアの面積（又は本数） 規格・仕様欄にサイズが表示されます。 面積の場合、備考欄にm2あたりの本（株）数が表示されます。
	地被	地被名称	m2	エリアの面積
添景		名称	個等	添景アイテムの個数 車等は拾われません。

O7CAD2025 操作マニュアル

2025年5月1日 第1版発行

著作・製作・発行
オーセブン株式会社
〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西6-4-14

本書の一部または全部について、無断で複写、複製することを禁止いたします。

使用許諾契約書

オーセブン株式会社が提供するソフトウェア製品を、お客様がダウンロードやインストール、その他手段によって使用可能にされる時点で、そのソフトウェア製品の使用許諾条件に同意されたものとみなします。
本ソフトウェア使用許諾契約書（以下、「本契約」という）は、その使用許諾条件をまとめたものです。
ソフトウェア製品を使用されるすべてのお客様に適用されます。

ソフトウェア使用許諾契約書

お客様（以下、「甲」という）と、オーセブン株式会社（以下、「乙」という）は、乙が著作権を有する ソフトウェア製品 「07CAD4 1 ライセンス」（以下、「ライセンス製品」という）の使用許諾について、次の条件で本契約を締結します。

■著作権

ライセンス製品に関する所有権、知的財産権、その他の一切の権利は乙に帰属します。

■ライセンス製品の使用許諾

乙が甲に対し、ライセンス製品を使用できる非独占的な使用権を許諾します。

■許諾の範囲

- 1) 本契約により甲は、ライセンス製品をコンピュータに複製して使用することができます。
同時に契約ライセンス数以上のコンピュータ上での使用を許容するものではありません。
バックアップの目的に限り、機械による読み取り可能な形態でライセンス製品の複製物を1つ作成することができます。
- 2) 本使用権は本契約の有効期間中に限り存続するものとします。

■所在場所

- 1) 甲が使用するライセンス製品は、導入所在場所に設置されたコンピュータとします。
- 2) 所在場所の変更や、その結果生じる不具合等のサポート諸費用は、甲が負担するものとします。

■保守・履行義務

保守・履行義務契約書の 履行義務（※1）、07CAD 保守（※2） に従うものとします。

■リース契約

ライセンス製品について、乙がリース契約を受けている場合、以下の条項が適用されます。

- 1) ライセンス製品のリース契約は、リース会社に対する非独占的使用権付契約となります。
- 2) ライセンス契約のリース契約について、リース契約の満了（5年）によるリース契約の終了もしくはリプレース・リース契約による本契約のバージョンアップ更新をし、再リース契約による本契約の更新はありません。
- 3) リース契約終了の手続きは、甲よりライセンス製品の全部又は一部の複製物を乙に返還するか、又は消去及び破棄をして、これを証明する書類を乙に提出するものとします。
- 4) 契約終了に際してかかる諸費用（リース契約による廃棄処理費用等）は、甲の負担によるものとします。
- 5) 本契約は、リース契約を含む他のいかなる契約よりも優先します。

■権利義務

甲は、ライセンス製品、本契約並びに、本契約から派生する追加ライセンス製品等を含む一切の権利義務を、第三者に販売したり、再使用許諾したり、譲渡したり、あるいは担保に供したりしてはならないものとします。

■禁止事項

- 1) ライセンス製品あるいは関連するドキュメントを複製、改変、販売すること。また、弊社の信用を毀損し、あるいは損害をもたらす一切の行為を行なうこと。
- 2) ライセンス製品の逆アセンブルをはじめ、リバースエンジニアリング行為を行うこと。
- 3) 本契約に基づき乙から開示を受け、その他本契約の履行の過程で取得した乙に関する情報を第三者に開示又は漏洩すること。

■保証・免責事項

ライセンス製品は、具体的な説明が有るものや無いものを問わず、乙より甲に現状有姿（無欠陥、商品価値、第三者の知的財産に抵触するか否かの保証を含む無侵害性、その他の一切の保証なし）のまま甲に提供されます。
ライセンス製品の動作、品質と機能に関し、乙は、一切の保証（ウィルスの不在、応答的的確性、使用結果に関する保証を含む）をしないものとします。甲の使い勝手に適うかどうかの責任を負うものではありません。

■損害・免責事項

ライセンス製品のインストールまたは使用に関連して、甲に直接的または間接的に発生するあらゆる損害（ハードウェア、他のソフトウェアの破損、不具合等を含む）について、乙は一切の責任（注意義務を含む）を負担するものではありません。

■本契約・終了

- 1) 本契約の期間は、乙がライセンス製品を納品した日から5年間とする。ただし、期間満了前に甲が乙から書面による更新の意思表示を受領し、乙が合意した場合、さらに1年間延長されるものとし、その後も同様とする。
- 2) 甲は、乙に対するライセンス製品に係る未払債務がある場合、解約手続きの前に完済するものとします。
- 3) 甲による本契約の記載条項に違反があった場合、乙は本契約を終了することができます。

■協議

本契約に関する疑義が生じた時は、甲、乙協議し誠実に解決するものとします。

■管轄裁判所

本契約に関する訴訟等は、さいたま地方裁判所を第一審の専属的管轄裁判所とします。

使用許諾契約書

保守・履行義務契約書

お客様（以下、「甲」という）と、オーセブン株式会社（以下、「乙」という）は、甲が使用する ソフトウェア製品 「07CAD4 1 ライセンス」（以下、「ライセンス製品」という）について、次の条件で本契約を締結します。

■07CAD は下記によって構成されます。

◆作図・描画機能

- 【基幹作図機能：07CAD 作図エンジン】
- 【基幹描画機能：07CAD レンダリングエンジン】
- 【基幹作図補助機能：07CAD 作図補助機能】

◆標準搭載コンテンツ

- 【標準コンテンツ 1 種：造園&ガーデン系植栽コンテンツ】
- 【標準コンテンツ 2 種：標準製品シンボル】
- 【標準コンテンツ 3 種：標準テクスチャー】
- 【標準コンテンツ 4 種：メーカー製品シンボル】
- 【標準コンテンツ 5 種：メーカーテクスチャー】

■履行義務について（※1）

◆標準コンテンツ：リセット履行義務期間 5年

- 1) ライセンス製品は、標準コンテンツの作図環境を年度毎にリセットする【履行義務サポート】を標準装備しています。
- 2) 主たる履行義務の期間は、本契約締結日（納品日）から5年間とします。
- 3) 甲に対する乙の履行義務は、ライセンス製品のバージョンアップ更新にも適用され、更新契約終了日まで【履行義務サポート】を受けられます。
- 4) 甲の申し出により有償で履行義務期間を延長（1～5年）ができます。その後も同様とします。
- 5) 履行義務期間における主なコンテンツ・リセット項目
 - ・登録（配置基準）設定 / サイズバリエーション設定 / カラーバリエーション設定 / 光源設定 / オプション設定
 - ・標準コンテンツの新規登録など。

◆07CAD：保守履行義務期間 5年（有償）

- 1) 当該ライセンス製品の保守期間は、本契約締結日（納品日）から5年間とします。
- 2) 甲に対する乙の保守は、乙の別途有償サービス（別途 HP 記載）と共に受けることができます。
- 3) 乙は甲に対し、07CAD 保守の契約満了を迎える半年前に、保守期間の終了及びライセンス製品の扱いを、当該契約の「重要なお知らせ」で通知します。
- 4) 甲の申し出により、ライセンス製品（07CAD）履行義務期間中のみ延長ができます。その後も同様とします。
- 5) 主な保守項目
 - ・電話による当該ソフトウェアの問い合わせ。
 - ・07 ユーザー専用サイトのご利用。
 - ・CAD 操作研修など、各種セミナーご案内の配信。
 - ・建材のアップデート配信：年1回以上/インターネット回線から専用ツールで自動アップデート。
配信範囲は、使用頻度の高い製品に限ります。
 - ・ライセンス製品の関連プログラムをインターネット回線から専用ツールにて、取得・利用することができます。
 - ・07 ダイレクトメール配信（月1回以上）。

■07CAD 保守について（※2）

- 1) 当該ライセンス製品の保守は、甲が使用するライセンス数に付随する必須保守です。
- 2) 保守時間帯は、原則として乙の就業時間内（10：00 ～ 17：00）とします。
- 3) 料金の支払い方法
 1. 保守料金の支払いについて甲は、主たる契約期間の5年間の全額、もしくは年額（原則/自動引き落とし）のいずれかの方法により、乙の、指定の口座へ振込むものとします。
 2. 保守の業務内容及び料金について、本契約に基づき変更することがあります。乙の、予め「お知らせ」等で甲に通知し、甲はそれを了承するものとします。
- 4) 保守の停止
 1. 甲が以下の項目に該当する場合、乙は甲に事前の通知なく、07 ユーザー専用サイト及び各種保守の一時停止をすることを、甲は了承するものとします。
 - ① 甲が、保守料その他の乙に対する債務の支払いを遅延又は拒否した場合。
 - ② 甲が指定した銀行口座から、保守料その他の乙に対する債務について、乙が自動引き落としできなくなった場合。
 2. 保守等の停止を受けた甲は、停止期間を含んだ料金の払い込みをもって、乙に停止の解除手続きをとることができます。
- 5) 保守の環境
インターネット環境を利用した保守を行っています。インターネット環境が無い場合、十分なサポートが受けられない場合があります。

住宅関連プレゼン・アプリ & クラウドサービス利用規約

当社の住宅関連プレゼン・アプリ&クラウドサービス（以下、当社サービス といいます）を利用されるユーザー（以下、お客様 といいます）は、本利用規約（以下、本規約 といいます）及び当社が定める各諸手続きや規定に同意いただくことを前提としています。当社サービスのご利用の前に本規約をご確認ください。

■当社サービス

- 1) クラウド連動アプリ：写真合成&概算見積りアプリ【カタリノ】
- 2) クラウド連動アプリ：多目的ビューワーアプリ【07Viewer / ゼロナナ・ビューワー】
- 3) クラウド連動アプリ：SpeedPlanner 連動アプリ【SpeedPlannerOffice / スピードプランナーオフィス】
- 4) クラウドサービス：ビジネスサーバー業務管理ツール【e-Board / イーボード】【e-Board One / イーボードワン】
- 5) クラウドサービス：ビジネスサーバー【07CAD 保存サーバー】
- 6) ipad 専用アプリ：【SpeedPlanner / スピードプランナー】

■アカウントの管理

- 1) お客様は、当社サービスを利用するために登録したメールアドレス、パスワード等のお客様情報に責任を持ち、管理するものとします。お客様ご自身のお客様情報が漏洩し、第三者による不正使用などから生じるお客様の損害について、当社は責任を負わないものとします。
- 2) 本サービスの提供を受ける権利を譲渡、貸与、質権、担保することはできません。
- 3) お客様情報等に変更が生じた場合、所定の方法により速やかにご連絡ください。お客様が当社に届出なくお客様の情報等を変更されますと、当社よりの連絡が届かず、それによって、お客様の損失機会が増幅したとしても、責任を負わないものとします。

■お客様コンテンツの保存と削除

- 1) アプリ系ツール：「カタリノ」「07Viewer」
無料版：無料のクラウド環境で保存することができますが、他の無料でご利用のお客様と共用の為、データが他のお客様に見られたり、削除されたりする場合があります。また、無料のクラウド環境で保存されたデータは、定期的に削除されます。
有料版：業務管理ビジネスツール「e-Board」をお使いいただけます。ネット上でコンテンツ管理や情報の共有ができます。
無料版：SpeedPlanner 連動アプリ「SpeedPlannerOffice」をお使いいただけます。SpeedPlanner と連動して拡張機能を使うことができます。
有料版：ipad 専用アプリ「SpeedPlanner」をお使いいただけます。ipad 上で住宅プランの作成や情報の共有ができます。
- 2) クラウド系ツール：「e-Board」「07CAD 保存サーバー」
無料版：無料のクラウド環境で保存することができますが、他の無料でご利用のお客様と共用の為、データが他のお客様に見られたり、削除されたりする場合があります。また、無料のクラウド環境で保存されたデータは、定期的に削除されます。
有料版：業務管理ビジネスツール「e-Board」をお使いいただけます。ネット上でコンテンツ管理や情報の共有ができます。

■知的財産権等

- 1) お客様がアップロード及び発信、送信した 3D、2D のブランドデータや CG 画像、テキスト、写真など（以下、お客様コンテンツ といいます）を除く、当社サービスおよび当社サービスに搭載の各コンテンツに関する知的財産権は、当社および提携先に帰属します。
- 2) お客様が当社サービスにアップロード及び発信・送信したお客様コンテンツ等の知的財産権は、お客様コンテンツをアップロード及び発信、送信したお客様に帰属します。
- 3) お客様は、ご自身で用意されたお客様コンテンツ以外のコンテンツを、その権利者（当社、提携先、他のお客様等）の事前の許可なく使用（複製、転載、改変、頒布等）することはできません。許可を得て利用する場合、引用元を正しく明示ください。引用の目的が正当な範囲内のものに限ります。
- 4) コンテンツ権利者の知的財産権等を侵害すると、侵害側に弁済の義務が発生します。コンテンツの取り扱いにはご注意ください。

■守秘義務

当社サービスを遂行するために必要且つ限定的にお客様情報等を扱うことはあっても、お客様の許可なく、情報を開示したり利用することはありません。

■自動認証

お客様が利用していない当社製品を含む当社サービスから、お客様が利用している当社サービスへアクセスされますと、同時に当社サービス等から他の当社サービスへ認証情報を自動的に送信することがあります。認証情報の送信は、すなわち、アクセス認証を自動的に行うということであり、当社サービスは、当社製品等に登録された認証情報を取得することにより、自動認証することがあります。

■クッキーによる認証

- 1) 当社サービスでは、当社製品等または Web ブラウザからアクセスされますと、クッキーを発信することがあります。クッキーは、認証情報に代わる当社サービスのアクセス認証を行うために利用されるもので、事前に Web ブラウザ上で「クッキーを受け入れる」というセキュリティの設定を必要とします。
- 2) このクッキーが第三者に利用されますと、お客様の当社サービスを閲覧・設定の変更等、いたずらされるおそれがございます。当社製品等または Web ブラウザ上でクッキーを削除されることをお勧めします。
- 3) また、クッキーには有効期限を設定しています。当社サービスの利用中にクッキーが削除されたり、クッキーの有効期限が切れますと、一部当社サービスをご利用いただけなかったりしますのでご注意ください。削除したクッキーは、再設定いただけますと再生成されます。お客様の情報が第三者によって悪用され、損害を発生させたとしても、当社は責任を負わないものとします。

■責任の限度

- 1) お客様が、当社サービスを利用し、お客様の任意な方法（データ保存、複製、削除、変換、合成等）で作成されるお客様コンテンツの不具合、破損、消失等に対し、当社は責任を負わないものとします。
- 1) お客様が当社サービスの利用で、発生した直接的、間接的、付随的トラブル（コンピュータの故障、業務の停止、情報漏洩等）による損失や損害について、当社は責任を負わないものとします。
- 3) 当社は、【システムの保守、点検、修理】や【天災、人災】等による事由で、お客様に事前に連絡することなく、一時的に当社サービスを中断することがあります。このサービスの中断による損失、損害について、当社は責任を負わないものとします。
- 4) 当社は、当社サービスシステムの容量、機能、スピード、コンテンツ登録等、技術的視点から、当社サービスの内容を、予告なく変更することがあります。従来サービスの全部もしくは一部が利用できなくなり、その結果、お客様の使い勝手を損なうことがあったとしても、責任を負わないものとします。

■保障の限度

当社は、当社サービスの提供について、保守、点検、改善改良を行います。お客様個別の使い勝手、お客様個別のお客様コンテンツの保持、お客様個別のセキュリティ等を保証するものではありません。

住宅関連プレゼン・アプリ & クラウドサービス利用規約

■ 禁止事項

お客様は、当社サービスの利用に際して、次の行為をすることはできません。

- 1) 法令または当社の規約等に違反する行為
- 2) 当社や他のお客様、提携先を含む第三者の知的所有権等を侵害し、利益等を損ねる行為
- 3) 当社や他のお客様、提携先を含む第三者に迷惑となる行為や不快感を抱かせる行為
- 4) 当社や当社サービスを、あたかも提携先としてもしくは第三者のサービスとして誤認させる行為や提供する行為
- 5) 有害なコンピュータウィルス・スパムメール・チェーンレター等のアップロードや書き込む行為
- 6) 当社のサーバーその他のコンピュータに不正にアクセスする行為
- 7) メールアドレスおよびパスワードを第三者に貸与・譲渡すること、または第三者と共用する行為
- 8) 他人（架空の者を含む）になりすまして、当社サービスを利用する行為
- 9) 当社サービスの全部又は一部の運営を妨げ、信用・名誉等を毀損する行為
- 10) 公序良俗に違反する行為
- 11) その他、当社が不適切と判断する行為

■ 当社サービスの中断、終了

当社は、次の方法により、当社サービスの個別契約を除いて、30 日以上の間を設けた事前の通知により、当社サービスの全部および一部を、中断並びに終了することができます。

- 1) お客様と当社サービスに関する通知、連絡事項等は、電子メール、07 ダイレクトメール、郵便、電話、ファックス、などの方法から当社が適当と判断した方法で通知又は連絡を行います。
- 2) 前項の方法に代えて、ウェブページ上での告知をもって通知することができます。